新・記者ハンドブック

用字用語の正しい知識

共同通信社

新・記者ハンドブック

共同通信社

まえがき

このハンドブックは、もともと報道に携わる人々のために編集されたものである。複雑で紛らわしい用字用語の誤りや不統一をなくし、新聞・通信記事をわかりやすく、しかも明確に書くために知っておかねばならない基本的な事柄を、できるだけ広く集めた。用字用語の正しい使い方や、用例、内外の人名、地名、外来語の統一、新聞略語集など、ものを書くとき大変役立つというので、マスコミ関係者ばかりでなく、官庁、会社、教育界その他一般の方々からの需要も多く、広く各方面から歓迎されて版を重ねてきた。

今度の全面改定版の発行に当たっては、昭和四十八年六月、内閣が告示した新しい「当用漢字改定音訓表」「改定送り仮名の付け方」に準拠し、さらに新聞報道関係だけで使用する音訓表をも加えて新聞当用漢字表を配列した。また用字用語集には「現代かなづかい」「送り仮名の付け方」をはじめ副詞、連体詞、接続詞、統一用語、禁止・言い換え語などの主な語例を一括して収容した。

このほか新たに間違いやすい語、記事の書き方、紛らわしい地名、運動記事の書き方、公害関係用

目次

まえがき
新聞当用漢字改定音訓表……一
使用上の注意……一
新聞当用漢字……三
人名用漢字……八九
漢字書きにできる熟字訓……九〇
新聞で使用しない当用漢字の音訓……九一
同音漢字の書き換え……九一
用字用語集……九三
使用の原則……九三
使用の要領……九三
現代かなづかい……九六
「ぢ、づ」と「じ、ず」の使い分け用例集……九八
送り仮名の付け方……一〇四
複合名詞の送り仮名付け方用例……一一〇
用字用語集……一一六
ありそうでない字、なさそうである字……二六八
間違いやすい語……二六九
外来語の書き方……二七三
表記の基本方針と原則……二七三
外来語用例集……二七四
表記の基準……二八四
表記の原則……二八四
用字について……二八四
用語について……二八九
句読点その他……二九三
記事の書き方……二九五
記事のフォーム……二九七
横書きの方式……三〇八
数字の書き方……三一〇
数字の書き方の原則……三一〇
不確定数詞の基準……三一一
助数詞適用の基準……三一二
洋、漢数字の使い分け例……三一三
計量単位の使い方……三一五
メートル法表記の基準……三一五
単位語表示と漢テレ記号……三一六

語、中国漢字の新略字表などを収録したのをはじめ、外国の地名、新聞略語集、主要航空会社、邦暦西暦対照表、皇室用語なども全面的に増補改定した。

しかし、わが国の新聞用語、ニュースの書き方の慣行は日とともに改善され、流動している。第十二期国語審議会はすでに新しい角度から、新しい字種、字体について検討を進めており、近い将来に結論が出されることになっている。本書は今後ともこれらの結論や、利用者の忠告、助言なども入れて一層完全なものにしたいと考えている。

本書の編集には、わが社独自の資料のほかに、日本新聞協会用語懇談会の審議結果、全国主要新聞放送各社の用例や関係出版物も参考にし、利用させていただいた。厚くお礼を申し上げる。新聞、放送、広告などのマスコミ界はもちろん、広く社会全般にわたって活用されることを期待している。

昭和五十三年三月

共同通信社

新聞当用漢字改定音訓表

同音漢字の書き換え
人名用漢字

共同通信社は従来、昭和二十一年十一月内閣告示の「当用漢字表」および同二十三年二月内閣告示の「当用漢字音訓表」に、同二十九年三月国語審議会報告の「当用漢字補正案」を加味した「音訓引き新聞当用漢字表」を使用していたが、同四十七年六月国語審議会答申（同四十八年六月、内閣告示）の「当用漢字改定音訓表」を採用し、四十七年八月から改定実施している。

この表には「当用漢字改定音訓表」（新聞で削除した十一字を除く）と、新聞で追加した二十八字、音訓追加・字体変更したもの、およびわが社で使用する当用漢字音訓表外八字の字種・音訓を示してある。

△当用漢字表に追加した字、音訓追加・字体変更の字

亭 俸 偵 僕 厄 堀 壌 宵 尚 戻 披 挑
据 朴 杉 桟 殻 汁 泥 洪 涯 渦 渓 矯
酌 釣 斉 竜 個（コ・カ） 燈→灯（トウ・ひ）

△新聞で削除していた当用漢字のうち再び採用した字

丹 劾 唐 嚇 堪 奴 寡 悦 煩 爵 璽 罷
迅 逓 錬 隷 頒

△新聞で使わない当用漢字

且 但 又 朕 濫 箇 脹 虞 謁 遵 附

△当用漢字表外で使用する字と音訓

稼（カ） 溝（コウ） 塾（ジュク） 曹（ソウ）
塚（つか） 棟（トウ・むね） 洞（ドウ） 覇（ハ）

使用上の注意

一、この表の漢字の字体は、当用漢字の字体である。ただし表外字については一般の慣用に従った。

二、この表は、音訓別により五十音順に配列してある。

三、字音は片仮名で示し、字訓は平仮名で示した。

四、音訓表のすべての音訓を見出し語として掲げ、その下に漢字を掲げ、見出し語以外の音訓は、漢字の下に示した。従って一つの音または訓を引けば、その漢字に認められているすべての音訓を知ることができる。ただし、同一の漢字が並んだ場合には、見出し語以外の音訓は省略した。

計量単位換算早見表……三一八
主な計量単位と種類……三二一
日時の書き方……三二四
年月日……三二四
時　間……三二六
人名、年齢の書き方……三二八
姓名の書き方……三二八
肩書の書き方……三二八
敬称の使い方……三二九
名前を隠す場合……三三一
年齢の書き方……三三二
住所、職業、姓名、年齢の順序……三三二
地名の書き方……三三三
全国市名……三三五
読みにくい郡名……三四四
紛らわしい地名……三四七
主な岬、崎、埼、碕……三五三
外国の地名、人名の書き方……三五四
樺太、千島の地名表記……三五六
中国、朝鮮の地名、人名の書き方……三五七
運動記事の書き方……三五九
運動競技種目の書き方……三五九
運動数字の書き方……三五九
運動フォーム例……三六〇
運動用語仮名表記……三六二
公害関係用語……三七〇
皇室用語について……三八一
皇室用語の扱い方……三八一
皇室用語の表記例……三八三
（以下横組み）
邦暦、西暦対照表……四〇一—三九九
中国漢字の新略字表……四〇五—四〇二
科学用語（訳語）集……四〇九—四〇六
新聞略語集……四二九—四一〇
各国主要航空会社……四三三—四三〇
外国地名一覧……四五九—四三四

〔ア〕

ア 亜
アイ *愛
アイ 哀 あわれ ☆あわれむ
あい *相 ソウ ショウ
あいだ *間 ま カン ケン
あう *合 あわす あわせる ゴウ ☆ガッ ☆カッ
あう *会 カイ エ
あう☆ 遭 ソウ
あお(い) *青 セイ ショウ
あおぐ 仰 おおせ ギョウ コウ
あか(い) *赤 あからむ あからめる セキ シャク
あかす *明 あかり あかるい あかるむ あからむ あきらか あける あく あくる メイ ミョウ

あかす 飽 あきる ホウ
あかつき 暁 ギョウ
あからむ *赤 あか あかい あからめる セキ シャク
あからむ *明 あかり あかるい あかるむ あきらか あける あく あくる あかす メイ ミョウ
あからめる *赤 あか あかい あからむ セキ シャク
あかり *明 あかるい あかるむ あからむ あきらか あける あく あくる あかす メイ ミョウ

あがる *上 うえ ☆うわ かみ あげる のぼる のぼせる のぼす ジョウ ☆ショウ
あがる☆ *挙 ☆あげる キョ
あがる 揚 あげる ヨウ
あかるい *明 あかり あかるむ あからむ あきらか あける あく あくる あかす メイ ミョウ
あかるむ *明
あき *秋 シュウ
あきなう *商 ショウ
あきらか *明 あかり あかるい あかるむ あから

五、☆印を付けたものは、改定音訓表で新たに追加（新聞で追加したものを含む）された音訓である。ただし、従来の音訓と同種のものには☆印を付けない。例えば「怪（あや**しい**）」に対する「あや**しむ**」「授（さず**ける**）」に対する「さず**かる**」のようなものである。

六、＊印を付けた漢字は、当用漢字別表の漢字と、文部省が四十六年度から実施の新学習指導要領により追加した「教育漢字（九百九十六字）」である。「燈」は教育漢字ではあるが、新聞では「灯」を使用しているため「＊」印は付けていない。

〔例〕シャ　＊社　やしろ

七、○印を付けた字は、新聞で追加（当用漢字補正案により）した漢字・音訓・字体である。

〔例〕ほり　○堀

八、△印を付けた字は、新聞で二十九年四月以降削除（補正案により）していたものを、再び採用した漢字・音訓・字体である。

〔例〕から　△唐　トウ

九、（表外字）の印のあるものは、わが社で使用する当用漢字音訓表以外の漢字・音訓・字体である。

〔例〕カ　稼（表外字）

十、送り仮名の部分は、太字で示してある。

〔例〕あか**す**　＊明　あか**り**　あか**るい**

十一、傍線を付けてあるのは、特殊の場合に用いられる音訓である。

〔例〕行　アン　脚　キャ　↓行脚（アンギャ）
　　　財　サイ　↓財布（サイフ）

十二、名詞の形だけで掲げてある字訓は、動詞には使わない。

〔例〕うたい　謡　　こおり　氷

十三、熟字になったために音訓の変化するものは、漢字を使ってよい。

〔例〕木（き）↓木立（こだち）　金（かね）↓金物（かなもの）　雨（あめ）↓雨戸（あまど）・春雨（はるさめ）　夫（フ）↓夫婦（フウフ）

十四、この表の末尾に掲げた「漢字書きにできる熟字訓」は、漢字二字以上で構成されるいわゆる熟字訓で、慣用によって音訓表から外れた読み方をする語である。

あたためる　*暖　あたたか　あたたかい　あたたまる　ダン
あたま　*頭　☆かしら　トウ　ズ　☆ト|
あたらしい　*新　あらた　☆にい　シン
あたり☆　*辺　☆べ　ヘン
あたる　*当　あてる　トウ
アツ　*圧
あつい　*厚　コウ
あつい　*暑　ショ
あつい　*熱　ネツ
あつかう　扱
あつまる　*集　あつめる　☆つどう　シュウ
あつめる　*集
あてる　充　ジュウ
あてる　*当　あたる　トウ
あと☆　*後　のち　うしろ　☆おくれる　ゴ　コウ
あと　跡　セキ
あな　*穴　ケツ
あなどる　侮　ブ
あに　*兄　ケイ　キョウ|
あね　*姉　シ
あばく☆　*暴　☆あばれる　ボウ　バク
あばれる☆　*暴
あびせる　*浴　あびる　ヨク
あびる　*浴
あぶない☆　*危　あやうい　キ
あぶら☆　脂　シ
あぶら　*油　ユ
あま　尼　ニ
あま|☆　*天　あめ　テン
あま|☆　*雨　あめ　ウ
あまい　甘　あまえる　あまやかす　カン
あまえる　甘
あます　*余　あまる　ヨ
あまやかす　甘　あまい　あまえる　カン
あまる　*余　あます　ヨ
あみ　網　モウ
あむ　*編　ヘン
あめ　*天　☆あま|　テン
あめ　*雨　☆あま|　ウ
あやうい　*危　☆あぶない　キ
あやしい　怪　あやしむ　カイ
あやしむ　怪
あやつる☆　*操　みさお　ソウ
あやまち☆　*過　すぎる　すごす　☆あやまつ　カ
あやまつ☆　*過
あやまる　*誤　ゴ
あやまる☆　*謝　シャ
あゆむ　*歩　あるく　ホ　ブ　☆フ|
あらい　荒　あれる　あらす

むあける あく あくる あかす メイ ミョウ
あきる 飽 あかす ホウ
アク *悪 ☆オ わるい
アク 握 にぎる
あく☆ *開 ひらく ひらける ☆あける カイ
あく☆ *空 そら ☆あける ☆から クウ
あく *明 あかり あかるい あかるむ あからむ あきらか あける あくる あかす メイ ミョウ
あくる *明
あける *明
あける☆ *開 ひらく ひらける ☆あく カイ

あける☆ *空 そら ☆あく ☆から クウ
あげる *上 うえ ☆うわ かみ あがる のぼる のぼせる のぼす ジョウ ☆ショウ
あげる☆ *挙 ☆あがる キョ
あげる 揚 あがる ヨウ
あさ *朝 チョウ
あさ 麻 マ
あざ *字 ジ
あさい *浅 セン
あざむく 欺 ギ
あざやか☆ 鮮 セン
あし *足 たりる たる たす ソク
あし☆ 脚 ☆キャク ☆キャ
あじ *味 あじわう ミ
あじわう *味

あずかる *預 あずける ヨ
あずける *預
あせ 汗 カン
あせる☆ 焦 こげる こがす こがれる ショウ
あそぶ *遊 ユウ ☆ユ
あたい *価 カ
あたい *値 ね チ
あたえる 与 ヨ
あたたか(い)☆ *温 ☆あたたまる ☆あたためる オン
あたたか(い) *暖 あたたまる あたためる ダン
あたたまる *暖
あたたまる☆ *温 ☆あたたか ☆あたたかい ☆あたためる オン
あたためる☆ *温

イ	違	ちがう　ちがえる
イ	維	
イ	慰	なぐさめる　なぐさむ
イ	*遺	ユイ
イ	緯	
イ☆	唯	ユイ
い	井	セイ　ショウ
いう	*言	こと　ゲン　ゴン
いえ	*家	や　カ　ケ
いかす	*生	いきる　いける　うまれる　うむ　☆おう　☆はえる　☆はやす　きな　ま　セイ　ショウ
いかる	怒	☆おこる　ド
イキ	*域	
いき	*息	ソク
いきおい	*勢	セイ
いきどおる	憤	フン

いきる	*生	いかす　いける　うまれる　うむ　☆おう　☆はえる　☆はやす　きな　ま　セイ　ショウ
イク	*育	そだつ　そだてる
いく	*行	ゆく　おこなう　コウ　ギョウ　アン
いく	幾	キ
いくさ☆	*戦	たたかう(い)　セン
いけ	*池	チ
いける	*生	いきる　いかす　うまれる　うむ　☆おう　☆はえる　☆はやす　きな　ま　セイ　ショウ
いこい☆	憩	ケイ
いさぎよい	*潔	ケツ
いさむ	*勇	ユウ

いし	*石	セキ　シャク　コク
いしずえ	礎	ソ
いずみ	*泉	セン
いそがしい	忙	ボウ
いそぐ	*急	キュウ
いた	*板	ハン　バン
いたい	*痛	いたむ　いためる　ツウ
いだく☆	抱	だく　☆かかえる　ホウ
いたす☆	致	チ
いただき	*頂	☆いただく　チョウ
いただく☆	*頂	
いたむ	*痛	いたい　いためる　ツウ
いたむ☆	*傷	きず　☆いためる　ショウ
いたむ☆	悼	トウ
いためる	*痛	いたい　いたむ

コウ
あらい☆ 粗 ソ
あらう *洗 セン
あらす 荒 あらい あれる コウ
あらそう *争 ソウ
あらた *新 あたらしい ☆に い シン
あらたまる *改 あらためる カイ
あらためる *改
あらわす *表 おもて あらわれる ヒョウ
あらわす *現 あらわれる ゲン
あらわす *著 いちじるしい チョ
あらわれる *表 おもて あらわす ヒョウ
あらわれる *現 あらわす ゲン
ある *有 ユウ ウ
ある☆ *在 ザイ

あるく *歩 あゆむ ホ ブ ☆フ|
あれる 荒 あらい あらす コウ
あわい 淡 タン
あわす *合 あう あわせる ゴウ ガッ ☆カ| ツ|
あわせる *合
あわせる☆ 併 ヘイ
あわただしい☆ 慌 ☆あわてる コウ
あわてる☆ 慌
あわれ 哀 あわれむ アイ
あわれむ 哀
アン *安 やすい
アン *案
アン *暗 くらい
アン| *行 コウ ギョウ いく ゆく おこな

う

〔イ〕

イ *以
イ *衣 ころも
イ *位 くらい
イ *囲 かこむ ☆かこう
イ *医
イ 依 エ|
イ *委
イ *易 エキ ☆やさしい
イ 威
イ *胃
イ 為
イ 尉
イ *異 こと こと(なる)
イ *移 うつる うつす
イ 偉 えらい
イ *意

〔ウ〕

ウ　＊右　ユウ　みぎ
ウ　＊有　ユウ　ある
ウ　＊宇
ウ　＊羽　は　はね
ウ　＊雨　あめ　☆あま|
うい☆　＊初　はじめ　はじめて　はつ　☆そめる　ショ
うい☆　憂　うれえる　うれい　ユウ
うえ　＊上　☆うわ|　かみ　あげる　あがる　のぼる　のぼせる　のぼす　ジョウ　☆ショウ|
うえる　＊植　うわる　ショク
うえる　飢　キ

うお　＊魚　☆さかな　ギョ
うかがう　伺　シ
うかぶ　浮　うく　＊うかれる　うかべる　フ
うかべる　浮
うかる　＊受　うける　ジュ
うかれる☆　浮　うく　うかぶ　うかべる　フ
うく　浮
うけたまわる　＊承　ショウ
うける　＊受　うかる　ジュ
うける　請　こう　セイ　シン|
うごかす　＊動　うごく　ドウ
うごく　＊動
うし　＊牛　ギュウ
うじ　＊氏　シ
うしなう　＊失　シツ
うしろ　＊後　のち　☆あと　☆おくれる　ゴ　コウ

うず　渦　カ
うすい　薄　うすめる　うすまる　うすらぐ　うすれる　ハク
うすまる　薄
うすめる　薄
うすらぐ　薄
うすれる　薄
うた　＊歌　うたう　カ
うたい　謡　ヨウ
うたう　＊歌　うた　カ
うたがう　＊疑　ギ
うち　＊内　ナイ　ダイ|
うつ　＊打　ダ
うつ　＊討　トウ
うつ　撃　ゲキ
うつくしい　＊美　ビ
うつす　＊移　うつる　イ
うつす　＊写　うつる　シャ
うつす　＊映　うつる　☆はえる

ツウ
いためる☆　*傷　きず　☆いたむ　ショウ
いたる　*至　シ
イチ　*一　イツ　ひと　ひとつ
イチ　*壱
いち　*市　シ
いちじるしい　*著　あらわす　チョ
イツ　*一　イチ　ひと　ひとつ
イツ　逸
いつくしむ☆　慈　ジ
いつ(つ)　*五　ゴ
いつわる　偽　☆にせ　ギ
いと　*糸　シ
いとなむ　*営　エイ
いどむ☆　°挑　チョウ
いな　*否　ヒ

いな☆　稲　いね　トウ
いぬ　*犬　ケン
いね　稲　☆いな　トウ
いのち　*命　メイ　ミョウ
いのる　祈　キ
いま　*今　コン　キン
いましめる　戒　カイ
いまわしい☆　忌　いむ　キ
いむ　忌
いも　芋
いもうと　*妹　マイ
いやしい　卑　いやしむ　いやしめる　ヒ
いやしむ　卑
いやしめる　卑
いる　*入　いれる　☆はいる　ニュウ
いる☆　*要　ヨウ
いる　*居　キョ
いる　*射　シャ

いる　鋳　チュウ
いれる　*入　いる　☆はいる　ニュウ
いろ　*色　ショク　シキ
いろどる☆　彩　サイ
いわ　*岩　ガン
いわう　*祝　シュク　☆シュウ
イン　*引　ひく　ひける
イン　*印　しるし
イン　*因　よる
イン　姻
イン　*員
イン　*院
イン　陰　かげ　☆かげる
イン　*飲　のむ
イン　隠　かくす　かくれる
イン　韻
イン　*音　オン　おと　ね

うわ☆｜ *上 うえ かみ あげる あがる のぼる のぼせる のぼす ジョウ ☆ショウ
うわる *植 うえる ショク
ウン *運 はこぶ
ウン *雲 くも

〔エ〕

エ 恵 ケイ めぐむ
エ *絵 カイ
エ *会 カイ あう
エ｜ 依 イ
エ｜ *回 カイ まわる まわす
え 江 コウ
え 柄 がら ヘイ
え *重 おもい かさねる かさなる ジュウ チョウ

エイ *永 ☆ながい
エイ *泳 およぐ
エイ *英
エイ *映 うつる うつす ☆はえる
エイ *栄 さかえる ☆はえ
エイ *営 いとなむ
エイ 詠 ☆よむ
エイ 影 かげ
エイ 鋭 するどい
エイ *衛
えがく 描 ビョウ
エキ *役 ヤク
エキ *易 イ ☆やさしい
エキ 疫 ☆ヤク｜
エキ *益 ☆ヤク｜
エキ *液
エキ *駅

えだ 枝 シ
エツ △悦
エツ 越 こす こえる
エツ 閲
えむ☆ *笑 わらう ショウ
えらい 偉 イ
えらぶ *選 セン
える *得 ☆うる トク
える 獲 カク
エン *円 ☆まるい
エン *延 のびる のばす のべ(る)
エン *沿 そう
エン 炎 ほのお
エン 宴
エン 援
エン *園 その
エン 煙 ☆けむる けむり ☆けむい
エン *遠 オン｜ とおい

うつる　*映　エイ
うつる　*移　うつす　イ
うつる　*写　うつす　シャ
うったえる　訴　ソ
うつわ　*器　キ
うで　腕　ワン
うとい☆　疎　☆うとむ　ソ
うとむ☆　疎
うながす　促　ソク
うね☆　畝　せ
うばう　奪　ダツ
うぶ☆　*産　うむ　うまれる
サン
うま　*馬　☆ま　バ
うまる　埋　うめる　うもれる
マイ
うまれる　*生　いきる　いかす
いける　うむ　☆お
う　☆はえる　☆は

やす　き　なま
セイ　ショウ
うまれる　*産　うむ　☆うぶ　サ
ン
うみ　*海　カイ
うむ　*生　いきる　いかす
いける　うまれる
*おう　☆はえる
☆はやす　き　な
ま　セイ　ショウ
うむ　*産　うまれる　☆うぶ
サン
うめ　梅　バイ
うめる　埋　うまる　うもれる
マイ
うもれる　埋
うやうやしい☆　恭　キョウ
うやまう　*敬　ケイ
うら　浦　ホ

うら　*裏　リ
うらなう　占　しめる　セン
うらむ　恨　うらめしい　コン
うらめしい　恨
うる　*売　うれる　バイ
うる☆　*得　える　トク
うるおう　潤　うるおす　☆うる
む　ジュン
うるおす　潤
うるし　漆　シツ
うるむ☆　潤　うるおう　うるお
す　ジュン
うるわしい　麗　レイ
うれい　憂　うれえる　☆うい
ユウ
うれい☆　愁　シュウ
うれえる　憂　うれい　☆うい
ユウ
うれる　*売　うる　バイ
うれる☆　*熟　ジュク

おきる　*起　おこる　おこす　キ
オク　*屋　や
オク　*億
オク　憶
おく　奥　オウ
おく　*置　チ
おくらす　遅　おくれる　☆おそい　チ
おくる　*送　ソウ
おくる　贈　ゾウ　☆ソウ|
おくれる☆　*後　のち　うしろ　☆あと　ゴ　コウ
おくれる　遅　おくらす　☆おそい　チ
おこす　*起　おきる　おこる　キ
おこす　*興　おこる　コウ　キョウ
おごそか☆　*厳　☆きびしい　ゲン　ゴン|

おこたる　怠　☆なまける　タイ
おこなう　*行　いく　ゆく　コウ　ギョウ　アン|
おこる☆　怒　いかる　ド
おこる　*起　おきる　おこす　キ
おこる　*興　おこす　コウ　キョウ
おさえる　押　おす　オウ
おさえる☆　抑　ヨク
おさない　*幼　ヨウ
おさまる　*収　おさめる　シュウ
おさまる　*納　おさめる　ノウ　☆ナッ|　ナ|　☆ナン|　トウ|
おさまる　*治　おさめる　☆なおる　☆なおす　ジ　チ
おさまる　*修　おさめる　シュウ　シュ|

おさめる　*修　おさまる　シュウ
おさめる　*収　おさまる　シュウ
おさめる　*納　おさまる　ノウ　☆ナッ|　ナ|　☆ナン|　トウ|
おさめる　*治　おさまる　☆なおる　☆なおす　ジ　チ
おしい　惜　おしむ　セキ
おしえる　*教　おそわる　キョウ
おしむ　惜　おしい　セキ
おす　雄　お　ユウ
おす　押　おさえる　オウ
おす　*推　スイ
おそい☆　遅　おくれる　おくらす　チ
おそう　襲　シュウ
おそれる　恐　おそろしい　キョウ

エン　鉛　なまり
エン　*塩　しお
エン　*演
エン　縁　ふち

〔オ〕

オ　汚　けがす　けがれる　けがらわしい　☆よごす　☆よごれる　☆きたない
オ☆　*悪　アク　わるい
お　*小　ちいさい　こ　ショウ
お　尾　ビ
お　緒　ショ　☆チョ
お　雄　おす　ユウ
おいる　*老　☆ふける　ロウ
オウ　*王
オウ　*央

オウ　*応
オウ　*往
オウ　押　おす　おさえる
オウ　欧
オウ　殴　☆なぐる
オウ　桜　さくら
オウ　翁
オウ　*黄　コウ　き　☆こ
オウ　奥　おく
オウ　*横　よこ
オウ　*皇　コウ
おう☆　*生　いきる　いかす　いける　うまれる　うむ　☆はえる　☆はやす　き　なま　セイ　ショウ
おう☆　*負　まける　まかす　フ
おう　*追　ツイ
おうぎ　扇　セン

おえる　*終　おわる　シュウ
おお　*大　おおきい　おおいに　ダイ　タイ
おおい　*多　タ
おおいに　*大　おお　おおきい　ダイ　タイ
おおう☆　覆　☆くつがえす　☆くつがえる　フタ
おおきい　*大　おお　おおいに　ダイ　タイ
おおせ　仰　あおぐ　ギョウ　コウ
おおやけ　*公　コウ
おか　丘　キュウ
おかす　*犯　ハン
おかす　冒　ボウ
おかす　侵　シン
おがむ　*拝　ハイ
おき　沖　☆チュウ
おぎなう　*補　ホ

くだる　くだす　くださる　☆おろす　カ　ゲ
おりる　*降　おろす　ふる　コウ
おる　*折　おれる　おり　セツ
おる　*織　ショク　シキ
おれる　*折　おる　おり　セツ
おろか　愚　グ
おろし　卸　おろす
おろす☆　*下　した　しも　もと　さげる　さがる　くだる　くだす　くださる　☆おりる　カ　ゲ
おろす　*降　おりる　ふる　コウ
おろす　卸　おろし
おわる　*終　おえる　シュウ

オン　*音　イン　おと　ね
オン　*恩
オン　*温　☆あたたか　☆あたたかい　☆あたたまる　☆あたためる
オン　穏　おだやか
オン　*遠　エン　とおい
おん　御　ギョ　ゴ
おんな　*女　☆め　ジョ　ニョ　☆ニョウ

〔カ〕

カ　*下　ゲ　した　しも　もと　さげる　さがる　くだる　くだす　くださる　☆おろす　☆おりる

カ　*化　ケ　ばける　ばかす
カ　*火　ひ　☆ほ
カ　*加　くわえる　くわわる
カ　*可
カ　*仮　ケ　かり
カ　*何　なに　☆なん
カ　*花　はな
カ　佳
カ　*価　あたい
カ　*果　はたす　はてる　はて
カ　*河　☆かわ
カ　*科
カ　稼　（表外字）
カ　架　☆かける　☆かかる
カ　*夏　☆ゲ　なつ
カ　*家　ケ　いえ　や
カ　△寡

おそろしい　恐　おそれる　キョウ
おそわる　*教　おしえる　キョウ
おだやか　穏　オン
おちいる　陥　☆おとしいれる　カン
おちる　*落　おとす　ラク
オツ　乙
おっと　*夫　フ　☆フウ|
おと　*音　ね　オン　イン
おとうと　*弟　テイ　ダイ|　☆デ|
おどかす☆　脅　☆おどす　おびやかす　キョウ
おとこ　*男　ダン　ナン
おとしいれる☆　陥　おちいる　カン
おとす　*落　おちる　ラク
おどす☆　脅　☆おどかす　おびやかす　キョウ
おとずれる　*訪　☆たずねる　ホウ
おどり　踊　おどる　ヨウ

おとる　劣　レツ
おどる　踊　おどり　ヨウ
おどる☆　躍　ヤク
おとろえる　衰　スイ
おどろかす　驚　おどろく　キョウ
おどろく　驚
おなじ　*同　ドウ
おに　鬼　キ
おのおの　*各　カク
おのれ☆　*己　コ　キ
おび　*帯　おびる　タイ
おびやかす　脅　☆おどかす　☆おどす　キョウ
おびる　*帯　おび　タイ
おぼえる　*覚　☆さます　☆さめる　カク
おも☆　*主　ぬし　シュ　ス|
おも　*面　おもて　☆つら　メン
おもい　*重　え　かさねる　かさなる　ジュウ　チョウ

おもう　*思　シ
おもて　*表　あらわす　あらわれる　ヒョウ
おもて　*面　おも　☆つら　メン
おもむき　趣　シュ
おもむく☆　赴　フ
おや　*親　したしい　したしむ　シン
およぐ　*泳　エイ
および　及　およぶ　およぼす　キュウ
およぶ　及
およぼす　及
おり　*折　おる　おれる　セツ
おりる☆　*下　した　しも　もと　さげる　さがる

ガイ　°涯
ガイ　*街　☆カイ|　☆まち
ガイ　慨
ガイ　△劾
ガイ　該
ガイ　概
かいこ　*蚕　サン
かう　*買　バイ
かう　飼　シ
かう☆　*交　まじわる　まじえる　まじる　まざる　まぜる　☆かわす　コウ
かえす　*返　かえる　ヘン
かえす　*帰　かえる　キ
かえりみる　*省　はぶく　セイ　ショウ
かえりみる　顧　コ
かえる　*代　かわる　よ　☆しろ　ダイ　☆タイ

かえる　替　かわる　タイ
かえる　換　かわる　カン
かえる　*変　かわる　ヘン
かえる　*返　かえす　ヘン
かえる　*帰　かえす　キ
かお　*顔　ガン
かおり☆　香　か　コウ　☆キョウ|
かおる☆　薫　クン
かかえる☆　抱　だく　☆いだく　ホウ
かかげる　掲　ケイ
かがみ　*鏡　キョウ
かがやく　輝　キ
かかり　*係　かかる　ケイ
かかり　掛　かかる　かける
かかる　*係　かかり　ケイ
かかる　掛　かける　かかり
かかる☆　架　☆かける　カ
かかる☆　懸　☆かける　ケン　ケ|

かぎる　*限　ゲン
カク　*各　おのおの
カク　*角　☆かど　つの
カク　*拡
カク　*画　ガ
カク　*客　キャク
カク　*革　☆かわ|
カク　*格　☆コウ|
カク　核
カク　郭
カク　*覚　おぼえる　☆さます　☆さめる
カク　較
カク　隔　へだてる　へだたる
カク　*閣
カク　*確　たしか　たしかめる
カク　獲　える
カク　穫

カ　荷*　に
カ　華　ケ☆|　☆はな
カ　菓
カ　貨*
カ　過*　すぎる　すごす　☆あやまつ　☆あやまち
カ　嫁　よめ　☆とつぐ
カ　暇　ひま
カ　禍
カ　歌*　うた　うたう
カ　個*　コ
カ　課*
カ　渦°　うず
か　蚊
か　日*　ひ　ニチ　ジツ
か　香　☆かおり　コウ　☆キ|　ヨウ
ガ　我*　われ　☆わ

ガ　芽*　め
ガ　賀*
ガ　雅
ガ　餓
カイ　介
カイ　回*　エ|　まわる　まわす
カイ　灰*　はい
カイ　会*　エ　あう
カイ　快*　こころよい
カイ　戒　いましめる
カイ　改*　あらためる　あらたまる
カイ　怪　あやしい　あやしむ
カイ　悔　くいる　くやむ　くやしい
カイ　海*　うみ
カイ　界*

カイ　械*
カイ　絵*　エ
カイ　開*　ひらく　ひらける　☆あく　☆あける
カイ　階*
カイ　解*　ゲ　とく　とかす　とける
カイ　塊　☆かたまり
カイ　壊　☆こわす　☆こわれる
カイ　懐　☆ふところ　☆なつかしい　☆なつかしむ　☆なつく　☆なつける
カイ☆|　街*　ガイ　☆まち
かい　貝*
ガイ　外*　ゲ　そと　ほか　☆はずす　☆はずれる

かたわら☆ 傍 ボウ
カツ *活
カツ 括
カツ 渇 ☆かわく
カツ *割 わる わり われる ☆さく
カツ 滑 ☆すべる ☆なめらか
カツ 轄
カッ☆ *合 ゴウ ☆ガッ あう あわす あわせる
かつ *勝 まさる ショウ
ガツ *月 ゲツ つき
ガッ☆ *合 ゴウ ☆カッ あう あわす あわせる
かつぐ☆ *担 ☆になう タン
かて☆ 糧 リョウ ☆ロウ
かど☆ *角 つの カク

かど *門 モン
かな☆ *金 かね キン コン
かなしい *悲 かなしむ ヒ
かなしむ *悲
かなでる☆ *奏 ソウ
かならず *必 ヒツ
かね *金 ☆かな キン コン
かね 鐘 ショウ
かねる *兼 ケン
かの 彼 かれ ヒ
かぶ *株
かべ 壁 ヘキ
かま☆ 窯 ヨウ
かまう☆ *構 かまえる コウ
かまえる *構
かみ *上 うえ ☆うわ あげる あがる のぼる のぼせる のぼす ジョウ ☆ショウ

かみ *神 ☆かん ☆こう シン ジン
かみ *紙 シ
かみ 髪 ハツ
かみなり 雷 ライ
かもす☆ 醸 ジョウ
かよう *通 とおる とおす ツウ ☆ツ
から☆ *空 そら ☆あく ☆あける クウ
から △唐 トウ
から 殻 カク
がら 柄 え ヘイ
からい 辛 シン
からす 枯 かれる コ
からだ☆ *体 タイ テイ
からまる☆ 絡 ☆からむ ラク
からむ☆ 絡
かり *仮 カ ケ
かり 狩 かる シュ

カク ˚殻 から
カク △嚇
かく *欠 かける ケツ
かく *書 ショ
ガク *学 まなぶ
ガク 岳 たけ
ガク *楽 ラク たのしい
たのしむ
ガク *額 ひたい
かくす 隠 かくれる イン
かくれる 隠
かげ 陰 ☆かげる イン
かげ 影 エイ
かける *欠 かく ケツ
かける 駆 ☆かる ク
かける☆ 架 ☆かかる カ
かける 掛 かかる かかり
かける☆ 懸 ☆かかる ケン ケ|
かげる☆ 陰 かげ イン
かこう☆ *囲 かこむ イ

かこむ *囲 かこう イ
かざ|☆ *風 かぜ フウ ☆フ|
かさなる *重 え おもい かさ
ねる ジュウ チ
ョウ
かさねる *重
かざる 飾 ショク
かしこい 賢 ケン
かしら☆ *頭 あたま トウ ズ
☆ト|
かす *貸 タイ
かず *数 かぞえる スウ
☆ス|
かぜ *風 ☆かざ| フウ ☆フ|
かぞえる *数 かず スウ ☆ス|
かた *方 ホウ
かた *片 ヘン
かた *形 かたち ケイ ギ
ョウ
かた *型 ケイ

かた 肩 ケン
かたい 堅 ケン
かたい *固 かためる かたま
る コ
かたい☆ 硬 コウ
かたい *難 ☆むずかしい ナン
かたき☆ *敵 テキ
かたち *形 かた ケイ ギョ
ウ
かたな *刀 トウ
かたまり☆ 塊 カイ
かたまる *固 かためる かたい
コ
かたむく 傾 かたむける ケイ
かたむける 傾
かためる *固 かたまる かたい
コ
かたよる☆ 偏 ヘン
かたらう *語 かたる ゴ
かたる *語

カン　＊歓
カン　監
カン　緩　☆ゆるい　☆ゆるやか　☆ゆるむ　☆ゆるめる
カン　憾
カン　還
カン　＊館
カン　環
カン　＊簡
カン　＊観
カン　〓
カン　鑑
カン　甲　コウ
かん☆　＊神　かみ　☆こう　シン　ジン
ガン　＊丸　まる　まるい　まるめる
ガン　＊元　ゲン　もと
ガン　含　ふくむ　ふくめる

ガン　＊岸　きし
ガン　＊岩　いわ
ガン　＊眼　☆ゲン　まなこ
ガン　＊顔　かお
ガン　＊願　ねがう
かんがえる　＊考　コウ
かんばしい　芳　ホウ
かんむり　冠　カン

〔キ〕

キ　＊己　コ　☆おのれ
キ　企　くわだてる
キ　＊危　☆あぶない　あやうい
キ　＊机　つくえ
キ　＊気　ケ
キ　岐
キ　＊希
キ　忌　いむ　いまわしい

キ　＊汽
キ　奇
キ　祈　いのる
キ　＊季
キ　＊紀
キ　軌
キ　既　すでに
キ　＊記　☆しるす
キ　＊起　おきる　おこる　おこす
キ　飢　うえる
キ　鬼　おに
キ　＊帰　かえる　かえす
キ　＊基　もと　もとい
キ　＊寄　よる　よせる
キ　規
キ　＊喜　よろこぶ
キ　幾　いく
キ　＊揮
キ　＊期　ゴ

かりる　＊借　シャク
かる　刈
かる　狩　かり　シュ
かる☆　駆　かける　ク
かるい　＊軽　☆かろやか　ケイ
かれ　彼　かの　ヒ
かれる　枯　からす　コ
かろやか☆　＊軽　かるい　ケイ
かわ☆　＊河　カ
かわ　＊川　セン
かわ　＊皮　ヒ
かわ☆　＊革　カク
かわ　＊側　ソク
かわかす☆　乾　☆かわく　カン
かわく☆　渇　カツ
かわく☆　乾　☆かわかす　カン
かわす☆　＊交　まじわる　まじえる　まじる　まざる　まぜる　☆かう　コウ

かわる　＊代　かえる　よ　☆しろ　ダイ　☆タイ
かわる　替　かえる　タイ
かわる　換　かえる　カン
かわる　＊変　かえる　ヘン
カン　＊干　ほす　ひる
カン　＊刊
カン　甘　あまい　あまえる　あまやかす
カン　汗　あせ
カン　＊完
カン　肝　きも
カン　＊官
カン　冠　かんむり
カン　＊巻　まく　まき
カン　＊看
カン　陥　おちいる　☆おとしいれる
カン　乾　☆かわく　☆かわかす

カン　勘
カン　△堪
カン　患　☆わずらう
カン　貫　つらぬく
カン　＊寒　さむい
カン　喚
カン　換　かわる　かえる
カン　敢
カン　棺
カン　款
カン　＊間　ケン　あいだ　ま
カン　閑
カン　＊勧　すすめる
カン　寛
カン　＊幹　みき
カン　＊感
カン　＊漢
カン　＊慣　なれる　ならす
カン　＊管　くだ
カン　＊関　せき

ごす　☆よごれる
オ
きたる☆　*来　くる　きた　☆き
たす　こい　こな
い　ライ
キチ　吉　☆キツ
キツ　喫
キツ　詰　つめる　つまる
つむ
キツ☆　吉　キチ
きぬ　*絹　ケン
きびしい☆　*厳　☆おごそか　ゲン
ゴン
きまる　*決　きめる　ケツ
きみ　*君　クン
きめる　*決　きまる　ケツ
きも　肝　カン
キャ☆　脚　キャク　☆あし
キャク　却
キャク　*客　カク

キャク　脚　☆キャ　☆あし
ギャク　*逆　さか　さからう
ギャク　虐　☆しいたげる
キュウ　*九　ク　ここの　ここ
のつ
キュウ　*久　ク　ひさしい
キュウ　及　およぶ　および
およぼす
キュウ　*弓　ゆみ
キュウ　丘　おか
キュウ　*旧
キュウ　*休　やすむ　やすまる
やすめる
キュウ　*吸　すう
キュウ　朽　くちる
キュウ　*求　もとめる
キュウ　*究　☆きわめる
キュウ　*泣　なく
キュウ　*急　いそぐ
キュウ　*級

キュウ　糾
キュウ　*宮　グウ　ク　みや
キュウ　*救　すくう
キュウ　*球　☆たま
キュウ　*給
キュウ　窮　きわまる　きわめ
る
ギュウ　*牛　うし
キョ　*去　コ　さる
キョ　巨
キョ　*居　いる
キョ　拒　こばむ
キョ　拠　コ
キョ　*挙　☆あげる　☆あがる
キョ　虚　コ
キョ　*許　ゆるす
キョ　距
ギョ　*魚　うお　☆さかな
ギョ　御　ゴ　おん
ギョ　*漁　リョウ

キ　棋
キ　*貴　☆たっとい　☆とうとい　☆たっとぶ　☆とうとぶ
キ　棄
キ　*旗　はた
キ　▪器　うつわ
キ　輝　かがやく
キ　*機　はた
キ　騎
き　*木　ボク　モク　☆こ|
き　*生　いきる　いかす　いける　うまれる　うむ　☆おう　☆はえる　☆はやす　なま　セイ　ショウ
き　*黄　☆こ|　コウ　オウ
ギ　*技　☆わざ
ギ　宜

ギ　偽　いつわる　☆にせ
ギ　欺　あざむく
ギ　*義
ギ　*疑　うたがう
ギ　儀
ギ　戯　たわむれる
ギ　擬
ギ　犠
ギ　*議
きえる　*消　けす　ショウ
キク　菊
きく☆　*効　コウ
きく☆　*利　リ
きく　*聞　きこえる　ブン　☆モン
きく☆　聴　チョウ
きこえる　*聞　きく　ブン　☆モン
きざし☆　*兆　☆きざす　チョウ
きざす☆　*兆

きざむ　*刻　コク
きし　*岸　ガン
きず　*傷　☆いたむ　☆いためる　ショウ
きずく　*築　チク
きせる　*着　きる　つく　つける　チャク　☆ジャク
きそう　*競　☆せる　キョウ　ケイ
きた　*北　ホク
きた　*来　☆きたる　☆きたす　くる　こい　こない　ライ
きたえる　鍛　タン
きたす☆　*来　くる　きた　☆きたる　こい　こない　ライ
きたない☆　汚　けがす　けがれる　けがらわしい　☆よ

きよめる　＊清　セイ　☆ショウ
きり　霧　ム
きる　＊切　きれる　セツ　サイ
きる　＊着　きせる　つく　つける　チャク　☆ジャク
きれる　＊切　きる　セツ　サイ
きわ☆　＊際　サイ
きわまる　窮　きわめる　キュウ
きわまる☆　＊極　☆きわめる　☆きわみ　キョク　ゴク
きわみ☆　＊極
きわめる　窮　きわまる　キュウ
きわめる☆　＊究　キュウ
きわめる☆　＊極　☆きわまる　☆きわみ　キョク　ゴク
キン　斤
キン　＊均

キン　＊近　ちかい
キン　＊金　コン　かね　☆かな
キン　菌
キン　＊勤　☆ゴン　つとめる　つとまる
キン　琴　こと
キン　＊筋　すじ
キン　＊禁
キン　緊
キン　謹　☆つつしむ
キン　＊今　コン　いま
ギン　吟
ギン　＊銀

〔ク〕

ク　＊九　キュウ　ここの　ここのつ
ク　＊区

ク　＊句
ク　＊苦　くるしい　くるしむ　くるしめる　にがい　にがる
ク　駆　かける　☆かる
ク　＊口　コウ　くち
ク　＊工　コウ
ク　＊供　キョウ　そなえる　とも
ク　＊久　キュウ　ひさしい
ク　＊宮　キュウ　グウ　みや
ク　＊功　コウ
ク☆　貢　コウ　☆みつぐ
ク　＊紅　コウ　べに　くれない
ク☆　＊庫　コ
グ　＊具
グ　愚　おろか
くいる　悔　くやむ　くやしい

きよい *清 きよまる きよめる セイ ☆ショウ

キョウ 凶

キョウ *共 とも

キョウ 叫 さけぶ

キョウ 狂 くるう くるおしい

キョウ *京 ケイ

キョウ 享

キョウ *供 ク そなえる とも

キョウ *協

キョウ 況

キョウ 峡

キョウ 狭 せまい ☆せばめる ☆せばまる

キョウ 恐 おそれる おそろしい

キョウ 恭 ☆うやうやしい

キョウ *胸 むね ☆むな

キョウ 脅 おびやかす ☆おどかす ☆おどす

キョウ *強 ゴウ つよい つよめる つよまる ☆しいる

キョウ *教 おしえる おそわる

キョウ *経 ケイ へる

キョウ *郷 ゴウ

キョウ *境 ケイ さかい

キョウ *橋 はし

キョウ *興 コウ おこる おこす

キョウ *鏡 かがみ

キョウ *競 ケイ きそう ☆せる

キョウ 響 ひびく

キョウ 驚 おどろく おどろかす

キョウ °矯

キョウ *兄 ケイ あに

キョウ☆ 香 コウ か ☆かおり

ギョウ 仰 コウ あおぐ おおせ

ギョウ *行 コウ アン いく ゆく おこなう

ギョウ *形 ケイ かた かたち

ギョウ 暁 あかつき

ギョウ *業 ゴウ ☆わざ

ギョウ 凝 こる こらす

キョク *曲 まがる まげる

キョク *局

キョク *極 ゴク ☆きわめる ☆きわまる ☆きわみ

ギョク *玉 たま

きよまる *清 きよい きよめる

こない　ライ
くる　繰
くるう　狂　くるおしい　キョウ
くるおしい　狂
くるしい　＊苦　くるしむ　くるしめる　にがい　にがる　ク
くるしむ　＊苦
くるしめる　＊苦
くるま　＊車　シャ
くれない　＊紅　べに　コウ　ク|
くれ(る)　暮　くらす　ボ
くろ(い)　＊黒　コク
くわ　桑　ソウ
くわえる　＊加　くわわる　カ
くわしい　詳　ショウ
くわだてる　企　キ
くわわる　＊加　くわえる　カ
クン　＊君　きみ

クン　＊訓
クン　勲
クン　薫　☆かおる
グン　＊軍
グン　＊郡
グン　＊群　むれる　むれ　むら|

〔ケ〕

ケ　＊化　カ　ばける　ばかす
ケ　＊気　キ
ケ　＊家　カ　いえ　や
ケ|　＊仮　カ　かり
ケ|　懸　ケン　☆かける　☆かかる
ケ☆|　華　カ　☆はな
け　＊毛　モウ
ゲ　＊下　カ　した　しも　もと　さげる　さがる　くだる　くだす　くださる　☆おろす　☆おりる

ゲ　＊外　ガイ　そと　ほか　☆はずす　☆はずれる
ゲ　＊解　カイ　とく　とかす　とける
ゲ☆|　＊夏　カ　なつ
ケイ　＊兄　キョウ|　あに
ケイ　刑
ケイ　＊形　ギョウ　かた　かたち
ケイ　＊系
ケイ　＊京　キョウ
ケイ　＊径
ケイ　茎　くき
ケイ　＊係　かかる　かかり

カイ
クウ　*空　そら　☆あく　☆あける　☆から
くう　*食　☆くらう　たべる　ショク｜ジキ
グウ　偶
グウ　遇
グウ　*宮　キュウ　ク｜　みや
くき　茎　ケイ
くさ　*草　ソウ
くさい　臭　シュウ
くさらす　腐　くさる　くされる　フ
くさり　鎖　サ
くさる　腐　くされる　くさらす　フ
くされる　腐
くじら　鯨　ゲイ
くずす☆　崩　☆くずれる　ホウ
くすり　*薬　ヤク

くずれる☆　崩　☆くずす　ホウ
くせ　癖　ヘキ
くだ　*管　カン
くだく　砕　くだける　サイ
くだける　砕
くださる　*下　した　しも　もと　さげる　さがる　くだる　くだす　☆おろす　☆おりる　カ　ゲ
くだす　*下
くだる　*下
くち　*口　コウ　ク
くちる　朽　キュウ
クツ　屈
クツ　掘　ほる
くつがえす☆　覆　☆おおう　☆くつがえる　フク
くつがえる☆　覆
くに　*国　コク

くばる　*配　ハイ
くび　*首　シュ
くみ　*組　くむ　ソ
くむ　*組
くむ☆　*酌　シャク
くも　*雲　ウン
くもる　曇　ドン
くやしい　悔　くいる　くやむ　カイ
くやむ　悔
くら　*倉　ソウ
くら　*蔵　ゾウ
くらい　*位　イ
くらい　*暗　アン
くらう☆　*食　くう　たべる　ショク｜ジキ
くらす　暮　くれ(る)　ボ
くらべる　*比　ヒ
くる　*来　きた　☆きたる　☆きたす　こい

つ

ケン　研*　☆とぐ
ケン　県*
ケン　倹
ケン　健*　すこやか
ケン　兼*　かねる
ケン　剣　つるぎ
ケン　軒　のき
ケン　険■　けわしい
ケン　圏
ケン　堅　かたい
ケン　検*
ケン　献　コン｜
ケン　絹*　きぬ
ケン　遣　☆つかう　☆つかわす
ケン　権*　ゴン｜
ケン　憲*
ケン　賢　かしこい
ケン　謙

ケン　繭　まゆ
ケン　顕
ケン　験*　☆ゲン｜
ケン　懸　ケ｜　☆かける　☆かかる
ケン　間*　カン　あいだ　ま
ゲン　元*　ガン　もと
ゲン　幻　まぼろし
ゲン　玄
ゲン　言*　ゴン　いう　こと
ゲン　弦　つる
ゲン　限*　かぎる
ゲン　原*　はら
ゲン　現*　あらわれる　あらわす
ゲン　減*　へる　へらす
ゲン　源*　みなもと
ゲン　厳*　ゴン｜　☆おごそか　☆きびしい
ゲン｜☆　眼*　ガン　まなこ

ゲン｜☆　験*　ケン

〔コ〕

コ　己*　キ　☆おのれ
コ　戸*　と
コ　古*　ふるい　ふるす
コ　呼*　よぶ
コ　固*　かためる　かたまる　かたい
コ　孤
コ　弧
コ　故*　☆ゆえ
コ　枯　かれる　からす
コ　個*　カ
コ　庫*　☆ク｜
コ　湖*　みずうみ
コ　雇　やとう
コ　誇　ほこる
コ　鼓　つづみ

ケイ　＊型　かた
ケイ　契　ちぎる
ケイ　＊計　はかる　はからう
ケイ　恵　エ　めぐむ
ケイ　啓
ケイ　掲　かかげる
ケイ　＊経　キョウ　へる
ケイ　＊敬　うやまう
ケイ　＊景
ケイ　＊軽　かるい　☆かろやか
ケイ　傾　かたむく　かたむける
ケイ　携　たずさえる　たずさわる
ケイ　継　つぐ
ケイ　慶
ケイ　憩　いこい
ケイ　＊警
ケイ　鶏　にわとり

ケイ　°渓
ケイ　＊競　キョウ　きそう　☆せる
ケイ｜　＊境　キョウ　さかい
ゲイ　＊芸
ゲイ　迎　むかえる
ゲイ　鯨　くじら
けがす　汚　けがれる　けがらわしい　☆よごす　☆よごれる　☆きたない　オ
けがらわしい　汚
けがれる　汚
ゲキ　＊劇
ゲキ　激　はげしい
ゲキ　撃　うつ
けす　＊消　きえる　ショウ
けずる　削　サク
ケツ　＊欠　かける　かく
ケツ　＊穴　あな

ケツ　＊血　ち
ケツ　＊決　きめる　きまる
ケツ　＊結　むすぶ　ゆう　☆ゆわえる
ケツ　傑
ケツ　＊潔　いさぎよい
ゲツ　＊月　ガツ　つき
けむい☆　煙　けむり　☆けむる　エン
けむり　煙
けむる☆　煙
けもの　獣　ジュウ
けわしい　＊険　ケン
ケン　＊犬　いぬ
ケン　＊件
ケン　＊見　みる　みえる　みせる
ケン　＊券
ケン　肩　かた
ケン　＊建　☆コン｜　たてる　た

コウ　更　さら(に)　☆ふける　☆ふかす
コウ　*効　☆きく
コウ　*幸　さいわい　☆さち　☆しあわせ
コウ　拘
コウ　肯
コウ　侯
コウ　*厚　あつい
コウ　*後　ゴ　のち　うしろ　☆あと　☆おくれる
コウ　恒
コウ　*皇　オウ
コウ　*紅　ク|　べに　くれない
コウ　荒　あらい　あれる　あらす
コウ　郊
コウ　香　☆キョウ|　か　☆かおり

コウ　*候　☆そうろう
コウ　*校
コウ　*耕　たがやす
コウ　*航
コウ　貢　☆ク|　☆みつぐ
コウ　*降　おりる　おろす　ふる
コウ　*高　たかい　たか　たかまる　たかめる
コウ　*康
コウ　控　ひかえる
コウ　*黄　オウ　き　☆こ|
コウ　慌　☆あわてる　☆あわただしい
コウ　*港　みなと
コウ　硬　☆かたい
コウ　絞　しぼる　しめる　しまる
コウ　項

コウ　*鉱
コウ　*構　かまえる　☆かまう
コウ　溝　(表外字)
コウ　綱　つな
コウ　酵
コウ　稿
コウ　*興　キョウ　おこる　おこす
コウ　衡
コウ　*鋼　☆はがね
コウ　*講
コウ　購
コウ　°洪
コウ☆|　耗　モウ
コウ|　仰　ギョウ　あおぐ　☆おおせ
コウ☆|　*格　カク
こう　恋　こい　こいしい　レン

コ　顧　かえりみる
コ　*去　キョ　さる
コ｜　拠　キョ
コ　虚　キョ
こ　*子　シ　ス
こ　*小　ちいさい　お　ショウ
こ　*粉　こな　フン
こ☆｜　*木　き　ボク　モク
こ☆｜　*黄　き　コウ　オウ
ゴ　*五　いつ　いつつ
ゴ　互　たがい
ゴ　*午
ゴ　呉
ゴ　*後　コウ　のち　うしろ　☆あと　☆おくれる
ゴ　娯
ゴ　悟　さとる
ゴ　御　ギョ　おん

ゴ　碁
ゴ　*語　かたる　かたらう
ゴ　*誤　あやまる
ゴ　*護
ゴ｜　*期　キ
こい　恋　こう　こいしい　レン
こい　*来　きた　☆きたる　☆きたす　くる　こない　ライ
こい　濃　ノウ
こいしい　恋　こう　こい　レン
コウ　*口　ク　くち
コウ　*工　ク
コウ　*公　おおやけ
コウ　孔
コウ　*功　ク｜
コウ　巧　たくみ
コウ　*広　ひろい　ひろまる　ひろめる　ひろがる　ひろげる

コウ　甲　カン
コウ　*交　まじわる　まじえる　まじる　まざる　まぜる　☆かう　☆かわす
コウ　*光　ひかる　ひかり
コウ　*向　むく　むける　むかう　むこう
コウ　*后
コウ　*好　このむ　すく
コウ　江　え
コウ　*考　かんがえる
コウ　*行　ギョウ　アン｜　いく　ゆく　おこなう
コウ　坑
コウ　*孝
コウ　抗
コウ　攻　せめる

こと(に)☆ 殊 シュ
ことぶき 寿 ジュ
ことわる *断 たつ ダン
こな *粉 こ フン
こない *来 きた ☆きたる
☆きたす くる
こい ライ
このむ *好 すく コウ
こばむ 拒 キョ
こまか(い) *細 ほそい ほそる
サイ
こまる *困 コン
こむ 込 こめる
こめ *米 ベイ マイ
こめる 込 こむ
こやし *肥 こえる ☆こえ
こやす ヒ
こやす *肥
こよみ 暦 レキ
こらしめる 懲 こらす こりる
チョウ

こらす 凝 こる ギョウ
こらす 懲 こりる こらしめ
る チョウ
こりる 懲
こる 凝 こらす ギョウ
ころがす☆ *転 ☆ころがる ☆ころ
げる ☆ころぶ
テン
ころがる☆ *転
ころげる☆ *転
ころす *殺 サツ サイ ☆セ
ツ
ころぶ☆ *転 ☆ころがる ☆ころ
げる ☆ころがす
テン
ころも *衣 イ
こわ☆ *声 こえ セイ ☆シ
ョウ
こわい☆ 怖 フ

こわす☆ 壊 ☆こわれる カイ
こわれる☆ 壊
コン *今 キン いま
コン *困 こまる
コン 恨 うらむ うらめし
い
コン *根 ね
コン 婚
コン ■混 まじる まざる
まぜる
コン 紺
コン 魂 たましい
コン 墾
コン 懇 ☆ねんごろ
コン ■金 キン かね ☆か
な
コン 献 ケン
コン☆ *建 ケン たてる た
つ
ゴン *言 ゲン いう こと

こう　請　うける　セイ　シ|ン|
こう|☆　*神　かみ　☆かん|　シン　ジン
ゴウ　*号
ゴウ　*合　☆ガッ　☆カッ|　あう　あわす　あわせる
ゴウ　拷
ゴウ　剛
ゴウ　*強　キョウ　つよい　つよまる　つよめる　☆しいる
ゴウ　*郷　キョウ
ゴウ　*業　ギョウ　☆わざ
ゴウ　豪
こうむる　被　ヒ
こえ　*声　☆こわ|　セイ　☆シ|ヨウ|
こえ☆　*肥　こえる　こやす　こやし　ヒ

こえる　*肥
こえる　越　こす　エツ
こえる☆　超　☆こす　チョウ
こおり　*氷　☆ひ　ヒョウ
こおる　凍　こごえる　トウ
こがす　焦　こげる　こがれる　☆あせる　ショウ
こがれる　焦
コク　克
コク　*告　つげる
コク　*谷　たに
コク　*刻　きざむ
コク　*国　くに
コク　*黒　くろ　くろい
コク　*穀
コク　酷
コク|　*石　セキ　シャク|　いし
ゴク　*極　キョク　☆きわめる　☆きわまる　☆きわみ

ゴク　獄
こげる　焦　こがす　こがれる　☆あせる　ショウ
こごえる　凍　こおる　トウ
ここの(つ)　*九　キュウ　ク
こころ　*心　シン
こころざし　*志　シ　こころざす
こころざす　*志
こころみる　*試　☆ためす　シ
こころよい　*快　カイ
こし　腰　ヨウ
こす　越　こえる　エツ
こす☆　超　☆こえる　チョウ
こたえ(る)　*答　トウ
コツ　*骨　ほね
こと　*言　いう　ゲン　ゴン
こと　*事　ジ　☆ズ|
こと　琴　キン
こと(なる)　*異　イ

さがす　捜　ソウ
さがす☆　*探　さぐる　タン
さかずき　杯　ハイ
さかな☆　*魚　うお　ギョ
さからう　*逆　さか　ギャク
さかる　盛　もる　さかん　セイ　ジョウ
さがる　*下　した　しも　もと　さげる　くだる　くだす　くださる　☆おろす　☆おりる　カ　ゲ
さかん　盛　もる　さかる　セイ　ジョウ
さき　*先　セン
サク　*作　サ　つくる
サク　削　けずる
サク　*昨
サク　索
サク　*策

サク　酢　す
サク　搾　☆しぼる
サク　錯
サク☆　*冊　サツ
さく　咲
さく　裂　さける　レツ
さく☆　*割　わる　わり　われる　カツ
さくら　桜　オウ
さぐる　*探　☆さがす　タン
さけ　*酒　☆さか　シュ
さけぶ　叫　キョウ
さける　裂　さく　レツ
さける　避　ヒ
さげる　*下　した　しも　もと　さがる　くだる　くだす　くださる　☆おろす　☆おりる　カ　ゲ
さげる☆　*提　テイ

ささえる☆　*支　シ
ささる　刺　さす　シ
さす　刺
さす　*差　サ
さす☆　*指　ゆび　シ
さずかる　*授　さずける　ジュ
さずける　*授
さそう　誘　ユウ
さだか　*定　さだめる　さだまる　テイ　ジョウ
さだまる　*定
さだめる　*定
さち☆　*幸　さいわい　☆しあわせ　コウ
サツ　*冊　☆サク
サツ　札　ふだ
サツ　*刷　する
サツ　*殺　サイ　☆セツ　ころす
サツ　*察

ゴン| *権 ケン
ゴン| *厳 ゲン ☆おごそか ☆きびしい
ゴン☆ *勤 キン つとめる つとまる

〔サ〕

サ *左 ひだり
サ 佐
サ☆ *茶 チャ
サ *査
サ *砂 シャ すな
サ 唆 ☆そそのかす
サ *差 さす
サ 詐
サ 鎖 くさり
サ| *作 サク つくる
サ☆ *再 サイ ふたたび
ザ *座 ☆すわる

サイ *才
サイ *再 ☆サ| ふたたび
サイ *西 セイ にし
サイ *災 わざわい
サイ *妻 つま
サイ 砕 くだく くだける
サイ 宰
サイ 栽
サイ 彩 ☆いろどる
サイ *採 とる
サイ *済 すむ すます
サイ *祭 まつる まつり
サイ 斎
サイ *細 ほそい ほそる こまか こまかい
サイ *菜 な
サイ *最 もっとも
サイ *裁 たつ ☆さばく
サイ 債
サイ 催 もよおす

サイ 歳 セイ|
サイ 載 のせる のる
サイ *際 ☆きわ
サイ| *切 セツ きる きれる
サイ| *殺 サツ ☆セツ| ころす
サイ☆| *財 ザイ
ザイ *在 ☆ある
ザイ *材
ザイ 剤
ザイ *財 ☆サイ|
ザイ *罪 つみ
さいわい *幸 コウ ☆さち ☆しあわせ
さか *坂 ハン
さか *逆 さからう ギャク
さか☆| *酒 さけ シュ
さかい *境 キョウ ケイ|
さかえる *栄 ☆はえ エイ

シ *氏 うじ
シ *仕 ☆ジ| つかえる
シ *史
シ *司
シ *四 よ よつ よっつ ☆よん
シ *市 いち
シ☆ *矢 や
シ *示 ジ しめす
シ 旨 むね
シ *次 ジ つぐ つぎ
シ *死 しぬ
シ *糸 いと
シ *自 ジ みずから
シ *至 いたる
シ 伺 うかがう
シ *志 こころざす こころざし
シ *私 わたくし
シ *使 つかう

シ 刺 さす ささる
シ *始 はじめる はじまる
シ *姉 あね
シ 枝 えだ
シ 祉
シ *姿 すがた
シ *思 おもう
シ *指 ゆび ☆さす
シ 施 セ ほどこす
シ *師
シ *紙 かみ
シ 脂 ☆あぶら
シ *視
シ 紫 むらさき
シ *詞
シ *歯 は
シ 嗣
シ *試 こころみる ☆ためす

シ *詩
シ *資
シ 飼 かう
シ *誌
シ 雌 め めす
シ 賜 たまわる
シ 諮 ☆はかる
ジ 示 シ しめす
ジ *地 チ
ジ *字 あざ
ジ *寺 てら
ジ *次 シ つぐ つぎ
ジ *耳 みみ
ジ *自 シ みずから
ジ *似 にる
ジ *児 ニ|
ジ *事 ☆ズ| こと
ジ 侍 さむらい
ジ *治 チ おさめる おさまる ☆なおる

サツ　撮　☆とる
サツ　擦　☆する　☆すれる
サッ☆　早*　ソウ　はやい　はやまる　はやめる
ザツ　雑*　ゾウ
さと　里*　リ
さとす☆　諭　ユ
さとる　悟　ゴ
さばく☆　裁*　たつ　サイ
さび　寂　さびしい　さびれる　ジャク　☆セキ
さびしい　寂
さびれる　寂
さま　様*　ヨウ
さます☆　冷*　つめたい　ひえる　ひや　ひやす　ひやかす　☆さめる　レイ
さます☆　覚*　おぼえる　☆さめる　カク

さまたげる　妨　ボウ
さむい　寒*　カン
さむらい　侍　ジ
さめる☆　冷*　つめたい　ひえる　ひや　ひやす　ひやかす　☆さます　レイ
さめる☆　覚*　おぼえる　☆さます　カク
さら(に)　更　☆ふける　☆ふかす　コウ
さる　去*　キョ　コ
さわ　沢　タク
さわぐ　騒　ソウ
さわる☆　障*　ショウ
さわる☆　触　ふれる　ショク
サン　三*　み　みつ　みっつ
サン　山*　やま
サン　参*　まいる

サン　蚕*　かいこ
サン　惨　☆ザン　☆みじめ
サン　産*　うむ　うまれる　☆うぶ
サン　散*　ちる　ちらす　ちらかす　ちらかる
サン　算*
サン　酸*　☆すい
サン　賛*
サン　桟
ザン　残*　のこる　のこす
ザン☆　惨　サン　☆みじめ
ザン　暫

〔シ〕

シ　士*
シ　子*　ス　こ
シ　支*　☆ささえる
シ　止*　とまる　とめる

シチ ＊質 シツ ☆チ
シツ ＊失 うしなう
シツ ＊室 むろ
シツ 疾
シツ 執 シュウ とる
シツ 湿 しめる しめす
シツ 漆 うるし
シツ ＊質 シチ ☆チ
ジツ ＊日 ニチ ひ か
ジツ ＊実 み みのる
ジッ★ ＊十 ジュウ とお ☆と
しな ＊品 ヒン
しぬ ＊死 シ
しのばせる 忍 しのぶ ニン
しのぶ 忍
しば 芝
しばる 縛 バク
しぶ(い) 渋 しぶる ジュウ
しぶる 渋
しぼる 絞 しめる しまる

コウ
しぼる☆ 搾 サク
しま ＊島 トウ
しまる☆ ＊閉 とじる とざす ☆しめる ヘイ
しまる 絞 しぼる しめる コウ
しまる 締 しめる テイ
しみ☆ ＊染 そめる そまる ☆しみる セン
しみる☆ ＊染
しめす ＊示 ジ シ
しめす 湿 しめる シツ
しめる 湿
しめる 占 うらなう セン
しめる☆ ＊閉 とじる とざす ☆しまる ヘイ
しめる 絞 しぼる しまる コウ
しめる 締 しまる テイ

しも ＊下 した もと さげる さがる くだる くだす くださる ☆おろす ☆おりる カ ゲ
しも 霜 ソウ
シャ ＊写 うつす うつる
シャ ＊社 やしろ
シャ ＊車 くるま
シャ ＊舎
シャ ＊者 もの
シャ ＊射 いる
シャ ＊捨 すてる
シャ 赦
シャ 斜 ななめ
シャ 煮 にる にえる にやす
シャ ＊謝 ☆あやまる
シャ ＊砂 サ すな
ジャ 邪

☆なおす
ジ　*持　もつ
ジ　*時　とき
ジ　滋
ジ　慈　☆いつくしむ
ジ　*辞　☆やめる
ジ　*磁
ジ　△璽
ジ|☆　*仕　シ　つかえる
ジ|☆　*除　ジョ　のぞく
じ　*路　ロ
しあわせ☆　*幸　さいわい　☆さち　コウ
しいたげる☆　虐　ギャク
しいる☆　*強　つよい　つよまる　つよめる　キョウ　ゴウ
しお　*塩　エン
しお　*潮　チョウ
シキ　*式

シキ　*色　ショク　いろ
シキ　*織　ショク　おる
シキ　*識
ジキ　*直　チョク　ただちに　なおす　なおる
ジキ|　*食　ショク　くう　☆くらう　たべる
しく　敷　フ
ジク　軸
しげる　茂　モ
しず(か)　*静　しずまる　しずめる　セイ　ジョウ|
しずく☆　滴　☆したたる　テキ
しずまる　*静　しず　しずか　しずめる　セイ　ジョウ|
しずまる☆　鎮　☆しずめる　チン
しずむ　沈　しずめる　チン
しずめる　沈
しずめる　*静　しず　しずか　しずまる　セイ　ジョウ|
しずめる　鎮　しずまる　チン

した　*下　しも　もと　さげる　さがる　くだる　くだす　くださる　☆おろす　☆おりる　カ　ゲ
した　*舌　ゼツ
したう　慕　ボ
したがう　*従　したがえる　ジュウ　☆ジョウ|　☆ジュ|
したがえる　*従
したしい　*親　おや　したしむ　シン
したしむ　*親
したたる☆　滴　☆しずく　テキ
シチ　*七　なな　ななつ　☆なの|

音	字	読み
シュウ	修*	シュ おさめる おさまる
シュウ	執	シツ とる
シュウ	終*	おわる おえる
シュウ	習*	ならう
シュウ	週*	
シュウ	就*	ジュ ☆つく ☆つける
シュウ	衆	シュ
シュウ	集*	あつまる あつめる ☆つどう
シュウ	愁	☆うれい
シュウ	酬	
シュウ	醜	みにくい
シュウ	襲	おそう
シュウ☆	祝*	シュク いわう
ジュウ	十*	☆ジッ とお ☆と
ジュウ	充	あてる
ジュウ	住*	すむ すまう
ジュウ	拾*	シュウ ひろう
ジュウ	汁	しる
ジュウ	柔	ニュウ やわらか やわらかい
ジュウ	重*	チョウ え おもい かさねる かさなる
ジュウ	従*	☆ジョウ ☆ジュ したがう したがえる
ジュウ	渋	しぶ しぶい しぶる
ジュウ	銃	
ジュウ	獣	けもの
ジュウ	縦*	たて
シュク	叔	
シュク	祝*	☆シュウ いわう
シュク	宿*	やど やどる やどす
シュク	淑	
シュク	粛	
シュク	縮*	ちぢむ ちぢまる ちぢめる ちぢれる ちぢらす
ジュク	塾	(表外字)
ジュク	熟*	☆うれる
シュツ	出*	スイ でる だす
ジュツ	述*	のべる
ジュツ	術*	
シュン	俊	
シュン	春*	はる
シュン	瞬	☆またたく
ジュン	旬	
ジュン	巡	めぐる
ジュン	盾	☆たて
ジュン	准	
ジュン	殉	
ジュン	純*	
ジュン	循	
ジュン	順*	
ジュン	準*	

シャク　勺
シャク　*尺
シャク　*借　かりる
シャク　*釈
シャク　°酌　☆くむ
シャク　△爵
シャク|　*石　セキ　コク|　いし
シャク|　*赤　セキ　あか　あかい　あからむ　あからめる
シャク|　昔　セキ　むかし
ジャク　*若　☆ニャク|　わかい　もしくは
ジャク　*弱　よわい　よわる　よわまる　よわめる
ジャク　寂　☆セキ|　さび　さびしい　さびれる
ジャク☆|　*着　チャク　きる　きせる　つく　つける

る
シュ　*手　て　☆た|
シュ　*主　ス|　ぬし　☆おも
シュ　*守　ス|　まもる　☆もり
シュ　朱
シュ　*取　とる
シュ　狩　かる　かり
シュ　*首　くび
シュ　殊　☆こと(に)
シュ　珠
シュ　*酒　さけ　☆さか|
シュ　*種　たね
シュ　趣　おもむき
シュ|　*修　シュウ　おさめる　おさまる
ジュ|　*衆　シュウ
ジュ　寿　ことぶき
ジュ　*受　うける　うかる
ジュ　*授　さずける　さずかる

る
ジュ　*需
ジュ　儒
ジュ　*樹
ジュ|　*就　シュウ　☆つく　☆つける
ジュ☆|　*従　ジュウ　☆ショウ|　したがう　したがえる
シュウ　*収　おさめる　おさまる
シュウ　囚
シュウ　*州　す
シュウ　舟　ふね　☆ふな|
シュウ　秀　☆ひいでる
シュウ　*周　☆まわり
シュウ　*宗　ソウ
シュウ　*拾　ジュウ　ひろう
シュウ　*秋　あき
シュウ　臭　くさい

ショウ　勝*　かつ　☆まさる
ショウ　掌
ショウ　晶
ショウ　焼*　やく　やける　こげる　こがす　こがれる　☆あせる
ショウ　焦
ショウ　硝
ショウ　粧
ショウ　装　ソウ　よそおう
ショウ　詔　みことのり
ショウ　証*
ショウ　象*　ゾウ
ショウ　傷*　きず　☆いたむ　☆いためる
ショウ　奨
ショウ　照*　てる　てらす　てれる
ショウ　詳　くわしい
ショウ　彰

ショウ　障*　☆さわる
ショウ　衝
ショウ　賞*
ショウ　償　つぐなう
ショウ　礁
ショウ　鐘　かね
ショウ　尚°
ショウ　宵°　よい
ショウ☆　清*　セイ　きよい　きよまる　きよめる
ショウ　精*　セイ
ショウ　政*　セイ　まつりごと
ショウ　青*　セイ　あお　あおい
ショウ　星*　セイ　ほし
ショウ　井　セイ　い
ショウ☆　上*　ジョウ　うえ　☆うわ　かみ　あげる　あがる　のぼる　のぼせる　のぼす

ショウ☆　声*　セイ　こえ　☆こわ
ショウ☆　従*　ジュウ　☆ジュ　したがう　したがえる
ジョウ　上*　☆ジョウ　うえ　☆うわ　かみ　あげる　あがる　のぼる　のぼせる　のぼす
ジョウ　丈　☆たけ
ジョウ　冗
ジョウ　条*
ジョウ　状*
ジョウ　定*　テイ　さだめる　さだまる　さだか
ジョウ　乗*　のる　のせる
ジョウ　城*　しろ
ジョウ　浄
ジョウ　剰
ジョウ　常*　つね　☆とこ

- ジュン 潤 うるおう うるおす ☆うるむ
- ショ *処
- ショ *初 はじめ はじめて はつ ☆うい ☆そめる
- ショ *所 ところ
- ショ *書 かく
- ショ 庶
- ショ *暑 あつい
- ショ *署
- ショ *緒 ☆チョ お
- ショ *諸
- ジョ *女 ニョ ☆ニョウ おんな ☆め
- ジョ 如 ニョ
- ジョ *助 たすける たすかる すけ
- ジョ *序
- ジョ 叙

- ジョ 徐
- ジョ *除 ☆ジ のぞく
- ショウ *小 ちいさい こ お
- ショウ 升 ます
- ショウ *少 すくない すこし
- ショウ 召 めす
- ショウ *正 セイ ただしい ただす ☆まさ
- ショウ *生 セイ いきる いかす いける うまれる うむ ☆おう ☆はえる ☆はやす き なま
- ショウ 匠
- ショウ 床 とこ ゆか
- ショウ 抄
- ショウ 肖
- ショウ 姓 セイ
- ショウ *性 セイ
- ショウ *招 まねく

- ショウ *承 うけたまわる
- ショウ 昇 ☆のぼる
- ショウ 松 まつ
- ショウ 沼 ぬま
- ショウ *昭
- ショウ *相 ソウ あい
- ショウ *省 セイ かえりみる はぶく
- ショウ *将
- ショウ *消 きえる けす
- ショウ 症
- ショウ 祥
- ショウ *称
- ショウ *笑 わらう ☆えむ
- ショウ *唱 となえる
- ショウ *商 あきなう
- ショウ 渉
- ショウ *章
- ショウ 紹
- ショウ 訟

シン 紳
シン *進 すすむ すすめる
シン *森 もり
シン 診 ☆みる
シン 寝 ねる ねかす
シン 慎 つつしむ
シン *新 あたらしい あらた ☆にい
シン 審
シン 震 ふるう ふるえる
シン 薪 ☆たきぎ
シン *親 おや したしい したしむ
ジン| 請 セイ こう うける
ジン *人 ニン ひと
ジン 刃 は
ジン *仁 ☆ニ|
ジン 尽 つくす つきる つかす

ジン ▲迅
ジン☆ *臣 シン
ジン *神 シン かみ ☆かん| ☆こう|
ジン 陣
ジン 尋 たずねる

〔ス〕

ス *素 ソ
ス *子 シ こ
ス| *主 シュ ぬし ☆おも
ス| *守 シュ まもる ☆もり
ス|☆ *数 スウ かず かぞえる
す 巣 ソウ
す 酢 サク
す *州 シュウ

ズ *図 ト はかる
ズ *頭 トウ ☆ト| あたま ☆かしら
ズ| 豆 トウ まめ
ズ|☆ *事 ジ こと
スイ *水 みず
スイ 吹 ふく
スイ *垂 ☆たれる ☆たらす
スイ 炊 ☆たく
スイ 帥
スイ 粋
スイ 衰 おとろえる
スイ *推 おす
スイ 酔 よう
スイ 遂 とげる
スイ 睡
スイ 穂 ほ
スイ 錘 つむ
スイ| *出 シュツ でる だす

ジョウ　*情　☆セイ｜　なさけ
ジョウ　*場　ば
ジョウ　畳　☆たたむ　たたみ
ジョウ　*蒸　むす　むれる　むらす
ジョウ　嬢
ジョウ　錠
ジョウ　譲　ゆずる
ジョウ　醸　☆かもす
ジョウ　°壌
ジョウ｜　*成　セイ　なる　なす
ジョウ｜　*静　セイ　しず　しずか　しずまる　しずめる
ジョウ｜　盛　セイ　もる　さかる　さかん
ショク　*色　シキ　いろ
ショク　*食　ジキ｜　くう　☆くらう　たべる
ショク　*植　うえる　うわる

ショク　殖　☆ふえる　☆ふやす
ショク　飾　かざる
ショク　触　ふれる　☆さわる
ショク　嘱
ショク　*織　シキ　おる
ショク　*職
ジョク　辱　☆はずかしめる
しら☆｜　*白　しろ　しろい　ハク　ビャク
しらべる　*調　☆ととのう　☆ととのえる　チョウ
しりぞく　*退　しりぞける　タイ
しりぞける　*退
しる　°汁　ジュウ
しる　*知　チ
しるし　*印　イン
しるす☆　*記　キ
しろ☆　*代　かわる　かえる　よ　ダイ　タイ
しろ　*城　ジョウ

しろ(い)　*白　☆しら｜　ハク　ビャク
シン　*心　こころ
シン　*申　もうす
シン　伸　のびる　のばす
シン　*臣　☆ジン
シン　*身　み
シン　辛　からい
シン　侵　おかす
シン　*信
シン　津　つ
シン☆　*神　ジン　かみ　☆かん｜　☆こう｜
シン　娠
シン　振　ふる　☆ふるう
シン　浸　ひたす　ひたる
シン　*真　ま
シン　*針　はり
シン　*深　ふかい　ふかまる　ふかめる

すれる　擦　サツ　☆する
すわる☆　*座　ザ
スン　*寸

〔セ〕

セ　*世　セイ　よ
セ　施　シ　ほどこす
せ　畝　☆うね
せ　瀬
せ　*背　☆せい　☆そむく　☆そむける　ハイ
ゼ　*是
セイ　井　ショウ　い
セイ　*世　セ　よ
セイ　*正　ショウ　ただしい　ただす　☆まさ
セイ　*生　ショウ　いきる　いかす　いける　うまれる　うむ

☆おう　☆はえる　☆はやす　き　なま
セイ　*成　ジョウ　なる　なす
セイ　*西　サイ　にし
セイ　*声　☆ショウ　こえ　☆こわ
セイ　*制
セイ　姓　ショウ
セイ　征
セイ　*性　ショウ
セイ　*青　ショウ　あお　あおい
セイ　*政　ショウ　まつりごと
セイ　*星　ショウ　ほし
セイ　牲
セイ　*省　ショウ　かえりみる　はぶく

セイ　*清　☆ショウ　きよい　きよまる　きよめる
セイ　盛　ジョウ　もる　さかる　さかん
セイ　婿　むこ
セイ　*晴　はれる　はらす
セイ　*勢　いきおい
セイ　*聖
セイ　*誠　まこと
セイ　*精　ショウ
セイ　*製
セイ　誓　ちかう
セイ　*静　ジョウ　しず　しずか　しずまる　しずめる
セイ　請　シン　こう　うける
セイ　*整　ととのえる　ととのう

すい☆　*酸　サン
ズイ　随
ズイ　髄
スウ　枢
スウ　崇
スウ　*数　☆ス　かず　かぞえる
すう　*吸　キュウ
すえ　*末　マツ　☆バツ
すえる　据
すかす　透　すく　すける　トウ
すがた　*姿　シ
すぎ　°杉
すぎる　*過　すごす　☆あやまつ　☆あやまち　カ
すく　*好　このむ　コウ
すく　透　すかす　すける　トウ

すくう　*救　キュウ
すくない　*少　すこし　ショウ
すぐれる☆　*優　やさしい　ユウ
すけ　*助　たすける　たすかる　ジョ
すける　透　すく　すかす　トウ
すこし　*少　すくない　ショウ
すごす　*過　すぎる　☆あやまつ　☆あやまち　カ
すこやか　*健　ケン
すじ　*筋　キン
すず　鈴　レイ　リン
すずしい　涼　すずむ　リョウ
すすむ　*進　すすめる　シン
すずむ　涼　すずしい　リョウ
すすめる　*進　すすむ　シン
すすめる　*勧　カン
すすめる☆　薦　セン

すたる☆　廃　☆すたれる　ハイ
すたれる☆　廃
すでに　既　キ
すてる　*捨　シャ
すな　*砂　サ　シャ
すべる☆　滑　☆なめらか　カツ
すべる　*統　トウ
すまう　*住　すむ　ジュウ
すます　*済　すむ　サイ
すます　澄　すむ　チョウ
すみ　*炭　タン
すみ　墨　ボク
すみやか☆　*速　はやい　はやめる　ソク
すむ　*住　すまう　ジュウ
すむ　*済　すます　サイ
すむ　澄　すます　チョウ
する　*刷　サツ
する☆　擦　☆すれる　サツ
するどい　鋭　エイ

セン　*専　☆もっぱら
セン　*泉　いずみ
セン　*浅　あさい
セン　*洗　あらう
セン　*染　そめる　そまる　☆しみる　☆しみ
セン　扇　おうぎ
セン　旋
セン　*船　ふね　☆ふな
セン　*戦　☆いくさ　たたかう(い)
セン　践
セン　*銭　ぜに
セン　銑
セン　潜　ひそむ　☆もぐる
セン　*線
セン　遷
セン　*選　えらぶ
セン　薦　☆すすめる
セン　繊
セン　鮮　☆あざやか

ゼン　*全　まったく
ゼン　*前　まえ
ゼン　*善　☆よい
ゼン　*然　ネン
ゼン　禅
ゼン　漸
ゼン　繕　つくろう

〔ソ〕

ソ　阻　☆はばむ
ソ　*祖
ソ　租
ソ　*素　ス
ソ　措
ソ　粗　☆あらい
ソ　*組　くむ　くみ
ソ　疎　☆うとい　☆うとむ
ソ　訴　うったえる
ソ　塑

ソ　礎　いしずえ
ソ☆　*想　ソウ
ソウ　双　☆ふた
ソウ　壮
ソウ　*早　☆サッ　はやい　はやまる　はやめる
ソウ　曹　(表外字)
ソウ　*争　あらそう
ソウ　*走　はしる
ソウ　*宗　シュウ
ソウ　*奏　☆かなでる
ソウ　*相　ショウ　あい
ソウ　荘
ソウ　*草　くさ
ソウ　*送　おくる
ソウ　*倉　くら
ソウ　捜　さがす
ソウ　桑　くわ
ソウ　掃　はく
ソウ　巣　す

セイ　°斉
せい☆　*背　せ　☆そむく　☆そむける　ハイ
セイ|　歳　サイ
セイ☆|　*情　ジョウ　なさけ
ゼイ　*税
ゼイ|　*説　セツ　とく
セキ　*夕　ゆう
セキ　斥
セキ　*石　シャク|　コク|　い　し
セキ　*赤　シャク|　あか　あかい　あからむ　あからめる
セキ　昔　シャク|　むかし
セキ　析
セキ　隻
セキ　*席
セキ　惜　おしい　おしむ
セキ　*責　せめる

セキ　跡　あと
セキ　*積　つむ　つもる
セキ　*績
セキ　籍
セキ☆|　寂　ジャク　さび　さびしい　さびれる
せき　*関　カン
セチ☆|　*節　セツ　ふし
セツ　*切　サイ|　きる　きれる
セツ　*折　おる　おり　おれる
セツ　拙
セツ　窃
セツ　*接　☆つぐ
セツ　*設　もうける
セツ　*雪　ゆき
セツ　摂
セツ　*節　☆セチ|　ふし
セツ　*説　ゼイ|　とく

セツ☆|　*殺　サツ　サイ|　ころす
ゼツ　*舌　した
ゼツ　*絶　たえる　たやす　たつ
ぜに　*銭　セン
せばまる☆　狭　せまい　☆せばめる　キョウ
せばめる☆　狭
せまい　狭
せまる　迫　ハク
せめる　攻　コウ
せめる　*責　セキ
せる☆　*競　きそう　キョウ　ケイ
セン　*千　ち
セン　*川　かわ
セン　占　しめる　うらなう
セン　*先　さき
セン　*宣

そなえる　*供　とも　キョウ　ク
そなえる　*備　そなわる　ビ
そなわる　*備
その　*園　エン
そまる　*染　そめる　☆しみる　☆しみ　セン
そむく☆　*背　せ　☆せい　☆そ　むける　ハイ
そむける☆　*背
そめる☆　*初　はじめ　はじめて　はつ　☆うい　シ　■
そめる　*染　そまる　☆しみる　☆しみ　セン
そら　*空　☆あく　☆あける　☆から　クウ
そらす☆　*反　☆そる　ハン　☆ホン　タン
そる☆　*反
ソン　*存　ゾン

ソン　*村　むら
ソン　*孫　まご
ソン　*尊　たっとい　☆とうとい　たっとぶ　☆とうとぶ
ソン　*損　☆そこなう　☆そこねる
ゾン　*存　ソン

〔タ〕

タ　*他
タ　*多　おおい
タ　*太　タイ　ふとい　ふとる
た　*田　デン
た☆　*手　て　シュ
ダ　*打　うつ
ダ　妥
ダ　堕

ダ　惰
タイ　*大　ダイ　おお　おおきい　おおいに
タイ　*太　タ　ふとい　ふとる
タイ　*対　ツイ
タイ　*体　テイ　☆からだ
タイ　耐　たえる
タイ　*待　まつ
タイ　怠　おこたる　☆なまける
タイ　胎
タイ　*退　しりぞく　しりぞける
タイ　*帯　おびる　おび
タイ　泰
タイ　袋　ふくろ
タイ　逮
タイ　替　かえる　かわる
タイ　*貸　かす

ソウ *窓 まど
ソウ *創
ソウ 喪 も
ソウ 葬 ほうむる
ソウ 装 ショウ よそおう
ソウ 僧
ソウ *想 ☆ソ|
ソウ *層
ソウ *総
ソウ 遭 ☆あう
ソウ *操 みさお ☆あやつる
ソウ 燥
ソウ 霜 しも
ソウ 騒 さわぐ
|ソウ☆ 贈 ゾウ おくる
そう *沿 エン
そう 添 そえる テン
そうろう☆ *候 コウ
ゾウ *造 つくる

ゾウ *象 ショウ
ゾウ *像
ゾウ *増 ☆ます ☆ふえる ☆ふやす
ゾウ 憎 にくむ にくい にくらしい にくしみ
ゾウ *雑 ザツ
ゾウ *蔵 くら|
ゾウ 贈 ☆ソウ おくる
ゾウ *臓
そえる 添 そう テン
ソク 即
ソク 束 たば
ソク *足 あし たりる たる たす
ソク *則
ソク 促 うながす
ソク *息 いき
ソク *速 はやい はやめる ☆すみやか

ソク *側 かわ
ソク *測 はかる
ゾク *俗
ゾク *族
ゾク *属
ゾク 賊
ゾク *続 つづく つづける
そこ *底 テイ
そこなう☆ *損 ☆そこねる ソン
そこねる☆ *損
そそぐ *注 チュウ
そそのかす☆ 唆 サ
そだつ *育 そだてる イク
そだてる *育
ソツ *卒
ソツ *率 リツ ひきいる
そと *外 ほか ☆はずす ☆はずれる ガイ ゲ

たずさわる　携　たずさえる　ケイ
たずねる☆　*訪　おとずれる　ホウ
たずねる　尋　ジン
たたかう(い)　*戦　☆いくさ　セン
たたかう☆　闘　トウ
ただしい　*正　ただす　☆まさ　セイ　ショウ
ただす　*正
ただちに　*直　なおす　なおる　チョク　ジキ
たたみ　畳　☆たたむ　ジョウ
たたむ☆　畳
ただよう　漂　ヒョウ
タツ　*達
たつ　*立　たてる　リツ　☆リュウ|
たつ　*建　たてる　ケン　☆コン|
たつ☆　●竜　リュウ　☆リョウ

たつ　*断　ことわる　ダン
たつ　*裁　☆さばく　サイ
たつ　*絶　たえる　たやす　ゼツ
ダツ　脱　ぬぐ　ぬげる
ダツ　奪　うばう
たっとい☆　*貴　☆とうとい　☆たっとぶ　☆とうとぶ　キ
たっとい　*尊　☆とうとい　たっとぶ　☆とうとぶ　ソン
たっとぶ　*尊
たっとぶ☆　*貴　☆たっとい　☆とう　とい　☆とうとぶ　キ
たて☆　盾　ジュン
たて　*縦　ジュウ
たてまつる　奉　ホウ　☆ブ|
たてる　*立　たつ　リツ　☆リ|ュウ|

たてる　*建　たつ　ケン　☆コ|ン|
たとえる☆　*例　レイ
たに　*谷　コク
たね　*種　シュ
たのしい　*楽　たのしむ　ガク　ラク
たのしむ　*楽
たのむ　頼　たのもしい　☆たよる　ライ
たのもしい　頼
たば　束　ソク
たび☆　*度　ド　☆ト　☆タク|
たび　*旅　リョ
たべる　*食　くう　☆くらう　ショク　ジキ|
たま　*玉　ギョク
たま☆　*球　キュウ
たま☆　弾　☆ひく　☆はずむ　ダン

タイ　隊*
タイ　滞　とどこおる
タイ　態*
タイ☆　代*　ダイ　かわる　かえる　よ　☆しろ
タイ　台*　ダイ
ダイ　大*　タイ　おお　おおきい　おおいに
ダイ　代*　☆タイ　かわる　かえる　よ　☆しろ
ダイ　台*　タイ
ダイ　第*
ダイ　題*
ダイ　内*　ナイ　うち
ダイ　弟*　テイ　☆デ　おとうと
たいら　平*　ひら　ヘイ　ビョウ
たえる　耐　タイ
たえる　絶*　たやす　たつ　ゼツ

たおす　倒　たおれる　トウ
たおれる　倒
たか(い)　高*　たかまる　たかめる　コウ
たがい　互　ゴ
たかまる　高*　たか　たかい　たかめる　コウ
たかめる　高*
たがやす　耕*　コウ
たから　宝*　ホウ
たき　滝
たきぎ☆　薪　シン
タク　宅*
タク　択
タク　沢　さわ
タク　卓
タク　拓
タク　託
タク☆　度*　ド　☆ト　☆たび

たく☆　炊　スイ
ダク　諾
ダク　濁　にごる　にごす
だく　抱　☆いだく　☆かかえる　ホウ
たくみ　巧　コウ
たくわえる☆　蓄　チク
たけ☆　丈　ジョウ
たけ　竹*　チク
たけ　岳　ガク
たしか　確*　たしかめる　カク
たしかめる　確*
たす　足*　あし　たりる　たる　ソク
だす　出*　でる　シュツ　スイ
たすかる　助*　たすける　すけ　ジョ
たすける　助*
たずさえる　携　たずさわる　ケイ

い

チ	致	☆いたす
チ	遅	おくれる　おくらす　☆おそい
チ	痴	
チ	稚	
チ	*置	おく
チ☆	*質	シツ　シチ
ち	*千	セン
ち	*血	ケツ
ち	*乳	ちち　ニュウ
ちいさい	*小	こ　お　ショウ
ちかい	*近	キン
ちかう	誓	セイ
ちがう	違	ちがえる　イ
ちがえる	違	
ちから	*力	リョク　リキ
ちぎる	契	ケイ
チク	*竹	たけ
チク	畜	
チク	逐	
チク	蓄	☆たくわえる
チク	*築	きずく
ちち	*父	フ
ちち	*乳	ち　ニュウ
ちぢまる	*縮	ちぢむ　ちぢめる　ちぢれる　ちぢらす　シュク
ちぢむ	*縮	
ちぢめる	*縮	
ちぢらす	*縮	
ちぢれる	*縮	
チツ	秩	
チツ	窒	
チャ	*茶	☆サ
チャク	*着	☆ジャク　きる　きせる　つく　つける
チャク	嫡	
チュウ	*中	なか
チュウ	*仲	なか
チュウ	*虫	むし
チュウ☆	沖	おき
チュウ	*宙	
チュウ	*忠	
チュウ	抽	
チュウ	*注	そそぐ
チュウ	*昼	ひる
チュウ	*柱	はしら
チュウ	衷	
チュウ	鋳	いる
チュウ	駐	
チョ	*著	あらわす　いちじるしい
チョ	*貯	
チョ☆	緒	ショ　お
チョウ	*丁	テイ
チョウ	弔	とむらう
チョウ	*庁	
チョウ	*兆	☆きざす　☆きざし

たま☆ 霊 レイ ☆リョウ
たまご *卵 ラン
たましい 魂 コン
だまる 黙 モク
たまわる 賜 シ
たみ *民 ミン
ためす☆ *試 こころみる シ
たもつ *保 ホ
たやす *絶 たえる たつ ゼ
ツ
たより☆ *便 ベン ビン
たよる☆ 頼 たのむ たのもし
い ライ
たらす☆ *垂 ☆たれる スイ
たりる *足 あし たる たす
ソク
たる *足
たれる☆ *垂 ☆たらす スイ
たわむれる 戯 ギ
たわら *俵 ヒョウ

タン △丹
タン *担 ☆かつぐ ☆になう
タン *単
タン *炭 すみ
タン 胆
タン *探 さぐる ☆さがす
タン 淡 あわい
タン *短 みじかい
タン 嘆 なげく なげかわ
しい
タン 端 はし ☆は ☆は
た
タン 誕
タン 鍛 きたえる
タン| *反 ハン ☆ホン| ☆そ
る ☆そらす
タン☆| 壇 ダン
ダン *団 ☆トン|
ダン *男 ナン おとこ
ダン *段

ダン *断 たつ ことわる
ダン 弾 ☆ひく ☆はずむ
☆たま
ダン *暖 あたたか あたた
かい あたたまる
あたためる
ダン *談
ダン 壇 ☆タン|

〔チ〕

チ *地 ジ
チ *池 いけ
チ *知 しる
チ *治 ジ おさめる お
さまる ☆なおる
☆なおす
チ *値 ね あたい
チ 恥 はじる はじ は
じらう はずかし

つかす　尽　つくす　つきる　ジン
つかまえる☆　捕　とらえる　とらわれる　☆とる　☆つかまる　ホ
つかまる☆　捕
つからす　疲　つかれる　ヒ
つかれる　疲
つかわす☆　遣　☆つかう　ケン
つき　*月　ゲツ　ガツ
つぎ　*次　つぐ　ジ　シ
つきる　尽　つくす　つかす　ジン
つく　*付　つける　フ
つく　*着　きる　きせる　つける　チャク　☆ジャク
つく☆　*就　☆つける　シュウ　ジュ
つく　突　トツ

つぐ　*次　つぎ　ジ　シ
つぐ　継　ケイ
つぐ☆　*接　セツ
つくえ　*机　キ
つくす　尽　つきる　つかす　ジン
つぐなう　償　ショウ
つくる　*作　サク　サ
つくる　*造　ゾウ
つくろう　繕　ゼン
つける　*付　つく　フ
つける　*着　きる　きせる　つく　チャク　☆ジャク
つける☆　*就　☆つく　シュウ　ジュ
つげる　*告　コク
つたう　*伝　つたわる　つたえる　デン
つたえる　*伝

つたわる　*伝
つち　*土　ド　ト
つちかう☆　培　バイ
つつ　筒　トウ
つづく　*続　つづける　ゾク
つづける　*続
つつしむ　慎　シン
つつしむ☆　謹　キン
つつみ　堤　テイ
つづみ　鼓　コ
つつむ　*包　ホウ
つどう☆　*集　あつまる　あつめる　シュウ
つとまる　*勤　つとめる　キン　☆ゴン
つとめる　*勤
つとめる　*努　ド
つとめる☆　*務　ム
つな　綱　コウ
つね　*常　☆とこ　ジョウ

チョウ　町*　まち
チョウ　長*　ながい
チョウ　重*　ジュウ　え　おも　い　かさねる　かさなる
チョウ　帳*
チョウ　張*　はる
チョウ　彫　ほる
チョウ　頂*　☆いただく　いただき
チョウ　鳥*　とり
チョウ　朝*　あさ
チョウ　超　☆こえる　☆こす
チョウ　腸*
チョウ　跳　☆はねる　☆とぶ
チョウ　徴
チョウ　潮*　しお
チョウ　澄　すむ　すます
チョウ　調*　しらべる　☆ととのう　☆ととのえる
チョウ　聴　☆きく
チョウ　懲　こりる　こらす　こらしめる
チョウ　挑°　☆いどむ
チョウ☆　釣°　つる　つり
チョク　直*　ジキ　ただちに　なおす　なおる
チョク　勅
ちらかす　散*　ちる　ちらす　ちらかる　サン
ちらかる　散*
ちらす　散*
ちる　散*
チン　沈　しずむ　しずめる
チン　珍　めずらしい
チン　陳
チン　賃*
チン　鎮　☆しずめる　☆しずまる

〔ツ〕

ツ　都*　ト　みやこ
ツ|☆　通*　ツウ　とおる　とおす　かよう
つ　津　☆シン
ツイ　追*　おう
ツイ　墜
ツイ　対*　タイ
ついえる　費*　ついやす　ヒ
ついやす　費*
ツウ　通*　☆ツ|　とおる　とおす　かよう
ツウ　痛*　いたい　いたむ　いためる
つか　塚　(表外字)
つかう　使*　シ
つかう☆　遣　☆つかわす　ケン
つかえる　仕*　シ　☆ジ|

テイ　帝
テイ　*庭　にわ
テイ　訂
テイ　*停
テイ　堤　つつみ
テイ　▲逓
テイ　*提　☆さげる
テイ　*程　☆ほど
テイ　艇
テイ　締　しまる　しめる
テイ　*体　タイ　☆からだ
テイ　亭
テイ　°偵
デイ　°泥　どろ
テキ　*的　まと
テキ　笛　ふえ
テキ　摘　つむ
テキ　滴　☆しずく　☆したたる
テキ　*適

テキ　*敵　☆かたき
テツ　迭
テツ　哲
テツ　*鉄
テツ　徹
テツ　撤
てら　*寺　ジ
てらす　*照　てる　てれる　ショウ
てる　*照
でる　*出　だす　シュツ　スイ
てれる　*照　てる　てらす　ショウ
テン　*天　あめ　☆あま
テン　*典
テン　*店　みせ
テン　*点
テン　*展
テン　添　そえる　そう

テン　*転　☆ころがる　☆ころげる　☆ころがす　☆ころぶ
テン　殿　デン　との　どの
デン　*田　た
デン　*伝　つたわる　つたえる　つたう
デン　殿　テン　との　どの
デン　*電

〔ト〕

ト　*土　ド　つち
ト　斗
ト　吐　はく
ト　*図　ズ　はかる
ト　*徒
ト　途
ト　*都　ツ　みやこ
ト　渡　わたる　わたす

つの　*角　☆かど　カク
つのる　募　ボ
つばさ　翼　ヨク
つぶ　粒　リュウ
つぼ　坪
つま　*妻　サイ
つまる　詰　キツ　つめる　つむ
つみ　*罪　ザイ
つむ　*積　つもる　セキ
つむ　摘　テキ
つむ　詰　キツ　つまる　つめる
つむ　錘　スイ
つむぐ　紡　ボウ
つめたい　*冷　ひえる　ひや　ひやす　ひやかす　☆さめる　☆さます　レイ
つめる　詰　つまる　つむ

キツ
つもる　*積　つむ　セキ
つゆ　露　ロ
つよい　*強　つよまる　つよめる　☆しいる　キョウ　ゴウ
つよまる　*強
つよめる　*強
つら☆　*面　おも　おもて　メン
つらなる　*連　つらねる　つれる　レン
つらぬく　貫　カン
つらねる　*連　つらなる　つれる　レン
つり　釣　つる　☆チョウ
つる　釣°
つる　弦　ゲン
つるぎ　剣　ケン
つれる　*連　つらなる　つらねる　レン

〔テ〕

て　*手　☆た　シュ
デ☆　*弟　テイ　ダイ　おとうと
テイ　*丁　チョウ
テイ　廷
テイ　*低　ひくい　ひくめる　ひくまる
テイ　呈
テイ　*弟　ダイ　☆デ　おとうと
テイ　*定　ジョウ　さだめる　さだまる　さだか
テイ　*底　そこ
テイ　抵
テイ　邸
テイ　貞

おさまる
トウ☆　道*　ドウ　みち
とう　問*　とい　☆とん　モン
ドウ　同*　おなじ
ドウ　洞　（表外字）
ドウ　胴
ドウ　動*　うごく　うごかす
ドウ　堂*
ドウ　童*　☆わらべ
ドウ　道*　☆トウ　みち
ドウ　働*　はたらく
ドウ　銅*
ドウ　導*　みちびく
とうげ　峠
とうとい☆　貴*　☆たっとい　☆たっとぶ　☆とうとぶ　キ
とうとい☆　尊*　たっとい　たっとぶ　☆とうとぶ　ソン

とうとぶ☆　尊*
とうとぶ☆　貴*　☆たっとい　☆とうとい　☆たっとぶ　キ
とお　十*　☆と　ジュウ　☆ジッ
とおい　遠*　エン　オン
とおす　通*　とおる　かよう　ツウ　☆ツ
とおる　通*
とかす　溶　とける　とく　ヨウ
とかす　解*　とく　とける　カイ　ゲ
とき　時*　ジ
トク　匿
トク　特*
トク　得*　える　☆うる
トク　督

トク　徳*
トク　篤
トク　読*　ドク　☆トウ　よむ
とく　溶　とかす　とける　ヨウ
とく　解*　とかす　とける　カイ　ゲ
とく　説*　セツ　ゼイ
とぐ☆　研*　ケン
ドク　毒*
ドク　独*　☆ひとり
ドク　読*　トク　☆トウ　よむ
とける　溶　とかす　とく　ヨウ
とける　解*　とかす　とく　カイ　ゲ
とげる　遂　スイ
とこ　床　ゆか　ショウ

ト　＊登　トウ　のぼる
ト　塗　ぬる
ト☆　＊度　ド　☆タク　☆たび
ト☆　＊頭　トウ　ズ　あたま　☆かしら
と☆　＊十　とお　ジュウ　☆ジッ
と　＊戸　コ
ド　＊土　ト　つち
ド　△奴
ド　＊努　つとめる
ド　＊度　☆ト　☆タク　☆たび
ド　怒　いかる　☆おこる
とい　＊問　とう　☆とん　モン
トウ　＊刀　かたな
トウ　＊冬　ふゆ
トウ　＊当　あたる　あてる

トウ　＊投　なげる
トウ　豆　ズ　まめ
トウ　＊東　ひがし
トウ　到
トウ　逃　にげる　にがす　☆のがす　☆のがれる
トウ　倒　たおれる　たおす
トウ　凍　こおる　こごえる
トウ　△唐　から
トウ　＊島　しま
トウ　桃　もも
トウ　棟　むね（表外字）
トウ　＊討　うつ
トウ　透　すく　すかす　すける
トウ　＊党
トウ　悼　☆いたむ
トウ　盗　ぬすむ
トウ　陶

トウ　塔
トウ　＊湯　ゆ
トウ　痘
トウ　＊登　ト　のぼる
トウ　＊答　こたえる　こたえ
トウ　＊等　ひとしい
トウ　筒　つつ
トウ　＊統　すべる
トウ　稲　いね　☆いな
トウ　踏　ふむ　ふまえる
トウ　○灯　ひ
トウ　＊糖
トウ　＊頭　ズ　☆ト　あたま　☆かしら
トウ　謄
トウ　闘　☆たたかう
トウ　騰
トウ☆　＊読　ドク　トク　よむ
トウ　＊納　ノウ　☆ナッ　ナ　☆ナン　おさめる

ドン　鈍　にぶい　にぶる
ドン　曇　くもる

〔ナ〕

ナ　*納　ノウ　☆ナッ　☆ナン　トウ　おさめる　おさまる
ナ☆　*南　ナン　みなみ
な　*名　メイ　ミョウ
な　*菜　サイ
ナイ　*内　ダイ　うち
ない☆　*亡　ボウ　☆モウ
ない　*無　ム　ブ
なえ　苗　☆なわ　ビョウ
なおす☆　*治　おさめる　おさまる　☆なおる　ジ　チ
なおす　*直　ただちに　なおる　チョク　ジキ

なおる　*直
なおる☆　*治　おさめる　おさまる　☆なおす　ジ　チ
なか　*中　チュウ
なか　*仲　チュウ
ながい☆　*永　エイ
ながい　*長　チョウ
ながす　*流　ながれる　リュウ　ル
なかば　*半　ハン
ながれる　*流　ながす　リュウ　ル
なく　*泣　キュウ
なく　*鳴　なる　ならす　メイ
なぐさむ　慰　なぐさめる　イ
なぐさめる　慰
なぐる☆　殴　オウ
なげかわしい

なげく　嘆　なげく　タン
なげる　*投　トウ
なごむ☆　*和　やわらぐ　やわらげる　☆なごやか　ワ
なごやか☆　*和
なさけ　*情　ジョウ　☆セイ
なす　*成　なる　セイ　ジョウ
ナッ☆　*納　ノウ　ナ　☆ナン　トウ　おさめる　おさまる
なつ　*夏　カ　☆ゲ
なつかしい☆　懐　☆ふところ　☆なつかしむ　☆なつく　☆なつける　カイ
なつかしむ☆　懐
なつく☆　懐
なつける☆　懐

とこ☆　*常　つね　ジョウ
ところ　*所　ショ
とざす　*閉　とじる　☆しめる　☆しまる　ヘイ
とし　*年　ネン
とじる　*閉　とざす　☆しめる　☆しまる　ヘイ
トツ　突　つく
とつぐ☆　嫁　よめ　カ
とどく　*届　とどける
とどける　*届
とどこおる　滞　タイ
ととのう☆　*調　しらべる　☆ととのえる　チョウ
ととのう　*整　ととのえる　セイ
ととのえる　*整
ととのえる　*調　しらべる　☆ととのう　チョウ
となえる　*唱　ショウ
となり　隣　☆となる　リン

となる☆　隣
との　殿　どの　デン　テン
どの　殿
とばす　*飛　とぶ　ヒ
とぶ　*飛
とぶ☆　跳　☆はねる　チョウ
とぼしい　乏　ボウ
とまる　*止　とめる　シ
とまる　泊　とめる　ハク
とまる　*留　とめる　リュウ　ル
とみ　*富　とむ　フ　☆フウ
とむ　*富
とむらう　弔　チョウ
とめる　*止　とまる　シ
とめる　泊　とまる　ハク
とめる　*留　とまる　リュウ　ル
とも　*友　ユウ
とも　*共　キョウ

とも　*供　そなえる　キョウ　ク
ともなう　伴　ハン　バン
とらえる　捕　とらわれる　☆とる　☆つかまえる　☆つかまる　ホ
とらわれる　捕
とり　*鳥　チョウ
とる　*取　シュ
とる　*採　サイ
とる　執　シツ　シュウ
とる☆　捕　とらえる　とらわれる　☆つかまえる　☆つかまる　ホ
とる☆　撮　サツ
どろ　°泥　デイ
トン　豚　ぶた
トン☆　*団　ダン
とん☆　*問　とう　とい　モン

☆のがれる トウ

にがる ＊苦 くるしい くるしむ くるしめる にがい ク
にぎる 握 アク
ニク ＊肉
にくい 憎 にくむ にくらしい にくしみ ゾウ
にくしみ 憎
にくむ 憎
にくらしい 憎
にげる 逃 にがす ☆のがす ☆のがれる トウ
にごす 濁 にごる ダク
にごる 濁
にし ＊西 セイ サイ
にせ☆ 偽 いつわる ギ
ニチ ＊日 ジツ ひ か
になう☆ ＊担 ☆かつぐ タン

にぶい 鈍 にぶる ドン
にぶる 鈍
ニャク☆ ＊若 ジャク わかい もしくは
にやす 煮 にる にえる シャ
ニュウ ＊入 いる いれる ☆はいる
ニュウ ＊乳 ちち ち
ニュウ 柔 ジュウ やわらか やわらかい
ニョ ＊女 ジョ ☆ニョウ おんな ☆め
ニョ 如 ジョ
ニョウ 尿
ニョウ☆ ＊女 ジョ ニョ おんな ☆め
にる ＊似 ジ
にる 煮 にえる にやす シャ

にわ ＊庭 テイ
にわとり 鶏 ケイ
ニン ＊人 ジン ひと
ニン ＊任 まかせる まかす
ニン 妊
ニン 忍 しのぶ しのばせる
ニン ＊認 みとめる

〔ヌ〕

ぬう 縫 ホウ
ぬかす 抜 ぬく ぬける ぬかる バツ
ぬかる 抜
ぬく 抜
ぬぐ 脱 ぬげる ダツ
ぬける 抜 ぬく ぬかす ぬかる バツ
ぬげる 脱 ぬぐ、ダツ

なな(つ)　*七　☆なの　シチ
ななめ　斜　シャ
なに　*何　☆なん　カ
なの☆　*七　なな　ななつ　シチ
なま　*生　いきる　いかす　いける　うまれる　うむ　☆おう　☆はえる　☆はやす　き　セイ　ショウ
なまける☆　怠　おこたる　タイ
なまり　鉛　エン
なみ　並　ならべる　ならぶ　ならびに　ヘイ
なみ　*波　ハ
なみだ　涙　ルイ
なめらか☆　滑　☆すべる　カツ
なやます　悩　なやむ　ノウ
なやむ　悩
ならう　*習　シュウ

ならう　倣　ホウ
ならす　*鳴　なく　なる　メイ
ならす　*慣　なれる　カン
ならびに　並　なみ　ならべる　ならぶ　ヘイ
ならぶ　並
ならべる　並
なる　*成　なす　セイ　ジョウ
なる　*鳴　なく　ならす　メイ
なれる　*慣　ならす　カン
なわ☆　苗　なえ　ビョウ
ナン　*男　ダン　おとこ
ナン　*南　☆ナ　みなみ
ナン　軟　☆やわらか　☆やわらかい
ナン　*難　かたい　☆むずかしい
ナン☆　*納　ノウ　ナ　☆ナッ　トウ　おさめる　おさまる
なん☆　*何　なに　カ

【ニ】

ニ　*二　ふた　ふたつ
ニ　尼　あま
ニ　*弐
ニ☆　*仁　ジン
ニ　*児　ジ
に　*荷　カ
にい☆　*新　あたらしい　あらた　シン
にえる　煮　にる　にやす　シャ
にがい　*苦　くるしい　くるしむ　くるしめる　にがる　ク
にがす　逃　にげる　☆のがす

のべる　*述　ジュツ
のぼす　*上　うえ　☆うわ|かみ　あげる　あがる　のぼる　のぼせる　ジョウ　☆ショウ|
のぼせる　*上
のぼる　*上
のぼる☆　昇　ショウ
のぼる　*登　トウ　ト
のむ　*飲　イン
のる　*乗　のせる　ジョウ
のる　載　のせる　サイ

【ハ】

ハ　*波　なみ
ハ　*派
ハ　*破　やぶる　やぶれる
ハ　覇　（表外字）

は　刃　ジン
は　*羽　はね　ウ
は　*葉　ヨウ
は　*歯　シ
は*　端　はし　☆はた　タン
バ　*馬　うま　☆ま|
バ　婆
ば　*場　ジョウ
ハイ　*拝　おがむ
ハイ　杯　さかずき
ハイ　*背　せ　☆せい　☆そむく　☆そむける
ハイ　*肺
ハイ　*俳
ハイ　*配　くばる
ハイ　排
ハイ　*敗　やぶれる
ハイ　廃　☆すたれる　☆すたる

ハイ　輩
はい　*灰　カイ
バイ　*売　うる　うれる
バイ　*倍
バイ　梅　うめ
バイ　培　☆つちかう
バイ　陪
バイ　媒
バイ　*買　かう
バイ　賠
はいる☆　*入　いる　いれる　ニュウ
はえ☆　*栄　さかえる　エイ
はえる☆　*生　いきる　いかす　いける　うまれる　うむ　☆おう　☆はやす　き　なま　セイ　ショウ
はえる☆　*映　うつる　うつす　エイ

ぬし　*主　☆おも　シュ　ス|
ぬすむ　盗　トウ
ぬの　*布　フ
ぬま　沼　ショウ
ぬる　塗　ト

〔ネ〕

ね　*音　おと　オン　イン
ね　*根　コン
ね　*値　あたい　チ
ネイ　寧
ねかす　寝　ねる　シン
ねがう　*願　ガン
ネツ　*熱　あつい
ねばる　粘　ネン
ねむい　眠　ねむる　ミン
ねむる　眠
ねる　寝　ねかす　シン
ねる　*練　レン

ネン　*年　とし
ネン　*念
ネン　粘　ねばる
ネン　*然　ゼン
ネン　*燃　もえる　もやす　もす
ねんごろ☆　懇　コン

〔ノ〕

の　*野　ヤ
ノウ　悩　なやむ　なやます
ノウ　*納　☆ナッ|　ナ|　☆ナン|　トウ|　おさめる　おさまる
ノウ　*能
ノウ　*脳
ノウ　*農
ノウ　濃　こい
のがす☆　逃　にげる　にがす

のがれる☆　逃　☆のがれる　トウ
のき　軒　ケン
のこす　*残　のこる　ザン
のこる　*残
のせる　*乗　のる　ジョウ
のせる　載　のる　サイ
のぞく　*除　ジョ　☆ジ|
のぞむ　*望　ボウ　モウ
のぞむ　*臨　リン
のち　*後　うしろ　☆あと　☆おくれる　ゴ　コウ
のばす　*延　エン　のびる　のべ(る)
のばす　伸　のびる　シン
のびる　伸
のびる　*延　エン　のばす　のべ(る)
のべ(る)　*延

はずれる☆ *外 そと ほか ☆はずす ガイ ゲ
はた *畑 はたけ
はた *旗 キ
はた *機 キ
はた☆ 端 はし ☆は タン
はだ 膚 フ
はだか 裸 ラ
はたけ *畑 はた
はたす *果 はてる はて カ
はたらく *働 ドウ
ハチ *八 や やつ やっつ ☆よう
バチ☆ 罰 バツ
ハツ *発 ホツ
ハツ 髪 かみ
ハッ☆ *法 ホウ ☆ホッ
はつ *初 はじめ はじめて ☆うい ☆そめる ショ

バツ☆ *末 マツ すえ
バツ 伐
バツ 抜 ぬく ぬける ぬかす ぬかる
バツ 罰 ☆バチ
バツ 閥
はて(る) *果 はたす カ
はな *花 カ
はな☆ 華 カ ☆ケ
はな *鼻 ビ
はなし *話 はなす ワ
はなす *話
はなす *放 はなつ はなれる ホウ
はなす 離 はなれる リ
はなつ *放 はなす はなれる ホウ
はなれる *放
はなれる 離 はなす リ
はね *羽 は ウ

はねる☆ 跳 ☆とぶ チョウ
はは *母 ボ
はば 幅 フク
はばむ☆ 阻 ソ
はぶく *省 かえりみる セイ ショウ
はま 浜 ヒン
はやい *早 はやまる はやめる ソウ ☆サッ
はやい *速 はやめる ☆すみやか ソク
はやし *林 リン
はやす☆ *生 いきる いかす いける うまれる うむ ☆おう ☆はえる き なま セイ ショウ
はやまる *早 はやい はやめる ソウ ☆サッ
はやめる *早

はか　墓*　ボ
ばかす　化*　ばける　カ　ケ
はがね☆　鋼*　コウ
はからう　計*　はかる　ケイ
はかる　計*
はかる　図*　ズ　ト
はかる　量*　リョウ
はかる　測*　ソク
はかる☆　謀　ボウ　☆ム
はかる☆　諮　シ
ハク　白*　ビャク　しろ　☆しら　しろい
ハク　伯
ハク　拍　ヒョウ
ハク　泊　とまる　とめる
ハク　迫　せまる
ハク　舶
ハク　博*　☆バク
ハク　薄　うすい　うすめる　うすまる　うすらぐ　うすれる

はく　吐　ト
はく　掃　ソウ
はく☆　履　リ
バク　麦*　むぎ
バク　幕*　マク
バク　縛　しばる
バク　爆
バク　暴*　ボウ　☆あばく　☆あばれる
バク☆　博*　ハク
はげしい　激　ゲキ
はげます　励　はげむ　レイ
はげむ　励
ばける　化*　ばかす　カ　ケ
はこ　箱
はこぶ　運*　ウン
はし　端　☆は　☆はた　タン
はし　橋*　キョウ
はじ　恥　はじる　はじらう　はずかしい　チ

はじまる　始*　はじめる　シ
はじめ　初*　はじめて　はつ　☆うい　☆そめる　ショ
はじめて　初*
はじめる　始*　はじまる　シ
はしら　柱*　チュウ
はじらう　恥　はじる　はじ　はずかしい　チ
はしる　走*　ソウ
はじる　恥　はじ　はじらう　はずかしい　チ
はずかしい　恥
はずかしめる☆　辱　ジョク
はずす☆　外*　そと　ほか　☆はずれる　ガイ　ゲ
はずむ☆　弾　☆ひく　☆たま　ダン

ヒ　＊悲　かなしい　かなしむ
ヒ　＊費　ついやす　ついえる
ヒ　碑
ヒ　△罷
ヒ　避　さける
ヒ　°披
ひ　＊火　☆ほ　カ
ひ　＊日　か　ニチ　ジツ
ひ　°灯　トウ
ひ☆　＊氷　こおり　ヒョウ
ビ　尾　お
ビ　＊美　うつくしい
ビ　＊備　そなえる　そなわる
ビ　微
ビ　＊鼻　はな
ひいでる☆　秀　シュウ
ひえる　＊冷　つめたい　ひや　ひやす　ひやかす　☆さめる　☆さます　レイ

ひかえる　控　コウ
ひがし　＊東　トウ
ひかり　＊光　ひかる　コウ
ひかる　＊光
ひき　匹　ヒツ
ひきいる　＊率　ソツ　リツ
ひく　＊引　ひける　イン
ひく☆　弾　☆はずむ　☆たま　ダン
ひくい　＊低　ひくめる　ひくまる　テイ
ひくまる　＊低
ひくめる　＊低
ひける　＊引　ひく　イン
ひさしい　＊久　キュウ　ク
ひそむ　潜　☆もぐる　セン
ひたい　＊額　ガク

ひたす　浸　ひたる　シン
ひだり　＊左　サ
ひたる　浸　ひたす　シン
ヒツ　匹　ひき
ヒツ　＊必　かならず
ヒツ　泌　☆ヒ
ヒツ　＊筆　ふで
ひつじ　＊羊　ヨウ
ひと　＊人　ジン　ニン
ひと(つ)　＊一　イチ　イツ
ひとしい　＊等　トウ
ひとり☆　＊独　ドク
ひびく　響　キョウ
ひま　暇　カ
ひめ　姫
ひめる☆　＊秘　ヒ
ひや　＊冷　つめたい　ひえる　ひやす　ひやかす　☆さめる　☆さます　レイ

はやめる　*速　はやい　☆すみやか　ソク
はら　*原　ゲン
はら　*腹　フク
はらう　払　フツ
はらす　*晴　はれる　セイ
はり　*針　シン
はる　*春　シュン
はる　*張　チョウ
はれる　*晴　はらす　セイ
ハン　*反　☆ホン｜タン｜☆そる　☆そらす
ハン　*半　なかば
ハン　*犯　おかす
ハン　帆　ほ
ハン　伴　バン　ともなう
ハン　*判　☆バン
ハン　*坂　さか
ハン　*板　バン　いた
ハン　*版

ハン　*班
ハン　畔
ハン　般
ハン　販
ハン　*飯　めし
ハン　搬
ハン　△頒
ハン　範
ハン　繁
ハン　藩
ハン｜☆　凡　ボン
バン　*万　マン
バン　伴　ハン　ともなう
バン☆　*判　ハン
バン　*晩
バン　*番
バン　*板　ハン　いた
バン　蛮
バン　盤

〔ヒ〕

ヒ　*比　くらべる
ヒ　*皮　かわ
ヒ　妃
ヒ　*否　いな
ヒ　*批
ヒ　彼　かれ　かの｜
ヒ☆　泌　ヒツ
ヒ　*肥　こえる　こえ　こやす　こやし
ヒ　*非
ヒ　卑　いやしい　いやしむ　いやしめる
ヒ　*飛　とぶ　とばす
ヒ　疲　つかれる　つからす
ヒ　*秘　☆ひめる
ヒ　被　こうむる

おう
フ　赴　☆おもむく
フ　浮　うく　うかれる　うかぶ　うかべる
フ　*婦
フ　符
フ　*富　☆フウ|　とむ　とみ
フ　普
フ　腐　くさる　くされる　くさらす
フ　敷　しく
フ　膚　はだ
フ　賦
フ　譜
フ|☆　*歩　ホ　ブ　あるく　あゆむ
フ|☆　*風　フウ　かぜ　☆かざ|
ブ☆　*不　フ
ブ　*分　ブン　フン　わける　わかれる　わかる　わかつ

ブ　*歩　ホ　☆フ|　あるく　あゆむ
ブ　侮　あなどる
ブ　*武　ム
ブ　*部
ブ　*無　ム　ない
ブ|☆　舞　まう　まい
フウ　奉　ホウ　たてまつる
フウ　封　ホウ
フウ|☆　*風　☆フ|　かぜ　☆かざ|
フウ|☆　*夫　フ　おっと
ふえ　*富　フ　とむ　とみ
ふえ　笛　テキ
ふえる☆　殖　☆ふやす　ショク
ふえる☆　*増　ます　☆ふやす　ゾウ
ふかい　*深　ふかまる　ふかめる　シン

ふかす☆　更　さら（に）　☆ふける　コウ
ふかまる　*深　ふかい　ふかめる　シン
ふかめる　*深
フク　伏　ふせる　ふす
フク　*服
フク　*副
フク　幅　はば
フク　*復
フク　*福
フク　*腹　はら
フク　*複
フク　覆　☆おおう　☆くつがえす　☆くつがえる
ふく　吹　スイ
ふく☆　噴　フン
ふくむ　含　ふくめる　ガン
ふくめる　含

ひやかす　*冷
ひやす　*冷
ヒャク　*百
ビャク　*白　ハク　しろ　☆しら　しろい
ヒョウ　*氷　こおり　☆ひ
ヒョウ　*表　おもて　あらわす　あらわれる
ヒョウ　*俵　たわら
ヒョウ　*票
ヒョウ　*評
ヒョウ　漂　ただよう
ヒョウ　*標
ヒョウ☆　*兵　ヘイ
ヒョウ　拍　ハク
ビョウ　*平　ヘイ　たいら　ひら
ビョウ　苗　なえ　☆なわ
ビョウ　*秒
ビョウ　*病　☆ヘイ　やむ　やまい

ビョウ　描　えがく
ひら　*平　たいら　ヘイ　ビョウ
ひらく　*開　ひらける　☆あく　☆あける　カイ
ひらける　*開
ひる　*干　ほす　カン
ひる　*昼　チュウ
ひるがえす　翻　ひるがえる　ホン
ひるがえる　翻
ひろい　*広　ひろまる　ひろめる　ひろがる　ひろげる　コウ
ひろう　*拾　シュウ　ジュウ
ひろがる　*広　ひろい　ひろまる　ひろめる　ひろげる　コウ
ひろげる　*広
ひろまる　*広

ひろめる　*広
ヒン　*品　しな
ヒン　浜　はま
ヒン　*貧　ビン　まずしい
ヒン　賓
ビン　*便　ベン　☆たより
ビン　敏
ビン　*貧　ヒン　まずしい

〔フ〕

フ　*不　☆ブ
フ　*夫　☆フウ　おっと
フ　*父　ちち
フ　*付　つける　つく
フ　*布　ぬの
フ　扶
フ　*府
フ　怖　☆こわい
フ　*負　まける　まかす

ブン　*分　フン　ブ　わける　わかれる　わかる　わかつ
ブン　*文　モン　☆ふみ
ブン　*聞　☆モン　きく　きこえる

〔ヘ〕

べ☆　*辺　☆あたり　ヘン
ヘイ　丙
ヘイ　*平　ビョウ　たいら　ひら
ヘイ　*兵　☆ヒョウ
ヘイ　併　☆あわせる
ヘイ　並　なみ　ならべる　ならぶ　ならびに
ヘイ　柄　がら　え
ヘイ　*陛
ヘイ　*閉　とじる　とざす　☆しめる　☆しまる
ヘイ　幣
ヘイ　弊
ヘイ☆　*病　ビョウ　やむ　やまい
ベイ　*米　マイ　こめ
ヘキ　壁　かべ
ヘキ　癖　くせ
へだたる　隔　へだてる　カク
へだてる　隔
ベツ　*別　わかれる
べに　*紅　くれない　コウ　ク
へらす　*減　へる　ゲン
へる　*減
へる　*経　ケイ　キョウ
ヘン　*片　かた
ヘン　*辺　☆あたり　☆べ
ヘン　*返　かえす　かえる
ヘン　*変　かわる　かえる
ヘン　偏　☆かたよる
ヘン　遍
ヘン　*編　あむ
ベン　*弁
ベン　*便　ビン　☆たより
ベン　*勉

〔ホ〕

ホ　*歩　ブ　☆フ　あるく　あゆむ
ホ　*保　たもつ
ホ　捕　とらえる　とらわれる　☆とる　☆つかまえる　☆つかまる
ホ　浦　うら
ホ　*補　おぎなう
ホ　舗

ふくらむ☆　膨　☆ふくれる　ボウ
ふくれる☆　膨
ふくろ　袋　タイ
ふける☆　更　さら(に)　☆ふかす　コウ
ふける☆　*老　おいる　ロウ
ふさ☆　房　ボウ
ふし　*節　セツ　☆セチ|
ふす　伏　ふせる　フク
ふせぐ　*防　ボウ
ふせる　伏　ふす　フク
ふた☆　双　ソウ
ふた(つ)　*二　ニ
ふだ　札　サツ
ぶた　豚　トン
ふたたび　*再　サイ　☆サ|
ふち　縁　エン
フツ　払　はらう
フツ　沸　わく　わかす
ブツ　*仏　ほとけ

ブツ　*物　モツ　もの
ふで　*筆　ヒツ
ふとい　*太　ふとる　タイ　タ
ふところ☆　懐　☆なつかしい　☆なつかしむ　☆なつく　☆なつける　カイ
ふとる　*太　ふとい　タイ　タ
ふな|☆　舟　ふね　シュウ
ふな☆　*船　ふね　セン
ふね　*船
ふね　舟　☆ふな|　シュウ
ふまえる　踏　ふむ　トウ
ふみ☆　*文　ブン　モン
ふむ　踏　ふまえる　トウ
ふやす☆　殖　☆ふえる　ショク
ふやす☆　*増　ます　☆ふえる　ゾウ
ふゆ　*冬　トウ
ふる　振　☆ふるう　シン

ふる　*降　おりる　おろす　コウ
ふるい　*古　ふるす　コ
ふるう　振　ふる　シン
ふるう☆　震　ふるえる　シン
ふるう　*奮　フン
ふるえる　震　ふるう　シン
ふるす　*古　ふるい　コ
ふれる　触　☆さわる　ショク
フン　*分　ブン　ブ　わける　わかれる　わかる　わかつ
フン　*粉　こ　こな
フン　紛　まぎれる　まぎらす　まぎらわす　まぎらわしい
フン　噴　☆ふく
フン　墳
フン　憤　いきどおる
フン　*奮　ふるう

☆はずれる　ガイ
ゲ
ほがらか　＊朗　ロウ
ホク　＊北　きた
ボク　＊木　モク　き　☆こ|
ボク　＊牧　まき
ボク　墨　すみ
ボク　撲
ボク　°朴
ボク　°僕
ボク|☆　＊目　モク　め　☆ま|
ほこ☆　矛　ム
ほこる　誇　コ
ほし　＊星　セイ　ショウ|
ほしい☆　＊欲　ほっする　ヨク
ほす　＊干　ひる　カン
ほそい　＊細　ほそる　こまか
こまかい　サイ
ほそる　＊細
ホツ　＊発　ハツ

ホッ|☆　＊法　ホウ　☆ハッ|
ボツ　没
ボッ|☆　坊　ボウ
ほっする　＊欲　☆ほしい　ヨク
ほど☆　＊程　テイ
ほとけ　＊仏　ブツ
ほどこす　施　シ　セ
ほね　＊骨　コツ
ほのお　炎　エン
ほまれ　誉　ヨ
ほり　°堀
ほる　掘　クツ
ほる　彫　チョウ
ほろびる　滅　ほろぼす　メツ
ほろぼす　滅
ホン　＊本　☆もと
ホン　奔
ホン　翻　ひるがえる　ひる
がえす
ホン|☆　＊反　ハン　タン|　☆そ

る　☆そらす
ボン　凡　☆ハン|
ボン　盆
ボン　△煩

〔マ〕

マ　麻　あさ
マ　摩
マ　魔
ま　＊間　あいだ　カン
ケン
ま　＊真　シン
ま|☆　＊馬　うま　バ
ま|☆　＊目　め　モク　☆ボク|
マイ　＊毎
マイ　＊米　べイ　こめ
マイ　＊妹　いもうと
マイ　＊枚
マイ　埋　うめる　うまる

ほ　帆　ハン
ほ　穂　スイ
☆ほ　*火　ひ　カ
ボ　*母　はは
ボ　募　つのる
ボ　*墓　はか
ボ　慕　したう
ボ　暮　くれ(る)　くらす
ボ　*模　モ
ボ　簿
ホウ　*方　かた
ホウ　*包　つつむ
ホウ　芳　かんばしい
ホウ　邦
ホウ　奉　☆ブ　たてまつる
ホウ　*宝　たから
ホウ　抱　だく　☆いだく　☆かかえる
ホウ　*放　はなす　はなつ　はなれる

ホウ　*法　☆ハッ　☆ホッ
ホウ　封　フウ
ホウ　胞
ホウ　倣　☆ならう
ホウ　峰　みね
ホウ　砲
ホウ　崩　☆くずれる　☆くずす
ホウ　*訪　おとずれる　☆たずねる
ホウ　*報　むくいる
ホウ　*豊　ゆたか
ホウ　飽　あきる　あかす
ホウ　縫　ぬう
ホウ　°俸
ボウ　*亡　☆モウ　ない
ボウ　乏　とぼしい
ボウ　忙　いそがしい
ボウ　坊　☆ボッ
ボウ　妨　さまたげる

ボウ　*忘　わすれる
ボウ　*防　ふせぐ
ボウ　房　☆ふさ
ボウ　肪
ボウ　某
ボウ　冒　おかす
ボウ　剖
ボウ　紡　つむぐ
ボウ　*望　モウ　のぞむ
ボウ　傍　☆かたわら
ボウ　帽
ボウ　*棒
ボウ　*貿
ボウ　*暴　☆バク　☆あばく　☆あばれる
ボウ　膨　☆ふくらむ　☆ふくれる
ボウ　謀　☆ム　☆はかる
ほうむる　葬　ソウ
ほか　*外　そと　☆はずす

まつ　*待　タイ
まったく　*全　ゼン
まつり　*祭　まつる　サイ
まつりごと　*政　セイ　ショウ
まつる　*祭　まつり　サイ
まと　*的　テキ
まど　*窓　ソウ
まどう　惑　ワク
まなこ　*眼　ガン　☆ゲン
まなぶ　*学　ガク
まぬかれる　免　メン
まねく　*招　ショウ
まぼろし　幻　ゲン
まめ　豆　トウ　ズ
まもる　*守　☆もり　シュ　ス
まゆ　繭　ケン
まよう　*迷　メイ
まる(い)　*丸　まるめる　ガン
まるい☆　*円　エン
まるめる　*丸　まる　まるい　ガン

まわす　*回　まわる　カイ　エ
まわり☆　*周　シュウ
まわる　*回　まわす　カイ　エ
マン　*方　バン
マン　*満　みちる　みたす
マン　慢
マン　漫

〔ミ〕

ミ　*未
ミ　*味　あじ　あじわう
ミ　魅
み　*三　みつ　みっつ　サン
み　*身　シン
み　*実　みのる　ジツ
みえる　*見　みる　みせる　ケン

みき　*幹　カン
みぎ　*右　ウ　ユウ
みことのり　詔　ショウ
みさお　*操　☆あやつる　ソウ
みささぎ　陵　リョウ
みじかい　*短　タン
みじめ☆　惨　サン　☆ザン
みず　*水　スイ
みずうみ　*湖　コ
みずから　*自　ジ　シ
みせ　*店　テン
みせる　*見　みる　みえる　ケン
みたす　*満　みちる　マン
みだす　*乱　みだれる　ラン
みだれる　*乱
みち　*道　ドウ　☆トウ
みちびく　*導　ドウ
みちる　*満　みたす　マン
ミツ　*密

うもれる
まい　舞　まう　ブ
まいる　*参　サン
まう　舞　まい　ブ
まえ　*前　ゼン
まかす　*任　まかせる　ニン
まかす　*負　まける　おう　フ
まかせる　*任　まかす　ニン
まかなう☆　賄　ワイ
まがる　*曲　まげる　キョク
まき　*巻　まく　カン
まき　*牧　ボク
まぎらす　紛　まぎれる　まぎらわす　まぎらわしい　フン
まぎらわしい　紛
まぎらわす　紛
まぎれる　紛
マク　*幕　バク
マク　膜

まく　*巻　まき　カン
まける　*負　まかす　おう　フ
まげる　*曲　まがる　キョク
まご　*孫　ソン
まこと　*誠　セイ
まさ☆　*正　ただしい　ただす　セイ　ショウ
まさる☆　*勝　かつ　ショウ
まざる　*交　まじわる　まじえる　まじる　まぜる　☆かう　☆かわす　コウ
まざる　*混　まじる　まぜる　コン
まじえる　*交　まじわる　まじる　まざる　まぜる　☆かう　☆かわす　コウ
まじる　*交
まじる　*混　まざる　まぜる

コン
まじわる　*交　まじえる　まざる　まじる　まぜる　☆かう　☆かわす　コウ
ます　升　ショウ
ます　*増　☆ふえる　☆ふやす　ゾウ
まずしい　*貧　ヒン　ビン
まぜる　*交　まじわる　まじえる　まざる　まじる　☆かう　☆かわす　コウ
まぜる　*混　まざる　まじる　コン
またたく☆　瞬　シュン
まち　*町　チョウ
まち☆　*街　ガイ　☆カイ
マツ　*末　☆バツ　すえ
まつ　松　ショウ

ケツ
むすめ　娘
むつ　＊六　む　むっつ　☆む|い|　ロク
むっつ　＊六
むな☆|　＊胸　むね　キョウ
むね　＊胸
むね　旨　シ
むね　棟　トウ（表外字）
むら　＊村　ソン
むら☆|　＊群　むれる　むれ　グン
むらさき　紫　シ
むらす　＊蒸　むす　むれる　ジョウ
むれ　＊群　むれる　☆むら|　グン
むれる　＊群
むれる　＊蒸　むす　むらす　ジョウ
むろ　＊室　シツ

〔メ〕

め☆　＊女　おんな　ジョ　ニョ　☆ニ|ョウ|
め　＊目　モク　☆ボク|　☆ま
め　＊芽　ガ
め　雌　めす　シ
メイ　＊名　ミョウ　な
メイ　＊命　ミョウ　いのち
メイ　＊明　ミョウ　あかり　あかるい　あかるむ　あからむ　あきらか　あける　あく　あくる　あかす
メイ　＊迷　まよう
メイ　＊盟
メイ　銘
メイ　＊鳴　なく　なる　ならす
めぐむ　恵　ケイ　エ
めくら　盲　モウ
めぐる　巡　ジュン
めし　＊飯　ハン
めす　召　ショウ
めす　雌　め　シ
めずらしい　珍　チン
メツ　滅　ほろびる　ほろぼす
メン　免　まぬかれる
メン　＊面　おも　おもて　☆つら
メン　＊綿　わた

〔モ〕

モ　茂　しげる
モ　＊模　ボ

みつ　＊三　み　みっつ　サン
みつぐ☆　貢　コウ　☆ク|
みっつ　＊三　み　みつ　サン
みとめる　＊認　ニン
みどり　＊緑　リョク　ロク|
みな　皆　カイ
みなと　＊港　コウ
みなみ　＊南　ナン　☆ナ|
みなもと　＊源　ゲン
みにくい　醜　シュウ
みね　峰　ホウ
みのる　＊実　み　ジツ
みみ　＊耳　ジ
みや　＊宮　キュウ　グウ　ク|
ミャク　＊脈
みやこ　＊都　ト　ツ
ミョウ　＊名　メイ　な
ミョウ　妙
ミョウ　＊明　メイ　あかり　あかるい　あかるむ　あからむ　あきらか　あける　あく　あくる　あかす
ミョウ　＊命　メイ　いのち
みる　＊見　みえる　みせる　ケン
みる☆　診　シン
ミン　＊民　たみ
ミン　眠　ねむる　ねむい

〔ム〕

ム　矛　☆ほこ
ム　＊武　ブ
ム　＊務　☆つとめる
ム　＊無　ブ　ない
ム　夢　ゆめ
ム　霧　きり
ム☆|　謀　ボウ　☆はかる
む　＊六　むつ　むっつ　☆むい|　ロク
むい☆|　＊六
むかう　＊向　むく　むける　むこう　コウ
むかえる　迎　ゲイ
むかし　昔　セキ　シャク|
むぎ　＊麦　バク
むく　＊向　むかう　むける　むこう　コウ
むくいる　＊報　ホウ
むける　＊向　むく　むかう　むこう　コウ
むこ　婿　セイ
むこう　＊向　むく　むかう　むける　コウ
むし　＊虫　チュウ
むす　＊蒸　むれる　むらす　ジョウ
むずかしい☆　＊難　かたい　ナン
むすぶ　＊結　ゆう　☆ゆわえる

〔ヤ〕

ヤ　*夜　よ　よる
ヤ　*野　の
や　*八　やつ　やっつ　☆よう|　ハチ
や　*矢　☆シ
や　*家　いえ　カ　ケ
や　*屋　オク
ヤク　*役　エキ
ヤク　*約
ヤク　*訳　わけ
ヤク　*薬　くすり
ヤク　躍　☆おどる
ヤク　°厄
ヤク|☆　疫　エキ
ヤク|☆　*益　エキ
やく　*焼　やける　ショウ
やける　*焼

やさしい☆　*易　エキ　イ
やさしい　*優　☆すぐれる　ユウ
やしなう　*養　ヨウ
やしろ　*社　シャ
やすい　*安　アン
やすまる　*休　やすむ　やすめる　キュウ
やすむ　*休
やすめる　*休
やつ　*八　や　やっつ　☆よ|う|　ハチ
やっつ　*八
やど(る)　*宿　やどす　シュク
やとう　雇　コ
やどす　*宿　やど　やどる　シュク
やなぎ　柳　リュウ
やぶる　*破　やぶれる　ハ
やぶれる　*破
やぶれる　*敗　ハイ

やま　*山　サン
やまい　*病　やむ　ビョウ　☆ヘイ|
やむ　*病
やめる☆　*辞　ジ
やわらか(い)　柔　ジュウ　ニュウ
やわらか(い)☆　軟　ナン
やわらぐ　*和　やわらげる　☆なごむ　☆なごやか　ワ
やわらげる　*和

〔ユ〕

ユ　*由　ユウ　☆ユイ|　よし
ユ　*油　あぶら
ユ　愉
ユ　諭　☆さとす
ユ　*輸

も　爽　ソウ

モウ　*毛　け

モウ　盲　めくら

モウ　耗　☆コウ｜

モウ　*望　ボウ　のぞむ

モウ　猛

モウ　網　あみ

モウ｜☆　*亡　ボウ　☆ない

もうける　*設　セツ

もうす　*申　シン

もえる　*燃　ネン　もやす　☆もす

モク　*木　ボク　き　☆こ｜

モク　*目　☆ボク｜　め　☆ま｜

モク　黙　だまる

もぐる☆　潜　ひそむ　セン

もしくは　*若　わかい　ジャク　☆ニャク｜

もす☆　*燃　もえる　もやす　ネン

もちいる　*用　ヨウ

モツ　*物　ブツ　もの

もつ　*持　ジ

もっとも　*最　サイ

もっぱら☆　*専　セン

もと　*下　した　しも　さげる　さがる　くだる　くだす　くださる　☆おろす　☆おりる　カ　ゲ

もと　*元　ゲン　ガン

もと☆　*本　ホン

もと　*基　もとい　キ

もとい　*基

もどす　°戻　もどる　☆レイ

もとめる　*求　キュウ

もどる　°戻　もどす　☆レイ

もの　*者　シャ

もの　*物　ブツ　モツ

もも　桃　トウ

もやす　*燃　もえる　☆もす　ネン

もよおす　催　サイ

もらす　漏　もる　もれる　ロウ

もり☆　*守　まもる　シュ　ス｜

もり　*森　シン

もる　盛　さかる　さかん　セイ　ジョウ｜

もる　漏　もらす　もれる　ロウ

もれる　漏

モン　*文　ブン　☆ふみ

モン　*門　かど

モン　紋

モン　*問　とう　とい　☆とん｜

モン　*聞　ブン　きく　きこえる

もんめ　匁

ゆれる　揺　ゆる　ゆらぐ　ゆるぐ　☆ゆする　☆ゆさぶる　☆ゆすぶる　ヨウ

ゆわえる☆　結*　むすぶ　ゆう　ケツ

〔ヨ〕

ヨ　与　あたえる

ヨ　予*

ヨ　余*　あまる　あます

ヨ　誉　ほまれ

ヨ　預*　あずける　あずかる

よ　四*　よつ　よっつ　☆よん　シ

よ　世*　セイ　セ

よ　代*　かわる　かえる　☆しろ　ダイ　☆タイ

よ　夜*　よる　ヤ

よい　宵°　ショウ

よい　良*　リョウ

よい☆　善*　ゼン

ヨウ　幼*　おさない

ヨウ　用*　もちいる

ヨウ　羊*　ひつじ

ヨウ　洋*

ヨウ　要*　☆いる

ヨウ　容*

ヨウ　庸

ヨウ　揚　あげる　あがる

ヨウ　揺　ゆれる　ゆる　ゆらぐ　ゆるぐ　☆ゆする　☆ゆさぶる　☆ゆすぶる

ヨウ　葉*　は

ヨウ　陽*

ヨウ　溶　とける　とかす　とく

ヨウ　腰　こし

ヨウ　様*　さま

ヨウ　踊　おどる　おどり

ヨウ　窯　☆かま

ヨウ　養*　やしなう

ヨウ　擁

ヨウ　謡　うたい

ヨウ　曜*

よう☆　八*　や　やつ　やっつ　ハチ

よう　酔　スイ

ヨク　抑　☆おさえる

ヨク　浴*　あびる　あびせる

ヨク　欲*　ほっする　☆ほしい

ヨク　翌*

ヨク　翼　つばさ

よこ　横*　オウ

よごす☆　汚　けがす　けがれる

ユ★	*遊	ユウ あそぶ
ゆ	*湯	トウ
ユイ	唯	☆イ
ユイ☆	*由	ユ ユウ よし
ユイ	*遺	イ
ユウ	*友	とも
ユウ	*右	ウ みぎ
ユウ	*由	ユ ☆ユイ よし
ユウ	*有	ウ ある
ユウ	*勇	いさむ
ユウ	幽	
ユウ	*郵	
ユウ	猶	
ユウ	裕	
ユウ	*遊	☆ユ あそぶ
ユウ	雄	お おす
ユウ	誘	さそう
ユウ	憂	うれえる うれい ☆うい
ユウ	融	
ユウ	*優	やさしい ☆すぐれる
ゆう	*夕	セキ
ゆう	*結	むすぶ ☆ゆわえる ケツ
ゆえ☆	*故	コ
ゆか	床	とこ ショウ
ゆき	*雪	セツ
ゆく	*行	いく おこなう コウ ギョウ アン
ゆさぶる☆	揺	ゆれる ゆる ゆらぐ ゆるぐ ☆ゆする ☆ゆすぶる ヨウ
ゆすぶる☆	揺	
ゆする☆	揺	
ゆずる	譲	ジョウ
ゆたか	*豊	ホウ
ゆび	*指	☆さす シ
ゆみ	*弓	キュウ
ゆめ	夢	ム
ゆらぐ	揺	ゆれる ゆる ゆるぐ ☆ゆする ☆ゆさぶる ☆ゆすぶる ヨウ
ゆる	揺	
ゆるい☆	緩	☆ゆるやか ☆ゆるむ ☆ゆるめる カン
ゆるぐ	揺	ゆれる ゆる ゆらぐ ☆ゆする ☆ゆさぶる ☆ゆすぶる ヨウ
ゆるす	*許	キョ
ゆるむ☆	緩	☆ゆるい ☆ゆるやか ☆ゆるめる カン
ゆるめる☆	緩	
ゆるやか☆	緩	

リチ☆	*律	リツ
リツ	*立	☆リュウ　たつ　たてる
リツ	*律	☆リチ
リツ	*率	ソツ　ひきいる
リャク	*略	
リュウ	柳	やなぎ
リュウ	*流	ル　ながれる　ながす
リュウ	*留	ル　とめる　とまる
リュウ	粒	つぶ
リュウ	隆	
リュウ	硫	
リュウ	°竜	☆リョウ　☆たつ
リュウ☆	*立	リツ　たつ　たてる
リョ	*旅	たび
リョ	虜	
リョ	慮	
リョウ	了	
リョウ	*両	
リョウ	*良	よい
リョウ	*料	
リョウ	涼	すずしい　すずむ
リョウ	猟	
リョウ☆	°竜	☆たつ　リュウ
リョウ	陵	みささぎ
リョウ	*量	はかる
リョウ	僚	
リョウ	*漁	ギョ
リョウ	*領	
リョウ	寮	
リョウ	療	
リョウ	糧	☆ロウ　☆かて
リョウ☆	霊	レイ　☆たま
リョク	*力	リキ　ちから
リョク	*緑	ロク　みどり
リン	*林	はやし
リン	厘	
リン	倫	
リン	鈴	レイ　すず
リン	*輪	わ
リン	隣	☆となる　となり
リン	*臨	のぞむ

〔ル〕

ル	*留	リュウ　とめる　とまる
ル	*流	リュウ　ながれる　ながす
ルイ	涙	なみだ
ルイ	累	
ルイ	塁	
ルイ	*類	

〔レ〕

レイ	*令	

けがらわしい ☆よごれる ☆きたない オ
よごれる☆ 汚
よし ＊由 ユ ユウ ☆ユイ|
よせる ＊寄 よる キ
よそおう 装 ソウ ショウ
よつ ＊四 よ よっつ ☆よん シ
よっつ ＊四
よぶ ＊呼 コ
よむ☆ 詠 エイ
よむ ＊読 ドク トク ☆トウ|
よめ 嫁 ☆とつぐ カ
よる ＊夜 よ ヤ
よる ＊因 イン
よる ＊寄 よせる キ
よろこぶ ＊喜 キ
よわい ＊弱 よわる よわまる よわめる ジャク
よわまる ＊弱
よわめる ＊弱
よわる ＊弱
よん☆| ＊四 よつ よっつ よ シ

〔ラ〕

ラ 裸 はだか
ライ☆ ＊礼 レイ
ライ ＊来 きた ☆きたる ☆きたす くる こい こない
ライ 雷 かみなり
ライ 頼 たのむ たのもしい ☆たよる
ラク 絡 ☆からむ ☆からまる
ラク ＊落 おちる おとす
ラク ＊楽 ガク たのしい たのしむ
ラク 酪
ラン ＊乱 みだれる みだす
ラン ＊卵 たまご
ラン ＊覧
ラン 欄

〔リ〕

リ 吏
リ ＊利 ☆きく
リ ＊里 さと
リ ＊理
リ 痢
リ ＊裏 うら
リ 履 ☆はく
リ 離 はなれる はなす
リキ ＊力 リョク ちから
リク ＊陸

わかす　沸　わく　フツ
わかつ　*分　わける　わかれる　わかる　ブン　フン　ブ
わかる　*分
わかれる　*分
わかれる　*別　ベツ
ワク　惑　まどう
わく　沸　わかす　フツ
わけ　*訳　ヤク
わける　*分　わかれる　わかる　わかつ　ブン　フン　ブ
わざ☆　*技　ギ
わざ☆　*業　ギョウ　ゴウ
わざわい　*災　サイ
わずらう☆　患　カン
わすれる　*忘　ボウ
わた　*綿　メン
わたくし　*私　シ

わたす　渡　わたる　ト
わたる　渡　わたす　ト
わらう　*笑　☆えむ　ショウ
わらべ☆　*童　ドウ
わり　*割　わる　われる　☆さく　カツ
わる　*割
わるい　*悪　アク　☆オ
われ　*我　☆わ　ガ
われる　*割　わる　わり　☆さく　カツ
ワン　湾
ワン　腕　うで

人名用漢字

この表は昭和二十六年五月二十五日、同五十一年七月三十日の内閣告示によるもので、子供の名前は、戸籍法施行規則によって、当用漢字表（一、八五〇字）と、この人名用漢字別表（九二字）および人名用漢字追加表（二八字）に掲げられた漢字の範囲内で命名しなければならぬことになった。ただし、音訓についての制限は設けられていない。

（別表）

丑丞乃之
也亙亥亦亨亮仙伊
匡卯只吾呂哉嘉圭
奈宏寅尚巌巳庄弘
弥彦悌惣敦昌晃晋
智暢朋杉桂桐楠橘
欣欽毅浩淳熊爾猪
玲琢瑞甚睦磨磯祐
禄禎稔穣綾聡肇胤
艶蔦藤蘭虎蝶輔辰
郁酉錦鎌靖須馨駒
鯉鯛鶴鹿麿斉龍亀

（追加表）

佑允冴喬
怜悠旭杏梓梢梨沙
渚瑠瞳紗紘絢翠耶
芙茜葵藍那阿隼鮎

レイ　礼*　☆ライ
レイ　冷*　つめたい　ひえる　ひや　ひやす　ひやかす　☆さめる　☆さます
レイ☆　戻°　もどる　もどす
レイ　励　はげむ　はげます
レイ　例*　☆たとえる
レイ　鈴　リン　すず
レイ　零
レイ　霊　☆リョウ　☆たま
レイ　隷△
レイ　齢
レイ　麗　うるわしい
レキ　暦　こよみ
レキ　歴*
レツ　列*
レツ　劣　おとる
レツ　烈
レツ　裂　さく　さける

レン　恋　こう　こい　こいしい
レン　連*　つらなる　つらねる　つれる
レン　廉
レン　練*　ねる
レン　錬△

〔ロ〕

ロ　炉
ロ　路*　じ
ロ　露　つゆ
ロウ　老*　おいる　☆ふける
ロウ　労*
ロウ　郎
ロウ　朗*　ほがらか
ロウ　浪
ロウ　廊
ロウ　楼

ロウ　漏　もる　もれる　もらす
ロウ　糧　リョウ　☆かて
ロク　六*　む　むつ　むっつ　☆むい
ロク　録*
ロク　緑*　リョク　みどり
ロン　論*

〔ワ〕

ワ　和*　やわらぐ　やわらげる　☆なごむ　☆なごやか
ワ　話*　はなす　はなし
わ☆　我*　われ　ガ
わ　輪*　リン
ワイ　賄　☆まかなう
わかい　若*　もしくは　ジャク　☆ニャク

まっか　真っ赤
まっさお　真っ青
みやげ　土産
むすこ　息子
めがね　眼鏡
もさ　猛者
もみじ　紅葉
もめん　木綿
もより　最寄り
やおちょう　八百長
やおや　八百屋
やまと　大和
ゆかた　浴衣
ゆくえ　行方
よせ　寄席
わこうど　若人

新聞で使用しない当用漢字の音訓

且　かつ
但　ただし
又　また
堪　たえる
朕　チン
濫　ラン
煩　わずらう　わずらわす
箇　カ
脹　チョウ
虞　おそれ
謁　エツ
遵　ジュン
附　フ

同音漢字の書き換え

カッコの表外字は、↓印の下の同音の新聞当用漢字に書き換える。

あ　(闇)→暗
え　(焰)→炎
か　(誡)→戒　(廻)→回　(劃)→画　(廓)→郭
き　(畸)→奇　(稀)→希　(糺)→糾　(馭)→御　(兇)→凶
け　(絃)→弦
こ　(箇)→個　(倖)→幸　(宏)→広　(礦)→鉱
さ　(坐)→座　(讃)→賛
し　(洲)→州　(輯)→集　(陞)→昇　(銷)→消
せ　(蹟)→跡
そ　(沮)→阻　(惣)→総
た　(歎)→嘆
ち　(智)→知　(註)→注
と　(蹈)→踏
は　(叛)→反
ふ　(附)→付
へ　(篇)→編　(辨)→弁　(辯)→弁　(瓣)→弁　(辮)→弁
ほ　(輔)→補　(歿)→没
ま　(磨)→摩
も　(摸)→模
よ　(熔・鎔)→溶　(慾)→欲
り　(掠)→略　(諒)→了　(輛)→両　(聯)→連
れ　(煉)→錬・練
わ　(彎)→湾

漢字書きにできる熟字訓

（四十八年六月、内閣が告示した当用漢字改定音訓表付表）

あす	明日
あずき	小豆
あま	海女
いおう	硫黄
いくじ	意気地
いちげんこじ	一言居士
いなか	田舎
いぶき	息吹
うなばら	海原
うば	乳母
うわき	浮気
うわつく	浮つく
えがお	笑顔
おかあさん	お母さん
おとうさん	お父さん
おとな	大人
おとめ	乙女
おまわりさん	お巡りさん
おみき	お神酒
おもや	母屋
かぐら	神楽
かし	河岸
かぜ	風邪
かな	仮名
かや	蚊帳
かわせ	為替
かわら	河原
きのう	昨日
きょう	今日
くだもの	果物
くろうと	玄人
けさ	今朝
けしき	景色
ここち	心地
ことし	今年
さおとめ	早乙女
ざこ	雑魚
さしつかえる	差し支える
さつきばれ	五月晴れ
さなえ	早苗
さみだれ	五月雨
しぐれ	時雨
しない	竹刀
しばふ	芝生
しみず	清水
しゃみせん	三味線
じゃり	砂利
じゅず	数珠
じょうず	上手
しらが	白髪
しろうと	素人
しわす（しはす）	師走
すきや	数寄屋
すもう	相撲
ぞうり	草履
だし	山車
たち	太刀
たちのく	立ち退く
たなばた	七夕
たび	足袋
ちご	稚児
ついたち	一日
つきやま	築山
つゆ	梅雨
てつだう	手伝う
てんません	伝馬船
とあみ	投網
とえはたえ	十重二十重
どきょう	読経
とけい	時計
ともだち	友達
なこうど	仲人
なごり	名残
なだれ	雪崩
にいさん	兄さん
ねえさん	姉さん
のら	野良
のりと	祝詞
はかせ	博士
はたち	二十（歳）
はつか	二十日
はとば	波止場
ひとり	一人
ひより	日和
ふたり	二人
ふつか	二日
ふぶき	吹雪
へた	下手
へや	部屋
まいご	迷子

二、表外字を使ってよい特殊語。

用字用語は当用漢字音訓表の範囲で書くことを原則とするが、固有名詞や次に示すような特殊な語は表外字を使ってよい。必要によりカッコして平仮名で読みを入れる(表外字は△印、表外音訓は●印)

(1)栄典、称号、官職名

〔例〕旭日大綬章　藍綬褒章　関脇　一等陸曹

(2)文学作品、美術品、古典芸能の名称

〔例〕枕草子　糞尿譚　弥勒思惟像　塩山蒔絵硯筥

浄瑠璃　歌舞伎　長唄　常磐津

(3)映画、演劇、歌謡曲などの題名

〔例〕鞍馬天狗　鏡獅子　祇園小唄

(4)学術上の用語で適当な言い換えのできないもの

〔例〕縄文土器　弥生式　鍾乳洞

(5)宮廷関係の儀式

〔例〕納采の儀　殯宮祗候　誄歌

三、語例別の言い換え、書き換えその他の配列語例は次のようなものである。

(1)表外字（△印で示す）を含むもの

〔例〕**あつれき**（軋轢）↓摩擦、不和、いざこざ、もめ事、あつれき

さしえ（挿画）↓さし絵

めいよきそん（名誉毀損）↓名誉棄損

(2)表外音訓（・印で示す）を含むもの

〔例〕**とりいれ**（穫り入れ）↓取り入れ

ゆえん（所以）↓わけ、理由、ゆえん

(3)同音の置き換えで、原語の音を生かすもの

〔例〕**しげき**（刺戟）↓刺激

たいふう（颱風）↓台風

はんじょう（繁昌）↓繁盛

(4)原音の意義の一部を取って、文脈に応じて使うもの

〔例〕**けう**（稀有）↓まれ、珍しい

ちょうろう（嘲弄）↓ばかにする、あざける、からかう

(5)なるべく原語の意義に近い語を代用するもの

〔例〕**かいざん**（改竄）↓変造、改変

しょうけい（捷径）↓近道

ねあせ（盗汗）↓寝汗

(6)表外字または表外音訓の部分を仮名書きにして原語の音を生かすもの

用字用語集

この用字用語集には①「新聞当用漢字改定音訓表」にない漢字、または音訓を含む語の言い換え、書き換えの語例②漢字二字以上で構成される熟字訓などの語例、および二つ以上の表記が慣用されている語の、新聞での統一表記語例③当用漢字以外の字（表外字）であっても、わが社で使用する八字についての書き方の語例④誤った表記と認められる語の書き換えの語例⑤同音漢字の語などで、漢字を誤用されやすい語例⑥「現代かなづかい」による主な仮名遣いの用例⑦「改定送り仮名の付け方」に基づいた新聞での統一送り仮名方式の主な用例⑧副詞・接続詞・連体詞などについて、わが社で使用する漢字と仮名の書き分けの主な語例⑨新聞では使わない語の言い換え、書き換えの主な語例――などを示してある。

使用の原則

一、用例の漢字書きになっているものは、平仮名書きまたは片仮名書きにしてもよい。また平仮名書きのものを片仮名書きにしてよいが、平仮名書きのものを漢字で書いたり、片仮名書きのものを平仮名や漢字では書かない。

二、この用字用語集に掲げた用例は、代表的な例示であって、それ以外の表現が使えないという意味ではない。適切な用例、表現がないために、原語の意義の一部をとったり、あるいは近似する意味の語に置き換えたりしたものもあるので、実際に使用する場合には、当用漢字音訓表の範囲内で、文脈に応じて適切な表現を工夫することが望ましい。

使用の要領

一、この用字用語集は次の要領で掲げた。

(1)見出し語は「現代かなづかい」による平仮名（一部片仮名）で、五十音順に配列した。

(2)現代かなづかい、副詞・接続詞・連体詞、送り仮名の付け方、新聞で使わない語は、(仮)・(副)・(接)・(連)・(送)・⊗の記号を付け、ほぼ五十音順に配列した。

(3)見出し語の下のカッコ内の表記は原則として使わないもので、使う表記を矢印「↓」の下に示した。

〔例〕 **かいづか**（貝塚△）↓貝塚
じゅく（塾△）↓〇〇塾
せいは（制覇△）↓制覇、優勝

(14)誤った表記と認められるもの、または同音漢字を誤用されやすいもの（▲印で示す）

〔例〕 **あんのじょう**（安の定▲、案の条▲）↓案の定
きょうみしんしん（興味深々▲）↓興味津々
むがむちゅう（無我無中▲）↓無我夢中

(15)はなはだしいあて字と認められるもの

〔例〕 **えたい**（得体）↓えたい、正体
ごまかし（誤魔化し）↓ごまかし
まごつく（間誤つく）↓まごつく
むりやり（無理矢理）↓無理やり

(16)「現代かなづかい」による仮名遣いの語例

〔例〕 **いじずく**(仮)意地ずく
ちんづき(仮)賃づき（搗△き）

(17)送り仮名の付け方の用例（改定送り仮名の付け方の項参照。用字用語集には単独語の送り仮名用例は省略したので、単独語については当用漢字音訓表によること）

〔例〕 **あら・あれ：** (送)荒武者、荒物、荒れ性、荒れ地
うり： (送)売上(高)、売り切れ、売り食い、売り子、売り出し……
ぬり： (送)【春慶】塗（工芸品の場合）、塗り替え、塗り方、塗り机……

(18)副詞・接続詞・連体詞の漢字と仮名の書き分け用例

〔例〕
あくまで (副)（飽くまで）↓あくまで
いぜん (副)依然
あるいは (接)（或△いは）↓あるいは
したがって (接)従△って
おける (連)（於△ける）↓おける
きたる： (連)来る〇日

(19)新聞では原則として使わない語、書き換えする語、**または禁止語などの語例**（ただし、差別観念を表さない場合には使ってもよい）。

〔例〕
タタキ ⊗（タタキ）↓強盗
ドサまわり ⊗（ドサ回り）↓地方巡業
ばてい ⊗（馬丁）↓馬手

〔例〕 いきがい（生き甲斐）↓生きがい
さっそう（颯爽）↓さっそう
はくせい（剝製）↓はく製

(7)表外音訓を含んでいても、熟字訓など慣用表記（(慣)印で示す）として特に使用を認めるもの

〔例〕 うわき↓(慣)浮気
えもん↓(慣)衣紋
なだれ↓(慣)雪崩

(8)二つ以上の表記があるもので、慣用度が低いと認められるもの

〔例〕 いたく（依託）↓委託
ちょうこう（徴候）↓兆候
ろうこう（老功）↓老巧

(9)二つ以上の表記のあるもので、その一つを新聞で統一的（(統)印で示す）に使うもの

〔例〕 うき（雨季）↓(統)雨期
はいれつ（排列）↓(統)配列
ねんぱい（年輩）↓(統)年配

(10)熟字になったため、音訓が変化するもの

〔例〕 あまくだり↓天下り（母音の交代）
こうし↓格子（音便）
いんねん↓因縁（音の同化）
かいどう↓街道（清濁の交代）
おんど↓音頭（音の伸縮）

(11)同訓異字または同音異義語を使い分けするもの

〔例〕 あたたかい
暖〔寒の対語、主として気象・気温に〕暖かい気候、暖かい冬、暖かい室内、暖かい日
温〔冷の対語、気象関係以外に〕温かいスープ、温かい血、温かいもてなし、家庭の温かさ、温かい料理

たいしょう
対象〔相手、目標〕調査の対象、読者を対象
対照〔比較、取り合わせ〕AとBを対照、対照的な存在
対称〔つり合っていること〕左右対称、対称点、対称律

(12)新聞が（補正案で）削除していた当用漢字のうち、再び採用するもの（採用した漢字は当用漢字音訓表参照）

〔例〕 いかく（威嚇）↓威嚇（射撃）、威圧、脅し
からくさ（唐草）↓唐草（模様）
たんせい（丹精、丹誠）↓(統)丹精、真心、入念

(13)表外字であっても、わが社で使用するもの（使用する表外字は当用漢字音訓表参照）

―づかい(使・遣)　―づかえ(仕)　―づかみ(摑)　―づかれ(疲)　―づき(付・搗)　―づく(付)　―づくえ(机)　―づくり(作・造)　―づくし(尽)　―づけ(付)　―づた(蔦)　―づたい(伝)　―づち(槌)　―づま(妻・褄)　―づまる(詰)　―づみ(積)　―づめ(爪・詰)　―づよい(強)　―づら(面)　―づらい(辛)　―づり(釣)　―づる(鶴・弦・蔓)　―づれ(連)

〈同音の連呼の場合〉

ちぢむ(縮)　つづみ(鼓)　つづら(葛籠)　つづく(続)　つづる(綴)

三、長音は、それぞれの仮名で書き表す。

ただし、オ列の長音だけは、「う」で書くことを本則とする。

〔例〕　おかあさん(母)　にいさん(兄)　ゆうがた(夕(ユフ)方)　ねえさん(姉)　あたらしゅう(新しう)　きゅうしゅう(九州(キウシウ))　にゅうがく(入学(ニフガク))

〈オ列長音の場合〉

おとうさん(父)　とうきょう(東京)　きのう(昨日(キノフ))　いきましょう(行きませう)　ちょう(蝶(テフ))

四、よう音を表す「ゃ」「ゅ」「ょ」、つまる音を表す「っ」は、なるべく右わきに小さく書く。

〔注　意〕

(1)「多い」「大きい」「氷」「通る」「遠い」「滞る」などは、「おおい」「おおきい」「こおり」「とおる」「とおい」「とどこおる」と書く。「おうい」「おうきい」「こうり」「とうる」「とうい」「とどこうる」とは書かない。

(2)「言う」は「いう」と書く。「ゆう」とは書かない。

(3)「敬礼」「兵営」「衛生」などの漢語は、「けいれい」「へいえい」「えいせい」というように書く。（発音はエ列長音にするのが普通である）

(4)方言の発音によらないで、標準的発音に基づいて書く。

現代かなづかい

「現代かなづかい」は、現代語音に基づいて、現代語を仮名で書き表す場合の準則を示したもので、主として口語文に適用する。文語文や引用など、原文の仮名遣いによる必要のあるもの、またはこれを変更し難いものなど、特別のものには使わなくてもよい。

現代かなづかいの要領

一、仮名の使い方は、大体発音通りにする。
「ゐ」「ゑ」の仮名は使わず、すべて「い」「え」と書くが、「を」は助詞に限り、元のままとする。助詞「は」「へ」も、元のままに書くことを本則とする。

〔例〕 をどり(踊)→**おどり**　あらはない(洗)→**あらわない**　なほ(尚・猶)→**なお**　……でさへ→**でさえ**　そうでせう→**そうでしょう**　くわし(菓子)→**かし**

〈助詞の場合〉

「を」 **本を読む　字を書く**
「は」 **私は　それでは　などは　あるいは　おそらくは　もしくは　または　ついては**
「へ」 **東京へ帰る　鈴木さんへ**

二、「ぢ」「づ」は、原則として使わないで、「じ」「ず」で書き表す。
ただし、二語の連合によって「ち」「つ」が濁る場合と、同音の連呼の場合だけは、「ぢ」「づ」を使う。

〔例〕 ふぢ(藤)→**ふじ**　はぢる(恥)→**はじる**　ぢ(痔)→**じ**　ぢしん(地震)→**じしん**　まづ(先)→**まず**　づつ(宛)→**ずつ**　なかんづく(就中)→**なかんずく**　さかづき(杯)→**さかずき**　づぐわ(図画)→**ずが**

〈二語の連合の場合〉

ひぢりめん(緋縮緬)　**ちかぢか**(近々)　**いれぢえ**(入知恵)　**ちゃのみぢゃわん**(茶飲茶碗)　**みそづけ**(味噌漬)　**みかづき**(三日月)　**ちかづく**(近付)
―ぢから(力)　**―ぢょうちん**(提灯)　**―ぢょうし**(調子)　**―づえ**(杖)　**―づか**(塚・束・柄)

かなづち（金づち）
かねずく（金ずく）
かねづかい（金遣い）
かねづつみ（金包み）
かねづまり（金詰まり）
かねづる（金づる）
かんづく（感づく）
かんづめ（かん詰め）
きじ（生地）
きずく（築く）
きずな
きづかう（気遣う）
きづかれ（気疲れ）
きづく（気づく）
きづまり（気詰まり）
きぬじ（絹地）
きぬずくめ（絹ずくめ）
きりづまづくり（切り妻造り）

きんじさん（禁治産）
くず
ぐずる
くずれる（崩れる）
くちずから（口ずから）
くちずさむ（口ずさむ）
くちづけ（口づけ）
くちづたえ（口伝え）
くちづて（口づて）
けずる（削る）
けっこうずくめ（結構ずくめ）
けづめ
こうじ（小路）
こうずけ（上野）地名
こうりづめ（こうり詰め）
こころづくし（心尽くし）

こころづけ（心づけ）
こころづもり（心積もり）
こぢんまり（小ぢんまり）
こづかい（小遣い、小使い）
こづく（小突く）
こづくり（小づくり）
こつづみ（小鼓）
こづつみ（小包）
ことづて
こどもづれ（子供連れ）
ごぶづき（五分づき）
こまづかい（小間使い）
さいづちあたま（さいづち頭）
さえずる
さかずき（杯）
さしず（指図）
さしずめ
さずける（授ける）

さるぢえ（さる知恵）
さんずのかわ（さんずの川）
じあい（地合い）
じいさん
しおじ（潮路）
しおづけ（塩づけ）
じかだんぱん（直談判）
じがね（地金）
じしつ（ジ疾）
しずかに（静かに）
しずく（滴）
しずむ（沈む）
したじ（下地）
したつづみ（舌鼓）
したづみ（下積み）
じつづき（地続き）
じづめ（字詰め）
じづら（字面）
じみ（地味）

「ぢ、づ」と「じ、ず」の使い分け用例集

あいそづかし（愛想づかし）
あいづち（相づち）
あじわう（味わう）
あずき（アズキ、小豆）
あずける（預ける）
あずま
あせみずく（汗みずく）
あるきづめ（歩きづめ）
あわじ（淡路）地名
いいづらい（言いづらい）
いいなずけ
いえじゅう（家じゅう）
いきおいづく（勢いづく）
いきづかい（息遣い）
いきづく（息づく）

いくじない（意気地ない）
いじずく（意地ずく）
いず（伊豆）地名
いずこ
いずみ（泉）
いずれ
いたずら
いちじく（イチジク）
いちじるしい（著しい）
いちずに
いちにちじゅう（一日中、
一日じゅう）
いつづけ（居続け）
いなずま（稲妻）
いもづる（芋づる）
いれぢえ（入れ知恵）

いろづく（色づく）
うず（渦）
うずく
うずくまる
うずめる
うずら（ウズラ）
うでずく（腕ずく）
うなずく
うみじ（海路）
うわぢょうし（上調子）
うわづつみ（上包み）
えこじ・いこじ
えんづく（縁づく）
おうみじ（近江路）地名
おおづかみ（大づかみ）
おおづつ（大筒）
おおづめ（大詰め）

おじ
おじいさん
おとずれる（訪れる）
おのずから
おもしろずくめ（面白ずく
め）
おやじ
おりづめ（折り詰め）
おりづる（折りヅル）
かいづか（貝塚）
かかずらう
かしずく
かじや（かじ屋）
かずら・かつら
かたず〔をのむ〕
かたづく（片付く）
かたづける（片付ける）
かっきづく（活気づく）
かなづかい（仮名遣い）

つづく（続く）
つづまる
つづみ（鼓）
つづら
つづる
つづれおり（つづれ織り）
つねづね（常々）
つのづきあい（角突き合い）
つまずく
…づまる（「気詰まり」の類）
…づよい（「力強い」の類）
つれづれ
てずから（手ずから）
てぢか（手近）
てづかみ（手づかみ）
てつづき（手続き）
てづまり（手詰まり）
てづめ（手詰め）

てづる（手づる）
てなずける（手なずける）
とうじ（冬至、湯治）
ときわず（常磐津）
どくづく（毒づく）
どじ
とじる（閉じる）
ともづな（とも綱）
ともづり（友釣り）
とんちゃく・とんじゃく
どんづまり（どん詰まり）
なかんずく
なきづら（泣き面）
なずむ
なづける（名付ける）
なっとくずく（納得ずく）
なべづる（ナベヅル）
なまず（ナマズ）

なまづめ（生ヅメ）
なみじ（波路）
ならづけ
にいづま（新妻）
にくずき（肉好き）
にくづき（肉づき）
にわづたい（庭伝い）
ぬかずく
ぬかづけ
ねじる
ねずみ（ネズミ）
ねづく（根付く）
ねづもり（値積もり）
ねづよい（根強い）
のじ（野路）
のりづけ

のりづめ（乗りづめ）
ばかぢから（ばか力）
はしぢか（端近）
はじる（恥じる）
はずかしい（恥ずかしい）
はずす（外す）
はなぢ（鼻血）
はなづつ（花筒）
はなづな（鼻綱）
はなづら（鼻面）
はらつづみ（腹鼓）
はらづもり（腹積もり）
ばんづけ（番付）
ひきつづき（引き続き）
ひきづな（引き綱）
ひげづら（ヒゲ面）
ひざづめだんぱん（ひざ詰め談判）

しゃちょうづき（社長付）
…じゅう（「家じゅう」の類）
しろじ（白地）
しんじゅう（心中）
じんずうりき・じんつうりき（神通力）
ずうずうしい
ずうたい
ずが（図画）
ずがいこつ（頭ガイ骨）
ずかずか
…ずから（「口ずから」の類）
すきやづくり（数寄屋造り）
ずきん
…ずく（「腕ずく」の類）
…ずくめ（「絹ずくめ」の類）

ずしずし
すしづめ（すし詰め）
ずたずた
…ずつ（「一つずつ」の類）
ずっしり
ずぬける（頭抜ける）
ずぶとい
すんづまり（寸詰まり）
せかいじゅう（世界中、世界じゅう）
ぜんじ・ぜんち（全治）
そえぢ（添え乳）
そこぢから（底力）
そばづえ
たいじ（退治）
だいず（大豆）
たくあんづけ・たくわんづけ

たけづつ（竹筒）
たずさえる（携える）
たずねる（尋ねる、訪ねる）
たづな（手綱）
たびじ（旅路）
ちかぢか（近々）
ちかづく（近づく）
ちからずく（力ずく）
ちからづける（力付ける）
ちからづよい（力強い）
ちじ（知事）
ちじく（地軸）
ちじょく（恥辱）
ちじん（知人）
ちず（地図）
ちぢ（千々）
ちぢこまる（縮こまる）
ちぢまる（縮まる）
ちぢみ（縮み）

ちぢむ（縮む）
ちつづき（血続き）
ちゃづけ（茶づけ）
ちゃづつ（茶筒）
ちゃのみぢゃわん（茶飲み茶わん）
ちゃぼうず（茶坊主）
ちょうしづく（調子づく）
ちょうずばち
…ぢょうちん（「小田原ぢょうちん」の類）
ちょうづけ（帳付け）
ちょうづめ（腸詰め）
ちりぢりに
ちんづき（賃づき）
…づえ（「松葉づえ」の類）
…づくし（「心尽くし」の類）
つくづく

ゆうずう（融通）
ゆうすずみ（夕涼み）
ゆきづまり（行き詰まり）
ゆず（ユズ）
ゆずる（譲る）
ゆであずき
よくとくずく（欲得ずく）
よこづけ（横付け）
よこづな（横綱）
よじゅう（夜じゅう）
よじる
よづり（夜釣り）
よみづらい（読みづらい）
よろず
りづめ（理詰め）
りゅうず（竜頭）
りょうじ（療治）
りょうはし・りょうはじ（両端）
れんじゅう・れんちゅう（連中）
ろじ（路地、露地）

わしづかみ
わずかに
わずらわしい
わとじ（和とじ）
わびずまい（わび住まい）
わらじ
わらづつみ（わら包み）
わらづと
わるぢえ（悪知恵）

ひざまずく
ひだりづま（左づま）
ひぢりめん
ひづけ（日付）
ひづめ（ヒヅメ）
ひとづきあい（人付き合い）
ひとつずつ（一つずつ）
ひとつづき（一続き）
ひとづて（人づて）
ひとづま（人妻）
ひよくづか（比翼塚）
ふうふづれ（夫婦連れ）
ふかづめ（深ヅメ）
ふくじ（服地）
ふくれづら（膨れ面）
ふじ（フジ）植物名
ふずい（付随）
ぶっちょうづら（仏頂面）
ふでづか（筆塚）

ふでづかい（筆遣い）
ふでづつ（筆筒）
ふなじ（船路）
ふなづみ（船積み）
ふろしきづつみ（ふろしき包み）
ふんづける（踏んづける）
ふんづまり（ふん詰まり）
ぼうず（坊主）
ほおずき（ホオズキ）
ほおずきぢょうちん
ほおずり
ほおづえ
ほづな（帆綱）
ほんじ（本地）
ぼんぢょうちん（盆ぢょうちん）
まず

まずい
まずしい（貧しい）
まぢか（間近）
まつばづえ（松葉づえ）
まなづる（真鶴）地名
みかづき（三日月）
みじん
みず（水）
みずうみ（湖）
みずから（自ら）
みずみずしい
みそづけ
みぢか（身近）
みちづれ（道連れ）
みづくろい（身繕い）
みねづたい（峰伝い）
みねつづき（峰続き）
みみずく（ミミズク）
みやづかえ（宮仕え）

むじ（無地）
むしず（虫ず）
むしづくし（虫尽くし）
むずかしい・むつかしい（難しい）
むずかる
むだづかい（むだ遣い）
めずらしい（珍しい）
もくず
もじる
もとづく（基づく）
もみじ（紅葉）
もらいぢち（もらい乳）
やくづき（役付き）
やねづたい（屋根伝い）
やまじ（山路）
やまづみ（山積み）

〔注意〕　語幹と活用語尾との区別がつかない動詞は、例えば「着る」「寝る」「来る」などのように送る。

通則二

本則　活用語尾以外の部分に他の語を含む語は、含まれている語の送り仮名の付け方によって送る。（含まれている語を〔　〕の中に示す）

〔例〕

①動詞の活用形またはそれに準ずるものを含むもの。

動かす〔動く〕　照らす〔照る〕　語らう〔語る〕　計らう〔計る〕　向かう〔向く〕　浮かぶ〔浮く〕　生まれる〔生む〕　踏まえる〔踏む〕　勇ましい〔勇む〕　輝かしい〔輝く〕　喜ばしい〔喜ぶ〕　晴れやかだ〔晴れる〕　及ぼす〔及ぶ〕　積もる〔積む〕　聞こえる〔聞く〕　頼もしい〔頼む〕　起こる〔起きる〕　落とす〔落ちる〕　暮らす〔暮れる〕　冷やす〔冷える〕　当たる〔当てる〕　終わる〔終える〕　変わる〔変える〕　集まる〔集める〕　定まる〔定める〕　連なる〔連ねる〕　交わる〔交える〕　混ざる・混じる〔混ぜる〕　恐ろしい〔恐れる〕

ただし、次の語は次のように送る。

押える　捕える

②形容詞・形容動詞の語幹を含むもの。

重んずる〔重い〕　若やぐ〔若い〕　怪しむ〔怪しい〕　悲しむ〔悲しい〕　苦しがる〔苦しい〕　確かめる〔確かだ〕　重たい〔重い〕　憎らしい〔憎い〕　古めかしい〔古い〕　細かい〔細かだ〕　柔らかい〔柔らかだ〕　清らかだ〔清い〕　高らかだ〔高い〕　寂しげだ〔寂しい〕

③名詞を含むもの。

汗ばむ〔汗〕　先んずる〔先〕　春めく〔春〕　男らしい〔男〕　後ろめたい〔後ろ〕

〔注意〕　次の語は、それぞれ〔　〕の中に示す語を含むものとは考えず、通則一によるものとする。

明るい〔明ける〕　荒い〔荒れる〕　悔しい〔悔いる〕　恋しい〔恋う〕

二、活用のない語

通則三

本則　名詞（通則四を適用する語を除く）は、送り仮名を付けない。

〔例〕　月　鳥　花　山　男　女　彼　何

例外　①次の語は、最後の音節を送る。

辺り　哀れ　勢い　幾ら　後ろ　傍ら　幸い　幸せ　互い　便り　半ば　情け　斜め　独り　誉れ　自ら　災い

送り仮名の付け方

一、この「送り仮名の付け方」（通則と用字用語集の用例）は、昭和四十七年六月国語審議会が答申した「改定送り仮名の付け方」に基づき、日本新聞協会の新聞用語懇談会が取り決めた改定方式に従ったものである。

二、この「送り仮名の付け方」は、今の新聞の建前である**現代口語文**を書く場合の送り仮名の付け方のよりどころを示したもので、次の三つを根本方針として定めたものである。

1、活用語およびこれを含む語は、その活用語の語尾を送る。

2、なるべく誤読、難読の恐れのないようにする。

3、慣用が固定していると認められるものは、それに従う。

通　則

単独の語

一、活用のある語

通則一

本則　活用のある語（通則二を適用する語を除く）は、活用語尾を送る。

〔例〕憤る　承る　書く　実る　催す　生きる　陥れる　考える　助ける　荒い　潔い　賢い　濃い　主だ

表す　著す　現れる　行う　断る　賜る

例外　①語幹が「し」で終わる形容詞は「し」から送る。

〔例〕著しい　惜しい　悔しい　恋しい　珍しい

②活用語尾の前に「か」「やか」「らか」を含む形容動詞は、その音節から送る。

〔例〕暖かだ　細かだ　静かだ　穏やかだ　健やかだ　和やかだ　明らかだ　平らかだ　滑らかだ　柔らかだ

③次の語は、次に示すように送る。

明らむ　味わう　哀れむ　慈しむ　教わる　脅かす（おどかす）　脅かす（おびやかす）　食らう　異なる　逆らう　捕まる　群がる　和らぐ　揺する　明るい　危ない　危うい　大きい　少ない　小さい　冷たい　平たい　新ただ　同じだ　盛んだ　平らだ　懇ろだ　惨めだ　哀れだ　幸いだ　幸せだ　巧みだ

語の送り仮名の付け方によって送る。（含まれている語を〔　〕の中に示す）

併せて〔併せる〕　従って〔従う〕　絶えず〔絶える〕
例えば〔例える〕　努めて〔努める〕　辛うじて〔辛い〕
少なくとも〔少ない〕　互いに〔互い〕
必ずしも〔必ず〕

複合の語

通則六

本則　複合の語（通則七を適用する語を除く）の送り仮名は、その複合の語を書き表す漢字の、それぞれの音訓を用いた単独の語の送り仮名の付け方による。

〔例〕

①活用のある語

書き抜く　流れ込む　申し込む　打ち合わせる　向かい合わせる　長引く　若返る　裏切る　旅立つ
聞き苦しい　薄暗い　草深い　心細い　待ち遠しい
軽々しい　若々しい　女々しい　気軽だ　望み薄だ

②活用のない語

石橋　竹馬　山津波　後ろ姿　斜め左　花便り　独り言　卸商　水煙　目印　田植え　封切り　物知り　落書き　雨上がり　墓参り　日当たり　夜明かし　先駆け　巣立ち　手渡し　入り江　飛び火　教え子　合わせ鏡　生き物　落ち葉　預かり金　寒空　深情け　愚か者
行き帰り　伸び縮み　乗り降り　抜け駆け　作り笑い　暮らし向き　売り上げ　取り扱い　乗り換え　引き換え　歩み寄り　申し込み　移り変わり
長生き　早起き　苦し紛れ　大写し　粘り強さ　待ち遠しさ　乳飲み子　無理強い　立ち居振る舞い　呼び出し電話
休み休み　行く行く　次々　常々　近々　深々

通則七

複合の語のうち、次の複合名詞は、慣用に従って送り仮名を付けない。

〔注意〕　この通則を適用する語は、原則として次に掲げてある語の範囲内とする。同類の語でも類推はできるだけ避け、通則六を適用して送り仮名を付ける。

〔例〕　①地位・身分・役職・法令・書式などの名。

【　】の中は関連する名。

【進退】伺　覚書　【戸籍】係・掛　係・掛員　係・掛官

②数をかぞえる「つ」を含む名詞は、その「つ」を送る。

〔例〕一つ　二つ　三つ　幾つ

通則四

本則　活用のある語から転じた名詞および活用のある語に「さ」「み」「げ」などの接尾語が付いて名詞になったものは、もとの語の送り仮名の付け方によって送る。

〔例〕

①活用のある語から転じたもの。

動き　仰せ　恐れ　薫り　曇り　調べ　届け　願い
晴れ　当たり　代わり　向かい　狩り　答え　問い
祭り　群れ　憩い　愁い　憂い　香り　極み　初め
近く　遠く

②「さ」「み」「げ」などの接尾語が付いたもの。

暑さ　大きさ　正しさ　確かさ　明るみ　重み　憎しみ
惜しげ

例外　次の語は、送り仮名を付けない。

謡　趣　氷　印　頂　帯　畳　卸　煙　恋　志　次
隣　富　恥　話　光　舞　折　係　掛(かかり)　組
肥　並(なみ)　巻　割

〔注意〕ここに掲げてある語でも、動詞の意識が十分に残っている場合には、この例外には該当せず、従ってそれぞれもとの語の送り仮名の付け方によって送り仮名を付けることになる。

「折」は時期、機会などを表す場合、「並」は程度などを表す場合に限り送り仮名を付けない。ただし「人並み、家並み」などのように「並」が語末にくる複合名詞には、すべて送り仮名を付ける。

〔例〕折り畳み　たな卸し　底光り　活字の組み　頭割り
並の肉　人並み　都市並み

また表・記号などに用いる場合には、次の（　）の中に示すように、送り仮名を省くことができる。

〔例〕曇り(曇)　晴れ(晴)　答え(答)　問い(問)

通則五

本則　副詞・連体詞・接続詞は、最後の音節を送る。

〔例〕必ず　少し　既に　再び　全く　最も　来る　及び

例外　①次の語は、次に示すように送る。

明くる　大いに　直ちに

②次のように、他の語を含む語は、含まれている

(あ)合縁奇縁　合方　合着　合気道　合口　合言葉　合印　合図　合判　合服　合間　(い)居合　入会【権】　(う)植木　植芝　植草　【進退】伺　浮足　浮草　浮雲　浮名　浮橋　浮袋　浮身　浮世　浮輪　浮気　請負　受付（人・所・職の場合）　受付《期間》　受取（証など）　受取《場所》　歌会始　打合会　(え)絵巻　縁組　(お)大立者　大手合（囲碁の）　沖合　置物　置引　奥書　奥付　覚書　織物　織元（職業）　卸問屋　卸商　(か)介添人　【戸籍】係・掛　係・掛員　係・掛官　係・掛長　書留　貸金　貸座敷　貸室　貸席　貸地　貸賃　貸主　貸舟・船　貸本　貸間　貸店　貸元　貸家　河川敷　肩書　勝手　(き)気合　気付（あて名）　切手　切符　忌引　(く)具合　【三人】組　組合　組員　組頭　組長　組曲　組下（印刷の）　(け)消印　(こ)小売《商》　小売値　講書始　高利貸（人の場合）　小切手　木立　小包　子守　献立　(さ)作付反別　作付面積　座敷　桟敷　指図　差出人　(し)試合　敷居　敷石　敷板　敷皮　敷金　敷地　敷布　敷布団　敷物　仕立券　仕立物　事務取扱　(せ)関取　(た)代金引換　立会《人》　立会演説　立場　竜巻　建網　建売【住宅】　建具　建坪　建場　建前　建物　立役者　(つ)【重役】付　付添【人】　【○日】付　積立《金》　【支店】詰　(て)手当（金銭）　手付金　手引（書名など）　(と)問屋頭取　灯台守　【欠席】届　隣組　友引　取扱注意　取扱《期間》　取組（相撲などの）　取締【役】　取調【官】　取次《店》　取引　捕物　(な)仲買（職業）　名取　並木　鳴子　(ね)【捜索】願　(の)乗合【船】　乗換駅　乗換券　乗組員　(は)場合　羽織　墓守　履物　葉巻　番組　番付　(ひ)控室　引換券　日付　(ふ)歩合　封切館　福引　踏切（鉄道用語に限る）　振出《局》　(ほ)星取表　掘割　(ま)舞扇　舞子　舞姫　巻紙（手紙の）　巻物　待合【室】　待合（料亭など、待合政治）　万引　(み)水引　見積《書》　【社員】見習　見習【社員】　身代金　見舞【金】　(も)申込《期間》　申立【人】　元締　元結（髪の）　物置　物語　(や)役割　屋敷　山伏　(ゆ)結納　夕立　行方　(り)両隣　(わ)割合　割当《期間》　割高　割引　割安　渡守

送り仮名付け方用例

一、別表①は《　》の中の語「人・時・所・金・書・機関・制度・数量・品目」を表す語の運用例を示す。

　A欄の三十四の各語にB欄の各語が結び付くときは、送り仮名を省く。

二、別表②はA表の複合語にさらに複合語が重なった場合の送り仮名の付け方の主な用例を示す。

①「貸出約定金利」「支払準備制度」などのよ

係・掛長　肩書　事務取扱　関取　【重役】付　【支店】詰　頭取　年寄（相撲の）　【欠席】届　取締（相撲の）　取締【役】　取調【官】　名取　【退職】願　張出【横綱】　【社員】見習　見習【社員】

その他、役職名、法令名などで、慣用の固定しているものは、送り仮名を付けなくてよい。

②工芸品およびこれに準ずる物の名に用いられた「織・絞・染・縮・塗・彫・焼」。

【　】の中は関連する地名、人名など。

ただし「素焼き、漆塗り、紋織り、木彫り、ろうけつ染め」のように素材・形態・技法などを表すものには、仮名を送る。

【博多】織　【鳴海】絞　【型絵】染　【阿波】縮　【鎌倉】彫　【春慶】塗　【備前】焼

③主に経済関係の分野で慣用されている語。

貸付《金》、借入《期間》など《　》の中の語は「人・時・所・金・書・機関・制度・数量・品目」を表すものに限る。従って「貸付金、借入金」はよいが「貸し付け、借り入れ条件」など動作・方法・状態（動詞的）を表すものは仮名を送る。

送り仮名の付け方用例は別表①②（一一〇ページ以下）を参照。

④主に職業名を表す「工・師・店・屋」の付く語で、慣用が固定していると認められ、難読・誤読の恐れがないものは送り仮名を付けなくてよい。ただし、迷う場合には仮名を送る。

【　】の中の語は職業の名。

【仕上】工　【釣具】店　【振付】師　【染物】屋

⑤一般に、慣用が固定していると認められるもの。

「入会【権】、【三人】組」などの【　】の中は【　】の前もしくは後ろにつく語に関連する他の漢字で置き換えた場合でも、この通則が適用される。

ただし、「くじ引き券、貸しボート、打ちひも、さび止め」などのように、前もしくは後ろの部分を仮名で書く場合は、他の部分については、単独の語の送り仮名の付け方による。

（次の用例には、経済分野などで使用される語例と重複するものもある。《　》の付く語は③の項と同様に扱う）

別表② 複合語が重なるときの主な用例

受　付
受け付け開始
受付開始日
受け付け増加
受付増加額
受付金融機関
受け付け業務
受け付け順
受け付け状況
受け付け条件
受け付け中
受け付け手続き
受け付け締め切り

受　取
受け取り指定
受取指定日・期日
受け取り方法
受け取り手続き

売　上
売り上げ課税
売上課税制度・課税額
売上純利益金・率
売り上げ利益
売上利益金
売り上げ増
売上増加額
売り上げ予定
売上予定額

売　掛
売掛商品勘定
売り掛け債権

卸　売
卸売物価・指数
卸売平均価格
卸売り実績

買　掛
買掛商品勘定
買い掛け債務

貸　越
貸し越し増・増加
貸越増加額
当座貸し越し

貸　出
貸出金融機関
全金融機関貸出総額
貸出平均金利
貸出約定平均金利
貸出優遇金利
貸し出し開始
貸出開始日・期日
貸し出し協定
貸出協定額
貸し出し準備
貸出準備金
貸し出し限度
貸出限度額
貸し出し増加
貸出増加額
貸し出し予定
貸出予定額
貸し出し基準
貸し出し実績
貸し出し条件
貸し出し状況
貸し出し政策
貸し出し方法
貸し出しわく・ワク

貸　付
貸付金融機関
貸付信託
貸付有価証券
貸し付け開始
貸付開始日
貸し付け契約
貸付契約額・金
貸し付け決定
貸付決定額
貸し付け限度
貸付限度額
貸し付け増加

うに慣用が固定している語は、送り仮名を省いてよい。

② 「貸出増加額」「申込受付日」などのように、複合名詞が重なる場合、最後に《 》の中の語「人・時・所・金・書・機関・制度・数量・品目に該当する語」が付くときは送り仮名を省いてよい。

ただし「貸し出し増加、申し込み受け付け」などのように動作・方法・状態（動詞的）を表す語が重なるときは、原則通り送り仮名を付ける。

別表①　複合名詞で《 》の付く語および《 》の中に入る主な語

欄	区分	語
A欄	《 》の付く語	受付　受取　売上　売掛　卸売　買掛　貸越　貸出　貸付　借入　借受　借越　仮払　繰入　繰越　小売　差引　支払　立会　積立　取扱　取組
		取次　荷受　払込　払戻　引当　引受　振出　見積　申込　割当　割増　割戻
B欄	人	人　係　掛　嬢　者　業　商
	時	日　期日　期間　期限　時　時間　時刻
	所	所　場　場所　地　先　窓口　店　局
	金	金　額　金額　総額　値　値段　価格　物価　原価　高　残　残高　残株　料　料金　手数料　賃　賃金　運賃　代金　資金　資本
		資本金　金利　利子　利率　利益金　利益率　配当　損失金　欠損金　証券　債券　公債　社債　手形　勘定　予算　予算額　預金　貯金　税額
	書	書　書類　票　伝票　証　証書　状　帳　簿　帳簿　用紙　通帳
	機関	機関　銀行　官庁　市場　業　業者　業界　店　代理店　専門店　商　商社　会社　問屋　団　団体　協会
	制度	制度　規則　規定
	数量	量　数　数量　件数　本数　冊数　高　物件　率　比率　総量　総数　合計　総計
	品目	品　品目　商品　物　物品　現品　物件

差し引き計算

支払

支払予算・予算額
支払予備金
支払い限度
支払限度額
支払い準備
支払準備金
支払準備制度
支払い指定
支払指定日・期日
支払い申請
支払申請書・額
支払い増加
支払増加額
支払い保証
支払保証制度・人
支払い担当
支払担当者
支払い申し込み
支払申込書・金

支払い延期
支払い条件
支払い実績
支払い停止
支払い方法・方式
支払い命令
支払い猶予

立会

立会場・時刻
立ち会い延期・延刻
立ち会い終了
立ち会い中止・停止
市場立ち会い

積立

積立貯金・預金
積立定期預金
積立郵便貯金
積み立て開始
積立開始日
積み立て終了・完了

積立終了日・完了日
積み立て分譲
積立分譲価格・地
積み立て条件
積み立て方法・方式

取扱

取扱金融機関
取扱注意
取り扱い受け付け
取扱受付日・人
取り扱い担当
取扱担当者
取り扱い限度
取扱限度額・量
取り扱い予定
取扱予定品目・物品
取扱予定日
取り扱い禁止・中止
取り扱い状況
取り扱い実績
取り扱い方法・方式

取組

取組玉
取組枚数
取り組み方・方法・方式

取次

取り次ぎ専門
取次専門業者・店
取次代理業・業者
取次代理店

荷受

荷受け業務・仕事
荷受機関

払込

払込一時金
払い込み受け付け
払込受付高・機関
払い込み開始・終了
払込開始日・終了日
払い込み指定

貸付増加額・率
貸し付け返済
貸付返済金・額
貸し付け利益
貸付利益金
貸し付け実績
貸し付け条件
貸し付け担保
貸し付け方法
貸し付け範囲
現金貸し付け
代理貸し付け
手形貸し付け

借　入

借入金融機関
借入有価証券
借り入れ契約
借入契約額・金・書
借り入れ限度
借入限度額
借り入れ申請
借り入れ申請手続き
借入申請額・書
借り入れ返済
借入返済金
借り入れ申し込み
借入申込書・期日
借り入れ予定
借入予定額
借り込れ債務
借り入れ実績
借り入れ条件
借り入れ担保
借り入れ方法
手形借り入れ

借　受

借り受け契約
借受契約額・書
借り受け申請
借受申請書・額
借り受け返済
借受返済金・額
借り受け条件・実績

借　越

借り越し計算
差し引き借り越し
差引借越高

仮　払

仮払い申請
仮払申請書・額
仮払い申し込み
仮払申込書・金

繰　入

繰入剰余金
繰り入れ利益・損失
繰入利益金・損失金
繰り入れ計算
次期繰り入れ

繰　越

繰越剰余金・額
繰り越し利益・欠損
繰越利益金・欠損金
繰り越し計算
次期繰り越し

小　売

小売標準価格
小売平均価格
小売物価指数
小売り指導
小売指導価格
小売り実績
小売りマージン
小売り利潤

差　引

差し引き利益・損失
差引利益金・損失金
差し引き剰余
差引剰余金
差し引き借り越し
差引借越金・額・高

割　戻
割り戻し開始・終了

割戻開始日・終了日
割り戻し請求

割戻請求額・書・日
割り戻し方法・方式

漢字書きできる熟字訓（付表の語）の送り仮名は次のようにする。
一、次の語には、次に示すように送り仮名を付ける。
浮つく　お巡りさん　差し支える　五月晴れ　立ち退く
手伝う　最寄り
二、次の語は、送り仮名を付けない。
息吹　時雨　築山　名残　雪崩　吹雪　迷子　行方

送り仮名の付け方用例の注意
この用字用語集の送り仮名用例は、主として複合語の送り仮名について掲げてある。単独語の送り仮名については、新聞当用漢字音訓表に従って付ける。
音訓表では太字体が送り仮名の部分である。
〔例〕生　い**きる**。　い**かす**。　う**まれる**。　う**む**。　は**える**。

用字用語集の記号

△ 表外字　・ 表外音訓　▲ 誤用の字
＊ 字音で読む場合には使ってよい表記
↓ この記号の下にあるように書き換える
＝ 同じ読み方で、意義によって使い分けする語
(学) 文部省が制定した学術用語
(法) 内閣法制局が決めた法令用語改正要領によるもの
(慣) 表外音訓を含んでいるが、熟字訓などで慣用表記として使うもの
(統) 二様以上の表記があるもので、その一方を統一的に使うもの、統一用語
(仮) 「現代かなづかい」の要領によったもの
(副) 副詞の書き方　(連) 連体詞の書き方
(接) 接続詞の書き方　(送) 送り仮名の付け方
⊗ 禁止語、使わない語などで言い換えするもの　ただし、差別観念を表さない場合や、使った方が適切である特別の場合は使ってよい
【 】 送り仮名の付け方で他の同類の漢字に置き換えた場合にも使用できる
《 》 送り仮名の付け方で語尾に「人・時・所・金・書・機関・制度・数量・品目」を表す語が付く場合に限り使用できる

払込指定日・期日
払込指定銀行・機関
払い込み証明
払込証明書
払い込み予定
払込予定日・額
払い込み状況
払い込み済み
払い込み方法・方式
払い込み中止・猶予
払い込み延期

払　戻

払戻決定額
払い戻し指定
払戻指定銀行
払い戻し請求
払戻請求額・人・書
払い戻し予定
払戻予定額・日・期日
払い戻し状況
払い戻し中止・停止
払い戻し方法・方式

引　当

引き当て準備
引当準備金・積立金
貸し倒れ引当準備金

引　受

引受金融機関
引き受け限度
引受限度額
引き受け契約
引受契約額・書・期間
引き受け募集
銀行引き受け

振　出

振出局・人
銀行振り出し
手形振り出し

見　積

見積もり計算
見積計算書

申　込

申込証拠金
申し込み受け付け
申込受付期日・銀行
申し込み契約・解約
申込契約金・期日
申し込み締め切り
申し込み状況
申し込み済み
申し込み方法・方式
申し込み開始・終了
申込開始日・終了日
申し込み予定
申込予定日・額
申し込み増加
申込増加額

割　当

割当面積
割り当て作付け
割当作付面積
作付け割当面積
割り当て出資・増資
割当出資金
割り当て増
割当増加額・増資金
割り当て販売
割当販売制度
割り当て申し込み
割当申込書・金・数量
割り当て権限
割り当て償却
割り当て方法・方式
割り当て予定
割当予定額・量・日

割　増

割増証拠金
割り増し償却
割り増し税
割り増し発行

あいべや　↓(慣)相部屋

あいぼう　(合棒)↓相棒

あいまい　(曖昧)↓あいまい、不「確実」

あいみたがい　(相見互い)↓相身互「い」

あいよく　(愛慾)↓愛欲

あいろ　(隘路)↓難関、障害、困難、支障、あい路

あう　(逢う)↓会う、遭う

合〔合致する〕落ち合う、計算が合う、気が合う、道理に合う、話が合う、間に合う、目が合う、巡り合う

会〔人と人とがあう〕客に会う、席に立ち会う、人と会う、人と出会う

遭〔期せずしてあう、限定用語〕災難に遭う、ひどい目に遭う、にわか雨に遭う、返り討ちに遭う、交通事故に遭う、強い反対に遭う

あえて　(副)(敢えて)↓あえて

あおむく　(仰向く)↓あお向く

あかあか

赤々〔真っ赤なさま〕赤々と咲く花、夕日が赤々と沈む、火が赤々と燃える

明々〔きわめて明るいさま〕明々と道を照らす、夜が明々と明ける、明々と月が照る、たいまつが明々と照らす

あかみ　↓赤身、魚の赤身

(赤味)↓赤み

あがる・あげる　(騰る)↓上がる

上〔下がる・下げるの対語、一般用語〕上げ石(囲碁の)、上げ潮、上げ下ろし、上げかじ、上げ底、上げ地、腕が上がる、お手上げ、差し上げる、地位が上がる、花火を上げる、二階に上がる、賃金を上げる、浮かび上がる、効果が上がる、悲鳴が上がる、歓呼が上がる、称賛の声を上げる、学校に上がる、つるし上げる、意気上がる、雨上がり、しり上がり、第一声を上げる、日中友好をうたい上げる、産声を上げる、着物の丈を上げる、水をくみ上げる、吸い上げる、のろしを上げる、気炎を上げる、押し上げる、畳を上げる、彫り上げる、血祭りに上げる、名声を上げる、水中から助け上げる、胴上げ、行事の打ち上げ、荷物をたなに上げる、しゃ断機を上げる

揚〔上の抽象的表現〕揚げ足取り、揚げ油、揚げなべ、揚げヒバリ、揚げ幕、タコ揚げ、天ぷらを揚げる、揚げ超、海外からの引き揚げ、遺体の引き揚げ、沈船引き揚げ、委員を引き揚げる、陸揚げ、国旗を揚げる、旗揚げ、切り花の水揚げ、海から車を引き揚げる、水揚げ量、荷揚げ(作業・仕事)

挙〔上・揚以外の場合〕国を挙げて、人材を挙げ用いる、全力を挙げる、犯人を挙げる、例を挙げる、式を挙げる、先取点を挙げる、勝ち星を挙げる、証拠を挙げて、ポイントを挙げた、トライを挙げる

あかんぼう　↓赤ん坊

あき・あく・あける・あかす

明〔あかるくなる、かたがつく〕休暇が明ける、鼻を明かす、秘密を明かす、夜が明ける、明け方、明かり取

〔あ〕

ああ（嗚呼、噫）→ああ

あい
相〔相関・相対関係〕相客、相手、相対する、相性、相づち、相異なる、相弟子、相部屋、相宿、相乗り
合〔合致・配合〕合いの手、合いの子、撃ち合い、気合、試合、立ち合い（相撲）、帳合い、出合い頭、出合残高、見合い、寄り合い所帯、川と川との出合い、合いかぎ・カギ
会〔人と人との出あい〕会いに行く、出会い、出会った、立ち会い（市場の）、立会演説、入会権

あい・・㊜相変わらず、相生い、相懸かり
合着、合図、合服、合間、合縁奇縁、合方（演劇などの伴奏）、合気道、合口、合言葉、合印、合判、合札

あいあいがさ（相々傘）→相合いがさ
あいうち（相撃ち、相討ち）→相打ち
あいがん（愛玩）→愛用、愛がん（犬）、かわいがる、慰みにする
あいぎ（間着）→合着
あいきょう（愛嬌、愛敬）→愛きょう
あいくち（匕首）→あいくち、短刀
あいさつ（挨拶）→あいさつ
あいしょう（合性）→(統)相性
（愛妾）→愛人
あいず（相図）→㊫合図
あいせき
愛惜〔惜しむ、深く愛する〕愛惜の念、愛惜にたえない
哀惜〔悲しみ惜しむ〕先生の死を哀惜する

あいそ・あいそう（愛相）→愛想
あいそづかし (仮)愛想づかし
あいちゃく・あいじゃく →愛着
あいづち（相槌）→相づち
あいて（対手）→相手
あいにく（生憎、合憎）→あいにく
あいのこ（間の子）→合いの子、混血児（人の場合）
あいのて（間の手）→合いの手
あいのり（合乗）→(統)相乗り
あいびき（逢引、媾引）→あいびき
（相挽、合挽）→合いびき、肉の合いびき
あいぶ（愛撫）→かわいがる、愛する
あいふく（間服）→合服

かけ三年

あじき(け)ない ↓味気ない
(送)味付け、味付け買い、味わわす

あした (＊明日、朝)↓あした

あしもと (足許、足下)↓(統)足元

あす ↓(慣)明日 (「あす」と読ますときは仮名書き)

あずか・け・・ (送)預かり金、預け合い、預け金

あずき ↓(慣)小豆 (ショウズともいう)

あずま (仮)あずま(東、吾妻)

あせる ↓焦る

あぜん (唖然)↓あっけにとられる、あきれる

あたい
価(主として物価に)価が高い
値(ねうち、抽象的表現に)千金の値、称賛に値する、一見の値がある

あだうち (仇討ち)↓あだ討ち、敵討ち、報復、仕返し

あたたかい
暖(寒の対語、主として気象・気温に)暖かい気候、暖かい日、暖かい冬、暖かい室内
温(冷の対語、気象関係以外に)温かいスープ、温かいもてなし、家庭の温かさ、温かい料理、温かい気持ち、懐が温かい、人情の温かさ、温かい心

あたたまる・あたためる
暖(温度が上がる、温度を上げる)空気が暖まる、室内を暖める
温(冷たさをやわらげる、抽象的表現にも)旧交を温める、心温まる、手足を温める、水を温める、鳥が卵を温める、物を温めておく、席が温まらない

あたる・あてる
当(一般用語)日光に当たる、任に当たる、的に当たる、予報が当たる、…に当たって、当てもなく、当てが外れる、当て物、当たり狂言、当たり障り、当たり前、当てこすり、当て込む、胸に手を当てて、当て身、当たり散らす、当て事
充(充当)建築費に充てる、保安要員に充てる、後任に○○氏を充てる

あつい
暑(寒の対語)暑い土地、暑い夏、暑い部屋、暑がり、暑苦しい
熱(冷の対語)熱い湯、熱い血潮、お熱い仲

あつかましい (厚顔しい)↓厚かましい

あっせい
圧制(無理に押えつけること)
圧政(権力で押えつける政治)

あっせん (斡旋)↓(法)あっせん、世話、取りもつ、周旋

あっとう (圧倒)↓圧倒

あっぱれ (天晴れ)↓あっぱれ

あっぷく (圧服)↓圧伏

あつれき (軋轢)↓摩擦、不和、

り、夜が明け放つ、明け離れる、らちが明く、連休明け、明け渡す、明くる日
空〔からになる〕空き家、空き間、空き巣、空き地、空きかん、空き箱、家が空く、席が空く、中身を空ける、時間を空ける、間が空く
開〔ひらく〕戸が開く、ふたを開ける、幕開き、幕開け、幕を開ける、開けっ放しの性格、開け閉め、戸を開け払う、開かずの門、会計で穴・アナを開ける（欠損などの）
飽〔いやになる、あきさせる〕金に飽かして、暇に飽かして、飽かず見入る、美食に飽きる、飽き足りない

あきさめ　↓秋雨

あき・・　(送)秋晴れ、秋祭り

あきない　（商内）↓商い　「返る

あきれかえる　（呆れ返る）↓あきれ

アキレスけん　（アキレス腱）↓アキレスケン

あく　（＊灰汁）↓あく

あくぎょう　（悪業）↓悪行
（仏教語のアクゴウの場合は「悪業」）

あくば　（悪罵）↓悪口、ののしる

あくまで　(副)（飽くまで）↓あくまで

あくらつ　（悪辣）↓悪質、あくどい、ひどい

あくりょう　↓悪霊

あけ・・　(送)明け渡し期日、明け暮れ、明け荷

あげあしとり　（挙足取り）↓(統)揚げ足取り

あげおろし　↓揚げ降ろし（荷物の）

あげく　（挙句）↓(統)揚げ句、結局

あけっぱなし　（明けっ放し）↓開けっ放し

あげまく　（上げ幕）↓揚げ幕

あげる
上げる＝上下する場合
あげる＝してあげる（補助用言）

あさって　（＊明後日）↓あさって

あさはか　（浅墓）↓浅はか

あさましい　（浅間しい）↓あさましい

あざやか　↓鮮やか

あさる　（漁る）↓あさる

あし
足〔一般用語〕足跡、足音、足掛かり、足癖、足代、足手まとい、足止め、足取り、足並み、足踏み、足がつく、足を洗う、足を出す、勇み足、客足、足まめ、交通事故で足に負傷、足を奪われる（交通機関などで）、足の骨を折る、彼は足が速い、球足が速い、手足を伸ばす、抜き足差し足、えり足、足を棒にする
脚〔主として脚部に、限定用語〕船脚、日脚、脚長（バチ）、雨脚、脚の線が美しい、競馬の末脚・追い込み脚・差し脚、机の脚、風脚

あしかけ　（足掛け）↓足かけ、足

過〔過失、あやまち〕男女の過ち、万に一つの過ち、過ちを犯す
謝〔わびる〕手落ちを謝る、謝って済ます、平謝り、謝りに行く
誤〔間違う、しそこなう、誤認、錯誤〕適用を誤る、誤りを見つける、書き誤る、誤った処置、誤って傷を付ける、ハンドルを切り誤る、運転を誤る

あらい・あれる
荒〔激しい〕荒い波風、荒海、荒かせぎ、荒肝、荒業、荒行、荒くれ、荒ごなし、荒仕事、荒立てる、荒れ狂う、荒なわ、金遣いが荒い、気が荒い
粗〔粗雑〕粗織り、粗削り、粗塩、粗筋、粗造り、粗土、粗ぶき、粗彫り、粗むしろ、木目が粗い、攻守にきめが粗い、網の目が粗い、仕上げが粗い

あら・あれ・・ (送)荒武者、荒物、荒々しい、荒い、荒らす、荒れ性、荒れ地、荒れ果てる

【洗張】屋、洗い髪、洗い粉、洗いざらし、洗い張り、洗い物

あらかじめ (副)（予め）↓あらかじめ

あらし （嵐△）↓あらし

あらまき （荒巻）↓新巻き（サケ）

あらわす・あらわれる
表〔表面に出す、出る〕顔に表す、家名を表す、怒気を表す、名を表す、顔色に表れる、結果が表れる
現〔出現〕才能を現す、姿を現す、頭角を現す、馬脚を現す、怪獣が現れる、太陽が現れる
著〔著作〕書物を著す

あらわす・あらわれる・・ (送)表す、現す、著す、現れる、表れる

あり・ある
有〔無の対語〕有り余る、有り合わせ、有り金、有り高
在〔存在、所在〕在りか、在りし日、在り方、アジアの東に在る、在りのまま

あり・ある ……であり、……である（助動詞）
(連)ある、あるところ

ありあり (副)（有り有り、在り在り）↓ありあり、ありありと見える

ありかた （有り方）↓在り方

ありがたい （有難い）↓ありがたい

ありきたり （在来たり）↓ありきたり

ありさま （有様）↓ありさま

ある・あるいは (副)(接)(連)（或△）↓ある、あるいは

あるきづめ (仮)歩きづめ

あるじ （主△）↓あるじ

あわせる・あわせて
合〔一致させる〕合わせ鏡、合わせ目、合わせ技、顔合わせ、抱き合わせ、力を合わせる、調子を合わせる、手を合わせる、時計を合わせる
併〔並べあわせる〕併せ書き、併せて健康を祈る、併せて支給、両者を併せ考える

あわだつ （泡立つ△）↓あわ立つ

いざこざ、もめ事、あつれき

あてな　(宛名)↓あて名

あと

跡〔残されたもの〕足跡、跡形もない、跡目相続、苦心の跡、跡取り、跡を濁す、容疑者・犯行の跡を追う、跡を断つ

後〔先の対語〕後味、後押し、後片付け、後書き、後がま、後先、後作、後の祭り、後払い、後戻り、後回し、親の後を追う、後を頼む、後が絶える、後を断たない、もう後がない

あとあし　(後肢)↓(統)後足

あとしまつ　(跡仕末)↓(統)後始末

あとつぎ

跡継ぎ〔名跡を継ぐ〕名門の跡継ぎ

後継ぎ〔後継者〕総裁の後継ぎ、社長の後継ぎ、後継ぎがいない

あな　(孔)↓穴、穴明き、穴埋め

あなた　(*貴方、*貴下、*貴女)↓あなた

あばく　(発く)↓暴く、暴き出す

あばれる　↓暴れる、暴れ馬

あぶら

油〔一般用語〕油を売る、油を絞られる、油を流したような水面、ゴマの油、火に油を注ぐ、水と油

脂〔脂肪〕脂足、脂汗、脂が乗る、脂ぎった顔、脂性、ガマの脂、牛肉の脂身

あぶら・・　(送)油揚げ、油差し、油染みる

アヘン　(阿片)↓アヘン

あほう　(阿呆)↓あほう

あま　↓(慣)海女

あまあし　(雨足)↓(統)雨脚

あまがさ　(雨傘)↓雨がさ

あまくだり　(天降り)↓天下り

あまごい　(雨乞い)↓雨ごい

あまた　(副)(数多)↓あまた

あまどい　(雨樋)↓雨どい

あまよけ　(雨避け)↓雨よけ

あま・あめ・　(送)雨戸、雨曇り、雨宿り、雨上がり、雨降り、雨漏り、雨垂れ

あまなっとう　↓甘納豆

あまのかわ　(天の河)↓天の川

あまみ　(甘味)↓甘み

あまり

余り〔名詞形〕三十人余りの人、割って余りが出る、補って余りある、小遣い銭の余りは貯金、余り物

あまり〔副詞〕あまりにも簡単、あまり手荒にするな、あまり賢くない、……したあまり

あみ・・　(送)編み上げぐつ、編み上げる、編み方、編み物、編み糸、編み機、編み針、編み棒、編み目、編み模様、編みがさ

あみ・・　(送)網引き、網打ち

あやしげ　(怪し気)↓怪しげ

あやつる　↓操る、操り人形

あやまち・あやまつ・あやまる

いう
言う＝彼が言うことは
いう＝こういう、……という（補助用言）

いおう　↓(慣)硫黄

いか・・　(副)(連)（如何）↓いかが、いかなる、いかに、いかにも　「ら

いがい　（遺骸）↓遺体、なきがら

いかく　（威嚇）↓威嚇（射撃）、威迫、威圧、脅し

いかす　（活かす）↓生かす

いかん　（遺感）↓遺憾

いき　（＊粋）↓いき

いき　（委棄）↓(法)遺棄

いき
息〔呼吸〕息入れ、息切れ、息抜き、息が合う、息遣い、息詰まる、息巻く、鼻息が荒い、息苦しい
意気〔心ばえ、気概〕意気込む、意気地、意気消沈、意気阻喪、意気張り、意気盛ん

いき・・　(送)生き写し、生き埋め、生き返る、生き死に、生き血、生き残り、生き恥、生き物、生き別れ
行き当たり、行き帰り、行き掛かり、行き先、行き過ぎ、行き倒れ、行き違い、行き詰まる、行き来、行き会う、〇〇行き

いぎ
異義〔違った意味〕同訓異義の語
異議〔反対の意見〕異議を申し立てる、異議あり

いきおい　(副)（勢い）↓いきおい

いきがい　（生き甲斐）↓生きがい

いきぎも　（活き胆）↓生き肝

いきけんこう　（意気軒昂）↓意気盛ん、意気軒高

いきさつ　（＊経緯）↓いきさつ

いきじびき　（活き字引）↓生き字引

いきしょうてん　（意気昇天）↓意気衝天

いきづく　（息衝く）↓息づく

いきぼとけ　（＊活仏）↓生き仏

いきょう
異郷〔故郷を離れた土地、他郷〕
異境〔母国を離れた土地、他国〕

いく
幾〔数量の不定を表す場合〕幾重、幾多、幾度、幾久しく、幾日、物が幾つ、幾らあるか
いく〔副詞的に使う場合〕いくぶん、いくらでも、いくらなんでも、いくらか
行く＝学校に行く
いく（ゆく）＝減っていく、……していく（補助用言）

いくじ　↓(個)意気地〔「意気地がない、意気地なし」など否定的な場合に使う。他と張り合い自分の思う事を通そうとする気持ちのときは「いきじ」という〕

あんあんり　(暗々裡)↓暗々裏
あんえい　(暗翳)↓暗影
あんがい　[副]案外
あんぎゃ　↓行脚
あんきょ　(暗渠)↓[学]暗きょ
あんしょう　(暗誦、諳誦)↓暗唱
あんじる　(按じる)↓案じる
あんしんりつめい　(安神立命)↓安心立命
あんたん　(暗澹)↓暗い、真っ暗
あんど　(安堵)↓安心
あんどん　(行灯)↓あんどん
あんに　[副]暗に
あんのじょう　(安の定、案の条)↓案の定
あんのん　↓安穏
あんば　(鞍馬)↓あん馬
あんばい　(塩梅)↓具合、加減、あんばい
(按排)↓案配

あんぶん　(按分)↓案分
あんぶんひれい　(按分比例)↓[学]比例配分
あんま　(按摩)↓あんま
あんまり　[副]あんまり
あんや　(闇夜)↓暗夜、やみ夜

〔い〕

い
威＝威光、威容、威力、威名、威服、脅威、猛威、示威、威令、威厳
偉＝偉観、偉業、偉才、偉人、偉大、偉丈夫、偉勲、雄偉
異＝異常、異状、異性、異動、異口同音、大同小異、異様、異変、差異、怪異、特異
違＝違算、違和、違法、違反、違約、違憲、違背、相違、非違
い・・　[送]居合、居候、居丈高、居合わせる、居食い、居座り、居直る、居並ぶ、居抜き、居眠り、居残り　射落とす　鋳掛け

いいぐさ　(言い種)↓言い草
いいだくだく　↓唯々諾々
いいづらい　[仮]言いづらい(辛い)
いいなずけ　(許婚、許嫁)↓婚約者、いいなずけ
いいふるす　(言い旧す)↓言いふるす
いいぶん　(云い分)↓言い分
いいわけ　↓言い訳(弁明する)
↓言い分け(言葉の使いわけ)
いい・・　[送]言い合い、言い落とす、言い換え、言い返す、言い方、言い違い、言いつける、言い伝え、言い出し、言い直し、言い抜け、言い残す、言い放題、言い回し、言い漏らし、言い渡し
……と言い

いしんでんしん　(意心伝心)↓以心伝心
いす　(椅子)↓いす
いずこ　(何処)↓いずこ
いずれ　(何れ)↓いずれ
いすわり　(居坐り)↓居座り
いせい　(威声)↓威勢
いせき　(遺蹟)↓㊫遺跡
いぜん　㊖依然
いそうろう　↓居候
いそづり　(磯釣り)↓いそ釣り
いたく　(依託)↓㊔委託
いたけだか　(威猛高)↓居丈高
いたずら　(＊悪戯)↓いたずら
いたずらに　(徒に)↓いたずらに
いたって　㊖(至って)↓いたって
いたべい　(板塀)↓板べい
いた・・　㊜板囲い、板敷き、板張り
いたむ・いためる
痛〔痛苦〕足が痛む、痛々しい、痛ましい、痛み入る、痛み分け、傷が痛む、心を痛める、人を痛めつける、ヒジを痛める、懐が痛む、痛しかゆし
傷〔傷つく、傷をつける、器物・建物などを破損する〕家が傷む、傷みを繕う、傷んだ果物、機械が傷む、花を傷める、道路が傷む
悼〔哀悼〕死者を悼む、故人を悼む
〔注〕「いためご飯」などは仮名書き
いたる　(到る)↓至る
いたわる　(労る)↓いたわる
いち・いっ・・　㊖一応、一概に、一気に、一時に、一斉に、一層、一番、一般に、一挙に、一向に、一切、一段、一見、一向
㊜【一刀】彫(工芸品の場合)、一枚刷り、一騎打ち、一足飛び、一点張り、一本背負い、一本立ち、一時払い、一時預け、一本釣り
いちぐう　(一隅)↓片すみ、一角
いちげんこじ　↓㊗一言居士
いちごう　(一毫)↓ほんの少し
いちじく　㊎イチジク＝植物名
いちず　(＊一途)↓一筋に、ひたすらに、いちず
いちはやく　㊖(逸早く)↓いち早く
いちべつ　(一瞥)↓一見、一目、ちらと見る
いちぼう　(一眸)↓一望
いちまつ　(一抹)↓多少、一点、わずかな、少し、いくらか、淡い、一脈の
いちょう　(移牒)↓回付、回す、移す
いちようらいふく　(一陽来福)↓一陽来復
いちりつ　(一率)↓一律
いちりづか　(一里塚)↓一里塚
いちりょう　(一輛)↓一両
いちりんざし　(一輪挿)↓一輪ざし
いつ　(＊何日、＊何時)↓いつ

いくせい　（育生▲）↓育成

いくどうおん　（異句▲同音）↓異口同音

いくばく　（幾何・）↓いくばく

いくん
遺訓〔故人の残した教え〕
偉勲〔立派な手柄、大きな功績〕
遺勲〔故人の残した功績〕

いけい　（畏△敬）↓敬服、心服、尊敬

いけうお　（＊活・魚）↓生け魚

いけがき　（生△垣）↓生けがき

いけす　（生簀△）↓いけす

いけにえ　（生贄△）↓犠牲、いけにえ

いけばな　（活・け花）↓生け花

いけ・・　(送)生け捕り、生け作り

いこう　（意嚮△）↓意向
偉功〔立派な手柄〕
偉効〔優れた効果〕

いこじ　（依怙△地）↓意固地

いこん　（意恨▲）↓遺恨

いさい　（偉▲彩）↓異彩

いざよい　（＊十・六・夜・）↓いざよい〔書名の「十六夜日記」は別〕

いさん　（▲遺算）↓違算、誤算

いし　（縊△死）↓首つり、首くくり

いし
意思〔考え、思い〕意思表示、自由意思（法律用語として多く使われる）
意志〔成し遂げようとする心〕意志薄弱、意志が強い（主として心理学用語）
遺志〔死者の生前のこころざし〕遺志を継ぐ

いじずく　(仮)意地ずく

いじっぱり　(送)意地っ張り

いしゃ　（慰藉△）↓(法)慰謝

いしゅう　（蝟△集）↓集まる、密集、群がる

いしゅがえし　（遺▲趣返し）↓意趣返し

いしゅく　（萎△縮）↓委縮

いしょう　（衣裳△）↓衣装
意匠〔デザイン〕

いじょう
異常〔正常、平常と異なった特殊の状態、アブノーマル〕異常体質、異常乾燥、異常な空気、精神異常、異常気象、異常高（低）温、異常な発達、異常な執念
異状〔普通と違った状態〕戦線に異状あり、特に異状を認めない

いじょう
移譲〔他にうつしゆずる〕家の所有権の移譲、指揮権の移譲、国立病院の地方移譲
委譲〔相手を信頼して他にゆだねる〕地租の委譲、権限を委譲、財源の地方委譲、治水事業を委譲

いしょく　（依嘱△）↓(統)委嘱

いどむ　↓挑む、記録に挑む
いなか　↓(慣)田舎
いなずま　↓稲妻
いなびかり　(電光)↓稲光
いのちがけ　↓命懸け
いのち・・　(送)命取り、命拾い
いはい　(位牌)↓位はい
いはつ　(衣鉢)↓遺業、伝統
いばる　↓威張る
いはん　(違犯)↓違反
いぶき　↓(慣)息吹（息吹「く」などと動詞には使わない）
いへん　(違変)↓異変
いま・いまだ
　今＝今がいい、今まで、今の国会、今ごろ、今どき、今さら、今しがた、今にも
　(未だ)↓いまだ、いまだに
いまは　(今際)↓臨終、最期、死に際

いみしんちょう　(意味慎重)↓意味深長
いめい　(偉名)↓威名
いもち　(＊稲熱)↓イモチ
いも・・　(送)芋掘り、芋焼き、芋づる
いやおうなし　(否応無し)↓いや応なし、いやおうなし
いやしくも　(副)(苟も)↓いやしくも
いやみ　(嫌味)↓いやみ
いよいよ　(副)(愈々)↓いよいよ
いよう　(偉容)↓威容
いよく　(意慾)↓意欲
いらだつ　(苛立つ)↓いらだつ
いりかわりたちかわり　↓入り代わり立ち代わり
いりょうきかい　(医療器械)↓医療機械、医療機器
いりょうきぐ　(医療機具)↓医療器具
いりょく　(偉力)↓威力
いる・いり・いれ
　入〔はいる、納まる〕入り用、入れ込み、入れ違い、入り組む、入り浸る、入り船、恐れ入る、気に入る、仲間入り、念入り、深入り、入れ替え
　要〔必要〕金が要る、なにも要らない、保証人が要る
　〔注〕「要る」は「いる」でもよい
いり・いれ　(送)入会【権】、入り江、入り海、入り口、入れ知恵、入れ歯
いれい　(違例)↓異例
いれずみ　(＊文身、＊刺青)↓入れ墨
いれもの　(容れ物)↓入れ物
いろ・・　(送)色合い、色揚げ、色変わり、色刷り、色づく、色分け、色直し
いわい・・　(送)(入学)祝い、祝い酒、祝い物、祝い金、前祝い
いわかど　↓岩角
いわかん　(異和感)↓違和感

つ　(副)いつか

いっかくせんきん（一攫千金）↓一獲千金

いっかつ（一喝）↓怒鳴る、怒鳴りつける

いっきうち（一騎討ち）↓一騎打ち

いっきかせい（一気呵成）↓一息に、一気に

いっけんや（一軒屋）↓一軒家

いっさいならず（一切ならず）↓一再ならず

いっさん（逸散、一散）↓いっさん　(副)いっさんに

いっしどうじん（一視同人）↓一視同仁

いっしゃせんり（一瀉千里）↓一息に、一気に、あっという間に

いっしゅう（一蹴）↓はねつける、拒否する、ひとなぎにする、けとばす、破る

いっしゅうねん（一週年）↓一周年

いっしょ（一所、一諸）↓一緒

いっしょうけんめい（一所懸命）↓一生懸命

いっしをむくいる　↓一矢を報いる

いっしんどうたい（一身同体）↓一心同体

いっせいちだい（一生一代）↓一世一代

いったい　(副)（一体）↓いったい、いったいどうなる、一体全体

いったん（一旦）↓一度、一時（停止）、いったん

いっちょう（一挺）↓一丁

いつづけ（*流連）↓居続け

いってんばり（一天張り）↓一点張り

いっぱい　(副)いっぱい、人がいっぱい入る（コップ一杯の水）

いっぱし　(副)（一端）↓いっぱし

いっぺんとう（一辺到）↓一辺倒

いっぺんに（一遍に）↓一度に　(副)いっぺんに

いでたつ（出立つ）↓いで立つ

いどう

異同〔事柄が違うこと〕異同一覧表、字句の異同、計数の異同

異動〔地位・勤務状態などの変わること〕人事異動

移動〔場所が変わること〕移動図書館、人口移動

いど・・　(送)井戸端、井戸替え、井戸掘り

いとぐち（*緒）↓糸口

いとこ（*従兄、*従弟、*従姉、*従妹）↓いとこ

いと・・　(送)糸解け率、糸巻き、糸織り、糸敷き

うける
受〔授けるの対語〕受け売り、受けざら、受け継ぐ、受け身、受け渡し、相談を受ける、注文を受ける、引き受ける、身元引き受け、命令を受ける
請〔保証する、承諾する〕請け合う、請け人、請け判、下請け、請け書

うけ・・ (送)受付（人・所・職をさすとき）、受付《期間》、受渡価格、受渡期日、受取（書類）、受取《金》、受け取る、受け入れ態勢　受け売り、受け答え、受け継ぎ、受け付ける、受け取った、受け身、受け持ち、受け渡す、受け太刀、受け流す
請負、請け負う

うさばらし（憂晴らし）→うさ晴らし

うし（齲歯）→虫歯

うしお（潮）→うしお

うしろだて（後ろ楯）→後ろ盾、後援者　「い

うし・うしろ・・ (送)牛追い、牛飼い、後ろ暗い、後ろ向き、後ろ姿

うす・・ (送)薄明かり、薄曇り、薄笑い、薄焼き、薄ら寒い

うすうす (副)（薄々）→うすうす

うずく (仮)うずく（疼く）　「まる

うずくまる（蹲る、踞る）→うずくまる

うずしお →渦潮

うずまる（埋まる）→うずまる

うずまき →渦巻き

うそじ（嘘字）→うそ字

うた・・ (送)謡、歌会始、歌い手、歌い声

うたう（唄う、唱う）→歌う、うたう、流行歌を歌う、小唄をうたう、条文にうたう

うたたね（転寝）→うたた寝

うち（家、中）→うち

うち
内＝内海、内金、内借り、内庭、内ぶろ、内祝い、内掛け
うち＝そのうち、見ているうちに、うちの社長、朝のうちに、三日のうち

うちょうてん（有頂天、有頂点）→有頂天

うちわ（団扇）→うちわ

うつ・うち
打〔一般用語〕打ち明け、打ち上げ、打ち上げ花火、打ち合わせ、打ち切り、打ち消す、打ち込む、打ち出し、打ち解ける、打ち取る、打ち抜く、追い打ち、くぎを打つ、碁を打つ、心を打つ、太刀打ち、電報を打つ、抜き打ち、ボールを打つ、打ち殺す（殺すを強めていう場合）
討〔やや古風な表現として〕あだ討ち、討ち入り、討ち死に、返り討ち、敵を討つ、夜討ち朝駆け
撃〔主として射撃用語に〕ねらい撃ち、ピストルの撃ち合い、迎え撃つ、銃で撃ち落とす、撃ち込む、撃ち方、

いわしみず　↓岩清水
いわば　㊂副(言わば)↓いわば
いわゆる　㊂連(所謂)↓いわゆる
いんうつ　(陰鬱)↓うっとうしい、陰気
いんえい　(陰翳)↓陰影
いんきょ　(允許)↓免許
いんぎん　(慇懃)↓丁寧、いんぎん
いんこう　(咽喉)↓㊂学ノド、インコウ
いんしゅう　(因襲)↓因習
いんしん　(殷賑)↓繁華、繁盛、にぎわう
いんせき　(姻戚)↓親族、親類、姻族
いんぜん　(陰然)↓隠然
いんそつ　(引卒)↓引率
いんたい　隠退〔社会的活動から身を引く〕
引退〔官職・地位から退く〕
いんとく　(隠徳)↓陰徳
いんとくぶつ　(陰匿物)↓隠匿物
いんにん　(陰忍)↓隠忍
いんねん　↓因縁
いんばい　(淫売)↓売春、売春婦
いんぺい　(陰蔽、隠蔽)↓㊂法隠す、隠匿
いんぼう　(隠謀)↓陰謀
いんぽん　(淫奔)↓多情、不身持ち
いんめつ　(湮滅)↓㊂法隠滅、消滅、もみ消し

〔う〕

ういういしい　↓初々しい
ういじん　↓初陣
うえ　(餓え)↓飢え、飢え死に
うえ・・　㊂送植木、植草、植芝、植え込み、植え付け、植え土、植え物、植え替え、田植え
うえん　(迂遠)↓回りくどい、遠回り
うおがし　↓㊂慣魚河岸
うかい　(迂廻)↓遠回り、回り道、回る
(鵜飼)↓ウ飼い
うかがい・・　㊂送【進退】伺(書式)、伺い出る
うき　(雨季)↓㊂統雨期
うき・・　㊂送浮足、浮草、浮雲、浮名、浮輪、浮袋、浮身、浮世、浮世絵、浮橋、浮気、浮き貸し、浮き沈み、浮かび上がる、浮き彫り、浮きドック
うきみ(め)　↓憂き身、憂き目
うきよ　(憂き世)↓㊂統浮世
うけあい　(受け合い)↓㊂統請け合い

っ子、売れ残り、売れ行き

うる　↓得る、得るところ、書き得る、…し得る

うるさがた　(うるさ方)↓うるさ型

うるむ　↓潤む、声が潤む

うれい・うれえ

愁〔かなしみ〕愁い顔、愁いに沈む、春の愁い

憂〔心配〕憂え顔、憂えを残す、後顧の憂い、災害を招く憂え

うれしい　(嬉しい)↓うれしい

うれる　↓熟れる、果物が熟れる

うわ

上＝上書き、上敷き、上澄み、上手投げ、上手出し投げ、上包み、上積み、上塗り、上回る、上向き、上滑り、上っ張り、上着、上背、上っ調子、上面、上手、上べ

うわき　↓㊝浮気

うわさ　(噂)↓うわさ

うわぢょうし　↓上調子(音楽用語)

うわつく　↓㊝浮つく

うんこう

運行＝バスの運行、天体の運行

運航＝船、航空機の運航

うんちく　(蘊蓄)↓学識、深い知識、うんちく

うんちゃん　⊗(運ちゃん)↓運転手

うんぬん　(云々)↓うんぬん、など、等々

〔え〕

え　(画)↓絵　(餌)↓えさ、え

えいき

英気〔すぐれた才気、気性〕天性の英気、英気はつらつ

鋭気〔鋭く強い気性〕鋭気で圧倒、鋭気を養う

えいこう　(曳航)↓えい航、引航、引く

えいごう　(永劫)↓永久、永遠

えいし　(衛士)↓衛視(国会関係)

えいじ　(嬰児)↓乳児、乳飲み子、赤ん坊、あかご

えいせん　(曳船)↓㊫引き船

えいぞう

影像〔神仏や人の絵姿〕

映像〔写真やテレビなどの画像〕

えいち　(叡智)↓英知

えいほう　(鋭鋒)↓矛先

えいよう　(営養)↓栄養

えいようえいが　(栄耀栄華)↓栄よう栄華

えがお　↓㊝笑顔

えかき　(画描き)↓絵かき

えがく　(画く)↓描く

え(い)こじ　㊝えこじ・いこじ(依怙地)

銃で撃ち殺す

うち・・ ㊜打合会、打ち水、打ち破る、打ち身、打ち漏らす、相打ち、一騎打ち、はさみ打・撃ち

うっけつ （鬱△血）↓うっ血

うっすら 副（薄っすら）↓うっすら、うっすら化粧する

うっせき （鬱△積）↓内にこもる、積もる

うっちゃる （打棄る）↓うっちゃる

うつり・・ ㊜移り変わり、移り気

うつる・うつす

写〔写真・文書などを〕写し取る、写真の写りがよい、書類を引き写す

映〔反映、映写〕映画・スライドを映す、鏡に顔を映す、壁に影が映る、着物がよく映る

〔注〕「病気をうつす」などは仮名書き

うで・・ ㊜腕押し、腕組み、腕比べ、腕試し、腕ずく

うでっこき （腕扱き）↓腕っこき

うでわ （腕環）↓腕輪

うとい ↓疎い、疎む

うなずく （頷△く）↓うなずく

うなばら ↓慣海原

うば ↓慣乳母、乳母車

うぶ （＊初心）↓うぶ

産＝産着、産湯、産毛、産声　「い

うまい （上手い、巧い）↓うま（美味い）↓うまい

うみのおや （産みの親）↓生みの親

うみべ ↓海辺

うむ・うまれる

生〔一般用語〕生まれ月、生まれ変わる、生みの親、生みの子、傑作を生む、新記録が生まれる、明治生まれ、利潤を生む

産〔主として出産に〕産み落とす、産みの苦しみ、産み月、卵を産む

うめ・・ ㊜埋め立て地、埋め合わせ、埋め草、埋め立てる、埋もれ木　梅干し

うよきょくせつ （紆△余曲折）↓曲折、複雑な経過

うら・・ ㊜裏書（経済用語）、裏書人、裏打ち、裏切り者、裏付け

うらにほん ⊗（裏日本）↓日本海側

うらぼん （盂△蘭△盆）↓うら盆

うらみ （怨△み）↓恨み　（憾み）↓うらみ

うり・・ ㊜売上〈高〉、売掛〈金〉、売値、売り渡し価格、売り渡し期日、売り上げ〈増〉、売りオペ、売り惜しみ、売り買い、売り切れ、売り食い、売り子、売り込み先、売り材料、売り筋、売り出し、売り出し発行、売り地、売り立て〈会〉、売り手、売り手市場、売り止め、売り主、売り場、売り払う、売り物、売り家、売り渡す

うれ・・ ㊜売れ口、売れ高、売れ

おいしい　（美味しい）↓おいしい
おいさき　生い先〔成長の前途、将来〕生い先が楽しみ、子供の生い先を心配する　老い先〔余命〕老い先短い
おい・・　〈送〉生い茂る、生い立ち　老い朽ちる、老い込む、老いぼれ
おいて　（於いて）↓おいて
おういつ　（横溢）↓あふれる、みなぎる、いっぱい
おうおう　〈副〉往々
おうか　（謳歌）↓称賛、賛美、たたえる
おうせい　（旺盛）↓盛ん
おうせいふくこ　（王制復古）↓王政復古
おうたい　（応待）↓〈統〉応対
おうち　（凹地）↓くぼ地
おうちゃく　↓横着
おうと　（嘔吐）↓吐く、吐き気
おうとつ　（凹凸）↓でこぼこ
おうなつ　（押捺）↓〈法〉押印、押す
おうのう　（懊悩）↓悩み、もだえ、苦悩
おうへい　↓横柄
おうめん　（凹面）↓おう面
おうよう　（鷹揚）↓おうよう、ゆったり、おっとり
おうレンズ　（凹レンズ）↓〈学〉おうレンズ、へこみレンズ
おお・・　〈送〉大手合、大捕物、大当たり、大荒れ、大いに、大入り、大入り袋、大写し、大食い、大騒ぎ、大仕掛け、大掛かり、大助かり、大立ち回り、大詰め、大手買い、大通り、大引け、大降り、大回り、大向こう、大喜び、大笑い
おおいに　〈副〉大いに
おおう　↓覆う、布で覆う
おおかた　〈副〉（大方）↓おおかた
おおかみ　（狼）↓オオカミ
おおざっぱ　（大雑把）↓大ざっぱ
おおぜい　（多勢）↓大勢
おおだてもの　（大立物）↓大立者
おおづかみ　〈仮〉大づかみ（掴み）
おおはば　（大巾）↓大幅
おおばん　↓大判、大判を押す
おおばんぶるまい　（椀飯振舞）↓大盤振る舞い
おおべや　↓〈慣〉大部屋
おおみそか　（大晦日）↓大みそか
おおむね　（概ね）↓おおむね
おおもの　（大者）↓大物
おおよそ・およそ　（大凡）↓大よそ、およそ
おおわらわ　（大童）↓大わらわ
おか　（岡）↓丘
おかあさん　↓〈慣〉お母さん
おかしい　（可笑しい）↓おかしい

えじき　（餌食）→えじき
えしゃく　→会釈
えたい　（得体）→えたい、正体
えだ・・　(送)枝切り、枝伝い、枝組み
えっけん　（謁見）→接見、ご会見
えつにいる　（悦に入る）→悦に入る
えてして　(副)得てして
えと　（＊干支）→えと
えとく　→会得
えびす　（恵比寿、恵美須、戎）→えびす（顔）
えびちゃ　（海老茶）→えび茶
えぼし　（烏帽子）→えぼし
えまき・・　(送)絵巻物、絵巻
えもん　→(慣)衣紋
えらび・・　(送)選び出す、選び抜く
えりごのみ　（選り好み）→えり好み
えり・・　(送)えり巻き、えり抜き
える　得〔入手、可能〕得手、〇〇を得て、許可を得る、勝利を得る、知識を得る
　獲〔捕獲〕狩りの獲物、鳥獣を獲る
えんえん　（蜿蜒）→延々、うねうね、長々
えんか　円価〔円の価値〕円価の切り上げ
　円貨〔通貨の種類〕円貨と交換
えんかし　（艶歌師）→演歌師
えんぎ　（縁喜）→縁起
えんきょく　（婉曲）→遠回し、やんわり、穏やかに、それとなく
えん・・　(送)縁組、縁組む、縁続き、縁結び、縁切り
　円建て
えんこん　（怨恨）→遺恨、恨み
えんさ　（怨嗟）→恨み、嘆き、非難
えんざい　（冤罪）→無実の罪、ぬれぎぬ
えんすい　（円錐）→(学)円すい
えんせい　（厭世）→えん世、世をはかなむ
えんてい　（堰堤）→(学)(法)ダム、堤防、土手、せき
えんぶん　（艶聞）→浮名、浮いたうわさ

〔お〕

おい　（甥）→おい
おいうち　（追い討ち、追い撃ち）→(統)追い打ち
おい・・　(送)追い返す、追いかける、追い風、追い越し禁止、追い込み、追い出す、追いつく、追い詰める、追いはぎ、追い羽根、追い払う、追い回す
おいおい　(副)（追々）→おいおい

(送)行い、行う、行った

おこる　↓怒る、怒られる

おごる　(奢る)↓おごる、ごちそうする
(驕る、傲る)↓威張る、おごりたかぶる

おさえる
押〔主として物理的におさえる、確保する〕押え込み、押えて動かさない、勘所を押える、現場を押える、差し押え、証拠を押える、要点を押える、手綱を押える、選挙区を押える、手で押える、柔道の押え込み
抑〔抑制、抑圧、抑止〕怒りを抑える、発病を抑える、物価の上昇を抑える、欲望を抑える、インフレを抑える、ストライキを抑える、十万円に抑える、病気の流行を抑える、涙を抑えて、反撃を抑える、一点台に抑える、発言を抑える、新人を抑えて当選、相手打線を抑え込む

おさな・・　(送)幼子、幼い、幼なじみ

おさまる・おさめる
収〔一般用語、取り込む、収拾、収容〕争いが収まる、成果を収める、利益を収める、インフレが収まる、まるく収まる、不平が収まらない、怒りを収める、博物館に収まる、目録に収める
納〔落ち着く、納入〕いすに納まる、棺に納める、御用納め、得意先に品物を納める、税金を納める、見納め、写真に納まる、納まり返る、納め物、国庫に納める
治〔特殊用語、統治、しずまる、しずめる、なおす〕痛みが治まる、気が治まる、国が治まる、水を治める
修〔身につける〕学業を修める、身持ちが修まらない
〔注〕風が「おさまる」は仮名書き

おし・おす
押〔力を加える〕後押しする、押しつける、押し通す、押し花、押しのける、荷車を押す、判を押す、病気を押して行く、ベルを押す、横車を押す
推〔推進、推測、推薦〕A案を推す、推して知るべし、推し量る、議長に推す、この事から推すと、事業を推し進める

おし・・　(送)押し入れ、押し込み強盗、押し目買い、押し問答

おじ　↓(慣)伯父、叔父
(小父)↓おじ

おじいさん　(お祖父さん、お爺さん)↓おじいさん

おしえ・・　(送)教え子、教えの道

おじぎ　(御辞儀、御時宜)↓お辞儀

おしなべて　(副)(押し並べて)↓おしなべて

おしまい　(御仕舞)↓おしまい

おしやる　(押し遣る)↓押しやる

おしょう　↓(慣)和尚

おしろい　(白粉)↓おしろい

おす　(牡)↓雄

おかしらつき (御頭付き)↓尾頭付き

おかす

犯〔罪、過ちなどを〕過ちを犯す、罪を犯す、婦女を犯す、法を犯す

侵〔侵害〕学問の自由が侵される、権利を侵す、国境を侵す、病魔に侵される、主権を侵す

冒〔あえてする〕雨を冒して行く、危険を冒す、尊厳を冒す、面を冒していさめる

おかぼ (＊陸稲)↓オカボ

おかみ (＊女将、＊内儀)↓おかみ

おかめはちもく (傍目八目、岡目八目)↓おかめ八目

おかやき (傍焼き、岡焼き)↓おか焼き

おかん (悪感)↓悪寒

おき・・ (送)沖合、沖合漁業

起き上がる、起き抜け、起き伏し

置物、置引(盗みの)、置き去り、置き手紙、置き土産、置き時計、置き換え、置き屋(芸者の)

おく

置く＝物を置く場合

おく＝…しておく〔補助用言〕

おく・・ (送)奥書、奥付、奥行き

おくする ↓臆する(ことなく)

おくせつ (臆説)↓憶説

おくそく (臆測)↓憶測

おくて (＊晩生、＊晩稲)↓オクテ、(あの娘は)おくて

おくびょう (臆病)↓憶病、小心、小胆

おくゆかしい (奥床しい)↓奥ゆかしい

おくる

送〔送達、送別〕送り状、送り出し、送り主、送り届ける、送り迎え、送り火、順送り、荷物を送る、見送る、拍手を送る

贈〔贈与〕お祝いの品を贈る、感謝状を贈る、勲位を贈る、歳暮を贈る、贈り物、贈り名

おくれる

遅〔一般用語〕遅ればせ、会合に遅れる、完成が遅れる、知恵の遅れた子、時間の遅れ、列車が遅れる、出遅れ株、スタートで遅れる、出世が遅れる、文化行政の遅れ、一歩遅れた、手当てが遅れる、婚期が遅れる、遅れ咲き、開発の遅れた国、時代遅れ、立ち遅れ、手遅れ、流行遅れ

後〔限定用語〕後れ毛、後れを取る、気後れする

おける (運)(於ける)↓おける、

おこす・おこる

起〔一般用語〕事件が起こる、持病が起こる、訴訟を起こす、寝た子を起こす、物事の起こり

興〔さかんにする、…になる〕家を興す、家が興る、産業を興す、国が興る

おごそか ↓厳か、厳かな

おこない・おこなう・おこなった・・

おなか　（お腹）→おなか
おの　（斧）→おの
おのずから　（自ら）→おのずから
おのれ　→己
おば　→(例)伯母、叔母
おばあさん　（小母）→おば
　（お祖母さん、お婆さん）→おばあさん
おはこ　（＊十八番）→おはこ
おび・・　(送)帯揚げ、帯締め、帯留め
おぼえ・・　(送)覚書（おぼえがき）、覚え書（おぼえしょ）、覚え込む
おぼしめし　（思召し）→おぼしめし
おぼつかない　（覚束ない）→おぼつかない
おぼれる　（溺れる）→おぼれる
おまわりさん　→(慣)お巡りさん
おみき　→(慣)お神酒
おみずとり　→お水取り（行事）

おめみえ　（御目見得）→お目見え
おも・・　(送)重々しい、重苦しい、重んじる
おもう　（想う、憶う）→思う
おもい・・　(送)思い上がり、思い当たる、思い入れ、思い浮かべる、思い切り、思い起こす、思い返す、思い込む、思い立つ、思い過ごし、思い違い、思いつき、思いつめる、思い出、思い出す、思い残す、思いやり、思惑買い、思わしい、思い思い、思いのほか、思う存分
おもしろい　→面白い、面白ずくめ
おもて
　表（裏の対語、表面）江戸表、表通り、表に出る、表向き
　面（顔、正面）怒りを面に出す、面も上げない、面を伏せる、矢面に立つ
おもな　（重な）→主な、主な人

おもに　(副)主に
おもむく　（趣く）→赴く
おもむろに　(副)（徐に）→おもむろに
おももち　→面持ち
おもや　（母家）→(統)母屋
おやじ　（親父、親爺）→おやじ
おや・・　(送)親子連れ、親譲り、親勝り
おやつ　（＊お三時、お八つ）→おやつ
おやま　→女形、おやま
おやもと　（親許）→親元
およそ　(副)（凡そ）→およそ
および　(接)および、及び（なるべく仮名書き）
およびごし　→及び腰
おり・・　(送)折々、…する折、折り菓子、折り箱、折り合い、折り返し運転、折り返し点、折り重なる、折り方、折りかばん、

おせじ　(御世辞)↓お世辞

おせちりょうり　↓お節料理

おせっかい　(御節介)↓おせっかい

おせん・おだく・よごれ

汚染〔公衆衛生上有害であることを表現する場合〕大気汚染、海洋汚染、土壌汚染、汚染物質

汚濁〔水に関係する場合〕水質汚濁注意報、河川・湖沼の汚濁

汚れ〔汚濁、汚染の一般的言い換え語〕空気の汚れ、水の汚れ

おぜんだて　(御膳立)↓用意、支度、おぜん立て

おそい　↓遅い、遅生まれ、遅かれ早かれ、遅咲き、遅知恵、遅版、遅番、遅まき

おそらく　〈副〉(恐らく)↓おそらく、たぶん

おそれ　(虞れ、惧れ、怖れ)↓恐れ

おそれ・・　〈送〉恐れ入る、恐れ多い、恐ろしい

おそるおそる　〈副〉恐る恐る

おち・・　〈送〉落ち合う、落ち口、落ち込む、落ち着き、落ち度、落ち葉、落ち穂、落ち武者、落ち目

おちおち　〈副〉おちおち

おちゅうど　↓〈慣〉落人

おちつき　(落付き)↓落ち着き

おっくう　(億劫)↓面倒、おっくう

おっ・・　〈送〉追っ手、追って書き

おっつけ　(押っつけ)↓おっつけ　(相撲)

おって　〈副〉(追って)↓おって

おてまえ　(御手前)↓〈慣〉お点前　(茶道)

おてんば　(御転婆)↓おてんば

おとうさん　↓〈慣〉お父さん

おとさた　(音沙汰)↓音さた、音信、消息

おとしあな　(陥し穴、陥穽)↓落とし穴

おとしいれる　(落とし入れる)↓陥れる

おどす・おどかす　(威す、嚇す)↓脅す、脅かす、脅し文句

おととい　(＊一昨日)↓おととい

おととし　(＊一昨年)↓おととし

おとな　↓〈慣〉大人

おとなしい　(温和しい、大人しい)↓おとなしい

おとめ　↓〈慣〉乙女

おどる

踊〔舞踊〕踊り子、踊り場、人に踊らされる、笛吹けど踊らず

躍〔跳躍〕躍り上がって喜ぶ、躍りかかる、小躍りする、胸が躍る

おどり・・　〈送〉盆踊り　(「都踊」など固有名詞は別)

買い進み、買い出し、買いだめ、買い手、買い取り(価格)、買い主、買い戻し、買い物、買い替え、買い方、買い出動、買い手市場

かい・・ (送)飼い犬、飼い主

がいか (凱△歌)→勝ちどき

がいかく (外廓△)→(法)外郭

かいかつ (快濶△)→快活

かいがら →貝殻

かいきしょく (皆既蝕△)→皆既食

かいぎゃく (諧△謔△)→こっけい、冗談、ユーモア

かいきんシャツ (開襟△シャツ)→開きんシャツ

かいげん →開眼〔仏道の真理を悟ること〕大仏開眼

かいこ
回顧〔過去を顧みる〕回顧録
懐古〔昔をなつかしむ〕懐古趣味

かいご (改悟△)→悔悟

かいこう (邂△逅△)→巡り合い
(海溝△)→海溝

かいこく (誡△告)→戒告

かいさく (開鑿△)→開削

かいざん (改竄△)→変造、改変

がいし (碍△子)→がいし、ガイシ

がいして (副)概して

かいじゅう (晦△渋△)→難解

かいしゅん (改悛△)→改心、悔悟

かいしょ (楷△書)→かい書

かいじょ (解舒△)→解じょ(率)

かいしょう (甲斐△性)→かい性

かいしょく (海蝕△)→海食

かいしん (快△心)→会心

かいじん (灰燼△)→灰じん(に帰す)、全焼、灰になる

かいせん (疥△癬△)→カイセン

かいそう (海藻△)→海草
(潰△走△)→敗走
(廻△漕△)→回船、回送

かいそうぎょう (廻△漕△業)→回船業、海運業

かいぞえにん →介添▲人

かいそくちょう (快足▲調)→快速調

かいたい (拐△帯)→持ち逃げ

かいだめ (買い溜△め)→買いだめ

かいちゅう (蛔△虫)→(学)回虫

かいちょう (諧△調)→調べ、調子、ハーモニー
(開張)→開帳〔刑法の「開張の罪」は別〕

かいづか (貝塚△)→貝塚

かいてい (改訂▲)→(法)改定

かいてき (快的▲)→快適

かいとう
回答〔質問、照会に対する返事〕身の上相談の回答、世論調査の回答
解答〔問題、疑問を解いて答える〕試験

折り畳み式、折り詰め、折り目
織物、織元、【博多】織（工芸品の場合）、織り方、織り糸・布、織り機、織り姫、織り模様

おりあしく　（折悪しく）↓折あしく

おりから　（折柄）↓折から

おりる・おろす
下（上から下へ）枝を下ろす、許可が下りる、腰を下ろす、貯金を下ろす、幕が下りる、山下ろしの風、山を下りる、階段を下りる、二階から下りる、シャッターを下ろす、手を下ろす、いかりを下ろす、パンタグラフを下ろす、雪下ろし作業、木から下りる、しゃ断機を下ろす、船から下りる、馬から下りる、荷物をたなから下ろす、錠を下ろす
降（乗り物、地位などから）車から降りる、月面に降りる、霜が降りる、飛び乗り飛び降り、荷降ろし（作業・仕事）、役職から降ろされる、エレベーターで降りる、滑り降りる、国旗や旗を降ろす、飛び降り自殺
卸（商業用語）卸売り、たな卸し

おろし・・　㊜卸値、卸商、卸問屋、卸売（業）、卸売（物価）、荷卸し、卸す、小売りに卸す、元卸し（名詞の場合は「元卸」）、元卸【商】

おる　（居る）↓おる、…しておる（助動詞の場合）

おれ　（俺）↓おれ

おろしがね　（卸し金）↓おろし金

おわり・・　㊜終値、終わり方

おんぎ　（恩誼）↓恩義

おんけん　（温健）↓穏健

おんこう　（温好）↓温厚

おんぞうし　（御曹子、御曹司）↓令息、二代目

おんちょう　（恩寵）↓恵み、恩顧、恩恵

おんど　↓音頭

おんながた　（女方）↓女形

おんぼう　⊗（隠亡、隠坊）↓火葬場従業員

おんりょう　（怨霊）↓亡霊

おんわ　（穏和）↓温和

〔か〕

か
貨（ねうちを持つ品物、財宝）貨財、貨物、貨車、雑貨、貨幣、金貨、外貨、悪貨、通貨、滞貨
荷（にもつ）出荷、入荷、荷重、負荷、集荷、在荷

か　（箇）↓個、個所、個条書き
カ＝二カ月、十カ所

かい・・　㊜買掛（金）、買値、買い上げ（価格）、買い入れ（値）、買い受け（人）、買い付け（金）、買いオペ、買い一服、買い埋め、買い気、買い切り、買い食い、買い込む、買い支え、買い占め、

商品の取り換え、人質と引き換えに、
それに引き換え、借り換え

替〔Aをやめて Bにかえる、変・換以外の場合〕井戸替え、入れ替え、替え着、替え玉、替え地、替え手、切り替え、組み替え、衣替え、攻守所を替える、月替わり、二の替わり、振り替わり、台替わり、代替わり、立て替え、詰め替え、模様替え、ポイントの切り替え、芝の植え替え、額を掛け替える、着替え、掛け替えのない人、差し替え、買い替え、職員を総替えする、レールの取り替え

代〔代理、代表、交代〕あいさつに代えて、命に代えても、入り代わり立ち代わり、その代わり、背に腹は代えられぬ、肩代わり、父に代わって、身代わり、投手を代える、社長が代わる、大臣が代わる

〔注〕替え、換えの書き方で迷う場合は「替え」を採用

かえ・・ (送)替え得、替え名、替え紋、替え言葉、替え歌

かえん （火焔△）→㊫火炎（びん）

かお・・ (送)顔合わせ、顔出し、顔だち、顔つき、顔負け、顔向け、顔なじみ、顔ぶれ

かおる・かおり

薫〔主として動詞〕風薫る、花が薫る、薫り高い品

香〔主として名詞〕香り高い、茶の香り

がかい （瓦△解）→崩壊、崩れる

かかし （案山子）→かか（が）し

かかえ・・ (送)抱え主、抱え込む

かかる・かけ（る）

掛〔一般用語〕掛かり合う、掛け金、掛け合い、掛け取り、掛け倒れ、掛け売り、掛け値、掛け声、掛け持ち、掛け捨て、掛け替え、掛け物、掛かり切り、掛かりつけ、掛け合い漫才、疑いが掛かる、くぎに掛ける、腰を掛ける、手掛かり、迷惑が掛かる、心掛け

懸〔懸垂、懸命、懸隔〕命を懸けて、懸け隔たる、気懸かり、心懸かり、賞金を懸ける、月が中天に懸かる、優勝が懸かる、夢の懸け橋、懸け離れる、懸け巣、命懸け、日中友好の懸け橋

架〔かけわたす〕綱を架け渡す、電線を架ける、橋が架かる、架け橋

係〔関係〕係り結び、本件に係る訴訟、○○裁判長係りで

かかり・かけ・・ (送)【戸籍】係・掛、係・掛官、係・掛員、係・掛長、掛け目、掛け小屋、掛け算、掛け図、掛け時計、掛け布団

かかわる （関わる、係わる、拘・わる）→かかわる

かき （夏△期）→(統)夏季
（花卉△）→草花、花

かきあつめる （搔△き集める）→かき集める

かぎあな （鍵△穴）→かぎ・カギ穴

かきおろし →書き下ろし

かきぞめ →書き初め

問題の解答、クイズの解答

かいどう　↓街道

かいふく　(恢復)↓回復

かいばつ　↓標高〔一般用語〕

海抜〔海抜ゼロメートル地帯など〕

かいほう

解放〔束縛、圧迫などから解き放し自由にする〕婦人解放運動、奴隷解放、農地解放、解放戦線

開放〔制限をやめて出入りを自由にする〕開放都市、門戸開放、演習地を開放、道路を市民に開放

がいぼう　(外貌)↓見かけ、外見、輪郭

かいめつ　(潰滅)↓壊滅、全滅

かいもく　㊫(皆目)↓かいもく

かいゆ　(快癒)↓全快、全治、回復

かいよう　(潰瘍)↓カイヨウ

かいらい　(傀儡)↓手先、ロボット、あやつり人形、かいらい

かいらん　(潰乱)↓壊乱

(解纜)↓出港、出帆、船出

かいろう　(廻廊)↓回廊

かいわい　(界隈)↓付近、周辺、近辺、かいわい

かう・かって

買う、買って＝物を買う、技量を買う、安定性を買って、人物を買われて採用

かえす・かえる

返〔主として事物に、裏返し、返還〕恩をあだで返す、折り返し点、返り咲き、借金を返す、正気に返る、寝返り、紛失物が返る、野性に返る、自然に返る、原点に返る、千鳥を返す

帰〔主として人に、立ち戻る〕家に帰る、親元へ帰す、帰らぬ人となる、帰り車、帰り新参、帰り支度、童心に帰る、帰り道、千島が帰る、初心に帰る

〔注〕三塁走者が「かえる」は仮名書き。

かえす　(還す)↓かえす

かえすがえす　㊫(返す返す)↓かえすがえす

かえだま　(換え玉)↓替え玉

かえち　(換え地)↓替え地

かえって　㊫(却って)↓かえって

かえば　(換え刃)↓㊎替え刃

かえりうち　(返り打ち)↓返り討ち

かえりみる

顧〔振りかえる、目をかける〕過去を顧みる、顧みて他を言う、人を顧みる暇がない、歴史を顧みる　「省みる

省〔反省する〕省みて恥じない、自らを

かえる・かわる

変〔変更、変化〕形を変える、観点を変える、調子を変えて、色が変わる、季節が移り変わる、演題が変わる、声変わり、心変わり、住所が変わる、変わり種、変わり者、変わり果てる、生まれ変わる、位置を変わる

換〔AとBを交換、転換〕言い換え、置き換え、書き換え、金に換える、乗り換え、引き換え、配置が換わる、

影〔物の形〕影絵、影が薄い、影の内閣、影武者、影も形もない、影を踏む、障子に影が映る、水面に山影を映す、人影が見当たらない、影をひそめる
がけ　(崖)→がけ
かけごと　(賭け事)→かけ事
かけひき　(駈引き)→駆け引き
かける　(馳ける、駈ける)→駆ける
かけ・・　㊜駆け足、駆け上がる、駆け落ち、駆け込む、駆け出し、駆けつける、駆け回る
かげろう　(＊陽炎)→かげろう
かこう　↓河口
かこうがん　(花崗岩)→かこう岩、みかげ石
かこく　(苛酷)→過酷、厳しい、むごい
ガサ⊗(ガサ)→家宅捜索
かさあげ　(嵩上げ)→かさ上げ

かざあし　↓風脚
かざかみ　↓風上
かざり・・　㊜飾り付け、飾り物、「飾り立て
かさねて　㊟重ねて、重ね重ね
かし　(華氏)→カ氏
かし　(下肢)→足
↓㊝河岸
かし・・　㊜貸方(経済用語)、貸金、貸越(高)、貸座敷、貸室、貸席、貸出(金)、貸地、貸賃、貸付(金)、貸付信託、貸主、貸本、貸間、貸家、貸元、高利貸(人の場合)、貸舟・船、貸店、貸衣装、貸し切り列車、貸し方(貸す方法)、貸し切りバス、貸しボート、貸し倒れ(金)、貸し付ける、貸し手、貸し出し条件、貸し借り
かじつきフォア　(舵付フォア)→かじ付きフォア〔かじ無しフォア〕

かしずく　(傅く)→かしずく
かしゃく　(苛責)→責め苦、苦悩
かしょ　(箇所、個処)→個所、○カ所(カは小文字にしない)
かしょう　(寡小)→寡少
がじょう　(牙城)→本拠、根拠地、本陣、堅陣
かじょうがき　(箇条書き)→個条書き
かしょくのてん　(華燭の典)→結婚式
かしら　↓頭、頭文字、旗頭
かしわで　(柏手)→かしわ手
かず(つ)ら　㊠かずら・かつら(鬘)
かすりきず　(擦り傷)→かすり傷
かする
科する〔罰する〕罰金、刑などを
課する〔割り当てる〕税金、学業などを
かぜ　↓㊝風邪
かぜ・・　㊜風向き、風当たり
かせい　(苛政)→悪政、虐政

かき・・ (送)書留、書き誤り、書き置き、書き入れ(時)、書き出し、書き換え、書き方、書き込む、書き損ない、書き付け、書き留・止める、書き取り帳、書き直す、書き捨て、書き抜く、書き物、書き割り、書き分け

かきね (垣△根)↓かき根

かきまわす (掻△き回す)↓かき回す

かきょう (華僑△)↓華僑(きょう)
=カッコ内は省略してよい。
在外・在留中国人

かぎょう (稼△業)↓稼業、家業、仕事、商売

かく ↓書く、記事を書く
(画く)↓かく、絵をかく

かく・・ (送)格上げ、格下げ、格付け

かくう (仮▲空)↓架空

かくさ 格差〔格付けの差〕賃金格差
較差〔比較した差〕最高最低気温の較差。なるべく「差」または「違い」などと言い換える

かくざ (擱△坐△)↓(学)座州、座礁

かくし・かくれ・・ (送)隠し芸、隠し事、隠し立て、隠しボタン、隠れ遊び、隠れ里、隠れみの

かくしゃく (矍△鑠△)↓元気、壮健、達者

かくしゅ (恪△守)↓厳守、よく守る
(馘△首)↓解雇、免職
「首切り反対」のような成語は別

かくせいざい (覚醒△剤)↓覚せい剤

かくぜん (劃△然)↓画然

がくぜん (愕△然)↓ぎょっとして、がく然

かくたる (連)確たる

かくだん・かくべつ (副)格段、格別

がくちょう 学長=国立大学の長の場合で、総長とはしない。私立大学の場合はそれぞれの呼称に従って○○大学総長、○○大学塾長などとする

かくとう (挌△闘)↓格闘

かくはん (攪△拌△)↓かきまぜる、かき回す

かくはんき (攪△拌△機)↓(学)かきまぜ機、かくはん▲機

がくもんだんぎ (学文談議▲)↓学問談義

かぐら ↓(慣)神楽

かくらん (攪△乱)↓かき乱す

かげ 陰〔光の当たらない所〕陰ぜん、陰ながら、陰になり日なたになり、陰の声、陰弁慶、陰干し、草葉の陰で、山の陰になる、日が陰る、景気の陰り、陰口をいう、陰の実力者

かたよる　↓偏る、偏り、偏った考え
かたらい・かたり・・　(送)語らい、語らう、語り合う、語り手、語り物、語り口
かたり　(騙り)↓かたり
かたわら　(側ら)↓傍ら、傍らに
かたん　(荷担)↓加担　[立つ
かちどき　(勝鬨)↓勝ちどき
かちとる　(獲る、勝ち取る)↓かちとる、平和をかちとる
かちみ　(勝ち味)↓勝ちみ
かち・・　(送)勝ち戦、勝ち気、勝ち越す、勝ち進む、勝ちっ放し、勝ち星、勝ち負け、勝ち目
かつ　(副)(接)(且つ)↓かつ
がっか　学科〔学問の種類〕専門の学科、法律学科
学課〔学業の割り当て〕全学課を修了

かっきてき　(劃期的)↓画期的
かっけ　(脚気)↓カッケ
かっけつ　(喀血)↓かっ血、血を吐く
かっこ　(確乎)↓確固
かっこう　(恰好)↓格好
かっさい　(喝采)↓かっさい
かっしょく　(褐色)↓かっ色、焦げ茶色
かっせん　↓合戦
かって　↓勝手、勝手方、勝手口、勝手気まま、勝手元、勝手にする、身勝手
かつて　(副)(曾て、嘗て)↓かつて
がってん　↓合点
かっとう　(葛藤)↓紛争、もつれ、争い、もめ事
かっぱ　(合羽)↓かっぱ
(河童)↓カッパ
かっぱつ　(活潑)↓活発

かっぷく　(恰幅)↓格幅、押し出し
がっぺい　↓合併
かっぽう　(割烹)↓かっぽう、料理
かつもく　(刮目)↓注目
かつようじゅ　(濶葉樹)↓(学)広葉樹
かて　↓糧、心の糧
かてい　課程〔ある期間に割り当てられた学業仕事など〕修士課程、業務課程
過程〔進行のプロセス、段階〕製作の過程、進化の過程
かど　↓角、角を立てる、角を曲がる、街角、町角、四つ角
(廉)↓かど
かどう　(稼動)↓稼動、実働、就労、操業
かどで　(首途)↓門出

かぜい　(苛税)↓重税
かせいソーダ　(苛性曹達)↓㊫カセイソーダ
かせぐ　(稼ぐ)↓かせぐ
かせん　(寡占)↓寡占
がぜん　(俄然)↓突然、にわかに、急に、突如
かせんじき　↓河川敷
かそう
仮装〔仮に装う〕仮装行列、仮装標的
仮想〔仮定の想像〕仮想敵国、仮想図
かぞえ・・　㊜数え年、数え歌
かた
形〔すがた、かたち〕跡形もない、女形、形鋼、形なし、形ばかりの、髪形、自由形、柔剣道の形、手形、人形、大形の花、大型形鋼
型〔手本、パターン〕うるさ型、鋳型、大型、型通り、型にはまる、型破り、血液型、七五年型、ひな型
かた・・　㊜肩書(地位)、肩上げ、肩代わり、肩凝り、肩透かし
かた・・　㊜片思い、片言交じり、片付ける、片割れ月、片寄せる
かたい・かためる
堅〔主として形容詞に、堅実〕堅い材木、堅気、堅苦しい、堅物、堅人、堅い人物、堅パン、手堅い商売、売れ行きは堅い、実行は堅い、底堅い動き、合格は堅い、口が堅い、義理堅い、堅もち、立候補は堅い、優勝は堅い、葉・茎・芽・実・果肉などが堅い
固〔主として動詞に、確固〕頭が固い、固い決意、固く信じる、固い友情、固練り、固太り、固める、固い握手、固く握る、織り目が固い、団結が固い、固め技、固めに飯を炊く、固い約束、選挙地盤が固い、固く守る、固油、固あめ、土を固める、各国間の固い壁、固織り、固焼き、財布のひもが固い
硬〔軟の対語〕硬い石、硬い文章、表情が硬い、骨が硬い、硬い土、硬い氷、話が硬い、硬さがほぐれる、選手が硬くなった、硬い表現、飯が硬い、皮・革・布地などが硬い、身のこなしが硬い、緊張して硬くなる、手触りが硬い
かたいなか　↓片田舎
かたがた　㊵(旁々)↓かたがた
かたがわり　(肩替り)↓肩代わり
かたき　↓敵、敵役、敵討ち
かたぎ　(*気質)↓かたぎ(気風、性格)
↓堅気(まじめ、りちぎ)
かたきどうし　(仇同志)↓敵同士
かたくりこ　(片栗粉)↓かたくり粉
かたず　(固唾)↓かたず
かたすみ　(片隅)↓片すみ
かたみ
片身〔体の半分〕魚の片身
肩身〔他人に対する面目〕肩身が広い
形見〔思い出の品、記念品、遺品〕亡父の形見
かためる　(堅める)↓固める

から・・ ㊜空っぽ、空回り、空振り、空売り、空揚げ、空騒ぎ

から (唐)↓唐、唐織、唐紙

がら ↓柄、家柄、日柄、作柄、大柄、柄が悪い、職業柄

からくさ (唐草)↓唐草（模様）

からくも (副)辛くも

ガラス (硝子)↓ガラス

からだ (＊身体)↓体、体つき、丈夫な体

からて (唐手)↓(統)空手

からむ・からまる ↓絡む、絡まる、絡み合い、絡み付く

からめて (搦手)↓からめ手

がらん (伽藍)↓お寺、寺院、仏閣、殿堂

カリ (加里)↓カリ

かり・・ ㊜仮払（伝票）、仮払い、仮住まい、仮に、仮縫い、仮差し押え

借入（金）、借受（金）、借方（経済用語）、借越（高）、借り換え（金）、借り地、借り家（しゃくち、しゃくやは借地、借家）、借り主、借り賃、間借り人、借り本、借り上げる、借り貸し、借り方（借りる方法）、借り手、借り倒し、借り物、借り切り、借りっ放し、借り越す、借り着、借り受ける、借り入れる

かりいれ (刈り入れ)↓刈り入れ

かりだす 駆り出す（強いて行かせる）デモに駆り出す、投票に駆り出す
狩り出す（追っ立てる）獲物を狩り出す、犯人を狩り出す

かりに (副)仮に

かりゅうど ↓(慣)狩人

かり・・ ㊜狩り場、紅葉狩り、潮干狩り　刈り込み

かりょう 科料（軽微な犯罪に対する刑事罰で、判決によるもの）科料に処せられる
過料（証人の不出頭や証言拒否などに対する行政罰で、決定によるもの）過料を取られる

がりょうてんせい (画竜点睛)↓画竜点せい

かるわざ ↓軽業、軽業師

かれつ (苛烈)↓激しい、激烈、猛烈

かれる (涸れる)↓枯れる、資金が枯れる、水枯れ
(嗄れる)↓かれる、声がかれる

かれ・・ ㊜枯れ枝、枯れ木、枯れ草、枯れ野、枯れ葉

かれん (可憐)↓いじらしい、

かどばん　(廉番)→かど番
かとりせんこう　→蚊取り線香
かな　→〈慣〉仮名、仮名遣い、
平仮名、片仮名、仮名交じり文
かな・かね・・　〈送〉金切り声、金入れ、金貸し、金包み、金詰まり、金回り、金持ち、金遣い、金を使う、金繰り、金づち、金づる、金ずくで
かなた　(彼方)→かなた
かなでる　→奏でる、琴を奏でる
かなめ　(要)→かなめ
かならず　〈副〉必ず
かなり　〈副〉(可成)→かなり
かねじゃく　(＊曲尺)→かね尺
かねつ
加熱〔熱を加える〕加熱器、加熱処理
過熱〔熱し過ぎる〕ストーブの過熱
かねて　〈副〉(予て)→かねて
かの　〈連〉(彼の)→かの

かのう　(化膿△)→うむ、化のう
かびん　(花瓶△)→花びん
かふ　(寡△婦)→寡婦(年金)、未亡人
かぶ・・　〈送〉株張り、株分け
かぶせる　(被せる)→かぶせる
かぶき　(歌舞伎△)→歌舞伎
かぶんにして　(寡△聞にして)→寡聞にして、見聞が狭くて、知識が浅く
かへい　(貨幣▲)→貨幣
がべい　(画餅△)→徒労、無効、むだ、あだ、絵にかいたもち
かべ・・　〈送〉壁掛け、壁塗り、壁越し
かぼそい　(繊細)→かぼそい
かほんか　(禾△本科)→〈学〉イネ科
かま　(釜△)→かま
→窯、窯元、陶磁器窯

がまん　→我慢
かみがたふう　→上方風
かみきる　(嚙△み切る)→かみ切る
かみもうで　(神詣△で)→神もうで、神参り
かみ・・　〈送〉髪洗い、髪飾り、髪結い
紙入れ、紙切れ、紙包み
神懸かり、神頼み
かもく　(寡△黙)→寡黙、無口
(課目)→科目〔勘定科目、入試科目など〕
かもす　→醸す、醸し出す
かもん　→渦紋
かや　→〈慣〉蚊帳
かよい・・　〈送〉通い帳、通い道、通わす
から　→空、空車、空くじ、空景気、空手形、空梅雨

かんげんがく　（管絃△楽）↓管弦楽、オーケストラ
がんこ　（頑△固）↓がんこ、片意地、いっこく、かたくな
かんこう　（箝△口）↓口止め
かんさつ
監察〔視察し監督する〕行政監察、監察官
観察〔物事をありのままに見る〕観察眼、自然観察、保護観察
かんしいん　（看視員）↓監視員
かんしゃく　（癇癪）↓かんしゃく
かんしゅ　（監守）↓（法）看守
かんしょ　（甘藷△）↓サツマイモ
かんしょ　（甘蔗△）↓サトウキビ
かんしょう
鑑賞〔芸術作品などを味わい理解する〕絵画の鑑賞、能楽鑑賞
観賞〔見て楽しむ〕映画の観賞、風景を観賞する
観照〔対象を客観的、冷静に見つめる〕人生観照の哲学
勧奨〔励まし勧める〕展覧会に出品を勧奨
がんじょう　（頑△丈）↓がんじょう、堅固
かんしょうちたい　（間▲衝地帯）↓緩衝地帯
かんじん　（肝腎△）↓肝心
かんすう　（函△数）↓（学）関数
かんせい　（陥穽△）↓（法）落とし穴、わな
かんせい　（喊△声）↓喚声、わめき声、ときの声
↓歓声〔喜びの声〕
かんせい
官制〔行政機関の組織、権限など〕官制改革
官製〔政府の製造〕官製はがき
管制〔管理制限〕灯火管制
かんせつ　（関接▲）↓関節
がんぞう　（贋△造）↓偽造
かんたい　（款待、観▲待）↓歓待
かんだかい　（感高い）↓甲高い
かんたん　（感歎△）↓感嘆
がんたん　（元旦△）↓元日、一月一日
かんち　（奸△智△）↓悪知恵
かんちがい　（感違い）↓勘違い
かんちょう　（間諜△）↓スパイ、回し者、間者
かんづく　（勘▲付く）↓感づく
かんづめ　（罐△詰）↓かん詰め
かんてつ　（完▲徹）↓貫徹
かんてん　（看△点）↓観点
かんてん　（旱△天）↓干天
かんどうし
感動詞の用例＝ああ、あら、あれ、いや、いいえ、おや、そら、まあ、そらっ、ギョッ、ウワア、ハハハ、ホホホ
かんどころ　（甲所、肝所）↓（統）勘所

かわいらしい、かれん

かろうじて　(慣)(副)辛うじて

かわ

川〔一般用語、主として固有名詞につく〕小川、川岸、川口、川幅、川辺、山川、川端

河〔限定用語〕河原、河岸（かし）

〔注〕「かこう」は河口、「かわぐち」は川口

かわ・・　(送)川遊び、川越し、川沿い、川伝い、川開き、川向こう

かわ

皮〔天然皮、表皮〕皮をはぐ、木の皮、獣の皮、面の皮、化けの皮、皮切り

革〔加工皮〕革帯、革かばん、革ぐつ、革製品、なめし革

かわいい　（可愛い）↓かわいい

かわいそう　（可哀想）↓かわいそう

かわく・かわかす

乾〔一般用語〕乾いた土地、空気が乾く、火で乾かす、干し物が乾く

渇〔ノドがかわく〕愛情の渇き、渇きを覚える、ノドの渇き

かわす　（躱△す、交▲わす）↓かわす、体をかわす、矛先をかわす

かわす　↓交わす、言い交わす

かわせ　↓(慣)為替

かわら　（磧△、川原）↓(統)(慣)河原

かわらぶき　（瓦△葺△）↓かわらぶき

かわり　〔かえる・かわる〕の項参照

かわるがわる　(副)代わる代わる

かん

観＝観点、雑観（いろいろの見方）、雑観記事、直観、悲観

看＝看過、看守、看護

感＝雑感（まとまりのない感想）、感染、季感

がん　（癌△）↓ガン、障害

〔病名は「ガン」、「国立がんセンター」など固有名詞は別〕

かんがい　（灌△漑△）↓かんがい、水利、引き水

（旱△害）↓干害

（感慨▲）↓感慨

かんがえ・・　(送)考え方、考え違い、考え直す　「い

かんがにぶい　（感が鈍い）↓勘が鈍い

かんがん　（寒▲顔）↓汗顔

かんき　（乾▲季）↓(統)乾期

（観△喜）↓歓喜

がんきょう　（頑△強）↓強硬、強情、手ごわい

かん・・　(送)かん切り、かん詰め

がんぐ　（玩△具）↓おもちゃ

かんぐる　（感▲繰る）↓勘ぐる

かんげき　（間隙△）↓すき間、みぞ、不和

かんけつ　（間歇△）↓(学)間欠

かんげん　（諫△言）↓忠告、意見

がんけん　（頑△健）↓元気、壮健、丈夫、達者

（眼瞼△）↓マブタ

け薬、気受け、気兼ね、気構え、気変わり、気配り、気組み、気だて、気違い、気疲れ、気詰まり、気抜け、気乗り薄、気晴らし、気任せ、気短に、気持ち、気休め、気障り、気遣い、気遣う、気負う、気後れ、気落ち、気懸かり、気取り、気恥ずかしい、気安い
着替え、着飾る、着流し、着付け

きいん　（帰因、基因）→起因、基、基づく

きうん　（気運）→機運

きえん　（気焔）→気炎

ぎえんきん　（義捐金）→義援金

きが　（饑餓）→飢餓

きがい　（気慨）→気概

きかい・・　(送)機械編み　「体操

きかいたいそう　（機械体操）→器械

きがえ　（着換え）→(統)着替え

きかん　（器管）→器官
（汽罐）→(法)ボイラー、「髪かま

ききいっぱつ　（危機一髪）→危機一

ききこみ　（聴き込み）→聞き込み

ききざけ　（聞酒）→利き酒

ききとして　（嬉々として）→喜々として

ききそこなう　→聞き損なう

ききめ　（利目）→効きめ

ぎきょうしん　（義侠心）→義きょう心、おとこ気

ききん　（飢饉）→ききん、凶作、飢きん

きく
聞〔一般用語〕うわさを聞く、聞き覚え、聞き流し、聞く耳持たぬ、話し声を聞く、物音を聞く
聴〔耳を立ててきく、身を入れてきく〕音楽を聴く、講義を聴く、声なき声を聴く、国民の声を聴く、街の声を聴く
〔注〕聞・聴は対象よりも「きく」態度、状態によって書き分ける。どちらでもよいときは「聞」。

きき・・　(送)聞き誤る、聞き合わす、聴き入る、聞き入れる、聞き納め、聞き落とす、聞き書き、聞き方、聞き苦しい、聞き込み、聞き捨て、聞き違い、聞き伝え、聞き手、聞き取る、聞き耳、聞き物、聞き役、聞き分け、聞き上手、聞き届ける

きき・きく
効〔ききめがある、効力、効能、効用〕薬が効く、宣伝が効いた、効きめがある
利〔役に立つ、はたらく〕顔が利く、利き腕、機転が利く、口利き、左手が利く、目端が利く、融通が利く、利き手、利きごま、目が利く、利き酒

きぐ　（危虞、危惧）→不安、

かんなづき ↓(慣)神無月
かんなん (艱難)↓苦難、困難、困苦
かんにさわる (癇に触る)↓かん(カン)に障る
かんにん (堪忍)↓堪忍
かんぬし ↓神主
かんねん (感念)↓観念
かんのう ↓感応
(勘能)↓堪能、練達
かんのん ↓観音
かんば (駻馬、悍馬)↓荒馬、暴れ馬
かんぱい (乾盃)↓乾杯
かんばつ (旱魃)↓干ばつ、日照り、水枯れ
がんばる (頑張る)↓がんばる
かんぱん ↓甲板
がんぶつ (贋物)↓偽物
かんぺき (完璧、完壁)↓完ぺき、完全、万全
かんぼう (寒冒)↓感冒
かんぽうやく (漢法薬)↓漢方薬
かんぼく (灌木)↓(学)低木
かんまん (緩漫)↓緩慢
がんみ (玩味)↓味わう
かんめい (肝銘)↓感銘
がんめい (頑迷)↓わからずや、かたくな
かんめん (干麺)↓乾めん
かんよ (干与)↓(法)関与
かんよう (涵養)↓(法)養成、育成
がんらい (副)元来
かんりゅう (乾溜)↓(学)乾留
かんれき (還歴)↓還暦
かんろく (貫禄)↓貫録

〔き〕

き 期〔ある期間〕雨期、乾期、期末闘争、今期、時期、年期
季〔季節〕春・夏・秋・冬季、季題、四季、今季（シーズンをいう場合）
機〔複雑または大型のものに〕映写機、開閉機、拡声機、火災報知機、乾燥機、機、機械、機器、警報機、検眼機、耕運機、写真機、しゃ断機、信号機、洗たく機、扇風機、掃除機、送・受信機、測深機、探知機、転てつ機、電話機、電動機、分離機、盗聴機
器〔単純または小型のものに〕楽器、器械体操、器具、吸入器、検温器、受話器、洗面器、電熱器、手持ちの拡声器、フ化器、兵器、変圧器
気＝気勢、気流、気体、気温、気動車
き (樹)↓木
き・・(送)木切れ、木組み、木登り、並木、枯れ木、差し木、立ち木、接ぎ木、積み木
気合、気付、気付(○○さま気付)、気付

きたない　↓汚い、汚い手
ぎだゆう　↓〈慣〉義太夫
きたる　〈連〉来る○日
きだん　(綺譚、綺談)↓奇談
きたんない　(忌憚ない)↓腹蔵ない、率直な、遠慮のない
きち　(機智)↓機知
きちがい　(気狂い)↓気違い
きちょうめん　(几帳面)↓きちょうめん
きつ　↓吉、吉報、不吉、吉例、吉凶、吉兆
きつおん　(吃音)↓どもり
きっこう　(拮抗)↓張り合う、対抗、対立
きっすい　(吃水)↓〈学〉〈法〉喫水
　↓生粋、生粋の江戸っ子
きって・きっぷ　↓切手、切符
きてい　(規程)↓〈統〉規定(自民党総裁公選規程など固有名詞は別)
きてん　(気転)↓機転
起点(終点に対して始まりとなる点)
鉄道・路線の起点
基点(もととなる点、中心点)…を基点として半径五キロ
きとう　(祈禱)↓祈とう、祈り、「祈念」
きぬ・・　〈送〉絹織物、絹張り、絹織り
〈仮〉絹ずくめ
きねん　(紀念)↓〈統〉記念
　↓祈念(広島、長崎平和祈念式典)
きのう　↓〈慣〉昨日(「きのう」と読ますときは仮名書き)
きはく　(気魄)↓気迫
　(稀薄)↓〈学〉希薄
きばむ　↓黄ばむ
きはん　(軌範)↓規範　「拘束
　(羈絆)↓束縛、きずな、
きびき　↓忌引
きびしい・　↓厳しい、厳しさ
きふく　(帰伏)↓帰服
きべん　(詭弁)↓奇弁
きほう　(気泡)↓あわ
きまぐれ　(気紛れ)↓気まぐれ
きまじめ　(生真面目)↓きまじめ
きま・・　〈送〉決まり文句、決まり型、決まり手、決め手
きまりわるい　(極まり悪い)↓きまり悪い
ぎまん　(欺瞞)↓欺く、偽る、ごまかす
きみ　(黄味)↓黄身(卵の)
　↓気味、気味が悪い
きみたち　(君達)↓君たち
きむずかしい　↓気難しい
きめ　↓木目、木目が細かい
　↓きめ、攻守にきめが粗い
きめこむ・きめつける　(極め込む、極めつける)↓決め込む、決めつける
きめて　(極め手)↓決め手

恐れ、心配、危ぶむ

きぐう　(寄寓△)↓仮住まい、同居

きけい　(詭△計)↓謀略、ペテン
(畸△形)↓㊫奇形

きけん　(危倹▲)↓危険

きげん　(機嫌△、気▲嫌△)↓きげん
(起原)↓起源

きげんそ　(稀△元素)↓希元素

きこう　(寄航)↓寄港

きごう　(揮△毫△)↓揮ごう、染筆

きこうぼん　(稀△覯△本)↓希少本、希書

きさい　奇才〔珍しくすぐれた才能〕
鬼才〔人間と思われないほどの才能〕
機才〔機敏に働く才能、ウイット〕

きざい　器材〔器具類の場合〕
機材〔機械類の場合〕

きし　(旗幟△)↓旗色、旗印、立場、態度

きじ　生地〔自然のままの質〕生地織り、生地が細かい、生地が出る、生地のまま、陶磁器の生地、洋服の生地
木地〔塗り物の下地〕木地が粗い、木地師、木地塗り、木地に漆を塗る

ぎじ　(擬似)↓疑似〔擬人法は別〕

きしべ　↓岸辺

きしゃ　(寄△捨)↓喜捨

きしゃく　(稀△釈)↓㊫希釈

きじゅん　(規△準)↓(統)基準

きしょう　(稀△少)↓希少
(徽△章)↓記章、バッジ

ぎじょうへい　(儀仗△兵)↓儀礼兵

きすう　(帰趨△)↓成り行き、動向、帰結

きず・・　(送)傷つく、傷つける

きせい　(規正、規整)↓(法)規制〔政治資金規正法は別〕

きせい　既成〔すでに出来上がったこと〕既成概念、既成の事実
既製〔作られたもの〕既製品、既製服

ぎせいしほん　↓擬制資本

きせき　(奇▲蹟△)↓奇跡

きせん　(気△先)↓機先

きぜん　(毅△然)↓厳然、決然

ぎそう　(艤△装)↓㊫ギ装、装備

ぎそう　偽装〔いつわり、ごまかす〕偽装工作、偽装殺人
擬装〔他の物にまねる、カムフラージュ〕擬装陣地、擬装砲

きそん　(毀△損)↓(法)損傷、破損
↓棄損、名誉棄損

きた・・　(送)来す(きたす)、来る(きたる)、来た(きた)、来る(くる)

きたい　(危殆△)↓危険、危機

きだい　(稀△代)↓希代

ゆすり、脅し、たかり

きょうかん (兇漢)↓凶漢

きょうき (兇器)↓凶器

きょうき (侠気)↓おとこ気

ぎょうぎ ↓行儀

ぎょうぎょうしい (業々しい)↓仰々しい、大げさ

きょうきんをひらく (胸襟を開く)↓胸きんを開く、打ち解ける

きょうげき (挾撃)↓はさみ打ち

きょうこ (鞏固)↓強固

きょうこう (兇行)↓凶行

強行〔強いて行う〕強行採決、試合を強行

強硬〔手ごわい〕強硬手段、強硬な抗議

きょうごう (強剛)↓強豪

ぎょうこう (僥倖)↓まぐれ当たり、幸運

きょうこつ (頬骨)↓ホオ骨

きょうざつぶつ (夾雑物)↓不純物、混じり物

ぎょうさん ㊖(仰山)↓ぎょうさん

きょうじ (矜持)↓誇り、自負

きょうしゃ ↓香車

きょうしゅ (拱手)↓傍観、懐手、両手を組む

きょうしょう (狭少)↓狭小

きょうじん (兇刃)↓凶刃

(強靱)↓粘り強い

きょうせい (匡正)↓矯正、正す

きょうそう (競漕)↓ボートレース、レガッタ

(狂躁)↓狂騒

きょうそう

競争〔一般用語〕生存競争、生産競争、競争試験、競争心

競走〔運動用語〕長距離競走、徒競走

きょうたい (狂体)↓狂態

きょうたん (驚歎)↓驚嘆

きょうてん

経典〔宗教的な教えの書〕仏教の経典

教典〔教育上のよるべき法則〕初等教育の教典

きょうどう

共同〔複数のものが一緒に行い、または同等の資格で結びつく、一般用語〕共同歩調、共同一致、共同宣言、共同施設、共同社会、共同戦線、共同謀議、共同市場、共同広告

協同〔心、力を合わせ助けあって仕事をする〕協同一致、協同組合、産学協同

きょうとうほ (橋頭堡)↓橋頭保、足掛かり

きょうはく (強迫)↓脅迫〔強迫観念は別〕

きょうへん (兇変)↓凶変

きょうぼう (兇暴)↓凶暴

きょうぼく (喬木)↓㊫高木

きょうまん (驕慢)↓高慢

きも　(胆・)↓肝、肝に銘じて
きもいり　(肝煎△り)↓肝いり
きゃく・・(送)客止め、客引き、客扱い
きゃたつ　↓脚立
きゃはん　(脚△絆△)↓脚はん
きゆう　(杞△憂)↓取り越し苦労、無用の心配
きゅうかく　(嗅△覚)↓臭覚、きゅう覚　「車
きゅうきゅうしゃ　(急救▲車▲)↓救急
きゅうきょ　(急遽△、急拠▲)↓急ぎ、急きょ
きゅうきょう　(窮況)↓窮境
きゅうきょく　(究局、窮極、窮局)↓究極
きゅうきんぞく　(稀△有金属)↓㊫希有金属
きゅうげん　(給原)↓給源　「歯
きゅうし　(臼△歯△)↓キュウ歯、奥
きゅうしゃ　(厩△舎)↓きゅう舎、馬小屋、うまや
きゅうしゅう　(吸拾▲、吸集▲)↓吸収
きゅうじゅつ　(救恤△)↓(法)救援、救助、救済
ぎゅうじる　↓牛耳る
きゅうせい　(急逝△)↓急死
きゅうせき　(旧蹟△)↓旧跡
きゅうだん　(糺△弾)↓糾弾
きゅうてき　(仇△敵)↓敵
きゅうとう　(旧套△)↓旧態、旧習
きゅうはく
急迫(さしせまる)情勢急迫
窮迫(困りきる)生活が窮迫
きゅうひ　(厩△肥)↓うまや肥、きゅう肥
きゅうほう　(臼△砲)↓きゅう砲
きゅうめい　(糺△明)↓糾明
究明(真理、真相などをきわめ明らかにする)真相を究明
糾明(責任、犯罪などをただし明らかにする)責任を糾明
きゅうめいどうい　(救命胴着▲)↓救命胴衣
きゅうろう　(旧臘△)↓昨年末、旧冬
きょう　↓(慣)今日(「きょう」と読ますときは仮名書き)
きょうあい　(狭隘△)↓狭い、窮屈な
きょうあく　(兇△悪)↓凶悪
きょうい
脅威(威力によるおどし)脅威を受ける
驚異(異常なことに驚く)驚異的な記録
きょうえつ　(恐悦△)↓恐悦
きょうえん　(饗△宴)↓供宴
きょうおう　(饗△応)↓(法)供応
きょうかいし　(教誨△師)↓教戒師
ぎょうかいし　(業会▲紙)↓業界紙
きょうかく　(侠△客)↓男だて、きょう客
きょうがく　(驚愕△)↓(法)驚く
きょうかつ　(恐喝、脅△喝)↓恐かつ、

きわ　割れ目、裂け目
↓際、引け際、窓際、際立つ、間際、際物

きわまる・きわめる
窮〔ゆきづまる、つきつめる〕窮まりない宇宙、窮め尽くされた道、進退窮まる
究〔追い求める、探究、追究〕学問を究める、真相を究める、真理を究める
極〔極度、極限〕栄華を極める、感極まる、極め付け、位人臣を極める、山頂を極める、失礼極まる、痛心の極み、不都合極まる、見極める

きわめて　(副)極めて
きんかい　(欣△快)↓喜び
きんきん　(副)近々
きんこ　(禁錮△)↓禁固
きんこう　(近△効▲)↓近郊
きんさ　(僅△差)↓小差、わずかな差
きんしゃ　(禽△舎)↓鳥小屋

きんじゅう　(禽△獣)↓鳥獣
きんしょう　(僅△少)↓わずか、少し
きんじょう　(近情)↓(統)近状
ぎんしょう　(吟誦△)↓吟唱
きんせい　(均斉)↓均整
きんせいひん　(禁製▲品)↓禁制品
きんぜん　(欣△然)↓喜んで
きんてん　(均霑△)↓均分、潤す
きんど　(襟△度)↓度量、雅量
きんのう　↓勤王、勤皇
きんぱく　(金箔△)↓金ぱく
きんむく　(金無垢)↓金むく、純金製
きんゆうこうそく　(金融梗△塞△)↓金詰まり

〔く〕

ぐあい　(工△合)↓(統)具合
くい　(杭△)↓くい

くいつく　(喰△い付▲く)↓食いつく
くい・・　(送)悔い改め、悔いる
食い合う、食い上げ、食い荒らす、食い合わせ、食い入る、食い意地、食い込み、食い下がる、食い代(しろ)、食い過ぎ、食い倒れ、食い違い、食い散らす、食い詰める、食いつく、食い道楽、食い逃げ、食い残し、食い延ばす、食い物、食い放題
ぐうぜん　(副)偶然
くうていぶたい　(空挺△部隊)↓空てい部隊、降下部隊
くうどう　(空洞△)↓空洞、うつろ
くうほうしゃげき　(空砲射▲撃)↓空包射撃(実弾をこめない銃砲は空砲)
ぐうわ　(寓△話)↓たとえ話
くかく　(区劃△)↓区画
くきょう　(苦況)↓苦境
くくる　(括△る)↓くくる

きょうみしんしん　(興味深々▲)↓興味津々
きょうりょう　(橋梁△)↓(法)橋
きょか　(炬△火)↓たいまつ、トーチ、きょ火
きょかい　(巨魁△)↓首領、頭目
ぎょかい　(魚貝)↓魚介
きょきん　(醵△金、拠▲金)↓持ち寄り、寄金、義金、きょ金
きょく　(巨軀△)↓巨体
きょくげん
極限〔ぎりぎりのところ〕体力の極限に達する
局限〔範囲を限ること〕問題を局限する
きょくち
極致〔最後にたどりつくところ、そのおもむきを極めつくしたこと〕美の極致
極地〔どんづまりの地、南・北極〕極地探検
局地〔限られた土地、区域〕局地的解決、局地戦

きょくりょく　(副)極力
きょさつ　(巨刹△)↓大寺院
きょく・・　(送)曲乗り、曲弾き
ぎょしゃ　(馭△者)↓御者
きょしゅつ　(醵△出、拠▲出)↓出し合い、持ち寄り、きょ出
ぎょしょう　↓魚礁
きょしんたんかい　(虚心坦懐△)↓こだわりなく、虚心たん懐
きょぜつはんのう　↓拒絶反応
きょひはんのう　↓拒否反応
ぎょふ　⊗(漁夫△)↓漁民、漁船員
きよほうへん　(毀△誉褒貶△)↓評判、世評
ぎょもう　(魚網)↓漁網
ぎょろう　(魚撈△)↓漁労
きらう　(嫌△う)↓きらう
きり　(限り)↓きり
きりかえ　(切り換え)↓(統)切り替え

きり・きれ・・　(送)切り合い、切り上げ、切り売り、切り落とす、切り返し、切り株、切り紙、切り髪、切り傷、切り狂言、切り崩し、切り刻む、切り口、切り口上、切り裂く、切り下げ、切り倒す、切り捨て、切り炭、切り妻造り、切り詰める、切り取り、切り抜き帳、切り花、切り離す、切り張り、切り札、切り干し、切り身、切れ味、切れ端、切れ目、切れ者
きりさめ　↓霧雨
ぎりだて　↓義理立て
きりつ　(紀律)↓(法)規律
きりは　(切端△)↓(学)切り羽
きりゅうさん　(稀△硫酸)↓(学)希硫酸
ぎりょう　(技倆△、伎倆△)↓技量
きる　(伐・る)↓切る
きれい　(綺△麗)↓きれい、奇麗
きれつ　(亀△裂)↓地割れ、ひび、

くもん　(苦悶△)→苦悩
くやしなき　(口惜し泣き)→悔し泣「き
くや・・　(送)悔しい、悔やみ状
くよう　(供要▲)→供養
くら
倉〔一般用語、倉庫など〕穴倉、倉出し税、倉荷証券、倉渡し、製品を倉に収める、倉入れ、倉出し
蔵〔土蔵など、やや古風な慣用語〕お蔵にする、蔵開き、蔵払い、蔵店、米蔵、酒蔵、蔵入れ、蔵出し〔酒の〕、質屋の蔵
くら・・　(送)倉敷料、倉渡し
くらい
位＝位が高い、位取り、位負け
くらい＝どのくらい、三十歳ぐらい
くらし・・　(送)暮らし、暮らし向き
くらべる　(較べる)→比べる
くらやみ　(暗闇△)→暗やみ
くり　(庫裡△)→(慣)庫裏
くり・・　(送)繰入《金》、繰越《高》、繰り上げ、繰り合わす、繰り入れる、繰り返し、繰り越す、繰り言、繰り込む、繰り下げる、繰り出す、繰り延べ
くる
来る＝彼がやって来る、人が来る
くる＝ちょっと見てくる、…なってくる、…してくる
くるい・・　(送)狂い咲き、狂い死に、狂い回る
くるし・・　(送)苦しがる、苦し紛れ
くるま・・　(送)車止め、車寄せ、車引き
くれ・・　(送)暮れ方、暮れ残る、暮れ行く
紅(くれない)
くれぐれ　(副)くれぐれ
ぐれんたい　(愚連隊)→ぐれん隊
ぐろう　(愚弄△)→からかう、なぶる、ばかにする、侮る
くろうと　→(慣)玄人
くろ・・　(送)黒塗り、黒光り、黒焼き
くろんぼ　⊗(クロンボ、黒んぼ)→黒人
くわえ・・　(送)加え算、加わる
くわしい　(委しい)→詳しい
くわせもの　→食わせ物(者)
くんかい　(訓誡△)→訓戒
ぐんき　(軍規)→軍紀
くんじ　(訓辞)→(統)訓示
ぐんしゅう
群衆〔人の群れ〕群衆を扇動する、大群衆、群衆に紛れる
群集〔人が集まる〕群集心理、やじ馬が群集する
くんじょう　(燻△蒸△)→薫蒸
くんせい　(燻△製)→薫製
ぐんせい　(群棲▲△)→群生
くんとう　(訓陶▲)→薫陶

くぐる　（潜る）→くぐる
くけい　（矩形）→(学)長方形
くさ・・　(送)草丈、草刈り、草取り、草分け
くし・・　(送)くし刺し、くじ引き券
くしくも　(副)（奇しくも）→くしくも
くすだま　（薬玉）→くす玉
ぐずる　（愚図る）→ぐずる
くずれる　→崩れる、山崩れ
くせもの　（曲者）→くせ者
くせんのてい（苦戦の態）→苦戦の体
くださる　→下さる、…して下さい（助動詞）
くだし・くだり・・　(送)下し薬、下り坂、下り列車
くだす　（降す）→下す
くだもの　→(慣)果物
くち・・　(送)朽ち木、朽ち葉、朽ち果てる
くちず・・　(仮)口ずから、口ずさむ

くちづて　（口伝て）→口づて
くちもと　（口許）→口もと
くちょう　（句調）→口調
くち・・　(送)口開け、口当たり、口入れ、口移し、口利き、口切り、口答え、口添え、口出し、口頼み、口付きたばこ、口伝え、口づて、口止め、口取り、口直し、口減らし、口汚し
くつがえす　→覆す
くっさく　（掘鑿）→(学)掘削
くっぷく　（屈伏）→屈服
くとうてん　→(慣)句読点
くにがら　→国柄
くにつくり　（国作り）→国造り
くにもと　（国許）→国もと、故郷
くはい　（苦敗）→苦杯
くびきり　（首切り）→解雇、人員整理（「首切り反対」のような成語は別）

くびくくり　（首縊り）→首くくり
くびじっけん　（首実験）→首実検
くび・・　(送)首飾り、首投げ、首つり
くふう　（工風）→工夫
ぐまい　（愚昧）→愚鈍
くまなく　(副)（隈無く）→くまなく
くみ・・　(送)【三人】組、組合、組長、組頭、組員、組曲、組下（印刷の）、【組立】工、組み上がり、組み合わす、組み入れ、組み打ち、組み置き、組み替え、組み込み、組み写真、組み立て（式）、組み版、組み違い、組違い同番号、組割り（生徒の）
くむ　（汲む）→くむ、事情をくむ、人の心をくむ
　酌む＝酒を酌む、茶を酌む
くめん　→工面
くも・くもり・・　(送)雲行き、雲隠れ、曇り、曇り空、曇り勝ち

激じん〔災害激じん地帯〕
げきぶん　(檄△文)→げき文
けぎらい　(毛嫌△い)→けぎらい
けげん　(怪△訝△)→けげん
げこくじょう　(下剋△上)→下克上
けさ　→(慣)今朝〔「けさ」と読ますときは仮名書き〕
げざい　(解▲剤)→下剤
げし　→夏至
けし・・　(送)消印、消し炭、消し止める、消しゴム、消しつぼ
けしき　→(慣)景色
けしきばむ　→気色ばむ
けずり・・　(送)削りくず、削り取る、削り節
げた　(下駄△)→げた
けっかい　(決潰△、欠壊▲)→決壊
けつがん　(頁△岩)→けつ岩、泥板岩
けっき　(蹶△起)→決起

けっきょく　(副)結局
けっこん　(血痕△)→血こん、血の跡
けっさい　決裁〔責任者が案件の採否を決めること〕大臣の決裁
決済〔きまりをつけること〕債務の決済、手形の決済
けっして　(副)決して
けっしゅう　(決▲集)→結集
けつじょ　(欠除△)→欠如
けっしょう　(血漿△)→血ショウ
げっしょく　(月蝕▲)→月食
けっしん　(決審▲)→結審
けっせん　決戦〔最後の決戦など〕
決選〔決選投票に限る〕
けつぜん　(蹶△然)→決然
けっちゃく　(結△着)→決着
けつべつ　(訣△別)→決別

けつまくえん　(血膜炎▲)→結膜炎
けつれつ　(欠▲裂▲)→決裂
けつろん　(決▲論)→結論
けとう　⊗(毛唐)→外国人、外人
げどく　(下毒)→解毒
けなげ　(健気)→けなげ
げねつ　(下熱)→解熱
けむたい・けむる　→煙たい、煙たがる、煙る
けむり・・　(送)煙、煙出し、煙抜き
げん　原〔もと、おこり、物事のはじめ〕原因、原語、原子、原住民、原資、原人、原動力、原始、原産、原本、原色、権原、病原、病原体、病原菌、原油
源〔物事の発するもと、みなもと〕源泉(課税)、源流、水源地、語源、根源、起源、資源、財源、電源、熱源
元〔一番はじめ、要素、もとで〕元素、元首、元号、改元、紀元、復元、還元

〔け〕

けあな　（＊毛孔）→毛穴

け・・　(送)毛織物、毛並み、毛抜き、毛編み、毛織り

・・げ　（・・気▲）→・・げ、自信ありげ、満足げ、悲しげ、かわいげ

けい
形〔すがた、かたち〕形態、形状、形式、形影、形勢、形相、外形、地形、有形、象形、図形、人形、原形、造形、整形、詩形
型〔かたどる、模範となるもの〕原型、紙型、模型、類型、典型、成型

げいぎ　（芸妓△）→芸者

けいけん　（敬虔△）→敬謙、恭しい、つつましい

けいこ　（稽△古）→けいこ、練習

けいこうとう　（螢△光灯）→けい光灯

けいしゅう　（閨△秀）→女流

けいしょう　（軽小）→軽少

けいすう
計数〔ものを数える〕計数整理、計数器、計数管、計数に明るい
係数〔科学などの用語〕エンゲル係数、摩擦係数

けいせん　（繋△船）→(学)(法)係船

けいそ　（硅△素）→(学)けい素

けいそう　（繋△争）→係争

けいぞく　（繋△属）→(法)係属
（経▲続）→継続

けいそつ　（軽卒△）→軽率（かるはずみ）

けいたい　（形体）→形態（学）

けいちょう　（軽佻△）→軽薄、うわついた、上っ調子

けいどうみゃく　（頸△動脈）→ケイ動脈

けいぶ　（頸△部）→首筋

けいべつ　（軽蔑△）→軽べつ、軽侮、侮り

けいもう　（啓蒙△）→啓発

けいら　（警邏△）→警ら、パトロール

けいり　（計理）→(法)経理〔計理士は別。計理士の正式名称は「公認会計士」〕

けいりゅう　（繋△留）→(学)(法)係留

けいりん　（経綸△）→政策、抱負、方針

けいれん　（痙攣△）→ケイレン、ひきつけ

けいろ　（径△路）→経路

けう　（稀△有）→まれ、珍しい

けおとす　（蹴・落とす）→け落とす

けが　（怪我）→けが

げき
激＝激高、激怒、激動、激臭、激暑、激職、激震、激痛、激変、激務
劇＝劇毒、劇薬、劇画

げきこう　（激昂△）→激高、憤激、興奮、激怒

げきじん　（激甚△）→激しい、激烈

けんのん　（剣呑）↓けんのん

げんばん

原盤〔レコード〕

原板〔写真〕

原版〔印刷〕

けんびきょう　（検微鏡）↓顕微鏡

けんぶん　（見分）↓検分

けんま　（研磨）↓㊫研摩

けんまく　（権幕、剣幕、見幕）↓けんまく

けんらん　（絢爛）↓けんらん、きらびやか

けんろう　（堅牢）↓堅固、丈夫

げんわく　（眩惑）↓幻惑

〔こ〕

ご

御〔固有名詞的に〕御所、御殿、御用邸、御陵、御料林、御用始め、御用納め

ご〔接頭語に〕ご結婚、ご用がある、ご用聞き、ご協力、ご縁がある、ご多分に漏れず、ご飯蒸し

こ・・　(送)小包、小切手、小売値、小売(商)、小売り、小当たり、小商い、小刻み、小締まる、小出し、小遣い銭、小づくり、小手投げ、小手調べ、小面憎い、小降り、小間使い

こ・・　(送)子守(歌)、子飼い、子育て観音、子持ち

木立、木隠れ、木枯らし

ごい　（語彙）↓用語、語類、言葉

こいがたき　↓恋敵

こいぬ　↓子犬、小犬

・・こう　(送)【仕上】工

ごう

剛〔強くてかたい、柔の対語〕剛球、剛健、剛体、剛直、剛の者、金剛、内剛外柔

豪〔力や才知などがすぐれる〕強豪、豪気、豪壮、豪胆、古豪、豪雨、豪語、豪放、酒豪、富豪

強〔勢力がある、つよい、しっかりしている、しいる〕強弓、強力、強引、強情、強訴、強欲

こうい　（厚意）↓(統)好意

こういん　（勾引）↓拘引

こううん　（好運）↓幸運

こううんき　（耕耘機）↓耕運機

こうえい　（後裔）↓子孫

こうえん

口演〔口で述べる〕講談、浪曲などの口演

講演〔公衆に講義する〕学術講演会

公演〔演技、演奏などの公開〕〇〇劇団の初公演

こうお　↓好悪

ごうか　（劫火）↓業火

こうがい　（効外）↓郊外

こうがい　（慷慨）↓憤慨、悲憤

けんいん　（牽引）↓引っぱる、けん引（車）
けんお　（嫌悪）↓きらう、いやがる
けんか　（喧嘩）↓けんか、争い
げんか　（絃歌）↓弦歌
げんか　（元価）↓原価
げんかしょうきゃく　（原価消却）↓減価償却
けんぎ　（嫌疑）↓容疑、疑い
げんきょう　（元兇）↓元凶
げんけい
原形〔もとの形〕原形をとどめない
原型〔出来上がりのもととなる型〕鋳物の原型
けんげん
権原〔権利の発生する法律上の原因〕占有の権原
権限〔職権、法令、契約などに基づく権能の範囲〕職務権限、代理人の権限、各省の権限争い

けんげん　（献言）↓建言
けんげんいじょう　（権限移譲）↓権限委譲
けん・・　(送)【検査】係・掛、検査済み、検定済み
けんさく　（建策）↓献策
けんさん　（研鑽）↓研究、勉励
けんし　（検死）↓検視
げんし　（源資）↓原資
けんじつ　（健実）↓堅実
けんじゅう　（拳銃）↓ピストル、短銃
げんじょう　（現情）↓(統)現状
けんせい　（牽制）↓抑制、けん制
けんせき　（譴責）↓けん責（国家公務員法では戒告）
げんせん　（原泉）↓源泉
げんぜん　（儼然）↓厳然
けんそ　（嶮岨）↓険阻、険しい
げんそ　（原素）↓(学)元素

けんそう　（喧噪、喧騒）↓(法)騒がしい、騒々しい
けんぞく　（眷族、眷属）↓一族、一門
げんそく　（舷側）↓船・艦側、船べり、船端
けんそん　（謙遜）↓謙虚、へりくだる
けんたい　（倦怠）↓退屈、だるい、けん怠（期）
げんち　↓言質
げんてい　（舷梯）↓(学)船側ハシゴ、タラップ
けんでん　（喧伝）↓言いはやす、評判になる
けんとう　（拳闘）↓ボクシング
けんどじゅうらい　（捲土重来）↓巻き返し、けん土重来
げんに　(副)現に、厳に
げんのう　（玄翁）↓げんのう

に残す
後生（あとから生まれること、人）後生恐るべし
更生（生まれ変わる）会社更生法、更生して再出発
更正（あらためて正す）更正登記、税金の更正決定
厚生（生活を豊かにする）厚生施設、福利厚生

こうせいぶっしつ　（抗性物質▲）↓抗生物質

こうせき　（礦△石）↓㊫鉱石

こうせき　（効▲績）↓功績

こうせつ　（巷△説）↓風説、浮説

こうそう　（宏△壮）↓広壮

ごうそう　（豪△荘）↓豪壮

こうた　（小唄△）↓小唄

こうたい　（交替、更代）↓(法)交代

こうだい　（宏△大）↓広大

こうたいじんぐう　（皇太神宮▲）↓皇大神宮

ごうたん　（剛胆、強胆）↓豪胆

こうち　（巧△緻△）↓精巧、巧妙

こうちゃく　（膠△着）↓行き詰まり、固着

こうちょうかい　（講聴会▲）↓公聴会

こうつう　（用例は「つうこう、こうつう」の項参照）

こうてい　（校定▲）↓校訂

こうてつ　（交迭△）↓更迭

こうでん　（香奠△）↓香典

こうとう　（昂△騰）↓高騰

こうとうがん　（喉△頭癌△）↓コウトウ「ガン」

こうとうしもん　（口答試問▲）↓口頭「試問」

こうにゅう　（構▲入）↓購入

ごうのもの　（豪△の者）↓剛の者

こうばい　（勾△配）↓傾斜、㊫こう配
（購売▲）↓購買

こうはん　（広汎△）↓広範

こうふ　⊗（坑夫）↓炭鉱員、鉱員

こうふく　（降服）↓(統)降伏

ごうふく　（豪腹、強腹）↓剛腹

こうぶち　（荒蕪△地）↓荒れ地、不毛の地

こうふん　（昂△奮、亢△奮）↓興奮

こうふん　（口吻△）↓口ぶり

こうほう　（弘△報）↓(法)広報

こうぼう　（光芒△）↓光、光線

ごうほう　（剛放）↓豪放

こうまい　（高邁△）↓秀でた、高い、気高い

ごうまん　（傲△慢）↓高慢

こうむしっこうぼうがい　（公務執行暴害▲）↓公務執行妨害

こうめいせいだい　（公明盛大▲）↓公明正大

こうや　（曠△埜△）↓広野

こうよう　（昂△揚）↓高揚

ごうよく　（強慾△）↓強欲

こうらん　（攪△乱）↓かき乱す

(梗△概)→概要、大要、あらまし、粗筋

こうがく　向学〔学問に志すこと〕向学心
好学〔学問を好むこと〕好学の人

こうかつ　(広△濶△)→広い、広々
(狡△猾△)→ずるい、悪賢い

こうかん　(巷△間)→世間、世上

こうかん　(交△驩△)→交歓

ごうかん　(強△姦△)→乱暴

ごうがん　(傲△岸)→尊大

こうぎ　(講▲議)→講義

こうきしゅくせい　(綱規粛▲清▲)→綱紀粛正

こうきゅう　(攻究、講究)→考究

ごうきゅう　(強球、豪▲球)→剛球

こうきゅうとり　(高級▲取り)→高給取り

こうきょ　(薨△去)→(ご)死去、(ご)永眠、おかくれ

こうきょ　(溝△渠△)→(法)みぞ

こうぎょう　(礦△業)→鉱業(固有名詞は別)

こうぎょう　興行〔演芸、スポーツなどを催すこと〕秋季興行、地方興行
興業〔産業や事業を興すこと〕興業会社、興業債券

こうぐう　(好▲遇)→厚遇

こうげ　→香華

こうけい　(口▲経)→口径

こうげんたい　(抗元体)→抗原体

こうごうしい　→神々しい

こうこつ　(恍△惚△)→うっとり

こうさてん　(交叉△点)→(法)交差点

こうさんが・・　⊗(公算が強い)→公算が大きい

こうし　(嚆△矢)→最初、始まり、発端

こうじ　→公示〔総選挙、参院通常選挙の公示〕
→小路
(好△餌△)→えさ、おとり

ごうし　(合△祀)→合祭

こうしど　→格子戸

ごうしゃ　(豪△奢△)→豪華、豪勢

こうじょ　(扣△除)→(法)控除

こうしょう　(哄△笑)→高笑い、大笑

ごうじょう　(剛情)→強情

こうじょうせん　(甲状腺△)→甲状セン

こうしょはじめ　→講書始

こうしん　(昂△進、亢△進)→高進

こうじん　(黄△塵△)→土煙、砂煙

こうずい　→洪水

こうずか　→好▲事家

こうずる　(構ずる)→講ずる

こうせい　後世〔のちの世、のちの時代〕名を後世

え、心変わり、心組み、心頼み、心尽くし、心づけ、心積もり、心任せ、心持ち
志(こころざし)、志す
こころみに (副)試みに
こころよい (心良い)↓快い
こさつ (古刹)↓古寺
こさめ ↓小雨
ごさん (午餐)↓昼食
こし (故紙)↓古紙
こし・・ (送)こし入れ、腰折れ、腰掛け、腰抜け、腰投げ
こじ ↓(慣)居士、一言居士
こじき (乞食)↓こじき
こしつ (痼疾)↓持病
こしゃく (小癪)↓こしゃく
こしょくそうぜん (古色蒼然)↓古びた
こじらいれき (古事来歴)↓故事来歴
ごじん (ご人)↓ご仁

こすう (箇数)↓個数
こする (擦る)↓こする
ごする (伍する)↓肩を並べる、加わる
こせき (古蹟)↓古跡
こせんきょう (跨線橋)↓陸橋、渡線橋、歩道橋、ブリッジ
こぞう (小僧)↓店員、寺の小僧さん
こそく (姑息)↓間に合わせ、一時しのぎ
こぞって (副)(挙って)↓こぞって
ごぞんじ (御存知)↓ご存じ
こたえる (応える)↓こたえる
こだち ↓木立
こたつ (炬燵)↓こたつ
ごたぶんにもれず ↓ご多分に漏れず
ごちそう (御馳走)↓ごちそう

こぢんまり (仮)小ぢんまり
こづかいせん (小使銭)↓小遣い銭
こっかく (骨骼)↓(学)骨格
こっけい (滑稽)↓こっけい
こっこく (副)刻々
こつぜん (忽然)↓突然
こっとう (骨董)↓古美術品、骨とう(品)
こと (糊塗)↓取り繕う、一時しのぎ、ごまかす
こと
事‖事と次第によっては、事ある時
こと‖聞いたことがない、…すること…そんなこと
こと・・ (副)殊に、殊さら、殊の外
ことがら ↓事柄
ごとき(し) (如き、如し)↓ような、ように
ことごとく (副)(悉く)↓ことごとく
ことごとに (副)事ごとに

こうり・・ (送)高利貸(人の場合)、
高利で貸す
こうり　(行李)→こうり
ごうりき　(剛力、豪力)→強力
こうりゃく　(劫略)→略奪、略取
こうりゅう・こうち　「所
拘置(未決の被告人に対するもの)拘置
拘留(三十日未満の自由刑)二十日の拘
留に処せられる
こえる・こす
越(通り過ぎる、年月を経る、越権)権
限を越える、峠を越える、年を越す、
それに越したことはない、野越え山
越え、引っ越す、冬を越す、分を越
えて、六十の坂を越す、買い・売り
越す、勝ち越し、難関を乗り越える、
さくを越える、国境を越える
超(上に出る、超過、主として数字的に)
十万人を超す、百万円を超える額、
予定額を超える、基準を超える、制
限を超える、目標を超える、定員を
超える、値上がりが五〇%を超える、
能力を超える、党派を超えて、平均
寿命が七十歳を超える、国境を超え
た愛、自衛力の限界を超える、予想
を超える、予算のわく・ワクを超え
る
〔注〕「勝ち越し、乗り越える」など
のように他の動詞と複合する場合に
は、原則として「越」を使う。
こおり・・ (送)氷、氷詰め、氷かき
こおる　(氷る)→凍る
ごかく　(互格)→互角
こかつ　(涸渇)→枯渇
こがね　→黄金、黄金造り
こがらし　(凩)→木枯らし
ごかん　「器官」
五官(目・耳・舌・鼻・皮膚の五つの
五感(見る・聞く・かぐ・味わう・触
れるの五つの感覚・働き)
こき　(古稀)→古希
こきつかう　(扱き使う)→こき使
う、酷使する
ごく　(副)極、極上等
こくじ　→告示(衆・参両院補欠
選挙、地方選挙の投票日
を告示、内閣告示)
こくじ　(国璽)→国璽
こくじょう　(国状)→(統)国情
こくめい　(刻明)→克明
こげ・・ (送)焦げ茶色、焦がれ死に
こけん　(沽券)→体面
ごげん　(語原)→語源
こごえ・・ (送)凍え死に、凍える
ここう　(虎口)→危機、危地
(股肱)→腹心、片腕、
手足
ここち　→(慣)心地
ここのこえ　(呱々の声)→産声
こころ・・ (送)心当たり、心当て、心
心得違い、心祝い、心置き、心
覚え、心掛け、心懸かり、心構

（恐・い）→怖い
こわごわ　副（恐々）→こわごわ
こわいろ　→声色
こわね　→声音
こわれる　（毀△れる）→壊れる
こんき
　今季（今季大会）
　今期（今期決算）
ごんぎょう　→勤行
こんくらべ　（根競・べ）→根比べ
こんげん　（根元）→根源
こんご　副今後
こんこう　（混淆△）→混交、混合
ごんごどうだん　（言語同断▲）→言語道断
こんこんと　副懇々と
こんじょう　（根生▲、根精）→根性
こんしん　（渾△身）→満身、全身
こんすい　（昏△睡）→人事不省、失神、こん睡

こんせき　（痕△跡）→跡、形跡、こん跡
こんぜん　（渾△然）→混然
こんだて　→献立
こんちゅう　（昆△虫）→学コン虫
こんてい　（根柢△）→根底
こんど　副今度
こんとう　（昏△倒）→こん倒、卒倒
こんとん　（混沌△、渾△沌△）→混とん
こんぱい　（困憊△）→疲れ果てる
こんぱく　（魂魄△）→霊魂、魂ぱく
こんぶ　（昆△布）→コンブ、コブ
こんぼう　（棍△棒）→棒、こん棒
こんぽう　（梱△包）→こん包、荷造り
こんまけ　→根負け
こんめい　（昏△迷）→混迷
こんりゅう　→建立

〔さ〕

さ
　茶＝茶菓、茶話会、喫茶、茶道、茶寮、茶飯事
さい
　再＝再来月、再来年、再来週
　（才）→統歳（年齢の場合、「天才」などは別）
　（差違）→統差異
ざいか　（罪過）→罪科
　在荷（手持ちの荷物、商品）
　財貨（金銭と品物、財物）
さいかい
　際会（でくわす）危機に際会
　再会（再び会う）再会を誓う
　再開（再び始める）会議を再開
さいきかんぱつ　（才気煥△発）→才気かん発
さいぎしん　（猜△疑心）→疑心、疑念、邪推

ことし ↓㊫今年〔「ことし」と読ますときは仮名書き〕
ことづて （言伝て）↓ことづて、伝言
ごとに （毎に）↓ごとに
ことば （詞）↓言葉、ことば
こと・・ ㊇事始め、寿（ことぶき）
ことばづかい ↓言葉遣い
こども （小供）↓子供〔「こどもの日」など固有名詞は別〕
ことわり・・ ㊇断り状、断り方
こなひき （粉挽き）↓粉ひき
こにんずう （少人数）↓小人数
この・・ ㊟㊄（この頃）↓このごろ、この際、この間
このま ↓木の間
このんで ㊄好んで
こはく （琥珀）↓㊫こはく
こばん ↓小判
ごびゅう （誤謬）↓㊊誤り

こひょう ↓小兵
こべつほうもん （個別訪問）↓戸別訪問〔選挙運動などの〕
こま （独楽）↓こま
（駒）↓こま
ごまかし （誤魔化し）↓ごまかし
こまぎれ ↓細切れ
こまごま ㊄細々、こまごま
こまづかい ↓小間使い
こまもの ↓小間物
こまぬく （拱く）↓こまぬく、「こまねく」としない
こみあう （混み合う）↓込み合う
ごめん ↓木戸御免、お役御免もうご免だ、ご免ね、ご免下さい
こもごも ㊄（交々）↓こもごも
こもじ ↓小文字
こもり ↓子守（歌）
こゆうめいし （個有名詞）↓固有名詞

こよう （雇傭）↓㊊雇用
こらい ㊄古来
こる・こり・・ ㊇懲らす、懲りる 凝らす、凝る、凝り固まる、凝り性
ごりむちゅう （五里夢中）↓五里霧中
ごりやく ↓㊫御利益
ころ （頃）↓ころ
ごろ （語呂）↓ごろ、語調、語路
ころう （故老）↓古老
（固陋）↓がんこ、かたくな、強情
コロシ ⊗（コロシ）↓殺人
ごろね （転寝）↓ごろ寝
ころぶ ↓転ぶ、七転び八起き
ころもがえ （衣更）↓衣替え
こわい （強い）↓こわい

先回り、先行き、先渡し、先駆け、先太り、先触れ、先物買い、先んずる、先付け小切手
咲き乱れる、咲き誇る

さきがけて　(魁△て)→先駆けて

さきほど　→先程

さく
裂〔分裂〕岩の裂け目、布を裂く、引き裂く、夫婦仲を裂く
割〔分割〕魚を割く、時間を割く、紙面を割く、人員を割く、領土を割く

さくい
作為〔つくりごと、こしらえる〕作為的、無作為抽出、作為のあとがみえる
作意〔たくらみ、制作の意図〕作意不明、見えすいた作意、作意があったわけでない

さくがんき　(鑿△岩機)→削岩機

さくさん　(醋△酸)→㊫酢酸

さくせい
作成〔文書などを〕法案の作成、計画書を作成、モンタージュの作成
作製〔物品などを〕標本の作製

さくせん　(策戦)→作戦

さくそう　(錯綜△)→交錯、込み入る、もつれる

さくづけ・・　㊮作付面積、作付反別、作付け転換

さくれつ　(炸△裂)→破裂

さけ・・　㊮叫び声、叫び回る
裂け目、裂ける

さげる
下〔低くする、おろす〕上げ下げ、供え物を下げる、下げかじ、下げ渡し、熱を下げる、願い下げ、物価を下げる、見下げる、下げ渋る、下げ潮、下げ調
提〔手に持つ〕手提げかばん、荷物を提げ歩く、手なべ提げても

ざこ　→㊞雑魚

ささい　(些△細)→わずか、少々

ささえる　→支える、下支え

さざなみ　(小波、細波、漣△)→さざ波

ささやき　(＊私語)→ささやき

さし・さす
差〔さしはさむ、接頭語としても使う〕かさを差す、刀を差す、記事差し止め、行司の差し違え、差し上げる、差し押え、差し替え、差し迫る、差し引く、差し支え、差しつ差されつ、抜き差しならぬ
指〔指示、指向〕指し示す、指し値、将棋を指す、名指しする、目指す方向
刺〔突きさす〕刺し殺す、刺しちがえて死ぬ、とげが刺さる、刃物で刺す、針を刺す、本塁で刺される
〔注〕人さし指、読みさし、食いさしなどは仮名書き

さし・・　㊮差出人、差引《勘定・残高》、差し合い、差し足〔馬の場合は「差し脚」〕、差し入れ、差し金、差し紙、差し込み、差し出す、差し出口、差し伸べる、差

さいくん　(妻▲君)↓細君
さいけつ
採決〔議案の可否を決める〕強行採決
裁決〔訴願に対する決定〕裁決を下す
さいげん　(最限▲)↓際限
さいご
最期〔死に際〕悲惨な最期
最後〔一番あと〕最後のチャンス
さいこうちょう　(最高調)↓最高潮
さいごつうちょう　(最後通牒△)↓最後通告
さいさき　↓慣幸先
さいし　(祭祀△)↓祭り、祭事
さいしゅほ　(採種圃△)↓採種園(田、畑)、種畑
さいしょう
最小〔最大に対して〕最小限度、最小公倍数
最少〔最多に対して〕最少額、最少得点
ざいせい　(在生)↓在世

さいち　(細緻△)↓細密、綿密
(才智△)↓才知
さいづちあたま　(才槌△頭)↓さいづち頭
さいてい　(最底▲)↓最低
さいはい　(采△配)↓指揮、指図、さい配
さいふ　↓財布
さいわいに　副幸▲いに
さいりょう　(採▲量)↓裁量
さえずる　(囀△る)↓さえずる
さおとめ　↓慣早乙女
さかうらみ　(逆怨△み)↓逆恨み
さかぐら　(酒倉)↓酒蔵
ざがしら　↓座頭
さがす
捜〔捜査、捜索に〕家出人を捜す、犯人を捜す、家(や)捜し、紛失物を捜す、離散家族を捜す、行方不明者を捜す、家族を捜し求める、捜し出す、捜し回る
探〔選ぶ、多くの中からさがす〕あら探し、獲物を探す、貸家を探す、職を探す、宝探し、父の面影を探す、嫁・婿探し、探し物、探し当てる、探し出す、探し回る
さかだち　↓逆立ち
さかな　↓魚、魚屋、煮魚、魚釣り
さかのぼる　(溯る、遡△る)↓さかのぼる
さかば・さかや　↓酒場、酒屋
さか・さけ・・　送酒盛り、酒好き、酒造り、酒飲み
逆恨み、逆さま、逆らう
さかる　↓盛る、花盛り、燃え盛る、盛り場
さぎ　(詐偽)↓詐欺〔詐偽投票、詐偽登録は別〕
さき・・　送先借り、先取り、先乗り、先走り、先払い、先細り、

さま＝皇太子さま、ありさま、続けざま、さまざま
さん＝○○さん
さみせん・しゃみせん　↓(慣)三味線
さみだれ　↓(慣)五月雨
さめる　(褪める)↓さめる、色がさめる
さめる・さます
覚〔目がさめる〕太平の眠りを覚ます、目が覚める、寝覚めが悪い、迷いを覚ます、目覚ましい
冷〔ひえる〕興奮が冷める、冷めた料理、熱を冷ます、湯を冷ます
〔注〕酔い「ざめ」は仮名書き
さゆ　(白湯)↓さ湯
さようなら　(左様なら)↓さようなら
さら　(皿)↓さら
さら　(更)↓さら〔あたらしいもの〕、さら地、さらの洋服、さら湯

さらいねん　↓再来年
さらに　(副)(更に)↓さらに、今さら
(更々)↓さらさら
さる　(連)去る、去る○日
されき　(砂礫)↓砂利、小石
さわる・さわり
障〔さまたげる〕気に障る、差し障る、人気に障る、深酒は体に障る
触〔ふれる〕義太夫の触り、手触り、人触りがよい、はだ触り
さんか　(傘下)↓所属、加盟、系、翼下
ざんがい　(残骸)↓残がい
さんかほうしゅう　(参稼報酬)↓参稼報酬
ざんき　(慚愧)↓赤面、汗顔
ざんぎゃく　(惨虐)↓残虐
さんげ　↓散華
ざんげ　(懺悔)↓ざんげ
さんけい　(参詣)↓参拝、お参り

さんげん　(三絃)↓三弦、三味線
ざんげん　(讒言)↓中傷、告げ口
ざんこく　(惨酷、残刻)↓残酷
さんごしょう　(珊瑚礁)↓サンゴ礁
ざんさつ　(残殺)↓惨殺
さんさろ　(三叉路)↓三差路
さんざん　(副)(散々)↓さんざん、さんざんに負ける
さんじ　(讃辞)↓賛辞
ざんし　↓惨死
(残滓)↓かす、名残
さんじょくねつ　(産褥熱)↓産ジョク熱
ざんしん　(斬新)↓最新、新奇
さんすい　(撒水)↓(学)(法)散水
さんぜん　(燦然)↓きらびやか、きらきら、輝かしい
さんたん　(惨憺)↓悲惨、惨め
(讃嘆、讃歎)↓賛嘆
さんだんとび　↓三段跳び

し控える、差し向かい、差し障り、差し戻し〔裁判〕
指図、【指物】師、指し切り、指し込み、指し手、指し分け
刺し網、刺し子、刺し身
さし・・ 副連さしあたり、さしずめ、さして、さしたる、さしも、さしむき
さじ・ざし・・ 送桟敷、座敷、座付き
ざし (坐△視△)↓座視
さしえ (挿△画)↓さし絵
さしず ↓指図
さしちがえ (刺し交え)↓刺しちがえ、刺しちがえて死ぬ
さしつかえる ↓慣差し支える
さして
差し手〔相撲〕
指し手〔将棋〕
ざしょう (坐△礁)↓学座礁

さじん (砂塵△)↓砂煙、砂ぼこり
ざす (坐△州、坐△洲△)↓座州
さすが 副(流石)↓さすが
さすらい (＊流離、＊流浪)↓さすらい
ざせつ (挫△折、座▲折)↓腰くだけ、くじけ、中絶、行き悩む、ざ折(感)
ざぜん (坐△禅△)↓座禅
さた (沙△汰△)↓さた、便り、知らせ
さだめし 副(定めし)↓さだめし
さち ↓幸、海の幸、山の幸
サツ ⊗(サツ)↓警察
ざっかん
雑感〔さまざまな感想〕雑感随想、人生雑感
雑観〔いろいろな所見〕雑観記事
さつきばれ ↓慣五月晴れ

さっきゅう(そく) ↓早急、早速
さっそう (颯△爽△)↓さっそう
さっとう (殺倒▲)↓殺到
ざっとう (雑沓△)↓雑踏
さつりく (殺△戮△)↓殺害、殺す
さてつ (蹉△跌△)↓失敗、つまずく
さて・・ 接さて、さては、さてまた、さてどうするか
さとす ↓諭す、子を諭す
さなえ ↓慣早苗
さばく(き) ↓裁く、裁き、神の裁き
(沙△漠、砂漠△)↓砂ばく
(捌△く)↓さばく
さびる (錆△びる)↓さびる、さび止め
ざぶとん (座蒲△団)↓座布団
さほど 副(左程)↓さほど
さま・さん 様＝一般敬称に使う

の道

しかし　副接（然し、併し）↓しかし
　しかも、しかしながら、しかるに、しかるべく

じかせんえん　（耳下腺炎）↓耳下センン炎

しかたなく　副仕方なく

じかだんぱん　↓直談判

しかる　（叱る、呵る）↓しかる

しかん　（弛緩）↓緩み、たるみ

しき　（志気）↓士気

じき
　時期〔とき、季節〕時期尚早、花の時期、人生最良の時期
　時機〔ころあい、しおどき〕時機を失う、時機をうかがう、時機にかなう

しき・・　送敷居、敷石、敷板、敷金、敷皮、敷地、敷布、敷布団、敷物、敷き写し

じきしょうそう　（時機尚早）↓統時期尚早

じきに　副直に

しきゅうしき　（試球式）↓始球式

じきゅうじそく　（自給自息）↓自給自足

しぎょうてんけん　↓法仕業点検

しきりに　（頻りに）↓しきりに

しく　（布く）↓敷く

じくうけ　（軸承け）↓学軸受け

しぐさ　（仕草、仕種）↓しぐさ

しぐれ　↓個時雨（時雨「れる」と動詞には使わない）

しけ　（時化）↓しけ
　（＊不漁）↓しけ

しげき　（刺戟）↓刺激

しげしげ　（繁々）↓しげしげ

しげる　（繁る）↓茂る

しげん　（資原）↓資源

しこ　（四股）↓しこ

しこう
　指向〔決まった方向〕指向性アンテナ
　志向〔こころざし向かう〕学問を志向、海外に志向

しこうひん　（嗜好品）↓好物、し好品・物、愛好品

しさい　（仔細）↓詳細、訳、子〔細

じさん　（自参）↓持参

しし　（四肢）↓手足

じしつ　仮ジ疾＝病名

ししゅう　（刺繡）↓刺しゅう、縫い取り

ししょ　（死処）↓統死所

じじょう　（自乗）↓学二乗

しずい　（雌蕊）↓雌しべ

しずく　↓滴、滴が落ちる

じすべり　（地辷り）↓地滑り

じ・・　送地固め、地鳴り、地引き網、地響き、地回り、地割れ、地合い（市場用語）

ざんにん　(惨忍)↓残忍
さんば　⊗(産婆)↓助産婦
さんぱい・ざんぱい　↓惨敗
さんはんきかん　(三半器官)↓三半規管
さんび　(讃美)↓賛美
　(惨鼻)↓酸鼻
さんびか　(讃美歌)↓賛美歌
さんぷ　(撒布)↓散布、まく
さんぼう
　三宝〔仏教用語、仏・法・僧をさす〕深く三宝を敬う
　三方〔神前、貴人などに物を供える器物〕三方に盛る
さんまい　(三昧)↓無我の境、(念仏)ざんまい
さんまん　(散慢)↓散漫
さんみいったい　(三味一体)↓三位一体
さんめんろっぴ　(三面六臂)↓縦横無尽
さんろう　(参籠)↓おこもり
さんろく　(山麓)↓ふもと、すそ野、山すそ、山ろく

〔し〕

し
　師＝医師、歯科医師、獣医師、薬剤師、臨床検査技師、衛生検査技師、診療放射線技師、エクス線技師、理容師、美容師、調理師
　士＝弁護士、公認会計士、税理士、弁理士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、栄養士、管理栄養士、建築士、測量士、土地家屋調査士、自動車整備士、海事代理士、無線士
し・・　㊜試合、泥仕合、【仕上】工、【仕出】屋、仕立券(付き)、【仕立】工、【仕立】屋、仕立物、仕舞(舞踊)、仕上がり、仕入れ(品)、仕入れ値段、仕打ち、仕送り、仕納め、仕返し、仕掛け(花火)、仕切り、仕切り場、仕組み、仕込み、仕損じ、仕立て上がり、仕向け地、仕分け
・・し　㊜【振付】師
じ・・　㊜字引、字配り、字詰め、字繰り
しあい　(仕合)↓試合〔泥仕合は別〕
じあい　↓地合い(市場用語)
しい　(思惟)↓思考、考え
しいか　↓詩歌
しいたげる　↓虐げる
しいて　㊒強いて
しいる　↓強いる、無理強い
しえん　(私怨)↓恨み
しおさい　(潮騒)↓潮さい
しお・・　㊜潮煙、潮干狩り、塩引き、塩蒸し、塩焼き
しがい　(死骸)↓死体
しがく　(斯学)↓この学問、こ

実体〔本質、本体〕実体のないもの、生命の実体

しっと　（嫉妬）↓しっと、やきもち、ねたみ

じつどう　（実動）↓実働

しっぷうじんらい　（疾風迅来）↓疾風迅雷

しっぺい　↓疾病

しつよう　（執拗）↓しつこい、粘り強い

してき　（指滴）↓指摘

じてん

事典〔事柄を主とした辞書〕百科事典

辞典〔言葉を主とした辞書〕国語辞典

字典〔文字を主とした辞書〕康熙字典

してんのう　（四天皇）↓四天王

しどう　（斯道）↓この分野、この方面、この道

じどう　（自働）↓自動

しない　↓慣竹刀

しな・・　送品切れ、品定め

じなん　（次男）↓二男（二女）

しなんやく　（師南役）↓指南役

しに・・　送死に石、死に顔、死に金、死に神、死に際、死にざま、死に装束、死に損ない、死に体、死に時、死に絶える、死に場、死に恥、死に花、死に水、死に目、死に物狂い、死に別れ

しにせ　（＊老舗）↓しにせ

しにょう　（屎尿）↓大小便、汚物

し・シ尿

じにん

自認〔自分で認める〕過失を自認する

自任〔自負する〕大政治家を自任する

しのび・・　送忍び足、忍び歩き、忍び込む、忍び泣き、忍びない

しばかり　↓芝刈り

（柴刈り）↓しば刈り

しばしば　副しばしば

しばふ　↓慣芝生

しはらい・・　送**支払**《人》、支払い方法、支払う

しばらく　副（暫く）↓しばらく

しはん　（紫斑）↓紫斑

○○しびょう　（○○氏病）↓ハンセン病、ワイル病など

しぶしぶ　副渋々

送渋抜き、渋塗り、渋っ面、渋り腹

しぼる

絞〔一般用語〕声を振り絞る、絞り上げる、絞り染め、絞るような汗、手ぬぐいを絞る、無い知恵を絞る、レンズの絞り、油を絞られる（比ゆ的に）

搾〔限定用語〕油を搾る、牛乳を搾る、搾りかす、税金を搾り取る

しぼり・・　送【鳴海】絞（工芸品の場合）、絞り染め

しまい・しまう　（仕舞い、仕舞う）↓しまい、しまう、おしまいにする、店じまい

しまおくそく　（揣摩臆測）↓当て推量、想像

しずまる・しずめる
静〔しずかになる、落ち着く〕あらしが静まる、気を静める、心が静まる、鳴りを静める
鎮〔おさえつける、おさめる〕痛みを鎮める、過熱した景気を鎮める、内乱が鎮まる、反乱を鎮める、み霊が鎮まる

じせい
時世〔時代、ときよ〕ご時世だ、時世に会う
時勢〔時代の情勢〕時勢を通観、時勢に適合

しせいじ　（私生児）→私生子
しせき　（史蹟△）→史跡
じせき　（事蹟△）→事跡
しぜんとうた　（自然淘△汰△）→自然とうた
しそう　（使嗾△）→扇動、唆す、けしかける
しそうけんご　（思想堅▲固▲）→志操堅固

したい　（屍△体）→㊫死体
（肢△体）→体、身体、シ体（不自由児）
（枝隊▲）→支隊
じたい　（事体）→事態
しだいに　㊪次第に
した・・　㊜下請け、下請け（業者）、下押し、下書き、下敷き、下調べ、下積み、下手投げ、下取り、下縫い、下塗り、下働き、下回る、下向き、下読み、舌打ち、舌足らず
したがって　㊧従って
したしく　㊪親しく
したく　（仕度）→㊩支度
したけんぶん　（下見分▲）→下検分
したごしらえ　（下拵△え）→下ごしらえ
じだらく　（自堕落）→じだらく
じだんだ　（地団太）→じだんだ

しちぐさ　（質種・）→質草
しち・・　㊜質受け、質流れ
しちてんばっとう　（七顛△八倒）→七転八倒
しっかり　（確・り）→しっかり
しつぎおうとう　（質議▲応答）→質疑応答
しっくい　（漆喰△）→しっくい
しっし　（嫉△視）→そねみ、ねたみ
じつじょう　（実状）→㊩実情
しっしん　（湿疹△）→湿シン
（失△心）→失神
しっせき　（叱△責）→しかる
じっせき　（実積▲）→実績
しっそう　（失踪△）→失跡、行方不明
じつに　㊪実に、実は
じったい
実態〔状態、情勢〕経営の実態、実態調査

班、首謀、首領

しゅい　（主意）→趣意〔国会用語の「質問主意書」は別〕

じゅ○い・み　→従○位

しゅう

祝＝祝儀、祝言、祝着

しゅうう　（驟雨）→にわか雨

しゅうか　（集貨）→(統)集荷

しゅうかく　（収獲）→収穫

じゆうがた　（自由型）→自由形

しゅうかてきせず　（衆寡敵せず）→衆寡敵せず

しゅうかんし　（週間誌）→週刊誌・紙

しゅうき　（秋期）→(統)秋季

（週忌）→周忌

（週期）→周期

じゅうき　（什器）→器具、道具、日常家具

しゅうきゅう　（蹴球）→サッカー、フットボール

しゅうぎょう・しゅぎょう

修業〔学問、技芸、職業などを習いおさめる〕修業証書、学問を修業、花嫁修（しゅ）業・徒弟修（しゅ）業

終業〔仕事や授業を終える〕本日終業、学期末の終業式（小、中、高校の場合）

修行〔仏法・武道などを〕諸国修（しゅ）行、武者修（しゅ）行

しゅうきょく

終極〔とどのつまり、おしまい〕終極目標、終極の目的

終局〔落着、碁の打ち終わり、終末〕終局を迎える、事件の終局

しゅうぎょとう　（集漁灯）→集魚灯

しゅうけつ　（終決）→終結

しゅうこう　（修交）→修好

しゅうし　(副)終始、終始一貫

しゅうじゃく・しゅうちゃく→執着

しゅうしゅう　（蒐集）→収集

（拾収）→収拾

修習〔習いおさめる〕司法修習生

じゅうじゅう　(副)重々

じゅうじゅん　（柔順）→従順

じゅうしょう

重症〔重い病〕重症になる

重傷〔重い傷〕三カ月の重傷（全治二十日以上、二十日未満は軽傷）

しゅうせい　（終世）→終生

修正〔正しく直す〕文案を修正、修正主義、修正案

修整〔直し整える〕写真の修整

じゅうそう　（重曹）→重ソウ、重炭酸ソーダ

しゅうそく　（終熄）→終息

しゅうたい　（醜体）→醜態

じゅうたい　（重態）→重体

（渋帯）→渋滞

じゅうたん　（絨緞、絨毯）→じゅうたん、カーペット

しまつ (仕末)↓始末

しまる・しめる
締(一般用語)帯を締める、心を引き締める、締まりがない、締め切る、締めくくる、業界から締め出す、締め込み、締め付け、抱き締める、戸締まりをする、ねじを締める、ひもが締まる
絞(限定用語)首が絞まる、絞め殺す、ノドを絞める、羽交い絞めにする
閉(開の対語)妻に閉め出された夫、戸が閉まる、ふたを閉める、窓を閉める、店を閉める

しめ・・ [送]締め切り(日)、締め上げ、締め切り、締め金、締め木

じみ ↓地味

しみず ↓[慣]清水

しみる ↓染みる、染み抜き

じむとりあつかい [送]事務取扱(職名)

しめかざり (注連飾り)↓しめ飾り

しも・・ [送]霜枯れ、霜降り、霜焼け、霜よけ

しゃく (爵)↓公爵、侯爵、伯爵、男爵

しゃくしじょうぎ (杓子定木)↓しゃくし定規

しゃくねつ (灼熱)↓しゃく熱、焼けつく熱さ

じゃくねん (弱年)↓[統]若年

じゃくはい (弱輩)↓[統]若輩

じゃけん (邪慳)↓無慈悲、邪けん

しゃこう (藉口)↓口実、かこつける

しゃこうしん (射倖心)↓射幸心

しゃし (奢侈)↓ぜいたく、おごり

しゃだつ (洒脱)↓あか抜けした、俗気のない

しゃだん (遮断)↓断ち切る、さえぎる

しゃだんき (遮断機)↓しゃ断機、開閉機

じゃっかん (若冠)↓弱冠(二十歳前後の男子の場合)

じゃっき (惹起)↓引き起こす

しゃにむに (遮二無二)↓無理やり、強引に

しゃへい (遮蔽)↓覆う

しゃみせん ↓[慣]三味線

じゃり ↓[慣]砂利

しゃりょう (車輛)↓[学]車両

しゃれ (洒落)↓しゃれ

しゅ
主(中心となる人、支配する者、あるじ)国家主席、政府主席、主人、主家、主将、主唱、主席(毛主席)、主題(主な題目)、主犯、天主教
首(最上位、第一位、かしら)首位、首席、首席代表、首席特派員、首題(最初の題目)、首長、首都、首脳、首

受賞者〔菊池寛賞などの〕
受章者〔勲章、褒章の〕
授賞式〔菊池寛賞などの〕
授章式〔勲章、褒章の〕
（受賞・章式）↓授賞・章式

じゅず　↓(慣)数珠

じゅせい
授精〔人工授精〕
受精〔受精卵〕

しゅせき　（手蹟）↓手跡、筆跡

しゅせき　↓首席、主席〔使い分けは「しゅ」の項参照〕

しゅせんど　（守銭奴）↓守銭奴

じゅそ　（呪詛）↓のろい

しゅだい
首題〔最初につける題目〕経文の首題、首題に表示
主題〔主たる題目、テーマ〕楽曲の主題、論文の主題

しゅちょう　（主長）↓首長

しゅっしょ
出処〔人の進退〕出処進退を誤らぬ
出所〔出どころ、刑務所から出る〕出所を明らかにする、出所祝い

しゅっぱん　↓出帆

しゅと　（主都）↓首都

しゅとして　(副)主として

しゅのう　（主脳）↓首脳

しゅはん　（首犯）↓主犯
（主班）↓首班

じゅばん　（襦袢）↓じゅばん

しゅぼう　（主謀）↓首謀〔法令用語の「主謀者」は別〕

しゅよう　（腫瘍）↓シュヨウ、はれもの、おでき

じゅよう　（需用）↓(統)需要〔地方予算科目などの「需用費」は別〕

しゅりゅうだん　（手榴弾）↓手投げ弾、手りゅう弾

じゅん
準〔一般的〕準急、準備、準用、準決勝、準ずる、基準、標準
准〔限定用語〕批准、批准書、准将、准看護婦

しゅんえい　（俊鋭）↓俊英

じゅんか　（馴化）↓㊫順化

じゅんかん　（循還）↓循環

しゅんきょ　（峻拒）↓拒絶、拒否

じゅんぎょう　（巡行）↓巡業

じゅん・・　(副)順繰りに、順次、順に

じゅんけつ
純潔〔心身の清らかなこと〕純潔教育
純血〔純粋な血統〕純血種の犬

じゅんけっしょう　（准決勝）↓(統)準決勝

しゅんけん　（峻嶮　峻険）↓険しい、しゅん険

しゅんげん　（峻厳）↓厳しい、冷厳

しゅんこう　（竣工、竣功）↓落成、完工、完成

しゅうち　（羞恥）↓はにかみ、恥じらい、恥ずかしさ

しゅうち
周知〔あまねく知る〕周知徹底、周知の通り
衆知〔多くの人の知恵、知識〕衆知を集める

しゅうちゅう　（集注）↓集中

しゅうちょう　（酋長）↓しゅう長

じゅうてん　（充塡）↓穴埋め、詰める

じゅうとうほういはん　（銃刀砲違反）↓銃刀法違反

しゅうとく
習得〔習って覚え込む〕習得した技術
修得〔習いおさめる〕専門学科を修得、修得単位

しゅうびをひらく　（愁眉を開く）↓ほっとする

じゅうふく　（重複）↓重複

しゅうぶん　（臭聞）↓醜聞

じゅうぶん　（充分）↓十分

じゅうぶんに　㊓十分に

じゅうほう　（什宝）↓宝物

しゅうよう
収用〔取り上げて使う〕土地収用法、非常収用
収容〔収め入れる〕収容所、収容量、収容人員

しゅうらく　（聚落）↓集落

しゅうりょう
修了〔一定の学業、課程をおさめ終える〕全科目を修了、博士課程を修了
終了〔ものごとを終わる〕会期を終了、予定の通り終了、（司法修習生の）終了式

じゅうりょうあげ　↓重量挙げ

じゅうりん　（蹂躙）↓踏みにじる、（人権）侵害

しゅうれん　（習練）↓㊕修練

しゅかい　（首魁）↓首謀者、首領〔法令用語の「主謀者」は別〕

しゅぎょう　↓修行、修業（☞「しゅうぎょう」の項参照）

じゅく　（塾）↓〇〇塾

しゅくしょう　（縮少）↓縮小

しゅくせい
粛清〔不純、反対分子を排除する、取り除く〕血の粛清、反対派を粛清
粛正〔不正を排除する、正す〕綱紀の粛正、乱脈を粛正、選挙粛正

じゅけん
受検〔検査、検定を受ける〕血液検査、規格・資格の検定などに使う
受験〔試験を受ける〕入学、入社、昇進の試験などに使う

しゅこう　（趣好）↓趣向

しゅこうりょう　（酒肴料）↓酒こう料、金一封

しゅし　（主旨）↓趣旨

しゅしょう　（首将）↓㊕主将

しゅしょう　（首唱）↓主唱

じゅしょうしき・しゃ

業者を紹介

しょうがい　(障碍△)→(法)障害

しょうがく

少額〔わずかな額〕少額出費

小額〔わずかな額面〕小額紙幣

しょうかせん　(消火栓△)→消火せん

しょうかん

召喚〔呼び出す〕召喚状、法廷に召喚

召還〔呼び返す〕在外使臣を召還

じょうぎ　(情誼△、情宜)→(法)情義

じょうきせん　(蒸汽△船)→蒸気船

しょうきゃく　(銷却)→(法)消却〔減価償却は別〕

じょうきょう　(情況)→(統)状況

しょうけい　(捷△径)→近道

しょうけい　(少憩)→小憩

じょうけい　(状△景)→(統)情景

しょうけつ　(猖△獗△)→はびこる、流行

しょうこ　(証固▲)→証拠

じょうご　(＊漏斗・・)→じょうご

しょうこう　(少▲康)→小康

しょうこり　(性▲凝り)→性懲り

しょうさ　(少差)→小差

しょう・じょう・・　(送)精進揚げ

状差し、条件付き、正札付き

しょうさん　(賞讃△、賞賛△)→称賛

じょうし　(城阯△、城址△)→城跡

(上肢△)→腕、手

(上梓△)→印刷、出版

しょうしゃ　(瀟△洒△)→すっきりした、しゃれた

しょうしゅう

招集〔一般用語〕会議を招集、自衛隊法での招集

召集〔特殊用語〕日本の国会召集、明治憲法下の軍隊の召集

じょうしゅう　常習＝麻薬常習者

常襲＝台風常襲地帯

しようしょ　→(学)仕様書

しょうしょう　(副)少々

じょうじょう　(上乗)→上々

しょうしょく　(少▲食)→小食

じょうず　→(慣)上手

しょうすい　(憔△悴△)→やつれ、衰え

しょうすう

少数〔わずかな数〕少数意見、少数精鋭主義、少数の人々

小数〔一に満たない数〕小数点

じょうせい　(状勢)→(統)情勢

じょうせき

定石〔囲碁と一般用語〕定石通り

定跡〔将棋用語〕

じょうぜつ　(饒△舌)→冗舌、多弁、おしゃべり

しょうぜん　(悄△然)→しょんぼり

しょうそう　(焦躁△)→焦燥

しょうぞく　(裳△束)→装束

じょうぞく　(上簇△)→上ぞく

じょうたい　(情態)→状態

じょうたい　(常体)→常態

しゅんさい　（駿△才△）↓俊才
じゅんしゅ　（遵△守）↓順守
しゅんじゅん　（逡△巡）↓しりごみ、ためらう
じゅんじゅんと　（諄△々と）↓懇々と、懇ろに
じゅんしん　（純心）↓純真
じゅんずる　（准△ずる）↓準ずる
しゅんせつせん　（浚△渫△船）↓(学)しゅんせつ船
しゅんそく　（駿△足）↓俊足、快足
しゅんどう　（蠢△動）↓うごめく
じゅんのう　↓順応
しゅんのもの　（旬の物）↓時期の物
じゅんぱい　（順拝）↓巡拝
じゅんぷうびぞく　（醇△風美俗）↓良風美俗
じゅんぽう　（遵△法）↓順法（闘争）
じゅんぼく　（醇△朴）↓純朴
しゅんめ　（駿△馬）↓良馬、名馬

じゅんら　（巡邏△）↓巡回、パトロール
じゅんれい　（順礼）↓巡礼
しょ
所〔ありか、ところ、地点〕死所、出所、随所、所帯、所要、所用
処〔とどまるところ、おる、とりさばく〕処々方々、出処進退、処置、処罰、処方、処理、処分
しよう　（仕様）↓しよう、…しようがない　（仕様書など名詞は別）
しょう
少〔すくない、すこし、わかい、わずか〕少額、少数、少量、少年、希少、軽少、微少、多少、幼少、過少
小〔大の対語、ちいさい、おさない〕過小、極小、最小、縮小、小額、小憩、小康、小食、小数、弱小、微小、小差、小人、小児、小額紙幣
称〔ほめあげる、となえる、たたえる〕称賛、称揚、自称、仮称、愛称

賞〔すぐれた点をのべてほめる、ほうび、めでる〕賞美、賞金、賞品、賞状、賞与、懸賞、賞罰、行賞、恩賞
じょう
情〔心のはたらき、きもち、なさけ、意地〕実情、情景、情勢、苦情、国情、民情、表情、情状
状〔すがた、ありさま、事のなりゆき、書き付け〕現状、状況、状態、行状、罪状、病状、白状、信任状、免状、書状
しょうい　（傷痍△）↓(法)傷病　（「傷痍軍人会」などは別）
じょういん　（剰員）↓冗員
しょうか　（頌△歌）↓賛歌
しょうか　（銷△夏）↓消夏
しょうかい　（哨△戒）↓警戒、しょう戒、見張り
しょうかい
照会〔問い合わせる〕照会に回答、身元照会
紹介〔引き合わせる、仲介する〕紹介状、

しょく　(燭△)↓しょく
しょぐう　(所遇)↓処遇
しょくざい　(贖△罪)↓罪滅ぼし
しょくじ　(食餌△)↓食物、食べ物
　食事(療法)
しょくじん　(蝕△甚△)↓食尽
しょくぜん　(食膳△)↓食ぜん
しょくみん　(殖民)↓植民(地)
しょくよく　(食慾△)↓㊫食欲
しょくりょう
　食料〔主食以外の食物〕食料品(店)
　食糧〔主として主食〕食糧自給、食糧問題、食糧庁、食糧年度、食糧事情
　〔注〕主食を含めて広く食事の料となるものの意味で「食料」を使う場合がある。主として穀類をさす場合には「食糧」を使う。
しょこう　(曙△光)↓光明、兆し、「糸口
じょこう　(除△行)↓徐行
じょこう⊗(女工)↓女子工員、女子従業員

じょじょう　(抒△情)↓叙情(詩)
じょじょに　(副)徐々に
しょしょほうぼう　(所々方々)↓(統)処々方々
じょすうし
　助数詞〔物を数える言葉、数字の下につける語〕一個、二枚、三頭など
　序数詞〔順序をあらわす言葉〕第五、六番目など
しょせい　(庶政)↓諸政
しょせん　(所詮△)↓結局、つまり、どうせ
しょせん
　初戦〔初めての戦い、第一戦〕シリーズの初戦に勝つ
　緒戦〔戦いの始まったところ〕緒戦の優勢が後半戦で逆転
しょたい
　所帯〔一家の暮らし、財産〕大所帯、所帯道具、所帯持ち、寄り合い所帯
　世・帯〔せたいの項参照〕
しょち　(所置)↓処置

じょちゅう⊗(女中)↓お手伝い(さん)、家事手伝い
しょちゅう・・　(送)暑中伺い、暑中「見舞い
しょばつ　(所罰△)↓処罰
しょほうせん　(処法△箋△)↓処方せん
しょよう
　所用〔用事、用件〕所用で外出、所用を帯びて
　所要〔必要なこと、もの〕所要回数、所要の条件、所要の手続き
じらい　(爾△来)↓以来、その後
しらが　↓(慣)白髪
しらきづくり　↓白木造り
しらじらしい　↓(副)白々しい
しらふ　(*素面)↓しらふ
しら・しり・・　(送)白焼き
　知り合い、知り人
　しり上がり、しり押し、しり切れ
しりょう　(餌△料)↓飼料、えさ
　(思料)↓思量、考え

じょうだん （笑▲談、常談）→冗談
しょうち （召致）→招致
しょうちゅう （焼酎△）→しょうちゅう
じょうちょ →情緒
しょうちん （銷△沈▲）→消沈
じょうてい （上提）→上程
しょうど （焼土）→焦土、焦土と化す
じょうとう （上棟△）→棟上げ、上棟式
しょうどう
唱導〔仏教語、先に立って他を導く〕唱導師
唱道〔自分から言い出す〕改革運動を唱道、唱道者
じょうとうしゅだん （常套△手段）→常用手段
しょうにん →上人
（少▲人）→小人（大人に対して）

しょうのう （樟△脳）→㊫しょうのう
しょうび （焦眉△）→危急、切迫、緊急
（称美）→賞美
じょうひ （剰費）→冗費
しょうひざい （消費材）→消費財
しょうひょう （証憑△）→㊟証拠
じょうぶ →丈夫
しょうふく （承伏）→承服
しょうぶん （生▲分）→性分
しょうへい （招聘△）→招請、招待、招く
しょうへき （牆△壁）→障壁
じょうまん （冗慢▲）→冗漫
しょうみ （正身▲）→正味
しょうゆ （醤△油）→しょうゆ
しょうよう →従容、従容として
（逍△遥△）→散歩、散策
（慫△慂△）→勧誘、勧奨
（賞揚）→称揚

しょうりゃく （消▲略）→省略
じょうりゅう （蒸溜△）→㊫蒸留
しょうりょう （小量△）→少量
じょうるり （浄瑠△璃△）→浄瑠璃
じょうれい
条令〔個条書きの法令〕法律の条令
条例〔地方自治体の制定する規則〕東京都公安条例
じょうれん （定連）→常連
しょかん （書翰△）→書簡
所感〔感想〕年頭所感
所管〔管轄する〕所管の行政
しょき
所期〔望んでいた、期待していた〕
初期〔初めのころ〕
じょきゅう⊗（女給）→接客係、ウエートレス、ホステス
しょぎょう （所行）→所業
しょぎょうむじょう （諸業▲無情▲）→諸行無常

心身〔精神と肉体〕心身ともに健全
心神〔精神、心〕心神喪失
しんじん　(深甚)↓深い
しんしんこうじゃく　↓心神耗弱
しんすい　(侵水)↓浸水
しんずい　(真髄、心髄)↓神髄
じんすい　(尽瘁)↓尽力、骨折り
じんせい　(人世)↓人生
しんせいせきり　(真正赤痢)↓真性赤痢
しんせき　(親戚)↓親類、親族
(真蹟)↓真跡、真筆
じんぞう　(腎臓)↓ジン臓
じんそく　(迅速)↓迅速、敏速、急速
じんだい　(甚大)↓多大
しんたい・・　㊜【進退】伺（書式）
しんちゅう　(真鍮)↓真ちゅう、黄銅
しんちょう　(伸暢、伸張)↓伸長

しんちょく　(進捗)↓進展、進行
しんてい　(真底)↓心底
しんでんづくり　↓寝殿造り
しんど　↓震度〔地震動の強さ。震度0＝無感地震、同1＝微震、同2＝軽震、同3＝弱震、同4＝中震、同5＝強震、同6＝烈震、同7＝激震。地震の大きさ、規模はマグニチュードで表す〕
しんとう　↓神道
(滲透、侵透)↓浸透
しんどう
震動〔ふるえ動く、地震など自然現象の場合〕地震の震動、火山の震動、家鳴り震動、天地震動
振動〔揺れ動く、一般用語〕振動数を測定、振り子の振動、速力計が振動する、音の振動数、新幹線の振動公害
しんに　㊖真に
しんにゅう
侵入〔無理に押し入る、他の領分をおかす〕家宅侵入、国境に侵入、敵が侵入
浸入〔ひたし入る、水がはいる〕河水が浸入、建物に水が浸入
進入〔進みはいる〕場内に進入
しんにん
信任〔信じ任ずる〕信任状、信任を得る
親任〔天皇が任命する〕親任式
信認〔信用して認める〕ドルの信認を回復
しんぴょうせい　(信憑性)↓信頼性、信用度
しんぷく　(震幅)↓振幅
(心伏)↓心服
しんぼう　(辛棒)↓辛抱
しんぼく　(親睦)↓親善、親交
しんめい　(心命)↓身命
しんみょう　(慎妙)↓神妙
じんめんじゅうしん　(人面獣身)↓人面獣心〔スフィンクス

しるす ↓記す、名を記す
しれつ （熾△烈）↓激烈、猛烈
しれない 知れない＝消息が知れない
しれない＝かもしれない（補助用言）
しれん （試煉△、試錬△）↓試練
しろうと ↓㊅素人
しろみ （白味▲）↓白身、白身の魚
しろもの ↓代物
しわけ 仕訳〔簿記用語、勘定科目に分けること〕仕訳帳、貸借の仕訳
仕分け〔区分、分類すること〕商品の仕分け、四項目に仕分け
しわざ （為業）↓仕業
しわす ↓㊅師走〔「しはす」とも言う〕
しん （芯△）↓しん
じんあい （塵△埃△）↓ちり、ごみ、ほこり
しんうち ↓真打ち（演芸の）

しんがい （浸害）↓㊊侵害
じんかい （塵△芥△）↓㊊ごみ、ちり
じんがさ （陣笠）↓陣がさ
じん・・ ㊂陣立て、陣中見舞い
しんがた （新形）↓新型
しんかん （深閑）↓森閑
しんかん （震撼△）↓揺るがす
しんかん⊗（神官）↓神職
しんき 新奇〔新しく珍しい〕新奇な型、新奇な考案
新規〔新しい〕新規開店、新規採用、新「規まき直し
しんぎ （真疑▲）↓真偽
しんきいってん （心気▲一転）↓心機一転
しんきろう （蜃△気楼）↓しんきろう
しんぎん （呻△吟）↓苦しむ、うめく
しんきんこうそく （心筋梗△塞△）↓心筋梗ソク

しんく （真紅）↓深紅
しんけん （真険▲）↓真剣
しんげん （神厳）↓森厳
しんこく （深酷）↓深刻
しんこん （神魂△）↓心魂
しんし （真摯△）↓真剣、まじめ、誠実
しんしゃく （斟△酌△）↓㊊参酌、手心
しんじゅつ （鍼△術）↓針術
しんしょう ↓身上〔身代、財産〕身上をつぶす
しんじょう ↓身上〔身のうえの事柄、とりえ〕彼は勤勉が身上だ、身上調査
しんしょく ㊫浸食〔水がしみ込んで物をそこなう〕河川の浸食、浸食作用
㊊侵食〔おかし食い込む〕領土を侵食
しんしょばん （新書版）↓新書判
しんしん

ずがいこつ （頭蓋骨）↓頭ガイ骨、頭骨
すかさず 副（透かさず）↓すかさず
すがすがしい （清々しい）↓すがすがしい
すか・すき・・ 送透かし彫り、透き写し、透き通る、透き間、透き見 すき焼き
すきやづくり （数奇屋造り）↓統数寄屋造り
ずきん （頭巾）↓ずきん
すくい・・ 送すくい投げ 救い主、救い出す
すぐに 副（直に）↓すぐに
すぐれる （秀れる、勝れる）↓優れる
スケ⊗（スケ）↓女
すけっと ↓助っ人
すげない （素気ない）↓すげない
すこぶる 副（頗る）↓すこぶる、大層、非常に

すごろく （双六）↓すごろく
ずさん （杜撰）↓粗雑、でたらめ
すし （鮨、寿司）↓すし
すし・すじ・・ 送すし詰め 筋合い、筋書き、筋違い、筋道、筋向かい
すじょう （素姓、素生）↓統素性
すすめる・すすむ
進（進行）会議を進める、計画を進める、交渉を進める、時計を進める、位が進む、文学方面に進む、病気が進む、食事が進む
勧（勧誘）食事を勧める、転地を勧める、入会を勧める、良本を勧める
薦（推薦）候補者として薦める、上席に薦める
すす・・ 送すす掃き、すす払い 涼み台 すすり泣き
すたれる ↓廃れる、廃れ者
ずつ （宛）↓ずつ、一つずつ、ひとつずつ

すっぱい ↓酸っぱい
すっぱだか・すはだか ↓素っ裸、素裸
すっぱぬく （素破抜く）↓すっぱ抜く
すて・・ 送捨て石、捨て売り、捨て金、捨て子、捨てぜりふ、捨て値、捨て身
すてき （素敵、素的）↓すてき
すてご （捨児、棄子）↓捨て子
すでに 副既に
すな・・ 送砂煙、砂遊び、砂書き
すなお ↓素直
すなわち 接（即ち）↓すなわち
ずにのる （頭に乗る）↓図に乗る
すばしこい （素早しこい、素速しこい）↓すばしこい
すはだ （素肌）↓素膚
すばらしい （素晴しい）↓すばらしい

などは別〕
じんもん　(訊△問)↓(法)尋問
しんやくせいしょ　(新▲訳聖書)↓新▲約聖書
じんよう　(人容)↓陣容
しんようがし　(送)信用貸し
しんらつ　(辛辣△)↓痛烈、手厳しい
しんりゃく　(侵掠△)↓侵略
しんれい
心霊〔たましい、神秘的な精神現象〕心霊現象、心霊術
神霊〔神のみたま、霊妙な徳〕神霊の加護
しんろ
針路〔ら針盤などで決める船や航空機の進路〕針路を修正
進路〔進んで行く道、退路の反対〕進路に立ちふさがる、進路を見いだす

〔す〕

すあし　↓素足
す・ず・・　(送)素焼き、素通し、頭突き、頭抜ける
すい・・　(送)吸い上げる、吸い口、吸い込む、吸い出す、吸い取り紙、吸い取る、吸い物
すいきょう　(粋狂、酔興)↓酔狂
すいげんち　(水源池)↓水源地〔特に「池」を指す場合は別〕
すいこう　(推敲△)↓文を練る、練る
ずいしょ　(随処)↓(統)随所
すいしょう　(推賞△、推称)↓推奨
すいせい　(彗△星)↓すい星、ほうき星
すいせん　(水仙△)↓スイセン
(推選)↓推薦
すいそう　(水槽△)↓タンク、水おけ
すいぞう　(膵△臓)↓スイ臓
すいたい　(衰頽△)↓衰退
(推戴△)↓推挙
ずいちょう　(瑞△兆)↓吉兆
ずいどう　(隧△道)↓トンネル
すいばん　(推輓△)↓推挙、引き立て、推薦、推す
ずいぶん　(副)(随分)↓ずいぶん
すいれん　(睡▲蓮△)↓スイレン
すうき　(数寄)↓数奇
ずうずうしい　(図々しい)↓ずうずうしい
すうせい　(趨△勢)↓大勢、動向、成り行き
ずうたい　(図体)↓ずうたい、体
すえ・・　(送)据置〔決算など商況用語の特殊の場合〕、据え置き（一般）、据え付け

せいごう
整合〔ととのいあい、ぴったり合う〕地層が整合
斉合〔一貫性がある、矛盾しない〕理論的に斉合性がある
せいこく　（正鵠△）↓正確
せいこん　「精魂
精魂〔たましい〕精魂をこめて、不屈の精魂
精根〔精と根〕精根尽きる
せいさい　（生彩）↓精彩
せいさく
製作〔主として実用的な物をつくる〕器具・機械の製作、新聞製作、映画の製作
制作〔主として芸術的なものをつくる〕絵画の制作、テレビ番組を制作
せいさん　（凄△惨）↓むごたらしい、悲惨
せいさん　（製産）↓生産
せいさん
清算〔きまりをつけること〕借金の清算、過去を清算、清算取引
精算〔詳しく計算をすること〕運賃精算所、精算書を提出
せいさんざい　（生産材）↓生産財
せいじけっしゃ　（政事結社）↓政治結社
ぜいじゃく　（脆弱△）↓もろい、弱い
せいじゅく　（生▲熟）↓成熟
せいじょう　（性状）↓(統)性情
（政状）↓政情
せいぜい　(訓)（精々）↓せいぜい
せいぜつ　（凄△絶）↓すさまじい
せいせき　（成積▲）↓成績
せいそ　（清楚△）↓清らか、すっきり
せいそう　（凄△愴△）↓ものすごい
正装〔正式の服装〕正装に威儀を正して
盛装〔華やかに着飾る〕振りそで姿に盛装して
せいそく　（棲△息）↓(統)生息、住む
せいたい
生態〔生物が生活している状態〕野鳥の生態を調査、生態写真
生体〔生きているままの体〕生体実験、生体染色
ぜいたく　（贅△沢）↓ぜいたく
せいち　（精緻△）↓精巧、精密
せいちゅう　（掣△肘△、制肘）↓制約、拘束、干渉
せいちょう
成長〔主として動物〕
生長〔主として植物〕
せいてんはくじつ　（晴▲天白日）↓青天白日
せいとん　（整頓△）↓整備、整理
せいは　（制覇△）↓制覇、優勝
せいはん　（整版）↓製版
せいふく　（征伏）↓征服
せいもく　（正目、聖目）↓井目
せいよく　（性慾△）↓㊫性欲
せいらい　（性来）↓生来

すばやい　(素早い)→すばやい

ずぶとい　(図太い)→ずぶとい

すべからく　(副)(須らく)→すべからく、当然

すべて　(全て、総て)→すべて

すべる　→滑る、滑り出し、滑り込み、滑り止め　(総べる)→統べる

ずぼし　→図星

すみやか　→速やか

すま・すみ・・　(送)す巻き
住み込み、住みつく
墨染め、墨付き、澄み通る
炭取り、炭焼き、炭焼き小屋

すもう　(角力)→(慣)相撲

・・すら　→・・さえ、彼でさえ

する・すれる
刷(印刷)刷り物、手刷りの賀状、名刺を刷る、刷り上がり、刷り物
擦(こする)擦れる、擦り傷、くつ擦れ、ヒザを擦りむく、服が擦り切れる、マッチを擦る、擦れ違う、擦れっからし
〔注〕競馬でする、ごまをする、すり足、すり抜ける、墨をする、すりつぶす、すりヒザ、すり粉木、すり芋——などは仮名書き

すわりこみ　(坐り込み)→座り込み

すんごう　(寸毫)→寸分、少しも

すん・・　(送)寸法書き、寸詰まり

〔せ〕

せい
制＝制作、禁制品、専制、体制
成＝作成、速成講座、編成、促成栽培、成績
製＝製作、私製、複製、製版、即製

せいあつ　(征圧)→制圧〔「ガン征圧月間」などは別〕

せいいく
成育〔主として動物に〕稚魚の成育、豚を成育する
生育〔主として植物に〕稲の生育状態、樹木の生育

せいいっぱい　(副)精いっぱい

せいかく　(精確)→正確

せいかん　(精悍)→精強、精力的に、たくましい

せいき
精気〔純粋な気、精神と気力〕万物の精気、精気を集中
生気〔生き生きとした気力〕生気はつらつ、生気を回復

せいき　(制規、成規)→正規

せいき　(世期)→世紀

せいきょ　(逝去)→死去、永眠

せいぎょ　(制馭)→(学)制御

せいけい
整形〔形を整える〕整形外科、整形手術
成形〔形をつくる〕胸郭成形
成型〔型にはめてプレスする〕規格成型

ぜひ　（是否▲）↓是非、可否、賛否
　是非を問う、是か非か
せま・せめ・・　(送)狭苦しい、攻め入る、攻め落とす、攻め込む、責め道具、責めたてる、責めつける、責め馬、煙・火・水攻（責）め
せめる　攻める〔攻撃〕
　責める〔ごうもん、せっかん〕
せり・・　(送)競り、競る、競り合い、競り上げる、競り売り、競り落とす、競り・セリ市
せりふ　（台詞、台白、科白）↓せりふ
せわやき　(送)世話焼き
せんえい　（尖△鋭）↓先鋭
せんえつ　（僭△越）↓思い上がり、出過ぎ、せんえつ
ぜんかい　（全潰△）↓全壊
せんきょ　（船渠△）↓(学)(法)ドック

せんきょう　（仙境△）↓別天地
せん・・　(送)千切り、千枚通し
せんこう　（選衡、詮△考）↓選考
　（閃△光）↓きらめき、せん光
せんこうき　（穿△孔機）↓(学)せん孔機
　穴あけ機
ぜんごさく　（前後策▲）↓善後策
せんざい　↓前栽
せんざいいちぐう　（千歳一遇）↓千載一遇
せんさく　（詮△索、詮△鑿、穿△索、穿△鑿）↓せんさく、ほじくる、探る
ぜんじ　（漸△時▲）↓漸次
せんしょう　（僭△称）↓自称、誇称
　（戦捷△）↓戦勝
せんじょう　（煽△情）↓扇情
　（洗滌△）↓(学)(法)洗浄
せんじょうこん　（綫△条痕）↓線条こん
ぜんしょうせん　（前哨△戦）↓前衛戦、前しょう戦

せんじん⊗（鮮人▲）↓朝鮮人、韓国人
ぜんじんみとう　（全人未踏▲）↓前人未到
せんせい　（専政▲）↓専制
ぜんぜん　(副)全然
せんせんきょうきょう　（戦々兢△々）↓戦々恐々
せんそう　（船艙△）↓(学)船倉
ぜんそく　（喘△息）↓ゼンソク
ぜんだいみもん　↓(慣)前代未聞
せんたく　（洗濯△）↓洗たく
せんたん　（尖△端）↓先端
せんちゃ　（煎△茶）↓せん茶
せんてい　（剪△定）↓枝切り、せんてい
せんでき　（洗滌△）↓(学)(法)洗浄
せんとう　（先登▲）↓先頭
せんとう　（洗湯▲）↓銭湯
せんどう　（煽△動）↓扇動
せんにゅうかん　（先入感）↓先入観

せいれい
制令〔制度法令〕
政令〔法律を実施するために内閣が定める命令〕
せいれつ　（清冽△）→清らか
せいれん　（製錬△）→(統)精錬
精錬〔金属の精錬〕
精練〔繊維などの〕
せ・せい・・　(送)背負い投げ、背負う、背伸び、背比べ、背中合わせ、瀬踏み、瀬取り
せき　→寂、寂然、寂として、寂々
せき・・　(送)関取、関守　席貸し、せき止め　「大学者
せきがく　（碩△学）→大家、権威、
せきずい　（脊△髄△）→セキ髄
せきつい　（脊△椎△）→セキツイ
せきばく　（寂寞△）→寂しさ、ひっそり

せし　（摂氏）→セ氏
せたい
世帯〔生計を共にする生活体〕世帯数、世帯主、世帯調査
所・帯〔「しょたい」の項参照〕
せたけ　（脊△丈）→背丈
せちえ　→節会
せちがらい　（世智△辛い）→世知辛い
せっかく　(副)（折角）→せっかく
せっかっしょく　（赤褐△色）→赤かっ色
せっかん　（折檻△）→せっかん
せっきょう　（説経）→説教
せっけん　（石鹸△）→せっけん
（席捲△、席巻・）→勝ち進む、押しまくる
せっこう　（石膏△）→石こう
せっさたくま　（切磋△琢△磨△）→鍛錬、修練
ぜっさん　（絶讃△）→絶賛

せっしょう　→殺生
（接▲衝、折▲渉）→折衝
せっせい
摂生〔養生に同じ〕摂生に努める
節制〔欲望を慎むこと〕酒、たばこを節制
せっせん　（切線）→(学)接線
ぜったい　（絶▲体）→絶対
ぜったいぜつめい　（絶対絶▲命）→絶体絶命
ぜったいに　(副)絶対に
せっちゅう　（折△中）→折衷
せつな　（刹△那△）→瞬間、せつな
せつに　(副)切に
せっぱく　（接迫）→切迫
せっぱん　（切半）→折半
せっぷく　（説服）→説伏
せっぷん　（接吻△）→キス、口づけ
ぜっぽう　（舌鋒△）→弁舌、舌端
せと・・　(送)瀬戸際、瀬戸引き
ぜひ　(副)（是非）→ぜひ、ぜひとも

そうくつ (巣窟)→根城、巣
ぞうげ (象牙)→ゾウゲ、象ゲ(牙)の塔
ぞうけい (造詣)→学識、知識、たしなみ
(造型)→造形
そうご (双互)→相互
そうこう (奏効)→奏功
そうごう (綜合)→総合
そうこく (相剋)→相克、争い
そうごん (壮厳)→荘厳
そうざい (惣菜)→総菜、おかず
ぞうさ (雑作)→(統)造作
ぞうさく (雑作)→(学)造作
そうさくねがい (送)【捜索】願
そうし (草子、双紙)→草紙
(想思)→相思
そうじ →(慣)掃除
そうしょ (叢書)→双書、シリーズ

そうじょう (騒擾)→騒乱(罪)
そうしん (喪神)→喪心
そうそうたる (錚々たる)→立派な、一流の
そうそふ (曽祖父)→大祖父、ひいじいさん
そうそん (曽孫)→ひ孫
そうだい (荘大)→壮大
そうち (送致)→(法)送る、(法)送付
そうちょう (壮重)→荘重
そうちょう (曹長)→曹長
そうてい (装幀、装釘)→装丁
(漕艇)→ボート
そうと
壮途〔勇ましい門出〕南極探検の壮途につく
壮図〔壮大な企画〕ヒマラヤ征服の壮図を抱く
そうとう (掃蕩)→掃討、掃滅

ぞうとく (蔵匿)→(法)かくまう、隠す
ぞうに →雑煮
そうにゅう (挿入)→そう入、差し込む、はさむ、入れる
そうはせん (争覇戦)→争覇戦、優勝戦、優勝争い
そうばん (副)早晩
ぞうひょう →雑兵
ぞうひん (贓品)→盗品
そうふ (送附)→(統)送付
そうへき (双璧)→好一対、両雄
そうほう (相方)→双方
そうぼう (僧房)→僧坊
そうまとう (草馬灯)→走馬灯
そうめい (聡明)→賢明、英明
そうめつ (剿滅)→掃滅
そうめん (素麺)→そうめん
ぞうり →(慣)草履
そうりょ (僧侶)→僧、坊さん、

せんにん (仙△人)→せんにん、奇人
せんびょうしつ (腺△病質)→虚弱体質、セン病質
せんぷうき (扇風器)→扇風機
せんべい (煎△餅△)→せんべい
せんぺい (尖△兵)→先兵
せんべつ (餞△別)→はなむけ、せん別
せんべん (先鞭△)→先手、トップ
せんぺんいちりつ (千篇△一律)→千編一律
せんぺんばんか (千編▲万化)→千変万化
せんぼう (羨△望)→うらやむ
せんぽう (先鋒△)→先頭、先陣、先駆け
ぜんぼう (全貌△)→全容
せんぼつ (戦歿△)→戦没
せんめい (闡△明)→明らかにする

せんめつ (殲△滅)→掃滅、全滅
せんもん (専問▲)→専門
せんゆう
占有〔自分のものにする〕占有権、占有の意思
専有〔ひとり占めにする、共有の対語〕専有物
せんよう
占用〔自分のものにして使う〕土地の占用、占用許可
専用〔ある目的、またはある人や団体だけが使う〕自動車専用道路、米軍専用地
せんりつ (戦慄△)→おののく、震える
せんろこうふ ⊗(線路工夫)→保線係

〔そ〕

ソーダ (曹△達・)→㊫ソーダ

そう
沿〔つたっていく〕海沿いの町、川に沿う、国の方針に沿う、希望に沿う、線路に沿って行く、期待に沿う
添〔付き加わる〕影の形に添うように、添い寝、付き添い、連れ添う妻、添い遂げる
そうあたり ㊜総当たり
そう (相)→そう、…しそう、…なりそう、…そうだ、…そうです(補助用言)
そうい (相異)→相違
(創痍△)→痛手、傷
ぞうお →憎悪
そうおん (噪△音)→騒音
そうかい (爽△快)→さわやか、快い
そうかつ (総轄)→㊎総括
ぞうがん (象嵌△)→象眼
ぞうきん (雑巾△)→ぞうきん
そうく (走狗△)→手先

そっこく　（速行）↓即行
　（即攻）↓速攻
　（速刻）↓即刻
そっせん　（卒先）↓率先
そつぜん　（率然）↓卒然
そっちょく　（卒直）↓率直
そっとう　（率倒）↓卒倒
そで　（袖）↓そで
そとうば　↓卒塔婆
そとぼり　（外壕）↓外堀
そと・・　㊦外掛け、外構え、外回り、外周り
そなえる・そなわる
備〔準備、具備　備えあれば憂えなし、その身に備わる人徳、台風に備える、調度を備える、老後に備えて〕
供〔提供、供進〕お供え、お神酒を供える、供え物
そなえ・・　㊦備え付け品、備え付け
その・・　㊟㊢（其の）↓その、そのうえ、そのくせ

そば　（傍、側）↓そば
そばづえ　（側杖、傍杖）↓そばづえ
そぶり　（素振り）↓そぶり
そほう　（疎放）↓粗放
そめ・・　㊡【染物】屋（職業）、【型絵】染（工芸品の場合）、京染め、染め上がり、染め色、染め返し、染め替える、染め粉、染め付け、染め直す、染め抜く、染め物、染め分ける
そめい　（疏明）↓㊤疎明
そもう　（梳毛）↓㊫そ毛
そらねんぶつ（からねんぶつ）　↓空念仏
そら・・　㊦空々しい、空恐ろしい、空覚え、空頼み、空泣き、空耳、空喜び、空ごと
そり・・　㊦反り返る、反り橋、反り身

そりゃく　（疎略）↓粗略
そろう　（揃う）↓そろう
　（粗漏）↓疎漏
そろばん　（算盤）↓そろばん
ぞんがい・ぞんぶん　㊞存外、存分
そんしょく　（遜色）↓見劣り、引け目
そんぞく　（尊族）↓尊属
そんたく　（忖度）↓推量、推測、推察
そんもう　（損亡、損毛）↓損耗

〔た〕

たい
体＝実体、変体、体制、風体（ふうたい ふうてい）
態＝形態、事態、変態、態勢
代＝代謝、交代
台＝〔数量の大体の範囲を示す〕百

僧職

そうりょう　(爽涼)↓清涼、さわやか

そうれい　(荘麗)↓壮麗

そうわ　(挿話)↓小話、エピソード

そえ・・　(送)添え書き、添え乳、添え物、添え木、添え状

そえん　(粗遠)↓疎遠

そかく　(阻隔、粗隔)↓疎隔

そきゅう　(遡及)↓さかのぼる

そくざ　(速座)↓即座

そくじ　(速時)↓即時、即時払い

そくしん　(速進)↓促進

そくしんき　(測深器)↓(学)測深機

そくする
則する〔のっとる〕法に則する
即する〔ぴったりつく〕事実に即する

ぞくせい
速成〔急速に成す〕速成講座
促成〔人工を加えて成育を促す〕促成栽培
即製〔その場でつくり上げる〕即製即売

ぞくせい　(簇生)↓群生、族生

そくせんそっけつ　(速戦速決)↓速戦即決

そくだん
速断〔早すぎる断定〕速断を避ける
即断〔たちどころに決める〕即断即決

そくとう　(速答)↓即答

そくぶん　(仄聞)↓側聞

そげき　(狙撃)↓ねらい撃ち、そ撃(兵)

そご　(齟齬)↓(法)食い違い、手違い

そこ・・　(送)底引き網、底入れ、底積み、底無し、底抜け、底冷え、底光り

そこう　(遡行)↓さかのぼる
↓素行、素行が悪い

そこつ　(粗忽)↓そこつ

そこなう　↓損なう、見損なう

そさい　(蔬菜)↓(法)野菜

そし　(沮止)↓阻止

そしゃく　(咀嚼)↓かみ砕く、かみこなす、読みこなす、よく消化する

そせい　(蘇生)↓よみがえる、生き返る、息を吹き返す

そそう　(沮喪)↓阻喪

そだて・・　(送)育て親、育ち盛り

そつう　(疏通)↓疎通

ぞっかい　(続会)↓続開

そっけつ　(速決)↓即決

そっけない　(素っ気ない)↓そっけない

そっこう　(速効)↓即効〔「速効肥料」などは別〕

（相撲など）
たいせいよう　（太▲西洋）↓大西洋
たいせき　（堆△積）↓〈法〉積もる、累積
だいだいかぐら　（大▲々神楽）↓太々神楽
だいたいぶ　（大腿△部）↓太モモ
たいとう　（擡△頭）↓台頭
（駘△蕩）↓のどか、うららか
たいのう　（怠△納）↓滞納
たいはい　（頽△廃）↓退廃
たいひ　（待避）↓退避〔鉄道用語の「待避線」などは別〕
（堆△肥）↓積み肥、たい肥
だいひょうひまん　↓大兵肥満
だいぶ　〈副〉（大分）↓だいぶ、だいぶん
たいふう　（颱△風）↓台風

たいへい　（大平、泰平）↓太平
たいへいよう　（大▲平洋）↓太平洋
たいまつ　（松明、炬△火）↓たいまつ
だいめいし　代名詞の用例＝私、僕、君、彼、彼女、自分
あなた、あれ、あれら、あそこ、あっち、おれ、おまえ、これ、これら、ここ、ここら、こちら、ここいら、それ、そこ、そちら、そっち、だれ、どなた、どれ、どこ、どちら、どっち、なに、われ、われわれ、われら
たいよう　（体様）↓態様
たいよく　（大△慾）↓大欲
たいりくだな　（大陸棚△）↓大陸だな
たうえ　〈送〉田植え
だえき　（唾△液）↓㊫ダ液、つば
たえる
耐〔こらえる〕困苦欠乏に耐える、重圧に耐える、耐え切れぬ苦痛、風雪に耐える、見るに耐えない、耐え忍ぶ
絶〔きれる〕息が絶える、消息が絶える、絶えて久しい対面、絶え間
（堪△える）↓たえる、耐える

たえず　〈副〉絶えず
だえん　（楕△円）↓㊫長円
たおる　↓手折る
たか・たが・・　〈送〉高飛び、高めの球、高笑い　互い違い
たかだか・たがいに　〈副〉高々、互いに
たかねのはな　（高嶺△の花）↓高根の「花
たかみのけんぶつ　（高▲見の見物）↓高みの見物
たき・たく　〈送〉炊き出し、炊き上げる　宅扱い
だき　（唾△棄）↓吐き捨てる、排斥、軽べつ
だき・・　〈送〉抱き合う、抱き合わせ、抱き込み、抱き起こす、抱きか

台、千円の大台
代〔家督、歴史上の期間、年齢などの範囲を示す〕八代将軍、三十歳代、昭和四十年代

たいいんれき　（大▲陰暦）→太陰暦

たいえいてき　（退嬰△的）→消極的

だいおんじょう　→大音声

たいか　（滞荷）→滞貨

だいがわり

代替わり〔君主、経営者、年代など〕帝王の代替わり、商店の代替わり、七〇年の代替わり

台替わり〔数字の単位、主として経済用語〕千円の大台替わり

たい・だい・・　(副)大概、大挙、大して、大丈夫、大層、大体、大略、大変、たいてい、だいぶ、だいぶん

(送)代金引換、【隊】付、体当たり、台付き、台なしになる

たいき　・（待期）→待機

たいぎ

大義〔最高の道義〕大義親を滅ぼす、大義に徹する

大儀〔骨が折れる、おっくう〕仕事が大儀になる

たいぎめいぶん　（大義明▲文▲）→大義名分

たいく　（体▲軀△）→体格、体

たいくつ　（怠屈）→退屈

たいけい　（体型）→体形

体系〔系統的な組織〕哲学体系、理論体系、体系的学説

大系〔シリーズ〕文学大系

たいこ　（大鼓）→太鼓

（大古▲）→太古

たいご　（隊▲伍△）→(法)隊、隊列

たいこうぼう　（大▲公望△）→太公望

だいごみ　（醍△醐△味）→妙味、だいご味

たいざんめいどう　（泰▲山鳴動）→大山鳴動

たいじ　（対峙△）→対立、対抗

だいしきょう　→大司教（カトリック教の教会の最高僧職、ギリシャ正教の場合は「大主教」）

だいじゃ　（大蛇△）→大ジャ

たいしょう

対象〔相手、目標〕調査の対象、読者を対象

対照〔比較、取り合わせ〕AとBとを対照、対照的な存在

対称〔つり合っていること〕左右対称、対称点、対称律

たいしょく　（褪△色）→(学)退色

たいしょてき　（対蹠△的）→対照的

たいせい　（頽△勢）→退勢

たいせい

体制〔統一的、恒久的な組織〕教育体制、戦時体制、警備体制

態勢〔身構え、状態、一時的な〕受け入れ態勢、スト態勢

体勢〔体の勢い、姿勢〕体勢が崩れる

たち　↓㊟太刀、太刀打ち、太刀持ち

たちあい
立ち会い〔同席、列席〕お立ち会い、立会演説、立会人、市場の立ち会い
立ち合う〔互いに立つ〕相撲の立ち合い、剣道の立ち合い

たち・・　㊜立場、立会（人）、立会演説、立ち会い、立ち会う、立ち上がり、立ち居、立ち入り、立ち入り禁止、立ち入る、立ち売り、立ち売り人、立ち往生、立ち遅れ、立ち泳ぎ、立ち方、立ち枯れ、立ち木、立ち消え、立ち聞き、立ち食い、立ち腐れ、立ち止まる、立ち続け、立ち直る、立ち並ぶ、立ち働く、立ち話、立ち番、立ち回り、立ち見、立ち役、立ち読み、立ち寄る、立ち技、立ち退く

たちこめる　（立ち籠△める、立ち込▲める）↓立ちこめる、霧が立ちこめる

たちのく　↓㊟立ち退く

たちどころに　㊓（立ち所に）↓たちどころに

たちまち　㊓（忽△ち）↓たちまち

だちん　（駄賃）↓だちん

たつ　（経つ）↓たつ、（発つ）↓たつ、（起つ）↓立つ

たつ・たてる
立〔一般用語〕演壇に立つ、うわさが立つ、大立者、顔を立てる、危機に立つ、計画を立てる、志を立てる、使者に立つ、席を立つ、手柄を立てる、二本立ての映画、身を立てる、見通しが立つ、腹を立てる、形勢を立て直す、立つ瀬、二本立ての答申
建〔主として建設用語〕家が建つ、家を建て直す、国を建てる、石碑が建つ、建前、別建て、両建て預金、銅像を建てる、建てページ、二階建て

たつ・たち・たえる・たやす
裁〔裁断〕裁ち板、裁ち方、裁ち台、裁ちばさみ、服地を裁つ、裁ち物、裁ち縫い
断〔断絶、二つにたち切る〕縁を断つ、快刀乱麻を断つ、国交を断つ、雑念を断つ、消息を断つ、退路を断つ、茶断ち塩断ち、命脈を断つ、連絡を断つ、通信を断つ、糧道を断つ、望みを断つ
絶〔とぎれる〕たばこを絶やす、根絶やしにする、送金を絶やす、連絡が絶える、通信が絶える
〔注〕＝たえる、たやす↓絶
たつ↓断

だっきゃく　（脱脚■）↓脱却

だっきゅう　（脱臼△）↓脱キュウ

たっけん　（達見）↓卓見

だっこくき　（脱殻▲機）↓脱穀機

たっとい・とうとい・たっとぶ・と

かえる、抱きしめる、抱きつく、抱き留める

たきぎ　↓薪

たきび　(焚火)↓たき火

たくさん　(副)(沢山)↓たくさん

たくしょく　(拓植)↓拓殖

たくす　(托す)↓託す

たくはつ　(托鉢)↓たくはつ

たぐる　↓手繰る

たくわえる　(貯える)↓蓄える、蓄え

たけ・・　(送)丈比べ、丈上げ

だけつ　(妥決)↓妥結

ださく　(駄作)↓愚作、凡作

だし　↓(慣)山車

だし・・　(送)出し合い、出し入れ、出し遅れ、出し手、出し投げ、出し渋る、出し汁

たしさいさい・たしせいせい　(多士斎々、多士斉々)↓多士済々

だしもの　(演物)↓出し物

だじゃく　(懦弱)↓惰弱、意気地なし

だじゃれ　(駄洒落)↓だじゃれ

たしょう

他生〔今生に対する仏教語〕他生の縁

多生〔多数を生かすこと〕一殺多生

だす

出す‖手紙を出す

だす‖山が見えだす、…しだす

たすける　(援ける、扶ける)↓助ける

たすけ・・　(送)助け合い運動、助け船

たずねる

尋〔問い求める〕尋ね当たらず、尋ね人、尋ね物、道を尋ねる、由来を尋ねる

訪〔おとずれる〕史跡を訪ねる、知人を訪ねる、訪ねて来る人もない

だせい　(惰勢、堕勢)↓惰性

だそく　(蛇足)↓むだ、余計

ただ　(唯、只)↓ただ

たたえる　(讃える、賛える、称える)↓たたえる

たたかう

戦う〔一般用語〕意見を戦わせる、言論で戦う、戦わずして勝つ、戦いの場、困難と戦う

闘う〔闘争〕派閥の闘い、労使の闘い、病魔と闘う、基地返還の闘い、首班指名の闘い、精神と肉体との闘い、自然との闘い、要求を闘い取る

タタキ　⊗(タタキ)↓強盗

たたく　(叩く)↓たたく

ただし　(接)(但)↓ただし

ただしがき　(但書)↓ただし書き

ただす　(質す)↓ただす

ただちに　(副)直ちに

たたみ・・　(送)畳、畳建具、畳表、畳替え、畳敷き、畳む、畳み込み

たま
玉〔一般用語〕替え玉、シャボン玉、善玉悪玉、玉突き衝突、玉にきず、玉乗り、火の玉、目の玉、玉転がし
球〔球形、球体〕球が速い、電気の球、球遊び
弾〔弾丸〕大砲の弾、ピストルの弾

たまご　（玉子）↓卵、卵焼き

たまたま　副たまたま、たまに

たま　↓霊、霊屋、霊祭り

たまう・たまえ　（給う、賜う、給え）↓たまう、（……してくれ）たまえ

だましうち　（騙討ち）↓だまし討ち

たまもの　（賜物）↓賜り物、たまもの

たまわり(る)・・　送賜る、賜り物

たむけ　↓手向け

だめ　（駄目）↓だめ

ためいき　（溜め息）↓ため息

ためいけ　（溜め池）↓ため池

ためし(す)・・　送試す、試し切り

ためる　（溜める、貯める）↓ためる、金をためる

たより　↓便り、初便り、花便り

たより(る)・・　送頼る、頼り、頼りがい、頼りない、頼り切る

たら・たれ・・　送垂らす、垂れる、垂れ込む、垂れ下がる、垂れ流し、垂れ幕、垂れ髪、垂れ絹

だりょく　（堕力）↓惰力

だるま　（達磨）↓だるま　「語」

だれ　（誰）↓だれ〔「たれ」は文語〕

だれぎみ　（弛れ気味）↓だれ気味

たわいない　（他愛ない）↓たわいない

たわごと　（戯言）↓たわ言

だんあつ　（断圧）↓弾圧

たんか　（担荷）↓担架

たんか　（啖呵）↓たんか

だんか　（檀家）↓壇家

だんがい　（断崖）↓がけ、絶壁
（弾劾）↓弾劾（裁判）、糾弾、問責

たんがん　（歎願）↓嘆願

だんぎ　「す」
談議〔話し合うこと〕談議に花を咲かす
談義〔道理を説く〕法話談義、談義僧

たんきゅう
探求〔さがし求める〕真実を探求、平和の探求
探究〔見きわめる〕美の本質の探究、真理の探究

たんけん　（探険）↓探検

だんこ　（断乎）↓断固

たんこう　（炭礦）↓学炭鉱〔石炭の出る山〕
炭坑〔石炭を掘る穴〕

たんざ　（端坐）↓端座

たんざく　↓短冊

だんじて　副断じて

たんしょ　（端初）↓端緒

たんしょう　（嘆称）↓嘆賞

うとぶ
尊〔尊敬〕神仏を尊ぶ、祖先を尊ぶ、尊い生き方、尊い教え、尊い犠牲
貴〔貴重〕真実を貴ぶ、貴い資料、貴い人命、和をもって貴しとす、時間を貴ぶ

たづな ↓手綱
たつまき ↓竜巻
だつりゃく （奪掠）↓奪略
たて （楯）↓盾、後ろ盾、盾つく
たてあな （竪穴）↓縦穴（古墳などの）
たてあみ （立て網）↓建網
たてこう （竪坑）↓㊫立て坑
たてこむ （立て混む）↓立て込む
たてこもる （立て籠もる）↓立てこもる
たてし ↓(慣)殺陣師
たてなおす
立て直す〔一般用語〕経営を立て直す、計画を立て直す、体勢を立て直す
建て直す〔建築用語〕家を建て直す
たてね （立値）↓建値

たてまえ （立て前）↓建前
たて・・ (送)立役者、立て板、立て替え、立て替え金、立て掛ける、立て看板、（家）が立て込む、立て付け、立て続け、立・建て直し、立てヒザ、立て札、建屋、建売【住宅】、建物、建具、建株、建坪、建玉、建値、建前、建場、建網、（二階）建て、建て増し、縦書き
たとえ (副)（仮令）↓たとえ、たとえどうなっても
たとえ・たとえば (副)例え、例えば
たとえる （譬える、喩える）↓例える
たどる （辿る）↓たどる
たなあげ （棚上げ）↓たな上げ
たな・・ (送)たな卸し
たなばた (慣)七夕、七夕祭り
たね・・ (送)種明かし、種切れ、種取り、種付け、種まき、種探し、話の種

たばこ （煙草）↓タバコ（植物）たばこ（完成品）
たはた （田畠）↓田畑
たび ↓(慣)足袋
だび （荼毘）↓火葬、だび
たびかさなる ↓度重なる
たび・・ (送)旅支度、旅立ち、旅疲れ、旅回り
たびたび (副)度々、たびたび（なるべく仮名書き）
たぶん ↓多分〔量、程度を表す場合〕多分の寄付
たぶん (副)（多分）↓たぶん
たべ・・ (送)食べ歩き、食べかけ、食べ盛り、食べ過ぎ、食べ残し、食べ物
だべん （駄弁）↓むだ口、だ弁
だほ （拿捕）↓捕獲

力試し、力抜け

ちぐう　(知偶▲)↓知遇

ちくさん　(蓄▲産▲)↓畜産

ちくせき　(畜積)↓蓄積

ちくようぎょ　(畜養魚)↓蓄養魚

ちご　↓(慣)稚児

ちしつ　(知悉△)↓精通、熟知

ちじょうきょく　⊗(地上局)↓地球局(衛星中継の)

ち・ちち・・　(送)乳飲み子、乳離れ、乳臭い、乳搾り

ちぢみ・・　(送)【阿波】縮(工芸品の場合)、縮み織り、縮み上がる、縮こまる、縮れ毛、縮める

ちっきょ　(蟄△居)↓閉居

ちほう　(痴呆△)↓白痴、痴ホウ(症)

ちぼう　(智△謀)↓知謀

ちぶさ　↓乳房

ちみつ　(緻△密)↓精密、綿密、細密

ちゃ・・　(送)茶話、茶入れ、茶摘み、茶の間、茶飲み茶わん、茶わん蒸し、茶づけ、茶の湯、茶びん、茶ほうじ、茶飲み友達

ちゃくふく　(着腹▲)↓着服

ちゃめ　(茶目)↓ちゃめ

チャリンコ　⊗(チャリンコ)↓(子供の)スリ

ちゆ　(治癒△)↓治る、全治

ちゅう・・　(送)宙返り、宙づり、宙乗り、中押し勝ち

ちゅうかい　(註△解)↓注解

ちゅうけい　(仲継)↓中継

ちゅうこく　(注告)↓忠告

ちゅうさつ　(駐劄△)↓駐在

ちゅうさん　(昼餐△)↓昼食

ちゅうしゃく　(註△釈)↓注釈

ちゅうしゅうめいげつ　(中秋明月、仲秋名月)↓(統)中秋名月

ちゅうしょく　(中食)↓昼食

ちゅうぜい　↓中背

ちゅうせきそう　↓沖積層

ちゅうせん　(抽籤△)↓抽選、くじ引き

ちゅうたい　(紐△帯)↓つながり、連帯

ちゅうちょ　(躊△躇△)↓ちゅうちょ、ためらい

ちゅうづり　(宙吊△り、中吊△り)↓宙づり

ちゅうとん　(駐屯△)↓駐留、駐在、駐とん(部隊)

ちゅうぶ　↓中風

ちゅうぼう　(厨△房)↓(学)台所、調理場、勝手

ちゅうみつ　(稠△密)↓(法)周密、密集

ちゅうもん　(註△文)↓注文

ちょうあい　(寵△愛)↓かわいがる、気に入り

だんじり　(地車、楽車)↓だんじり
たんしん　(誕辰)↓誕生日
たんす　(箪笥)↓たんす
たんせい　(丹精、丹誠)↓(統)丹精、真心、入念
　(端整)↓端正
たんせき　(旦夕)↓朝夕、間近、目前
だんぜん　(副)断然
たんそびょう　(炭疽病)↓炭ソ病
たんたん　(坦々)↓たんたん、平らな
だんだん　(副)(段々)↓だんだん
だん・・　(送)段違い(平行棒)、段取り、段々畑
たんてき　(単的、短的)↓端的
たんでき　(耽溺)↓おぼれる、ふける、夢中になる
たんとうちょくにゅう　(短刀直入)↓単刀直入
たんどく　(耽読)↓読みふける
だんな　(旦那)↓だんな
たんに　(副)単に
たんねん　(丹念)↓丹念、入念
たんのう　(堪能)↓上手、よく出来る、練達、満足、たんのう
たんぱく　(淡白)↓淡泊
　(蛋白)↓タンパク
たんぺいきゅう　(単兵急)↓短兵急
たんぺん　(短篇)↓短編
たんぼ　(田圃)↓田んぼ
だんぼう　(煖房)↓(学)暖房
だんボール　↓段ボール(箱)
だんらん　(団欒)↓まどい、だんらん
たんれん　(鍛錬)↓(統)鍛錬
だんろ　(煖炉)↓(学)暖炉、ストーブ

〔ち〕

ち・・　(送)血煙、血続き、血止め、血走る、血祭り、血迷う
ちえ　(智慧、智恵)↓知恵、知恵比べ
ちかぢか　(副)近々
ちか・・　(送)近づき、近づく、近ごろ、近回り、近寄る、近め
ちかって　(副)誓って
ちかい・・　(送)誓い言、誓い合う
ちかく
　地核(地球の中心)
　地殻(地球の外表)地殻変動
ちからずく　(力尽く)↓力ずく、力ずくで奪う
ちから・・　(送)力落とし、力比べ、力こぶ、力添え、力任せ、力負け、力付ける、力強い、力持ち、

ちょっこう
直行〔一般的、鉄道関係〕直行列車
直航〔海運、航空関係〕羽田直航便
ちょっと ㊖(一寸、鳥渡)→ちょっと
ちょとつもうしん (猪突猛進)→無鉄砲、向こう見ず
ちら・ちり・・ ㊜散らし書き、散らし髪、散り際、ちり取り、ちり紙
ちん・・ ㊜賃貸し、賃借り
ちんぎん (賃銀)→賃金
ちんせい
沈静〔自然に落ち着く〕沈静した空気
鎮静〔人為的にしずめる、おさめる〕鎮静剤、景気の鎮静、設備投資の鎮静
ちんづき ㊎賃づき(搗き)
ちんでん (沈澱)→㊫沈殿
ちんにゅう (闖入)→乱入、侵入、暴れ込む
ちんぶ (鎮撫)→鎮圧

〔つ〕

ついきゅう
追究〔追いきわめる〕真理を追究
追求〔追い求める〕目的を追求、利潤の追求
追及〔追い詰める〕責任を追及、犯人を追及
ついしょう →追従
ついたち (朔日)→㊗一日
つい・・ ㊜追随買い、費やす
ついで ㊖次いで
ついに (遂に)→ついに
つうこう・こうつう
通行〔狭い範囲の個別的、具体的な状態〕通行止め、雪で道路が通行止めになる、通行税、通行人
交通〔広い範囲の総合的、抽象的な状態〕交通禁止、交通違反、交通禍、交通機関、交通事故、交通地獄、交通巡査、交通整理、交通道徳、交通難、交通網、「交通止め」とはしない

つうちょう (通牒)→通達、通告
つう・・ ㊜通常払い、通行止め
つえ (杖)→つえ、ステッキ
つがい (番)→つがい
つかい・つかう
使〔一般用語、主として動詞形〕お使いをする、使い歩き、使い走り、道具を使う、人を使う、道具を使い込む、予算の使い方、使い古し、道路建設に使う予算、金の使い道、大金を使う、現地の言葉を使う、漢字(仮名)を使ってもよい、金を使い込む、使いきれないほどの金、人使い、使い捨て、上目を使う、神経・気を使う、人形を使う、人形の使い手
遣〔限定用語、主として名詞形〕仮名遣い、金遣い、気遣い、心遣い、小遣い銭、言葉遣い、両刀遣い、むだ遣い、筆遣い、息遣い、気遣う、人形遣い、目遣い
〔注〕「〇〇づかい」は遣、「〇〇をつかう」は使。「気をつかう、神経を

ちょうか・ちょうぎょ　↓釣果、釣魚

ちょうかん　(鳥瞰△)↓見下ろす、鳥観(図)

ちょう・・　㊜帳合い、帳入れ、帳消し、帳付け　腸詰め　ちょう結び

ちょうこう　(徴候)↓兆候

ちょうこうぜつ　(長講舌△、長口説▲▲)↓長広舌

ちょうこく　(調刻▲)↓彫刻

ちょうし　(銚子△)↓ちょうし(酒のちょうし)

ちょうじ　(寵児△)↓人気者、花形
(弔詞)↓弔辞

ちょうしゅう
徴収〔取り立てる〕会費を徴収、税金を徴収
徴集〔呼び集める〕人員を徴集、予備役兵を徴集

ちょうしょう　(嘲笑△)↓冷笑、あざ笑い

ちょうじり　(帳尻△)↓帳じり

ちょうせい
調製〔作る、㊟作成〕選挙人名簿を調製、土産品の調製
調整〔調べ整える〕意見を調整、発動機を調整

ちょうだい　(頂戴△)↓頂く、ちょうだい

ちょうだのれつ　(長蛇△の列)↓長い列

ちょうちん　(提灯・・)↓ちょうちん、小田原ぢょうちん

ちょうど　(副)(丁度)↓ちょうど

ちょうび　(掉△尾△)↓最後、最終

ちょうふ　(貼△付)↓張り付ける

ちょうふく　(重復▲)↓重複

ちょうへん　(長篇△)↓長編

ちょうほう　(調法)↓重宝
(諜報△)↓秘密情報、情報(局)

ちょうぼう　(眺望△)↓展望、ながめ

ちょうもんかい　(聴問会▲)↓聴聞会

ちょうらく　(凋落△)↓衰微、没落、落ち目

ちょうりょう　(跳梁△)↓横行、はびこる、のさばる

ちょうろう　(嘲△弄△)↓ばかにする、あざける、からかう

ちょくじょうけいこう　(直情経行▲)↓直情径行

ちょすいち　(貯水地▲)↓貯水池

ちょっかん
直観〔推理、経験によらず直接に本質をとらえる〕直観教育、直観主義、直観的、真理を直観
直感〔理性を働かすというより、感覚的に感じ知る〕寒さを直感、危険を直感

ちょっけい　(直経▲)↓㊫直径

作〔創作、こしらえる、規模の小さいもの〕歌を作る、規則を作る、米を作る、人形を作る、文を作る、作り話、生け作り、花作り、作り笑い
造〔造成、いとなむ、規模の大きいもの〕石造り、国造り、酒を造る、庭を造る、船を造る、荷造り、道を造る、財産造り、身代を造る、みそを造る
〔注〕「小づくりの人間、人づくり」などは仮名書き

つくり・・ (送)作・造り方、作り事、作・造り付け、作・造り直し、作り物、造り酒屋

つくろう ↓繕う、繕い物

つけもの (漬け物)↓つけ物

・・っこ ↓かぎ・カギっ子、ちび・チビっ子、江戸っ子、パリっ子

つごう ↓都合

つじごうとう (辻強盗)↓つじ強盗、路上強盗

つちかう ↓培う

つちくれ (＊土塊)↓土くれ

つち・・ (送)土煙、土運び、土踏まず、土盛り

つづき・・ (送)続き物、続けざまに、続き柄、続き具合

つつしむ
慎〔抑制する〕言葉を慎む、酒を慎む、慎み深い、身を慎む、慎みのない人
謹〔恭しい〕謹んで聞く、謹んで祝意を〔表す

つつしんで (副)謹んで

つっ・・ (送)突っ切る、突っ込む、突っ張る

つつぬけ (送)筒抜け 「包み隠す

つつみ・・ (送)包み紙、包み替え、

つづらおり (九十九折り)↓つづら折り 「り方

つづりかた (綴り方)↓作文、つづ

つて (伝手)↓つて

つど ↓都度、その都度

つどう(い) ↓集う、夕べの集い

つとに (副)(夙に)↓つとに

つとめる
努〔努力〕完成に努める、解決に努める、努めて早起きする、練習に努める
勤〔勤労〕朝のお勤め、会社に勤める、勤め口、勤め人、勤め先
務〔任務〕議長を務める、主婦の務め、主役を務める、大臣を務めたことがある

つとめて (副)努めて

つな・・ (送)つなぎ売り、綱引き、綱渡り

つなみ (津浪)↓(学)津波

つねに (副)常に、常々

つの・・ (送)角隠し、角突き合い

つぶさに (具に、備に)↓つぶさに

つぶす (潰す)↓つぶす

つぼ・つま・・ (送)つぼ焼き、坪刈

つかう」など「使」では抵抗を感じ
るときは仮名書きでよい。

つかのま　（束の間）↓つかの間

つかまる　↓捕まる、捕まえる

つかむ　（摑む）↓つかむ　「す

つかわす　↓遣わす、使者を遣わ

つきおくれ　（月後れ）↓(統)月遅れ

つき・・　(送)月並み、月掛け（貯金）、月越し物、月払い、月割り、月初め、月替わり　尽き果てる　突き当たり、突き合わす、突き落とす、突き倒し、突き出す、突き通す、突き飛ばす、突き止める、突き抜ける、突き果てる

つぎき　（継ぎ木）↓接ぎ木

つぎつぎに　(副)次々に

つきやま　↓(慣)築山

つく　（衝く）↓突く

つくづく　(副)つくづく

つく・つける

付〔付着〕顔に墨が付く、片付ける、色を付ける、条件を付ける、帳付け、付け届け、名付け親、火が付く、味方に付ける、寄せ付けない、利息が付く

着〔着用、到着〕足が地に着かない、衣装を着ける、落ち着く先、仕事が手に着かない、席に着く、知識を身に着ける、手紙が着いた、船を着ける

就〔おもむき従う〕外野の守備に就く、帰途に就く、職に就く、緒に就く、病の床に就く、任務に就く

〔注〕

「…が付く、…を付ける」は「つく、つける」と仮名書きでよい。気がつく、板につく、けりをつける、高くつく、言いつける、行きつけの店、縁づく、駆けつける、活気づく、体つき、ことづけ、言葉づき、つけあがる、決断がつく、踏みつける、まごつく、目つきが悪い—など接頭・接尾・補助動詞はなるべく仮名書き

つき・つく・つけ・・　(送)付添【人】（付添人、付添婦、付添看護婦など）

付き人、付き合い、付き添う、付け合わせ、付け人、付け紙、付け景気、付け焼き刃、付け加え、付け届け、付け足す、付け根、付け出す、付け替え

【重役】付、【〇日】付

つぐ

次〔順次〕相次ぐ事件、取り次ぐ、地震に次ぐ津波、富士山に次ぐ山

継〔継続〕家業を継ぐ、継ぎを当てる、継ぎはぎ、夜を日に継いで、継ぎ目、跡目を継ぐ　布を継ぐ

接〔接続〕接ぎ木、骨接ぎ、接ぎ台、接ぎ穂、われ物を接ぐ

つぎ・つぐ・・　(送)次、次々に、次の通り、次ぐ

継ぎ合わす、継ぎ足す、継ぎ手、継ぎ歯、継ぎ物

接ぎ木、接ぎ布、接ぎ穂

つくる

れ(金)、手配り、手繰り網、手ごたえ、手探り、手触り、手じまい、手刷り、手違い、手付け、手伝い、手続き、手詰まり、手取り(金)、手直し、手投げ弾、手習い、手縫い、手抜かり、手始め、手放し、手引きする、手振り、手招き、手回し、手回り(品)、手持ち(品)、手盛り、手分け、手並み、手つき

で・・ (送)出合残高、出入り、出入り口、出語り、出来上がり、出来過ぎ、出盛り、出来栄え、出渋る、出過ぎ、出回る、出戻り、出初め式、出迎え

ていかいはつこく ⊗(低開発国)↓発展途上国(開発途上国を使う場合もある)

ていかん (諦△観)↓達観、悟り、あきらめ

ていけい (梯△形)↓㊫台形

ていげん (逓△減)↓逓減(法則)、〔漸減

ていさい (態・裁)↓体裁

ていじ (呈示)↓(法)提示

ていしゅつ (呈出)↓(法)提出

ていしょく (牴△触、觝△触)↓(法)抵触

ていしん (挺△身)↓捨て身、てい身

ていしん (逓△信)↓逓信

ていせい (帝▲制)↓帝政

ていたい (低滞)↓停滞

ていだん (鼎△談)↓座談、てい談

ていちょう (鄭△重)↓丁重

ていてつ (蹄△鉄)↓てい鉄

ていとん (停頓△)↓停滞

ていねい (叮△嚀△)↓丁寧

でいねい (泥濘△)↓ぬかるみ

ていねん (停年▲)↓(法)定年

ていのう (低脳▲)↓低能

ていはく (碇△泊)↓㊫(法)停泊

ていへん (低辺▲)↓底辺

ていよく (副)(態・よく)↓体よく

ていりつ
定率〔一定の割合〕関税定率
定律〔定まっている法則、仮説に対する〕オームの定律

デカ ⊗(デカ)↓刑事

てがかり (手懸かり)↓(統)手掛かり

てかせぎ (出稼△ぎ)↓出かせぎ

てがら ↓手柄

できあき ↓出来秋

てきがいしん (敵愾△心)↓敵意、敵対心

てきかく (適確)↓的確

てきぎ (副)適宜

できごころ ↓出来心

てきざいてきしょ (適才▲適所)↓適材適所

できし (溺△死)↓水死

り、つまみ食い
つみ・・ (送)**積立**(金)、積み替え、積み上げ、積み金、積み木、積み草、積み肥、積み込み、積み出し、積み立てる、積み荷、積み残し
摘み入れ、摘み草
罪作り、罪滅ぼし
つまずく (仮)つまずく(躓く)
つまむ (摘む)↓つまむ
つむじ (*旋毛)↓つむじ
つむじかぜ (*旋風)↓つむじ風
つめ・・ (送)**【支店】詰**(役職)
詰め合わす、詰めえり、詰め替え、詰めかける、詰め切る、詰め込み、詰め物、詰め将棋、詰め手、詰め腹、詰め寄る、詰め所
つめる
詰める＝ビンに詰める
つめる＝思いつめる、見つめる

つもり (*心算)↓積もり
つや (艶)↓つや
つゆ ↓(慣)梅雨
↓通夜
つゆ・・ (送)露払い
梅雨明け、梅雨晴れ
つら ↓面、面魂、面当て、面構え、面汚し、面つき、面憎い
つらい (辛い)↓つらい
つらら (*氷柱)↓つらら
つるしあげ (吊し上げ)↓つるし上げ
つり・・ (送)つり合い、つり上げる、つり鐘、つり革、つり下げる、つり出し、つり手、つり橋、つり輪
【釣具】店(職業)、釣り糸、釣り落とす、釣りざお、釣り針、釣り堀、釣り銭、釣り人、釣り舟・船、釣り道具、釣り手、釣り場、魚を釣り上げる
つれ・・ (送)連れ合い、連れ子、連れっ子、連れ込み、連れ添う、連れ立つ、連れ弾き
つれづれ (*徒然)↓つれづれ
つわり (*悪阻)↓ツワリ

〔て〕

であい 〔注〕「あい」の項参照
出会い＝人と人との出会い
出合い＝出合い頭、川と川との出合い、新聞との出合い、出合い茶屋
て・・ (送)**手当**(金銭)、**手付金**、**手引**(書名など)、手際、手先、手当たり次第、手当てする、手編み、手洗い(所)、手合い、手合わせ、手入れ、手負い、手打ち、手遅れ、手押し車、手落ち、手踊り、手織り、手掛かり、手切

てんけい　(添景)→点景
てんけい
　天啓〔天の啓示〕天啓がひらめく
　天恵〔天の恵み〕豊かな天恵
てんけん　(天嶮)→天険
でんげん　(電原)→電源
てんさいとう　(甜菜糖)→テン菜糖、ビート糖
てんしゅかく　(天主閣)→天守閣
てんしゅきょう　(天守教)→天主教
てんしんらんまん　(天心爛漫)→天真らんまん
てんせい　(天成)→天性
てんぜん　(恬然)→平然、超然
てんたん　(恬淡)→淡泊、あっさり
てんてこまい　(転手古舞、天手古舞)→てんてこ舞い
てんてつき　(転轍器、転轍機)→ポイント、転てつ機

てんてんと
　転々と＝球が転々と転がる
　点々と＝血の跡が点々と
てんとう　(顛倒)→転倒
でんどう
　伝道〔教義などを広める〕仏教の伝道、伝道師
　伝導〔伝わってゆく現象〕熱・電気などの伝導
　伝動〔動力を他の部分に伝える〕伝動装置
でんぱ　(伝播)→広がる、波及
てんびき　→天引き、天引き貯金
てんびん　(天秤)→[学]てんびん
てんぴん　(天稟)→天分、生まれつき
てんぷく　(顛覆)→[法]転覆
でんぷん　(澱粉)→[学]でんぷん
てんぽ　(店鋪)→店舗
てんません　→[慣]伝馬船
てんまつ　(顛末)→[法]始末、いきさつ、経緯
てんめん　(纏綿)→こまやか
てんらく　(顛落)→転落

〔と〕

とあみ　→[慣]投網
と・・　[送]ト書き、戸締まり、戸惑い
ど・・　[送]度合い、度外れ、度忘れ
といし　(砥石)→[学]ト石
とい・・　[送]問屋、問い合わす、問い合わせ状、問いかけ、問い詰める
どう・・　[送]胴上げ、胴締め、胴震い、胴巻き、胴回り
とうかい　(倒潰)→倒壊
とうかしたしむ　(灯下親しむ)→灯火親しむ
どうかせん　(道火線)→導火線

てきしゅつ （剔△出）→摘出、えぐり出す
てきじょう （敵状）→敵情
てきせい 適性〔それに適した性質〕適性検査
適正〔適当で正しい〕適正価格
てきちゅう （適中）→的中
できね →出来値
できばえ →出来栄△え
てきめん （覿△面）→てきめん
できもの （腫△物、出来物）→できもの、おでき
てきよう 摘要〔要点の抜き書き〕摘要メモ
適用〔規則などにあてはめる〕法の適用を誤る
できる →出来る、できる
出来〔名詞形〕出来秋、出来高、出来心、出来事、出来上がり、上出来、不出来
できる〔可能、動詞形〕…できる、できる限り、できよう、できた、…できる―など、なるべく仮名書き。

てぐりあみ （手操▲り網）→手繰り網
てこ （梃△子）→㊫てこ、テコ
てごたえ （手応•え）→手ごたえ
てごわい （手強•い）→手ごわい
てさげ →手提げ
でし →弟子
てじまい （手仕舞い）→手じまい
でぞめしき →出初め式
てちょう （手帖△）→手帳
てっかい （徹▲回）→撤回
てっかく （適確）→的確
てっこうせき （鉄鋼▲石）→鉄鉱石
てっしゅう （徹▲収）→撤収
てったい （徹▲退）→撤退
てつだう →(慣)手伝う
でっち （丁稚▲）→でっち
てってい （撤▲底）→徹底
てっぱい （徹△廃）→撤廃
てづる （手蔓△）→手づる、縁故

てなずけ （手懐•け）→手なずけ
てぬぐい （手拭△い）→手ぬぐい
てはじめ （手初め）→(統)手始め
でばな →出鼻、半島の出鼻
でばなをくじく （出端•をくじく）→出ばなをくじく
てばなす （手離す）→手放す
てもと （手許•）→手元
てら・てり・・ (送)照らし合わす、照らし出す、照り返し、照り焼き、照りつける　寺参り
てらこや （寺小▲屋）→寺子屋
・・てん (送)【釣具】店（職業）
てんい 転位〔位置が変わる〕胎児の転位
転移〔他の場所に移る〕ガンの転移
てんか （転稼▲）→転嫁
てんかい （転開△）→展開
てんかん （癲△癇△）→テンカン
てんぐ （天狗△）→てんぐ

どうひょう (導標)→道標
とうひょうばこ (投票函)→投票箱
とうふ →豆腐
とうぶん ⦅副⦆当分
とうほん (騰本)→謄本
どうもう (獰猛)→どう猛、猛悪
とうや (陶冶)→錬成、鍛錬
とうゆ (桐油)→⦅学⦆キリ油、とう油
とうよう (登庸)→登用
とうりゅう (逗留)→滞在
とうりょう (棟梁)→(大工の)親方
とうろう (灯籠)→灯ろう
とえはたえ →⦅慣⦆十重二十重
とおざかる (遠去かる)→遠ざかる
とおざける (遠避ける)→遠ざける
とおまき (遠回き)→遠巻き
とお・・ ⦅送⦆遠のく、遠乗り、遠回し、遠回り、遠め
とおし・とおり・・ ⦅送⦆通し切符、通し狂言、通り雨、通り掛かり、通り過ぎる、通り相場、通り抜け、通り道
とおる (透る)→とおる
とかく ⦅副⦆(兎角)→とかく
どかた ⊗(土方・土工)→建設労務者、土建労務者、労務者、作業員
とき
時〔時期、時刻をはっきり示す場合〕実行の時、時の問題、時は金、(今を)時めく、何時(なんどき)
とき〔助詞的に使う場合〕衆院解散のときは、ときに、帰ってきたときには、…したとき、胸がときめく
とき・・ ⦅副⦆時折、時たま、時々、ときどき
とき・・ ⦅送⦆解・溶き方、解き物、説き伏せる、説き明かす
どぎも (度胆)→度肝
どきょう →⦅慣⦆読経
ときわず (常磐津)→常磐津
とぎ・とぐ・・ ⦅送⦆【研】師(職業)、研ぎ物、研ぎ上げる、研ぎ澄ます、研ぎ直す
とく・とける
解〔とけてなくなる、解決〕疑いが解ける、氷が解ける、難問を解く、任を解く、包囲が解ける、結び目を解く、雪解け、解け合い、ひもが解ける
溶〔とけ合う〕絵の具を溶く、砂糖が水に溶ける、地域社会に溶け込む、鉄を溶かす、雪を溶かして水にする
とくい (＊顧客、華客)→得意
どくが (毒牙)→毒手、魔手
どく・・ ⦅送⦆毒消し、毒する、毒づく
とくしか (特志家)→篤志家
とくしゅ (特種)→特殊
どくしゅう (独修)→独習
とくしょく (瀆職)→⦅法⦆汚職

とうかつ　(統轄)↓(法)統括
どうかつ　(恫喝、恫愒)↓脅す
とうき　(謄貴)↓騰貴
(冬期)↓(統)冬季
どうき　(動悸)↓どうき、鼓動
どうぎ　(＊胴衣)↓胴着(救命胴衣は別)
どうきゅう　(撞球)↓玉突き
どうぐだて　(送)道具立て
どうくつ　(洞窟)↓洞くつ、洞穴、ほら穴
どうけ　↓道化
とうけい　(東径)↓東経
どうけい　(憧憬)↓あこがれ
とうげんきょう　(桃原境)↓桃源郷
どうこう　(瞳孔)↓ひとみ
どうこういきょく　(同巧異曲)↓同工異曲
とうさい　(搭載)↓積載
どうさつ　(洞察)↓洞察、見通し、見抜く

とうじ　(杜氏)↓とうじ
どうし　同士(仲間、種類)男同士、同士打ち
同志(志を同じくする者)同志の人々、同志の首領
どうしうち　(同志討ち)↓同士打ち
とうしゃ　(謄写)↓謄写
とうしゅう　(蹈襲)↓踏襲
とうじょう　(搭乗)↓乗り込み、乗り組み
とうじょうしゃ　(搭乗者)↓乗員
どうせい　(同棲)↓同居、一緒になる
(動勢)↓動静
とうせん　(当籤)↓当選、くじに当たる
とうぜん　(副)当然
とうそう　(凍瘡)↓凍傷
(痘瘡)↓天然痘、ホウソウ

とうそつ　(統卒)↓統率
とうた　(淘汰)↓整理、とうた
とうだいもり　↓灯台守
どうちゃく　(撞着)↓食い違い、矛盾
とうつう　(疼痛)↓痛み、うずき
とうてい　(副)到底
とうてき　(投擲)↓投てき
とうてん　↓読点
とうとい・とうとぶ　↓「たっとい・たっとぶ」の項を参照
とうとう　(副)(到頭)↓とうとう
とうとつ　(唐突)↓唐突、突然、だしぬけ、いきなり
とうどり　(送)頭取
とうはん　(登攀)↓よじ登る、登高、登山
とうび　(掉尾)↓最後、最終
とうびょう　(投錨)↓停泊、入港

とどけ・・ (送)〔欠席〕届（書式）、届け先、届け書、届け済み、届け出、届け出る

ととのう・ととのえる
整〔整理、まとめる〕準備が整う、体調を整える、隊列を整える、整った文章、容儀を整える、身辺を整える
調〔調達、そろえる〕味を調える、家財道具が調う、資金を調える、商談が調う、晴れ着を調える、調子が調う

となり・・ (送)隣、隣組、隣村、両隣、隣同士、隣り合う、隣り合わせ、隣る

どなる ↓怒鳴△る

とにかく (副)（兎△に角）↓とにかく

どの (連)どの

どのう （土嚢△）↓土のう、土袋

とば （賭△場）↓ばくち場

とばく （賭△博）↓ばくち、(法)とばく

とぶ
飛〔飛行、飛躍〕アフリカに飛ぶ、家を飛び出す、うわさが飛ぶ、空飛ぶ円盤、飛び石連休、鳥が飛ぶ、犯人の高飛び、飛び上がる、飛び入り、飛び掛かる、飛び越える、飛び乗り、飛び降り、飛び回る、飛び切り、飛び込み、飛び立つ、飛び降り自殺
跳〔跳躍〕カエルが跳ぶ、跳び上がって喜ぶ、跳びはねる、寝床から跳び起きる、みぞを跳び越す、なわ跳び

とび・・ (送)飛び技、飛び魚、飛び込み台、飛び出しナイフ、飛び地、飛び道具、飛び火
跳び回る、跳び箱、跳びはねる

とびいたとびこみ （飛び板飛び込み）↓板飛び込み

どひょう・・ (送)土俵入り

どぶろく （＊濁酒）↓どぶろく

とほうもない ↓途方もない

とまどう （戸迷う、途惑う）↓戸惑う

とまる・とめる
止〔一般用語、停止〕息を止める、けんかを止める、交通が止まる、水道が止まる、立ち止まる、通行止め、止まり木、止め相場、止めどがない、鳥が木に止まる、流れを止める、筆を止める、笑いが止まらない、土止め工事、書き止める、射止める
留〔留置〕命を取り留める、獲物を仕留める、気にも留めない、警察に留め置く、留め金、留めそで、留め針、目に留まる、書き留める、歩留まり、留め置き、ボタンを留める
泊〔宿泊〕客を家に泊める、宿直室に泊まる、泊まり重ね、泊まり客、船が港に泊まる

とみくじ （富籤△）↓富くじ

とめる （停める）↓止める

ともかせぎ （共稼△ぎ）↓共かせぎ、共働き

とも・・ (送)共切れ、共食い、共倒れ、供回り　友引

どくぜつ　（毒説▲）↓毒舌
どくせんじょう　（独擅△場）↓独壇場、独り舞台
どくだんせんこう　（独断先行▲）↓独断専行
とくちょう
特長〔特別な長所〕
特徴〔特に目立つ点〕
とくと　副（篤と）↓とくと
とくとう　（禿△頭）↓はげ頭、トク頭（病）
どくとく　（独得）↓独特
とくに　副特に
どくみ　（毒見）↓毒味
とくようひん　（得用品）↓徳用品
とくようまい　（特▲用米）↓徳用米
とくり　（徳利）↓とくり、とっくり
どくろ　（髑△髏△）↓されこうべ、どくろ
とけい　↓慣時計
とこなつ　↓常夏
とこはる　↓常春

とこ・・　送床上げ、床飾り、床の間、床ずれ、床離れ
とこや　⊗（床屋、散髪屋）↓理容（髪）師・店
ところ
所＝所番地、所書き、五キロ離れた所
ところ＝出どころ、居どころ
接ところで、出かけたところ、注意したところが
とさか　（＊鶏冠）↓とさか
とさつ　（屠△殺）↓食肉処理（場）
〔注〕「○○と（屠）場」など固有名詞は別。牛、馬、豚、ヤギを「密殺、薬殺」などの表記はよい。
ドサまわり　⊗（ドサ回り）↓地方巡業
としのいち　（歳の市△）↓年の市
としのこう　（年の劫△）↓年の功（カメの甲より年の功）
とし・・　送年寄（相撲の）、年越し、年ごろ、年回り、年寄り、年忘れ

としゃ　（吐瀉△）↓吐き下し
どしゃぶり　↓土砂降り
どしょうぼね　↓土性骨
どじん　⊗（土人）↓現地人、原住民
とぜつ　（杜△絶△）↓途絶
とそ　（屠△蘇△）↓とそ
とだえる　↓途絶える
とたん　↓途▲端
どたんば　（土断場）↓土壇場
とちかん　↓土地鑑（カン）
とちしゅうようほう　（土地収容▲法）↓土地収用法
とつぐ　↓嫁ぐ、嫁ぎ先
とつじょ・とつぜん　副突如、突然
とっぱん　（凸△版）↓学とっ版
とっぴ　（突飛）↓とっぴ
とつべん　（訥△弁）↓口下手、とつ弁
どて　（土堤）↓土手
とても　副（迚△も）↓とても
どとう　（怒濤△）↓荒波、激浪

どろぼう　(泥坊)→泥棒

どろよけ　(泥除け)→泥よけ

どわすれ　→度忘れ

とんざ　(頓挫)→行き悩み、つまずき

とんし　(頓死)→急死

とんじ　(遁辞)→逃げ口上

とんせい　(遁世)→隠世

とんそう　(遁走)→逃走

とんち　(頓智)→機知、とんち

とんちゃく　(頓着)→とんちゃく

どんな　(運)どんな

とんや　→問屋

どんよく　(貪慾)→強欲、欲ばり

〔な〕

な・・　(送)名取、名折れ、名付け親、名乗る

ない

無〔有の対語〕有ることと無いこと、金が無い、無い物ねだり

亡〔存の対語〕亡き父、亡き人をしのぶ、亡きがら

ない〔助動詞、補助用言の場合〕…でない、…しない、…しれない

ないこう　(内訌)→内紛

内向〔自分の世界に閉じこもろうとすること〕内向的性格

内攻〔病気が身体の内部に広がること〕内攻的症状

ないし　(接)(乃至)→ないし

ないじょう　(内状)→内情

ないしょばなし　(内所話、内緒話)→(統)内証話

ないしんのう　→内親王

なお　(副)(接)(猶、尚)→なお、なおさら

なおる・なおす

直〔一般用語〕悪い癖を直す、書き直す、きげんが直る、故障を直す、仲直り、服装を直す、ゆがみが直る

治〔病気などに〕傷の治りが早い、病気を治す、治らない病気

なか

中〔外に対する〕家の中、中から腐る、中だるみ、中値、中を取る、箱の中身、両者の中に入る

仲〔主として対人関係〕仲が良い、仲たがい、仲間、仲を取り持つ、夫婦の仲、仲店、仲仕、仲直り

なか＝そのなかには、演説のなかで

なか・・　(送)中折れ帽、中継ぎ、中休み、中値

仲買、仲買人、仲人　仲立ち（人）、仲直り、仲働き、仲良し

ながい

長〔短の対語、一般用語〕気が長い、長雨、長生き、長い髪、長談義、長い道中、夜長

永〔特殊用語〕末永く契る、永い歳月、永の別れ、春の日永、永い眠りにつく

なが・・　(送)長持ち、長続き、長引

ともだち　↓(慣)友達、友人たち

ともに　(副)（共に）↓ともに

どよう・・　(送)土用干し、土用休み

とら・・　(送)トラの巻
　捕え方、捕え手、捕われる

とりあえず　(副)（取り敢えず）↓とりあえず　「刺し

とり・・　(送)鳥撃ち、鳥打ち帽、鳥

とりいれ　（穫り入れ）↓取り入れ

とりえ　（取り得、取り柄）↓取りえ

とりきめ　（取り極め）↓取り決め

とりのいち　（酉の市）↓とりの市

とりもの　↓捕物

とりやめ　（取り止め）↓取りやめ

とりわけ　(副)（取り分け）↓とりわけ

とる　（獲る、穫る）↓取る、採る、捕る、とる

とる・とり

取〔一般用語、接頭語〕着物の汚れを取る、位取り、資格を取る、手に取って見る、年を取る、取り落とす、取り片付け、取り越し苦労、取りこぼし、見取り図、メモを取る、国会で取り上げる（採択の場合は採）、取っては投げ取っては投げ、邪魔物を取りのける、三点を取る、摘み取る、取る物も取りあえず、虫を取る（物に付いた虫をとりのける場合）

採〔採取、採用〕血液を採る、決を採る、卒業生を採る、その説を採る、標本を採る、キノコ採り

執〔扱う〕式を執り行う、指揮を執る、事務を執る、筆を執る

捕〔とらえる〕生け捕る、ネズミを捕る、分捕り、捕り手、虫を捕る（捕獲の場合）、飛球を捕る、鯨を捕る

撮〔撮影〕映画を撮る、写真を撮る

〔注〕「取る、採る、捕る」は対象、状態、態度によって使い分ける。一般には「取る」が望ましい。

とり・・　(送)**取扱**《高》、**取扱注意**、**取組**《残》、**取組**（相撲、経済）、**取締**（相撲の）　**取締【役】**、**取調【官】**、**取次**《店》、**取引**、**取引所**、取り扱う、取り合わせ、取り入れ口、取りえ、取り置き、取り押える、取り戻す、取り返す、取り掛かる、取り囲む、取り片付ける、取り決め、取り口、取り組む、取り消し、取り換・替え、取り込み詐欺、取り壊し、取り下げ、取りざた、取り静・鎮める、取り締まる、取り調べる、取り高、取り立て金、取り次ぐ、取り繕う、取り付け工事、取り手、取り留める、取り直し、取り残し、取り除く、取り計らう、取り払い、取り分、取り巻き、取り乱す、取り持ち

どれい　（奴隷）↓奴隷

とれつ　（堵列）↓整列

どろじあい　（泥試合）↓泥仕合

どろなわ　（泥縄）↓泥なわ

ななまがり　(送)七曲がり

なに・なん
何〔不定のものをさす場合〕何、何者、何物、何事、何程、何時（なんじ、なんどき）、何本、何十、何点、何キロ、何千本、何曜日、何回、何度、何年、何人、何気なく、何心なく、何さま、何々の事件、何びと

なに・なん〔副詞的に使う場合〕なにかと、なにかは、なにかにつけ、なにくれ、なに食わぬ顔、なにしに、なにしろ、なにせ、なにとぞ、なにに、なに一つ、なにぶん、なにも、なにやかや、なにゆえ、なにより、なにはさて
なんと、なんとかして、なんとも、なんら、なんの、なんにも、なんとなく、なんだか、なんで、なんでもない

なにわぶし　（浪花節）→浪曲、浪花節

なのる　→名乗る

なま・・　(送)生揚げ、生暖かい、生意気、生臭い、生煮え、生焼け、生酔い
怠け者、怠け癖、怠け心

なまづめ　(仮)生ヅメ（爪）

なまはんか　（生半可）→なまはんか

なまびょうほう　→生兵法

なみ・・　(送)並木、並足、並幅、並肉、手並み、月並み、足並み、家並み、並み居る、人並み、毛並み、軒並み、並外れ、並の肉、並の人、並々ならず、並たいてい、
波打ち際、波よけ、波乗り、波立つ、波の花

なみなみと　(副)なみなみと、なみなみと水を注ぐ

なむさんぼう　→南無三宝

なめらか　→滑らか、滑らかに滑る

なや　（納家）→納屋

ならう
習〔習得〕習い覚えた技術、習い性となる、習わぬ経を読む、ピアノを習う、見習う、言い習わす
倣〔模倣〕前例に倣う、右へ倣え

ならく　（奈落）→どん底、ならく

ならす　→慣らす、体を慣らす
（馴らす）→ならす、馬をならす

ならびに　(接)（並びに）→ならびに、AならびにB

ならび・ならべ・・　(送)並び大名、並び立つ、並びない、並べ立てる

なり・なる・・　(送)鳴子、鳴り物入り、鳴り渡る、鳴り響く
成り上がり、成り代わる、成り切る、成り金、成り下がる、成り立ち、成り立つ、成り手、成り行き

なる　（成る）→なる、…にな

く、長め
ながうた　(長唄△)↓長唄
なかし　(中仕)↓仲仕
なかたがい　(仲違•い)↓仲たがい
なかなか　〔副〕(中々)↓なかなか
ながながと　〔副〕長々と
ながねん　(長年)↓永年
なかば　(央•ば、中ば)↓半ば
なかみ　(中味)↓中身
ながめる　(眺△める)↓ながめる
ながや　(長家)▲↓〔学〕長屋
なかよし　(仲好し)↓仲良し
ながら　〔副〕ながら
ながらえる　↓永らえる、命を永らえる
ながらく　〔副〕長らく
ながし・ながれ・・　〔送〕流し網、流し目、流れ込む、流れ造り、流れ星、流れ弾、流れ着く
なき・・　〔送〕泣き明かす、泣き落とし、泣き顔、泣き暮らす、泣き上戸、泣き声、泣き言、泣き叫ぶ、泣き寝入り、泣きまね、泣き虫、泣き別れ、泣き笑い、泣き面、鳴き交わす、鳴き声、鳴き立てる
「た
なぎなた　(長刀、薙△刀)↓なぎなた
なぐり・・　〔送〕殴り掛かる、殴り込み、殴り殺す、殴り倒す
なげ・・　〔送〕投げ足、投げ入れ、投げ売り、投げ掛ける、投げ首、投げ込む、投げ捨て、投げ出す、投げ飛ばす、投げやり、投げ技
なげく　(歎△く)↓嘆く、嘆かわしい、嘆き暮らす
なこうど　↓〔慣〕仲人
なごり　↓〔慣〕名残
なさ・・　〔送〕情け知らず、情け深い
なし・・　〔送〕なし崩し、成し遂げる
なじみ　(馴△染み)↓なじみ
なずむ　〔仮〕なずむ(泥•む)
なぜ　〔副〕(何故)↓なぜ
なだい　名題＝名題の役者
名代＝名代の桜もち
なだれ　↓〔慣〕雪崩（雪崩「れる」などと動詞には使わない＝なだれる、なだれ込む）
なついん　(捺△印)↓〔法〕押印
なつかしい　↓懐かしい
なつく　↓懐く
なっせん　(捺△染)↓〔学〕なっせん、プリント
なっとう　↓納豆
なっとく　↓納得
なつ・・　〔送〕夏負け、夏向き、夏休み
など　(等•)↓など
ななくさ　(七種•)↓七草
ななころびやおき　↓七転び八起き

になう　（荷負う）→担う、担い手

にほんかいこう　（日本海溝）→日本海溝

にほんだて　（二本建て）→二本立て

にもかかわらず　(接)にもかかわらず

にょうぼう　→女房

にわかあめ　（俄雨）→にわか雨

にんきょう　（任侠、仁侠）→おとこ気、男だて

にんしょう　（任証）→認証（式）

にんよう
任用〔任命し用いる〕要職に任用
認容〔認め受け入れる〕行動を認容

にんぷ　⊗（人夫）→作業員

にんぎょうじょうるり　（人形浄瑠璃）→人形浄瑠璃

にん・・　㊜人気取り、人形遣い

〔ぬ〕

ぬい・・　㊜縫い代、縫い糸、縫い返し、縫い方、縫い込む、縫い付ける、縫い取り、縫い目、縫い紋、縫い針、縫い物、縫い替え

ぬかずく　（額ずく）→ぬかずく

ぬき・ぬぎ・・　㊜抜き足、抜き打ち、抜き衣紋、抜き書き、抜き差し、抜き出す、抜き手、抜き取り（調査）、抜き身、抜き読み、脱ぎ捨てる、はだ脱ぎ

ぬけだす　（脱け出す）→抜け出す

ぬけぬけ　(副)ぬけぬけ

ぬけ・・　㊜抜け穴、抜け駆け、抜け替わる、抜け毛、抜け道、抜け目、抜け出す

ぬすみ・・　㊜盗人（ぬすっと）（ぬすびと）、盗み足、盗み聞き、盗み食い、盗み取る、盗み読み

ぬり・・　㊜【春慶】塗（工芸品の場合）、塗り上げる、塗り替え、塗り方、塗り薬、塗り立て、塗り立てる、塗り付ける、塗り机、塗り直し、塗り盆、塗り物

ぬれぎぬ　（濡れ衣）→ぬれぎぬ

〔ね〕

ね・・　㊜根下ろし、根切り、根差す、根締め、根絶やし、根強い、根無し草、根掘り葉掘り、根っこ、根回し、根分け、根こそぎ、値上がり、値上げ幅、値打ち、値下がり、値下げ、値切る、値積もり、値引き、値踏み、売値、買値、卸値、終値、小売値、始値、建値、引値、寝入りばな、寝起き、寝返り、寝込む、寝転ぶ、寝過ごす、寝覚め、寝つき、寝泊まり、寝冷え、寝ぼけ眼

なれあい　る（助動詞の場合）
（馴れ合い）→なれ合い
なわしろ　→苗代
なわばり　（縄張り）→なわ張り
なわとび　（縄飛び）→なわ跳び
なんぎ　（難義）→難儀
なんぎょうくぎょう　（難業苦業）→難行苦行
なんこう　（難行）→難航
なんど　→納戸
なんどき　→何時

〔に〕

に・・　㊜荷受《機関》、荷送り人、荷揚げ、荷受け、荷卸し、荷造り（費）、荷積み、荷扱い（所）、荷送り、荷降ろし
二階屋、二階造り、二階建て、二重回し、二段抜き、二丁投げ、二頭立て、二の替わり、二の次、二の舞い、二本立て
似合い、似通う、似寄り
にいさん　→(慣)兄さん
にいづま　→新妻
にえ・・　㊜煮え返る、煮返し、煮え立つ、煮え湯、煮出し汁、煮付け、煮干し、煮しめ、（業を）煮やす
におい　（匂い、臭い）→におい
におう　→仁王
にが・・　苦り切る、苦笑い、苦み走る、苦々しい
にぎやか　（賑やか）→にぎやか
にぎ・・　㊜握りずし、握り飯、握りこぶし
にくしん　（肉身）→肉親
にくはく　（肉迫）→肉薄
にく・・　㊜肉入り、肉切れ、肉好き、肉付き
憎まれ口、憎らしい、憎まれっ子、憎々しい
にげ・・　㊜逃げ足、逃げ口上、逃げ切り、逃げ腰、逃げ支度、逃げ出す、逃げ延びる、逃げ回る、逃げ道、逃げ惑う
にご・・　㊜濁り酒、濁り水
ニコヨン　⊗（ニコヨン）→失対労務者
にしきえ　（錦絵）→にしき絵
にせさつ　→偽札
にそくさんもん　（二足三文）→二束三文
にたき　→煮炊き
にっせん　⊗（日鮮）→日朝、日本・朝鮮
にっしょく　（日蝕）→日食
にっしんげっぽ　（日新月歩）→日進月歩
にとうだて　（二頭建て）→二頭立て

のどか　（長閑）→のどか

のばす・のびる

伸〔縮の対語、主として縦の関係〕学力が伸びる、髪を伸ばす、経済の伸び率、身長が伸びる、勢力を伸ばす、草木が伸びる、手足を伸ばす、伸び上がる、ぐったり伸びる、伸び伸びと育つ、日脚が伸びる、伸び悩む

延〔延長、主として横の関係〕会期が延びる、出発を延ばす、寿命が延びる、地下鉄が郊外に延びる、九州へ足を延ばす、日限が延びる、延び延びになる、梅雨前線が延びる、航空路が延びる、クリームを延ばして使う

のび・・　(送)延・伸び切る、伸び縮み、伸び悩み、延べ金、延べ人員、延べ坪、延べ日数、延べ払い

のびのびと　(副)伸び伸びと

のびのびに　(副)延び延びに

のべ　→野辺

のほうず　（野放途）→野放図

のぼす・のぼる

上〔下ろす・下りるの対語〕川を上る、坂を上る、食ぜんに上す、水銀柱が上る、損害一億円に上る、日程に上る、上り坂、上り調子、階段を上る、屋根に上る、城に上る、出世コースを上る、うなぎ上りの物価（比ゆ的に使う場合）、石段を上る

登〔よじのぼる〕演壇に登る、木に登る、コイの滝登り、山に登る、登り詰める

昇〔降の対語〕天に昇る、日が昇る、神殿に昇る、エレベーターで昇る

〔注〕コイのぼり（幟）、のぼせ上がる——などは仮名書き

のぼり・・　(送)上り下り、上り坂、上り列車　登り口

のぼせあがる　（逆上）→のぼせあがる

のみ・・　(送)飲み明かす、飲み食い、飲み薬、飲み下（くだ）す、飲み込む、飲み代（しろ）、飲み倒す、飲み手、飲み逃げ、飲み干す、飲み水、飲み物、飲み屋

のら　→(慣)野良、野良仕事

のり　（海苔）→ノリ（植物）、ノリ養殖

のりかえ　（乗り替え）→乗り換え

のりと　→(慣)祝詞

のりまき　（海苔巻）→のり巻き

のる・のせる

乗〔主として行為、動作〕客を船に乗せる、風に乗って飛ぶ、口車に乗る、計略に乗せる、時流に乗る、相談に乗る、電波に乗せる、飛行機に乗る

載〔主として掲載、積載〕網だなに載せた荷物、雑誌に広告を載せる、新聞に載った事件、机の上に載った本

のり・のる・・　(送)乗換駅、乗換券、乗合【船】、乗組員、乗り合い、乗り合わす、乗り入れる、乗り移る、乗り降り、乗り換える、乗り掛かる、乗り気、乗り切る、乗り組む、乗り越す、乗り込む、

ねあせ　(盗汗)↓寝汗
ねえさん　↓〈慣〉姉さん
ねがい・・　〈送〉【退職】願（書式）、願い上げる、願い事、願い下げ、願い出、願い出る
ねぎ　(禰宜)↓神職
ねじる　(捩る)↓ねじる
ねっから　〈副〉根っから
ねっこ　(根っ子)↓根っこ、根っこを抜く、木の根っこ
ねつぞう　(捏造)↓作りごと、でっちあげ
ねばり・・　〈送〉粘り強さ、粘り気、粘り通す、粘つく、粘りつく
ねはん　(涅槃)↓ねはん
ねまき　(寝巻)↓寝間着「まし
ねむり(け)・・　〈送〉眠り薬、眠気覚
ねもと　(根許、根本)↓〈統〉根元
ねらい　(狙い)↓ねらい、ねらい撃・打ち

ねり・・　〈送〉練り歩く、練り糸、練り固める、練り絹、練り直し、練り歯みがき
ねん・・　〈送〉念入り　懇ろに
ねんき　(年季)↓年期
ねんぐ　↓年貢　「ざ
ねんざ　(捻挫)↓くじく、ねん
ねんしゅつ　(捻出)↓工面、算段、やりくり
ねんしょう　(年小)↓年少
ねんねん・・　〈副〉年々、年々歳々、年百年中、年来
ねんぱい　(年輩)↓〈統〉年配
ねんれい　(年令)↓年齢

〔の〕

の・・　〈送〉野良着、野遊び、野荒らし、野育ち、野立ち看板、野垂れ死に、野放し、野焼き

のういっけつ　(脳溢血)↓脳出血、脳イッ血
のうえん　(濃艶)↓あでやか、こってり
のうかっしょく　(濃褐色)↓濃かっ色、濃い茶色
のうしょう　(脳漿)↓脳ミソ、脳ショウ
のうせきずい　(脳脊髄)↓脳セキ髄
のうちゅう　(嚢中)↓懐中
のうり　(脳裡)↓脳裏
のう・・　〈送〉能書き、能無し
のがす・のがれる　↓逃す、逃れる
のきば　↓軒端
のきなみ　〈送〉軒並み
のけもの　(除物、除者)↓のけもの
のこり・・　〈送〉残り物、残り惜しい
のだて　(野点)↓野だて
のち・・　〈送〉後添い、後の世
のちほど　〈副〉後程

用いる

はいすいこう （排水溝△）↓排水溝、排水みぞ

はいせつ （排泄△）↓排せつ、(学)排出

はいたい （胚△胎）↓はらむ、根ざす、兆す

はいだす （這△い出す）↓はい出す

はいち （背馳△）↓背反、反する、背く

はいのう （背嚢△）↓背のう

はいとう・・ (送)配当付き、配当落ち

はいふ （肺腑△）↓肺肝

（配付）↓(法)配布

はいよう （佩△用）↓着用、着ける、帯びる

はいる ↓入る、審議に入る

はいれつ （排列△）↓(統)配列

はうた （端唄△）↓端唄

はえ・はえる

映（反映）朝日に映えて、映え渡る空、夕映え

栄（栄光）栄えある勝利、見事な出来栄え、見栄えがする

はえる・はやす ↓生える、生やす、芽生える、生え抜き、生え際

はえなわ （延縄△）↓はえなわ

はおり ↓羽織

ばか （馬鹿△）↓ばか

はがき （端書、葉書）↓はがき

はかせ ↓(慣)博士

はかない （果敢ない）↓はかない

はがね ↓鋼、鋼造り

はかぶ ↓端株△

はかまいり （墓詣△り）↓墓参り

はかもり ↓墓守

はかる

図（意図、企図）解決を図る、合理化を図る、便宜を図る、自殺を図る、詐欺を図る、身の安全を図る

計（計算、計画）国の将来を計る、時間を計る、計り知れない恩恵、まんまと計られる、利益を計る

測（測定、測量）距離を測る、血圧を測る、水深を測る、標高を測る、面積を測る、真意を測る、人物の才能を測る、測定器・機で測る

量（計量、推量）推し量る、量り売り、目方を量る、容積を量る、升で量る

謀（謀議、謀略）悪事を謀る、暗殺を謀る

諮（諮問）審議会に諮る、皆に諮る

はからずも (副)図らずも

ばかり ↓ばかり、…するばかり（助詞的に使う場合）

はき （破毀△）↓(法)破棄

（覇気）↓闘志、野心、勝ち気、元気、覇気

はき・・ (送)吐き下し、吐き気、吐き出す

掃き立て、掃きだめ、掃き掃除

乗り出す、乗りづめ、乗り手、
乗り回す、乗り物

のれん (暖簾)↓のれん

のろし (狼火、狼煙)↓のろし

〔は〕

は・・ (仮)助詞「は」の用例
あるいは、いずれは、いつかは、おしむらくは、おそらくは、からは、くらいは、こそは、これはこれは、今日は、しばらくは、少しは、だけは、ついては、では、とは、などは、願わくは、望むらくは、のでは、のは、ばかりは、ほどは、または、までは、もしくは、もとは、やがては、よりは

は・・ (送)歯入れ、歯切れ、歯止め、歯並び、歯抜け、歯みがき

ば・・ (送)場合、場立(職業)、場当たり、場慣れ

はあく (把握)↓掌握、握る、つかむ

バーじょきゅう ⊗(バー女給)↓バー従業員、バーホステス

ばい・・ (送)倍増し、倍増し料金、売約済み

ばいいん (売淫)↓(法)売春

ばいえん (煤煙)↓ばい煙、すす

はいか (輩下)↓配下

はいが (胚芽)↓ハイ芽(米)

はいかい (俳諧)↓俳かい、俳句
(徘徊)↓うろつく、ぶらつく

はいき (廃毀)↓廃棄、捨てる

はいきょ (廃墟)↓廃虚

ばいきん (黴菌)↓バイ菌、細菌

はいぐう (配遇)↓配偶(者)

はいけつしょう (肺血症)↓敗血症

はいこう
廃鉱〔鉱山の閉鎖〕(全山の場合は「閉山」「閉鎖」などに言い換える)
廃坑〔坑道の廃止〕

はいざら (灰皿)↓灰ざら

はい・・ (送)灰落とし、灰吹き、灰ならし

はいざん (廃残)↓敗残

はいしつ (癈疾)↓廃疾

ばいしゃく (媒妁)↓媒酌

はいしゅつ
排出〔外へ押し出す〕
輩出〔(人物)が次々に出る、ぞくぞくと出る〕

はいすい・はいえき
排水＝工場排水など一般的に言う場合はすべて「排水」を使う。ただし法律、規制などで使われる「廃水」はそのまま使用
廃液＝工場廃液や法令、規則など固有の名称で「廃」と表記しているときに

はしり・・ (送)走り書き、走り使い、走り出す、走り回る、走り幅跳び、走り高跳び

はず (筈△)↓はず、…するはず

はすう ↓端数

はずかしむ・はずかしめる ↓辱む、辱める

はずむ ↓弾む、弾み、弾み車

はずれる・はずす ↓外す、外れる、道理に外れる

はだ (肌△)↓膚、はだ

膚〔皮膚〕素膚、人の膚、山の膚、膚が荒れる、膚に触る

はだ〔気質、気性、比ゆ的〕はだ合い、はだ色、はだ寒い、はだ触りのよい人、はだ着、はだ身離さず、はだ脱ぎ、学者はだ、地はだ

はたあげ (旗上げ、旗挙げ)↓(統)旗揚げ

はた・・ (送)旗印、旗頭、旗持ち

はたおり (送)機織り

はたきこみ (送)はたき込み

はたち ↓(慣)二十(歳)

ばだち ↓場立(職業)

バタや⊗(バタ屋)↓廃品回収業

はたして (副)果たして

はたし・はてし・・ (送)果たし合い、果たし状、果てしなく

はたけ・・ (送)畑違い、畑作り

はたらき・・ (送)働き手、働き盛り、働きかけ、働き者

はたん (破綻△)↓破れ、つまずき、失敗、破局

はち (鉢△)↓はち、はち合わせ、はち植え、はち巻き

ばちあたり ↓罰当たり

はちみつ (蜂△蜜△)↓ハチミツ

はつ・・ (送)初恋、初氷、初刷り、初参り、初顔合わせ、初物食い、初もうで

はつえんとう 発煙筒〔煙だけを出すもの〕 発炎筒〔煙と火を噴き出すもの〕

はつか ↓(慣)二十日

はつかねずみ (二十日鼠△)↓ハツカネズミ

はっけ (八卦△)↓易、占い

ばっこ (跋扈△)↓横行、はびこる、のさばる

はっこう (醗△酵)↓発酵

(薄倖)↓薄幸

ばっしょう (跋渉△)↓踏破

はっしん (発疹△)↓発シン

ばっすい (抜萃△)↓抜粋

ばってき (抜擢△)↓登用、起用

はってんとじょうこく ↓発展途上国 (開発途上国を使う場合もある)

はっと ↓法度

はっぴ ↓法被

ばつびょう (抜錨△)↓出港、出帆、船出

履き具合

はきもの ↓履物

はぎょう (覇業)↓覇業、偉業

はぎれ ↓端切れ

はく ↓履く、げたを履く

はくあ (白堊)↓(学)白亜

はくしゅばんらい (拍手万来)↓拍手万雷

ばくしょ (曝書)↓(本の)虫干し

ばくしん (驀進)↓突進、猛進

はくせい (剝製)↓はく製

ばくぜん (漠然)↓ぼんやり、ばく然、大よそ

ばくだい (莫大)↓多大、膨大

はくだつ (剝奪)↓はぎ取る、取り上げる、奪う

ばくち (博打)↓ばくち

はくちゅう (伯仲)↓伯仲

はくび (白眉)↓出色、最高、随一

ばくふ (瀑布)↓滝

はくらく (剝落)↓はげ落ちる、はげる

ばくろ (曝露)↓暴露

ばくろう (＊伯楽)↓博労

ばくろん (駁論)↓反論

はけ (刷毛)↓はけ、ブラシ

はげしい (劇しい、烈しい)↓激しい

ばけ・・ (送)化け物、化けの皮

はけん (覇権)↓覇権、王座、優勝、制勝、首位

ばげん (罵言)↓悪口、悪態

はこ・・ (送)箱入り、箱入り(娘)、箱書き、箱詰め、箱乗り、運び賃、運び出す

はこう (跛行)↓ちぐはぐ、不均衡(状態)

はざかいき ↓端境期

はさむ (挾む)↓はさむ

はし・・ (送)端書き、端切れ、端くれ、橋詰め、橋渡し、橋懸かり

はじまる・はじめ・はじめて・はじめる

初〔主として名詞・副詞に〕年の初め、初めての経験、初めに思ったこと、初めの日、物事の初め、初めて知った

始〔主として動詞に〕式が始まる、仕事を始める、手始め、始めと終わり、また始まった

はじめ・・ (送)始値、歌会始、御用始め

・・はじめ …をはじめ(接尾語的に)

はじめて (副)初めて

はしゃ (覇者)↓覇者、優勝者、王者

はしゅ (播種)↓(学)(法)種まき

はしり (走り)↓はしり、(春闘の)はしり、(時期もの)はしり

早〔主として時間的〕足早に立ち去る、時期が早い、時刻を早める、期日が早まる、気が早い、早変わり、早口、早死に、早回り競争、早めに来る、矢継ぎ早、早起き、早帰り、早咲き、早死に、出足が早い、火の回りが早い
速〔主として速度関係〕決断が速い、球が速い、テンポが速い、流れが速くなる、速足、速い動作、歩度を速める、台風が速度を速めて、車の速さ

はや　㊀(早)↓はや、もはや
はやく　↓端役
はやて　(＊疾風)↓はやて
はやり　(＊流行)↓はやり
はやばやと　㊀早々と
はやわざ　↓早業
はら　(肚)↓腹
はら・・　㊇腹当て、腹合わせ、腹掛け、腹切り、腹下し、腹立ち、腹違い、腹積もり、腹巻き、腹黒い、腹ごしらえ

はらい・・　㊇払込《金》、払戻《金》
支払《伝票》、**仮払**《伝票》、一時払い、払い込む、払い下げ(品)、払い出し(人)、払い戻す、払い物、払い渡し、月賦払い
はらん　(波瀾)↓波乱
ばり　(罵詈)↓悪口、ののしる
はり・・　㊇**張出【横綱】**、張り合い、張り替え、張り切る、張り子、張り込み、張り裂ける、張り出し、張り番　針刺し
はりがみ　(貼り紙)↓張り紙
はるか　(遥か)↓はるか
はるばる　(遥々)↓はるばる
はるさめ　↓春雨
はれ・・　㊇晴れ着、晴れ間、晴れ上がる、晴れ姿、晴れ晴れしい、晴れ渡る
ばれいしょ　(馬鈴薯)↓ジャガイモ
はわたり　㊇刃渡り

はん
判〔用紙の規格、大きさ〕新書判、B5判、タブロイド判、ブランケット判
版〔印刷の原版、種類〕出版、製版、絶版、グラビア版、オフセット版
はん・・　㊇半殺し、半つき米、半煮え、半焼け
判じ絵、判じ物、判取り帳
ばん・・　㊇番組、番付、番狂わせ
はんえい　(反影)↓反映
はんが　(板画)↓㊕版画
ばんか　(挽歌)↓ばん歌
ばんかい　(挽回)↓ばん回、盛り返し、回復、立て直し
はんき　(叛旗)↓反旗
はんぎ　(板木)↓版木
はんぎゃく　(叛逆)↓反逆
はんけい　(半経)↓㊫半径
はんこん　(瘢痕)↓傷跡
はんさ　(煩瑣)↓繁雑

はっぷん　(発憤)→発奮
はつもうで　(初詣)→初もうで
はつらつ　(溌剌、溌溂)→活発、はつらつ
はで　→派手
ばてい⊗(馬丁)→馬手
ばていけい　(馬蹄形)→U字形
はてんこう　(破天候)→破天荒
はとう　(波濤)→波浪
ばとう　(罵倒)→ののしる
はとば　→〈慣〉波止場
はな
花〔一般用語、主として植物〕花形、花が散る、花の五人衆、花の都、花道、花も実もある、花を添える、ひと花咲かせる
華〔比ゆ、形容詞、主として神髄、精華〕火事は江戸の華、華々しい、華やか、華やぐ、武士道の華、文化の華
はな・・　〈送〉花合わせ、花曇り、花盛り、花立て、花尽くし、花作り、花摘み、花祭り、花結び、花ショウブ
はないき　(鼻意気)→鼻息
はなお　(花緒)→鼻緒
はな・・　〈送〉鼻っ柱、鼻詰まり、鼻っ面、鼻ったれ、鼻つまみ
はなし・・　〈送〉話、話し合い、話し相手、話し合う、話し掛け、話し方、話し好き、話し手、話したい　放し飼い
はなはだ　〈副〉(甚だ)→はなはだ、はなはだしい
はなばなしい　→華々しい
はなび　(煙火)→花火
はなれる・はなす
離〔距離関係、分離〕駅から離れた町、競争者を引き離す、職を離れる、肉離れを起こす、日本人離れ、離れ座敷、離れ島、離れ家、離ればなれ、離れ業、人里離れた場所、目を離す
放〔解放、放棄〕鳥を放す、手放しで喜ぶ、野放し、放し飼い、放れ馬、見放す、矢は弦を放れた
はなれわざ　(放れ技)→〈統〉離れ業
はなわ　(花環)→花輪
はにわ　(埴輪)→はにわ
ばね　(＊発条)→バネ
はね・・　〈送〉跳ね上がり、跳ね返す、跳ね返り　羽根突き
はばかる　(憚る)→はばかる
はふ　→破風
はぶり　〈送〉羽振り
ばふん　(馬糞)→馬ふん
はまべ　→浜辺
はまき　〈送〉葉巻
はめ　(破目、端目)→〈統〉羽目、ハメ、羽目板
はもの　→端物
はやい

日照り、日なた、日延べ、日干し、日雇い、日増しに、日割り、日めくり、日焼け、日の目を見る

ひいき　(贔屓)→ひいき

ひいでる　→秀でる、秀でた才能

ひうん　(否運)→非運〔不幸せ、不運〕

悲運〔悲しい運命〕

ひえ・・　㊜冷え性、冷え込む

びおんてき　(微穏的)→微温的

ひかえ・・　㊜控室、控える、控えめ

ひかげ

日影〔日の光〕明るい日影、日影を浴びて、日影（日照権問題の日の当たる部分）

日陰〔日の当たらない場所〕涼しい日陰、日陰になる

ひかり・・　㊜光、光る、光らす、光り物、光り輝く、日の光、黒光り、底光り

ひかん　(悲感)→悲観

ひき・・　㊜弾き語り、弾き初め

ひきだし　(抽出し、抽斗)→引き出し

ひきのばす

引き伸ばす〔ゴムひも、写真などを〕

引き延ばす〔回答、日限などを〕

ひき・・　㊜**引当**《**金**》、**引受**《**人**》、**引受**《**時刻**》、**引換券**、**代金引換**、**取引**、**字引**（辞書）、**水引**、**割引**、**忌引**、**福引**、**手引**（書名など）、**差引**《**勘定**》、引き渡し（期日）

引き合い、引き合わす、引き上げ・揚げる、引き入れる、引き受ける、引き起こす、引き落とし、引き換える、引き返す、引き金、引き際、引き込み、引き込み線、引きこもる、引き下がる、引き算、引き潮、引き締まる、引き出す、引き立てる、引き継ぎ、引き続き、引き綱、引き連れる、引き手、引き出物、引き戸、引き時、引き止・留める、引き取り、引き抜き、引き払う、引き札、引き船、引き幕、引き回し、引き水、引き寄せる、引き分け

ひきもきらず　(副)引きも切らず

ひきょう　(悲況)→悲境

ひきょう　(卑怯)→卑劣、ひきょう

→秘境、秘境探検

ひぎょう　(罷業)→ストライキ

ひく　(惹く)→引く

引〔一般用語〕車を引く、辞書を引く、線を引く、綱を引く、引く手あまた、人目を引く、身を引く、例を引く

弾〔弾奏〕つま弾き、ピアノを弾く、弾き語り

〔注〕うすをひく、車にひかれる、のこぎりでひく―などは仮名書き

ひけぎわ　(退け際)→引け際

ばんざい (万才)↓万歳
はんざつ (煩雑)↓(統)繁雑
ばんさん (晩餐)↓夕食
ばんじきゅうす (万事窮す)↓万事休す
ばんじゃく (磐石)↓盤石
はんじょう (繁昌)↓繁盛
はんしょく (蕃殖)↓(学)繁殖
はんしんはんぎ (反信反疑)↓半信半疑
はんすう (反芻)↓反すう
はんせきほうかん (藩籍奉還)↓版籍奉還
はんせつ (半截)↓半切
ばんぜん (万善)↓万全
はんそく (犯則)↓反則
はんだ (半田)↓(学)ハンダ
はんちゅう (範疇)↓範囲、カテゴリー、部類、わく
はんてん (斑点)↓班点
(半天、半纏)↓はんてん
はんのう ↓反応
はんぱ ↓半端
はんばく (反駁)↓反論
はんぱつ (反撥)↓反発
はんぷ (頒布)↓頒布、配布
はんぷく (反覆)↓反復
はんめん (反面)↓半面
はんもん (煩悶)↓もだえ、悩み、苦悩
はんらん (叛乱)↓反乱 (氾濫)↓はんらん、あふれる
はんりょ (伴侶)↓道連れ、連れ
はんれい ↓凡例

〔ひ〕

ひ
火（燃える火）火と燃える、火の消えたような、火をおこす、火を吐く勢い、火を見るよりも明らかな
灯（ともしび）伝統の灯を絶やさぬ、灯の光を慕って、灯の下で書く
ひ・・ (送)火遊び、火入れ式、火打ち石、火消し、火攻め、火責め、火取り虫、火付け役
ひあがる (送)干上がる
ひあし (陽足)↓日脚
ひあたり (陽当たり)↓日当たり
ひ・・ (送)日付、【〇】日付、日付変更線、日和(ひより)、日帰り、日掛け(貯金)、日暮らし、日暮れ、日盛り、日差し、日取り、

がせ、人死に、人だかり、人助け、人頼み、人違い、人使い、人通り、人泣かせ、人並み、人払い、人減らし、人任せ、人見知り、人寄せ、人知れず

一打ち、一思い、一切れ、一つ、一つずつ、一続き、一飛び、一握り、一寝入り、一眠り、一回り、一群れ、一巡り、一休み、一通り、一塊

ひとづて　(人伝て)↓人づて

ひともうけ　(一儲)↓ひともうけ

ひとり

一人〔人数〕一人歩き、一人暮らし、一人旅、一人子、一人っ子、一人口、一人天下、一人一人、一人びとり、一人息子、娘一人に婿八人、若い女の一人歩きは危険（以上は一般用語で人数に重点）

独〔仲間がいない、孤独〕独り歩き、独り暮らし、独り住まい、独り者、独り占い、独り合点、独り立ち、独り寝、独り舞台、独りぼっち、独り言、独り占め、独り相撲、独り歩きができる子供（以上は孤独を強調する場合）

ひとまず　副（一先ず）↓ひとまず

ひな・・　送ひな遊び、ひな祭り

ひなが　(日長)↓日永

ひながた　(雛型)↓ひな型

ひなた　(日向)↓日なた

ひなだん　(雛壇)↓ひな壇

ひなん　(批難)↓非難

ひにち　(日日)↓日にち

ひにひに　副日に日に

ひにょうき　↓泌尿器

ひにん　(非認)↓否認

ひのきぶたい　(檜舞台)↓ひのき舞台

ひばく　(被曝)↓被ばく〔放射能などに〕

被爆〔爆弾などに〕

ひばち　(火鉢)↓火ばち

ひぶ

日歩〔百円に対する一日の利息〕日歩五厘

日賦〔負債を日々に割り当てて払う〕日賦の支払い

ひほう　(秘方)↓秘法

ひぼう　(誹謗)↓中傷、そしる、悪口

びほう　(彌縫)↓繕う、間に合わせ、一時しのぎ

びぼう　(美貌)↓美人、きれい

ひまつ　(飛沫)↓しぶき、とばっちり

びまん　(瀰漫)↓広がる、みなぎる

ひむろ　↓氷室

ひめごと　↓秘め事

ひめん　(罷免)↓罷免(権)、免職、解職

びもく　(眉目)↓容色、顔だち、みめ

ひけつ　(秘訣△)↓奥の手、こつ、極意

ひけどき　(退け時)↓引け時

ひけ・・　(送)引値、引けめ

ひご　(庇△護)↓保護、かばう、擁▲護

ひこうにん　(否公認)↓非公認

ひごとに　(日毎に)↓日ごとに

ひさい　(菲△才)↓非才、浅才

ひざし　(陽射し)↓日差し

ひざまずく　(跪△く)↓ひざまずく

ひさめ　↓氷雨

ひざもと　(膝△下)↓(統)ひざ元

ひざ・・　(送)ひざ詰め談判

ひしがた　(菱△形)↓(学)ひし形

ひしもち　(菱△餅△)↓ひしもち

ひじゅん　(批△准)↓批准

ひしょう　(飛翔△)↓飛行

ひじょう　(悲情)↓非情

ひじょうに　(副)非常に

びしょう
微小〔きわめて小さい〕微小動物
微少〔きわめて少ない〕微少量

ひせん　(卑賤△)↓卑しい

ひそう　(皮想▲)↓皮相

ひそかに　(密△かに)↓ひそかに

びたい　(媚△態)↓こび、色っぽさ

ひだち　(日立ち)↓肥立ち

ひだまり　(陽溜△り)↓日だまり

ひだり・・　(送)左巻き、左利き、左回り

ひっ・・　(送)引っ越す、引っ込み思案、引っ込む、引っ立てる、引っ張りだこ、引っ張る、引っ込み線

ひっきょう　(畢△竟△)↓結局、つまり

ひづけ　↓日付、日付変更線

ひっす　(必須△)↓必要、不可欠、必修

ひっせい　(畢△生)↓一生、終生

ひっせき　(筆蹟△)↓筆跡

ひっそく　(逼△塞△)↓窮迫、ちぢこまる

ひってき　(匹▲適)↓匹敵

ひっぱく　(逼△迫)↓窮迫、行き詰まり

ひづめ　(仮)ヒヅメ(蹄△)

ひどい　(非道い、酷い)↓ひどい

ひとえ　(単衣)↓ひとえ

ひとえに　(副)(偏に)↓ひとえに

ひとがき　(人垣△)↓人がき

ひとかた　(副)(一方)↓ひとかた、ひとかたならず

ひとかど　(一廉)↓ひとかど

ひときわ　(副)(一際)↓ひと際

ひとごみ　(人混み)↓人込み

ひとしお　(副)(一入)↓ひとしお

ひと・・　(送)人聞き、人込み、人騒

ひろい・・ (送)拾い主、拾い物、拾い読み
ひろう ↓(慣)披露
ひろがる (拡がる)↓広がる
ひろびろと (副)広々と
びわ (琵琶)↓琵琶(楽器)
ひわい (卑猥)↓みだら
ひんし (瀕死)↓ひん死、危篤
ひんしゅく (顰蹙)↓顔をしかめる、苦々しく思う
ひんしゅつ (頻出)↓続出
びんしょう (敏捷)↓敏活、機敏
びんせん (便箋)↓便せん、レターペーパー
ひんど (頻度)↓出度
ひんぱつ (頻発)↓続発、多発
ひんぱん (頻繁)↓しきりに、度々
ひんぴん (頻々)↓しきりに、度々、ひんぴん

びんらん (紊乱)↓(法)乱す、乱脈

〔ふ〕

ふ ↓歩(将棋)
ふ・・ (送)不意打ち、不幸せ、不行き届き、不入り、不届き、不慣れ、不似合い、不払い、不渡り(手形)
ぶ・・ (送)歩合、歩留まり
ぶ 無(有の対語)無愛想、無音、無事、無精、無精者、無粋、無難、無風流、無礼
不(否定)不格好、不気味、不器用、不細工、不作法、不祝儀、不調法、不用心
ぶあいそう ↓無愛想
ぶあつい (部厚い)↓分厚い
ふいちょう (吹聴)↓ふいちょう、言いふらす

・・ふう ↓和風、洋風、学生風、上方風
ふう・・ (送)封切館、封切る、封切り映画、封じ目、封じ込め
夫婦連れ、夫婦別れ
風変わり
ふうかん (封緘)↓(法)封
ふうき ↓富貴
(風規)↓風紀
ふうこうめいび (風光明媚)↓風光明美
ふうさい (風采)↓外見、風体、風さい
ふうし (諷刺)↓風刺
ふうてい (風態)↓風体
ふうどう (風洞)↓風洞(実験)、風穴
ふうび (風靡)↓支配、制圧、なびかせる
ふうぶつし (風物誌)↓風物詩

ひもつき　(送)ひも付き

ひもの　（＊乾・物）→干物

ひゃくしょう⊗（百姓）→農民、農業

ひや・・　(送)冷や汗、冷やかす、冷や酒、冷や水、冷や麦、冷や飯

ひやけ　（陽・焼け）→日焼け

ひゆ　（比喩△、譬△喩△）→例え、比ゆ

ひょうかん　（剽△悍△）→荒々しい、たけだけしい

ひょうき

表記〔書きあらわす〕国語の表記、表記法、表記の住所

標記〔標題〕標記の件につき

ひょうきん　（剽△軽・）→ひょうきん

びょうく　（病軀△）→病体、病気

ひょうけつ　（票決）→表決

びょうげん　（病源）→病原、病原体

ひょうこう　→標高〔一般用語〕海抜〔海抜ゼロメートル地帯など〕

ひょうさつ　（標札）→表札

ひょうじ　（標示）→(法)表示〔道路交通法の「道路標示」などは別〕

ひょうしょう　（表賞）→表彰

びょうじょく　（病褥△）→病床

ひょうせつ　（剽△竊△、剽窃△）→盗作、「と焼き直し

ひょうぜん　（飄△然）→漂然、ふらり

ひょうてんか　→氷点下（科学関係など特殊な場合は零下またはマイナスを使うことがある）

びょうとう　（病棟△）→病棟、病舎

ひょうのう　（氷嚢△）→氷袋

ひょうはく

漂白〔さらして白くする〕漂白剤

漂泊〔ただよいさすらう〕他国を漂泊

ひょうびょう　（縹△渺△）→広々

びょうぶ　（屏△風）→びょうぶ

ひょうへん　（豹△変）→一変、急変、変節

びょうほ　（苗圃△）→苗床、苗畑

ひょうほう　→兵法

ひょうぼう　（標榜△）→看板、旗印、掲げる

びょうぼつ　（病歿△）→病没

ひょうろう　→兵糧　「な

ひよく　（肥沃△）→肥えた、豊か

ひよけ　（日除・け）→日よけ

ひより　→(慣)日和

ひら・・　(送)平屋建て、平泳ぎ、平謝り

ひらく　（拓・く）→開く、荒野を開く　開き戸、開き直る、開き封

ひらや　（平家△）→(統)平屋

びらん　（糜△爛△）→腐乱、ただれ

ひる・・　(送)昼下がり、昼過ぎ、昼休み、昼ごろ

ひるがえって　(副)翻って

ひれき　（披瀝△）→披歴、開陳、示す

ふくしきこきゅう　（複▲式呼吸）↓腹式呼吸
ふくしゃ　（複▲写）↓複写
（輻△射）↓㊫放射
ふくしゅう　（復△讐）↓報復、返報、仕返し、敵討ち
ふくしん　（腹▲臣）↓腹心
ふくせい　（複▲製）↓複製
ふくせん　（復▲線）↓複線
ふくそう　（輻△輳△、輻△湊△）↓集中、殺到、混乱、ふくそう
ふくぞうなく　（腹臓▲なく）↓腹蔵なく
ふくのかみ　(送)福の神
ふくびき・・　(送)福引、福引券
ふくほん　副本〔正本を写した文書〕副本二通を添え
複本〔複製した文書〕古文書の複本
ふくみしさん　(送)含み資産
ふくれ・・　(送)膨れっ面

ふくろ・・　(送)袋縫い、袋だたき
ふけやく　↓老け役
ふける　（耽△る）↓ふける
ふける　更〔ふかくなる〕秋が更ける、夜が更ける、夜更かしする
老〔年を取る〕老け込む、老けて見える、老け役
〔注〕読書にふける、飲酒にふける——などは仮名書き
ふごう　符号〔しるし、記号〕電信符号
符合〔一致する〕偶然の符合
ぶこくざい　（誣△告罪）↓ぶ告罪
ぶこつ　（無骨）↓武骨（者）
ふさ　（総）↓房
ぶさほう　（無作法）↓(統)不作法
ぶざま　（無様、不様）↓ぶざま
ふさわしい　（相応しい）↓ふさわしい
ふしぎ　（不思儀▲）↓不思議

ふし・ふせ・・　(送)節づけ、節回し、伏し目、伏せ字
ふしまつ　（不仕末）↓不始末
ふしゅ　（浮腫△）↓むくみ
ぶしょ　（部所、部処）↓部署
ふしょう　不詳〔はっきりしない〕氏名・年齢不詳、作者不詳
不祥〔不吉に同じ〕不祥事
ぶしょう　（不精）↓(統)無精
ふしょうぶしょう　（不精▲不精▲、不性▲不性▲）↓不承不承
ふしょく　（腐蝕△）↓㊫腐食
（扶殖▲）↓扶植
ふぜい　↓風情
ふせつ　（布設）↓敷設
ふせん　（附△箋△）↓付せん、付け紙
ぶぜん　（憮△然）↓がっかり、暗然

ふうぼう　（風貌、風采）↓容姿、風姿、見かけ

ふえる・ふやす
増〔減の対語、一般用語〕会員が増える、借金が増える、人数を増やす、水かさが増えた、失業者が増える、予算が増える、子供が増える、庭木を増やす
殖〔限定用語、利殖、養殖〕財産が殖える、財産を殖やす、金を殖やす、貯金が殖える、利子が殖える、家畜を殖やす
〔注〕「殖」の代わりに「増」を使ってもよい。

ふえん　（敷衍）↓敷延、押し広める

ふか　（孵化）↓かえす、〈学〉フ化（器）

ぶがある　（歩がある）↓分がある

ふがいない　（腑甲斐ない）↓ふがいない

ふかく　（俯角）↓〈学〉伏角

ふかけつ　（不可決）↓不可欠

ぶかっこう　↓不格好

ふかで　（深傷）↓深手、重傷

ふか・・　〈送〉深入り、深追い、深情け

ふかぶかと　〈副〉深々と

ふかん　（俯瞰）↓見下ろす

ふかんず　（俯瞰図）↓鳥観図

ふきつ　↓不吉

ぶきみ　（無気味）↓〈統〉不気味

ぶきよう　（無器用）↓不器用

ぶぎょう　↓奉行

ふきん　（布巾）↓ふきん

ふく
服〔身につける、くだる、つき従う〕服従、服役、服罪、服務、服毒、服薬、帰服、屈服、心服、承服、征服
伏〔ふす、かくれる、ひそむ〕圧伏、伏線、伏兵、伏魔殿、威伏、降伏、起伏、雌伏、説伏、平伏、論伏

ふく・ふき
吹〔一般用語〕息吹、風が吹く、ほらを吹く、芽吹く、火吹き竹、笛を吹く、吹き荒れる
噴〔噴出〕エンジンが火を噴く、おかしくて噴き出す、鉄管から水が噴き出す、火を噴く山、煙が噴き出る

ふき・・　〈送〉吹・噴き上げる、吹き替え、吹き掛ける、吹き返す、吹き込み、吹きさらし、吹きすさぶ、吹・噴き出す、吹きだまり、吹き出物、吹き通し、吹き流し、吹き抜き、吹き降り、吹きやむ、吹き寄せる、吹きまくる、吹っ飛ぶ、噴き水

ふくいく　（馥郁）↓ふくいく

ふくげん　（復原）↓〈統〉復元

ふくげんりょく　（復元力）↓〈学〉復原力

ふくざつ　（複雑）↓複雑

ふくさよう　（服作用）↓副作用

普遍〔どこにでも見られる〕普遍的現象、普遍妥当性
不偏〔一方に偏らない〕不偏不党

ふほう　（訃報）↓悲報

ふみ・・　㊜踏切（鉄道用語）、踏み石、踏み板、踏み切る、踏み切り台（スポーツ）、踏み込む、踏み台、踏み倒す、踏み出す、踏み段、踏みつけ、踏み外し

ふゆ・・　㊜冬枯れ、冬休み、冬ごもり

ふゆう　（富有）↓富裕

ふよ　（賦与）↓付与

ふよう
不要〔大切でない〕不要不急
不用〔使われない〕不用品

ぶようじん　（無用心）↓㊔不用心

ふらち　（不埒）↓不都合、ふらち

ふらん　（腐爛）↓腐乱

ぶり　（振り）↓ぶり、三年ぶり、久しぶり

ふりそで　（振り袖）↓振りそで

ふりょ　（俘虜）↓㊟捕虜

ぶりょう　（無聊）↓退屈

ふるう
振〔ふり回す、ふるいおこす〕権力を振るう、士気が振るう、事業が振るわない、蛮勇を振るう、筆を振るう
震〔ふるえる〕声を震わせる、大地が震い動く、身震い、武者震い、震え声
奮〔かきたてる〕気を奮い立たせる、精神を奮い起こす、奮って参加する、勇気を奮って立ち向かう

ふり・ふる・・　㊜振替（経済用語）、**振出〔人〕**、**【振付】師**、振り合い、振り落とす、振り掛かる、振りかざす、振り替え輸送、振り返る、振り切る、振り込む、振り子、振り捨てる、振り出し、振るう、振る舞い（酒）、振り付け、振り積もる、振り回す、振り向く、振り分け
降り込む、降り積もる、降りしきる、降り出す、降りやむ

ふるって　㊍奮って

ふるさと　（故里、*故郷）↓古里、ふるさと

ふれ・・　㊜触れ合う、触れ太鼓、触れ回る

ふろ　（風呂）↓ふろ

ふろしき　（風呂敷）↓ふろしき、ふろしき包み

ふわらいどう　（不和雷動）↓付和雷同

ふんいき　（雰囲気）↓ふん囲気、空気

ぶんか
分科〔専門に分ける〕分科会
分課〔仕事をふりわける〕分課規定
分化〔単純から複雑化する〕分化現象

ふんがい　（憤慨）↓憤慨

ふそくのじたい　（不即▲の事態）↓不測▲の事態

ふそくふり　（不測▲不離）↓不即不離

ふそん　（不遜△）↓生意気、尊大、横柄

ふた（つ）

二〔一般用語〕二重マブタ、二言三言、二つ折り、二つながら、二またどうやく、二目と見られない、二人連れ

双〔特殊用語〕双子、双葉

ふたく

付託〔議会用語〕委員会に付託

負託〔信じて任される〕国民の負託にこたえる

ふたたび　(副)再び

ブタばこ⊗（ブタ箱）↓留置場

ふだん　（普段）↓不断、不断の努力、優柔不断、平常

ふだん（着）、ふだんおとなしい人、ふだん火のない所

ふちょう　（符牒△）↓符丁、符号

ぶちょうほう　（無調法）↓(統)不調法

ふつかよい　（宿・酔・）↓(慣)二日酔い

ふっこく　（覆刻、複刻）↓(統)復刻

ふっしょく　（払拭△）↓一掃、ぬぐい去る、除く

ぶっちょうづら　↓仏頂面

ふで・・　(送)筆入れ、筆立て、筆遣い、筆まめ

ふてい　（不逞△）↓ふてい、不届き、ふらち

ふてぎわ　↓不手際

ふていさい　↓不体裁　「太り過ぎ

ふと・・　(送)太織り、太っ腹、太モモ

ふとう　（埠△頭）↓岸壁、波止場、突堤

（不撓△）↓不屈

ぶどう　（葡△萄△）↓ブドウ

ふどき　↓風土記

ふところ　↓懐、懐具合

ぶどまり　↓歩留まり

ふとる　（肥る）↓太る

ふとん　（蒲団）↓布団

ふなあし　（船足△）↓(統)船脚

ふなうた　（船唄△）↓舟歌

ふなで　↓船出

ふなばた　↓船端

ふにおちない　（腑△に落ちない）↓納得できない

ふね・ふな

舟〔主として小形のものに〕小舟、釣り舟、舟板べい、舟をこぐ、渡し舟、ささ舟

船〔一般的なものに〕大船に乗った気持ち、親船、船会社、船旅、船乗り、船宿、船着き場、船積み、船便、船荷

ふな・ふね・・　(送)船・舟遊び、船・舟酔い、船・舟べり

ふびん　（不愍△、不憫△）↓ふびん

ふぶき　↓(慣)吹雪（吹雪「く」などと動詞には使わない）

ぶべつ　（侮蔑△）↓侮辱、侮る

ふへん

べっし　（蔑△視）→軽視、軽侮、さげすむ、見下げる
べつじょう　（別状）→別条
べつどうたい　（別働隊）→別動隊
べつに　㊙別に
へど　（反吐）→へど
へめぐる　→経巡る
へや　→㊝部屋
へんい
変移〔移り変わる〕世相の変移
変異〔異種のものに変わる〕突然変異
変位〔位置が変わる〕星座の変位
へんきょう　（辺△疆）→辺境
へんくつ　（偏△窟）→偏屈
へんざい
偏在〔かたよっている〕一地方に偏在する
遍在〔どこにでも広くある〕天地の間に遍在
へんさん　（編△纂）→編集、編さん
へんしゅ　（騙△取）→詐取

へんしゅう　（編△輯）→編集
へんずつう　（▲片頭痛）→偏頭痛
へんせい　（編制）→編成
へんたい
変体〔体裁が変わっている〕変体仮名
変態〔異常な性状〕変態性欲、変態者
べんたつ　（△鞭△撻）→督励、激励
へんとうせん　（扁△桃腺△）→ヘントウセン
へんぱ　（偏△頗）→不公平、片手落ち、偏る
べんばく　（弁△駁）→反論、抗弁
へんぴ　（辺△鄙）→辺ぴ、辺地、片田舎
へんぺい　（扁△平）→平ら、平たい、へん平（足）
へんぼう　（変△貌）→変容
へんぽん　（△翩翻）→へんぽん、ひらひら
へんりん　（片△鱗）→一端

へんれいきん　→返戻金

〔ほ〕

ほいく　（哺△育）→保育
ぼいん　（拇△印）→指印、つめ印
ぼう・・　㊜棒立ち、棒引き、棒読み
ぼうあつ　（防△遏）→防圧、防止
ほうが　（萌△芽）→芽生え、兆し
ほうかい　（崩△潰）→崩壊
ぼうがい　（▲暴害）→妨害
ほうがちょう　（奉賀帳▲）→奉加帳
ほうかつ　（▲抱△括）→包括
ほうかん　（△幇間）→たいこ持ち
ほうがんなげ　㊜砲丸投げ
ほうき　（蜂△起）→ほう起、（一斉）決起
ほうき　（△抛棄）→㊟放棄
ほうきてんれい　（法規典礼）→法規典令、法規典例

ぶんかつ・・　㊜分割払い
ふんき　(憤起)→奮起
ふんきゅう　(紛糾)→紛糾
ぶんけつ　(分蘖)→分けつ、株張り
ふんこつさいしん　(粉骨砕心)→粉骨砕身
ふんさい　(粉砕)→粉砕
ふんじょう　(紛擾)→紛争、紛乱、紛糾
ふんしょく　(扮飾、粉飾)→粉飾、装い
ぶんすいれい　(分水嶺)→分水界、分水線
ぶんせき　(分析)→分析
ふんそう　(扮装、紛装)→装い、粉装、こしらえ
ふんづける　㊇踏んづける
ぶんどる　(分取る)→㊝分捕る
ふんにょう　(糞尿)→汚物、大小便

ふんぬ　(忿努)→憤怒
ぶんぴ(ぴつ)→分泌
ふんべつざかり　→分別盛り
ぶんべん　(分娩)→出産、お産
ふんまつ　(粉末)→粉末
ふんまん　(忿懣、憤懣)→憤慨、不平

〔へ〕

ページ　(頁)→ページ
へい
並＝並行、並進、並立、並列
併＝併科、併記、併合、併殺、併設、併存、併用、併置、併読、併発、合併
へいこう
並行(相並んで行くこと)並行審議
平行(同一平面上で相交わらないこと)平行線、平行棒、平行四辺形
へいそく　(閉塞)→閉鎖

へいたん　(平坦)→平ら、平地
(兵站)→(軍需)補給
へいどん　(併呑)→併合
へいはく　(幣帛)→供物
へきえき　(辟易)→しりごみ、閉口
へきえん　(僻遠)→辺び
へきくう　(碧空)→青空
へきけん　(僻見)→偏見
へきそん　(僻村)→片田舎
へきち　(僻地)→辺地
へきとう　(劈頭)→初め、最初、冒頭(演説)
へきれき　(霹靂)→雷鳴、へきれき
ぺきんえんじん　⊗(北京猿人)→北京原人(中国語では北京猿人)
へこおび　(兵児帯)→へこ帯
へた　→㊫下手
べっこう　(鼈甲)→べっ甲

ほうらつ　(放埒)↓放縦、放逸

ほうり・ほうる　(放り、放る)↓ほうり、ほうる、ほうり出す、ほうり込む、ほうり放し、ほうっておく、物をほうる

ほうるい　(堡塁)↓保塁、防塁、とりで

ほうれい
法令〔法律と命令〕
法例〔法律の適用に関する通則〕

ほうれつをしく　(砲列を敷く)↓放列を敷く、カメラの放列

ほうろう　(琺瑯)↓㊫(法)ほうろう

ほおかぶり　(頬被り)↓ほおかぶり

ほおづえ　(仮)ほおづえ(頬杖)

ほか　(他)↓ほか、外

ほかく　(捕獲)↓捕獲

ほかげ　↓(慣)灯影

ほかけぶね　(送)帆掛け船

ぼくとつ　(朴訥)↓実直、素朴

ほくろ　(*黒子)↓ホクロ

ほご　(反故、反古)↓ほご

ほこさき　(鉾先、鋒先)↓矛先

ほさ　(輔佐)↓補佐

ぼし　(拇指)↓親指、母指

ほし・・　(送)星取表、星回り、星占い、干し魚、干しガキ、干し草、干し物、干し網

ほしい　↓欲しい、水が欲しい、…して欲しい

ほしゅう
補修〔補い繕う〕補修工事
補習〔正課の不足を補う〕補習教育

ほしょう　(歩哨)↓歩しょう

ほしょう
保証〔うけあう、賠償の責を負う〕保証人、保証金、保証書、保証債、保証付き商品、保証準備、保証発行、保証責任、保証保険、連帯保証（民事関係、商慣習や私的なもの、個別的なものなどに使う）
保障〔保護して危害がないようにする、障害がないようにする、守る〕安全保障、憲法の条文中の保障、社会保障、身分保障（法律用語）、保障条約、保障占領、生活の保障（国家的、社会的など公的なもの、抽象的なものに使う）
補償〔おぎない、つぐなう〕損害補償、補償金、補償裁決

ほじょう　(圃場)↓畑、農園

ほす　(乾す)↓干す

ほそびき　(送)細引き

ほそう　(鋪装)↓㊫舗装

ほそく　(捕捉)↓つかむ、握る、捕える

ほそぼそ　(副)細々

ぼたい
母体〔妊娠、出産後の母の体、分かれ出た元〕母体の安全を図る、選挙母体
母胎〔母親の胎内〕母胎遺伝

ぼだい　(菩提)↓ぼだい

ぼうぎょ　（防禦△）→防御
ぼうくうごう　（防空壕△）→防空ごう
ほうこ　（▲豊庫）→宝庫
ほうこう　（彷△徨△）→さまよう
ぼうこう　（膀△胱△）→ボウコウ
ほうこうにん　（奉行人▲）→奉公人
ぼうさい　（防△塞△）→防塁、とりで
ほうし　（放肆△、放恣△）→放縦、放逸
ほうじ　（捧△持）→奉持
ほうしゃ　（報捨▲）→報謝
ほうじゅん　（芳醇△）→芳純
ほうじょ　（幇△助）→補助、援助、ほう助
ほうしょう　（報奨、褒△奨△）→(法)奨励
（褒△賞）→報賞（藍綬褒章などは別）
ほうじょう　（褒△状）→賞状
（豊穣△、豊饒△）→豊かな、豊熟、豊作

ほうしょうきん　（報奨金）→(送)報償金
ほうすいけい　（方錐△形）→(学)方すい形
ぼうぜん　（茫△然）→ぼう然、ぼんやり
ほうそう　（疱△瘡△）→天然痘
ほうそうかい　（法曹△界）→法曹界
ほうたい　（繃△帯）→包帯
ほうだい　→放題
ぼうだい　（厖△大）→膨大
ほうちゃく　（逢△着）→遭遇、ぶつかる、出合う
ほうちょう　（庖△丁）→包丁
ぼうちょう　（膨脹△）→(学)膨張
ぼうちょう　（防諜△）→防ちょう
ほうてい　（捧△呈△）→奉呈
ほうてき　（抛△擲△）→放棄　「ち
ほうとう　（放蕩△）→道楽、不身持
ぼうとう　→冒頭（演説）、初め、最初

ぼうとく　（冒△瀆△）→侵害、汚す
ほうねんまんさく　（豊年万作▲）→豊年満作
ほうばい　（朋△輩、傍▲輩）→同僚、仲間　「として
ぼうばく　（茫△漠△）→ばく然、ばく
ほうふつ　（彷△彿△、髣△髴△）→ほうふつ、まざまざと、よく似た
ほうぶつせん　（抛△物線△）→(学)放物線
ほうまつ　（泡△沫△）→あぶく、あわ、ほうまつ（候補）
ほうまん　（放▲慢▲）→放漫
ほうもん　（訪△問▲）→訪問
ほうゆう　（朋△友）→友人
ほうよう　（法養▲）→法要
包容「包みいれる」
抱擁「だきかかえる」
ほうようりょく　（抱▲擁▲力）→包容力

真後ろ

まいご ↓(慣)迷子 「勇進

まいしん (邁進)↓直進、突進、

まいる (詣る)↓参る

まい・・ (送)**舞扇**、**舞子**、**舞姫**、【〇〇】**舞**(「まい」の場合)、舞い上がる、舞い込む、二の舞い、てんてこ舞い

まえ・・ (送)前祝い、前売り、前置き、前書き、前掛け、前貸し、前借り、前払い、前触れ、前向き、前渡し(金)

まかす (委す)↓任す

まかなう ↓賄う
(送)賄い方、賄い婦、賄い付き

まき・・ (送)**巻** (上の巻など)、**巻紙** (手紙の)、**巻物**、巻き上げる、巻き上・揚げ機、巻き起こす、巻き落とし、巻き貝、巻き返し(戦術)、巻き紙(まいた紙)、巻き髪、巻き絹、巻き雲、巻き舌、巻き尺、巻き添え、巻きたばこ、巻き取り(紙)、巻き狩り、巻き心、巻き葉
葉巻、**竜巻**、糸巻き、えり巻き、だて巻き、手巻き、取り巻き、のり巻き、太巻き、細巻き、はち巻き、腹巻き、新巻き(サケ)

まきえ (蒔絵)↓まき絵

まぎれ・まぎら・・ (送)紛れ込む、紛らわしい、紛れる

まぎわ (真際)↓間際

まきわり (薪割り)↓まき割り

まくあい (幕合い、幕間)↓幕あい

まくあけ ↓幕開け (物事の始まり、「幕開き」は演劇用語)

まくらもと (枕許)↓まくら元

まける (敗ける)↓負ける

まけ・げ・・ (送)負け戦、負け惜しみ、負け癖、負け越し
曲げ物

まご ↓馬子

まごつく (間誤つく)↓まごつく

まことに (副)誠に

まごびき (送)孫引き 「く

まさに (副)(正に)↓まさに、まさし

まさゆめ ↓正夢 「り

まさる (優る)↓勝る、勝り劣

まざる・まじる・まぜる・まじえる
交(とけ合わないまざり方)漢字仮名交じり文、白髪交じり、ひざを交えて語る、交ぜ織り、綿に麻が交ざる、冗談を交えて、古豪に若手が交じって、人交ぜせずに、紅一点を交えて、人の交わり、アジにサバが交じる
混(とけ合うまざり方)絵の具を混ぜる、酒に水が混ざる、雑音が混ざる、セメントを砂に混ぜる、煮物をかき混ぜる、白人の血が混じる、混ざり物、見分けがつかぬほど混ざり合う

ほっき　(発企)↓発起
ほっけ　↓法華、法華宗
ぼつご　(歿後)↓死後、没後
ぼっこう　(勃興)↓興隆、興る
ほっしん　(発疹)↓発シン
(法心)↓発心
ほっす　↓法主
ほったてごや　(送)掘っ立て小屋
ぼっちゃん　↓坊ちゃん
ぼっぱつ　(勃発)↓突発、発生
ほてん　(補塡)↓補充、穴埋め
ほど
程〔物事・数量の度合い、時間的・空間的な度合い〕身の程、程遠い、程がよい、程よく、この程、程なく、先程、後程、程々に
ほど〔助詞的に〕彼ほどに、私ほどの、それほど、これほど、さほど、よほどの、…するほどのことがない
ほどう　(鋪道)↓舗道

ほとんど　(副)(殆んど)↓ほとんど
ほにゅう　(哺乳)↓(学)ホ乳、授乳
ほなみ・・　(送)穂並み
ほね・・　(送)骨惜しみ、骨折り、骨組み、骨接ぎ、骨抜き
ほふく　(匍匐)↓はう、ほふく
ほぼ　(保姆)↓保母
ほぼ　(副)(略)↓ほぼ
ほほえむ　(微笑む、頬笑む)↓ほほ笑む
ぼや　(小火)↓ぼや
ほり・・　(送)【鎌倉】彫（工芸品の場合）、彫り上げる、彫り物
掘割、掘り返す、掘り出し物、掘り出す、掘り抜き井戸
ほりゅう　(蒲柳)↓虚弱、ひよわ
ほれぼれ　(副)(惚れ惚れ)↓ほれぼれ
ほろぶ　(亡ぶ)↓滅ぶ
ぼん・・　(送)盆踊り、盆暮れ
ほんぎまり　(本極り)↓本決まり

ぼんしょう　(梵鐘)↓つり鐘
ほんだな　(本棚)↓本だな、書架
ほんとう　↓本当
ほんの　(連)(本の)↓ほんの
ぼんのう　(煩悩)↓煩悩
ほんまつてんとう　(本末顚倒)↓本末転倒
ほんもの　(真物)↓本物
ほんやく　(飜訳)↓翻訳
ほんろう　(翻弄)↓もてあそぶ、ほんろう

〔ま〕

マージャン　(麻雀)↓マージャン
ま・・　(送)間合い、間借り人、間貸し、間借り、間違い、間近に、間取り、間延び、間抜け、間に合う、間に合わせ

まめつ　(磨滅)→㊫摩滅
まもう　(磨耗)→摩耗
まもなく　㊓間もなく
まもる　(護る)→守る　「お守り
まもり・・　㊫守り袋、守り札、
まる・・　㊫丸出し、丸干し、丸焼け、丸見え、丸める
まる三年、まる五年越し
まるい
丸〔まるみがある、一般用語に〕頭を丸める、背中を丸くする、二重丸、丸い玉、丸顔、丸木舟、丸太、丸裸、丸ぽちゃ、丸々と太る、丸染め、丸く治める、丸ごと、丸く輪になる
円〔限定用語に〕円い月、円天井、（大工道具の）円のみ・円かんな、円窓、人柄が円い
まるで・まるまる　㊓（丸で、丸々）→まるで、まるまる
まれに　（稀に、希に）→まれに
まわり
回〔回転、一般用語に〕回り合わせ、一回りする、回り道、身の回り、回り番、回りくどい、回り込む、回り舞台、酒が回る、杯を回す、口の回りが早い、回し者、回り持ち、胴回り、胸回り、腰回り
周〔周囲、周辺、名詞形に〕家の周り、池の周り、周りを回る、周りがうるさい、地球の周り、周りの人
まんいち　㊓万一
まんえつ　(満悦)→満悦、大喜び、満足
まんえん　(蔓延)→はびこる、流行
まんこう　(満腔)→全幅、心から
まんさい　(万載)→満載
まんじょういっち　(万場一致)→満場一致
まんせい　(漫性)→慢性
まんぜん　(慢然)→漫然
まんだん　(慢談)→漫談
まんちゃく　(瞞着)→ごまかす、欺く
まんてん　(万点)→満点
まん・・　㊫万引、真ん中、真ん前
まんぷく
満幅〔全面的〕満幅の信頼を寄せる
満腹〔腹いっぱい〕満腹する
まんべんなく　(万遍なく)→満遍なく
まんまく　(幔幕)→まん幕
まんまん
満々〔満ちあふれるさま〕満々たる自信、杯に満々と注ぐ
漫々〔広々としているさま〕漫々とした湖面

〔み〕

み
み〔和語につづく場合〕赤み、重み、丸み、茂み、いやみ、勝ちみ、黒み
味〔漢語につづく場合〕新鮮味、新味、正味、風味、珍味

まざ・まじ・まぜ・・ 送交・混ざり合う、交・混ざり物、交・混じり気、交・混じり物、混ぜ合わす、混ぜっ返す、交・混ぜ物、交ぜ織り、交える、交わる
まして (況して)↓まして
まじめ (真面目)↓まじめ
まず (先ず)↓まず
ますい (痲酔)↓麻酔
まずい (不味い)↓まずい
　(拙い)↓まずい
ますせき (枡席、桝席)↓升席
ますます 副(益々)↓ますます
まずまず 副(先々)↓まずまず
また・まだ 副接(又、亦、未だ)↓
　また、または、またしても、まだ、まだまだ、まだしも
まち
　町〔地域、行政区画〕裏町、下町、町方、町ぐるみ、町と村
　街〔街路〕学生の街、街を吹き抜ける風
　〔注〕町の灯―街の灯、町筋―街筋、町角―街角、町外れ―街外れ、町の明かり―街の明かり、町並み―街並み―などは二通りの書き方がある。
まち・・ 送待合【室】、待合(料亭などの)、待合政治、待ち合わす、待ち遠しい、待ち人、待ち伏せ
まちいしゃ⊗(町医者)↓開業医
まぢか (真近、目近)↓間近
まちまち (＊区々)↓まちまち
まっか ↓慣真っ赤
まっ・・ 送真っ向、真っ最中、真っ盛り、真っ先、真っ白、真っ裸
まつ・・ 送松飾り
まっさお ↓慣真っ青
まっさつ (抹殺)↓まっ殺
まっしょう (末梢)↓末節、末端、末しょう
　(抹消)↓取り消す、消去
まっすぐ (真っ直)↓真っすぐ
まったく 副全く
まっとうする (完うする)↓全うする
まっぴら 副真っ平
まつり 送祭り(固有名詞は別)
まつりごと ↓政
まどべ ↓窓辺
まと・まど・・ 送的当て競争、的外れ　窓掛け　惑う、惑わす
まなざし (眼差し)↓まなざし、目つき
まなでし (＊愛弟子)↓まな弟子
まね (真似)↓まね
まのあたり (眼の辺り)↓目の当たり
まひ (麻痺)↓まひ、マヒ、しびれ、心臓マヒ、交通マヒ
まぶか (眼深、真深)↓目深
まぶた (目蓋、眼瞼)↓マブタ
まめ・・ 送豆絞り、豆まき

てない

みそか　(晦日)↓みそか
みそこなう　↓見損なう
みそしる　(味噌汁)↓みそ汁
みそめる　(見染める)↓見初める
みたけ　↓身丈
みたす　(充たす)↓満たす
みたま　↓み霊、み霊代
みだれ・・　(送)乱れ髪、乱れ箱
みち　(路、途、径)↓道
みち・・　(送)満ち潮、満ちあふれる、道連れ、道行き、道草を食う
みつ・・　(送)三つ折り、三つ重ね、三つ組、三つ(みつ、みっつ)
みつぐ　↓貢ぐ、貢ぎ物
みとう
未到〔主として業績、記録に〕前人未到の記録
未踏〔主として土地に〕人跡未踏の地、未踏峰に挑む

みとおし　(見透し)↓見通し
みとめいん・・　(送)認め印
みとれる　(見蕩れる、見惚れる)↓見とれる、美人に見とれる、絵に見とれる
みにくい　(見難い)↓見にくい
みね・・　(送)峰越し、峰続き、峰伝い
みのがす　↓見逃す
みのしろきん　↓身代金
みばえ　(見映え)↓見栄え
みはなす　(見離す)↓見放す
みはらい・・　(送)未払い勘定、未払い(金)
みみ・・　(送)耳打ち、耳飾り、耳障り、耳鳴り、耳寄り
みもと　(身許)↓身元
みや・・　(送)都落ち、都育ち、宮仕え、宮参り
みゃくはく　(脈搏)↓脈拍、脈
みやげ　↓(慣)土産

みょうが　(冥加)↓みょうが
みょうじ　(苗字)↓名字
みょうに　(副)妙に
みりん　(味醂、味淋)↓みりん
みる・みえる
見〔一般用語〕エンジンの調子を見る、着物の柄を見立てる、景気の動向を見る、面倒を見る、疲れが見える、老けて見える、医者の見立て違い、物の見方
診〔診察〕患者を診る、脈を診る
みる
見る＝珍しい動物を見る、物を見る
みる＝どうだか聞いてみる、試してみる、…とみられる
みるからに　(副)見るからに
みるみる　(副)みるみる
みんぞく
民俗〔人民、民間の風俗、習俗〕
民族〔人種的、地域的な人間の集団〕
民族意識・自決・主義

身〔ものの本体〕マグロの赤身、脂身、
　中身、親の身になって

み・・　(送)身代金、身元引受人、身勝手、身動き、身売り、身構え、身近に、身繕い、身投げ、身の回り、身振り、身震い、身持ち、身元引き受け、身寄り、身受けする、身の上(相談)

見積《書》、社員【見習】、見舞【金】、見習【社員】、見合い(結婚)、見合わす、見いだす、見失う、見送り、見落とし、見劣り、見覚え、見下ろす、見返す、見返り物資、見掛け(倒し)、見聞き、見切り(品)、見極める、見下(くだ)す、見比べ、見苦しい、見込み違い、見下げる、見定める、見知り、見透かす、見せ掛け、見せ物、見損なう、見にくい、見初める、見出し、見立て、見繕い、見積もる、見通し、見届ける、見取り図、見直す、見習う、見慣れる、見逃す、見栄え、見計らい、見始め、見放す、見晴らし台、見張り番、見舞う、見守る、見渡す

みいだす　↓見いだす
みいり　(身入り)↓実入り
みえぼう　(見栄坊)↓見え坊
みえをきる　(見得を切る)↓見えを切る
みえをはる　(見栄を張る)↓見えを張る
みおさめ　(見収め)↓見納め
みかえし　(身返し)↓見返し（製本、洋裁などの用語）
みがきにしん　(摩きニシン)↓身欠きニシン
みがく　(磨く)↓みがく
みがわり　(身替わり)↓身代わり
みごと　(美事)↓見事

みさき　(岬)↓みさき（固有名詞は別）
みじめ　↓惨め、惨めな境遇
みじん　(微塵)↓みじん
みすい　(未遂)↓未遂
みずかさ　(水嵩)↓水かさ、水量
みずから　(副)自ら
みずさし　(水指し)↓水差し
みずごり　(水垢離)↓水ごり
みず・・　(送)水引、水際、水煙、水遊び、水浴び、水洗い、水入れ、水掛け論、水枯れ、水際立つ演技、水攻・責め、水炊き、水飲み、水浸し、水増し、水盛り、水割り
みせ・・　(送)店売り、店先渡し
みせいねん　(未青年)↓未成年
みせもの　(見世物)↓見せ物
みぜん　(未前)↓未然
みぞう　(未曽有)↓空前、かつ

むろん　㊄無論

〔め〕

め

目〔個所、順序、物量、体験などを表す場合の接尾語〕編み目、網目、切れ目、結び目、縫い目、裂け目、境目、破れ目、分かれ目、別れ目、割れ目、一丁目、二つ目、三球目、五人目、六番目、九代目、十枚目、百年目、変わり目、掛け目、升目、勝ち目、弱り目、たたり目、ひどい目、死に目、落ち目、日の目を見る

め〔程度を表す場合の接尾語〕高め、低め、近め、遠め、細め、太め、大きめ、小さめ、効きめ、控えめ、長め、短め、早め、遅め、引けめ

め・・　㊞目先、目印、目明き、目明かし、目当て、目移り、目利き、目配り、目隠し、目くされ金、目刺し、目指す、目覚まし、目立つ、目つき、目付け（役）、目通り、目抜き、目減り、目ぼしい、目盛り、目こぼし　〔目もと

めいかい
明解〔はっきりした解釈〕字義を明解
明快〔筋道がはっきりして気持ちがよい〕明快な理論

めいき
銘記〔心にきざむ〕心に銘記して忘れない
明記〔明らかに記す〕明記して後世に示す

めいぎ　（名儀）↓名義

めいげつ
明月〔明るい月〕明月の夜
名月〔名のある月〕中秋名月

めいげん
名言〔すぐれたことば〕名言集、名言を吐く
明言〔はっきり言う〕明言を避ける

めいしゅ　（名酒）↓銘酒

めいせき　（明晰）↓はっきり、明敏

めいそう　（瞑想）↓沈思、黙想

めいちゅう　（螟虫）↓ズイ虫、メイ虫

めいてい　（酩酊）↓深酔い、酔っ払う

めいど　（冥土、冥途）↓あの世、めい土

めいとう
名答〔すぐれた答え〕ご名答
明答〔はっきり答える〕明答を促す

めいふく　（冥福）↓めい福、後生、追福

めいぶん　（明分）↓名分
名文〔すぐれた文章〕天下の名文、名文家
明文〔はっきりと文章に示す〕法の明文化
銘文〔金石などに記した文章〕仏像の銘文

〔む〕

むかう・むかえ・・ (送)向かい合わせ、向かい風、向かっ腹
迎え酒、迎え火、出迎え、出迎え人

むかし・・ (送)昔話、昔語り

むがむちゅう (無我無中▲)↓無我夢中

むき・むぎ・・ (送)向き合う、むき出し、麦打ち、麦刈り、麦焦がし、麦踏み、麦わら細工、麦こき

むく (無垢△)↓清浄、汚れない、純粋、(金)むく

むくいる (酬いる)↓報いる

むこ (無辜△)↓罪のない、善良な

むこ・・ (送)向こうずね、向こう見ず、向こう意気、向こう傷
婿入り、婿選び、婿取り

むざん (無惨)↓(統)無残

むし・・ (送)蒸し暑い、蒸し返し、蒸し菓子、蒸し器、蒸しずし、蒸しぶろ、蒸し焼き(器)
虫食い、虫下し、虫干し

むしょ⊗(ムショ)↓刑務所

むしょうに (副)無性に

むしろ (副)(寧ろ)↓むしろ

むずかしい ↓難しい(「むつかしい」ともいう)、難しさ

むずかる (仮)むずかる

むすこ ↓(慣)息子

むすび・・ (送)結び目、結び付け、結びたて

むそう 夢想(空想、夢で神仏のお告げを受ける)夢想にふける、夢想剣
無想(何も考えない)無念無想

むぞうさ (無雑作△)↓(統)無造作

むだ (無駄)↓むだ

むち (無智△)↓無知

むちゃ (無茶)↓むちゃ、乱暴

むとんちゃく・むとんじゃく (無頓着△)↓むとんちゃく、むとんじゃく

むな・・ ↓胸毛、胸算用、胸苦しい、胸騒ぎ

むなしい (空しい、虚しい)↓むなしい

むね (棟△)↓棟、○○棟、棟上げ式、棟割り長屋

むぼう (無暴▲)↓無謀

むほん (謀叛△)↓謀反、謀反人

むやみ (無暗、無闇△)↓むやみ

むりじい ↓無理強い

むりやり (無理矢理)↓無理やり

むら・むれ・・ (送)群がり、群がる、群スズメ、群れ、群れる
蒸らす、蒸れる

むろ・・ (送)室咲き、室入れ

もうそう (妄想)↓邪念、雑念、もう想
もうでる (詣でる)↓もうでる
もうとう 副毛頭
もうどう (妄動)↓盲動
もうねん (妄念)↓邪念、雑念
もうまい (蒙昧)↓無知、暗愚
もうら (網羅)↓集める、網ら
もうろう (朦朧)↓もうろう、ぼんやり
もうろく (耄碌)↓もうろく、老いぼれ
もえ・・ 送燃え上がる、燃え盛る、燃え残り、燃え殻、燃え広がる、燃えさし
もえぎ (萌黄)↓もえぎ
もくしょう (目睫)↓目前
もくと ↓目途
もくとう (黙禱)↓黙とう、祈り
もくひけん (黙否権)↓黙秘権
もぐる ↓潜る、潜り込む

もくろむ (目論む)↓もくろむ
もけい (模形)↓模型
もこ (模糊)↓ぼんやり
もさ ↓慣猛者
もさく (摸索)↓模索
もし・もしくは 副接(若し)↓もし、もしくは
もち・もて・・ 送持ち上げる、持ち歩き、持ち合わせ品、持ち家、持ち株、持ち越し、持ち込み(禁止)、持ち出し、持ち直す、持ち逃げ、持ち主、持ち場、持ち分、持ち回り(閣議)、持ち物、持ち寄り、持て余す、持ち前
もちごま (持ち駒)↓持ちごま
もちごめ (糯米、餅米)↓もち米
もちつき (餅つき)↓もちつき
もちろん (勿論)↓もちろん、無論
もって 接(以って)↓もって
もっとも 副接最も

もっぱら ↓専ら、専らにする
もてあそぶ (玩ぶ、弄ぶ、持て遊ぶ)↓もてあそぶ
もと
下〔支配下、手段など〕一撃の下に倒す、旗の下に集まる、法の下に平等、勇将の下に弱卒なし、命令の下に動く
元〔一般用語〕出版元、元手、足元、根元、火の元、手元、彼の元に嫁ぐ、混乱の元、元からやり直す、親元、身元
本〔本来〕本を正す、本と末、本歌
基〔基礎〕資料に基づく、基になる
もと・・ 送**元締**(職分)、**元結**(髪の)、**元肥**、元締めが緩む、元通り、元卸し(名詞の場合は「元卸」)、**元卸【商】**
もともと 副(元々、本々)↓もともと
もとより 副(固より、素より)↓もとより
もどり・・ 送戻り売り、戻り道、

めいもく　(瞑目)→目をつぶる、死ぬ
めいよきそん　(名誉毀損)→名誉棄損
めいりょう　(明瞭)→明白、明らか、明確
めかけ　(妾)→愛人、二号
めがね　→㊖眼鏡
めざす　(目差す)→目指す
めざましい　→目覚ましい
めし・・　㊟召し上がる、召し物、召し抱え、召し捕る、お召し(着物)
めじろおし　→目白押し
めす　(牝)→雌
めちゃ　(滅茶、目茶)→めちゃ
めっき　(鍍金)→めっき、メッキ
めっそう　(滅相)→めっそう
めった　(滅多)→めった、めった打ち、めったに
めっぽう　(滅法)→めっぽう
めでたい　(芽出度い、目出度い)

めど　(目処)→めど、メド、目途(もくと)
めぬき　(目貫き)→目ぬき
目抜き〔繁華な場所〕町の目抜き通り
目ぬき〔刀身をつかに留めるクギ〕黄金の目ぬき
めばえる　→芽生える
めぼし　→目星
めぼしい　(目星しい)→目ぼしい
めめしい　→女々しい
めん・・　㊟面食らう、面通し
めんか　(棉花)→綿花
メンツ　(面子)→メンツ、面目
めんどう　(面到)→面倒
めんば　(面罵)→ののしる
めんぼう　(面貌)→顔つき、面ざし
めんぼく　→面目
めんよう　(緬羊)→㊫綿羊、メン羊
めんるい　(麺類)→めん類

〔も〕

もうかんじゅうそう　(盲貫銃創)→盲管銃創
もうしいで　(申し出で)→申しいで、申し出(もうしで)
もうし・・　㊫申込(書)、申立〔人〕、申し合い、申し上げる、申し合わす、申し合わせ事項、申し入れ、申し入れ事項、申し受ける、申し送る、申し込む、申し込み手続き、申し込み条件、申し立てる、申し出、申し開き、申し分、申し訳、申し渡し
もうじゃ　→亡者
もうしゅう　(妄執)→執念、迷い
もうじゅう　(妄従)→盲従
もうしん　(妄信)→盲信
もうぜんと　㊋猛然と

〔や〕

や
屋〔建物、職業〕母屋、酒屋、数寄屋、長屋、平屋、屋形、屋号、屋敷、屋根、二階屋
家〔いえ〕あばら家、一軒家、貸家、借家、家賃、家主

・・や [送]【染物】屋（職業）

や・・ [送]屋敷、家捜し、家並み、家鳴り、屋根伝い

やおちょう →[慣]八百長

やおもて （矢表）→矢面

やおや →[慣]八百屋

やがて [副][接]やがて

やかん （薬罐）→やかん

やき・・ [送]【備前】焼（工芸品の場合）、焼き芋、焼き印、焼き打ち、焼き金、焼きグリ、焼きごて、焼き魚、焼き塩、焼きそば、焼き付け、焼き豆腐、焼き鳥、焼き直し、焼き肉、焼き刃、焼き場、焼き飯、焼きもち、焼き物

やきん （野禽）→野鳥
（冶金）→[学]ヤ金

やく・・ [送]役割、役替え、役所勤め、役立てる、役付き、役回り
厄落とし、厄払い

やくさつ （扼殺）→絞殺

やくびょうがみ （厄病神）→疫病神

やけ （＊自棄）→やけ

やけ・・ [送]焼け跡、焼け石、焼け焦げ、焼け土、焼け野原、焼け火ばし、焼け太り

やけど （＊火傷）→やけど

やごう （家号）→屋号

やさき →矢先

やさしい
易〔わかりやすい〕易しい問題
優〔すなお、おとなしい〕気だての優しい子、優しい心遣い
〔注〕「易しい」はなるべく仮名書き

やし （香具師）→やし、露天商

やじ （野次、弥次）→やじ・ヤジ（馬）

やしき （家敷、邸）→[学]屋敷

やしない・・ [送]養い親、養い子

やす・・ 安上がり、安請け合い、安売り、安っぽい、安らかに

やすい （易い）→やすい

やすみ・・ [送]休み茶屋、休み所、休み場

やすみやすみ [副]休み休み

やすやす [副]（安々、易々）→やすやす

やせい
野生〔山野に自生する〕野生のバラ
野性〔自然のままの性質〕野性に返る

やせがまん （瘠せ我慢）→やせ我慢

行き戻り

もなか　(最中)↓もなか

もぬけのから　(蛻の殼、も抜けの殼)↓もぬけの殼

もの

物＝物忌み、物入り、物売り、物堅い、物事、物惜しみ、物取り、物干し、物持ち、物音、物語る、物指し、物見高い、物見遊山、物もらい、物足りない、物柔らか、物狂い、物別れ

もの＝というもの、…するものである、ものの見方、ものがわかる、ものの心、もの腰、ものともせず、もの寂しい、ものになる、もの静か、ものの数でない、ものすごい、ものの見事に、ものは相談、目にもの見せる、笑いもの、もの珍しい

者＝家族の者、小者、大立者、賛成する者の一人

もの・・　送⃝物語、物置

もの(物)言い、もの(物)覚え、もの(物)思い、もの(物)ぐさ、もの(物)知り、もの(物)好き、もの(物)忘れ、もの(物)笑い、もの(物)憂い、もの(物)おじ、もの(物)欲しい、もの(物)まね

〔注〕以上は「もの」「物」の二通りの書き方がある語

ものわかれ　(物分かれ)↓統⃝物別れ

もはや　副⃝(最早)↓もはや

もほう　(摸倣)↓模倣

もみじ　↓慣⃝紅葉

もめん　↓慣⃝木綿

ももわれ　送⃝桃割れ

もよおしもの　送⃝催し物

もよう

模様〔図形、物の組み合わせ〕模様替え、すそ模様、さらさ模様、唐草模様、人間模様、人生模様

もよう〔様子、ありさま〕雨もよう、出発が遅れるもよう、話し合いのもようを聞く、会議は紛糾するもよう

もより　↓慣⃝最寄り

もらう　(貰う)↓もらう

もらす　(洩らす)↓漏らす

もり　↓守り、お守り

もり・・　送⃝子守、灯台守、関守、墓守、渡守

盛り上がり、盛り返す、盛り菓子、盛り切り、盛り付け、盛り砂、盛り花、盛り物

もりたてる　(盛り立てる、守り立てる)↓もり立てる

もろざし　(双差し)↓もろ差し

もろとも　副⃝(諸共)↓もろとも

もん・・　送⃝門構え、門前払い、紋付き(羽織)

もんきりがた　(紋切り形)↓紋切り型

もんし　(悶死)↓もだえ死に

もんぜつ　(悶絶)↓気絶

もんちゃく　(悶着)↓物議、ごたごた、もめごと

もんぴ　(門扉)↓とびら、門

まし、湯通し、湯飲み、湯沸かし(器)、湯ぶね
ゆい・・ ㊟結納、結い上げる、結い立て、結い綿、結わえる
ゆいしょ ↓由緒、由緒書き
ゆう・・ ㊟夕立、夕暮れ、夕涼み、夕べ、夕焼け(雲)、夕なぎ
ゆううつ (憂鬱△)↓憂うつ
ゆうえい (游△泳)↓遊泳
ゆうかい (誘拐△)↓誘かい、㊟かどわかし
ゆうがとう (誘蛾△灯)↓誘ガ灯
ゆうぎ (友誼△)↓友好、友情
遊技〔許可営業の娯楽、パチンコ、マージャンなど〕
遊戯〔一般の遊びごと〕
ゆうきょう (遊俠△)↓やくざ、渡世人、遊び人
ゆうこう (友交)↓友好
ゆうこん (雄渾△)↓雄大
ゆうしゅう (幽愁)↓憂愁
ゆうしゅつ (湧△出)↓㊟わき出る
ゆうしゅつりょう (湧△出量)↓出量
ゆうしゅん (優駿△)↓優俊(馬)
ゆうすい (幽邃△)↓幽寂
(湧△水)↓わき水
ゆうずい (雄蕊△)↓雄しべ
ゆうせい
優性〔すぐれた性質、優性遺伝〕
優生〔子孫の素質をすぐれたものにする〕優生学
ゆうぜん (悠△然)↓裕然、ゆったり
(友染▲)↓友禅
ゆうそう (雄壮)↓勇壮
ゆうたい (優▲退)↓勇退
ゆうち (誘▲置)↓誘致
ゆうちょう (悠長)↓気長、のんびり
ゆうと
雄図〔雄大な計画〕南極探検の雄図を抱く
雄途〔雄々しい門出〕ヒマラヤ征服の雄途に就く
ゆうとう (遊蕩△)↓道楽、不身持ち
ゆうに ㊓優に
ゆうばえ ↓夕映え
ゆうひ (勇飛)↓雄飛
ゆうびんうけ ㊟郵便受け
ゆうびんこうのう (郵便行嚢▲)↓(赤)郵袋
ゆうふく (有▲福)↓裕福
ゆうべ (*昨夜)↓ゆうべ
ゆうもう (雄猛)↓勇猛
ゆうゆう (悠△々)↓ゆうゆう
ゆうよ (猶▲余、裕▲余▲)↓猶予
ゆうよく (遊弋△)↓動き回る、泳ぎ回る、航行
ゆうわ (宥△和)↓融和

やた・やつ・・ (送)矢立て、矢継ぎ早、八つ当たり、八つ切り、八つ裂き、八つ（やつ、やっつ）
やつ・やっこ （奴）→やつ、やっこ
やっき （躍気）→躍起
やど・・ (送)宿り木、宿貸し
やとい・・ (送)雇い入れ、雇い人、雇い主、日雇い、臨時雇い
やにわに （矢庭に）→やにわに
やね （家根）→(学)屋根
やはり (副)（矢張り）→やはり
やひ （野鄙）→野卑
やぶにらみ （藪睨み）→やぶにらみ、斜視
やぶる・やぶれる
破〔一般用語〕障子が破れる、証文を破る、平和が破れる、約束を破る、破れ紙、事が破れる、破れかぶれ、世界記録を破る、国破れて山河あり、破れ目、破れがさ
敗〔敗北〕戦いに敗れる、試合に敗れる、敗れて悔いなし、選挙に敗れる
やぼ （野暮）→やぼ
やま・・ (送)山伏、山狩り、山越え、山出し、山伝い、山続き、山積み、山登り、山開き、山盛り、山焼き、山分け、山沿い
やまと（え） →(慣)大和（絵）
やまびこ （山彦）→山びこ
やみ・・ (送)病み上がり、病み死に、やみ討ち
やみよ （闇夜）→やみ夜、暗夜
やむをえない （止むを得ない、已むを得ない）→やむを得ない
やめる （罷める）→辞める、議長を辞めた
（止める）→やめる、取りやめ
やゆ （揶揄）→からかう、冷やかす
やりなげ （槍投げ）→やり投げ
やるせない（遣瀬ない）→やるせない
やわらか・やわらかい
柔〔剛の対語〕身のこなしが柔らかい、物柔らかな態度、柔らかな心、柔らかな手触り、柔らかい布地、柔らかい皮革、葉・茎・芽・実・果肉などが柔らかい、事を柔らかに運ぶ、表情が柔らかい
軟〔硬の対語〕土質が軟らかい、文章が軟らかい、軟らかい話、飯が軟らかい、軟らかく煮る、軟らかい炭・木材
やわらぐ
和〔おさまって静かになる〕気持ちが和らぐ、硬さを和らげる、寒さが和らぐ、風波が和らぐ、痛みが和らぐ、日差しが和らぐ
〔注〕「やわらかい日差し」は仮名書き

〔ゆ〕

ゆあみ （湯浴み）→湯あみ
ゆ・・ (送)湯上がり、湯冷め、湯冷

宵越し、宵の口、宵祭り、宵宮

よう

用＝入用、不用、用件、用心、用地、用船、用談、雇用、適用、用向き

要＝需要、強要、必要、法要、要点、摘要、要員、不要、要望

よう

様＝様式、同様、様子

よう＝…のようだ、…ようです、…するように（補助用言の場合）

よう・・(送)用立てる、用向き、用たし

ようえん　(妖艶)↓なまめかしい

ようかい　(妖怪)↓化け物

(容喙)↓干渉、口出し

(鎔解、熔解)↓㊫溶解

ようがん　(熔岩)↓㊫溶岩

ようげき　(邀撃)↓迎撃

ようけつ　(要訣)↓極意、こつ

ようけん

用件（用向きの事柄）用件を済ます

要件（大切な事柄）資格要件、要件を具備する

ようご

擁護（かばい守る）平和憲法擁護

養護（特別の保護の下に育てる）養護学級

ようこう

要綱（要約した大綱）法案の要綱を説明

要項（大切な事項）要項を抜粋

ようこうろ　(熔鉱炉)↓㊫溶鉱炉

ようさい　(要塞)↓とりで、要さい

ようしゃ　(用捨)↓容赦

ようじゅつ　(妖術)↓魔法

ようじん　(要心)↓用心

ようせつ　(夭折)↓早死に、若死に

(熔接)↓㊫溶接

ようせん　(傭船)↓用船、チャーター船

ようだい　(容態)↓容体

ようだん

用談（用向きの話）あの件で用談

要談（大切な話）首相と要談

ようてい　(要諦)↓要点、眼目

ようへい　(傭兵)↓雇い兵

ようぼう　(容貌)↓顔だち、容姿

ようやく　(副)(漸く)↓ようやく

ようらん　(揺籃)↓揺りかご

ようらんじだい　(揺籃時代)↓幼年時代、初期

ようりょう

用量（使用する分量）用量を確保

容量（中に入る分量）容量が小さい

要領（要点）要領を得ない

よぎない　(余義ない)↓余儀ない

よく・・　(送)欲張り、欲得ずく、欲深い

よくそう　(浴槽)↓湯ぶね

ゆえ　↓故、故に、貧故の盗み

ゆえに　〔接〕〔副〕故に

ゆえん　(所以)↓わけ、理由、ゆえん

ゆかた　↓〔慣〕浴衣

ゆがめる　(歪める)↓ゆがめる

ゆき・・　〔送〕○○行き(東京行き)、行き当たり、行き帰り、行き方、行き交う、行き掛かり、行き先、行き過ぎ、行き倒れ、行き違い、行き詰まり、行き届く、行き止まり、行き悩み、行き場、行き道、行き渡る
雪明かり、雪折れ、雪かき、雪解け、雪晴れ、雪降り

ゆくえ　↓〔慣〕行方、行方不明

ゆく・・〔送〕行く先、行く末、行く手

ゆさぶり・ゆすり・・　〔送〕揺さぶり落とす、(貧乏)揺すり

ゆさん　↓遊山

ゆすり　(強請)↓ゆすり

ゆずり・・　〔送〕譲り合う、譲り受ける、譲り状、譲り渡し

ゆそう　(油槽)↓油タンク

ゆそうせん　(油槽船)↓タンカー、油送船

ゆだねる　(委ねる)↓ゆだねる

ゆだん　↓油断

ゆちゃく　(癒着)↓ゆ着、ユ着

ゆのみ　(湯呑み)↓湯飲み

ゆびわ　(指環)↓指輪

ゆび・・　〔送〕指切り、指さす、指折り、指ぬき

ゆみ・・　〔送〕弓取り、弓張り月

ゆめ・・　〔送〕夢見心地、夢占い

ゆめにも　〔副〕夢にも

ゆゆしい　↓由々しい

ゆり・ゆれ・・　〔送〕揺りかご、揺り戻し、揺り動かす、揺れ動く

ゆるむ　↓緩む、(ヒモを)緩める

〔よ〕

よ・・　〔送〕夜明かし、夜明け、夜遊び、夜討ち、夜通し、夜泣き、夜逃げ、夜回り、夜更かし、世捨て人、世継ぎ、世渡り、世直し、世まい言

ヨード　(沃度)↓〔学〕ヨード

よい
良〔一般用語〕気分が良い、成績が良い、手際が良い、仲が良い、品質が良い、良い本、頭が良い、良い子
善〔徳性、限定用語〕善い行い、世の中のために善いことをする、性質が善い、善い政治

よい‖…してよい、…でよい、…よいようだ

〔注〕良い、善いは「よい」と仮名書きでもよい。

よい・・　〔送〕酔い心地、酔いざめ、酔い倒れ、酔っ払い

より取り見取り、より抜き、よりすぐる、より出す

よりいと　(撚△り糸)↓より糸

よりより　[副](寄り寄り)↓よりより

よる　(拠・る)↓[法]よる
(選・る)↓よる

よろく　(余△禄)↓余得

よろこび　(歓・び、慶・び、欣△び)↓喜び

よろしい　(宜・しい)↓よろしい

よろん　(輿△論、与▲論)↓世論

よわ・・　[送]弱々しい、弱み、弱める、弱り目

〔ら〕

ら　(等・)↓ら

らいさん　(礼讃△)↓礼賛

らいはい　↓礼拝

らいらく　(磊△落)↓豪放、太っ腹

らくいんをおす　(烙△印を押す)↓焼き印を押す、レッテルを張る

らくがき　(楽書き)↓[統]落書き

らくご　(落伍△)↓脱落、落後、落ちる

らくに・らくらくと　[副]楽に、楽々と

らくやき　[送]楽焼(工芸品に準ずる)

らくはく　(落魄△)↓零落、落ちぶれる

らくばく　(落莫△)↓寂しい、うらぶれる

らくばん　(落磐△)↓[学][法]落盤

らしんばん　(羅△針盤)↓[学]コンパス、ら針盤

らせん　(螺△旋)↓[学]らせん

らち　(拉△致)↓引致、さらう、引っ立てる

らちがい　(埒△外)↓範囲外、わく外

らっかさん　(落下傘△)↓[学]パラシュート

らっかさんぶたい　(落下傘△部隊)↓降下部隊、パラシュート部隊

らつわん　(辣△腕)↓すご腕、腕利き

られつ　(羅△列)↓列挙、並べる

らんかく　(濫△獲)↓[統]乱獲

らんじゅく　(爛△熟)↓成熟、熟しきる

らんしょう　(濫△觴△)↓始まり、起源

らんぞう　(濫△造)↓乱造

らんちきさわぎ　(乱痴気騒ぎ)↓らんちき騒ぎ

らんどり　[送]乱取り

らんばつ　(濫△伐)↓[統]乱伐

らんぴ　(濫△費)↓乱費

らんまん　(爛△漫)↓らんまん

らんよう　(濫△用)↓[統]乱用

よくど　(沃土)→肥えた土地
よくや　(沃野)→豊かな土地
よけいに　㊓余計に
よげん　(預言)→予言
よこ・・　㊜横合い、横書き、横切る、横好き、横飛び、横倒し、横たわる、横付け、横取り、横流し、横降り、横向き、横滑り、横やり
よご　(余後)→予後
よこっ・・　㊜横っ飛・跳び、横っ面、横っ倒し
よごれ・・　㊜汚れ物、汚れ水、(口)汚し
よしあし　(善し悪し)→良しあし
よしん
予震〔前触れの震動〕
余震〔揺り返し〕
よじん　(余燼)→くすぶり、余じん

よせ　→㊗寄席
よせ・・　㊜寄せ集め、寄せ書き、寄せ木細工、寄せ算、寄せなべ
よせい　(余世)→余生
よそ　(余所、*他所)→よそ
よたもの　(与太者)→よた者
よだん　(余断)→予断
よつ・・　㊜四つ(よつ・よっつ)、四つ足、四つ角、四つつじ、四つ手網、四つに組む、四つ身、四つんばい
よなが　→夜長
よび・・　㊜呼び合う、呼び起こす、呼び返す、呼び掛ける、呼び子、呼び声、呼び捨て、呼び出し電話、呼び出す、呼びつける、呼び値、呼び物、呼び寄せる、呼び鈴
よふかし　→夜更かし
よぼう　(輿望)→衆望

よほど　㊓(余程)→よほど
よみ・よむ
読〔一般用語〕経を読む、書を読む、人の心を読む、秒読み、読みが浅い、票を読む、数を読む、読み人知らず
詠〔詩歌を作る〕和歌を詠む、歌詠み
よみ・・　㊜読み上げる、読み誤る、読み合わせ、読み終わる、読み書き、読みかけ、読み方、読み切り、読み手、読み札、読み物、読み人、読みづらい
よめ・・　㊜嫁入り、嫁取り
よもやま　(四方山)→よもやま
よゆう　(余猶)→余裕
より・・　㊜寄り合い、寄り合い所帯、寄り集まり、寄り掛かる、寄り切り、寄り倒し、寄り付き、寄り身、寄り道、より好み(えり好み)、より取り、

〔る〕

るい
累〔積み重ね〕累を及ぼす、累代、累次、累積、累計、累増、累犯
類〔似たものの集まり〕種類、人類、分類、親類、類型、類推、類例

るじ　（屢次）↓しばしば、相次いで

るす　↓留守

るつぼ　（坩堝）↓るつぼ

るる　（縷々）↓細々、くどくど

〔れ〕

れいか　（零下）↓氷点下〔科学関係など特殊な場合は零下またはマイナスを使うことがある〕

れいぎ　（礼義）↓礼儀

れいきゅう　（霊柩）↓ひつぎ、棺

れいきゅうしゃ　（霊柩車）↓葬礼車

れいげん　（霊顕）↓霊験

れいぞく　（隷属）↓隷属、従属

れいびょう　（霊廟）↓霊堂、お霊屋

れいめい　（黎明）↓夜明け、あけぼの

れいめいき　（黎明期）↓初期、あけぼの

れいれいしく　↓麗々しく

れきさつ　（轢殺）↓ひき殺す

れきど　（礫土）↓砂利土

れっせい
劣性〔優性の対語〕劣性遺伝
劣勢〔勢力が劣る〕劣勢を盛り返す

れんが　（煉瓦）↓(学)(法)れんが、れんが造り

れんきんじゅつ　（練金術）↓錬金術

れんげ　（蓮華）↓レンゲ

れんけい　（連繋）↓連係
連係〔切れ目なく続く〕連係動作
連携〔手をつなぐ〕両者連携して推進

れんごう　（聯合）↓連合

れんざ　（連坐）↓連座

れんじゅ　（聯珠）↓連珠

れんせい　（錬成）↓錬成

れんたん　（煉炭）↓(学)練炭

れんにゅう　（煉乳）↓(学)練乳

れんぱ　（連覇）↓連覇、連続優勝

れんびん　（憐憫、憐愍）↓同情、哀れみ

れんぺい　（連袂）↓連名

れんま　（錬磨）↓錬摩、鍛錬

れんめい　（聯盟）↓連盟

〔ろ〕

ローマほうおう　（ローマ法皇）↓ローマ法王

ろうあ　（聾唖）↓ろうあ

〔り〕

り・・ ㊜利付債券、利回(特殊商況用語)、利回り(一般)、利上げ、利食い、利付き、理詰め
りえん (梨△園)→劇界、歌舞伎界
りく・・ ㊜陸揚げ、陸続き
りくそう (陸曹△)→陸曹
りくつ (理窟△)→理屈
りこう (悧△巧、利巧)→利口
(者)
りさい (罹△災)→被災
りち (理智△)→理知
りちぎ (律儀)→㊔律義(者)
りつぜん (慄△然)→ぞっとする
りっぱ →立派
りはつ (悧△発)→利発
りはん (離叛△)→離反
りびょう (罹△病)→病にかかる、発病
りゃくだつ (掠△奪)→略奪
りゅういん (溜△飲)→留飲、つかえ
りゅうげんひご (流言蜚△語、流言非▲語)→流言飛語、デマ
りゅうしょう (隆昌△)→隆盛
りゅうちょう (流暢△)→すらすら、よどみなく、滑らか
りゅうとうだび (竜頭蛇尾△)→先細り、しりすぼまり、末細り
りよう (俚△謡)→里謡
りょう・・ ㊜両替、両隣、両切り、両切りたばこ、両建て、両刀遣い
りょうえん (遼△遠)→程遠い
りょうが (陵駕△、凌△駕)→しのぐ、追い越す
りょうかい (諒△解)→了解
りょうき (猟季)→㊔猟期
りょうぎゃく (凌△虐)→陵虐(罪)
りょうけん (了簡、料簡、量見)→了見
りょうしゅう (領袖△)→幹部
りょうしょう (諒△承)→了承
りょうじょく (凌△辱)→乱暴、暴行、陵辱、辱め
りょうせん (稜△線)→尾根(筋)
りょうぜん (瞭△然)→歴然、明らか
りょうよう 両用〔両方に使う〕水陸両用
両様〔二とおり〕両様の意味がある
りょうらん (繚△乱)→咲き乱れる
りょうりょう (寥△々)→寂しい、ごくわずか、ひっそり
りんかく (輪廓△)→輪郭
りんさん (燐△酸)→㊔リン酸
りんしょく (吝△嗇△)→けち
りんぱせん (淋△巴△腺△)→リンパセン
りんらく (淪△落)→零落、転落

ながら、われら

わか・・ (送)若返り、若死に、若作り　沸かし湯

わかる (解る、判る)↓わかる

わかれる・わける

分(分岐)意見が分かれる、勝負の分かれ目、道が二つに分かれる、草の根を分けて、分け隔て、草分け、分け取り、分け前、分け目、天下分け目、分かち書き、分かれ道(岐路の場合)

別(別離)駅で友と別れる、家族と別れて住む、仲間と別れ別れになる、夫婦別れ、永の別れ、泣き別れ、物別れ、別れ話、別れ目、別れ道(人とわかれる道の場合)

わき (脇)↓わき

わきあいあい (和気靄々)↓和気あいあい、和やか

わく (湧く、涌く)↓わく

わく(わき出る)温泉がわく、石油がわく、勇気がわく

沸(沸騰)お湯が沸く、場内が沸く、議論が沸く、沸き上がる、沸き返る、沸き立つ、湯沸かし器

わく (枠)↓わく

わけ

訳(意味、道理)言葉の訳がわからない、申し訳、言い訳

わけ(形式名詞)そういうわけにいかない、…するわけだ

わけても (副)(別けても)↓わけても

わけまえ (別け前)↓分け前

わこうど ↓(付)若人

わざ

業(仕事、動き)軽業、至難の業、離れ業、業師、業物、仕業、早業

技(技術)柔道の技、技あり、技をみがく、寝技、体操の離れ技

わざと・わざわざ (副)(態と、態々)↓わざと、わざわざ

わざわい (禍)↓災い

わずか (副)(僅か)↓わずか

わずらう ↓患う、長患い、胸を患う

わすれ・・ (送)忘れ形見、忘れ物、忘れっぽい、忘れ果てる

わせ (早稲、*早生)↓ワセ

わた・・ (送)綿入れ、綿打ち、綿織り

わたし・・ (送)渡守、渡し込み、渡し場、渡し船・舟

わたし・わたくし ↓私

わたり・・ (送)渡り合う、渡り鳥、渡り者、渡り廊下

わびずまい (侘住居)↓わび住まい

わびる (詫る)↓わびる

わぼく (和睦)↓和解、仲直り

わらい・・ (送)笑い顔、笑い声、笑い上戸、笑い話

わらじ (草鞋)↓わらじ

わらぶき (藁葺)↓わらぶき

わらべうた ↓童歌

ろうえい　(漏洩)→(法)漏らす、漏れる
ろうおく　(陋屋)→あばら家
ろうかい　(老獪)→悪賢い、ずるい
ろうく　(老軀)→老体
ろうけつぞめ　(﨟纈染、蠟纈染)→ろうけつ染め
ろうこ　(牢固)→確固、がんとして、しっかり
ろうこう　(老功)→老巧
ろうごく　(牢獄)→獄舎、刑務所
ろうし　(牢死)→獄死
ろうしゅう　(陋習)→悪習、因習
ろうじょう　(籠城)→立てこもる、ろう城
ろうぜき　(狼藉)→乱暴、乱雑
ろうそく　(蠟燭)→ろうそく
ろうだん　(壟断)→独占
ろうどう　(郎等)→郎党

ろうにゃく　→老若、老若男女
ろうばい　(狼狽)→慌てる
ろうらく　(籠絡)→丸め込む
ろうれつ　(陋劣)→卑劣
ろか　(濾過)→(学)ロ過、浄化
ろかく　(鹵獲)→捕獲
ろくおんき　(録音器)→録音機
ろくまく　(肋膜)→(学)ロク膜
ろけん　(露顕)→露見
ろじ
露地〔覆いのない土〕露地栽培
路地〔裏町の狭い通り〕路地裏
ろじょうちゅうしゃ　(路場駐車)→路上駐車
ろっこつ　(肋骨)→(学)ロッ骨
ろっこんしょうじょう　→六根清浄
ろてんしょう　(露店商)→露天商
〔店を指す場合は「露店」〕
ろてんぼり　(送)露天掘り
ろばた　→炉端

ろぼ　(鹵簿)→行列、パレード
ろれつ　(呂律)→ろれつ
ろんぎ　(論義)→論議
ろんばく　(論駁)→反論
ろんぽう　(論鋒)→論調

〔わ〕

わ・・　(送)輪踊り、輪切り、輪投げ
わいきょく　(歪曲)→(法)ゆがめる、(法)ゆがみ
わいしょう　(矮小)→小柄、短小
わいせつ　(猥褻)→(法)わいせつ
わいろ　(賄賂)→わいろ(なるべく収賄、贈賄に言い換える)
わが・われ　(我が、吾が)→わが、われ、われわれ、わが国、われ知らず、われ

間違いやすい語

愛想をふりまく↓愛きょうをふりまく、愛想がよい
愛きょうをくずす↓相好をくずす
青田刈り↓青田買い（求人競争などの）
悪臭ふんぷん↓悪臭ぷんぷん、花がふんぷんと香る
悪評サクサク↓悪評高い、好評サクサク
足げりにする↓足げ（蹴）にする
汗の玉が滴る↓玉の汗が滴る
頭をかしげる↓首をかしげる
池の中のカワズ↓井の中のカワズ
遺体と死体＝行方不明者の遺体を発見、身元不明の変死体や戦死体の場合は死体
機体に異常みられず↓物体などの場合は「異状」
位人身を極める↓位人臣を極める
一鳥一石には解決できない↓一朝一夕、一石二鳥との混交
一同に会する↓一堂に会する
打ち手の小づち↓打ち出の小づち
腕より↓腕利き、腕によりをかける
裏幕↓内幕、裏話
汚名ばん回↓汚名返上、汚名をそそぐ、汚名をすすぐ、名誉ばん回
思惑に暮れる↓思案に暮れる
女手一人で育てる↓女手一つで育てる
顔をうかがう↓顔色をうかがう
カギをこわして侵入↓錠をこわして侵入
カギッ子↓カギっ子
かなえを問う↓かなえの軽重を問う
辛くも二位の座死守↓辛くも二位を守る、二位の座死守
画竜点晴↓画竜点せい（睛）
間髪を移さず↓間髪を入れず、時を移さず
ぎこちない↓ぎごちない
期待倒れ、期待に添う↓期待外れ、期待に沿う、連れ添う
気に介さない↓意に介さない
議論伯仲↓議論白熱、議論沸騰
言論風発↓談論風発
ケンケンガクガク↓カンカンガクガク（侃々諤々）、ケンケンゴウゴウ（喧々囂々）
合格者発表場は悲喜こもごも↓悲喜こもごもは、一人の心境についていうことで、多数の人のいる発表場の描写には適切でない。

わり・・ ㊜割合、割当《金》、割高、割引、割増《金》、割戻《金》、割安、〇〇割（二割、三割など数字が入る場合）、学割（学生割引の略）、〇割引き、割り当て、割り印、割り返し、割り下、割り勘、割り切る、割り込む、割り算、割り出し、割り注、割り付け、割り判、割りばし、割り引く、割り符、割り札、割り振り、割り前、割り増す、割り麦、割り地、割り戻し、割り方（方法）

わり・・ ㊖割合に、割に、割かた

わる・・ ㊜悪賢い、悪乗り、悪酔

われ・・ ㊜割れ目、割れ物 「い

われ （我）↓われ、われわれ、われながら、われら

わんきょく （彎^△曲）↓湾曲

わんにゅう （彎^△入）↓湾入

わんぱく （腕白）↓わんぱく

ありそうで ない字

【身体人事】爪 眉 肌 肢 拳
尻 唇 肘 膝 頬 脇 痔 疹
誰 俺 吾 戚 謁 嬉

【衣食住】皿 膳 鍋 釜 臼 鉢
桶 樽 瓶 棚 靴 鞄 蓋 瓜
醤 噌 漬 餅 飴 傘 袖 衿
枕 椅 塀 鍵 瓦

【天文地理】旦 嵐 辻 垣 岡
畠 麓 洲 砿 闇

【その他】也 只 迄 甚 僅 宛
但 凸 凹 稀 仙 遥 云 頃
乞 坐 弘 祀 眺 詣 磨 戴
牽 貰 斯 賑 綴 逝 捗 訊
揃 諒 賭 轢 讃 濫 挿 遵
頁 駄 唄 屑 註 罐 嫌 磯
艶 頑 隅 侠 巷 蹴 罵 朋
妄 憐 弄 或 於 廻 此 其
之 殆 阿 縄 籠 儲 狙 噂
拭 且 勺

なさそうで ある字（読み方は新聞当用漢字音訓表を参照）

【身体人事】髄 額 僕 婿 傑
翁 癖 釣 悦 匠 藩 閲 憾
胆 痘

【衣食住】酪 酌 酵 酢 帽 畳
廊 井 棟

【天文地理】宵 暁 泥 渦 渓
礁 畔 壌 塊 洪 丘 洞 塚
溝

【その他】薦 欄 偵 尚 奔 匿
搾 擦 擁 郭 轄 魅 厄 戻
披 据 犠 牲 矛 盾 諮 亭
桟 汁 俸 涯 矯 墾 漸 衷
凝 擬 虐 胎 肖 款 措 摂
賄 爽 漏 酬 窯 銃 窒 憩
廉 錘 冗 迭 稼 迅 覇 唐
堪 罷 遁 塾 曹 寡 奴 嚇
劾 丹 璽 爵 煩 頒 隷 錬

そで触れ合うも多少の縁→そで（袖）触れ合うも他生の縁
つぎはり→継ぎはぎ
手の裏を返すように→手のひらを返すように
天心らんまん→天真らんまん
とうせんぼお→とおせんぼう、通せん坊、とおせんぼ
盗難バイクが死のレース→盗んだバイクで……
ナシのつぶ手→ナシのつぶて（飛礫）
日常茶飯時→日常茶飯事
眠けまなこで→寝ぼけ眼で、眠け覚まし
男が侵入して机やたなが軒並み荒らされた→軒並みは軒ごと、家ごとの意味でこの場合不適切
七回までパーフェクトゲーム→パーフェクトゲームは九回完了したときに成立する。〇回までパーフェクトで抑える―などはよい。
敗北色→敗色、敗北感

十月始めに→十月初めに
歯に絹着せず→歯にきぬ（衣）着せず
波紋を投じた→波紋を描く、一石を投ず
腹の裏を明かす→腹のうちを明かす
人並みがまばら→人影がまばら、人並みが続く
一役働く→一役買う
フリーの客が来る→ふりの客が来る
文明開花→文明開化
生命に別状ない→生命に別条ない
山林につれ込み暴行→「乱暴」または「いたずら」とする。婦女暴行罪のときはよい
女高生が募金を贈る→寄付金を贈る（寄付金を募ることが募金）
まな板に乗ったタイ→まな板に乗ったコイ
首位との差に大きな水がはいった→大きく水が開いた

燃えたぎる→燃え立つ、煮えたぎる
野性の動物園→野生の動物園、野性にかえった動物
山火事の当たり年→山火事の多い年……多発の年
青春時代は〝道楽〟で有名をはせ→「勇名をはせる」という言葉はある。有名人
余じんさめやらぬ→余じんくすぶる、興奮さめやらぬ
寄る年→寄る年波、年寄り
弱気をはく→弱音をはく
見れる、出れる、来れる、着れる→見られる、出られる、来られる、着られる。（最近話し言葉で「れる」形式が広まっているが、正しい語法によること）
論議をかもす→物議をかもす
論戦を張る→論陣を張る、激しい論戦

「喜ぶ人、悲しむ人さまざまの情景…」などと表現を工夫する
公算が強い↓公算が大きい
効を奏す↓功を奏す
テニスコートの〝こけら落とし〟↓テニスコート開き。こけら（柿）落としは新築劇場などの最初の興行のこと
古式豊かに↓古式ゆかしく、古式にのっとり、古式によって、古式に従って、昔ながらの形式で
ご宿泊された、ご乗船された、ご関心を示された↓「ご」「された」の敬語の重複
古装束＝古い装束
古式の装束＝かみしも（裃）、手甲、すげがさなどの古式通りの装束
ご生大事に↓後生大事に
言葉が重い↓口が重い
試練ささえた向学心↓試練に耐えた向学心、向学心で試練乗り切る（向学心が支えとなって試練に打ち勝ったのだから）
詩吟を朗読する↓詩吟を披露
終始符を打つ↓終止符を打つ
実戦さながらの消防訓練↓この場合は「本番さながら」が適切。
弱冠三十歳↓弱冠は二十歳の異称、二十歳（はたち）前後、または年の若いことを指すときに使う
児童、生徒、学生の区別
幼稚園＝園児、小学校＝児童、中学・高校＝生徒、大学＝学生
渋滞と停滞＝「渋滞」は信号待ちなどで交通がとどこおっている場合。「停滞」は交通事故などで交通がとどこおっている場合。停滞は渋滞より程度が大きい
常規を逸す↓常軌を逸す
初期の目的↓所期の目的
食指をそそる↓食指を動かす、食欲をそそる
晴れの叙勲者、喜びの叙勲者↓叙勲を受ける人、叙勲に輝く人、晴れの受章者、叙勲対象者などとする（叙勲は、勲等に叙し、勲章を授けることなので「叙勲者」は叙勲する方の人、勲章を授ける人）
白羽の矢を当てる↓白羽の矢を立てる
人容を整える↓陣容を整える
精魂尽きる↓精根尽きる
精根をこめる↓精魂をこめる
全然新しい考え方↓全く新しい…、（全然を使う場合は下に打ち消しの言い方が従わねばならない、「全然考えられない」）
前夜来の雪が↓夜来の雪が
交通事故の増発をみており↓交通事故が増えており（電車、バスの増発ならよいが、この場合不適切）
高値をぶっかける↓高値を吹き掛ける

ズ　ツリー

9 原音のティ、ディ、テュ、デュで慣用の固定しているものは、チ、ジ、チュ、ジュで表す。

アンチテーゼ　スタジオ　スチュワーデス
ジュラルミン
ティー　ビルディング　プロデューサー
アデュー

10 原音のウィ、ウェ、ウォの音はウイ、ウエ、ウオと書く。

ウイスキー　ウエーブ　ウオッチ

ただし、ウを落とす慣用のあるものは、これに従う。

サンドイッチ　スイッチ

〔注　外国の地名、人名の表記では外来語と違ってウィ、ウェ、ウォと書く。

11 原音のクァ、クィ、クェ、クォの音は、カ、キ、ケ、コまたはクア、クイ、クエ、クオと書く。

スカッシュ　キルティング　イコール　クイーン　スクエア　クオーター

12 原音（特に英語）のつづりの終わりの―er、―or、―arなどは長音符号「ー」を使う。

ライター　エレベーター

例外　スリッパ　ドア　インタバル

13 原音の語尾の―yは、原則として長音符号「ー」を使う。

アカデミー　カントリー　プレー　マホガニー

例外　トライ　パセリ　ペイ　ボーイ

14 語末（特に元素名など）の―umはウムと書く。

アルミニウム　ラジウム

例外　スタジアム

15 原音のフュ、ヴュの音はヒュ、ビュと書く。

ヒューズ　レビュー　インタビュー

16 二語から成る複合語には、原則として語間に「・」を付けない。ただし判読に困難な場合は、この限りでない。三語以上から成る複合語は、原則として語間に「・」を付ける。ただし、それぞれの語の独立性が希薄で、判読に困難がない場合は「・」を省略してもよい。

外国の地名、人名などの固有名詞と、一般外来語が複合する場合は、その間に「・」を付けて区別する。ただし、固有名詞としての意識が、既に薄れている場合には、この限りでない。

アチーブメントテスト　シンクロナイズド・スイミング　ケース・バイ・ケース　メリーゴーラウンド　ドイツ・マルク　ディーゼルエンジン

外来語の書き方

表記の基本方針

一、既に国語化し、表記の慣用が固定しているものは、それに従う。

二、慣用がまだ固定せず二つ以上に書かれているものは、原語の発音としてわれわれが聞き取る音を基準とし、国民一般に使われやすいことを眼目として、なるべく平易な方を採る。

三、ここに掲げる用例は、外来語の統一表記を示したものである。外来語は、やむを得ない場合のほか、その使用を避ける。

表記の原則

1 外来語は原則として片仮名で書き、ヰ、ヱ、ヲ、ヂ、ヅの仮名は使わない。また、V音を表すヴは使わず、バ、ビ、ブ、ベ、ボで書く。

2 はねる音はンと書く。

3 つまる音は右下に小さく「ッ」を書き添えて示す。

4 従来、原語のつづりに引かれて「ン」、「ッ」を添えて表記したものは、なるべくこれらを省く。

コミュニケ（コンミュニケ×）　コピー（コッピー×）

エクス線（エックス線×）

5 よう（拗）音は、右下に小文字で書き添えて示す。

キャンプ　ニュース　フィクション　フェルト　ファイト

例外　シャッター　バッター

6 長音は、長音符号「ー」で表し母音を重ねたり、ウを使ったりしない。

ボール　オートバイ

原音で二重母音のエイ、オウは長音とみなし、「ー」で表記する。

ショー　メーデー　ウエート

例外　エイト　ペイント

7 イ列・エ列音の次のア音は、ヤと書かず、なるべくアと書く。

ピアノ　テリア　アザレア　スクエア

例外　ダイヤ　タイヤ　ベニヤ板　ワイヤ

8 原音でトゥ、ドゥの音は、ト、ドまたはツと書く。

トレーナー　トロフィー　ドライバー　ドレス　ツーリスト　ワンツーパンチ　ツーピー

インプレッション
インフレ・ヘッジ
インベントリー・ファイナンス
〔ウ〕
ウーマンリブ
ウイーク（エンド、デー、リー）
ウイット
ウイルス（またはビールス）
ウイークポイント
ウインタースポーツ
ウインチ
ウインドー（クリーナー）
ウインドブレーカー
ウインナソーセージ
ウエート
ウエートレス
ウエーブ
ウエディングドレス
ウエハース
ウエルカム

ウエルター
ウオーキートーキー
ウオーキング
ウオーターシュート
ウオーミングアップ
ウオツカ
ウオッチ
ウラン〔ウラニウム〕
〔エ〕
エージェンシー
エージェント
エープリルフール
エアゾール
エアデールテリア
エア（ブレーキ、メール）
エキサイト
エキシビション
エキス
エキストラ
エキスパート
エキゾチック
エクス線
エスカレーター

エスペランチスト
エチケット
エッセー
エッセイスト
エディター
エトランゼ
エベント
エネルギー
エレクトロニクス
エレベーター
エロチック
エンサイクロペディア
エンゼルフィッシュ
エンタープライズ
〔オ〕
オーガンディ
オーソリティー
オーダーメード
オーディオ（メーター、ルーム）
オートクチュール
オートマチック
オートミール

オーナー
オーバーウエート
オーバーホール
オーバーラップ
オーバーローン
オーバー・ボローイング
オーバーワーク
オープン・マーケット・オペレーション
オールウエーブ
オールウエザーコート
オール・オア・ナッシング
オールスターキャスト
オールマイティー
オイルシェール
オクターブ
オシログラフ
オファー
オフィシャル

オフィス
オブザーバー
オブジェ
オプチミスト
オペレーションリサーチ
オリーブ
オリエンテーリング
オリジナリティー
オリンピアード
〔カ〕
カーディガン
カーテンウオール
ガーデンパーティー
カーニバル
カーネーション
カーバイド
カーブ
カーフェリー
カウボーイ
カウンター
カクテル
カシミヤ
カジュアルウエア

外来語用例集

〔ア〕

アーケード
アーチスト
アートディレクター
アームチェア
アイシャドー
アイスキャンデー
アイデア
アウトウエア
アウトサイダー
アウトライン
アカシア
アカデミー
アクセサリー
アクチブ
アグリーメント
アコーディオン
アザレア
アシスタント・ディレクター
アジ（テーション、テーター、プロ）
アスファルト
アセチレン
アセテート
アタック
アタッシェ（ケース）
アチーブメントテスト
アッパーカット
アップルパイ
アデュー
アドバイザー
アドバイス
アドバルーン
アドベンチャー
アトホーム
アトラクション
アトランダム
アトリエ
アナウンサー
アナキスト
アナクロニズム
アナログコンピューター
アパート
アバンギャルド
アピール
アフェア
アブストラクト
アフタ（ケア、サービス）
アフタヌーンショー
アプリケ
アプレ（ゲール）
アプローチ
アベック
アベマリア
アベレージ
アマチュア
アミーバ
アミューズメントセンター
アラカルト
アラビアンナイト
アラモード
アリバイ
アルチザン
アルファ
アルファベット
アルプススタンド
アルミ（サッシ、ニウム）
アレルギー
アロハ（オエ）
アンダーウエア
アンダーライター
アンチテーゼ
アンチモニー
アンデパンダン
アンパイア
アンペア
アンモニア

〔イ〕

イージー（オーダー、ペイメント）
イコール
イデオロギー
イニシアチブ
イニシアル
イブニングドレス
イミテーション
イヤホン
イヤリング
イリジウム
インキ、インク
インジケーター
○○インター〔○○インタチェンジ〕
インターン
インタチェンジ〔○○インター〕
インタナショナル
インタビュー
インタフェア
インタホン
インディアン
インテリ（ゲンチア）
インテリア
インドア（ゲーム）
インファイト
インフォメーション
インフルエンザ
インフレ（ーション）

コスト（インフレ、ダウン）
コットン
コップ、カップ
コテージ
コピー
コブラ
コマーシャル
コミッション
コミューン
コミュニケ（ーション）
コミュニスト
コミュニティー
コミンフォルム
コメディー
コメンテーター
コヨーテ
コルセット
ゴルファー
ゴルフウイドー
コロシアム
コンクリートミキサー

コンクール
コンソーシアム
コンチネンタル
コンディション
コンテナ
コンデンサー
コンデンスミルク
コンバーター
コンバーティブル
コンビーフ
コンビネーション
コンピューター
コンベヤー
コンポジション
コンマ

〔サ〕

サーキットトレーニング
サージン
サーフィン
サーベイ
サイエンティフィック
サイネリア、シネラリア

サイバネチックス
サイホン
サキソホン
サッシ
サディスト
サナトリウム
サファイア
サボタージュ
サボテン
サマータイム
サラダボウル
サラブレッド
サリチル酸
サルビア
サルファ剤
サルベージ
サワークリーム
サンジカリズム
サンタクロース
サンドイッチ（マン）

〔シ〕

シースルールック
ジーパン

シームレスストッキング
ジーンズ
ジアスターゼ
シェーカー
シェード
シェービングクリーム
シェア
シェリー（酒）
ジェット（エンジン）
ジキルとハイド
ジグザグ（デモ）
ジステンパー
ジストマ
シチュー
シック
シネラリア、サイネリア
シビリアンコントロール
ジフテリア
シミュレーター
ジャージー

ジャーナリスチック
ジャカード
ジャケット
シャシー
ジャックナイフ
シャッター
シャドーキャビネット
シャベル
シャワー
シャンデリア
ジャンパー
シャンパン（またはシャンペン）
ジャンボジェット
シュークリーム
ジュース
シュールレアリスム
シュウマイ
ジュエリーデザイン
ジュエル
ジュニア
シュノーケル
シュプレヒコール

カッティング
カップ、コップ
カドミウム
カトリック
カナリア
カバー
カバリング
カフェー
カフェテリア
カムバック
カムフラージュ
カラーテレビ
カリカチュア
カリキュラム
カリフラワー
カルシウム
カルチャー
カルテット
ガレージ
カレンダー
カレントトピック
カンガルー
カンツォーネ
カントリー(クラブ)

カンバス、キャンバス
ガンマ(線)

〔キ〕

キー(パンチャー、ポイント)
ギア
キス
ギタリスト
キチンカー
ギブ・アンド・テーク
ギプス
ギャザー
キャスチングボート
キャッチフレーズ
キャディー(バッグ)
キャパシティー
ギャバジン
キャバレー
キャビネ
キャブレター
ギャラ(ンティー)
ギャラリー

キャリア
キャンデー
キャンプファイアー
キャンバス、カンバス
キュリー〔放射能の単位〕
ギョウザ
キルティング

〔ク〕

クーデター
クーポン
クイーン
クイズ
クエーカー
クオーター
クオータリー
クオリティーペーパー
グラウンド
グラビア
グラブ、グローブ
グランプリ
クリーニング

グリーンベルト
クリア
クリエーティブ
クリスマス(イブ、ケーキ、ツリー)
グリンピース
グループ
グレープジュース
クレジット
クレバス
クレヨン
クローカス、クロッカス
クローズアップ
クローズド・モーゲージ
クローバ
クロス
クロスカントリー・レース
グロッギー
クロロホルム

〔ケ〕

ケーススタディー

ケース・バイ・ケース
ケープ
ケーブルカー
ゲーム
ゲレンデ

〔コ〕

ゴー・ストップ
コーディネーター
コーデュロイ
コート
コーヒー
コールタール
ゴールデン(アワー、ウイーク)
コールレート
コーンフレーク
コアカリキュラム
コカ・コーラ〔商品名〕
コケティッシュ
ココナツ
ゴシップ
コスチューム

〔ソ〕

ソーセージ
ソサエティー
ソシアリズム
ソシアル（ダンス、ダンピング）
ソファ
ソフトウエア

〔タ〕

ターボジェット（エンジン）
ダイカスト
ダイジェスト
タイヤ
ダイヤ
ダイヤル
タキシード
ダックスフント
ダッシュ
タブロイド
ダムサイト
ダリア
ダンスパーティー
ダンディー

〔チ〕

チームワーク
チェーンストア
チェーンソー
チェックアウト（タイム）
チェロ
チェンジ・オブ・ペース
チケット
チック
チップ
チフス
チャリティーショー
チャレンジ
チャンネル
チューブ
チューンアップ
チンキ

〔ツ〕

ツートンカラー
ツーピース
ツーリスト
ツアー（コース）
ツイード
ツベルクリン
ツリー

〔テ〕

デージー
データ（バンク）
デート
テーブルクロス
テープレコーダー
テーマ
テーラードスーツ
ティー
ディーゼル（エンジン）
ティーチングマシン
ディーラー
ティーンエージャー
ディスインフレ
ディスカウント（セール）
ディスカッション
ディスクジョッキー
ディスプレー
ティッシュペーパー
ディスポーザー
ディナー
ディレクター
ディレッタント
テキスト
テクニシャン
テクノロジー
デコレーションケーキ
デジタルコンピューター
テストケース
デスマスク
デッキチェア
デッド（ロック、ヒート）
デテール
デノミ（ネーション）
デバリュエーション
デビスカップ（デ杯）
デフレ（ーション）
デベロッパー
デレゲーション
テレタイプ
テレビ（ジョン）
テレホン（サービス）

〔ト〕

トーキー
トーダンス
トーテムポール
ドーナツ
ドア
ドイツ・マルク
ドスキン
ドッジボール
トトカルチョ
トパーズ
ドライバー
ドライブ（ウエー）
ドライヤー
トラコーマ
ドラッグストア
トラベラーズチェック
ドラマチック
トランシーバー
トランジスタ（ラジオ）

ジュラルミン
ショー(ウインドー)
ショートケーキ
ジョイントベンチャー
ショベルカー
ショルダーバッグ
シリアス
シリコン
ジルバ
ジレンマ
シンクタンク
シンクロナイズド・スイミング
シンジケート
ジンジャー(エール)
ジンフィーズ
シンフォニー
シンポジウム

〔ス〕

スーツケース
スーパー(ストア)
スーブニール、スーベニア

スイートピー
スイートホーム
スイッチ
スイング
スエード
スカート〔服装〕
スカウト〔競技、芸能などの〕
スカッシュ
スカラシップ
スキューバ
スクエアダンス
スクラップ・アンド・ビルド
スクラム
スクランブルエッグ
スケール
スケジュール
スタジアム
スタジオ
スタッフ
スチーム
スチール
スチューデントパワー

スチュワーデス
スツール
ズック
ステージ
ステートメント
スティック〔運動〕
ストック〔運動〕
ステッキ〔一般〕
ステップ・バイ・ステップ
ステンドグラス
ストーリー
ストア
ストップウオッチ
ストライキ〔労働〕
ストライク〔運動〕
ストレート
ストローベリー
ストロンチウム
スパゲティ
スパナ
スピーディー
スピードアップ

スプーン
スフィンクス
スペース
スペア
スペシャル
スポーツマンシップ
スポーティー
スムーズ
スリークオーター
スリーブ
スリッパ
スローモー

〔セ〕

セーター
セーフティー(ファースト、バント)
セーブポイント
セーラー(服)
セクシー
セクシュアル
ゼスチャー
ゼッケン
セツルメント
セニョーラ

セニョール
セニョリータ
ゼネスト〔ゼネラルストライキ〕
ゼネラル
ゼネレーション
セパード
セピア
セミナー、ゼミナール
ゼラチン
ゼラニウム
ゼリー(ビーンズ)
セルフタイマー
セレナーデ
セロハン
ゼロメートル地帯
セロリ
セントラリゼーション
セントラルヒーティング
ゼントルマン

ヒエラルキー
ビオラ
ピクチャー
ピクルス
ピケ(ット)ライン
ビザ
ビジネス
ビタミン
ビデオテープ
ヒドラジド
ビニール
ヒヤシンス
ビューティー
ヒューマニティー
ヒューマンリレーション(ズ)
ヒュッテ
ビュッフェ
ピューリッツァー賞
ピラミッド
ピリオド
ビリヤード
ビル(ディング)
ヒレ(肉)

ヒンターランド

〔フ〕

ファースト
ファーニチャー
ファイアー
ファイアマン
ファイト
ファイブ
ファイル
ファインダー
ファインプレー
ファクシミリ
ファシズム
ファッションショー
ファナチズム
ファン
ファンタスチック
ファンデーション
ファンド
フィーチャー
フィート
フィールド
フィアンセ
フィギュア

フィナーレ
フィラメント
フィルター
フィルム
フェアプレー
フェスティバル
フェミニスト
フェルト
フェンシング
フォーク
フォークダンス
フォーム
フォロー
プディング
フライング
ブラシ
プラスアルファ
プラスチック
ブラスバンド
ブラックリスト
プラットホーム
プラネタリウム
フラミンゴ
ブランデー

プランニング
フリージア
ブルドーザー
プレーガイド
フレーム
プレーヤー
ブレーントラスト
フレアスカート
ブレザーコート
プレスコード
ブレンソーダ
フロア
プログラマー
プロジェクト
フロッグマン
プロデューサー
プロフィル
プロマイド
フロントガラス

〔ヘ〕

ベーカリー
ベーコン
ページ
ページェント

ベージュ
ベースアップ〔ベア〕
ベースキャンプ
ベータ(線)
ペーブメント
ベーラム
ベール
ヘアスタイル
ヘアピン
ペイ
ペイント
ベゴニア
ペダル
ペチコート
ペナルティー
ベニヤ(板)
ヘビー(級)
ベランダ
ヘリウム
ベルトコンベヤー
ベルベット
ベロア
ベンチレーター
ペンテックス

ドリアン
トレーナー
トロツキスト
トロフィー
トロリーバス
ドロンゲーム
ドンファン

〔ナ〕

ナショナルコンセンサス
ナツメグ
ナトリウム
ナルシス
ナルシシズム
ナンバープレート
ナンバーワン
ナンバリング

〔ニ〕

ニアミス
ニグロ
ニットウエア
ニトロセルローズ
ニュースバリュー
ニューフェース
ニュールック
ニュアンス

〔ヌ〕

ヌーベルバーグ

〔ネ〕

ネーチャー
ネーブル
ネームバリュー
ネガチブ（リスト、フィルム）
ネグリジェ
ネックレス

〔ノ〕

ノーカーデー
ノーヒット・ノーラン
ノーモア・ヒロシマ（ズ）
ノイローゼ
ノスタルジア
ノック（アウト、ダウン）
ノンストップ
ノンフィクション
ノンプロ（フェショナル）

〔ハ〕

ハーケンクロイツ
バージン
パーティー
バードウイーク
ハードウエア
パートナー
バイアス
ハイウエー
バイオリン
パイナップル
ハイファイ
ハイヤー
バクテリア
パスポート
バター（ピーナツ）
バッグ
バックグラウンドミュージック
パッケージ
パッセンジャー
バッテリー
ハッピーエンド
バトントワラー（ガール）
バニシングクリーム
バニラ
パネルディスカッション
パパイア
ババロア
バファロー
パフォーマンス
パブリシティー
パブリックリレーション（ズ）〔PR〕
バラード
バラエティー
パラフィン
パラボラアンテナ
バランス・オブ・パワー
バリウム
バリエーション
パリジェンヌ
パリジャン
パリティー
パリ・ファッション
バレー（ボール）
バレエ〔舞踊〕
バロンデッセ
バンアレン帯
ハンカチ
バンクローン
パンクロ（マチック）フィルム
パンティー（ストッキング）
ハンディ（キャップ）
ハンディトーキー
ハンバーグ
ハンマー（投げ）

〔ヒ〕

ヒーター
ビーナス
ピーナツ
ビア（ガーデン、ホール）
ピアノ
ヒアリング

〔ヨ〕

ヨーグルト
ヨード（チンキ、ホルム）

〔ラ〕

ライトバン
ライバル
ライフサイクル
ライラック、リラ
ラインアップ
ラジウム
ラジエーター
ラジオ（カー、ゾンデ）
ラジカル
ラストヘビー
ラッシュアワー
ラバソール
ラブシーン
ラプソディー
ラブレター
ラベル
ラマルセイエーズ
ランジェリー
ランデブー

〔リ〕

リーダーシップ
リードオフマン
リアリスト
リアリティー
リクエスト
リノリウム
リハーサル
リフォーム
リフレーン
リベット
リヤカー
リューマチ（ス）
リュックサック
リラ、ライラック
リンク〔スケート場〕
リング〔ボクシング場、レスリング場〕

〔ル〕

ルーレット
ルクス
ルネサンス
ルバシカ
ルビー
ルポルタージュ
ルミノール（反応）

〔レ〕

レーザー（光線）
レート
レーヨン
〔注、固有名詞は別〕
レーンコート
レーンボー
レイ
レイアウト
レギュラー
レクチャー
レグホン
レクリエーション
レコードプレーヤー
レシーバー
レジオン・ドヌール
レジャー（ブーム）
レセプション
レッドパージ
レディーファースト
レディーメード
レパートリー
レビュー
レファレンス
レフェレンダム
レポート
レボルバー
レリーズ
レンジャー

〔ロ〕

ローイング
ロータリー
ロードショー
ロープウエー
ロープデコルテ
ローリング
ロイヤリティー
ロイヤルボックス
ロケーション
ロックアウト
ロッククライミング
ロビー
ロビイスト
ロベリア
ロマンスグレー
ロマンチシズム
ロマンチック
ロンパース

〔ワ〕

ワールドシリーズ
ワイヤ（レスマイク）
ワセリン
ワックス
ワンサイドゲーム
ワンダーフォーゲル
ワンツーパンチ
ワンピース

ペンネーム

〔ホ〕

ボーイスカウト
ポーカーフェース
ボーカル
ボーキサイト
ボーダーライン
ポートレート
ボーリング〔掘る〕
ボール〔球〕
ホイッスル
ボイラー（マン）
ボウリング〔十柱戯〕
（サラダ）ボウル〔わん、はち〕
ボウル（ゲーム）＝甲子園ボウル
ボキャブラリー
ボストンバッグ
ボディー（ガード、ビル）
ボトル
ホバークラフト
ボランティア
ボリューム
ボルシェビキ
ボルト
ホルマリン
ホン〔音の大きさの単位〕

〔マ〕

マーケット
マーケティング
マーチャンダイジング
マーマレード
マイクロウエーブ
マイクロホン
マイノリティー
マキシマム
マグネシウム
マスゲーム
マスコミ（ュニケーション）
マスプロ（ダクション）
マスメディア
マタニティー（ウエア、ドレス）
マッシュルーム
マティーニ（カクテル）
マナー
マニア
マニュファクチャー
マネキン
マネジメント
マネジャー
マフラー
マホガニー
マラリア
マリファナ
マルキスト
マンゴー
マンツーマン
マンパワー・ポリシー

〔ミ〕

ミキサー
ミックス
ミッションスクール
ミニチュア
ミュージカル
ミルクセーキ

〔ム〕

ムード
ムームー
ムニエル

〔メ〕

メーカー
メーキャップ
メーストーム
メーデー
メード
メーフラワー
メーン（エベント、スタンド）
メガホン
メゾソプラノ
メタセコイア
メダル
メチル（アルコール）
メッセージ
メッセンジャーボーイ
メドレーリレー
メリーゴーラウンド
メロディー
メンシェビキ
メンタルテスト

〔モ〕

モータリゼーション
モザイク
モジュール
モダン
モチーフ
モチベーション（リサーチ）
モデル
モナリザ
モヘア
モラトリアム
モラール〔士気〕
モラル〔道徳〕

〔ユ〕

ユーティリティー
ユートピア
ユナイテッド
ユニバーシアード
ユニホーム

い。

三、表外字、表外音訓を含む語は、用字用語集の語例に従って言い換え、書き換えをする。書き換えには①同音同義の漢字に書き換える場合②仮名書きにする場合―とがある。③仮名書きだけで意味のわかりにくいときは、その下にカッコして原漢字を示す。ただし、二度目からは仮名書きだけにする。ただし、極めて特別な語に限り、原漢字の下にカッコで読みを示すこともある。

言い換え、書き換えに用いる仮名は、平仮名を主体とする。ただし片仮名を慣用する語の場合や、一語感を出したり、平仮名文中での埋没を防ぐため、片仮名を用いてもよい。

〔例〕① 頓智→機知、とんち
繁昌→繁盛　叛乱→反乱
② あいさつ、あっせん案、うっ血　日ごと、つむじ風、わいろ
③ あわ(泡)、防空ごう(壕)、ひ(曾)孫、ソ(狙)撃兵、ケイ(脛)骨　ケイ(頸)骨

四、固有名詞で、新聞当用漢字表、人名用漢字別表の文字の異体とみられるものは、表内の字体を用いる。

〔例〕廣田→広田　松澤→松沢　壽一→寿一
長嶋→長島　永峯→永峰　力彌→力弥

ただし、寄稿者名、被表彰者名などでは特別の字体を使ってもよい。

〔例〕福田恆(恒)存　和田傳(伝)　大佛(仏)次郎

五、選挙候補者名簿では、届け出通りの字体を使う。届け出が仮名の場合は仮名書きにする。ただし、届け出が旧字体であっても、一般にあまり使われていないものは、表内の字体で書く。

〔例〕青(靑)　麻(麻)　浅(淺)　稲(稻)
内(內)　海(海)　恵(惠)　栄(榮)
益(益)　円(圓)　横(橫)　奥(奧)
桜(櫻)　温(溫)　蔵(藏)　国(國)
鉄(鐵)　徳(德)　万(萬)

名簿以外の選挙関係一般記事、解説などでは、表内字体を使う。名簿で仮名書きしたものも漢字に戻してもよい。

ひらがな

一、代名詞、副詞、連体詞、接続詞、感動詞、助詞、助動詞、補助用言、形式名詞は、できるだけ平仮名書きにする。ただし音読みの副詞やその他の品詞で、漢字書きが慣用されているものは新聞当用漢字音訓表の範囲内で表記してよい。(副詞、連体詞、接続詞の漢字、仮名の書き分け用例は用

表記の基準

表記の原則

一、新聞記事（見出しを含む）は、日常一般に使う標準的な、わかりやすい口語体を使う。

二、新聞当用漢字、現代かなづかいによる漢字と平仮名交じり文を主体とし、必要に応じて片仮名、ローマ字を使う。

三、送り仮名は改定送り仮名の付け方による。

四、漢字、仮名両様で書ける語は、いずれを用いてもよいが、同一の記事中では同じ表記をする。特に和語については、わかりやすく、読みやすくするため漢字、仮名の使用配分を工夫する。

用字について

漢字

一、漢字は、新聞当用漢字改定音訓表に掲げてあるものに限って使用し、固有名詞や特殊の語を除いては原則として、新聞当用漢字以外の字（表外字）と、同音訓表以外の音訓の字（表外音訓）を使わない。

二、表外字（△印で示す）は、次のような場合に限り使ってもよい。固有名詞や特殊の語で読み方の難しいもの、署名の社外寄稿原稿中の表外字、表外音訓字で、言い換え、書き換えが困難な場合は、その語の下にカッコして平仮名で読みを示す。二度目からは漢字書きだけにする。

〔例〕大鵬、蝙蝠安、韓国、奄美大島
吾妻流、華僑会館、藍綬褒章、
軍曹、伍長、○○卿
相模補給廠（しょう）
虚空蔵菩薩（こくうぞうぼさつ）
石清水（いわしみず）、虹彩（こうさい）、紗綾（しゃあや）、
殯宮祗候（ひんきゅうしこう）

〔注〕記事中で使ったこのような漢字を見出しにするときは、漢字書きだけで、読みは入れなくてよ

て

⑤感動詞（強調するときは片仮名書きにしてもよい）ああ、あら、いや、おや、そら、まあ、ウワア、ヘヘヘ

⑥助詞　ぐらい、こと、ずつ、ところ、ながら、など、ばかり、まで

⑦助動詞、補助用言（動詞・形容詞の本来の意味、用法が薄れて、上にくる文節の補助の働きをするもの）ごとき、たい、べき、ようだ・ようです(様)、そうだ・そうです(相)、…という(言)、…である(有)、…でない(無)、…している・しておる(居)、…してあげる(上)、…していく(行)、…しておく(置)、…してくる・なってくる(来)、…にすぎない(過)、…になる(成)、かもしれない(知)、みる・みられる(見)

⑧形式名詞　こと(事)、とき(時)、ところ(所)、うち(内)、もの(物・者)、わけ(訳)

〔注〕これらの名詞が実質的意味をもって使われる場合は、漢字を使ってもよい

〔例〕事と次第によっては　住んでいた所

二、接頭語、接尾語は原則として平仮名書きにする。

〔例〕ご結婚、お菓子、み空、まる五年、赤み、低め、○○など、○○ら、○○たち、友人たち、婦人たち、○○さま・さん、五年ぶり

〔注〕①固有名詞で使われる接頭語は漢字書きにする。「東宮御所、御用邸」など。

②「太め、長め、早め、細め、高め、近め」など、程度を表す場合の接尾語は仮名書き。個所、順序、物量、体験などを表す場合の接尾語「二つ目、三人目、五番目、九代目、十枚目」などは漢字書き。

③「等」は「とう」と読む場合、漢字書き。

三、漢字本来の意味がずれて使われる語は、平仮名書きがよい。

〔例〕水を一杯―いっぱいの人出、幸せいっぱい　すそ模様、唐草模様、部屋の模様替え―雨もよう、出発は遅れるもよう、会議は荒れもよう

四、あて字に類するものは原則として、平仮名書きにする。

〔例〕ございます(御座居)、じだんだ(地団太)、すっぱ抜く(素破)、はやり(流行)、ふさわしい(相応)、めでたい(目出度)、ちょっと(一寸)、むちゃくちゃ(無茶苦茶)、やにわ(矢庭)、わんぱく(腕白)

五、熟字訓は、仮名書きを原則とするが、新聞当用漢字音訓表の末尾に掲げた「漢字書きにできる熟字訓」および用字用語集に(慣)の印で示したものは漢字書きにしてよい。

〔例〕海女(あま)、仮名(かな)、山車(だし)、雪崩(なだれ)、猛者(もさ)、

字用語集を参照のこと）

〔例〕

①代名詞　おれ、われ、われわれ、あなた、どなた、だれ、これ、これら、ここ、ここら、あれ、あれら、なに、それ、どれ、どこ、そこ、あそこ、あっち、そちら、そっち、こちら、ここいら、どちら、どっち

私、僕、君、彼、彼女、自分

②副詞

訓読みのもの　あくまで、あえて、あまりに、あらかじめ、いかにも、いずれ、いたって、いつか、いよいよ、おおむね、おいおい、おそらく、おちおち、およそ、かえって、かなり、かねて、ことごとく、さしずめ、さらに、しばらく、すぐに、ともに、なかなか、なにぶん、なみなみと、なんだか、なんとなく、ぬけぬけと、まさに、ますます、まず、まるで、まるまる、もし、やにわに、やはり、ようやく

今、今さら、今に、今にも、大いに、恐る恐る、主に、重ねて、必ず、仮に、辛うじて、代わる代わる、極めて、試みに、事ごとに、殊に、殊さら、殊の外、好んで、幸いに、強いて、仕方なく、親しく、既に、絶えず、互いに、直ちに、例えば、度々、近々、誓って、次いで、次々に、謹んで、努めて、常に、時々、後程、伸び伸び、延び延び、図らずも、初めて、果たして、早々と、引き続き、翻って、広々と、再び、奮って、誠に、全く、自ら、最も、夢にも、割合に、割に、割かた

音読みのもの　暗に、案外、依然、一応、一概に、一気に、一時に、一向に、一切、一斉に、一層、一番、一般に、一挙に、往々、概して、格段、格別、元来、結局、決して、現に、今後、今度、懇々と、次第に、実に、終始、十分に、少々、徐々に、真に、切に、絶対に、全然、大概、大層、大して、大体、大変、断じて、単に、体よく、当然、到底、特に、途端に、突然、非常に、別に、万一、無論、毛頭、優に、余計に

いっぱい、いっぺんに、いちずに、いっさん、かいもく、ぎょうさん、さんざんに、ずいぶん、せっかく、ぜひとも、たいてい、だいぶ、だいぶん、たくさん、たぶん、だんだんに、ちょうど、ちょっと、とうとう、めった、めっぽう

③連体詞　ある、あらゆる、おける、この、その、ほんの、わが

④接続詞　あるいは、かつ、しかし、しかも、すなわち、それゆえ、それとも、ただし、ところが、ところで、ないし、なお、ならびに、また、または、もしくは、もって、及び（なるべく仮名書き）、従って、併せ

隠語は使わない。

〔例〕チャチ　ベラボウ　ザマ（をみろ）　デタラメ　テンデ　ボヤク　チンプンカンプン　ロハ　ゲバ　ピカ一　インチキ　ネタ　ゲンナマ　ピンはね

十、表外字、表外音訓字を避けるための仮名書きで、一字音、一字訓、その他平仮名にすると文章中に埋没して読みにくくなる場合、一語感の効果をあげる場合。

〔例〕ソ毛　ギ装　ダ液　ロ過　ウ飼い　イ草　消火セン　宇宙ジン　重ソウ　モ（藻）　ネ（音）　ネ（子）　エ（餌）　ロ（櫓）

十一、その他特別の意味やニュアンスを出す場合、読みにくさを避ける場合。

〔例〕それもそうだネ　なかなかコトですわい
ひどくイヤないたずら　思うツボ

繰り返し符号（おどり字）

一、同じ漢字が二つ重なった熟語には、繰り返し符号「々」を使ってよい。ただし、重なる漢字が三字以上のときと、二語連合で漢字が重なるときには使わない。

〔例〕点々　大々的　処々方々　部分部分　一試合一試合　会議議長　大学学長　電電公社　南南西の風

二、同一事項を表す「〃」は、統計表、図表などには使ってもよい。

三、その他の繰り返し符号「ゝ」「ゞ」「〱」「〲」などは使わない。

〔例〕せせらぎ　わがまま　かがり火　いろいろ　さまざま

こども向け記事について

一、なるべく教育漢字の範囲で、やさしく書く（教育漢字は、当用漢字音訓表＊印を参照）。

二、教育漢字以外の当用漢字などを使用する場合、その語の下にカッコして、平仮名で読者の程度に応じて、教育漢字でも読みを付けてよい。

〔例〕端午（たんご）の節句（せっく）　北斗（ほくと）七星　映画（えいが）

用語について

一、**用語は正確に、わかりやすく**

言葉には一定の意味、一定の用法がある。一つ一つに「正しい」意味、用法、語形があり、それに従って正確な言葉を使わないと円滑な伝達ができない。特に多数の読者を相手と

行方(ゆくえ)

六、誤読の恐れある語は、なるべく平仮名書きにする。

〔例〕出どころ(出所)⇄「シュッショ」

七、表外字、表外音訓を含む道具、器具類などの名称は、平仮名書きにするが、文章中に埋没して読みにくくなる場合には片仮名書きにしてもよい。

〔例〕さら(皿)　ぜん(膳)　なべ(鍋)　かま(釜)　うす(臼)　はち(鉢)　おけ(桶)　たる(樽)　たな(棚)　コップやビンが並ぶ

カタカナ

次の各項に当てはまる語は、原則として片仮名書きにする。

一、外国(中国、朝鮮を除く)の地名、人名。

二、中国、朝鮮の地名の一部(「中国、朝鮮の地名、人名の書き方」参照)。

三、外来語。

ただし、外来語としての語源意識の薄れた語は平仮名書き。

〔例〕たばこ(植物の名称としては「タバコ」)　かるた　さらさ　きせる　じゅばん

四、擬音語、擬声語。

〔例〕カタカタ　ゴーゴー　ワンワン　キャンキャン　チチチ

五、擬態語は、平仮名書きにするのが普通だが、特にニュアンスを出す場合は片仮名書きにしてよい。

〔例〕ノソノソ　ヨチヨチ　ペロリ　ゴッソリ

六、感動を表す語で特に強調する場合。

〔例〕アラ　オヤ　ギョッ　ハハハ　マァ

七、動植物の名称。

ただし、「うなぎ上りの物価」「ごぼう抜き」など比ゆ的に使う場合は平仮名書きでもよい。

当用漢字表に含まれている動植物名の漢字は次の通りで、漢字書きにしてもよい。

動物＝牛　馬　犬　羊　豚　象　鯨　鶏　蚊　蚕

植物＝松　竹　梅　桜　桃　柳　桑　稲　麦　菊　麻　綿　芋　茶　豆　芝　漆　杉　菜

八、新聞当用漢字で書けない学術用語、病名、身体諸器官の名。

ただし厳密な意味でこれに該当しないものは平仮名書きにしてよい。

〔例〕スイ臓　胃ガン　ヤ金　タンパク質　おでき　はれもの　手のひら

九、俗語、隠語。

特に必要とする場合のほか俗語、

② 話し言葉の語例

出方いかんで→出方次第で　やむなきに至った→やむを得なくなった　よもや大事に至るまい→まさか大事にならないだろう　東京において→東京で　政治および経済に関して→政治と経済について　ゆえん→わけ　すなわち→そこで、つまり　とみに→急に、にわかに　いかに→どんなに　負けてはならじと→負けるものかと　かつて悪事を働いた→前に悪いことをした　優勝を遂げた→優勝した　すこぶる→非常に　重きを加えて→重くなって　かかる観点より→このような観点から

③ 漢語脈の語の言い換え

冒頭に→最初に、まず　若干の点について→いくつかの点で　過半数を制し→過半数で　合意に達した→意見が一致した　成案を得た後→案が出来てから　数次にわたり→何回も、たびたび、度々　当該→その、当の　様相を呈し→もようで　終止符を打つ→終わる　支障をきたす→じゃまになる　逐次→次々に、だんだん　旧態依然たる→昔のままの　小康を呈し→少しよくなり、しばらく無事で　若干名の→数人の　払底する→不足する、品切れとなる　敗北を喫す→負ける　衷心より希望する→強く希望する

六、重ね言葉、二重否定を使わない。

〔例〕犯罪をおかす→罪を犯す　被害を被る→害を受ける　古来から→古来　突然卒倒する→卒倒する　およそ千数百円→千数百円　認めざるをえない→認めよう　慎重に熟慮する→熟慮する　ただ今の現状→現状　毎日曜日ごと→日曜日ごと　かねて療養中のところ→療養していたが　いまだ未完成→未完成

七、同音語、類音語、類似語などは誤りやすいから、特に注意して正しく書く。送稿の場合も正しく読み、間違いやすいものについては字解する。

〔例〕異常—異状、異同—異動—移動、科学—化学、開放—解放、学会—学界、競走—競争、議員—議院、再開—再会、鉱業—工業、公布—交付、四球—死球……

十五—十号、引き上げ—引き下げ、失火—出火、需給—自給、議決—否決……

己—已、杉—松、未—末、活—話、官—宮、政—改、友—反、後—度、由—田、か—が—加、人—八—ハ—ん、と—二—ニ、二—三、ナ—十、五—王、十—千—チ、月—日、6—0、手—平、公—ハム……

八、人種、階級、職業などについ

する新聞で、言葉遣いを誤ることは危険で、国語を乱すことにもなりかねない。

新聞文章は正確な言葉を使うだけでなく、わかりやすい用語を使うことが特に必要である。わかりやすい用語とは、自分にも他人にも見慣れ、聞き慣れた、親しみ深いものである。

用語は①わかりやすく、なるべく日常一般に使い慣れているものを選ぶ②適当な語が見つからない場合でも自分勝手に新奇な語を作らない——ことに注意する必要がある。

二、難しい専門語には、説明や注を付ける。簡単な説明は文中にカッコ書きで入れ、長い場合は〔注〕で別項にする。

三、外国語をみだりに使わない。やむを得ず使うときは、カッコして説明か訳語を付ける。

〔例〕シェア（占有率）　バイ・アメリカン（米品優先買い付け）　ユーロビジョン（欧州テレビ網）　オーバーローン（貸し出し過多）　アパルトヘイト（人種差別政策）　フロート（変動相場制）

四、略語、略称は乱用しない。ごく一般化したものを除き、文章の初めには略さない正式の日本語名称を書き、カッコ内に略語、略称を入れる。二度目からは略語、略称を書く。

〔例〕北大西洋条約機構（NATO）　世界保健機構（WHO）　国連アジア極東委員会（エカフェ）　自動列車停止装置（ATS）

五、古い言葉、文語調の字句は使わない。

〔例〕①　口語文に交じりやすい文語

〔代名詞〕たれ→だれ　いずれ→どれ　いずこ→どこ

〔動詞〕はゆ→映える　恥ず→恥じる　滅ぶ→滅びる　講ず→講ずる　敗る→敗れる　（「負かす」意味の場合は「破る」と書く）

〔形容詞〕高し、高き→高い　涼し、涼しき→涼しい

〔形容動詞〕主なる→主な　堂々たる→堂々とした

〔助動詞〕助けらる→助けられる　しのばるる→しのばれる　思わしめる→思わせる　行かん→行くだろう　適用せん→適用するだろう　動かすべからざる→動かすことのできない　あるべし→あるだろう　一任すべく→一任するよう　山のごとき→山のような　されたし→されたい

〔助詞〕にて→で　山高くして→山が高くて　一時より始まる→一時から始まる　のみ→だけ、ばかり　すら→さえ　だに→さえ、も

いうわけで?」

六、改行で個条書きするときは、各個条の終わりに句点を付ける。ただし、簡単な個条には付けなくてよい。

〔例〕次の事項を書いた申請書を提出して下さい。

1申請者の住所氏名―
2建築の目的―
3建築の場所―

七、文中の追い込みの個条書きでは、各個条の終わりに句読点を付けない。最後の個条と本文との切れ目には「―」を用いるとよい。

〔例〕四十八年度予算大蔵省原案は○日の省議で①四十八年度の予算規模は十兆円台となる②公害対策費は……とする③福祉関係の……なる見込み―などの方針を決めた。

八、省略や間を持たせるために、文末で用いた「……」「――」の次には、句点を付ける。

〔例〕あれからもう九十日、あすはあの子の誕生日だというのに……。

読点「、」

一、文中で、文脈をはっきりさせたり、文の味を出す必要のあるところに、読点を打つ。読点は息の切れ目や読みの間（なるべく二十字以内）を考えて付ける。

二、語句の並列には、読点を打つ。

〔例〕家も、妻も、子も捨てるつもりか。

三、誤読、難読を避けるため、読点を使う。

〔例〕晴れた夜、空を仰ぐと……
ここで、はきものをぬいでください。

四、誤読、難読の恐れのない場合は「なお、一方、また、」などの読点は入れなくてよい。

中点「・」

一、単語の並列では中点「・」を用いてよい。特に、組み合わせ、取り合わせには中点を使う。

〔例〕見出し・題目・段落　水・陸稲の作況　藤井・平野組　呉・石田戦　ヤード・ポンド法　ラジオ・テレビ

二、並列を二重に使う場合、中点を用いる。

〔例〕新産業都市に、常磐・郡山（福島県）、松本・諏訪（長野県）、……を内定

三、外国人（朝鮮、中国を除く）の名と姓の間、「ウ」「サー」などの敬称と姓名の間には中点を使う。

〔例〕エドワード・ヒース
リチャード・M・ニクソン
ウ・タント

四、外来語、外国の地名（朝鮮、中国を除く）で、長くて判読しにくいものや、固有名詞と普通名詞から成

て、差別観念を表す語は原則として使わない。ただし、明らかに差別観念を表さない場合は使ってよい。

〔例〕女工→女子工員、女子従業員
人夫→労務者、作業員
ニコヨン→失対労務者
土方、土工→建設労務者、土建労務者、労務者、作業員
馬丁→馬手
バー女給→バー従業員、ホステス
漁夫→漁民、漁船員
床屋→理髪店
運ちゃん→運転手
バタ屋→廃品回収業
百姓→農民、農業
女中→家事手伝い、お手伝いさん
黒んぼ→黒人
鮮人→韓国人、朝鮮人
産婆→助産婦

九、読者に不快感を与える下品な表現、隠語などは特に必要と認められる場合のほか使わない。

〔例〕情婦　かん婦　いん売　しょう婦　鬼夫婦　強かん　けつをまくる　ドヤ街　ムショ　サツ　デカ　ガサ　ドサ回り　チャリンコ　ブタ箱入り　ガイシャ

句読点

句点「。」

一、句点は文の終わりに付ける。

二、文末が「）」「」」「〃」などで終わるときは、句点を付けない。

〔例〕「初日に勝ったので気が楽になった。調子は上々だ」

三、文末に部分的注釈のマルカッコを用いたときは、閉じカッコのあとに句点を付ける。

〔例〕鈴木三郎選手、スピードスケート男子五百㍍で優勝（七二年日本選手権）。大川久子選手、女子フィギュアで五位入賞（七二年日本選手権）。

四、文章全体の注釈、筆者名、クレジット、写真説明、次文への渡り文などを、マルカッコに入れ文末に付けるときは、カッコの前に句点を付ける。

〔例〕①二月の輸出は八億四千六百万㌦と前年同月比で一二・八％増えたが、対米輸出は前年比逆に四・九％減少した。（輸出認証統計）
②佐々木氏……多数決の原則を押しつけようとしても、国会の正常化はできない。（社会党席から拍手、自民党席からヤジ）

五、文末が「？」「！」の符号のときは、句点を付けず、符号のあと一字あける。ただし、これらの符号の次が「）」「」」「〃」のときは、一字あけをしない。

〔例〕「園田に会いたいって？」どう

記事の書き方

六要素と逆三角形

いつ（WHEN）どこで（WHERE）だれが（WHO）なにを（WHAT）なぜ（WHY）どんなに（HOW）――ニュースはこの六要素（五W一H）が原則として含まれる。

この六要素のうちどれが一番重要性をもつかは個々のニュースによって違ってくるし、どんな記事にも六要素が含まれるというわけでもない。最大多数の読者の最大関心は何か、伝えるべき焦点は何かをまず判断することが大切である。

一般の文章では結論を最後に書くが、ニュース報道記事は結論を先に出し、次に経過的に重要なこと、説明的なことを順次書く。この書き方を「逆ピラミッド」「逆三角形」という。これは読者にまずニュースのポイントを伝えることになるし、文章を簡潔に短くすることにもなる。

見出し、リード、本文

「記事は三回読まされる」という。読者は「見出し」で焦点を、「リード（前書き）」で事件の要約を、本文で詳しい内容を知ることができる。

見出しは記事の中の字句をそのまま使うのが最もよい。リードはできるだけ短くまとめ、一読してニュース全体の内容がわかるように書く必要がある。見出しに出る要素はリードに含まれていることが望ましい。

本文ではニュースの内容を詳しく述べ、補足したり、説明すべきものがあればこれを加える。本文を書くとき、できるだけその内容がリードと重複しないよう工夫するとよい。

記事は新聞に掲載される場合、その日の紙面の都合やニュース内容の相対的重要度によって、編集者の手で切られ短くされることが多い。本文が長くなるときは、できるだけ一節ごとに記述をまとめ、編集者が記事を切りやすくするよう心掛けたい。この点は通信社の記事の場合、特に必要である。

記事の種類

記事の種類には、報道記事のほか「解説」「雑観」「ルポルタージュ」

る語には中点を入れる。（外来語の書き方、外国の地名、人名の書き方参照）

〔例〕チェンジ・オブ・ペース　ポート・オブ・スペイン　メキシコ・オリンピック　エカテリーナ・ホール　パ・リーグ

五、小数の単位を表すのに、中点を使う。

六、省略符号として中点を使う。

〔例〕53分24秒→53・24　67対96→67・96　東京・神田駅前　第一・四半期

七、その他、判読しやすくするため、中点を用いる。

〔例〕グロムイコ・ソ連外相　（かや・おきのり）　（二院ク・全国）　（9時・後楽園）

引用符

一、会話、語句の引用、特に注意してほしい語句に「　」〃　〃を用いる。二重に引用する場合は「　」の中に〃　〃を使う。

〔例〕小坂経済企画庁長官は、今後の経済運営について「財政金融政策の機動的運用により〃景気過熱〃を未然に防止する」と語った。

二、列車の名称、船名で、「号」「丸」がつかず文中に埋没して読みにくいときに限り「　」を用いる。談話や引用文中では〃　〃に変えてもよい。軍艦には号を付けない。

〔例〕巡視艇「ちどり」　「スレッシャー」　タイタニック号　あるぜんちな丸　「私は昨夜〃こだま〃で帰った」

その他の符号

一、語句や文のあとに注記するときは（　）、特に目立たせたいときは【　】を用いる。

二、「——」は、説明や間をもたせるとき、「—」は追い込み個条書きの切れ目、「AからBまで」「A対B」の代わりに用いる。

三、「……」は①言葉の省略②無言を表す③間をもたせるとき—などに用いる。

四、「＝」は注記、説明などに用いる。

記事のフォーム

原則

一、見出しのアタマには◎を付ける。見出しの字数は◎〃〃「」句読点などを含めて十三字以内を原則とする。ワキ見出しの上下には＝を付けない。見出しは特殊な場合を除き、原則として二行以内とする。

〔例〕◎一日内閣の開催を協議
　きょう首相、官房長官らと

二、○……▽一、などで始まる項目別行替えも、一行目は一字下げ、二行目から十五字にする。漢テレ文字盤収容の飾り記号は◎○◇▽●☆⑪の七種で、△はない。

〔例〕ニクソン米大統領は二十一日、北ベトナムとの和平問題について次のように語った。
　一、パリでの会談で、北ベトナム側は、南ベトナムの米軍……
　一、南ベトナム政府は、米軍が撤退すれば自国で防衛する……

リードと個条書き

リードおよび文中に個条書きのある場合は、①②…を使って追い込みにする。

〔例〕来年度予算大蔵省原案を決める大蔵省省議は一日…の結果①来年度の予算規模は十兆円台とする②公害対策費は……とする――との方針を決めた。

発信地の付け方

記事の初めにクレジットを入れる場合は【】を使い、末尾の場合は（）を使う。

一、内信関係

① 本社以外の原稿は記事のアタマに発信地名を付ける。また地名が何県にあるかわかりにくいときは、地名の下に県名を入れる。

〔例〕【福井】北陸線のトンネル内列車火災事故は……
　【三条＝新潟県】金物の町三条市では……

② 「経済短信」「政界談話室」など二本以上の記事をまとめて送る場合や「雑観」「談話」「解説」などの発信地名は、記事の末尾に入れる。

〔例〕…………。（名古屋）

「反響」「談話」などがある。しかしこれらの分け方は、必ずしもはっきりとしたものではない。例えば「本記」の中に「解説」「雑観」が織り込まれたり、「雑観」を中心とした本記もある。また本記のなかにも関連記事全体の前に付ける「総合リード（または本記）」とか、簡単な前書きを付け、そのあと事件や会議の流れを時間を追って報道する形式もある。談話記事の場合も個人の談話をとるだけでなく、何人かのものをまとめた「談話構成」という一種の解説記事となることもある。

文体について

一、新聞記事は、一行十五字組みを原則とする。本文の初めと改行のアタマは一字下げにする。

二、記事はなるべく十行以内で改行し、やむを得ないときも十五行を超えないようにする。文意により、二、三行で改行してもよい。

三、文はなるべく短くする。一文中に何もかも盛り込もうとすると長くなって読みにくい。一文十行を超えないように工夫する。

四、主語と述語の関係をはっきりさせる。特に両者の照応、一方の脱落に注意する。

五、主語と述語との間はなるべく近づける。一文中にいくつもの主語、述語を盛り込むと、係り結びが複雑にからみ合ってわかりにくい。なるべく二文、三文に分ける。

六、修飾語はあまり長くしない。形容詞、副詞は、その係る言葉のすぐ前にもってくる。

七、次の語は不要なことが多いからなるべく使わない。

なお　また　そして　一方　例えば　あるいは　一面　さらに　いわば　いわゆる　このため　…と思う　…と考える　…である　…のこと　…といわれる　…期待される　成り行きが注目される。

八、一つの文節中で次の語の重用を避ける。

ので　が　ため　もの　ところ

九、紋切り型の表現を避ける。

〔例〕　うれしい悲鳴　幕を切って落とす　首を長くして待つ　手ぐすねを引いて　ポンと投げ出す　大わらわ　みる向きもある

十、空疎な古くさい美文調や未熟な直訳調を避ける。特に受け身、二重否定を乱用しない。

十一、内容に応じて個条書きの方法を取り入れ、視覚的に読みやすくする。

挙区名をカッコに入れて付ける。
本記、前書きには選挙区名を付けない。

〔例〕① 佐藤首相の所信表明演説に対する代表質問に入り

成田知巳氏（社会・香川）一、首相は「日本列島改造論」を唱えているが……

一、物価の値上がりを抑制するのか……

佐藤首相　一、日本列島の改造は日本の将来のために……

一、国鉄の運賃値上げは、どうしてもやらねば……

② 午前中は自民党の倉石忠雄氏、社会党の松本七郎氏が質問、……問題について政府を追及した。

倉石忠雄氏（自民・長野）これまでの物価対策は適切ではない。根本的な問題……

水田蔵相　物価問題の最大の原因は……

倉石氏　健保法の改正は、今後どう進めるのか。……

水田蔵相　健保の赤字は、現在百五十億円に……

五、委員会などの単独記事では、所属を姓名の前に書き、選挙区名は姓名の後にカッコをして入れる。

〔例〕 増原防衛庁長官は十二日午前の外務委で、社会党の中沢茂一氏（長野）の防衛力に関する質問に対し「日本の防衛力は……」と答えた。

六、採決

票数表示のアタマは二字下げ。

〔例〕 自民党から討論終結の動議を提出、記名投票の結果

投票総数　一七二票
賛　成　一一四票
反　対　五八票

で動議を可決。次いで……

七、人事指名、任命、法案の可決などの項目の頭は「一、」とし、その中の細目の区切りは「▽」を使って追い込み書きにする。

〔例〕① 一、裁判官訴追委員に○○○○（自民・宮崎）▽首都圏整備審議会委員に○○○○（自民・茨城）の各氏を、選挙を省略して議長からそれぞれ指名。

② 一、旧金鵄勲章年金受給者特別措置法案（議員提出）▽一般職職員給与法改正案（内閣提出）を修正、可決。

八、詔書、おことば

詔書は十四字組みにし、御名御璽、内閣総理大臣名は省略する。

選挙立候補、開票

一、立候補者の年齢は、漢テレの二ケタ数字が59までしかないので、

二、外信関係

①一般外電、特派員電クレジット

【ワシントン二十日UPI＝共同】……

【ボン十六日佐々木共同特派員】……

【ワシントン十日共同】……

【マナグア（ニカラグア）十八日AP＝共同】……

【ロンドン五日ロイター、UPI＝共同】

②AP、UPI、ロイターなどで東京発の記事およびRP、ソビエトニュース、中国通信、朝鮮通信、新亜などの外信もので、独立記事として使うものは、記事の初めに【AP＝共同】【ソビエトニュース＝共同】とし、発信日は入れない。

③〔解説〕〔注〕のクレジットは記事末尾にカッコで入れる。

〔例〕…………。（共同）

④海外短信、海外こぼれ話のクレジットは、記事末尾にカッコで入れる。発信日は入れない。また発信地と通信社名が片仮名の場合は「読点」を入れる。

〔例〕（ワシントンAP＝共同）
（ロンドン、ロイター＝共同）
（RP＝共同）

国会関係

一、国会内での議員の敬称は原則として役職名を用いるほかは〇〇氏に統一し、代議士、議員、委員などは使わない。

二、政党名は自民、社会、共産などとし、自、社、共などと略さない。ただ自共対決、社公民共闘などの場合は差し支えない。また「政府、自民党」というときは読点を付ける。「政府与党」は付けない。

三、その他の主な用語統一

議運委（×議運）地行委、社労委、農水委（×農林委）

沖縄北方特別委、災害特別委、公害環境特別委、物価特別委、公選法特別委、石炭特別委

継続審議（×継続審査）

防衛庁長官（×防衛長官）経企庁長官（×経企長官、企画庁長官）

行管庁長官、環境庁長官、北海道開発庁長官

四、本会議、委員会などの質疑応答（流し記事）

①閣僚、政府委員名は、二回目以降も姓を入れる。質問者は二回目以降は姓だけにする。

②質問者名は一回目は所属、選

章を贈ることを決めた。

〔注〕① 「従四位に叙し」は使わない。

② すでに贈られている位階勲等名は不要。

③ 旭日大綬章、旭日重光章、旭日中綬章、旭日小綬章、双光旭日章、単光旭日章などはそれぞれ勲一等、勲二等、勲三等、勲四等、勲五等、勲六等と付けて書く。また瑞宝章、宝冠章には勲一等から勲八等までである。

④ 春、秋の生存者叙勲は別に扱う。

政界財界

時間は洋数字、正午は12時。特別の場合以外は午前、午後を付けない。

◎政界財界（14日）

◇衆院　本会議（2時）▽委員会　地行、農水（10時）内閣、文教、社労（10時30分）議運（10時30分の理事会後）懲罰（1時）石炭対策（2時30分の理事会後）

〇〇〇氏モスクワへ出発（午後10時40分・羽田発日航機）

談話の扱い方

一、短い談話はなるべく文中に織り込む。織り込みが困難なときや、長文になるときは、別行にしてアタマ一字下げとするか、「一、」を使って個条書きにする。

〔例〕① 同スポークスマンはさらに「停戦協定の調印は、北ベトナム側の出方にかかっている」と述べた。

② 佐藤首相は、来年度予算案について次のように語った。

一、一般会計予算案は十四兆円台にしたい。

一、財政投融資計画はまだ煮詰まっていない。

二、談話を記事末尾や別に出す場合は「▽」「＝」を付けない。

〔例〕浅野陸連副会長の話　今さらとやかくいわれても……

〇〇さんの話　トンネルの中で列車が燃えるなんて……

三、「　」を用いない談話のあとにまた文章が続くと、談話との切れ目がわかりにくくなるので、なるべく後の文章を談話の前にもってくるように工夫する。

一問一答、座談会

問い、答え、回答者名（または地名）は一字下げにし、そのあと一字あけて本文に入る。ただし、司会を「――」で表示する場合、―の下は一字あけにせず本文に続ける。

60歳以上は縦書き。

二、肩書は原則として五字以内。

三、衆参両院選挙、統一地方選挙については別に定める。

〔例〕　○○県知事立候補

森田幸一郎71現知事　自現
池田　栄62党県連役員　社新
長谷　三郎51　党県委役員　共新

同開票

当二一六〇五三森田幸一郎　自現
一〇九八四五池田　栄　社新
七六一〇長谷　三郎　共新

市長選挙

一、政令指定都市は県知事選に準じ、告示、届け出順立候補者氏名、投票本記、開票本記、解説、選管最終結果などを出稿。(本記には各候補の氏名、所属を含める)

二、県庁所在市、ニュース性のある一般市は開票本記（十—二十行）と選管最終結果を出稿。

三、その他の一般市は次のフォームで出稿。

〔例〕① ○○市長（○○県）前市長死去のため一日投票、即日開票の結果、甲野乙男氏(五〇)＝無（保守系）新＝が丙山丁吉氏(四〇)＝共産新＝を破り当選。

② ○○市長（○○県）任期満了のため二日届け出締め切り、山川春夫氏(六二)＝無現＝が無投票で再選。

③ ○○市長（○○県）リコール成立により三日投票、四日開票の結果、山田太郎氏(五五)＝無(保守系)元＝が、川野次郎氏(六〇)＝無（保守系）新、海原三郎氏(三五)＝共産新＝を破り、通算三選。

〔注〕明白なほうまつ候補は除外してよい。

新市発足

▽新市名（都道府県名）、旧町村名、市制施行の要件（人口増による昇格か、町村合併かの区別）、面積、人口（○月○日現在）、市長名（年齢）＝所属政党名、その府県の何番目の市。

〔注〕市長は前町長が昇格する場合と、市長選が行われるまで前町長、前町助役、前町出納長などが代行する場合があるので、その旨明記。所属政党名の表記は自民、社会、共産、公明、民社、無（保守系）または無（革新系）とする。

叙位叙勲

〔例〕　政府は六日の持ち回り閣議で、四日死去した元衆院議員坂田道男氏(六八)＝熊本県八代市植柳下町五五八九＝に従四位勲三等旭日中綬

領補佐官とハノイ側との話し合いでは、……だった。

〔注〕AP電によるとキ補佐官のハノイ訪問は二月十日から十三日まで。（共同）

外国語の扱い方

外国語をみだりに使わない。やむを得ず使うときは、カッコして説明か訳語をつける。

〔例〕　シェア（占有率）　バイ・アメリカン（米品優先買い付け）　ユーロビジョン（欧州テレビ網）　オーバーローン（貸し出し過多）　アパルトヘイト（人種差別政策）　フロート（変動相場制）

略語、略称の扱い方

略語、略称は乱用しない。ごく一般化したものを除き、文章の初めには略さない正式日本語名称を書き、カッコ内に略語、略称を入れる。二度目からは略語、略称を書く。

〔例〕　北大西洋条約機構（NATO）、世界保健機構（WHO）、国連アジア極東経済委員会（エカフェ）、自動列車停止装置（ATS）

辞令、人事の書き方

一、人事異動の場合、任命の辞令は次の順序で書く。（官公庁は「辞令」、民間会社は「人事」とする）

〇〇辞令（発令日）　新職名（現職名）氏名

〔注〕①　認証官（国務大臣、内閣官房長官、総理府総務長官、大公使、宮内庁長官、侍従長、最高裁判事、高裁長官、検事総長、検査官、人事官、公取委委員長および委員）、全権委員、政府代表の辞令は、一人一人改行する。その他の辞令は追い込みで書き、連記の切れ目は▽で区切る。

②　日付の数字は洋数字を用い、「付」を付けない。

③　省、庁の辞令は「省」「庁」を必ず付ける。

④辞令上の「命」「補」「任」の文字は省略する。

⑤　前書きのない場合は見出しを付けずに送信する。

〔例〕　郵政省辞令（20日）人事局長（東京郵政局長）〇〇〇〇▽電波監理局放送部長（東京郵政監察局長）〇〇〇〇

防衛庁辞令（16日）空将補、空幕防衛部副部長（陸将補、第一三師団副師団長）〇〇〇〇▽第一護衛隊群司令（海幕監察官）海将補〇〇〇〇

日銀人事（5日）発券局長（事務合理化部長）〇〇〇〇

二、人事異動でない場合の辞令は次

〔例〕① ―国鉄の運賃値上げ案はなぜ国会に提出しないのか。

佐藤首相　物価を抑制しなければならない……

―物価値上がり抑制の根本的対策はあるのか。

佐藤首相　物価を抑制するには何をおいてもまず公共料金の……

② ―今回のニクソンの声明をどう思うか。

モスクワ　ソ連の空気は比較的冷静だ。

ロンドン　英国は表面的な動きはないが、歓迎している……。

③ ―北の富士との一番はどうだったか。

「ただ夢中で突っ込んだ」

―あのような力が出るとは思っていたか。

「風邪をひいているし、とてもあのような力が出るとは思ってもいなかった」

④ 問い　テロ事件は将来のオリンピックに影響はないか。

答え　よほどのことがない限り心配はない。

問い　日本であのようなことが起こると思うか。

答え　日本では警備が厳重なのでテロ事件などはあり得ない。

〔注〕④の問い、答えの「い」「え」を省略し、問、答としてもよい。

時の人、政界談話室

「時の人」「政界談話室」はいずれも十四字組み、初行、改行のアタマは一字下げ（十三字）にする。

〔例〕　『時の人』

◎調教師で再出発した

野平祐二（のひら・ゆうじ）

伝統の目黒記念を愛馬カーネルシンボリで勝った。これが最後のレース、引退の花道を飾った…

『政界談話室』

◎風当たり強い成田発言

○…三木首相は十七日、選挙応援のため大阪を日帰り遊説。総選挙公示後初の地方遊説…

（記事末尾に筆者のイニシアルを入れる。例……。（S）また地方記事では末尾に発信地名を入れる）

解説、注の扱い方

単独または記事末尾につける解説や注は、いずれも〔解説〕、〔注〕として本文に続ける。（外信の場合は末尾に「……である。（共同）」とクレジットを入れる。

〔例〕　〔解説〕キッシンジャー米大統

年内務省に入り、二十一年香川県知事、……六十八歳。宇和島市出身。当選五回

死亡記事の書き方

氏名（読み方の難しいものは読み仮名、死亡時の主な肩書）死亡日時、病名、死亡場所、死亡事実、年齢、出身地または本籍、自宅（病院などで死亡の場合）、葬儀および告別式（特に必要ないときは葬儀を略してもよい）の様式と日取り、場所、喪主の順とし、略歴が必要なときは最終項目に別行で書く。姓と名の間は一字あける。

〔例〕　福長　光蔵氏（ふくなが・こうぞう＝早大野球部ＯＢ会会長）十一日午前七時五十分、脳出血のため名古屋市の名大付属病院で死去、七十六歳。東京都出身。自宅は東京都品川区戸越二ノ五。葬儀は十五日午後一時から東京都杉並区高円寺南二ノ三一、宗泰院で。喪主は長男井沢洋平氏。

　早大野球部明治末期の……

〔注〕敬称には氏、さん、師、画伯、丈などを使うが、○○氏の厳父、尊父、岳父、母堂、令息、令嬢―などは父、母、長男（女）、義・養父（母）などと書き換える。

出身地、本籍地について

一、略歴、死亡記事では本人の出身地を確認のうえ記入するのを原則とする。しかし本人の不在、死亡や家族に問い合わせても不明の場合は本籍地を記入する。

二、一般記事、特に事件関係で、本人の出身地が必要なときは出身地を書き、不明の場合は本籍地を書く。

三、出身地と本籍地は戸籍の移動などで必ずしも一致しない場合が多いので注意が必要である。

死傷など多人数の列記

航空機、船舶、列車などの事故で、多数の死傷者が出た場合の死傷者名については、事故のケースにより最善の列記方法をとる。

〔例〕①　〔死者〕小川太郎(三一)＝大阪市旭区大宮町五▽田中三郎(二五)＝東京都港区赤坂葵町▽吉田直子(三八)＝住所不明

〔重傷〕中山トシオ(音訳)(五三)＝旭川市新町▽林三郎(年齢不詳)＝函館市柳町▽中村清子(二五)青森市佃▽……

②　〔死者〕大阪市旭区大宮町五、会社員小川太郎(三一)▽東京都港区赤坂葵町、公務員田中三郎(二五)…

〔重傷〕旭川市新町一、工員中山一郎(三三)▽青森市佃、無職中村

の順序で書く。

①現職のまま特に任命された場合は次の順序で、現職名にはカッコを付けない。

○○辞令（発令日）特に任命された職名、現職名、氏名

〔例〕　内閣辞令（21日）○○○○○元西独首相の葬儀に参列する特派大使　衆院議員○○○○

ジュネーブで開く世界保健機構第二十回総会日本政府代表　国立公衆衛生院長○○○○

②兼務または、事務取扱の辞令は次の順序で、本務の職名にはカッコを付けない。

○○辞令（発令日）兼務または事務取扱の職名、本務の職名、氏名

〔例〕　外務省辞令（28日）条約局長事務取扱　外務次官○○○○

○○銀行人事（29日）兼人事課長　総務課長○○○○

三、辞職または免職の辞令は次の順序で書く。

○○辞令（発令日）免　その職名　氏名

〔注〕①辞職または定年、任期満了による退職は「免」のところを「辞職」または「定年」「任期満了」と書く。

②兼務を免ぜられる場合、本務の職名はカッコを付けず氏名の上に書く。

③「免」「辞職」「定年」「任期満了」と「その職名」の間は一字あける。

〔例〕　国鉄辞令（6日）免　青函局長○○○○

建設省辞令（20日）辞職　中国地方建設局長○○○○、関東地方建設局長○○○○

○○銀行人事（5日）免　兼人事課長　総務課長○○○○

四、委員会辞令の書き方は次のようにする。

〔注〕①各委員会の区切りは▽で付ける。

②再任は（再）、新任は（新）とし、二人以後も（同）とはしない。

〔例〕　総理府辞令（23日）原子力委員会委員○○○○（再）、○○○○（新）▽社会保障制度審議会委員　衆院議員○○○○、同○○○○

略歴の書き方

略歴には氏名（読み仮名）何年何大学何学部卒、主な経歴、年齢、出身地または本籍（国会議員の場合当選何回）の順に書く。姓と名の間は一字あけにする。

〔例〕　増原　恵吉氏（ますはら・けいきち）昭和三年東大法学部卒。同

B＝中間決算の例

十一月中間決算　税引利益単位百万円、カッコ内前年同期、配当円（…は中間配当不採用）

〔第一部〕

◇セーレン　四七八（損失五九七）２

◇日本農産工業　税込五六（損失八六）…

◇昭和産業　損失四、二九一（利益九七七）０

◎オープン決算

日興第１オープン決算＝年二回（16日）一口当たり税込分配金百十五円六銭（前期六十円）同期中平均利回一〇・三九％、支払開始二十八日

◎増資

井上工業八割増資と公募　三月五日現在の株主に一対〇・八、申込四月九日－二十日、払込同三十日、公募二百万株、新資本金十億円

山一証券公募増資　四月九日払込で三千万株を公募、新資本金百三十四億五千八百十五万円

アイワ第三者割当増資　一株二百五十円で百万株をソニーに割当、払込十一月三十日、新資本金十二億円

◎会社人事

川崎製鉄人事（23日）副社長（専務）高田宗一▽常務（取締役）浅川秀雄▽同（同）宮永弦直

◎転換社債

▽新日本製鉄　三百億円、申込、払込とも六月の予定

▽三光汽船　二百億円、利率八・五％、申込十月二十日、払込十月二十七日

◎転換価格

▽三洋電機　百三十円、利率九・〇％

◎公募価格

▽三浦印刷　三百十円

◇日銀帳じり（５日）

（単位億円）　前日比

発券高　九九、〇七二　減三九八

貸出高　一八、四一五　増　三〇

国債残高五二、一九〇　減六八二

◇東京手形交換高（６日）

（単位百万円）

枚数　三五三、四七五

交換高　八八九、一〇五

交換じり　八四、一〇一

◇東京コール（年利・％）

（中心、最高、最低の順）

翌日物　六・七五〇　六・七五〇　六・七五〇

無条件　七・〇〇〇　七・〇〇〇　七・〇〇〇

▽手いっぱい　日銀券の……

出合残高二兆四百五十六億円。

清子(二五)……

③〔死者〕機長小川太郎(三一)＝大阪市旭区大宮町五▽スチュワーデス中村清子(二五)＝青森市佃▽……

団体の責任者などをカッコ内に示す場合

古河鉱業（本社東京・丸の内、清水兵治社長）

足尾銅山労組（森良一委員長、八百八十人）

小松地所（本社東京、資本金八億二千五百万円、小林直己社長、三千五百人）

○○○調査団（団長・中島正樹三菱製鋼社長）

○○○審議会（中島正樹会長）

○○○調査団（団長コスイギン首相）、場合によっては（団長コスイギン・ソ連首相）

○○○派遣団（団長グエン・チ・ビン首相）

〔注〕団長の下に片仮名がくる場合は「・」を省略する。

例　外

一、俳句、短歌、民謡など。

二、フォームの決まっているもの。

（商況原稿の会社決算など「表」と同じ扱いをする場合は特例として「据置、申込、支払、利回、払込、割当」などと送り仮名を省略する）

◎決算

A＝本決算の例

十一月期決算案　税引利益単位百万円、配当円（株配は額面換算）カッコ内前期、総会の順

〔第一部〕

◇伊勢丹据置　一、七六九（一、三〇九）8　二月二十七日

◇ニチバン無配継続　損失一、七七七（同一三七）0　二月二十七日▽専務　三井鉱山コークス工業監査役岡田茂生▽取締役（嘱託）猿渡博来▽監査役（常務）真木真▽取締役相談役（会長）歌橋一典▽退任　常務畑山三郎、取締役遠山三夫、監査役近江岸隆太郎

◇東海鋼業復配　二〇二（損失一九七）4（0）一月三十日

◇日本加工製紙無配　損失一、一四〇（利益四一六）0（4）一月三十一日

◇ライオン歯磨減配　一、六〇九（一、四一六）9（10＝普通9特別1）二月二十七日

◇アイワ増配　一、〇一〇（三三一）8・25＝普通7・5記念0・75（6）二月二十七日

◇関西電力増配（額面五百円＝年二回）一四、二九七（一〇、二二六）22・5（20）十二月十九日

四、外来語、外国語の片仮名書きに使う長音符は「ー」と書き、「―」とは書かない。

〔例〕ニューヨーク、スピード

五、文章の区切りを示すために用いる句点は「。」、読点は「、」を使う。「．」「，」は使わない。

六、引用符は「　」〃　〃と書く。「　」〝　〟の符号は使わない。

〔例〕「小田さんに〃よくわかった〃とお伝え下さい」

七、繰り返し符号（新聞では、同じ漢字を続ける場合の「々」と、表などの中で同一事項であることを示す「〃」だけを使う）の使い方や、その他特に定めたもの以外の符号の使い方は、右縦書きの場合に準ずる。

八、注意を喚起するため傍点を使う場合は語句の上に、傍線を使う場合は語句の下に付ける。

〔例〕ぼう然　<u>能率的</u>

九、項目を細別―列挙する場合、見出し符号の書き方は次の例による。

〔例〕

第1	1	イ	A	a
第2	2	ロ	B	b
第3	3	ハ	C	c

横書きの方式

現在のところ、統計表、地図その他図解および電送説明などを除いては、一般記事を横書きにする場合は少ない。しかし、最近は「左横書き」にする傾向が一般に増えており、新聞記事中の横書きも将来増えることも予想される。

一、横書きの場合は、左横書きとする。

二、数字は、特別の場合を除いて、洋数字を使う。

①数字のケタの区切り方は、三位区切りとし、区切り符号として「，」を使う。ただし、年号、文書番号、電話番号、番地など特別なものには、区切り符号を付けない。

150万　1,200万
5億6,300万円　7億200万円
14兆5億円（数字の単位として「兆」「億」「万」を使う場合。ただし「千」「百」は使わない。例えば、6千3百とはせず、必ず6,300とする）
電話　03(584)4111
年号　1972年
文書　法律(第)185号
（カッコ内の第は省略してもよい）
行事　第5回大会　第75国会

②小数、分数および帯分数の書き方は次の例による。

〔例〕小数…0.123
分数…$\frac{1}{2}$または2分の1
帯分数…$1\frac{1}{2}$

③日付、時刻および時間は次の例による。

〔例〕日　付…昭和48年1月25日
時　刻…午前11時26分
午後0時10分
時　間…5時間40分

④次のような場合は、特別に漢数字を使う。

二重橋　四国　九州（固有名詞）
数十日　四、五日　二、三人
五、六万（概数を示す語）
一般に　一部分　四分五裂　一致
（数量の感じの薄い語）
一休み　二言め　三月（みつき）
（習慣的な語）

三、AからB、二十から三十という場合は次のように「—」を使う。

〔例〕A—B　20—30

で打ち切る単位は、普通千位、百万位、あるいは十億位であるが、場合に応じてそのほかの単位で打ち切ってもよい。打ち切った単位名は必ず明示する。

〔例〕百万円未満四捨五入、万円未満切り捨て。

その他

一、分数は、「五分の一」などと書く。洋数字を使う場合には、「1/5」などと書く。

二、数の幅を示すときには、誤解を避けるため数字の省略はしない。

〔例〕五五〇—五七五円（「五五〇—七五円」とは書かない）

〔注〕西暦年の「一九六〇—六四年」のような場合だけは省略してもよい。

三、「第〇回目」「第〇日目」という使い方はしない。「第〇回」「第〇日」または「〇回目」「〇日目」と書く。

四、「三ケ所」「六ケ月」とは書かず、「三カ所」「六カ月」と書く。「カ」は小文字にしない。

五、助数詞は、日常一般に使われているやさしいものを使うのを建前とする。

不確定数詞の基準

一、ばくぜんとした数詞

①数人、数十人、十数人、数百メートル、三十数度

②十余人、六十余人、三百個余り、千人余

③十人足らず、三十個足らず、五十年足らず

④約二十人、約百メートル

二、一定の基準の前後を表すもの

①二十歳未満、千円未満、二十歳を超える、千円を超える＝二十歳、千円を含まない。

②十人以内、千円以内、二十歳以下、千円以下、二十歳まで、千円まで、二十歳以前、二十日以前、二十歳以上、千円以上、二十歳から、千円から、二十歳以後、二十日以後＝いずれも十人、二十歳、千円などの基準値を含む。

三、期間の経過を表すもの

①満三年、三カ月、三周年、三年ぶり＝まる三年経過。

②十日(年)ぶり＝事件の起こった翌日(年)から解決の日(年)までを含める。

③足かけ三年、三年越し、三年がかり＝起算の年を含んで三年。

四、算定の基準に問題のあるもの

①三番目、五人目、九代目、十日目＝算定の基準は第一番(人、代、日)目である。

②あと三人、あと十日＝完全に残っている日（人）で、九月一日か

数字の書き方

記事には数字が非常に多く出る。数字の間違いは言い訳のきかないものである。このため記者――出稿デスク――整理――校閲の各段階で、数字は必ず検算する。

数字の書き方の原則

漢数字と洋数字

一、記事中の数字には漢数字を使う。必要に応じて、洋数字を使う。

〔注〕①廿、卅は使わない②壱、弐、参、拾は特別の場合にしか使わない③零は「零敗」「午前零時」など熟語の場合に使う④文章中では0や零を使わず「ゼロ」を使う。

二、漢数字には原則として単位語（十、百、千、万、億、兆）を付ける。次の場合は単位語を省略する。

①所番地②西暦年③法令番号④船のトン数⑤緯度、経度⑥パーセント⑦数字の列記⑧選挙の得票数、表決の票数など⑨統計表⑩その他字数に制限あるとき、数字を目立たせたいとき――など。

三、洋数字は次の場合に使う。

①横書きのとき②横書きの表や統計③日程表のなかの日時など④運動記事のなかのスコア、記録。その他特に決められているもの⑤特殊の記号や地番など⑥その他、数字を目立たせたいとき、見出しなど、スペースに制限のあるとき――など。

位どり

一、単位語を省略した数字の位どりは、三数位ごと（千、百万、十億、兆）に、漢数字は読点「、」で、洋数字はコンマ「，」で区切る。

ただし、読みにくいときは次のように書いてもよい。

〔例〕一億五三九二万〇二五〇円　二万五五〇〇ppm

二、単位以下の数字のある場合は、単位を、漢数字は中点「・」でアラビア数字はピリオド「．」で示す。

〔注〕「七、五八三・五円」「七、五八三円五〇銭」と書き「七千五百八十三・五円」とはしない。

打ち切り

大きな数字（例えば予算、人口、面積など）や微細にわたる数字（例えば円周率など）をそのままの形で並べると、全体の印象がぼやけたり、いたずらに繁雑になるから、適当な単位で打ち切ることにする。大きな数字

面　たは「面」で数える。

〔例〕一枚の地図　油揚げ五枚　むしろ、ござなど十枚　碁盤一面　テニスコート四面　養殖池八面

台　**基**　**両**　機械・器具・車両・固定した施設などは「台」または「基」で数える。車両を「両」で数えることもある。

〔例〕テレビ一台　カメラ二台　自転車三台　五台の自動車　一基の石塔　二基のクレーン　ガスタンク三基　八両編成の列車

隻　**機**　船舶は「隻」、航空機（飛行船を含む）は「機」で数える。

丁　主として手に持って使う器具・銃器などは「丁」で数える。

〔例〕のみ一丁　すき、くわなど五丁　小銃十丁

棟　**戸**　**軒**　建物は「棟・戸」で数える。住居の単位としては「戸」または「軒」を使う。

〔例〕倉庫一棟　工場など五棟　住宅二十一棟を全焼　床下浸水百戸　住宅千戸を新築　肉屋、果物屋など四軒　三軒長屋

点　**件**　種類の異なる物品・物体を一括して数える場合は「点」または「件」を使う。

〔例〕いす、テーブル、テレビ、カメラなど二十点　衣類、時計、宝石など十数点　土地、建物を含め七件

洋、漢数字の使い分け例

（洋数字は主として記号、名称。運動記事の洋漢数字の使い分けは運動記事の書き方参照）

年月日　西暦は一九七二年十月十日、邦暦は昭和四十七年一月八日

所番地　東京都中野区富士見町二ノ一二三八（千単位の「、」は入れない）。また〇〇団地八号棟五〇一号室は〇〇団地八―五〇一

法令番号　昭和四十七年法律（第）一八五号、憲法（第）一七条、刑法（第）一〇八条、民法（第）一〇条5項C（カッコ内の第は省略してもよい）

自動車番号　多摩55あ1249

電話番号　03（584）1234、0422（27）0123

郵便番号　191、105＝90

概数　大きい数字を概数で書くときは単位語を使う。一万㌧の船、三千㍍の山、一万ppm

船名、トン数、船長名　第101大洋丸、第13三重丸、ぼりびあ丸（一三五、五〇〇㌧）、〇〇丸（三〇〇㌧、〇〇船長ら二十五人乗り組み）。ただし船長の年齢が必要なときは「〇〇丸（三〇〇㌧）＝〇〇船長（四三）ら二十五人乗り組み＝」でもよい。

パーセント　比率を表すときは五六・七%、一〇〇%、二十数%、比

らあと十日は翌日から数えて十日先の九月十一日。

③三軒先、十日先、百メートル先＝②の「あと」と同じ

④十日前、三年前、百メートル前＝②③の「あと」「先」の反対語

⑤田中氏ら十人、田中氏以下十人、田中氏はじめ十人＝合計十人。

⑥田中氏ほか十人＝合計十一人。

〔注〕記事ではなるべく「…ら」とし、「以下、はじめ、ほか」の表記は避ける。

五、慣習で決まっているもの

①第十回誕生日、第十回記念日＝実際の誕生日を含まず、満十年経過。

②一周忌は満一年の忌日。三回忌は満二年、七回忌は満六年、十三回忌は満十二年、十七回忌は満十六年の忌日を指す。

助数詞適用の基準

一、人

人　人は「人」で数える。「名」は使わない。

〔例〕一人死亡　三人が重傷　五人委員会　三百人が集合

二、動物

匹・羽・頭　動物は「匹」で数えるのを原則とする。ただし、鳥類は「羽」で数え、大型の獣類は「頭」で数えることもある。魚類を数える「尾」は、なるべく使わない。

〔例〕ウサギ二匹　九十九匹の羊　数百万匹のイナゴ　大ダイ一匹　スズメ三羽　百羽のツル　乳牛五頭　数十頭の象の群れ　コン虫（ガなどを含む）十五匹

匹　助数詞の選択に迷う場合、また種類の異なる動物を一括して数える場合は「匹」を使う。

〔例〕牛、豚、鶏など家畜十数匹　鳥獣百匹を捕獲

三、物品・物体

個　不定形な物品・物体は「個」で数えることを原則とする。

〔例〕庭石三個　茶わん五個　十個のリンゴ

個　助数詞の選択に迷う物品・物体は、原則として「個」で数える。

〔例〕眼鏡、財布、たばこケース各一個、数百個の大腸菌を発見

粒　極めて小型の物品・物体には「粒」を使ってもよい。

〔例〕一粒の麦　真珠五粒　丸薬二十粒

本　形の長い物品・物体は「本」で数えるのを原則とする。

〔例〕腰ひも一本　ネクタイ三本　十数本の立ち木　日本刀、竹ヤリなど十数本

枚　平面的な物品・物体は「枚」ま

計量単位の使い方

メートル法表記の基準

一、計量単位はメートル法を使う。ただし次のようなものは例外とする。

① ことわざ、史実、または形容詞的に使う場合。

〔例〕一寸の虫にも五分の魂、白髪三千丈、百万石の殿様、士一升金一升、三十石船。

② 運動種目などで、国際的に決まっているもの

〔例〕十マイルレース、二十五ヤードライン

ただし、経過記事などはできるだけメートル法で説明する。

③ メートル法以外の計量単位による輸出入貨物も、原則としてメートル法に換算表記する。そのまま使う場合はメートル法を併記する。

④ 船の速度、航行距離、領海などに使うノット、カイリはそのまま使う。海上距離はキロメートルで表記する。

⑤ 航空機の運航関係はメートル法で表記する。ただし必要の場合はもとの単位を併記する。

⑥ メートル法によらない数値そのものが、重大ニュース要素である場合（特に科学記事）は、そのまま使用する。ただし、必要に応じてメートル法による数値を併記する。

〔注〕メートル法による表記だけでは、理解されにくいと思われる特別の記事は、計量単位を併記してもよい。

二、メートル法による表記は、原則として単一の単位を使う。

〔例〕一メートル七二または一七二センチ（メートル）とし、一メートル七二センチ（メートル）としない。

六・五キロ（グラム）または六キロ五〇〇とし、六キロ五〇〇グラムとしない。

一・五キロリットルまたは一、五〇〇リットルとし、一キロ五〇〇リットルとしない。

なお紛らわしくない場合

率を表さないときは百パーセント

〔例〕 合格は百パーセント確実だ。

国道 国道14号(線)、国道152号(線) カッコ内の線は略してもよい。

列車の名称 新幹線ひかり32号、こだま102号、十和田2号

緯度、経度、距離 北緯一七度、東経一三五度二〇分、〇〇南方二百五十キロ、半径五十キロ

台風、気象、地震関係

降雨量一三四ミリ、積雪一五センチ、気圧九八〇ミリバール、湿度四九%、各地の温度は新潟二九・六度、東京三三度、旭川氷点下一五度、台風8号、震度1(微震)、マグニチュード(略称はM)6・5、7

〔注〕 台風、気象関係記事中の風速などは「南南西の風三〇メートル」「中心付近の最大風速は五五メートル」「台風は時速三〇キロで北上」と表記。一般記事では「自動車は時速九十キロのスピードで…」「火は十五メートルの北風にあおられ」とする。

被害数字(文章中) 十二月の死者は四十四人で、十一月末までの平均死者数三三・七人より多かった。

船舶の流失は十二隻、沈没四十八隻、破損二十九隻の被害。

被害数字の列記

死者一四▽行方不明一〇▽重軽傷三七▽家屋全壊三〇▽同半壊九七▽船舶流失八五

航空関係 日航15便、同308便、B52、ボーイング727、F104、P2J対潜しょう戒機

行事 第七十一国会、第十三回競技会、第三回記念日、十日目

為替レート 一ドル=二六五円、一ドル=二六〇・一五円、一ドル=二六五円一五銭

衛星 アポロ13号、シンコム3号

科学 コバルト60、ウラン235、放射性炭素C14

公害 騒音=九〇ホン、濃度=〇・一ppm、一五ppm

軍事 第三八普通科連隊(八戸)、米三一三航空師団、第七二機動部隊、M16ライフル、64式小銃、八一ミリ迫撃砲、一〇六ミリ無反動砲、M48戦車、61式戦車、22口径、45口径ピストル、口径三・五インチのバズーカ砲 (銃砲関係でミリ、インチなどの単位が付く場合は漢数字)

人体 身長一七八センチ、体重六三・五キロ

特定の事件、行動 4・28沖縄デー、10・21新宿騒乱事件、広域重要109号事件、六〇年安保

不定の数量を示す場合 何ドル・ミリ・パーセント、何十・何百・数十・数百ドル・ミリ・%、二十数・百数十・二十何ドル・ミリ・%

る場合、国名が片仮名のときは、国名と単位語の間に中点「・」を入れ単位語もドル、フランと記入する。ただし、国名が漢字の場合は中点「・」を入れない。

〔例〕フランス・フラン、スイス・フラン、カナダ・ドル、香港ドル

二、通貨単位語を表示する場合、単位語は一字処理（記号扱い）する。単位語の前に国名がつくときは、国名と単位語の間に中点「・」は入れない。

〔例〕一二三ドル　三五ルピー　一二五フランスフラン　一三〇スイスフラン　八七香港ドル

三、通貨単位およびその他の単位語で、二、の項の「漢テレ記号」にあるものは、一字処理の形で書く。ただし、記号にないものは一字処理せず「リアル」「チャット」と記入する。

〔例〕三〇ジナール

四、単位語で数字の付かない場合は記号扱いしない。

〔例〕キロリットル当たり、トン当たり。「一トン当たり、一キロ当たり」はよい。

二、漢テレ記号

〔盤内〕は一字処理できるもの。
〔盤外〕ゲタ字処理のもの。

記号〔盤内〕

、 。 「 」 『 』 （ ） ！ ？ ＊ ＝ ○ ◇ ⚾ ▽ ● ☆ ｜ ： ‖ ・ 〃 〃 × ◎ ％

〔盤外〕

‖ ゜ ┐ └ ■ △ ▲ ▽ ▼ ◆ // ‖ HP KK PH PR & ＝ ＋ ※ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ↓ ↑ → ← cc ∧ ∨

単位〔盤内〕

アール　ドル　トン　グラム　メートル　センチ　ミリ　ヘクタール
ページ　ヤード　フィート　キロ　キログラム　キロワット　ワット　リットル

〔盤外〕

ミリバール　ボルト　ペンス　シリング　ポンド　マイル
ヤール　ギルダー　ペソ　ポイント　ダース　ケース　サイクル　インチ
バーレル　メガトン　マイクロ　ルピー　ブッシェル　オンス　ルピア　ノット
カイリ　マルク　アンペア　フラン　ルーブル　カロリー　ミクロン　グロストン
アルファ　ベータ　ガンマ　レントゲン　キュリー　イニング　マッハ　セント
[illegible]　リラ　ウォン　クルゼイロ　ガロン　パーツ　コルナ　ヘルツ
カラット　ユアン　メガ　サンチーム　エーカー　レム　ペニヒ　エスクード
ギニー　ウルシ　ピアストル　クローネ

数字〔盤内〕（一から（九および（一）から[illegible] 0から59までの数字、①から⑩までの数字

〔盤外〕60から99および00、⑪から㉚まで、❶から㉚までの各数字、$\frac{1}{2}$ $\frac{1}{3}$ $\frac{2}{3}$ $\frac{1}{4}$ $\frac{3}{4}$ $\frac{1}{5}$ $\frac{1}{8}$ $\frac{0}{3}$ $\frac{3}{5}$ $\frac{4}{5}$ $\frac{5}{6}$ $\frac{7}{8}$ $\frac{1}{12}$ $\frac{7}{12}$の分数、ⅠからⅩまでのローマ数字。

欧文〔盤内〕AからZまでの大文字

〔盤外〕aからzまでの小文字、AからΩまでのギリシャ大文字、αからωまでのギリシャ小文字

は、カッコ内のメートルやグラムなどを省く。

三、主に使う単位

①長　さ　キロメートル、メートル、センチメートル、ミリメートル、ミクロン、ミリミクロン、オングストローム、カイリ

②速　さ　時速五キロ、キロメートル毎時、メートル毎秒、キロメートル毎秒、ノット

③重　さ　トン、キログラム、グラム、ミリグラム、カラット

④容・体積　キロリットル、リットル、ミリリットル、立方メートル、立方センチメートル、立方ミリメートル、容積トン

⑤面　積　平方キロメートル、平方メートル、平方センチメートル、平方ミリメートル、ヘクタール、アール

⑥工　率　キロワット、ワット、馬力、キロワット時(電力量)

⑦流　量　(一定時間に一定個所を流れる水の量)立方メートル毎秒、立方メートル毎分、立方メートル毎時(以上容積単位)キログラム毎秒、トン毎時(以上重量単位)

⑧光　度　(光源の明るさ)カンデラ

⑨照　度　(光を受けている面の明るさ)ルクス

⑩周波数　メガヘルツ、キロヘルツ、ヘルツ(メガサイクル、キロサイクル、サイクル=最近はヘルツに統一)

⑪騒　音　ホン、デシベル

⑫宝　石　カラット

⑬真　珠　モンメ、一モンメは三・七五グラム

⑭電　流　アンペア

⑮放射能　キュリー

⑯照射線量・率　レントゲン

⑰繊　度　デニール

⑱吸収線量・率　ラド、レム

四、温度のカ氏はセ氏に直す。特殊な場合のほかは「C、F」の記号は使用しない。

セ氏=(カ氏〇〇度)−32度×$\frac{9}{5}$

五、ローマ字略号　特に必要の場合は一般に使われているローマ字略号(m、cm、km、g、kg、cc、w、kw)を使ってもよい。

単位語表示と漢テレ記号

一、通貨単位語などの表示

一、各国の通貨呼称を文中で表示す

オンス	⑦	グラム
0.03527	1	28.3495
0.07055	2	56.6991
0.10582	3	85.0486
0.14110	4	113.3981
0.17637	5	141.7476
0.21164	6	170.0972
0.24692	7	198.4467
0.28219	8	226.7962
0.31747	9	255.1457

ポンド	⑧	キログラム
2.20462	1	0.45359
4.40924	2	0.90719
6.61387	3	1.36078
8.81849	4	1.81437
11.02311	5	2.26796
13.22773	6	2.72156
15.43236	7	3.17515
17.63698	8	3.62874
19.84160	9	4.08233

貫（匁）	⑨	キログラム（グラム）
0.26667	1	3.75
0.53333	2	7.50
0.80000	3	11.25
1.06667	4	15.00
1.33333	5	18.75
1.60000	6	22.50
1.86667	7	26.25
2.13333	8	30.00
2.40000	9	33.75

平方尺	⑩	平方メートル
10.89	1	0.09183
21.78	2	0.18365
32.67	3	0.27548
43.56	4	0.36731
54.45	5	0.45914
65.34	6	0.55096
76.23	7	0.64279
87.12	8	0.73462
98.01	9	0.82645

坪	⑪	平方メートル
0.3025	1	3.30579
0.6050	2	6.61157
0.9075	3	9.91736
1.2100	4	13.22314
1.5125	5	16.52893
1.8150	6	19.83471
2.1175	7	23.14050
2.4200	8	26.44628
2.7225	9	29.75207

畝（町）	⑫	アール（ヘクタール）
1.00833	1	0.99174
2.01667	2	1.98347
3.02500	3	2.97521
4.03333	4	3.96694
5.04167	5	4.95868
6.05000	6	5.95041
7.05833	7	6.94215
8.06667	8	7.93388
9.07500	9	8.92562

立方尺	⑬	立方メートル
35.937	1	0.02783
71.874	2	0.05565
107.811	3	0.08348
143.748	4	0.11131
179.685	5	0.13913
215.622	6	0.16696
251.559	7	0.19479
287.496	8	0.22261
323.433	9	0.25044

升	⑭	リットル
0.55437	1	1.80386
1.10874	2	3.60771
1.66310	3	5.41157
2.21747	4	7.21543
2.77184	5	9.01928
3.32621	6	10.82314
3.88058	7	12.62699
4.43494	8	14.43085
4.98931	9	16.23471

計量単位換算早見表

使い方

①表の1段目から
1インチは2.5400センチ(右側)
1センチは0.3937インチ(左側)

⑨表から
「1貫600匁は何キロか」は
1段目右 →3.75 kg
6段目右 →2.25
\+ 6.00
答6 kg

インチ	①	センチメートル
0.3937	1	2.5400
0.7874	2	5.0800
1.1811	3	7.6200
1.5748	4	10.1600
1.9685	5	12.7000
2.3622	6	15.2400
2.7559	7	17.7800
3.1496	8	20.3200
3.5433	9	22.8600

フィート	②	メートル
3.28084	1	0.3048
6.56168	2	0.6096
9.84252	3	0.9144
13.12336	4	1.2192
16.40420	5	1.5240
19.68504	6	1.8288
22.96588	7	2.1336
26.24672	8	2.4384
29.52756	9	2.7432

ヤード	③	メートル
1.09361	1	0.9144
2.18723	2	1.8288
3.28084	3	2.7432
4.37445	4	3.6576
5.46807	5	4.5720
6.56168	6	5.4864
7.65529	7	6.4008
8.74891	8	7.3152
9.84252	9	8.2296

マイル	④	キロメートル
0.621371	1	1.60934
1.242742	2	3.21869
1.864114	3	4.82803
2.485485	4	6.43738
3.106856	5	8.04672
3.728227	6	9.65606
4.349598	7	11.26541
4.970970	8	12.87475
5.592341	9	14.48410

尺	⑤	メートル
3.300	1	0.30303
6.600	2	0.60606
9.900	3	0.90909
13.200	4	1.21212
16.500	5	1.51515
19.800	6	1.81818
23.100	7	2.12121
26.400	8	2.42424
29.700	9	2.72727

間	⑥	メートル
0.550	1	1.81818
1.100	2	3.63636
1.650	3	5.45455
2.200	4	7.27273
2.750	5	9.09091
3.300	6	10.90909
3.850	7	12.72727
4.400	8	14.54545
4.950	9	16.36364

主な計量単位と種類

〔注〕ここでの数字の表記は百台および百以下は単位語を省略（一〇一、五〇〇、二五）。千以上の数で端数のつかない場合は単位語を使った（五千、百万分の一、三十五億）。ただし端数のつく場合は単位語を省略した（一、六二三キロ、五、六〇〇メートル）。

単位の接頭語（カッコ内は記号）

テラ（T）一兆倍　**ギガ**（G）十億倍　**メガ**（M）百万倍　**キロ**（k）千倍　**ヘクト**（h）百倍　**デカ**（da）十倍　**デシ**（d）十分の一　**センチ**（c）百分の一　**ミリ**（m）千分の一　**マイクロ**（μ）百万分の一　**ナノ**（n）十億分の一　**ピコ**（p）一兆分の一

計量単位

アイユー（I.U.）　ビタミン、ホルモンなどの国際単位

アール（a）　一辺が一〇メートルの正方形で一〇〇平方メートル

アンペア（A）　電流の強さの単位

エーカー（ac）　四〇・四六七アール

液量オンス（fl.oz）　一米液量オンスは二九・五七三ミリリットル　一英液量オンスは二八・四一二ミリリットル

オングストローム（Å）一メートルの百億分の一

カイリ（nm）一カイリは一、八五二メートル　海上および航空関係の一マイルは一カイリと同じ

カウント（cpm）　放射線量を測定する単位。普通毎分のカウント数を表記する

カラット（宝石＝Kcar または ct　金＝Kまたは Kt）宝石の質量としての一カラットは二〇〇ミリグラム、金の純度としては、純金を二四K、一八Kは二四分の一八。また一カラット以下のダイヤの重量を表すのにポイントを使う。一ポイントは百分の一カラット。四八ポイントのダイヤは〇・四八カラット。

カロリー（cal）　熱量の単位。一カロリーは一気圧のもとで純水一グラムの温度を一四・五度から一五・五度まで一度上げるに要する熱量。栄養学、生理学で用いる場合は、キロカロリーのことを単にカロリーと呼ぶ

ガロン（gal）　米ガロンは三・七八五四三リットル　英ガロンは四・五四五五四三リットル

ガロン	⑮	リットル
0.26418	1	3.78532
0.52836	2	7.57065
0.79254	3	11.35597
1.05671	4	15.14130
1.32089	5	18.92662
1.58507	6	22.71194
1.84925	7	26.49727
2.11343	8	30.28259
2.37760	9	34.06792

石（玄米）	⑯	キログラム
0.00667	1	150
0.01333	2	300
0.01998	3	450
0.02664	4	600
0.03333	5	750
0.03996	6	900
0.04662	7	1050
0.05329	8	1200
0.05996	9	1350

石（小麦）	⑰	キログラム
0.00731	1	136.875
0.01461	2	273.750
0.02191	3	410.625
0.02922	4	547.500
0.03653	5	684.375
0.04383	6	821.250
0.05114	7	958.125
0.05845	8	1095.000
0.06575	9	1231.875

カイリ	⑱	キロメートル
0.539957	1	1.85200
1.079914	2	3.70400
1.619870	3	5.55600
2.159827	4	7.40800
2.699784	5	9.26000
3.239741	6	11.11200
3.779698	7	12.96400
4.319654	8	14.81600
4.859611	9	16.66800

換算簡便法（誤差は正数に対する千分比）

換算	算式	誤差
長さ・距離		
曲尺→メートル	尺×3÷10	10
鯨尺→メートル	尺×1.5÷4	10
間→メートル	間×0.9×2	10
町→メートル	町×1.1×100	8
里→キロメートル	里×1.3×3	7
インチ→センチ	インチ×5÷2	16
フィート→メートル	フィート×3÷10	16
ヤード→メートル	ヤード×0.9	16
マイル→キロ	マイル×8÷5	6
面積		
坪→平方メートル	坪×1.1×3	2
畝→アール	畝×0.999	2
体積		
升→リットル	升×9÷5	2
重量		
オンス→グラム	オンス×0.95×30	5
ポンド→キログラム	ポンド×0.9÷2	8
貫→キログラム	貫÷4×15	0
斤→キログラム	斤×0.6	0

ppb 十億分の一
俵 米穀などを数える語。一俵は四斗（七二・一五六リットル）現在は米一俵六〇キログラム
ブッシェル（bu） ①重量単位の一英ブッシェル＝六二ポンド＝二八・一二三キログラム 一米ブッシェル＝六〇ポンド＝二七・二一六キログラム ②容積単位の一英ブッシェル＝八ガロン＝三六・三六七七リットル 一米ブッシェル＝八ガロン＝三五・二三八三リットル
プルーフ アルコールの濃度を表す単位。一〇〇プルーフは標準アルコール濃度五七・一度
ヘルツ（Hz） 振動数および周波数の単位。キロヘルツ（kHz） メガヘルツ（MHz）
サイクル（c/s） ヘルツと同じ（最近はヘルツに統一）
ホン 騒音の大きさの単位
マイル（Mまたはnm） 陸上では一マイル＝一、六〇九メートル 海上と航空関係では一マイル＝一、八五二メートル
MPH 速度の単位。マイル毎時 KPHはキロ毎時
マグニチュード（M） 地震の規模の大きさを表す単位
マッハ（Mまたはmach） 音速に対する速度比。マッハ一・二は音速の一・二倍
G 重力の加速度。一Gは九・八〇六六五毎秒毎秒メートル
ミクロン（μ） 一ミリメートルの千分の一。
ミリミクロン（mμ） ミクロンの千分の一
メブ（MeV） 百万電子ボルト
ラド（rad） 吸収線量の単位
ルクス（lx） 照度の単位
レム（rem） 放射線の吸収線量をその生物学的効果で測った単位
レントゲン（r） エクス線、ガンマ線の強さを表す単位
ロット（lot） 工業製品の製造単位。同一原料、同一工程、同一時期に生産された製品を一ロット
WECPNL（加重等価平均騒音レベル）飛行機や列車などの断続的な騒音量のうるささを表すため国際的に用いられている単位。

九六リットル

カンデラ（cd） 光度の単位

ガンマ（γ） 百万分の一グラム

キュリー（c） 放射能の強さを表す単位。放射性核種の一秒間の壊変数が三百七十億であるとき、この放射性物質の量を一キュリーとする。普通はマイクロ・キュリーまたはピコ・キュリーが使われる

石 玄米一石は一五〇キログラム、小麦一石は一三六・八七五キログラム、木材一石は（一尺×一尺×一〇尺＝一〇立方尺）で〇・二七八三立方メートル

シーシー（cc） 一立方センチメートルの略、千ccは一リットル

ジェブ（Gev） 十億電子ボルト

人キロ 旅客の輸送量を表す単位。二〇人が二〇キロ乗車すれば四〇〇人キロ

セカンド（s） 秒

マイクロセカンド（μs） 百万分の一秒

ナノセカンド（nsec） マイクロ・セカンドの千分の一

ピコセカンド（psec） 一兆分の一秒

デシベル（db） 電力の利得減衰、あるいは音の強さを表す単位。騒音の場合、ホンと同じ

デニール（Dまたはd） 繊維の太さの単位。糸の長さを一定（四五〇メートル）にし、その重さを標準の重さ（五〇ミリグラム）の何倍あるかを示す。重さが一〇〇ミリグラムなら二倍なので二デニール

テックス（Tt またはtex） 糸の太さの単位。一キロメートル当たりのグラム数で表す。ミリテックスは千分の一テックス、キロテックスは千テックス

電子ボルト（eV） エネルギーの大きさを表す単位

トロイ・ポンド（lbt） 一トロイポンドは三七三・二四一七七グラム

トン（t） メートルトン、千キログラム

ロングトン（Ltn） 英トン。米国ではグロストン、一ロングトンは一、〇一六キログラム

ショートトン（tn） 米トン。一ショートトンは九〇七キログラム

ノット（kt または kn） 一ノットは一時間に一カイリ（一、八五二メートル）の速さ

パーセント（%） 比率、百分率

パー・ミル（‰） 比率、千分率

バール（bar） 圧力の単位。気象関係ではミリバールを使う

バーレル（barrel） 一バーレルは石油で一五九リットル

ppm 百万分の一

ス、キューバ、ギリシャ、グアテマラ、クメール、コスタリカ、コートジボアール、コロンビア、ザイール、ザンビア、シリア、スイス、スペイン、ソマリア、ソ連、チェコ、中央アフリカ、中国、チュニジア、チリ、トーゴ、ドミニカ、トリニダードトバゴ、西ドイツ、ネパール、ノルウェー、ハイチ、パナマ、パラグアイ、ハンガリー、東ドイツ、フィンランド、フランス、ブラジル、ブルガリア、ブルンジ、ベニン、ベネズエラ、ペルー、ベルギー、ポーランド、ボリビア、ポルトガル、ホンジュラス、マダガスカル、マレーシア、メキシコ、モナコ、モーリタニア、モロッコ、モンゴル、ユーゴ、ヨルダン、ラオス、リヒテンシュタイン、リビア・アラブ共和国、リベリア、ルーマニア、ルワンダ、レバノン

▽三月一日—二月二十八日（二十九日）

トルコ

▽三月二十一日—三月二十日

アフガニスタン、イラン

▽四月一日—三月三十一日

イギリス、イスラエル、インド、カナダ、クウェート、サンマリノ、ジャマイカ、シンガポール、スワジランド、デンマーク、ナイジェリア、ニュージーランド、バルバドス、ボツワナ、香港、マラウイ、マルタ、南アフリカ、南イエメン、レソト

▽五月一日—四月三十日

ルクセンブルク

▽七月一日—六月三十日

アメリカ、ウガンダ、エジプト、オーストラリア、ガーナ、ガンビア、ケニア、シエラレオネ、スウェーデン、スーダン、台湾、タンザニア、ナウル、ニカラグア、パキスタン、バミューダ、フィリピン、モーリシャス、ローデシア

▽七月八日—七月七日

エチオピア

▽十月一日—九月三十日

スリランカ、タイ、ビルマ

▽十月十五日—十月十四日

サウジアラビア

▽十一月一日—十月三十一日

アルゼンチン

日本で昭和四十七年度といえば昭和四十七年四月一日から四十八年三月三十一日に終わる一年間を指すが、アメリカで一九七三年度は一九七二年七月一日から一九七三年六月三十日までの一年間をいう。間違いを避けるためには、一九七二—七三年度というように示すとよい。

日時の書き方

年月日

一、国内記事では原則として日本の年号を用い、年月日を書く。

〔例〕昭和四十八年一月二十日（「昭和四八年一月二〇日」とは書かない）

〔注〕

①記事の本文中に「先月」「今月」「昨夜」「きょう」「明朝」などと書くと、間違う恐れがあるから、「月日」を書く。ただし、見出しや文章にアヤを持たせる必要があり、混乱の恐れがないときに限り、これらの言葉を使ってよい。

②その年のニュースは「年」を略し「月」以下を書く。

③その月のニュースは「月」を略してもよい。ただし、月初め、月末で混乱の恐れがあるとき、記事が他の月にまたがっているときは「月」を明記する。

二、「慶応」以前の年の下には、必ずカッコで西暦を注記する。

〔例〕文久三年（一八六三年）

三、国際記事には西暦を使う。西暦の数字には単位語を省略する。西暦で期間を表す場合には次の例のように書く。

〔例〕一八六〇―一九一八年
一九七五―八〇年

四、年度には「財政年度」「米穀年度」「肥料年度」などがあって、それぞれ起算月日が違うから注意を要する。

年度の書き方は「四十八年度」と年数を表記するほか「本年度」「来年度」「前年度」とし、「今年度」「明年度」「昨年度」とはしない。

ただし文章を軟らかく書くときは「ことしの予算、来年の予算、去年の予算」などとしてもよい。

①財政年度

日本の財政年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる、と決められている。ところが各国の財政年度はまちまちで、主な国だけを拾ってみると、次の各種がある。

▽暦年

アイスランド、アイルランド、アルジェリア、アルバニア、イタリア、イラク、インドネシア、エクアドル、エルサルバドル、オーストリア、オートボルタ、オランダ、ガイアナ、ガボン、韓国、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）、ベトナム、キプロ

のように時間を表す場合には、例外として「十二時」を使ってよい。

四、二十四時間制をとっているものも、原則として十二時間制に書き直す。

〔例〕午後十時四十分東京発大阪行き急行銀河2号（「二十二時四十分東京発…」と書かない）

ただし、鉄道時刻の表示や自然科学方面など、特殊な専門記事で二十四時間制が慣用されているものは、そのままでよい。

五、外電記事の時刻は、現地時間で書き、日本に関係ある場合はカッコ内に日本時間を注記する。

〔例〕ニクソン米大統領は十日午前十一時（日本時間十一日午前一時）ワシントンを出発、パリへ向かった。

六、外国では夏時間を使っているところがあるので、時差の換算に注意すること。

米国の夏時間は、四月の最終日曜日の午前二時から、十月の最終日曜日の夏時間午前二時まで。ただしハワイ、ミシガン両州とアリゾナ州の一部は州の立法で夏時間を実施しない。

英国の夏時間は、毎年三月の第三土曜日の次の日曜日の午前二時から、十月の第四土曜日の次の日曜日の夏時間午前三時まで。

その他

一、週日は特殊なときだけに使う。特定の週を表すときは上に「第」をつけ、期間を表すときは下に「間」をつける。

〔例〕毎週月曜日と木曜日の午後に開く。八月の第二週に始まり、二週間で終わる。

〔注〕今週、来週の使い方には注意を要する。一週は日曜日に始まり土曜日に終わるから、日曜日付の新聞では本文中の来週、今週が食い違うことがある。ことに見出しに気をつけること。

二、半期は一年を二つに分けたもの、四半期は半期をさらに二つに分けたもの。半期、四半期には暦年によるものと、年度によるものがあるから注意する。

半期は「上半期」「下半期」。四半期は「第一・四半期」「第二・四半期」のように書く。

三、刑期は「懲役二年六月」と書き、「懲役二カ年」「禁固六カ月」とは書かない。

②農業年度

　農産物の年度は収穫期を基準として決められているので、国によって違うものもあり、北半球と南半球とで大きなズレが出ているものもある。

▽米穀年度　日本では十一月一日から翌年十月三十一日までをいい、この米穀年度をもって食糧年度としている。ただし「本年産米」とは、十月とか十一月とかにかかわらず、暦年の産米をいい、米穀年度とは関係がない。

　国際的には七月一日から翌年六月三十日までを年度としている。インドネシアなど熱帯地方では、暦年を統計の基礎にしている。

▽酒造年度　日本では七月一日から翌年六月三十日まで。

▽肥料年度　日本では七月一日から翌年六月三十日まで。

▽小麦年度　アメリカはじめ主要生産国の小麦年度は七月一日から翌年六月三十日まで。

▽綿花年度　国際年度は八月一日から翌年七月三十一日まで。

　日本は新綿の輸入を基準に九月一日から翌年八月三十一日まで。

▽砂糖年度　国際砂糖年度は十月一日から翌年九月三十日まで。

▽生糸年度　六月一日から翌年五月三十一日まで。

〔注〕米穀、綿花、砂糖の各年度は終わる年の年度をいう（四十八米穀年度は昭和四十七年十一月一日から同四十八年十月三十一日まで）。生糸、小麦、肥料、酒造の各年度は始まる年度をいう（四十八肥料年度は昭和四十八年七月一日から同四十九年六月三十日まで）。

時間

一、時刻は原則として分単位まで書くが、時間が特に必要でないときは五分刻み、少なくとも十分刻みにして「ころ」「すぎ」をつける。「三十分」は「半」としてもよい。

〔例〕午後二時二十五分ごろ　午前十時半すぎ

二、地震など、秒以下の単位まで正確に示す必要があるときは「九月一日午前十一時五十八分三十三秒六＝関東大地震＝」のように書く。

三、時刻は次のように午前、午後をはっきり書く。「零時」は「〇時」と書かない。

〔例〕正午（午前十二時、午後零時とは書かない）

三日午前零時（二日午後十二時とは書かない）

午前零時十五分（午後十二時十五分とは書かない）

ただし、「午後六時から午後十二時まで」

長　中村泰東大助教授　東大助教授
中村泰氏、東大の中村泰・助教授
（×東大中村泰助教授）

四、団体の責任者をカッコ内に示すときは肩書と姓名の間に「・」を入れるか、肩書を後に書く。（フォームの項参照）

五、疑いのある肩書や事件で解職された人の肩書の書き方。

〔例〕「自称東大生」「東大の学生証を持つ男」「〇〇会社〇〇課長と称する男」「元〇〇会社〇〇課長甲野乙吉」

六、列記するには、次のように書く。

〔例〕席上、次の各市長から反対意見が出された。（カッコ内は市名）
山田（岡山）、鈴木（佐賀）、横山（福島）、成田（富山）、……

別に、肩書をカッコに包んで姓名の下に書いたり、共通の肩書を一括頭書きをしてもよい。

〔例〕法制審議会の刑事法特別部会委員は次の通り。
（刑法学者）〇〇〇〇（東大教授）〇〇〇〇（京大教授）……
（裁判官）〇〇〇〇〇（東京高裁判事）〇〇〇〇（最高裁総務局長）

七、肩書につける「前」「元」「故」

①「前」は、当人の直接の後任者が現職にある場合、または当人が辞任後まだ後任者が決まらない場合に使う。

〔例〕佐藤前首相　グラール・ブラジル前大統領　前代議士〇〇〇〇

②「元」は、当人の直接の後任者が辞めている場合、称号、身分、制度などが変更された場合、当人がある職業を辞めた場合に使う。

〔例〕岸元首相　元皇族賀陽氏　元海軍大将沢本頼雄氏

③社会記事などで「前」「元」の区別をしなくてもよい場合に「元」を使ってもよい。相撲で、横綱が引退したり、大関や関脇、小結が格下げの場合は「元」を使う。

〔例〕元横綱若乃花（現二子山）　前頭七枚目の若羽黒（元大関）　元官吏　元教員

④選挙による公職（衆参両院議員、地方議員、知事、市町村長など）は、解散または任期満了、辞任後はそれまでの現職者は「前」、前職者は「元」となる。

⑤「故」は死亡者の姓名の上に、肩書のある場合はその上に付ける。

〔例〕故久保田万太郎氏　故（前、元）日本放送作家協会会長久保田万太郎氏

敬称の使い方

一、敬称は原則として「氏」を使う。社会面の記事では次の敬称も使う。
さん　君　ちゃん　嬢　夫人　老　未亡人　師（牧師、僧、一部の芸

人名、年齢の書き方

姓名の書き方

一、最初の姓名は略さずに書き、二度目から姓だけを書く。

二、同一文中に同姓の人が二人以上出てくるとき、二度目からは名だけを書く。近親者などの場合は、後から出てくる同姓は略す。

三、知名人、ニュースによく現れる人は、最初から姓だけを書き、その下に肩書を付ける。

四、姓の列記中に同姓が二人以上いるときは、名の最初の一字を姓の下にカッコして入れる。政党や団体などに同姓の有名人がいる場合は、一人でも同様にする。ただし運動関係の記事、記録にはカッコを付けない。

〔例〕賛成派＝佐藤（常）、山崎、大石▽反対派＝大山、佐藤（大）、倉石

五、読み方の難しい姓名には、カッコして平仮名読みを入れる。新内閣顔ぶれ一覧、時の人、略歴、署名原稿は、読み方の難易にかかわらず、正確な読みを付ける。

〔例〕武者小路実篤（むしゃこうじ・さねあつ）　紅林（くればやし）茂夫

肩書の書き方

一、二つ以上の肩書を書く場合は①職名②官名③学位④位階⑤勲等⑥姓名——の順とする。

〔例〕大蔵省主計局総務課長大蔵事務官従五位勲六等山田一郎

二、二つ以上の職名を肩書に書く必要のある場合は、そのニュースに直接関係ある肩書を初めに書き、二度目からは初めの肩書だけにする。

〔例〕県商工会議所副会頭、〇〇商事社長山田太郎氏は十五日、会議所の定期総会席上、……山田副会頭は……

この場合、次のように二つの肩書を姓の前後に分けて書いてもよい。

〔例〕自民党総裁田中首相　米国代表のキッシンジャー大統領補佐官

三、肩書が姓名や地名とからみ合う場合は次のように書く。

〔例〕松下電器の松下会長　松下・松下電器会長　（×松下松下電器会長）
委員長・谷川一夫氏　（×委員長谷川一夫＝は委員　長谷川なのか委員長　谷川なのか誤読の恐れがある）
砂川市長の山口正直氏　山口砂川市

名前を隠す場合

一、未成年者の犯罪は匿名または仮名とする。

少年法によれば、未成年者（二十歳未満の者）の犯罪で、家庭裁判所の審判に付されたものは新聞に本名、年齢、職業、住居、容姿など、本人と推定できるような記事、写真を出すことはできない。

二、名誉を傷つけ、本人やその関係者に迷惑を及ぼす恐れのある場合は匿名、仮名を用いる。

①婦女暴行事件の被害者、家族の住所氏名

②精神障害者と家族の住所氏名

③身体障害、日本脳炎、ハンセン病、スモン患者など特殊な疾患で本人、家族が住所氏名の公表を望まない場合

④村八分事件、お礼参り事件などで氏名の公表によって報復を受ける恐れがある場合は、本人の意思に従って住所氏名を隠す

⑤その他、一般事件の被害者などで本人が特に重要な役割りを持たない場合には、状況により匿名にすることもある

三、匿名、仮名の場合、取材連絡上必要なときは、原稿末尾の「了」のあとに改行し〔編集者注意〕で「A子は仙台市二日町三、宮城仙子」というふうに、住所氏名を注記する。

四、未成年者や精神異常者でも、逃走中で放火、殺人など累犯の恐れがある場合、また指名手配中の犯人捜査に協力する必要のある場合など、社会的利益の擁護が強く要求されるときは、特例として氏名や写真を掲載する。この場合は、編集責任者の指示で決める。

五、婦女暴行致死の場合は、死の事実にアクセントをおいて、被害者の住所氏名を明記することもある。

六、本名を隠す場合、匿名では「一中学生（一三）」「少年（一六）」のように書き、仮名では単に「高校生A（一六）」「B子（一六）」のように、ローマ字一字をABCの順に従って使い本名の頭文字は使わない。

〔注〕①未成年者一人の場合は、仮名を使わず「少年（一六）」のように書く。
②親子、兄弟共犯などで、一方だけを匿名、仮名にし、他方を明記したりしない。

七、仮名には、住所、肩書その他本人を推測できるようなものは隠す。続報も同じ仮名を一貫して使う。

八、犯罪発生時に少年だった者は、その後、逮捕、送検、起訴、裁判などの際、成年に達していても原則として仮名を使う。

能人）関（力士）画伯　丈（一部の俳優）

〔注〕子供に対する君、ちゃん、さんおよび学生、未成年者に対する君、さんの使い分けは、事件、事故などの内容や、そのときの状況によって区別する。（小学生以下は君、ちゃん、中学生以上は君、さんをめどとする）

二、外国の皇帝、王、法王、貴族の位、称号、国名がからみ合う場合は次のように書く。

〔例〕英女王エリザベス二世、イギリスのエリザベス女王（「陛下」は付けない）　エジンバラ公フィリップ殿下（「エリザベス女王夫君エジンバラ公」と書くこともある）　エチオピア皇帝ハイレ・セラシエ一世（「陛下」は付けない）　サウジアラビアのファイサル王　モナコのレーニエ国王　ローマ法王パウロ六世　キプロス共和国大統領マカリオス大主教

〔注〕①イギリスの「サー」の称号を頭に付けたときは「氏」などの敬称は付けない。「サー」は個人にたいして与えられるもので、たとえば「サー・チャーチル」は誤り、「サー・ウィンストン・チャーチル」か「サー・ウィンストン」がよい。

②英国では男爵のキャリントン英国防相は「キャリントン卿」か「キャリントン男」とする。

③ビルマ人の名に付く「ウ」は敬称にあたるが、今までの慣習に従い、肩書のない人の場合も「氏」「さん」などの敬称を付ける。「ウ・タント前国連事務総長」、「ウ・ソー氏」。

三、姓の下に肩書が付いた場合は敬称はいらない。

〔例〕厚生課長久保田剛氏―久保田厚生課長　機関士岩井達也さん―岩井機関士

四、人名を列記する場合は各人に敬称を付けず、次のように書く。

〔例〕天野貞祐、茅誠司、岩下富蔵の各氏　下田全逓、槇枝日教組、酒井全電通の各委員長ら

五、死亡記事、略歴には「氏」「さん」「師」などの敬称を付ける。（フォームの項参照）

六、敬称を付けなくてよい場合。

①運動欄、娯楽欄などに出てくるスポーツマン、芸能人。ただし死亡記事、事故など社会面用の記事には敬称を付ける。

②犯罪容疑者が現行犯の場合、あるいは非現行犯でも逮捕された場合、または指名手配などのようにすでに逮捕状が出ている場合。（このような場合のほかは敬称を付けるのを原則とする）

③辞令や立候補者一覧表。

④歴史上の人物。

⑤座談会の発言者名など。ただし、必ず「敬称略」を注記する。

地名の書き方

一、所番地は原則として次の順序で書く。

都道府県―市（郡）―区―町（村）―丁目（大、小字）―地番

〔例〕東京都中野区富士見町二ノ一二三八

〔注〕①特に重要な意味のない場合は、丁目、大字までにし、小字、地番以下を省略することもある。

②地番の数字が三ケタ以上の場合、千位を示す読点「、」を打たない。

二、次のような場合は地名の書き方を省略してもよい。

①一般に通用している書き方をしたほうがわかりやすい場合、近くに有名な目標物などがある場合。

〔例〕後楽園球場（「東京都文京区後楽」という所在地はいらない）

東京・神田駅前（「東京都千代田区神田鍛冶町二ノ一五」よりわかりやすい）

②全国的に有名な市、温泉、名所旧跡、湖沼、山岳、島、半島などは都道府県名、郡名を省いてよい。

〔例〕京都市　東海村の原子力研究所　別府温泉　日光東照宮　阿蘇山　関ケ原　佐渡島　後楽園　浜名湖　室戸岬　高野山

③町名、地番に重きをおかない場合

〔例〕札幌市営円山陸上競技場で練習中卒倒…大阪市のコクサイホテルで関西財界人と懇談し……

三、「都下」「府下」「県下」などは使わない。

四、同じ名前の地名が二つ以上ある場合や、読み方が同じ地名は、区別がはっきりできるように書く。

〔例〕岩手県―岩手郡　札幌郡―札幌市　釧路市―釧路国支庁

高田（新潟県）―豊後高田（大分県）―大和高田（奈良県）―陸前高田（岩手県）

修善寺町（静岡県田方郡）―修禅寺（修善寺町にある寺の名、「修禅寺物語」の戯曲で有名）

王子（東京）―王寺（奈良県）―八王子市（東京）―天王寺区（大阪）

茨木市（大阪）―茨城県―北茨城市（茨城県）

日光湯元（栃木県）―那須湯本（栃木県）―箱根湯本（神奈川県）

五、「来―」「帰―」「滞―」などの使い方

入京、離京、在京、上京、西下など、全国的にみてわかりやすいものはよいが、わかりにくいものは地名をはっきり書く。

ただし、地方で慣用されている場合は、その地方の記事では使って差し支えない。

年齢の書き方

一、年齢は満年齢で表す。

〔注〕選挙の候補者一覧などは、選挙日現在の満年齢で示す。

二、年齢は姓名、姓名敬称、姓名の下に付けた肩書の次に、カッコに入れて漢数字で示す。

〔例〕大林壮一氏（六四）　平田たい子さん（五九）　長男弘君（一五）　二女和子ちゃん（六つ）　一郎ちゃん（三カ月）

〔注〕①「大野一郎君（二一、日大四年）」と書かず、「日大四年大野一郎君（二一）」「大野一郎君（二一）＝日大四年＝」と書く。

②略歴記事、時の人、死亡記事などでは「五十八歳」「六十歳」のように「才」「歳」を付け、姓名と離して表記することがある。

③死亡している人などの当時年齢の書き方は「山田太郎氏＝当時（三五）＝」または「山田花子さん＝当時小学生（九つ）＝」とする。

住所、職業、姓名、年齢の順序

一、原則として「住所―職業―姓名（敬称）―年齢」の順序で書く。住所と職業の間には読点を打つ。

二、勤務先、肩書などが入ったため、住所と勤務先所在地が紛らわしいときや、住所を最初に書くと都合の悪い場合は「姓名（敬称）―年齢」のあとに「＝」を付けて住所を書く。最後にも「＝」を付ける。

〔注〕①勤務先と住所とを、ともに書く必要のある場合は、住所の前に「自宅」を書き入れてもよい。

②表で数人連記の場合、切れ目に▽を使う。記事中連記の切れ目は「、」を使い、最後の住所のあとに「＝」をつける。

〔例〕①一人の場合

東京都渋谷区本町二ノ六、〇〇計器会社総務部長守屋嘉男（四三）＝東京都文京区久堅町八二＝

②二人以上記事中連記の場合

後立山に登り消息を断っていた京都学芸大パーティーの袖岡久馬君（二二）＝京都市左京区岩倉上蔵町一一、坂本清志君（二〇）＝京都市伏見区深草池ノ内七ノ二、百瀬良春君（一八）＝大阪市天王寺区東平野町四ノ一＝の三人は元気に下山……

三、多人数を列記する場合

〔例〕〔死者〕小沢二郎（二九）＝札幌市新琴似町五二▽吉田直子（二八）＝室蘭市浜町三一▽今井ヨシコ（音訳）（三八）＝釧路市城山町五九

〔重傷者〕中山トシオ（音訳）（五二）＝旭川市新町一ノ五▽林三郎＝函館市柳町一五▽中村清子（一五）＝青森市佃一五三

市名と読みにくい郡名

市町村数（昭和五十三年三月一日＝自治省調べ）
市六四五、町一九八一、村六三〇（都道府県名の下のカッコ内は県の木、県の花、県の鳥）

全国市名

北海道（エゾマツ、未制定、タンチョウ）

札幌　さっぽろ
函館　はこだて
小樽　おたる
旭川　あさひかわ
室蘭　むろらん
釧路　くしろ
帯広　おびひろ
北見　きたみ
岩見沢　いわみざわ
夕張　ゆうばり
網走　あばしり
留萌　るもい
苫小牧　とまこまい
稚内　わっかない
美唄　びばい
芦別　あしべつ
赤平　あかびら
江別　えべつ
士別　しべつ
紋別　もんべつ
名寄　なよろ
三笠　みかさ
根室　ねむろ
千歳　ちとせ
滝川　たきかわ
砂川　すながわ
歌志内　うたしない
深川　ふかがわ
富良野　ふらの
登別　のぼりべつ
恵庭　えにわ
伊達　だて

青森県（ヒバ、リンゴ、ハクチョウ）

青森　あおもり
弘前　ひろさき
八戸　はちのへ
黒石　くろいし
五所川原　ごしょがわら
十和田　とわだ
三沢　みさわ
むつ

岩手県（ナンブアカマツ、キリノハナ、キジ）

盛岡　もりおか
釜石　かまいし
宮古　みやこ
一関　いちのせき
大船渡　おおふなと
花巻　はなまき
北上　きたかみ
水沢　みずさわ
久慈　くじ
遠野　とおの
江刺　えさし
陸前高田　りくぜんたかた
二戸　にのへ

〔例〕京都に来る（「入洛」は使わない）
名古屋に滞在中（「滞名中」は使わない）
小樽に帰る（「帰樽」は使わない）
神戸を出発（「離神」は使わない）
福岡に来る（「来福」は使わない）

六、読み方の難しい地名は、カッコして平仮名で読みをつける。

〔例〕鹿児島県揖宿（いぶすき）郡頴娃（えい）町
沖縄県東風平（こちんだ）村
石川県羽咋（はくい）市

七、仮名書きの地名

①町村合併によって仮名書きを採用した市町村

〔例〕いわき市（福島県）
えびの市（宮崎県）
むつ市（青森県）
えりも町（北海道幌泉郡）
かつらぎ町（和歌山県伊都郡）
すさみ町（和歌山県西牟婁郡）
ニセコ町（北海道虻田郡）
びわ町（滋賀県東浅井郡）
マキノ町（滋賀県高島郡）
むつみ村（山口県阿武郡）

②表外字を含む和語の地名で、はなはだしく難読の地名で、通常仮名書きの慣用されているものは、これに従って仮名書きにしてもよい。

〔例〕
よろい橋（鎧橋＝東京・日本橋）
かきぶら町（蠣殻町＝東京・日本橋）
こうがい町（笄町＝東京、大阪）
たんす町（簞笥町＝東京・牛込、麻布）
ひょうたん山（瓢簞山＝大阪府）
あやめ池（菖蒲池＝奈良県）
えぞ富士（蝦夷富士＝北海道羊蹄山の別名）

〔注〕「市町村―丁目―地番」と住所や建物の所在を表示する場合、これらの町名は仮名書きにしない。

八、地点の示し方

震源地、遭難などの場合の位置を説明するのに、緯度、経度のほか、わかりやすい目標物を書く。

〔例〕北緯四五度、東経一四〇度―利尻島南方海上十五キロの地点
震源地は北緯四〇度、東経一四五度―岩手県久慈市南方海上三百キロの地点

九、地名を表す場合、「表記の基準」の人種、階級、職業などの差別観念を表す語の書き換え要領に従って差別観念を与えないよう注意する。

例えば表日本、裏日本の表現が差別観を表す恐れがあるときは、「太平洋側、日本海側」などと書き換える。

群馬県（クロマツ、レンゲツツジ、ヤマドリ）

前橋 まえばし
高崎 たかさき
桐生 きりゅう
伊勢崎 いせさき
太田 おおた
沼田 ぬまた
館林 たてばやし
渋川 しぶかわ
藤岡 ふじおか
富岡 とみおか
安中 あんなか

埼玉県（ケヤキ、サクラソウ、シラコバト）

浦和 うらわ
川越 かわごえ
川口 かわぐち
熊谷 くまがや
大宮 おおみや
行田 ぎょうだ
秩父 ちちぶ
所沢 ところざわ
飯能 はんのう
加須 かぞ
狭山 さやま
東松山 ひがしまつやま
本庄 ほんじょう
春日部 かすかべ
岩槻 いわつき
羽生 はにゅう
鴻巣 こうのす
深谷 ふかや
上尾 あげお
与野 よの
草加 そうか
越谷 こしがや
蕨 わらび
戸田 とだ
入間 いるま
鳩ケ谷 はとがや
朝霞 あさか
志木 しき
和光 わこう
新座 にいざ
桶川 おけがわ
久喜 くき
北本 きたもと
八潮 やしお
上福岡 かみふくおか
富士見 ふじみ
三郷 みさと
蓮田 はすだ
坂戸 さかど

千葉県（マキ、ナノハナ、ホオジロ）

千葉 ちば
銚子 ちょうし
市川 いちかわ
船橋 ふなばし
館山 たてやま
木更津 きさらづ
松戸 まつど
野田 のだ
佐原 さわら
茂原 もばら
佐倉 さくら
成田 なりた
東金 とうがね
旭 あさひ
八日市場 ようかいちば
習志野 ならしの
柏 かしわ
勝浦 かつうら
市原 いちはら
流山 ながれやま
八千代 やちよ
我孫子 あびこ
鴨川 かもがわ
鎌ケ谷 かまがや
君津 きみつ
富津 ふっつ

東京都（イチョウ、未制定、ユリカモメ）

八王子 はちおうじ

宮城県（ケヤキ、ミヤギノハギ、ガン）
仙台　せんだい
石巻　いしのまき
塩釜　しおがま
（注＝市当局は「塩竈」を用いている）
古川　ふるかわ
気仙沼　けせんぬま
白石　しろいし
名取　なとり
角田　かくだ
多賀城　たがじょう
泉　いずみ
岩沼　いわぬま

秋田県（アキタスギ、フキノトウ、ヤマドリ）
秋田　あきた
能代　のしろ
大館　おおだて
横手　よこて
本荘　ほんじょう
男鹿　おが
湯沢　ゆざわ
大曲　おおまがり
鹿角　かづの

山形県（サクランボ、ベニバナ、オシドリ）
山形　やまがた
米沢　よねざわ
鶴岡　つるおか
酒田　さかた
新庄　しんじょう
寒河江　さがえ
上山　かみのやま
村山　むらやま
長井　ながい
天童　てんどう
東根　ひがしね
尾花沢　おばなざわ
南陽　なんよう

福島県（ケヤキ、ヤエシャクナゲ、キビタキ）
福島　ふくしま
会津若松　あいづわかまつ
郡山　こおりやま
白河　しらかわ
原町　はらまち
須賀川　すかがわ
相馬　そうま
喜多方　きたかた
二本松　にほんまつ
いわき

茨城県（ウメ、バラ、ヒバリ）
水戸　みと
日立　ひたち
土浦　つちうら
古河　こが
石岡　いしおか
下館　しもだて
結城　ゆうき
竜ケ崎　りゅうがさき
那珂湊　なかみなと
下妻　しもつま
水海道　みつかいどう
常陸太田　ひたちおおた
勝田　かつた
高萩　たかはぎ
北茨城　きたいばらき
笠間　かさま
取手　とりで
岩井　いわい

栃木県（トチノキ、ヤシオツツジ、オオルリ）
宇都宮　うつのみや
足利　あしかが
栃木　とちぎ
佐野　さの
鹿沼　かぬま
日光　にっこう
今市　いまいち
小山　おやま
真岡　もおか
大田原　おおたわら
矢板　やいた
黒磯　くろいそ

珠洲　すず
加賀　かが
羽咋　はくい
松任　まっとう

福井県（マツ、スイセン、ツグミ）
福井　ふくい
敦賀　つるが
武生　たけふ
小浜　おばま
大野　おおの
勝山　かつやま
鯖江　さばえ

山梨県（カエデ、フジザクラ、ウグイス）
甲府　こうふ
富士吉田　ふじよしだ
塩山　えんざん
都留　つる
山梨　やまなし
大月　おおつき
韮崎　にらさき

長野県（シラカバ、リンドウ、ライチョウ）
長野　ながの
松本　まつもと
上田　うえだ
岡谷　おかや
飯田　いいだ
諏訪　すわ
須坂　すざか
小諸　こもろ
伊那　いな
駒ケ根　こまがね
中野　なかの
大町　おおまち
飯山　いいやま
茅野　ちの
塩尻　しおじり
更埴　こうしょく
佐久　さく

岐阜県（イチイノキ、レンゲ、ライチョウ）
岐阜　ぎふ
大垣　おおがき
高山　たかやま
多治見　たじみ
関　せき
中津川　なかつがわ
羽島　はしま
美濃　みの
美濃加茂　みのかも
瑞浪　みずなみ
恵那　えな
土岐　とき
各務原　かかみがはら

静岡県（キンモクセイ、ツツジ、サンコウチョウ）
静岡　しずおか
浜松　はままつ
沼津　ぬまづ
清水　しみず
熱海　あたみ
三島　みしま
富士宮　ふじのみや
伊東　いとう
島田　しまだ
磐田　いわた
焼津　やいづ
藤枝　ふじえだ
掛川　かけがわ
富士　ふじ
御殿場　ごてんば
天竜　てんりゅう
袋井　ふくろい
浜北　はまきた
下田　しもだ
裾野　すその
湖西　こさい

愛知県（ハナノキ、カキツバタ、コノハヅク）
名古屋　なごや
豊橋　とよはし
岡崎　おかざき
一宮　いちのみや
瀬戸　せと

立川　たちかわ
武蔵野　むさしの
三鷹　みたか
青梅　おうめ
府中　ふちゅう
昭島　あきしま
調布　ちょうふ
町田　まちだ
小金井　こがねい
小平　こだいら
日野　ひの
東村山　ひがしむらやま
国分寺　こくぶんじ
田無　たなし
保谷　ほうや
国立　くにたち
福生　ふっさ
狛江　こまえ
東大和　ひがしやまと
清瀬　きよせ

東久留米　ひがしくるめ
武蔵村山　むさしむらやま
多摩　たま
稲城　いなぎ
秋川　あきかわ

神奈川県（イチョウ、ヤマユリ、カモメ）

横浜　よこはま
横須賀　よこすか
川崎　かわさき
平塚　ひらつか
鎌倉　かまくら
藤沢　ふじさわ
小田原　おだわら
茅ケ崎　ちがさき
逗子　ずし
相模原　さがみはら
三浦　みうら
秦野　はたの
厚木　あつぎ
大和　やまと

伊勢原　いせはら
海老名　えびな
座間　ざま
南足柄　みなみあしがら

新潟県（ユキツバキ、チューリップ、トキ）

新潟　にいがた
長岡　ながおか
三条　さんじょう
柏崎　かしわざき
新発田　しばた
新津　にいつ
小千谷　おぢや
加茂　かも
十日町　とおかまち
燕　つばめ
村上　むらかみ
見附　みつけ
栃尾　とちお
糸魚川　いといがわ
新井　あらい

五泉　ごせん
両津　りょうつ
白根　しろね
豊栄　とよさか
上越　じょうえつ

富山県（タテヤマスギ、チューリップ、ライチョウ）

富山　とやま
高岡　たかおか
新湊　しんみなと
魚津　うおづ
氷見　ひみ
滑川　なめりかわ
黒部　くろべ
砺波　となみ
小矢部　おやべ

石川県（アテ、クロユリ、イヌワシ）

金沢　かなざわ
七尾　ななお
小松　こまつ
輪島　わじま

相原　かしわら
羽曳野　はびきの
門真　かどま
摂津　せっつ
高石　たかいし
藤井寺　ふじいでら
東大阪　ひがしおおさか
泉南　せんなん
四条畷　しじょうなわて
交野　かたの

兵庫県（クスノキ、ノジギク、コウノトリ）
神戸　こうべ
姫路　ひめじ
尼崎　あまがさき
明石　あかし
西宮　にしのみや
洲本　すもと
芦屋　あしや
伊丹　いたみ
相生　あいおい
豊岡　とよおか
加古川　かこがわ
竜野　たつの
赤穂　あこお
西脇　にしわき
宝塚　たからづか
三木　みき
高砂　たかさご
川西　かわにし
小野　おの
三田　さんだ
加西　かさい

奈良県（スギ、ナラヤエザクラ、コマドリ）
奈良　なら
大和高田　やまとたかだ
大和郡山　やまとこおりやま
天理　てんり
橿原　かしはら
桜井　さくらい
五条　ごじょう
御所　ごせ
生駒　いこま

和歌山県（ウバメガシ、ウメ、メジロ）
和歌山　わかやま
新宮　しんぐう
海南　かいなん
田辺　たなべ
御坊　ごぼう
橋本　はしもと
有田　ありだ

鳥取県（ダイセンキャラボク、二十世紀ナシノハナ、オシドリ）
鳥取　とっとり
米子　よなご
倉吉　くらよし
境港　さかいみなと

島根県（クロマツ、ボタン、オオハクチョウ）
松江　まつえ
浜田　はまだ
出雲　いずも
益田　ますだ
大田　おおだ
安来　やすぎ
江津　ごうつ
平田　ひらた

岡山県（アカマツ、モモ、ホトトギス）
岡山　おかやま
倉敷　くらしき
津山　つやま
玉野　たまの
笠岡　かさおか
井原　いばら
総社　そうじゃ
高梁　たかはし
新見　にいみ
備前　びぜん

広島県（モミジ、モミジ、アビ）
広島　ひろしま
尾道　おのみち
呉　くれ
福山　ふくやま

半田　はんだ
春日井　かすがい
豊川　とよかわ
津島　つしま
碧南　へきなん
刈谷　かりや
豊田　とよた
安城　あんじょう
西尾　にしお
常滑　とこなめ
犬山　いぬやま
蒲郡　がまごおり
江南　こうなん
小牧　こまき
尾西　びさい
稲沢　いなざわ
新城　しんしろ
東海　とうかい
大府　おおぶ
知多　ちた

尾張旭　おわりあさひ
高浜　たかはま
知立　ちりゅう
岩倉　いわくら
豊明　とよあけ

三重県（ジングウスギ、ハナショウブ、シロチドリ）

津　つ
四日市　よっかいち
伊勢　いせ
松阪　まつさか
桑名　くわな
上野　うえの
鈴鹿　すずか
名張　なばり
尾鷲　おわせ
亀山　かめやま
鳥羽　とば
熊野　くまの
久居　ひさい

滋賀県（モミジ、シャクナゲ、カイツブリ）

大津　おおつ
彦根　ひこね
長浜　ながはま
近江八幡　おうみはちまん
八日市　ようかいち
草津　くさつ
守山　もりやま

京都府（キタヤマスギ、シダレザクラ、オオミズナギドリ）

京都　きょうと
福知山　ふくちやま
舞鶴　まいづる
綾部　あやべ
宇治　うじ
宮津　みやづ
亀岡　かめおか
城陽　じょうよう
長岡京　ながおかきょう
向日　むこう
八幡　やわた

大阪府（イチョウ、未制定、モズ）

大阪　おおさか

堺　さかい
岸和田　きしわだ
豊中　とよなか
池田　いけだ
吹田　すいた
泉大津　いずみおおつ
高槻　たかつき
貝塚　かいづか
守口　もりぐち
枚方　ひらかた
茨木　いばらき
八尾　やお
泉佐野　いずみさの
富田林　とんだばやし
寝屋川　ねやがわ
河内長野　かわちながの
松原　まつばら
大東　だいとう
和泉　いずみ
箕面　みのお

伊万里　いまり
鹿島　かしま
鳥栖　とす
武雄　たけお
多久　たく

長崎県（ヒノキ・ツバキ、ウンゼンツツジ、オシドリ）

長崎　ながさき
佐世保　させぼ
島原　しまばら
諫早　いさはや
大村　おおむら
福江　ふくえ
平戸　ひらど
松浦　まつうら

熊本県（クスノキ、リンドウ、ヒバリ）

熊本　くまもと
八代　やつしろ
人吉　ひとよし
荒尾　あらお
水俣　みなまた

玉名　たまな
山鹿　やまが
本渡　ほんど
牛深　うしぶか
菊池　きくち
宇土　うと

大分県（ブンゴウメ、ブンゴウメ、メジロ）

大分　おおいた
別府　べっぷ
中津　なかつ
日田　ひた
佐伯　さいき
臼杵　うすき
津久見　つくみ
竹田　たけた
豊後高田　ぶんごたかだ
杵築　きつき
宇佐　うさ

宮崎県（フェニックス、ハマユウ、コシジロヤマドリ）

宮崎　みやざき

都城　みやこのじょう
延岡　のべおか
日南　にちなん
小林　こばやし
日向　ひゅうが
串間　くしま
西都　さいと
えびの

鹿児島県（カイコウズ・クスノキ、ミヤマキリシマ、ルリカケス）

鹿児島　かごしま
川内　せんだい
鹿屋　かのや
枕崎　まくらざき
串木野　くしきの
阿久根　あくね
名瀬　なぜ
指宿　いぶすき
出水　いずみ
大口　おおくち

加世田　かせだ
国分　こくぶ
西之表　にしのおもて
垂水　たるみず

沖縄県（リュウキュウマツ、デイゴ、ノグチゲラ）

那覇　なは
石川　いしかわ
平良　ひらら
石垣　いしがき
沖縄　おきなわ
宜野湾　ぎのわん
具志川　ぐしかわ
浦添　うらそえ
名護　なご
糸満　いとまん

三原　みはら
因島　いんのしま
三次　みよし
府中　ふちゅう
庄原　しょうばら
大竹　おおたけ
竹原　たけはら
東広島　ひがしひろしま

山口県（アカマツ、ナツミカンノハナ、ナベヅル）
山口　やまぐち
下関　しものせき
宇部　うべ
萩　はぎ
徳山　とくやま
防府　ほうふ
下松　くだまつ
岩国　いわくに
小野田　おのだ
光　ひかり
美祢　みね
長門　ながと
柳井　やない
新南陽　しんなんよう

徳島県（ヤマモモ、アイ（郷土の花）、シラサギ）
徳島　とくしま
鳴門　なると
小松島　こまつしま
阿南　あなん

香川県（オリーブ、オリーブ、ホトトギス）
高松　たかまつ
丸亀　まるがめ
坂出　さかいで
善通寺　ぜんつうじ
観音寺　かんおんじ

愛媛県（マツ、ミカンノハナ、コマドリ）
松山　まつやま
今治　いまばり
宇和島　うわじま
八幡浜　やわたはま
新居浜　にいはま
西条　さいじょう
大洲　おおず
川之江　かわのえ
伊予三島　いよみしま
伊予　いよ
北条　ほうじょう
東予　とうよ

高知県（ヤナセスギ、ヤマモモ、ヤイロチョウ）
高知　こうち
宿毛　すくも
中村　なかむら
安芸　あき
土佐清水　とさしみず
須崎　すさき
土佐　とさ
室戸　むろと
南国　なんこく

福岡県（ツツジ、ウメ、ウグイス）
福岡　ふくおか
久留米　くるめ
大牟田　おおむた
直方　のおがた
飯塚　いいづか
田川　たがわ
柳川　やながわ
甘木　あまぎ
筑後　ちくご
山田　やまだ
八女　やめ
大川　おおかわ
行橋　ゆくはし
豊前　ぶぜん
中間　なかま
北九州　きたきゅうしゅう
大野城　おおのじょう
筑紫野　ちくしの
春日　かすが
小郡　おごおり

佐賀県（クスノキ、クスノハナ、カチガラス）
佐賀　さが
唐津　からつ

石川県
能美(のみ)　鳳至(ふげし)

福井県
足羽(あすわ)　今立(いまだて)　丹生(にゅう)　遠敷(おにゅう)　大飯(おおい)　三方(みかた)

山梨県
南巨摩(みなみこま)　東八代(ひがしやつしろ)

長野県
小県(ちいさがた)　南安曇(みなみあずみ)　更級(さらしな)
埴科(はにしな)　上水内(かみみのち)

岐阜県
羽島(はしま)　安八(あんぱち)　揖斐(いび)　郡上(ぐじょう)
可児(かに)　益田(ました)　吉城(よしき)　不破(ふわ)　本巣(もとす)　武儀(むぎ)

静岡県
駿東(すんとう)　庵原(いはら)　志太(しだ)　榛原(はいばら)
引佐(いなさ)

愛知県
丹羽(にわ)　海部(あま)　幡豆(はず)　額田(ぬかた)　北設楽(きたしたら)　宝飯(ほい)　渥美(あつみ)

三重県
員弁(いなべ)　安芸(あげ)　飯南(いいなん)　度会(わたらい)
北牟婁(きたむろ)　一志(いちし)

滋賀県
野洲(やす)　蒲生(がもう)　愛知(えち)

京都府
乙訓(おとくに)　久世(くせ)　綴喜(つづき)　与謝(よさ)

大阪府
豊能(とよの)　泉北(せんぼく)

兵庫県
美嚢(みのう)　印南(いんなみ)　飾磨(しかま)　揖保(いぼ)
宍粟(しそう)　城崎(きのさき)　出石(いずし)　養父(やぶ)
朝来(あさこ)　氷上(ひかみ)

奈良県
添上(そえかみ)　磯城(しき)　北葛城(きたかつらぎ)

和歌山県
那賀(なが)　伊都(いと)　西牟婁(にしむろ)

鳥取県
八頭(やず)　気高(けたか)　西伯(さいはく)

島根県

読みにくい郡名

北海道

茅部(かやべ)　桧山(ひやま)　爾志(にし)　久遠(くどお)　積丹(しゃこたん)　虻田(あぶた)　寿都(すっつ)　増毛(ましけ)　天塩(てしお)　枝幸(えさし)　礼文(れぶん)　沙流(さる)　新冠(にいかっぷ)　静内(しずない)　厚岸(あっけし)　野付(のっけ)　標津(しべつ)　足寄(あしょろ)　河西(かさい)　常呂(ところ)　勇払(ゆうふつ)　有珠(うす)　空知(そらち)　古宇(ふるう)　様似(さまに)

岩手県

紫波(しわ)　稗貫(ひえぬき)　和賀(わが)　胆沢(いさわ)　上閉伊(かみへい)　九戸(くのへ)　気仙(けせん)

宮城県

刈田(かった)　伊具(いぐ)　亘理(わたり)　登米(とめ)(注＝登米町は「とよまちょう」)　桃生(ものう)　牡鹿(おしか)

秋田県

仙北(せんぼく)　平鹿(ひらか)　雄勝(おがち)　鹿角(かづの)

山形県

飽海(あくみ)　東置賜(ひがしおきたま)

福島県

伊達(だて)　安達(あだち)　耶麻(やま)　河沼(かわぬま)

茨城県

那珂(なか)　行方(なめがた)　新治(にいはり)　猿島(さしま)

栃木県

河内(かわち)　上都賀(かみつが)　芳賀(はが)　安蘇(あそ)

群馬県

甘楽(かんら)　吾妻(あがつま)　邑楽(おうら)　佐波(さわ)　碓氷(うすい)

埼玉県

入間(いるま)　比企(ひき)　北葛飾(きたかつしか)

千葉県

印旛(いんば)　海上(かいじょう)　匝瑳(そうさ)　夷隅(いすみ)　安房(あわ)　山武(さんぶ)

新潟県

北蒲原(きたかんばら)　三島(さんとう)(注＝三島町は「みしままち」)　刈羽(かりわ)　東頸城(ひがしくびき)

富山県

婦負(ねい)　上新川(かみにいかわ)　射水(いみず)

紛らわしい地名

（昭和四十四年、新聞用語懇談会調べ）

注＝○印は国土地理院および水路部の表記または呼称
△印は文部省の表記
※印は地元で表記または呼称を統一したと認められるもの

北海道

※○A石狩湾　B小樽湾
Aは統一、Bは支湾名

○A内浦湾　B噴火湾
Aを主として使用

○Aクッチャロ湖　B頓別湖
Aが正式、Bは俗称

※○A根室半島　B花咲半島
Aが統一呼称

A納沙布岬　Bノシャップ岬
Aは根室半島の突端Bは宗谷海峡に面する岬

A丸山　Bポロシリ山
地元ではA、地図ではB

※○A歴舟川　B日方川
Aは公式名称、Bは俗称

青森県

○A艫作崎　B黄金崎
Aが一般的、Bは古称

秋田・岩手県

A駒ケ岳　B秋田駒ケ岳
Aが正式名、区別のためB、略称「秋田駒」

※A和賀岳　B阿弥陀岳
Aが一般的、Bは俗称

A乳頭山　B烏帽子岳
秋田県ではA、岩手県ではB

岩手県

※A一関　B一ノ関
Aが統一、B国鉄駅名

岩手・宮城・秋田県

○A栗駒山　B須川岳　C大日岳
Aは統一、Bは岩手県側、Cは秋田県側の称

宮城県

A荒雄川　B江合川
AB諸説あり一定しない

※A泊崎　○B歌津崎　C尾崎
Aが一般的、地元ではCも使用

山形、宮城県

○A船形山　B御所山
宮城県側はA、山形県側はB

福島・新潟県

※A原町　B原ノ町
Aが正式、Bは国鉄駅名

○A日山　B天王山
Aは正式、Bは俗称

○A阿賀川　B阿賀野川
Aは福島県、Bは新潟県の称、全水系は阿賀野川水系

栃木県

○A華厳滝　B華厳之滝　C華厳の滝

八束(やつか)　能義(のぎ)　飯石(いいし)　簸川(ひかわ)　邇摩(にま)　邑智(おおち)　鹿足(かのあし)　隠岐(おき)

岡山県

御津(みつ)　赤磐(あかいわ)　和気(わけ)　邑久(おく)　上房(じょうぼう)　都窪(つくぼ)　後月(しつき)　吉備(きび)　英田(あいだ)　久米(くめ)

広島県

佐伯(さえき)　御調(みつぎ)　芦品(あしな)　神石(じんせき)　甲奴(こうぬ)　双三(ふたみ)　比婆(ひば)

山口県

玖珂(くが)　熊毛(くまげ)　都濃(つの)　佐波(さば)　吉敷(よしき)　厚狭(あさ)

徳島県

名東(みょうどう)　海部(かいふ)　名西(みょうざい)　阿波(あわ)　麻植(おえ)　美馬(みま)

香川県

小豆(しょうず)（注＝島名は「しょうど」）　三豊(みとよ)

愛媛県

越智(おち)　周桑(しゅうそう)　上浮穴(かみうけな)

高知県

吾川(あがわ)　香美(かみ)　幡多(はた)

福岡県

宗像(むなかた)　遠賀(おんが)　鞍手(くらて)　早良(さわら)　三井(みい)　三潴(みずま)　山門(やまと)　京都(みやこ)

佐賀県

三養基(みやき)　小城(おぎ)　杵島(きしま)

長崎県

西彼杵(にしそのぎ)　北高来(きたたかき)　上県(かみあがた)

熊本県

鹿本(かもと)　上益城(かみましき)　球磨(くま)

大分県

西国東(にしくにさき)　北海部(きたあまべ)　玖珠(くす)　下毛(しもげ)　直入(なおいり)　速見(はやみ)

宮崎県

北諸県(きたもろかた)　児湯(こゆ)　東臼杵(ひがしうすき)

鹿児島県

揖宿(いぶすき)　川辺(かわなべ)　姶良(あいら)　曽於(そお)　肝属(きもつき)　熊毛(くまげ)　日置(ひおき)

沖縄県

国頭(くにがみ)　中頭(なかがみ)

○A大山　B雨降山　C阿夫利神社
　Aが一般的、BCはアフリ、アブリとも言う

新潟県

※A国中平野　B国仲平野
　Aが統一、Bは歴史的表記
※○A佐渡海峡　B越佐海峡
　Aが統一、Bは古い称
A佐渡が島B佐渡ヶ島○※C佐渡島
　ABが一般的、地図はCが多くサドトウ、サドシマ両様に読む
○A新信濃川　B大河津分水
　Aが正式名称
△A高田平野　B頸城平野
　Aが文部省表記、Bもかなり使用
※A新潟平野B越後平野C蒲原平野
　Cが最も古く、BA順の新しい呼称を使用

富山・岐阜県

A朝日町　B泊
　Aは町名、Bは地区名、国鉄駅名
A小矢部　B石動(いするぎ)
　Aは市名、Bは町名、駅名など
A神通川　B宮川
　Aは富山県、Bは岐阜県内の呼称

石川県

A兼六園　B兼六公園
　Aが正式、Bは俗称

福井県

A松ヶ崎半島　B内外海半島　C堅海半島
　Aは地図、Bは地元の称、Cは古い称

長野・新潟県

A信濃川　B千曲川
　AB諸説あるが長野県内の部分をB、新潟県に入ってからAをとる。全水系をさすには信濃川水系

長野県

※A飯綱山　○B飯縄山　C飯砂山
　Bが正式だがAを統一表記とし一般に使用。Cは古称
※A姨捨山　B姥捨山　○C冠着山
　ABは観光・伝説など、Cは実際の山を指すとき
A木曽駒ヶ岳　B西駒ヶ岳　C中央アルプス駒ヶ岳
　正式名は駒ヶ岳だが、同名の山が方々にあるので、地元ではAまたはBを使う。新聞はなるべくCによる。略称「中ア駒ヶ岳」
△○A佐久盆地　B佐久平
　Aは地図、地理学名、Bは信州での慣用で、新聞もBを使う
A島々　B島島
　Aが正式、シマシマと清音で読む
A中山道　B中仙道
■ABとも歴史的な根拠があり一方に統一は困
A寝覚ノ床　B寝覚の床
　Aが地図、Bは地元で一定

長野・富山県

※○A鹿島槍ヶ岳　B鹿島鑓ヶ岳
　Aが正式、略称は鹿島槍。Bの使用は少ない
A黒部ダム　B黒四(ダム)
　Aが正式、Bは黒部第四発電所の略
A白馬鑓ヶ岳　B鑓ヶ岳
　Bが正式だが他にヤリとつく山と区別するた

Aが一般的、日光市ではB、Cは新聞で使用

A高原山　B釈迦ヶ岳
Aは総称、Bは主峰名

千葉県

A犬吠埼　B犬吠岬
Aが統一、Bは古称

A鯛ノ浦　B妙ノ浦
Aが一般的、Bは古称

東京都

※A青戸　B青砥
Aが一般、Bは私鉄駅名

※A阿佐谷　B阿佐ヶ谷
Aは町名、Bは国鉄、地下鉄駅、学校名など

A赤坂見附　B赤坂見付
Aは地下鉄駅名、Bは一般

A吾妻橋　B吾嬬
Aが一般、Bは小学校名

※A市谷　B市ヶ谷
A町名、B国鉄駅名、学校名などAB混在

※A井の頭　B井之頭　C井ノ頭
Aは町名、私鉄の線名・駅名、Bは公園名、Cは街路名

Aお茶の水　B御茶ノ水
Aは町名、大学、特殊学校、橋など、Bは派出所、国鉄、地下鉄の駅名

A霞が関　B霞ヶ関
Aは町名、ビル名、Bは地下鉄駅名

A勝鬨橋　B勝どき
開閉橋と停留所はA、町名はB

※A陣馬山　B陣場山
Aが正式、Bは誤り

A墨田　B隅田
Aは区・町名、Bは川、公園、学校名などに使用

A千住　B千寿
Aは駅名、町名など、Bは小学校名など

A千束　B洗足
Aは町名、Bは池、公園、私鉄駅名など

A祇苗島(ただなえじま)　B唯苗島
Aが正式呼称

A田園調布　B玉川田園調布
Aは大田区の町、私鉄駅名、Bは世田谷区の町名

A虎ノ門　B虎の門
A地名、地下鉄駅名、ホール、診療所、B病院、共済会館

※A丸の内　B丸ノ内
A町名、警察、電話局、Bホテル、他はAB混在

※A山の手　B山手
正式の地名はない、AB一定しない。国鉄「山手線」は「やまのてせん」と読む

A四つ木　B四ツ木
Aは町名、Bは私鉄駅名、小中学校名など

A四谷　B四ツ谷
Aは町名、小学校名、警察、Bは国鉄、地下鉄の駅名

神奈川県

※A芦ノ湖　△B芦の湖
Aは統一、Bは文部省表記

○A江の島　△B江ノ島　C江之島
Aが統一表記、Bが一般的、Cは古い表記、絵島もあった

※A香久山　B香具山
Aが統一、Bは歴史的表記
A山上ケ岳　△B山上が岳
Aが一般的、Bは文部省表記
A初瀬(はせ)　B長谷(寺)
Aは町名、Bは寺名。川は初瀬川
A八剣山　B仏経ケ岳　C八経ケ岳
Aが地図に多いが、地元ではABCとも使う

和歌山県
○A潮岬　△B潮の岬
Aが一般表記、Bは文部省表記

大阪府
A阿倍野　B阿部野
Aは区、町名、Bは私鉄駅、神社名
A浪速　B浪花
Aは一般に大阪の総称と区名。町名はABある
A藤井寺　B葛井寺(ふじいでら)
Aは地名、Bは寺名

兵庫県
※A三宮　B三ノ宮
Aが統一、Bは国鉄駅名
A西宮　B西ノ宮
Aが統一、Bは国鉄駅名
A播州平野　○B播磨平野　△C姫路平野
Aがやや一般的。Bも使う。Cは文部省表記だがほとんど使われない

兵庫・鳥取県
※○A氷ノ山　B須賀ノ山　C四賀ノ山
Aが統一、BCは俗称
※A鳥取砂丘　B浜坂砂丘
Aが総称、Bはその一部の称

島根・広島県
A江の川　○B江川
Aが統一、Bも地図や一般に使う

島根県
A邇摩郡　B仁摩町　C仁万
Aは郡名、Bは町名、Cは国鉄駅名
A簸川　B斐川　○C斐伊川
Aは郡名、Bは町名、Cは川の名

岡山県
※A弥高山　B飯ノ山
Aが一般的、Bを使う

広島・愛媛県
A備後灘　B燧灘
Aは広島県側、Bは愛媛県側

山口県
A秋芳洞　B秋芳町　C秋吉台
Aは鍾乳洞、B町名、C鍾乳洞上の台地
A大島　B周防大島　○C屋代島
Aが正式、Bは区別するとき、Cは古い名
△A壇の浦　B壇ノ浦　C壇之浦
Aが一般的、Bは一部で使用、Cは古い表記

香川・徳島県
A琴平町　B金刀比羅宮
Aは町名、Bは神社名
○A女木島　B鬼が島
Aが正式、Bは俗称
○A讃岐山脈　B阿讃山脈
香川県側ではA、徳島県側はB

徳島県
○A蒲生田崎　B蒲生田岬

め Aの略白馬鎗（ハクバヤリ）を使う

長野・富山・岐阜県

A北アルプス　B飛騨山脈

Bが正式だが、Aが一般的で新聞はA（略称北ア）を使う。木曽山脈＝中央アルプス（中ア）赤石山脈＝南アルプス（南ア）

長野・岐阜県

A槍ケ岳　B鎗ケ岳

Aが正式。俗にヤリ、Bは誤り

山梨県

A甲斐駒ケ岳　B東駒ケ岳　C南アルプス駒ケ岳

正式名は駒ケ岳。Aは山梨県、Bは長野県での呼称、Cは新聞関係で使用。略称「南ア駒ケ岳」

静岡県

※○A石廊崎　△B石室崎

Aが統一表記、Bは古い表記

A田子の浦　B田子ノ浦

Aが統一港名、B地図の表記

愛知県

○A三河湾　B渥美湾　C知多湾

Aが一般的、BCの使用例は少ない

岐阜県

※A各務原　B各務ケ原

Aが正式、Bは国鉄駅名

三重県

※A朝熊山　○B朝熊ケ岳

Aは一般、Bは古い表記

A明野ケ原　B明野が原

ABのほか明野原もあり一定しない

A二見浦（ふたみのうら）　B二見ケ浦　C二見が浦

Aが統一、BCは観光案内などの俗称

滋賀県

○A賤ケ岳　▽B賤が岳

Aは一般的、Bは文部省表記

○A琵琶湖　Bびわ湖

Aが正式、Bは観光案内、地元での称

京都府

※A天橋立B天ノ橋立C天の橋立

Aが正式、BCは地図などにある

A賀茂　B加茂　C鴨

歴史的にはAが多く使われBCがこれに次ぐ。現在上賀茂（北区内）下鴨（左京区内）が一定。Bは加茂街道、加茂大橋など

A賀茂川　B加茂川　※C鴨川

ABCの区別が長く続いたが、府でCを統一表記とした。鴨川染、鴨川をどり

※A賀茂神社　B加茂神社　C鴨神社

Aは総称のとき、上賀茂神社（俗称）下鴨神社（俗称）としBCは使わない。賀茂祭り、俗称葵祭り

※A宝池　B宝ケ池

Bは池の名、地名としてはA。

A花脊　B花背

Aが正式、最近はBが慣用。峠名はB

A比叡山　B叡山

Aが正式、Bも略称として使われる

奈良県

A大神神社（おおみわじんじゃ）　B大三輪神社

Aが正式。Bは古称。町、山名は三輪

Aは地図、Bは地元の俗称

○A八代海　B不知火海

Aが一般的、近くに不知火町、不知火海区がある

宮崎県

A島浦町　B島野浦

Aは町名、Bは島の名称

A日之影　B日の影　C日ノ影

Aが正式、Bは古い町名、Cは国鉄駅名

鹿児島県

A姶良町(あいらちょう)　B吾平町(あいらちょう)

Aは姶良郡、Bは肝属郡の町名

A指宿　B揖宿

Aは市名、Bは郡名

○A鹿児島湾　B錦江湾

Aが正式、Bは観光名

A肝属郡　B肝付郡

Aが正式、Bも便宜的に使われる

鹿児島・宮崎県

※○A志布志湾　B有明湾

Aが正式、Bは古い名称

A中甑島(なかこしきじま)　B平島

Aが正式、Bは俗称

主な岬、崎、埼、碕

北海道　白神岬　恵山岬　地球岬　襟裳岬　尻羽岬　湯沸岬　落石岬　花咲岬　知床岬　納沙布岬　宗谷岬　ノシャップ岬　神威岬

青森県　尻屋崎　大間崎　竜飛崎　小泊岬　黄金崎

秋田県　入道崎

岩手県　綾里埼

宮城県　鮑荒崎　竜舞崎

福島県　塩屋埼

千葉県　洲崎　野島崎　八幡岬　犬吠埼　太東崎

東京都　乳ケ崎

神奈川県　真鶴岬　剣崎　観音崎

新潟県　弾崎　沢崎鼻

石川県　珠洲岬　猿山岬

福井県　越前岬　立石岬　常神岬

静岡県　御前崎　波勝崎　石廊崎

愛知県　伊良湖岬

三重県　大王崎

和歌山県　日ノ岬　瀬戸崎　潮岬　樫野崎

島根県　地蔵崎　日御碕

山口県　高山岬　川尻岬

徳島県　蒲生田崎

愛媛県　佐田岬　鼻面岬

高知県　足摺岬　興津崎　竜頭岬　室戸岬

福岡県　鐘崎

大分県　鶴見崎　地蔵崎

長崎県　大瀬崎　野母崎　御崎　志々伎崎

鹿児島県　坊ノ岬　枕崎　佐多岬

宮崎県　都井岬

Aが一般的、地図にはBもある

愛媛県

○A佐田岬半島　B三崎半島
Aが一般的。地元ではB

A新居浜平野B道前平野C周桑平野
Aが一般的、BCは古い。道前道後水利事業などはB

A松山平野　B道後平野
Aが一般的

高知・愛媛県

○A足摺岬　B蹉跎岬
Aが町名など一般的、Bは古い呼称

A甲浦　△B甲の浦
Aが一般的

○A四万十川　B渡川
Aが一般的、Bは行政上の河川名

福岡県

○A玄界灘　B玄海
灘の場合はAが統一表記、Bは玄海国定公園、町名など

A博多湾　B福岡湾
Aが正式、海上保安部ではB

A柳川　B柳河
Aは市名、Bは国鉄、私鉄の駅名

A福岡空港　B板付空港
民間空港はA、米軍・自衛隊は板付基地

福岡・大分県

A彦山　B英彦山
Aが正式、Bは美称

大分県

A九重　B久住
Aは山系の総称、Bはその中の一峰

○A関崎　B地蔵崎
Bは地図、Aは地元で使う

A由布院盆地　B湯布院盆地
Aが正式、町名に湯布院町がある

佐賀県

A筑紫平野　B佐賀平野
Aは総称、福岡県側はA、佐賀県側はBもある

福岡・佐賀・長崎・熊本県

A有明海　B筑紫海　C島原湾
北部をA、南部をCがやや一般的、Bは古名

長崎県

A浅茅湾（あそうわん）　B浅海湾（あそうわん）
Bが元来の表記、最近はAが一般的

A諫早湾　B泉水海
Aは一般的、Bは地元の称

A大村湾　B琴ノ海
Aが全体の名称、Bはその一部の名

A伊ノ浦瀬戸　○B針尾瀬戸
Aが一般的、Bも使う

A千々石湾　○B橘湾
Aが正式、Bは観光名

○A長崎半島　B野母半島
Aが正式名、Bは俗称

※A端島　B軍艦島
Aが正式名、Bは俗称

熊本県

○A角山　B角岳

五、語尾の ley はリーと書く。
〔例〕マッキンリー (McKinley)
スタンリー (Stanley)

六、語尾の ry はできるだけリとし、長音を付けないことにする。ただし、特に慣用の強いものはリーと長音を付ける。
〔例〕ソールズベリ (Salisbury)
モンゴメリ (Montgomery)
ヘンリー (Henry) (慣用)

七、語尾の son はソンと書く。(スンとは書かない)
〔例〕エジソン (Edison)
リチャードソン (Richardson)

八、語尾の ia は〜アと書く。
〔例〕イタリア (Italia)
コロンビア (Columbia)

九、スラブ、ゲルマン系の語尾の d g (ただし ig ing ung の場合を除く) は濁らずに発音するので、ト、クと書く。
〔例〕ハンブルク (Hamburg)
エレンブルク (Erenburg)
フロイト (Freud)

十、つまる音 (ッ)、長音(ー)、はねる音 (ン) は、はっきりしたもの以外はできるだけ省略する。
〔例〕チェコスロバキア (チェッコスロバキアは用いない)
フィリピン (フィリッピンは用いない)
リプマン (リップマンは用いない)
ユーゴ (ユーゴースラビアは用いない)
スチブンソン (スチーブンソンは用いない)

十一、二語以上からなる地名にも、原則として「・」を入れず、一語として書く。ただし、特に長い地名で判読しにくいような場合は「・」を入れてもよい。
〔例〕ニューヨーク (New York)
リオデジャネイロ (Rio de Janeiro)

十二、フランス人などに多い二つに分けて書かれる姓についても、両方合せて一つの姓となっているものには、間に「・」を入れず、一語として書く。
〔例〕ジスカールデスタン (Giscard d' Estaing)
マンデスフランス (Mendés-France)

十三、姓と名を併記する場合は、その中間に「・」を入れる。
アユブ・カーン
リチャード・ニクソン

十四、州・市・山・川・島・湾や称

外国の地名、人名の書き方

外国（中国・朝鮮を除く）の地名、人名の表記は、片仮名書きとし、おおむね次の原則による。

一、原則として現地または本人の呼び方による。ただし、わが国で表記の慣用の固定しているものはそれに従う。

〔例〕ブカレスト（慣用による。現地の呼び方はブクレシュチ）
メキシコ（慣用による。現地ではメヒコ）
ネール（慣用による。現地、本人の呼び方はネルー）
ゲーテ（ギョーテその他の表記もあるが、もっとも多く慣用されているものに従った）

二、V音の表記には「ヴ」は使わない。B音またはW音をもって代用する。

〔例〕バチカン（Vatican）
ウォロネシ（Voronezh）
ボルテール（Voltaire）

三、ti(ty) di(dy) はなるべくチ ジ、tu du はなるべくチュ ジュと書く。

〔例〕アトランチックシチー（Atlantic City）
ホンジュラス（Honduras）
ダラジエ（Daladier）

〔注〕地名はこの原則が貫かれているが、人名は多くの例外がある。例えば、ディズニー、ディケンズ、ディオール、ケネディ、デューイ、スティッカーなど、語頭に出てくるため抵抗感の強いものや、慣用の特に強いものはティ ディ デュとする。

四、Wi We Wo (Wa) はウィ ウェ ウォ と書く。

〔例〕ウィスコンシン（Wisconsin）
ウェリントン（Wellington）
ウォリック（Warwick）
ウェッブ（Webb）
ウォーレン（Warren）

中国の地名、人名の書き方

一、中国の地名、人名は漢字で書くことを原則とする。
〔例〕北京、南京、広州、毛沢東、周恩来、李先念、姫鵬飛

二、中国略字は、原則として日本字に直して書く。（中国漢字の新略字表参照）
〔例〕刘→劉、叶→葉、庄則栋→荘則棟、王晓云→王暁雲

三、中国略字と同じ字が日本字にある場合で、字義が異なってもこれを使う方が適切なときは、その都度決める。
〔例〕肖向前（蕭向前としない）、王炳于（王炳於としない）

四、片仮名で書く地名
① 漢字をあて字に使う地名
〔例〕チベット、ラサ、モンゴル、チャムス、ハルビン、チチハル、ハイラル
② 福建語など、標準音でない地名
〔例〕アモイ、スワトー、マカオ

五、難しい漢字の地名、人名はその下にカッコして平仮名で日本語の読み方を示す。
〔例〕郭沫若（かく・まつじゃく）、開灤（かいらん）
〔注〕(1)現地音が日本で慣用されている場合や、現地音で示す必要のある場合は、カッコ内に片仮名で書く、
梅蘭芳（メイ・ランファン）
(2)現地音の呼び方がわかっていて漢字不明の場合、発音どおりの片仮名書きをしてもよい。

六、略称の場合、中華人民共和国は「中国」、中国共産党は「中共」と表記する。

七、「中華民国」「国府」「国民党政府」「台湾政府」は使わず、「台湾」あるいは「台湾当局」とする。

朝鮮の地名、人名の書き方

一、国名は、大韓民国は「韓国」、北朝鮮は「朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）」とし、同一記事中で二度目からは単に「北朝鮮」と略称する。
〔注〕北朝鮮労働党はなく「朝鮮労働党」

二、朝鮮の略称を「鮮」一字で表すことはしない。
〔注〕北鮮→北朝鮮、南鮮→南朝鮮、日鮮→日朝または日本・朝鮮

三、朝鮮の地名は原則として漢字表記する。当てはめる漢字のないときは、現地音を片仮名で表記する。

号は、原則として日本語で付ける。

〔例〕 イリノイ州
(State of Illinois)
テムズ川 (River Thames)
エジンバラ公
(Duke of Edinburgh)
グスタフ六世 (Gustaf VI)

十五、外国名を見出しで略記するときは、米、英、仏、伊、西独、東独、伊、印、豪などや日仏、日伊、日米などは使ってもよい。また国名間に中点(日・仏)を入れることもある。ただし、本文中に使用する際は、米国、英国など慣用が固定しているもののほかは「日本・西ドイツ」などとする。特に「伊」は表外字なので、見出し以外は原則として「日本・イタリア」とするが、同一文中に何回も出る場合は「日伊」とすることもある。

樺太、千島の地名表記

千島列島　列島名は「千島列島」と書き、必要に応じてソ連の呼び方「クリール諸島」を丸ガッコに入れて示す。千島列島（クリール諸島）

個々の島名や地名は①日本がまだ領土権を放棄していないものは従来通り漢字書きにし、必要に応じて読み方を丸カッコに入れて示す。↓歯舞（ハボマイ）色丹（シコタン）国後（クナシリ）択捉（エトロフ）紗那（シャナ）（ソ連の呼び名はクリーリスク）古釜府（フルカマップ）（ソ連名はユジノクリーリスク）

②領土権を放棄したものは、ソ連の呼び方を片仮名書きにし、旧日本名を丸カッコに入れて示す。↓シュムシュ島（占守島）パラムシル島（幌筵島）シャシコタン島（捨子古丹島）シムシル島（新知島）ウルップ島（得撫島）トコタン（床丹）

樺太　全島名、個々の地名いずれもソ連の呼び名を片仮名で書き、必要に応じて丸カッコに漢字で旧日本名を入れる。ただし「樺太」は旧名のまま使ってもよい。↓サハリン（樺太）アニワ湾（亜庭湾）ウグレゴルスク（恵須取）コルサコフ（大泊）ドリンスク（落合）モネロン島（海馬島）チュレニ島（海豹島）イリインスキー（久春内）ポロナイスク（敷香）テルペニア湾（多来加湾）トマリ（泊居）ユジノサハリンスク（豊原）ゴルノザボツク（内幌）アニワ岬（中知床岬）クリリオン岬（西能登呂岬）ポロナイ川（幌内川）ネベリスク（本斗）ホルムスク（真岡）タタール海峡（間宮海峡）

運動記事の書き方

運動競技種目の書き方（間違いやすいもの）

▽陸上

跳躍——走り高跳び　走り幅跳び　三段跳び　棒高跳び

ハードル競走——百十㍍障害（百十㍍・ハードル）　四百㍍障害（四百㍍・ハードル）　三千㍍障害（三千㍍・スチープル・チェイス）　女子百㍍障害（女子百㍍・ハードル）＝カッコ内はいずれも使わない。

投てき——ハンマー投げ　砲丸投げ　円盤投げ　やり投げ（「槍投」は使わない）

▽自転車

団体追い抜き競走　個人追い抜き競走

▽ボート（「漕艇」は使わない）

かじ付きフォア（ペア）　かじ無しフォア（ペア）（「舵手付フォア」「舵手無フォア」は使わない）

▽体操

つり輪（「つり環」は使わない）段違い平行棒　あん馬（「鞍馬」は使わない）　跳馬（「ちょうば」と読む）床運動（「ゆか」と読む。徒手は使わない）

▽重量挙げ（「ウエートリフティング」は使わない）

▽サッカー（「蹴球」は使わない）

▽相撲（漢字書きできる熟字訓）

▽水泳

飛び込み　高飛び込み　板飛び込み（「飛び板飛び込み」では長いので簡略にした）平泳ぎ　背泳ぎ

▽馬術

飛越（「ひえつ」と読む）

▽その他

空手（「唐手」は使わない）

運動数字の書き方

◇記事中に洋数字を使用するもの

（イ）点数、タイム

（ロ）打率、本塁打、安打、四死球、三振などの数

（ハ）勝敗の数（例　中日は巨人に14勝12敗、輪島は13勝2敗で優勝）

（ニ）試合数、何回戦（例　日本シリーズ第3戦、ボクサーの戦績24

〔例〕平壌、板門店、釜山、ソウル、黄海南道クワイル郡

四、朝鮮の人名は原則として漢字の下にカッコして現地音の片仮名表記を入れる。ただし、同一記事中で二度目からは漢字だけにする。

〔例〕金正柱（キム・チョンジュ）、韓徳銖（ハン・ドクス）

〔注〕(1)朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）と韓国で発音が異なる場合も現地読みの原則による。

〔例〕李承晩（イ・スンマン）、李升基（リ・スンギ）

(2)当てはめる漢字のわからない場合は現地音の片仮名書きにする。

(3)一部漢字、一部片仮名書きでしか表記できない場合もある。

〔例〕金（キム）ヨンジャ（本人が「ヨンジャ」の漢字を知らないケースなど）

(4)漢字書きが定着している人物、あるいは漢字名しかわからない人の場合はカッコ内の片仮名表記をしないこともある。

〔例〕李恢成、金達寿〔または金達寿（キム・ダルス）〕

五、単一の朝鮮民族全体を表す場合は「朝鮮人」と書く。

〔例〕在日朝鮮人、朝鮮人被爆者

〔注〕①朝鮮人で「韓国」籍がはっきりしているときは「韓国人」とする

②在日朝鮮人の外国人登録証の国籍が「韓国」になっている人以外の朝鮮人は「朝鮮」籍とする（「北朝鮮」籍とは書かない）

◇卓球　全日本選手権第六日（9時・愛知県体育館）
◇ゴルフ　日本シリーズ第三日（10時・東京よみうり）
◇競馬　第五回東京第七日（10時・東京）

〔注〕各競技別改行、正午は12時と表記する。開始時間は24時間制を採用。

◎14日のプロ野球
◇セ・リーグ
阪神—ヤクルト○（19時・甲子園）
中日—大洋○○（16時30分・中日）
巨人—広島○（19時・後楽園）
◇パ・リーグ
ロッテ—太平洋○（19時・神宮）
南海—近鉄○○（16時30分・大阪）
阪急—日拓○（19時・西宮）

〔注〕①各カードごとに別行にする。これは新聞社で放送局名などを入れるため。
②カードのあとの○は、対戦回数を入れるものだが、共同の場合出稿が二日前になるので、雨などでゲームが流れたときの訂正で混乱をなくすため特に何回戦かの表示はしない。各社でそう入する。
③○○対○○の表示は使わず○○—○○とする。
④開始時間は24時間制を採用する。

戦20勝4敗、巨人—中日25回戦)

(ホ)順位、ランク(例　1位、4位、15位)

(ヘ)ボクシングのラウンド、アイスホッケーのピリオド、卓球、庭球などのセット

(ト)ゴルフのホール、パー、コースの距離など

(チ)競技中の経過時間

(リ)『15日のスポーツ』のようにフォームが決まっているものの日時

◇**漢数字**を使用するもの

(イ)年月日、日時

(ロ)競技会の回数、何日目、会期

(ハ)人数、年齢

(ニ)何年ぶり、何度目

(ホ)運動用語として漢数字と決まっていたり、慣用となっているもの(例　野球の一塁、三塁、三振、四球、四番打者、三千㍍障害、千五百㍍自由形など)

〔注〕**連勝表示の使い分け**

①一年に一度の選手権や、四年ごとのオリンピックの連勝の場合は漢数字とする。

〔例〕日大は四十二年以来六連勝。米国の棒高跳びはオリンピック十六連勝。

②年間を通じて何度も行われるものは洋数字とする。

〔例〕近鉄は開幕以来4連勝。輪島はデビュー以来8連続KO15連勝した。

運動フォーム例

◎15日のスポーツ

◇サッカー　日本リーグ第十三節　古河電工—新日鉄(14時・国立競技場)トヨタ自工—日立(14時・名古屋瑞穂)ヤンマー—日本鋼管(13時・西宮)東洋工業—三菱重工(13時15分・広島県営)▽全国大学選手権第二日(12時・横浜三ツ沢、大宮)

◇ラグビー　全国大学選手権第二日　早大—慶大、日体大—法大(14時・秩父宮)

◇バスケットボール　日本リーグ第五週第一日　女子=第一勧銀—倉紡枚方、ユニチカ平野—日立戸塚　男子=住友金属—日本鋼管、日本鉱業—松下電器(14時・大阪中央体育館)

◇アイスホッケー　日本リーグ第五日　西武鉄道—国土計画、岩倉組—王子製紙(13時・苫小牧)▽東都大学一部リーグ戦第三日　明大—慶大、日大—東洋大(17時・品川スケートセンター)

スローイング
セーフティーバント
ダブルスチール
チェンジアップ
ドラッグバント
ナックルボール
ノーヒット・ノーラン
バウンド
バッター
バッターインザホール
バッティング
バントヒット
ビーンボール
ヒット・エンド・ラン〔エンドラン〕
ファンブル
フィールディング
フォースアウト
ホームスチール
ラインアップ
リーディングヒッター
リトル・リーグ

レガーズ
ロージンバッグ
ワンポイントリリーフ

〔庭球・卓球〕

アウト(・オブ・バウンズ)
アドバンテージ
アメリカ・ゾーン
イースタン・ゾーン
イングリッシュグリップ
インタゾーン
ウイニングショット
ウエスタングリップ
欧州ゾーン、ヨーロッパ・ゾーン
オーストラリアン・フォーメーション
オーソライズド・プレーヤー
オープンハンド・サービス
キャノンサーブ
グラウンドストローク

グラスコート
クレーコート
クロス
コートカバリング
サービスエース
シェークハンド(・グリップ)
ジュース
シングルス
ストレートパス
スライス
セット・ポイント
タイ・ブレーカー
タイ・ブレーク・システム
タクティックス
ダブルス
チャレンジラウンド
ツイスト(サーブ)
デビスカップ(デ杯)
ドライブ
ドロー
ドロップショット

バックスイング
バックハンド・ストローク
フォアハンド(・アタック)
フォールト
フォロースルー
フットフォールト
プレースメント
フレーム
ペンホルダー
ボレー
マッチ・ポイント
ラブ
ローボレー
ローンコート
ロビング

〔ラグビー・サッカー〕

アウトサイドキック
アシスト
イレブン
インサイドキック
ウイング

運動用語仮名表記

〔全　般〕

アーチェリー
アゲーン
アプローチ
アベレージ
アンツーカー
イレギュラー（バウンド）
インタカレッジ
インタセプト
インタハイ
インタバル
インタフェア
インパクト
ウイークポイント
ウインドブレーカー
ウエート
ウオーミングアップ
オーバーウエート
キャリア
グラウンド
クリア
クロスカントリー（・レース）
コンディション
サーキットトレーニング
サファリラリー
シュート（またはショット）
スイング
スカウト
スタッフ
ストレート
スパート
ダッシュ
デッドヒート
デレゲーション
トレーナー
ファウル
フェイント
フォーム
フォーメーション
フライング
プレオリンピック
ブレーク
プレーヤー
ペナルティー
ボーンヘッド
メーンエベント
ユーティリティー（プレーヤー）
ユニバーシアード
ユニホーム
ローテーション
ワールド（カップ、シリーズ）
ワンサイドゲーム

〔野　球〕

アンパイア
イースタン・リーグ
イニング
ウイニング（ボール、ショット）
ウエスタン・リーグ
ウエーバー
ウエストボール
エンドラン〔ヒット・エンド・ラン〕
グラブ（ボクシングはグローブ）
クリーンアップ・トリオ
コーチスボックス
シュア
スイッチヒッター
スクイズ（プレー）
スコアボード
スコアリングポジション
スターティングメンバー
スチール

テーブル
T　トライ　4点
G　ゴール　6点
P　ペナルティーゴール　3点
DG　ドロップゴール　3点

〔アメリカン・フットボール〕

インバウンズライン
エンドゾーン
エンドラン
オプションプレー
オフタックル
キックオフリターン
スクランブル
スクリーンパス
スクリメージ（ライン）
ダウン（第1ダウン、第4ダウン）
タッチバック
パサー
パス（パスプレー）
ハドル
パントリターン
ボウル（ゲーム）＝甲子園ボウル
ラン（ランニングプレー）
リバース
レシーバー

〔略語〕

メンバー

〔攻〕

LE　レフトエンド
LT　レフトタックル
LG　レフトガード
C　センター
RG　ライトガード
RT　ライトタックル
RE　ライトエンド
QB　クオーターバック
LH　レフトハーフ
RH　ライトハーフ
FB　フルバック
…………
TE　タイトエンド
FL　フランカー
RB　ランニングバック（HB、FBの総称）
WR　ワイドレシーバー

〔守〕

S　セーフティー
LB　ラインバッカー
CB　コーナーバック
DE　ディフェンスエンド
DT　ディフェンスタックル

テーブル
TD　タッチダウン　6点
TP　トライ・フォア・ポイント　2点
・K　同右（キックによる）　1点
FG　フィールドゴール　3点
SF　セーフティー　2点

〔ホッケー〕

スティック
（ストライキング）サークル
7ヤードライン
25ヤードライン
ブリー
ペナルティーストローク
ロールイン

〔略語〕

メンバー
GK　ゴールキーパー
FB　フルバック
HB　ハーフバック
FW　フォワード

テーブル
SC　ショートコーナー
LC　ロングコーナー

ウオーキング
オーバーヘッドキック
オフサイド・トラップ
オブストラクション
キック・アンド・ラッシュ
キックオフ
キャリング
クリア
コーナーフラッグ
ゴールアベレージ
ゴールディファレンス
シザースプレー
シューティングレンジ
スイーパー
スクラム
スピアヘッド
スライディングタックル
セービング
センタリング
トーキック
ドッジング
トライアングルパス

トラッピング
トリッピング
ナットストレート
ハットトリック
ファウルスロー
フットアップ
ヘディング
ペナルティーエリア
ホーム・アンド・アウエー
ポジションチェンジ
ミッドフィールド（ミッドフィルダー）
モール
ラガーメン
ラック
リベロ
リメーン
リンクマン
ロビング

〔サッカー略語〕

メンバー

GK　ゴールキーパー
FB　フルバック
RB　ライトバック
LB　レフトバック
HB　ハーフバック
RH　ライトハーフ
CH　センターハーフ
LH　レフトハーフ
FW　フォワード
OR　アウトサイドライト
（RW　ライトウイング）
IR　インサイドライト
CF　センターフォワード
IL　インサイドレフト
OL　アウトサイドレフト
（LW　レフトウイング）

テーブル

GK　ゴールキック
CK　コーナーキック
FK　フリーキック
PK　ペナルティーキック

〔ラグビー略語〕

メンバー

FW　フォワード
HB　ハーフバック
SH　スクラムハーフ
SO　スタンドオフ
TB　スリークオーターバック
CTB　センター
WTB　ウイング
FE　ファイブエース
SE　セブンエース

〔重量挙げ〕
ウエートリフティング
クリーン
サブリング
ジャーク
スクワット（スタイル）
ステージ
スナッチ
スプリット（スタイル）
セット
ディスクプレート
トータル
バー（シャフト）
バーベル
プラットホーム
プレス

〔射撃〕
エアライフル
エックスリング
クレー（ピジョン）
スキート
スモールボアライフル
トラップ
ムービングターゲット
ランニングターゲット

〔ボート・カヌー〕
エイト
オアズマン（シップ）
カナディアン
カヤック
クルー
シングルスカル
セットルダウン
ダブルスカル
バウ
パドリング
パドル
フォア
フォワード（モーション）
ユニフォーミティー
レガッタ
ローイング

〔フェンシング〕
エペ
サーブル
フルーレ

〔ボクシング〕
アッパーカット
ウイービング
カウントアウト
キャンバス
クラウチングスタイル
グローブ
グロッギー
サウスポー
サミング
サンドバッグ
ジャッジペーパー
シャドーボクシング
スイッチヒッター
セコンド
ダメージ
ノック（アウト、ダウン）
ノンタイトルマッチ
バックハンド・ブロー
バンデージ
ヒット・アンド・アウエー
フットワーク
ブレーク
ヘッドギア
ボディーブロー
ユナニマスデシジョン
リングマナー
レフェリーストップ
ロープスキッピング
ローブロー
ワンツー（パンチ）

〔略語〕
RSC　レフェリーストップ・コンテスト
KO　ノックアウト

FH　フリーヒット

〔ハンドボール〕

〔略語〕

テーブル

7MT　7メートルスロー

メンバー

GK　ゴールキーパー

FP　フィールドプレーヤー

〔注〕HB、FWなどの区別をつけない

〔バスケットボール〕

オーバーヘッド・パス

オールコート・アタック

カットイン

キャリング

クオーター

スイッチディフェンス

ゾーン（ディフェンス）

バイオレーション

ピボット

ファストブレーク

フォロー

フリースロー・サークル

プレス（ディフェンス）

ホールディング

ポストプレー

マンツーマン（・ディフェンス）

ミドル（シュート）

リバウンド

ローリング

〔バレーボール〕

クイック

サービス（サーブ）

ジュース

スパイク

セッター

タッチネット、ネットタッチ

トサー

トス

ドライブサーブ

ドリブル

ブロック

〔陸上競技〕

オーバーゾーン

クラウチングスタート

グラスファイバー・ポール

クロスカントリー・レース

サブトラック

シザーズジャンプ

スターティングブロック

スタンディングスタート

セパレートコース

テークオーバー・ゾーン

ディップ

トライアル

フィールド

ベリーロール

ペースメーカー

ホームストレート

〔水上競技・水球〕

ウオーターポロ

エブリマンマーク

オーディナリーファウル

オーバーフロー

クイックターン

クオーター（タイム）

サマソート（ターン）

シンクロナイズド・スイミング

スプリングボード

ドルフィンキック

ニュートラルスロー

フォーメーション

ブレッシング

メジャーファウル

メドレーリレー

ローリング

DF　ディフェンス
GK　ゴールキーパー

〔スキー〕

アイスバーン
アルペン
カンテ
クリスチャニア
ゲレンデ
コンバインド（コンバインダー）
シャンツェ
シュプール
スキーツアー
スケーティング
ストレートフラッシュ
スラローム
セーフティービンディング
ゼッケン
ノルディック
ブレーキングトラック
ヘアピン

ランディングバーン

〔スケート〕

アウトエッジ
インエッジ
※カーブ
※コーナー
スケーティング
スネーク
※第1カーブ
（第1コーナー）
（第2コーナー）
※第2カーブ
（第3コーナー）
（第4コーナー）
バックストレート
フィギュア
ホームストレート
ローリング

※日本スケート連盟では「カーブ」を公式用語にしているが、「コーナー」の慣用がまだ残っているので、ここでは両様を併記した。

〔山　岳〕

アイスフォール
アタック
アップザイレン
オーバーハング
グリセード
クレバス
ケルン
サーダー
サポート
ツェルト
ハーケン
バリエーション・ハート
ハンマー
ビバーク
ヒュッテ
ヤッケ
ロッククライミング

TKO　テクニカルノックアウト

〔レスリング〕

グランジュリ
グレコローマン(スタイル)
コンビネーション
スイッチ
ニアフォール
バック(ポイント)
バッドマーク(システム)
ボディープレス
ライディング

〔自転車〕

スクラッチ
タンデム
TTレース
バックストレッチ
フレーム
ミス・アンド・アウト

〔ヨット〕

ウエーザーサイド
スター級
スナイプ級
ディンギー級
ドラゴン級
フィン級
モノタイプ級

〔馬　術〕

サラブレッド
スティープルチェース
パッサージュ
ピルーエット
ポニー

〔ゴルフ〕

アゲンストウインド
アプローチ
アンジュレーション
アンダーパー
アンプレアブル
イクスプロージョン・ショット
ウオーターハザード
オールスクエア
カジュアル・ウオーター
(ハザード)
カントリークラブ
キャディー(バッグ)
ギャラリー
キャリー
クオリファイ
グリーンエッジ
サドンデス
サイドバンカー
スエー(イング)
スライスライン
ディボット
ドッグレッグ・ホール
バーディー
バッフィ
ハンディ
ピッチングウェッジ
フェアウエー
フォローウインド
ホールインワン
ボギー
マッチプレー
リカバリショット
リプレース

〔アイスホッケー〕

アイシング・ザ・パック
グローブ
トリッピング
ニュートラルゾーン
ピリオド
フッキング
プロテクター
ペナルティーショット
ミスコンダクト・ペナルティー

〔略語〕

FW　フォワード

定量の水をロ過し、残留物を乾燥させて測定するが、その量は水のきれいさを直接示す透明度と関係が深い。

LD50 メディアム・リーサル・ドーズの略。半数致死量のこと。マウス、ラット、ウサギ、モルモットなどによる経口または経皮毒性試験で、実験動物百匹のうち五十匹を殺す試料物質の量を表す。数値が大きいほど毒性が低いが、動物の種類、投与条件の併記が必要。

エアロゾル 大気中に浮遊する極めて小さい固体や液体状の粒子。小さいものは粒径約〇・〇〇一ミクロン、大きいものは約一〇ミクロン。

オキシダント 総酸化性物質。光化学スモッグに関係するオゾン（O_3）パーオキシアセチルナイトレート（PAN）その他の酸化性物質の総称。主体はオゾン。オキシダントの影響は、目の刺激症状（チカチカ感）、運動中の呼吸困難、慢性呼吸器疾患の悪化など健康被害のほか、天然ゴムのひび割れ、植物や農作物の落葉や退色などである。

汚濁負荷量 水質に関し汚濁濃度と排水量の積から求めたBOD、COD、SS、油分などの絶対量をいう。

温排(廃)水 火力あるいは原子力発電所のボイラーを冷却した後の排水。普通、海水より数度から一〇度くらい温度が高い。排水量は原子力発電の場合、電力百万キロワット当たり毎秒七〇〜八〇トンで、ほぼ富士川の排水量と同量。火力発電所の場合はこれより三割少ない。温度異常に敏感な魚の卵や稚魚に悪影響が出るほか、底生生物や海草類の生態変化が生じる。

化学的酸素要求量 CODの項参照

活性汚泥法 水中微生物を主体とする汚泥は、水中の有機物を分解するとともに酸素を供給して浄化する働きがあり、これを利用した汚水処理法。都市下水の二次処理などに用いる。

核種 元素は化学的性質が同じで、質量がやや違う同位体からできている。例えば水素の場合、水素、重水素、三重水素の三種類の同位体がある。その一つ一つを核種という。現在約千二百五十種の核種が知られているが、うち二百八十種が安定核種で天然に存在する。核種が特に問題になるのは放射性核種の場合である。原子炉や核爆発で環境を汚染するのはこの放射

公害関係用語

赤潮　プランクトンが爆発的に増殖し、海水が変色する現象。生物の種類により色が異なる。近年の多発は産業、生活排水中の栄養物質の流入が原因。

悪臭　人に不快感を与えるにおいの総称。公害問題での悪臭物質は、刺激性の臭気をもつ塩素、硫黄、アンモニアなどの無機化合物のほかアミン類、メルカプタン類、脂肪酸類、アクロレインなどの有機物が中心。

硫黄酸化物　記号はSO$_x$。亜硫酸ガス(SO_2)と無水硫酸(SO_3)などの総称。化石燃料の燃焼によって生じる。大気汚染の主体は亜硫酸ガスだが、無水硫酸も空気中の水蒸気と結合して硫酸ミストを生成、動植物や人体に悪影響を与える。

イタイイタイ病　富山県神通川流域住民に発生した慢性カドミウム中毒症。体中の骨が脱カルシウム現象でもろくなり、ひびが入ったり折れたりする病気。地元の萩野昇医師が命名した。上流の神岡鉱山(亜鉛、カドミウムを産出)から流出した鉱毒が原因とされている。

一酸化炭素　記号はCO。不完全燃焼で発生する有毒ガス。血液中のヘモグロビンと結合して酸素の補給を阻害し、ひどい場合は窒息死する。死なない場合も脳障害を起こしたり、後遺症のため痴ホウ症のようになる。環境中の最大の発生源は自動車。

栄養物質　リン酸塩、アンモニウム塩、硝酸塩、ケイ酸塩など栄養塩類、その他有機物質や窒素、金属元素など無機物質を含め、植物プランクトンの増殖に利用される物質をいう。

ABS　アルキルベンゼン・スルフォン酸ソーダの略。石油系洗剤の主体。分解しにくい界面活性物質のため河川や地下水を汚染し問題となっている。

SS　サスペンデッド・ソリッズの略。浮遊物質(量)と訳す。水質汚濁物質のうち不溶解性の無機または有機廃棄物など水中に懸濁する粒径二ミリ以下の物質をいう。一

より、これを超える場合には〇・〇一ppmまで許容できるものとする。カドミウムは〇・〇一ppm以下。鉛は〇・一ppm以下。六価クロムとヒ素は〇・〇五ppm以下。(四十九年四月告示)

生活環境基準

河川　(AA)BOD一ppm以下、SS二五ppm以下、DO七・五ppm以上。(A)BOD二ppm以下、SS二五ppm以下、DO七・五ppm以上。(B)BOD三ppm以下、SS二五ppm以下、DO五ppm以上。(C)BOD五ppm以下、SS五〇ppm以下、DO七・五ppm以上。(D)BOD八ppm以下、SS一〇〇ppm以下、DO二ppm以上。(E)BOD一〇ppm以下、SS、ゴミ等の浮遊が認められないこと、DO二ppm以上。各類型ともpHは六・五以上八・五以下。

湖沼　(AA)COD一ppm以下、SS一ppm以下、DO七・五ppm以上。(A)COD三ppm以下、SS五ppm以下、DO七・五ppm以上。(B)COD五ppm以下、SS一五ppm以下、DO二ppm以上。(C)COD八ppm以下、SS、ゴミ等の浮遊が認められないこと、DO二Ppm以上。pHは各類型とも六・五以上八・五以下。

海域　(A)pH七・八以上八・三以下、COD二ppm以下、DO七・五ppm以上。(B)pH七・八以上八・三以下、COD三ppm以下、DO五ppm以上。(C)pH七・〇以上八・三以下、COD八ppm以下、DO二ppm以上。(四十五年四月二十一日告示)

騒音　AAからBまでの地域類型および時間区分ごとに設定されている。(AA=病院などが集中している地域など)昼間四五ホン以下、朝夕四〇ホン以下、夜間三五ホン以下。(A=住居地域)昼間五〇ホン以下、朝夕四五ホン以下、夜間四〇ホン以下。(B=住居と商業、工業混合地域)昼間六〇ホン、朝夕五五ホン、夜間五〇ホン。(四十六年五月二十五日告示)

環境容量　自然環境には自浄作用があるが、この能力は決して無制限ではなく限界がある。その限界を環境容量という。

逆転層　気温は通常上空へいくほど低くなるが、特殊な気象条件のと

性核種である。

環境基準　大気汚染、水質汚濁、騒音について「人の健康を保護し生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい基準」で、公害対策基本法に基づき行政上の具体的な目標として定めたもの。許容限度あるいは受忍限度とは違い、これらより一段上の「望ましいレベル」を示したものである。現在硫黄酸化物、窒素酸化物、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、水質、騒音について環境基準が設けられており、炭化水素などについても設定準備が進められている。（環境基準一覧表参照）

環境基準一覧表

硫黄酸化物（二酸化硫黄）　一時間値の一日平均値が〇・〇四ｐｐｍ以下であり、かつ一時間値が〇・一ｐｐｍ以下であること。（四十八年五月告示）

窒素酸化物（二酸化窒素）　一日平均値が〇・〇二ｐｐｍ以下であること。

航空機騒音環境基準　Ｉ（住居地域）七〇ＷＥＣＰＮＬ以下、Ⅱ（その他の地域）七五ＷＥＣＰＮＬ以下（四十八年十二月告示）

ＰＣＢ（ポリ塩化ビフェニール）　検出せず。検出限界は〇・〇〇五ｐｐｍ。（五十年三月一日から施行）

一酸化炭素　❶連続する八時間における一時間値の平均は二〇ｐｐｍ以下であること。❷連続する二十四時間における一時間値の平均は一〇ｐｐｍ以下であること。（四十五年二月二十三日告示）

浮遊粒子状物質　❶連続二十四時間における一時間値の平均値が大気一立方㍍につき〇・一㍉㌘以下であること。❷一時間値が大気一立方㍍につき〇・二㍉㌘以下であること。（四十七年五月三十日告示）

水質　人の健康保護、生活環境保全の二方式に分けて定められている。人の健康保護の場合は、問題の性質から全公共用水域について一律に定めている。生活環境保全の場合は、利水目的などを勘案し、河川はＡＡからＥまでの六類型、湖沼はＡＡからＣまでの四類型、海域はＡからＣまでの三類型に分け、各類型ごとに個別該当水域を明示する。

健康基準　シアン、アルキル水銀、有機リンは検出されないこと。総水銀は〇・〇〇五ｐｐｍ以下。ただし河川において自然的原因に

下の罰金。死傷させた場合は七年以下の懲役または五百万円以下の罰金。「過失犯」は業務上必要な注意を怠り前記の危険を生じさせた場合で、二年以下の懲役または二百万円以下の罰金。死傷させた場合は五年以下の懲役または三百万円以下の罰金。両罰規定があり、法人や事業主も刑事罰あるいは罰金の対象となる。

酸欠空気 地下水をくみ過ぎると、地中が還元状態となって酸素が極端に少ない〃酸欠空気層〃ができる。またサイロ、タンク、船倉、マンホールあるいは地下土木工事現場など密室状態の場所では炭酸ガスやメタンガスの発生、換気不良、酸素消費の増大などで空気中の酸素が不足しがちとなる。正常な空気中の酸素は二一％だが、これが一六％以下になると酸素欠乏症が起こる。一六—一四％では頭痛や吐き気、一四—一〇％では全身脱力やチアノーゼ、一〇—六％では失神、ケイレンを起こし数分間続けば死亡、六％以下では瞬間的に死ぬ。

産業廃棄物 事業活動で生じた廃棄物などを指す。厚生省調査によれば、四十五年度で日産約百万トンが排出されている。

COD（化学的酸素要求量） フェノール、シアン、重金属など産業排水に含まれる特殊物質のほか家庭下水などからの有機物も含め一括して分析し、水質汚濁度を表す指標値。JISで定めた代表的な測定法は検体の水に過マンガン酸カリウムの一定の過剰量を加え、三十分加熱後に消費された過マンガン酸カリウムの量から酸素の量を求める。BODに比べて分析所要時間が短く、毒性物質が存在しても分析が可能な点が長所。

自動車排出ガス 自動車から出る有害ガス物質の総称。排気管からは炭化水素、一酸化炭素、窒素酸化物、鉛化合物が、クランクケース、気化器およびガソリンタンクからは炭化水素が排出される。

重金属 金属のうち比重四・〇以上のものをいう。公害対策上問題とされる主なものは水銀、鉛、マンガン、ヒ素（金属ではないが物性や人に対する作用が重金属に似ている）、フッ素、クロム、ニッケル、アンチモン、ベリリウム（比重は一・八四で重金属ではないが人体との関係が深い）、バナジウム、銅、カドミウムなど。

き上空にいくほど逆に高くなることがある。その場合の空気の層を逆転層という。

許容量　科学的には許容量という概念はない。つまり毒性物質の場合、急性障害は発生しなくても慢性障害の可能性はある。水俣病はその典型である。放射線の場合は、極微量でも遺伝障害を起こし得る。ただ発生の頻度、確率が小さいだけである。しかし現に許容量は規定されているが、これはあくまで社会学的な概念としての許容量である。

光化学スモッグ　自動車などから大気中に放出される炭化水素や各種の燃焼に伴って生ずる窒素酸化物が太陽紫外線の光化学作用を受けて生じる現象。その際オキシダントを発生させ、汚染物質が相互に複雑に影響し合って人体の目や呼吸器などに対する刺激、植物の被害および視程の減少などを起こす

公害　一般に人間によってもたらされる生活環境の破壊、侵害を指す。

公害防止計画　公害対策基本法に規定されている基本的施策。公害が現に著しい地域、あるいは人口および産業の急速な集中などで、公害が著しくなる恐れがある地域において、公害防止施策を総合的、計画的に講じることにより、公害防止を図るのが目的。内閣総理大臣が関係都道府県知事に基本方針を示して計画策定を指示し、知事が計画を作成し、内閣総理大臣の承認を受ける。

公害病　公害によって起こる病気の総称。法的には公害病救済法に基づき環境庁が公害による病気であると認めて発生地域を指定、これら地域の患者が都道府県知事から公害病認定を受ける。公害病患者は医療費、医療手当、介護手当の支給を受ける。各地の大気汚染激じん地の気管支ゼンソクなど呼吸器疾患、熊本および新潟の水俣病、富山のイタイイタイ病、宮崎のヒ素中毒症がこれに当たる。このほか自治体が独自に公害病患者救済制度を設けることもある。

公害罪　「人の健康に係る公害犯罪の処罰に関する法律」で規定された罪。「故意犯」は工場または事業活動に伴って人の健康を害する物質（身体に蓄積した場合に人の健康を害することとなる物質を含む）を排出し、公衆の生命または身体に危険を生じさせた場合で、三年以下の懲役または三百万円以

窒素酸化物　記号はNOx。大気汚染の場合は主として一酸化窒素（NO）と二酸化窒素（NO_2）を指す。いずれも毒性ガスで、NOは高温度で空気中の窒素が熱せられて生成し、大気中でNOが酸化されてNO_2になる。

DO　溶存酸素（量）のことで、水の汚染状態を示す指標の一つ。水に溶けている酸素量で表す。コイなど腐敗物を食べる魚はDO二―三ppmの水中でも生息できるが、普通の魚は四～五ppm以下では生息できない。

典型公害　公害対策基本法で定義された公害で①大気汚染②水質汚濁（温排水、ヘドロを含む）③土壌汚染④騒音⑤振動⑥地盤沈下⑦悪臭―の七種類。

土壌汚染　土壌汚染物質としては農薬、化学物質、重金属などがあげられる。特に土壌中に長期間残留し、農作物の生育を阻害したり、農作物に吸収されて、その結果、人の健康を損うものとしてはカドミウム、水銀、ヒ素など重金属類およびBHC、ディルドリンなどの農薬がある。このうち土壌汚染防止法で対象としている指定物質はカドミウムだけである。

人間環境宣言　一九七二年六月、ストックホルムで開かれた第一回国連人間環境会議で採択された宣言。「人間環境の保全と向上に関し世界の人々を励まし、導くための共通の見解と原則」を示している。

廃棄物　廃棄物処理法が対象としているものは、ゴミ、粗大ゴミ、燃えがら、汚泥、ふん尿、廃油、廃酸、廃アルカリ、動物の死体その他の汚物または不要物で固形状または液状のもの（放射性物質およびこれによって汚染されたものを除く）をいう。一般廃棄物と産業廃棄物に大別される。

BOD（生物化学的酸素要求量）　水の汚染度、特に有機物による汚濁の度合を表す。水中の好気性微生物の増殖あるいは呼吸作用で消費される酸素量のことで、一般に摂氏二〇度で五日間に消費された溶存酸素のppmで表す。

PCB（ポリ塩化ビフェニール）　DDTと化学構造が類似した有機塩素化合物。物理化学的性質が安定で耐熱、耐酸、耐アルカリ、対腐食性であり、熱伝導性にすぐれ、電気絶縁性が高い。このため熱媒体、絶縁油、コンデンサー・オイ

衝撃波　ジェット機などが大気中を音速前後のスピードで進むとき生じる空気の波。

振動　公害としての振動を発生源別にみると、工場振動、建設振動および交通振動の三つがある。いずれも騒音を伴う。

スラッジ　鉱工業の生産過程で排出される泥状物質、汚泥ともいう。

生物（生体）濃縮　環境中に放出された放射性核種や有機水銀、PCBなど各種人工的な物質が生物体内に摂取され、体内に蓄積された結果、環境濃度以上に濃度が高くなる現象。

生物化学的酸素要求量　BODの項参照

生物農薬　化学農薬の代わりにバクテリア、ウイルス、コン虫を利用、病虫害を防除する方法。

騒音　すべて聞く人にとって好ましくない音の総称。発生源別にみると工場騒音、建設騒音、自動車、新幹線などの交通騒音、航空機騒音が挙げられる。騒音が人体に及ぼす影響は、九〇ホン程度以上が連続した場合、聴力障害を起こすほか、通常の騒音でも不快感、会話妨害、作業能率の低下、睡眠の妨げなど、日常生活への影響が大きい。

粗大ゴミ　テレビ、電気せんたく機など電気製品をはじめとする耐久消費財の廃棄されたものをいう。

大気汚染　化石燃料の燃焼が主原因。産業などの固定発生源から排出される硫黄酸化物、粉じん、窒素酸化物などや、移動発生源である自動車から排出される一酸化炭素、炭化水素、窒素酸化物、粉じんなどにより引き起こされる。

炭化水素　記号HC。炭素と水素だけからできている化合物。ガソリン、灯油、重油などの成分。都市の大気を汚染する炭化水素は自動車が主な発生源である。大気中の炭化水素は窒素酸化物とともに光化学反応でオキシダントを作り出す。種類によっては発ガン性を持っている。

脱硫　重油またはその燃焼排煙中に含まれる硫黄分を取り除くこと。重油の段階で除くのに直接脱硫と間接脱硫がある。排煙の段階で除くのを排煙脱硫という。

地盤沈下　沖積層に含まれている地下水を工業用水として急激かつ大量にくみ上げられた場合、地盤沈下公害が起こりやすい。

性物質という。

放射性廃棄物　放射性物質を含む廃棄物のこと。使用ずみ核燃料から有用アイソトープなどを除いた残りや放射能を帯びた廃物をいう。世界的にその処理、処分が原子力公害対策上問題になっている。

ホン　騒音計で測った騒音レベルの単位。身近な騒音レベルは一〇〇ホン＝電車が通るときのガード下。九〇ホン＝騒々しい工場。八〇ホン＝国電の中、普通の工場。七〇ホン＝騒々しい事務所、静かな工場。六〇ホン＝普通の会話、静かな乗用車。五〇ホン＝静かな事務所、図書館。四〇ホン＝深夜の市内。三〇ホン＝放送局のスタジオ、深夜の郊外、ささやき声。二〇ホン＝木の葉のそよぎ。

マスキー法　一九六三年実施された米国の大気汚染防止法を七〇年にマスキー上院議員が中心となって改正したことから、この改正法をマスキー法と呼んでいる。特に低公害自動車の生産をメーカーに義務づけ、炭化水素と一酸化炭素は七五年一月までに、窒素酸化物は七六年一月までにそれぞれ現行より九〇％減らさなければならないとしている。環境庁でも七二年八月に米国と同じ基準とする方針を出している。これを日本版マスキー法という。

ミスト　液状の微粒子で大気中に浮遊しているもの。粒子径は〇・一ー一〇ミクロンのものが多い。大気中の水蒸気が凝縮してミスト（もや）になり、これにガスが溶ける場合や、無水硫酸が大気中の水蒸気と化合して硫酸を生ずる場合（硫酸ミストという）などがある。

水俣病　熊本県のチッソ水俣工場から水俣湾に排出されたメチル水銀が魚介類を汚染、食物連鎖で八代海周辺住民を侵した有機水銀中毒症。二十八年ごろから患者が続発した。また三十九年から四十年にかけ新潟県阿賀野川下流域でも、上流の鹿瀬電工（当時昭和電工鹿瀬工場）から排出したメチル水銀が魚を介して住民を汚染、有機水銀中毒患者が発生した。水俣病と同じ症状で第二水俣病ともいう。

無鉛ガソリン　オクタン価を高めるため、アンチノッキング剤である四アルキル鉛（主として四エチル鉛）を添加した自動車用ガソリンを加鉛ガソリンというが、これに対しガソリンの改質改良などでオクタン価を維持し、鉛化合物を添

ルなどのほか感圧紙用インクに多用された結果、これらの製品が廃棄されたあとPCBが分解しにくい汚染物質として環境、食品を汚染したり、人体にも蓄積した。PCB中毒の典型例はカネミ油症。

ppp 汚染者負担原則

複合汚染 二種類以上の汚染物質が共存する汚染を複合汚染という。これに対し複数の発生源から同一の汚染物質を出す場合は重合汚染という。

ブローバイガス 自動車のクランクケースから漏れるガス。未燃焼ガスが八〇—八五%、燃焼ガスが一五—二〇%からなる。未燃焼ガスのうち炭化水素は全排出ガスの約四〇%に達するため、燃焼室に戻して燃焼させる還元装置の設置が四十六年一月から新車に義務づけられた。

浮遊粒子状物質 浮遊粉じんともいう。空気中に浮遊している粒径一〇ミクロン以下のばいじん、粉じんを指す。

pH（ペーハー） 液体中の水素イオン濃度を表し7は中性、7より大きいものはアルカリ性、7より小さいのは酸性。

ヘドロ 河川、運河、港湾などの水底に累積した軽くて柔らかい泥状物質。有害物質を含んでいる場合は魚介類を通じて人体に影響を及ぼしたり、有毒ガスを発生、魚介類の生息環境を悪化させたりする

芳香族 ベンゼンおよびベンゼンを構造の一部として含む化合物の総称。天然には主として石炭、石油中に含まれており、染料、洗剤、樹脂、繊維、農薬などの原料として使用されている。生物に対し毒性を持つほか発ガン性物質が多い。自動車排ガス中の炭化水素にも3・4ベンツピレンなど発ガン性の芳香族が含まれている。

放射性同位元素 ラジオ・アイソトープの項参照。

放射線 広義には高速粒子の流れおよび電磁波を総称し、これには可視光線や電波も含まれる。狭義にはこのうち電離作用のある放射線すなわちアルファ線、重陽子線、陽子線、ベータ線、中性子線、ガンマ線、百万電子ボルト以上のエネルギーを持つ電子線およびエクス線を指す。

放射能 原子の崩壊によって放射線を出す物質の性質をいうとともにその強さのこともいう。単位はキュリー。放射能を出す物質を放射

皇室用語について

皇室用語の扱い方

一、皇室に対しては、一般国民感情に従って敬語を使う。

二、敬語が過剰にならないように、特に二重敬語を使わないよう注意する。

〔例〕ご出席される→出席される
　　　　　　　　→ご出席になる
　　ご一緒にご乗車される
　　　　→一緒に乗車される
　　　　→一緒にお乗りになる

〔注〕動詞の敬語法には次の型がある。
〔例〕① れる　られる
　　書かれる　出席される　贈られる
　② お○○になる
〔例〕お書きになる　お着きになる
　③ ご○○になる
〔例〕ご出席になる　ご覧になる

三、皇室だけに使われた特別の敬語や用語は、一般に親しみやすく、やさしい言葉に言い換える。

〔例〕行幸→ご旅行　玉座→お席
　　天顔→お顔

四、表外字を含む皇室用語では、儀式のスケジュールなどは発表通りの文字を使う場合もあるが、一般記事では表外字を使わず、やさしい言葉に言い換える。儀式、固有名詞などで言い換え、書き換えの困難なものには、その語の下にカッコして読み方を示したり、意味を注記する。

〔例〕公式日程など特別の場合
　　皇霊殿神殿に謁するの儀
　記事の場合
　　皇霊殿神殿に拝礼された
　固有名詞の場合
　　綾綺殿（りょうきでん）

五、「御」は当用漢字音訓表で「ご」と読むことを認めているが、固有名詞以外はなるべく「ご」と仮名書きにする。

〔例〕ご結婚　ご旅行　東宮御所
　　那須御用邸

六、次に掲げた「皇室用語の表記例」は代表的な用例で、他に適切な言い換え、書き換えがあれば使ってよい。また例示以外の皇室関係用語についても一般にわかりやすく、親しみやすい表記を工夫することが望ましい。

加しないものを無鉛ガソリンという。

無過失責任　大気汚染による健康被害の損害賠償について四十七年、大気汚染防止法に無過失責任条項が加えられた。これによると「工場または事業活動に伴う健康被害物質の大気中への排出により人の生命または身体を害したときは、当該排出に係る事業者はこれによって生じた損害を賠償する責に任ずる」とある。物質的被害は対象となっていない。また大気汚染以外の公害には適用されない。

有害農薬　DDT、BHC、ドリン剤のような有機塩素系農薬、パラチオン、マラソンなど有機リン系農薬、酢酸フェニール水銀、塩化メトキシエチル水銀など有機水銀系農薬、カーバメート系農薬などがある。いずれも慢性または急性毒性があり人体に有害であるほか、自然の生態系を破壊する作用がある。

油症　四十三年秋、西日本を中心にカネミ倉庫が製造した米ヌカ油を摂取した人たちに生じた亜急性PCB中毒症。カネミ油症ともいう。製造工程で熱媒体のPCBが混入したもので、発症した人は最低〇・五ミリグラムから平均二ミリグラムのPCBを摂取したとみられる。

四日市ゼンソク　三十六年ごろから四日市の石油コンビナート周辺で発生した気管支ゼンソク。大気汚染公害病の典型とされている。

ラジオ・アイソトープ（放射性同位元素）　略してアイソトープと呼ぶこともある。同一の元素で質量の違うものを同位元素というが、この中で放射能を持つものを指す。近年原子炉や加速器で容易に作れるようになり、医療、工業、農業面で盛んに利用されている。

ラド　物質中における放射線吸収線量の単位。一ラドは物質一グラムに一〇〇エルグのエネルギーを与える線量。

レム　放射線が人体に及ぼす影響に着目した実効的線量ともいうべきもので、人体レントゲン当量（レントゲン・エクイバレント・マン）のこと。一ラド相当のエクス線およびガンマ線と同じ生物学的影響を人体に及ぼすような電離放射線の吸収線量を一レムで表す。吸収線量（ラド）が同じでも人体の各部位、臓器によって、また放射線の種類によっても生物学的影響は異なる。

皇太子ご夫妻	皇太子さまご夫妻	要とする場合には「美智子妃」と書いてよい。
東宮さま	東宮殿下	お子さまを中心とする記事などでは、皇太子ご夫妻を「ご両親」と表現してよい。必要により「東宮さま」を使ってよい。
浩宮さま、礼宮さま、紀宮さま		
摂政殿下	摂政宮殿下	皇太子以下の皇族が摂政の場合をいう。公式には「摂政殿下」であるが、「摂政の宮」でよい。
摂政（の宮）さま		
直宮（じきみや）さま		現在の天皇の皇子である皇族。
○○宮さま	○○宮○○殿下	皇族の敬称は、公式以外はなるべく「さま」を使う。
○○宮殿下		皇族名は、正式には「正仁親王殿下、宣仁親王殿下」であるが、これではだれのことかわかりにくいので「常陸宮正仁親王
○○宮妃○○子さま、○○宮妃殿下	○○宮○○子妃殿下	
○○宮ご夫妻		

		（さま）、高松宮宣仁親王（さま）」としてよい。ただし「常陸宮正仁殿下、高松宮宣仁殿下」とは書かない。（親王と内親王、親王と王、内親王と女王との区別を必要とするため） 普通には「常陸宮殿下、常陸宮さま、高松宮殿下、高松宮さま」でよい。
○○宮、○○宮妃	○○子妃	「宮、宮妃」は敬称ではないが、見出しなど簡潔を必要とする場合に使う。ただし「華子妃」とはせず「常陸宮妃」とする。
○○宮○○（内）親王（さま）	○○宮○○（内）親王殿下	「○○宮○○（内）親王」には「殿下」の敬称は付けない。普通「さま」を付ける。
○○宮大妃（たいひ）殿下		後継者がある未亡人の場合にいう。

皇室用語の表記例

〔敬称・称号〕

（使う用語）	（使わない用語）	（備　考）
天皇陛下	聖上、今上	一般には、天皇には「陛下」を使う。
皇后陛下	皇后宮	天皇ご一家だんらんの記事などの場合には「陛下と皇后さま」「両陛下」などとし、「天皇さま」は普通使わない。
皇后さま		また皇太子ご兄弟を中心とする記事などでは天皇、皇后をご両親と表現してもよい。
天皇、皇后両陛下	天皇および皇后陛下、天皇ならびに皇后両陛下、天皇ご夫妻	
両陛下とお子さま（お孫さま）方		
天皇ご一家	竹の園生	
天皇陛下は	天皇陛下には・	
皇后陛下は	皇后陛下には	
太皇太后陛下	太皇太后宮	
太皇太后さま		
皇太后陛下	皇太后宮	
皇太后さま		

「陛下」の敬称を付けないとき

◇歴代の天皇、皇后、皇太后、太皇太后を贈り名で呼ぶ場合、法制上の身分を表すときなど現実の天皇を対象としない場合には「陛下」の敬称は付けない。

〔例〕明治天皇　貞明皇后　天皇は国の象徴である　天皇制　天皇の地位（「先帝陛下」は別）

◇見出しなど簡潔を必要とする場合には「陛下」の敬称を省略してよい。

〔例〕天皇ご日程　天皇ご訪問　天皇のおことば　皇后お歌

（使う用語）	（使わない用語）	（備　考）
皇太子殿下	東宮殿下	公式には「皇太子明仁親王殿下、皇太子妃美智子殿下」だが、略して「皇太子殿下、皇太子妃殿下、妃殿下」、お二人なら「皇太子、同妃両殿下」とするが、なるべく「殿下」は使わず「皇太子さま、皇太子妃美智子さま、美智子さま」などと「さま」を使う。
皇太子さま		また見出しなど簡潔を必
皇太子妃美智子殿下、皇太子妃美智子さま、皇太子妃、妃殿下、美智子妃、美智子さま	美智子殿下	
皇太子、同妃両殿下		

お宿、ご宿所、ご宿舎、ご旅館	行在所	「お休み所」は皇后以下にも使う。
お泊まり、ご滞在	御駐泊	上記は皇后以下にも使う。
ご覧（になる） ご観覧、ご視察	天覧、台覧	「天覧相撲」などの成語はそのまま使うことがある。
行列、お列、パレード	鹵簿（ろぼ）	「鹵簿」は天皇の公式の行列をいう。宮内庁用語に「自動車お列」がある。
特別列車	宮廷列車、御料車、お召し列車	国鉄用語に「お召し電車列車」がある。
特別車、特別室		一車両または一室だけの場合。
特別機、特別船 自動車、お車	お召し機、お召し船、お召し自動車	
ご同乗 （ご）同車（する）	陪乗、御陪乗	天皇、皇后、皇太子などが国賓などと同車すること。
（ご）同席	陪席	
お馬、馬 先導車	先駆	
ご先導（する）	ご先導申し上げる	
ご案内（する） お供（する）	供奉（ぐぶ）	「供奉」はご旅行などのお供をすること。
お付きの人 お供の人、お供の責任者	供奉員、供奉長官	「お供の人、随員」などの総称。 「供奉長官」は供奉員の最高責任者で、ほかに事務を担当する「行幸（啓）主務官」がある。
随員		「随員」は外国旅行の場合のお供で課長級以上、それ以下は「随行員」。

「殿下」「さま」の敬称を付けないとき

◇故人となられた皇族や、法制上の身分を表すときなどの場合は「殿下」「さま」の敬称は付けない。また見出しなどで簡潔を必要とする場合は、敬称を省略してよい。

〔例〕皇太子の成年は十八年とする　故秩父宮
　　皇太子ご旅行　高松宮妃のお席

◇多数の皇族を列記するときは一人一人に敬称を付けずに、「……の各皇族方」のように書く。

〔例〕常陸宮ご夫妻、秩父宮妃、高松宮、三笠宮の各皇族方

〔お出かけ、ご旅行関係など〕

お出かけになる お出かけ、…へおいでになる	行幸、行啓、 お成りになる	「行幸」は天皇、「行啓」は皇后、皇太后、太皇太后、皇太子、同妃の場合
ご旅行、ご訪問 訪問される	巡幸、巡啓、 行幸、行啓	
出発される ご出発になる	ご発車、ご出門、発御	
お着きになる、着かれる、ご到着	ご着車、着御	
お帰り、…へお帰りになる	ご帰還、還御、還幸、還啓	
おいでになる、お出まし、ご出席（になる）、出席される、ご臨席	親臨、臨御、台臨、お成り、出御、ご出席される	「おいでになる、ご出席」などは皇后以下にも使う。
お席	玉座	「玉座」は天皇の席。「お席」は皇后以下にも使う。
お部屋、お居間	御座所	「御座所」は室をいう場合と建物をいう場合とがある。「天皇のお部屋、皇后のお席」などでよい。
表御座所		「表御座所」は公式行事、儀式の場合に使う。
お休み所（またはその場所名）	便殿、御休所	「便殿」は天皇のお休み所。

		かりにくいのでなるべく使わない。
ご歓談、歓談される	・ご歓談される	
昼食会、夕食会 晩さん会（を開かれる）	午餐会（をお催しになる）	
お食事（を出される）、召し上がり物	賜餐、賜饌、お食事を賜る 供御、供膳	宮内庁用語では、陛下のお食事を供御（くご）、殿下のお食事を供膳（きょうぜん）という。
ご一緒に食事をされる、お食事を共にされる、ご会食	ご陪食をおおせつけられる	天皇が皇族、外国の元首、外国の皇族または国賓と食事を共にされること。
食事のお相手に招く、食事の相手に招かれる、食事の相手にお招きになる	お相伴にお招きになる	

〔ご意思、ご行為、ご身辺など〕

おぼしめし、お考え、ご意思、ご意向、ご同意	叡慮、聖慮、聖旨、宸襟、大御心、勅旨	
おことば（お言葉）	勅語、勅宣、勅諚	国会、国体の開会式、戦没者追悼式などの際に天皇が読まれるもの。これらの場合はなるべく「おことば」と平仮名書きにする。「園遊会でお言葉をかけられる」などはよい。
詔書〔法律用語〕		国会の召集、衆議院の解散、法律の公布などの際に出される公文書で、天皇が署名し、御璽を押す。
ご感銘、ご興味	御感、叡感	
ご心配、ご心痛	ご軫念	
お命じになる	勅命	
お許し（になる）	勅許、御聴許	
お招き（になる）	お召しになる	
お受けになる	御嘉納	

護衛、皇宮警察官 警衛、警察官	警護	「護衛」は皇宮警察が担当するもの。 「警衛」は一般警察が担当するもの。
おそばで見る	陪観	
おそばで聞く	陪聴	
〔お使い、ご交際、お食事など〕		
天皇（陛下）のお使い	勅使	
皇后（さま）のお使い	皇后宮使	
皇太子（さま）のお使い	東宮使	
ご名代、代理		「ご名代」は単なる使者ではなく、その人に代わって行動する人で、皇族が務める。
…を贈られる	下賜、御贈進、恩賜	「御贈進」は外国の元首などに贈り物をされること。「ご下賜金と一般の寄付金で○○を建設」などの場合「ご下賜金」を使うこともある。
(お)供物料 (お)見舞金	祭粢料、祭祀料	「祭粢（さいし）料」は天皇から贈られるもの。 災害などの場合に贈られるもの。
(ご)祝(弔・答)電 祝電を出される（打たれる、お出しになる）	ご祝電をお出しになる	天皇から外国元首などに出されるもの。
お招き(になる)	お召し（になる）	
ご会見、お会い(になる)	引見、接見、謁見、賜謁、拝謁を賜る	外国の元首、大使などに会う場合。
あいさつされる	ご会釈を賜る	「会釈」は宮内庁用語で軽いあいさつをされることを指すが、一般にはわ

(…を)行われる	とり行われる	
(○○服)を着られる、召される	(○○服)を着御	
ご会見、お会い(になる)	謁見、引見、賜謁	
お出まし、おいでになる	出御	
ご退席、ご退場		
お帰り(になる)		
祝賀、お祝い	拝賀、朝賀	「祝賀、お祝い」は皇族、高官、外国大公使からお受けになるお祝い。
参賀		一般国民からお受けになるお祝い。
親任式(任命式)		内閣総理大臣、最高裁判所長官の任命式。「任命式」でよい。
認証官任命式(認証式)		国務大臣、最高裁判事、検事総長、公正取引委員会委員長など天皇の認証を必要とする官吏の任命式。「認証式」でよい。
勲章親授式		
勲章をお(手)渡し(になる)	勲章を親授される	勲一等以上の勲章を天皇が直接手渡される式。ただし「親授」は「お手渡し」などと言い換える。
信任状奉呈式		
信任状(を)提出	信任状を奉呈	外国の大使が信任状を天皇に提出する式。単なる「奉呈」は「提出、差し上げる」などと言い換える。
講書始	御講書始	
ご進講、進講者		
歌会始	御歌会始	
お題	勅題、御題	歌会始の題。
お歌	御製、御歌	「御製(ぎょせい)」は天皇のお歌。「御歌(みうた)」は皇后のお歌。「お歌」は皇太子以下にも使う。

お納めになる お渡し(になる) お手渡し 〔「親授式」は別〕	親授	
ご覧(になる) ご観覧、ご視察	天覧、台覧	「天覧相撲」などの成語はそのまま使うことがある。
お体	玉体、聖体	
お顔	玉顔、天顔、竜顔	
お声	玉音	
ご自筆、ご筆跡	宸筆	
お年、ご年齢	宝算、聖寿	
お写真	御真影、御尊影	
ご病気	ご不例、ご不予、ご違和、ご違例	
お手元品(または物の名を具体的にいう)	御物	「正倉院御物」などでは「御物」を使う。

〔行事、祭典など〕

ご拝礼、ご参拝 参拝される	ご親拝	「親拝」は天皇が拝礼されること。 「ご拝礼、ご参拝」は両陛下や皇族にも使う。
ご代拝		両陛下や皇太子に代わって代理のものが拝礼または参拝すること。侍従または女官が務める。
お告文(つげぶみ)		天皇が神前で読まれるもの。
告文(こくぶん)		皇太子、皇族が神前で読まれるもの。 「お告文、告文」は場合により「お誓いになる」などと言い換えてよい。
お供物(くもつ)	幣帛、神饌	「幣帛(へいはく)、神饌(しんせん)」は通常「幣帛料、神饌料」として金銭で贈られる。
お供え		
玉ぐし	玉串	神前に供えるサカキの枝

〔ご結婚関係〕

大婚、大婚の礼		天皇の在位中の結婚式に限る。
ご婚約(になる)	御成約	皇太子以下の皇族の結婚に使う。
ご結婚式、ご婚儀、ご結婚になる	御成婚式、御成婚	結婚が成ったという意味で「ご成婚を祝って」「ご成婚恩赦」などと使う場合がある。
結婚の儀		皇太子以下の皇族の結婚式のこと。「ご結婚式」と言い換えてよい。
ご結納式、結納を贈られる、納采(のうさい)の儀		「納采」は一般にいう結納(ゆいのう)のこと。「納采の儀」は結納を納める式。
ご結婚になる、結婚される	御帰嫁、御降嫁	皇族の女子が一般人と結婚される場合。
皇族の身分を離れられる(お離れになる)	臣籍降下 皇籍離脱	皇族の身分を離れて一般国民の籍に入ること 皇族の身分を離れた元皇族には、皇室用語を使わない。 〔例〕両陛下のお子さま 池田厚子夫人 池田厚子さん＝陛下の四女、元順宮＝ 〔注〕「第四皇女」「第四女」としない。
朝見(ちょうけん)の儀		皇族、同妃が天皇、皇后に結婚のあいさつをされる。
宮号(みやごう)		皇族が独立されるとき贈られる称号。 〔例〕常陸宮 三笠宮 〔注〕「浩宮、礼宮、義宮」などは、幼時の呼び名(愛称)であって、ここにいう宮号ではない。

読師（どくじ）		
講師（こうじ）		
召人（めしうど）		
〔皇室に対する用語〕		
皇居	宮城	
皇居に入る、皇居を訪問	参入、参内	
伺う、お伺いする	伺候、拝謁	
お目にかかる、お会いする	拝謁（を賜る）	
単独で（一人で）お目にかかる	単独拝謁	普通は「単独、一人、一同、そろって」の区別をする必要のない場合が多い。
一同で（そろって）お目にかかる	列立拝謁	
申し上げる、お話しする	上奏、奏上、言上	国会法六五条の規定には「議決の上奏」とあるが、普通には「上奏」は使わない。
（事前に）ご説明（する）、ご報告（する）、内奏		
歓迎	奉迎	
お祝いの書面（文）	賀表	
お祝いのことば（言葉）		「ご祝詞、ご祝辞」を使うこともある。
記帳、署名簿に記入		「記帳」は宮中のお帳（署名簿）に記入すること。
○○を差し上げる、献上		
お受けする、頂く、いただく	拝受	
侍立、おそばに立つ		
辞去、退出	退下	

の着られる儀服(ぎふく)のこと。

床上げ（なさった、された）	
退院（される）	
御床払（おじょうばらい）	「御床払」は一般でいう「床上げ」のこと。「床上げなさった」などのように敬語をあとに付ければよい。

〔建物、施設〕

〔名　称〕	〔備　考〕
正殿（せいでん）	新宮殿の中心的建物。
正殿松の間	正殿中央の間。親任式、認証官任命式、勲章親授式、信任状奉呈式、歌会始など公式行事に使う。
正殿竹の間	松の間の南隣。天皇の公的応接室。
正殿梅の間	松の間の北隣。皇后の公的応接室。
豊明殿（ほうめいでん）	大供宴場。
長和殿（ちょうわでん）	東庭に面する新宮殿最大の建物。
長和殿春秋の間	長和殿中央の間。レセプションなどに使用。
長和殿石橋（しゃっきょう）の間	春秋の間の北隣。参殿者の休憩所。
長和殿松風（まつかぜ）の間	春秋の間の南隣。参殿者の休憩所。
長和殿波の間	松風の間の南隣。参殿者の控え所。
長和殿南溜（みなみだまり）	長和殿の南玄関ロビー。
長和殿北溜（きただまり）	長和殿の北玄関ロビー。〔注〕「正殿松の間、長和殿春秋の間」などは「松の間、春秋の間」などと略してよい。
東庭（とうてい）	長和殿東面の前庭。国民参賀に使われる。
千草（ちぐさ）の間、千鳥（ちどり）の間	二つとも正殿の南側にある建物で、正殿に入る人の休憩室。

〔ご誕生関係〕		
男子、女子	親王、内親王	「親王、内親王」は一般にわかりにくいので、なるべく使わない。
男のお子さま 女のお子さま		「美智子妃男子（女子）ご安産（ご出産）」などとすればよい。
ご誕生 ご安産	御誕生	
新宮（しんみや）さま 皇太子のお子さま	皇孫殿下	「皇孫」は天皇を中心としていう言葉で、また耳なれぬ言葉なのでなるべく使わない。ただし、宮内庁発表文は発表通りとする。天皇の孫という意味で使うときは「天皇陛下のお孫さま」でよい。
お誕生日	御誕辰	
ご出産	御分娩	「ぶんべん室」は他に言い換えがないので、そのまま使うが、そのほかでは「ぶんべん」はなるべく使わない。
病院、産室	御産所（ごさんじょ） 産殿（さんでん）	陛下のお子さまの場合は「御産所」、皇太子や皇族のお子さまの場合は「産殿」というが、なるべく使わない。総称なら「病院」、産室そのものを限定するなら「産室」でよい。
お名前	御名（おんな）	
名記	御名記（おんめいき）	お名前を大高檀紙（おおたかだんし）＝和紙の一種＝に書いたもの。
読書（どくしょ） 鳴弦（めいげん）		儀式「浴湯の儀」の間に、読書（日本書紀などの古典を朗読する）と、鳴弦（弓弦を鳴り響かせる）を行う。
産着	御産着（おんうぶぎ）	
童形服	御童形服（おんどうぎょうふく）	お誕生後五十日目に行われる「賢所皇霊殿神殿に謁するの儀」にお子さま

〔物名など〕

三種の神器（じんぎ）	皇位の象徴として継承される次の三点をいう。
八咫鏡（やたのかがみ）	本体は伊勢神宮に祭り、模品を賢所に置く。
天叢雲剣（あめのむらくものつるぎ）	本体は熱田神宮に祭り、模品を曲玉とともに皇居に置く。
八坂瓊曲玉（やさかにのまがたま）	本体は皇居に置く。曲玉を「御璽（ぎょじ）」ともいう。天皇のご印の「御璽」は別。
剣璽（けんじ）	剣と曲玉を総称していう。
国璽（こくじ）	「大日本国璽」のこと。勲記などに押す。
御璽（ぎょじ）	「天皇御璽」のこと。法律、政令の公布文、詔書、認証書などに押す。
天皇（の）ご印	「御璽」の言い換え。
勲章	天皇が渡される勲章は次の通り
(1)大勲位菊花章頸飾（けいしょく）	(2)の帯勲者に加綬し、また外国元首などに贈られるネックレス型の勲章。
(2)大勲位菊花大綬章（だいじゅしょう）	最高勲章。大綬を右肩から左わきにかける。
(3)大勲位菊花章	(1)(2)の副章で左胸に付ける。
(4)勲一等旭日桐花（きょくじつとうか）大綬章	(5)の帯勲者に加綬されるもの。
(5)勲一等旭日大綬章	男子に授けられる勲章。
(6)勲一等宝冠章	婦人に授けられる最高勲章。
(7)勲一等瑞宝（ずいほう）章	男女に授けられる勲章。
天皇旗	紅色錦（にしき）地に金糸で菊花を縫い取りしてある。
皇后旗	天皇旗とほぼ同様だが、右端に切れ込みがある。
皇太子旗	天皇旗と同形で縁の近く周辺に白いわくがある。
皇統譜	皇室の戸籍簿と系譜を兼ね、大統譜と皇族譜に分かれる。
大統譜	皇統譜中、天皇、皇后に関する事項を載せたもの。
皇族譜	天皇、皇后以外の皇族の事項を載せたもの。

連翠（れんすい）	豊明殿の西側にある小食堂。
表御座所	正殿の背後にある天皇の公務室。
吹上御所（ふきあげごしょ）	吹上御苑（皇居の北庭）にある両陛下のお住まい。
宮中三殿	皇居内にある次の三殿の総称。
賢所（かしこどころ）（けんしょ）	天照大神を祭る。三殿の中央にあり、八咫鏡を納める。「けんしょ」の呼び方もある。
皇霊殿	賢所の西側にある。歴代天皇と皇族の霊を祭る。
神殿	賢所の東側にある。神々を祭る。
綾綺殿（りょうきでん）	宮中三殿の背後にある。天皇が三殿を祭るときの斎戒更衣所。
神嘉殿（しんかでん）	皇霊殿の西側にある。新嘗祭（にいなめさい）の行われる所。その南庭は新年の四方拝が行われる所。

京都御所

〔以下は京都御所にある〕

紫宸殿（ししんでん）	京都御所の正殿。即位の礼が行われた所で、殿内に次の高御座と御帳台がある。
高御座（たかみくら）	紫宸殿の中央に南面して置かれている天皇のお席。
御帳台（みちょうだい）	高御座の東側に南面して置かれている皇后のお席。
左近の桜（さこんのさくら）	紫宸殿正面南階段の下、東側に植えてある桜樹。
右近の橘（うこんのたちばな）	同西側に植えてある橘樹（きつじゅ）。
承明門（しょうめいもん）	紫宸殿と南庭を囲む回廊の南門。紫宸殿正面の門。
日華門（じっかもん）	同東門。
月華門（げっかもん）	同西門。
建礼門（けんれいもん）	京都御所の南正門。
春興殿（しゅんこうでん）	紫宸殿回廊の外の東庭にある。即位の礼のとき、賢所を奉安された所。

大礼使	即位の礼を行うための臨時の事務機関。総裁(皇族)、長官以下の職員を置いた。

〔ご葬儀関係など〕

崩御、ご逝去（せいきょ）、お亡くなりになる、おかくれになる、ご永眠、ご死去	公式には「崩御」は天皇、皇后、太皇太后、皇太后の場合にだけ使われた。
ご死去、ご永眠、お亡くなりになる、亡くなられる	前記以外の皇族の場合。先例では「薨去」を使われたが、新聞では「薨去」は使わない。
大喪（たいそう）の礼 ご大喪	天皇のご葬儀。 「大喪の礼」の通俗的な呼び方。
大喪儀（たいそうぎ）	皇后、太皇太后、皇太后のご葬儀。先例（貞明皇后）では「御喪儀」「御葬儀」が使われた。
ご喪儀、ご葬儀	「大喪儀」の言い換え。
ご喪儀	皇太子以下のご葬儀。宮内庁では「御喪儀」を使った。
ご葬儀	前記「御喪儀」の言い換え。
大行（たいこう）天皇	崩御後、ご追号が決まるまでの間に使う。
ご追号、贈り名	天皇、皇后、太皇太后、皇太后の崩御後に贈られる称号。「諡号(しごう)」は使わない。
ご陵、みささぎ	天皇、皇后、太皇太后、皇太后を葬るお墓。
お墓	前記以外の皇族を葬るお墓 宮内庁では「御墓(ごぼ)」を使う
大喪（たいも）	天皇が先帝または三后の喪に服されること。
ご服喪（ふくも）	天皇以外の皇族の服喪。
宮中喪	皇族や外国元首の死去の場合、天皇以下の皇族が喪に服されること。
喪（も）に服される	宮中では「喪を服される」という。
除喪（じょも）	服喪中、延期できない公式行事を行うために、一時的に服喪を中断すること。

〔主な儀式など〕（先例による）

大喪使	大喪の礼を行うための臨時の事務機関。総裁(皇族)、長官以下の職員を置いた。

注意

次の「ご即位」「ご葬儀」関係の用語は先例によったもので、これからの儀式の形式、用語などをどうするかは、宮内庁で検討中である。従ってここに掲げた用例は参考のため主として言葉の意味を説明したものであって、実際に当たって、新聞が使う用語にも未定のものが多い。

これらの用語を表記するにあたっては、公式の儀式、固有名詞などのほかは、原則として一般にわかりやすい言葉に言い換え、書き換えすることが望ましい。

〔ご即位関係〕（先例による）

〔用語〕	〔備考〕
践祚（せんそ）	新天皇が位につくこと。公式には「践祚」という。
即位	「践祚」の言い換え。
改元	践祚後、新しく元号（通称年号）を定めること。
即位の礼	先帝の喪が明けた後に行われる。先例は、秋に京都御所で行われた。
ご大礼、ご大典	「即位の礼」の通俗的な呼び方。
期日奉告の儀	即位の礼の期日を宮中三殿に奉告する。
斎田点定（さいでんてんてい）の儀	大嘗祭に供える新穀を作る田を決める。
悠紀田（ゆきでん）	京都以東または以南の地に選ばれる斎田（先例は滋賀県）。
主基田（すきでん）	京都以西または以北の地に選ばれる斎田（先例は福岡県）。
即位の礼当日賢所大前（かしこどころおおまえ）の儀	京都御所内春興殿（しゅんこうでん）に置かれた賢所の前で行われた。
紫宸殿の儀	即位を内外に宣布する即位の礼の中心的儀式。
大嘗祭（だいじょうさい）	御所内に仮設される大嘗宮（だいじょうきゅう）で新穀を神々にささげる祭事。
大饗（だいきょう）	即位の礼の祝賀宴。

邦暦・西暦対照表 （*印はうるう年）

西暦	日本	何年前	西暦	日本	何年前	西暦	日本	何年前
*1868	明治	110	1905	38	73	1942	17	36
1869	2	109	1906	39	72	1943	18	35
1870	3	108	1907	40	71	*1944	19	34
1871	4	107	*1908	41	70	1945	20	33
*1872	5	106	1909	42	69	1946	21	32
1873	6	105	1910	43	68	1947	22	31
1874	7	104	1911	44	67	*1948	23	30
1875	8	103	*1912	大正	66	1949	24	29
*1876	9	102	1913	2	65	1950	25	28
1877	10	101	1914	3	64	1951	26	27
1878	11	100	1915	4	63	*1952	27	26
1879	12	99	*1916	5	62	1953	28	25
*1880	13	98	1917	6	61	1954	29	24
1881	14	97	1918	7	60	1955	30	23
1882	15	96	1919	8	59	*1956	31	22
1883	16	95	*1920	9	58	1957	32	21
*1884	17	94	1921	10	57	1958	33	20
1885	18	93	1922	11	56	1959	34	19
1886	19	92	1923	12	55	*1960	35	18
1887	20	91	*1924	13	54	1961	36	17
*1888	21	90	1925	14	53	1962	37	16
1889	22	89	1926	昭和	52	1963	38	15
1890	23	88	1927	2	51	*1964	39	14
1891	24	87	*1928	3	50	1965	40	13
*1892	25	86	1929	4	49	1966	41	12
1893	26	85	1930	5	48	1967	42	11
1894	27	84	1931	6	47	*1968	43	10
1895	28	83	*1932	7	46	1969	44	9
*1896	29	82	1933	8	45	1970	45	8
1897	30	81	1934	9	44	1971	46	7
1898	31	80	1935	10	43	*1972	47	6
1899	32	79	*1936	11	42	1973	48	5
1900	33	78	1937	12	41	1974	49	4
1901	34	77	1938	13	40	1975	50	3
1902	35	76	1939	14	39	*1976	51	2
1903	36	75	*1940	15	38	1977	52	1
*1904	37	74	1941	16	37	1978	53	0

櫬殿（しんでん）	天皇、皇后、太皇太后、皇太后の崩御後、殯宮にお移しするまでの間、ご遺体を安置する建物。
殯宮（ひんきゅう）	崩御後、ご埋葬までの間、ご遺体を安置する建物。 「あらきのみや」ともいう。
殯宮移御（いぎょ）の儀	ご遺体を櫬殿から殯宮にお移しする儀式。
正寝（せいしん）	皇族のご葬儀の場合、ご埋葬まで、ご遺体を安置する建物。殯宮にあたる。
殯宮祗候（ひんきゅうしこう）	殯宮で行われるお通夜。
お通夜	「殯宮祗候」の言い換え。
日供（にっく）	毎日のお供え。
霊轜、轜車（れいじ、じしゃ）	おひつぎを載せた車。
霊きゅう（柩）車	「霊轜、轜車」の言い換え。
轜車発引（はついん）の儀	轜車が葬場に向かうため殯宮を出発する儀式。
葬場殿（そうじょうでん）	本葬のため、葬場に仮設されるもので、おひつぎを安置する。
斂葬（れんそう）の儀	葬場殿の儀、陵所の儀の総称。 「斂葬」とは埋葬のこと。
葬場殿の儀	葬場殿の前に天皇以下が参列して行う葬儀。
告別式	「葬場殿の儀」の言い換え。
誄（るい）	葬場殿で天皇が読まれる弔辞。 公式には「御誄（おんるい）」。
ご弔辞	「ご弔辞」と言い換えてよい。
誄歌（るいか）	葬場殿で奏する葬送歌。
葬送歌	「誄歌」の言い換え。
陵所の儀	陵墓で行う埋葬式。
埋葬式	「陵所の儀」の言い換え。
霊代（たましろ、れいだい）	一般でいう位はい。
ご位はい（牌）	「霊代」の言い換え。
権殿（ごんでん）	天皇、皇后、太皇太后、皇太后のご葬儀後、皇霊殿にご移祭するまでの間、霊代を祭る建物。
権舎（ごんしゃ）	皇太子以下の場合は「権舎」。
殯斂地（ひんれんち）	正式にご埋葬する前に、仮にお納めする所。
玄宮（げんきゅう）	陵内のおひつぎを納める室。
兆域（ちょういき）	陵または墓のある区域。
陵域	「兆域」の言い換え。

邦暦・西暦対照表

代	尊号	代	尊号	代	尊号
1	神武	13	成務	25	武烈
2	綏靖	14	仲哀	26	継体
3	安寧	15	応神	27	安閑
4	懿徳	16	仁徳	28	宣化
5	孝昭	17	履中	29	欽明
6	孝安	18	反正	30	敏達
7	孝霊	19	允恭	31	用明
8	孝元	20	安康	32	崇峻
9	開化	21	雄略	33	推古
10	崇神	22	清寧	34	舒明
11	垂仁	23	顕宗	35	皇極
12	景行	24	仁賢	36	孝徳

代	尊号	年号	西暦
37	斉明	斉明	655
38	天智	天智	662
39	弘文	弘文	672
40	天武	天武	672
41	持統	朱鳥	686
		持統	687
42	文武	文武	697
		大宝	701
		慶雲	704
43	元明	和銅	708
44	元正	霊亀	715
		養老	717
45	聖武	神亀	724
		天平	729
46	孝謙	天平感宝	749
47	淳仁	天平勝宝	
48	称徳	天平宝字	757
		天平神護	765
		神護景雲	767
49	光仁	宝亀	770
		天応	781
50	桓武	延暦	782
51	平城	大同	806
52	嵯峨	弘仁	810
53	淳和	天長	824
54	仁明	承和	834
		嘉祥	848
55	文徳	仁寿	851
		斉衡	854
		天安	857
56	清和	貞観	859
57	陽成	元慶	877

代	尊号	年号	西暦
58	光孝	仁和	885
59	宇多	寛平	889
60	醍醐	昌泰	898
		延喜	901
		延長	923
61	朱雀	承平	931
		天慶	938
62	村上	天暦	947
		天徳	957
		応和	961
		康保	964
63	冷泉	安和	968
64	円融	天禄	970
		天延	973
		貞元	976
		天元	978
		永観	983
65	花山	寛和	985
66	一条	永延	987
		永祚	989
		正暦	990
		長徳	995
		長保	999
		寛弘	1004
67	三条	長和	1012
68	後一条	寛仁	1017
		治安	1021
		万寿	1024
		長元	1028
69	後朱雀	長暦	1037
		長久	1040
		寛徳	1044
70	後冷泉	永承	1046
		天喜	1053
		康平	1058
		治暦	1065
71	後三条	延久	1069
72	白河	承保	1074
		承暦	1077
		永保	1081
		応徳	1084
73	堀河	寛治	1087
		嘉保	1094
		永長	1096
		承徳	1097
		康和	1099

代	尊号	年号	西暦
		長治	1104
		嘉承	1106
74	鳥羽	天仁	1108
		天永	1110
		永久	1113
		元永	1118
		保安	1120
75	崇徳	天治	1124
		大治	1126
		天承	1131
		長承	1132
		保延	1135
76	近衛	永治	1141
		康治	1142
		天養	1144
		久安	1145
		仁平	1151
		久寿	1154
77	後白河	保元	1156
78	二条	平治	1159
		永暦	1160
		応保	1161
		長寛	1163
79	六条	永万	1165
		仁安	1166
80	高倉	嘉応	1169
		承安	1171
		安元	1175
		治承	1177
81	安徳	養和	1181
		寿永	1182
		元暦	1184
82	後鳥羽	文治	1185
		建久	1190
83	土御門	正治	1199
		建仁	1201
		元久	1204
		建永	1206
		承元	1207
84	順徳	建暦	1211
		建保	1213
85	仲恭	承久	1219
86	後堀河	貞応	1222
		元仁	1224
		嘉禄	1225
		安貞	1227

代	尊号	年号	西暦
		寛喜	1229
87	四条	貞永	1232
		天福	1233
		文暦	1234
		嘉禎	1235
		暦仁	1238
		延応	1239
		仁治	1240
88	後嵯峨	寛元	1243
89	後深草	宝治	1247
		建長	1249
		康元	1256
		正嘉	1257
90	亀山	正元	1259
		文応	1260
		弘長	1261
		文永	1264
91	後宇多	建治	1275
		弘安	1278
92	伏見	正応	1288
		永仁	1293
93	後伏見	正安	1299
94	後二条	乾元	1302
		嘉元	1303
		徳治	1306
95	花園	延慶	1308
		応長	1311
		正和	1312
		文保	1317
96	後醍醐	元応	1319
		元亨	1321
		正中	1324
		嘉暦	1326
		元徳	1329
		元弘	1331
		建武	1334
		延元	1336
97	後村上	興国	1340
		正平	1346
98	長慶	建徳	1370
		文中	1372
		天授	1375
		弘和	1381
99	後亀山	元中	1384

代	尊号	年号	西暦
100	後小松	明徳	1390
		応永	1394
101	称光	正長	1428
102	後花園	永享	1429
		嘉吉	1441
		文安	1444
		宝徳	1449
		享徳	1452
		康正	1455
		長禄	1457
		寛正	1460
103	後土御門	文正	1466
		応仁	1467
		文明	1469
		長享	1487
		延徳	1489
		明応	1492
104	後柏原	文亀	1501
		永正	1504
		大永	1521
105	後奈良	享禄	1528
		天文	1532
		弘治	1555
		永禄	1558
106	正親町	元亀	1570
		天正	1573
107	後陽成	文禄	1592
		慶長	1596
108	後水尾	元和	1615
109	明正	寛永	1624
110	後光明	正保	1644
		慶安	1648
		承応	1652
		明暦	1655
111	後西	万治	1658
		寛文	1661
		延宝	1673
112	霊元	天和	1681
		貞享	1684
113	東山	元禄	1688
		宝永	1704
114	中御門	正徳	1711
		享保	1716
115	桜町	元文	1736

代	尊号	年号	西暦
		寛保	1741
		延享	1744
116	桃園	寛延	1748
		宝暦	1751
117	後桜町	明和	1764
118	後桃園	安永	1772
119	光格	天明	1781
		寛政	1789
		享和	1801
		文化	1804
120	仁孝	文政	1818
		天保	1830
		弘化	1844
121	孝明	嘉永	1848
		安政	1854
		万延	1860
		文久	1861
		元治	1864
		慶応	1865
122	明治	明治	1868
123	大正	大正	1912
124	今上	昭和	1926

《北　朝》

代	尊号	年号	西暦
1	光厳	正慶	1332
2	光明	暦応	1338
		康永	1342
		貞和	1345
3	崇光	観応	1350
4	後光厳	文和	1352
		延文	1356
		康安	1361
		貞治	1362
		応安	1368
5	後円融	永和	1375
		康暦	1379
		永徳	1381
		至徳	1384
		嘉慶	1387
		康応	1389
	(南朝)	明徳	1390

(使用例)　年号は各元年を示し、明治元年は、西暦で1868年となる。したがって明治10年は1877年、また第121代孝明天皇の嘉永3年は1850年となる。

声〔聲〕
报〔報〕
拟〔擬〕
芦〔蘆〕
克〔剋〕
苏〔蘇〕
〃〔囌〕
极〔極〕
医〔醫〕
还〔還〕
歼〔殲〕
县〔縣〕
里〔裏〕
园〔園〕
吨〔噸〕
邮〔郵〕
听〔聽〕
别〔彆〕
困〔睏〕
乱〔亂〕
体〔體〕
佣〔傭〕
彻〔徹〕
余〔餘〕
谷〔穀〕
邻〔鄰〕
系〔係〕
〃〔繫〕
状〔狀〕
亩〔畝〕
疖〔癤〕
疗〔療〕
应〔應〕
这〔這〕
庐〔廬〕
灿〔燦〕
灶〔竈〕
沟〔溝〕
沪〔滬〕
沈〔瀋〕
怀〔懷〕
忧〔憂〕
证〔證〕
启〔啓〕
补〔補〕
层〔層〕
迟〔遲〕
际〔際〕
陆〔陸〕
鸡〔鷄〕
驴〔驢〕
*弃〔棄〕
*床〔牀〕
*呆〔獃〕
〃〔騃〕
*灾〔災〕

8 画

环〔環〕
表〔錶〕
拣〔揀〕
担〔擔〕
拥〔擁〕
势〔勢〕
拦〔攔〕
苹〔蘋〕
范〔範〕
柜〔櫃〕
板〔闆〕
松〔鬆〕
构〔構〕
丧〔喪〕
枣〔棗〕
郁〔鬱〕
矾〔礬〕
奋〔奮〕
态〔態〕
轰〔轟〕
岭〔嶺〕
贮〔貯〕
图〔圖〕
购〔購〕
制〔製〕
迭〔疊〕
刮〔颳〕
凭〔憑〕
征〔徵〕
舍〔捨〕
籴〔糴〕
肤〔膚〕
肿〔腫〕
肮〔骯〕
胁〔脅〕
变〔變〕
庙〔廟〕
疟〔瘧〕
卷〔捲〕
炉〔爐〕
怜〔憐〕
宝〔寶〕
帘〔簾〕
实〔實〕
衬〔襯〕
隶〔隸〕
弥〔彌〕
〃〔瀰〕
艰〔艱〕
练〔練〕
*注〔註〕
*周〔週〕
*昆〔崑〕
〃〔崐〕
*杰〔傑〕
*直〔直〕
*泪〔淚〕
*岳〔嶽〕
*岩〔巖〕

9 画

帮〔幫〕
赵〔趙〕
胡〔鬍〕
药〔藥〕
标〔標〕
茧〔繭〕
栏〔欄〕
树〔樹〕
咸〔鹹〕
面〔麵〕
牵〔牽〕
战〔戰〕
点〔點〕
临〔臨〕
显〔顯〕
虾〔蝦〕
虽〔雖〕
响〔響〕
钟〔鐘〕
〃〔鍾〕
钥〔鑰〕
毡〔氈〕
选〔選〕
适〔適〕
种〔種〕
秋〔鞦〕
复〔復〕
〃〔複〕
〃〔覆〕
须〔鬚〕
胆〔膽〕
胜〔勝〕
独〔獨〕
奖〔奬〕
养〔養〕
姜〔薑〕
类〔類〕
总〔總〕
炼〔煉〕
烂〔爛〕
洼〔窪〕
洁〔潔〕
洒〔灑〕
浊〔濁〕
恼〔惱〕
宪〔憲〕
窃〔竊〕
袄〔襖〕
垦〔墾〕
昼〔晝〕
垒〔壘〕
*哄〔鬨〕
〃〔閧〕
*脉〔脈〕
*迹〔跡〕
*〃〔蹟〕
*厘〔釐〕
挂〔掛〕

10 画

艳〔豔〕
〃〔豓〕
蚕〔蠶〕
赶〔趕〕
盐〔鹽〕
热〔熱〕
壶〔壺〕
获〔獲〕
〃〔穫〕
恶〔惡〕
〃〔噁〕
桩〔樁〕
样〔樣〕
础〔礎〕
顾〔顧〕
毙〔斃〕
致〔緻〕
晒〔曬〕
钻〔鑽〕
铁〔鐵〕
牺〔犧〕
敌〔敵〕
积〔積〕
称〔稱〕
借〔藉〕
舰〔艦〕
脏〔臟〕
〃〔髒〕
脑〔腦〕
胶〔膠〕
桨〔槳〕
浆〔漿〕
症〔癥〕
痈〔癰〕
斋〔齋〕
准〔準〕
竞〔競〕
烛〔燭〕
递〔遞〕
涂〔塗〕
涩〔澀〕
家〔傢〕
窍〔竅〕
袜〔襪〕
恳〔懇〕
继〔繼〕
剧〔劇〕
*笋〔筍〕
*捆〔綑〕
*绣〔繡〕
*涌〔湧〕
*唇〔脣〕
*栖〔棲〕
*席〔蓆〕

11 画

据〔據〕
梦〔夢〕
酝〔醞〕
悬〔懸〕
跃〔躍〕
累〔纍〕
偿〔償〕
衅〔釁〕
盘〔盤〕
象〔像〕
猎〔獵〕
痒〔癢〕
旋〔鏇〕
盖〔蓋〕
兽〔獸〕
渊〔淵〕
淀〔澱〕
惧〔懼〕
惊〔驚〕
谗〔讒〕
堕〔墮〕
随〔隨〕
粜〔糶〕
*猫〔貓〕
*麻〔蔴〕
*秸〔稭〕

12 画

琼〔瓊〕
联〔聯〕
搀〔攙〕
椭〔橢〕
硷〔鹼〕
确〔確〕
凿〔鑿〕
筑〔築〕
惩〔懲〕
御〔禦〕
腊〔臘〕
馋〔饞〕
亵〔褻〕
装〔裝〕
粪〔糞〕
湿〔濕〕
*雇〔僱〕
*锈〔鏽〕

13 画

摆〔擺〕
〃〔襬〕
碍〔礙〕
蒙〔矇〕
〃〔濛〕
〃〔懞〕
雾〔霧〕
辞〔辭〕
签〔簽〕
〃〔籤〕
触〔觸〕
酱〔醬〕
誊〔謄〕
粮〔糧〕
誉〔譽〕
寝〔寢〕
辟〔闢〕
缠〔纏〕
*痴〔癡〕
*韵〔韻〕

14 画

蔑〔衊〕
酿〔釀〕
愿〔願〕
踊〔踴〕
蜡〔蠟〕
稳〔穩〕

15 画

聪〔聰〕
霉〔黴〕

7画 追加

岛〔島〕

本表は、中国の文字改革出版社出版の「簡化字総表検字」を参照して、共同通信社が作製した。

中国漢字の新略字表

(カッコ内は簡化前の字体)

へんとつくりに使用(＊印は左側のへんに使用)

＊讠〔言〕	＊钅〔金〕	𰃮〔𤇾〕	𭕄〔𦥯〕	亦〔䜌〕
＊饣〔食〕	𠃓〔昜〕	𫩏〔臨〕	𠬤〔睪〕	呙〔咼〕
＊纟〔糸〕	収〔臤〕	只〔戠〕	𢀖〔巠〕	

へんとつくりに使用するとともに略字として使用

2 画	长〔長〕	边〔邊〕	会〔會〕	佥〔僉〕
几〔幾〕	从〔從〕	发〔發〕	杀〔殺〕	龟〔龜〕
3 画	仑〔侖〕	〃〔髮〕	刘〔劉〕	犹〔猶〕
万〔萬〕	仓〔倉〕	圣〔聖〕	齐〔齊〕	条〔條〕
与〔與〕	风〔風〕	对〔對〕	产〔產〕	穷〔窮〕
广〔廣〕	乌〔烏〕	6 画	农〔農〕	灵〔靈〕
门〔門〕	为〔爲〕	动〔動〕	寻〔尋〕	吴〔吳〕
义〔義〕	队〔隊〕	执〔執〕	尽〔盡〕	奂〔奐〕
马〔馬〕	双〔雙〕	亚〔亞〕	〃〔儘〕	8 画
乡〔鄉〕	5 画	过〔過〕	孙〔孫〕	齿〔齒〕
4 画	戋〔戔〕	厌〔厭〕	阴〔陰〕	卖〔賣〕
丰〔豐〕	节〔節〕	页〔頁〕	买〔買〕	虏〔虜〕
无〔無〕	龙〔龍〕	达〔達〕	吕〔呂〕	国〔國〕
韦〔韋〕	东〔東〕	夹〔夾〕	7 画	黾〔黽〕
专〔專〕	卢〔盧〕	尧〔堯〕	寿〔壽〕	罗〔羅〕
云〔雲〕	业〔業〕	毕〔畢〕	麦〔麥〕	〃〔囉〕
艺〔藝〕	归〔歸〕	师〔師〕	进〔進〕	质〔質〕
历〔歷〕	尔〔爾〕	当〔當〕	壳〔殼〕	鱼〔魚〕
〃〔曆〕	乐〔樂〕	〃〔噹〕	严〔嚴〕	备〔備〕
区〔區〕	鸟〔鳥〕	虫〔蟲〕	两〔兩〕	郑〔鄭〕
车〔車〕	刍〔芻〕	岁〔歲〕	丽〔麗〕	单〔單〕
冈〔岡〕	汇〔匯〕	岂〔豈〕	来〔來〕	审〔審〕
贝〔貝〕	〃〔彙〕	迁〔遷〕	卤〔鹵〕	肃〔肅〕
见〔見〕	宁〔寧〕	乔〔喬〕	〃〔滷〕	录〔錄〕
气〔氣〕	写〔寫〕	华〔華〕	时〔時〕	参〔參〕

画〔畫〕

9　画

荐〔薦〕
带〔帶〕
尝〔嘗〕
将〔將〕
亲〔親〕
娄〔婁〕
举〔擧〕

10　画

聂〔聶〕
虑〔慮〕
监〔監〕
党〔黨〕
罢〔罷〕
笔〔筆〕
爱〔愛〕
离〔離〕
宾〔賓〕
难〔難〕

11画以上

啬〔嗇〕
断〔斷〕
隐〔隱〕
窜〔竄〕
属〔屬〕
献〔獻〕
奥〔奧〕

新　略　字（＊印は異体字）

2　画

厂〔廠〕
卜〔蔔〕
儿〔兒〕
了〔瞭〕

3　画

干〔乾〕
〃〔幹〕
亏〔虧〕
才〔纔〕
千〔韆〕
亿〔億〕
个〔個〕
么〔麼〕
卫〔衛〕
飞〔飛〕
习〔習〕

4　画

开〔開〕
厅〔廳〕
仆〔僕〕
币〔幣〕
仅〔僅〕
凤〔鳳〕
斗〔鬥〕
忆〔憶〕
认〔認〕
丑〔醜〕
办〔辦〕
邓〔鄧〕
劝〔勸〕
书〔書〕
＊扎〔紮〕
〃〔紥〕
＊升〔陞〕
〃〔昇〕
＊凶〔兇〕

5　画

击〔擊〕
扑〔撲〕
术〔術〕
灭〔滅〕
旧〔舊〕
帅〔帥〕
叶〔葉〕
号〔號〕
电〔電〕
只〔隻〕
〃〔祗〕
叹〔嘆〕
丛〔叢〕
处〔處〕
冬〔鼕〕
务〔務〕
兰〔蘭〕
头〔頭〕
汉〔漢〕
让〔讓〕
礼〔禮〕
辽〔遼〕
出〔齣〕
台〔臺〕
〃〔檯〕
〃〔颱〕
＊札〔劄〕
〃〔剳〕
＊布〔佈〕
＊它〔牠〕
＊占〔佔〕
＊巨〔鉅〕

6　画

巩〔鞏〕
扫〔掃〕
朴〔樸〕
权〔權〕
协〔協〕
夺〔奪〕
压〔壓〕
夸〔誇〕
划〔劃〕
尘〔塵〕
吁〔籲〕
吓〔嚇〕
曲〔麯〕
团〔團〕
〃〔糰〕
回〔廻〕
网〔網〕
朱〔硃〕
优〔優〕
伤〔傷〕
价〔價〕
伙〔夥〕
向〔嚮〕
后〔後〕
合〔閤〕
众〔衆〕
爷〔爺〕
伞〔傘〕
杂〔雜〕
壮〔壯〕
冲〔衝〕
妆〔妝〕
庄〔莊〕
庆〔慶〕
关〔關〕
忏〔懺〕
灯〔燈〕
兴〔興〕
讲〔講〕
导〔導〕
阳〔陽〕
阶〔階〕
妇〔婦〕
戏〔戲〕
观〔觀〕
欢〔歡〕
纤〔縴〕
〃〔纖〕
朵〔朶〕
并〔並〕
〃〔倂〕
＊异〔異〕

7　画

远〔遠〕
运〔運〕
坛〔壇〕
〃〔罎〕
坏〔壞〕
扰〔擾〕
坝〔壩〕
折〔摺〕
坟〔墳〕
护〔護〕
块〔塊〕

Linear accelerator	直線型加速器
Linear motor	リニアモーター
LSI (Large Scale Integration)	高密度集積回路
MHD (Magneto Hydro Dynamics)	電磁流体力学
Maximum permissible concentration	最大許容濃度
Maximum permissible dose	最大許容量
Moderator	減速材
Neutron flux	中性子束
Nuclear fuel	核燃料
Nuclear fusion	核融合
Plasma	プラズマ
PWR (Pressurized Water Reactor)	加圧水型原子炉
Proton synchrotron	陽子シンクロトロン
Pulsar	パルサー
Quaser	準星、クエーサー
Radiation hazard	放射線障害
Radioactive isotope	放射性同位元素、ラジオアイソトープ
Radioactive waste	放射性廃棄物
Radioactive fall-out	放射性降下物
Radioactivity	放射能
Radiobiology	放射線生物学
Separative work unit	分離作業単位
Solar cell	太陽電池
Solar radiation	太陽放射線
Solar wind	太陽風
South geomagnetic pole	地磁気南極
Sunspot cycle	黒点周期
Trans uranium element	超ウラン元素
Uranium enrichment	ウラン濃縮

〔環境関係〕

Aeration	ばく（曝）気（エアレーション）

Aerosol	エアロゾル（煙霧質）
Activated sludge process	活性汚泥法
Area-wide air conditioning	地域冷暖房
Aromatic compound	芳香族化合物
Atomic absorption method	原子吸光法
Benzpyrene	ベンツピレン
Biochemical Oxygen Demand (BOD)	生物化学的酸素要求量
Biosphere	生物圏
Carbon dioxide	二酸化炭素（CO_2）
Carbon monoxide	一酸化炭素（CO）
Chemical Oxygen Demand (COD)	化学的酸素要求量
Chronic toxicity	慢性毒性
Defoliant	枯葉剤
Direct desulfurization	直接脱硫
Dissolved Oxygen (DO)	溶存酸素
Ecology	生態学
Ecosystem	生態系
Epidemiology	疫　学
Food additive	食品添加物
Food chain	食物連鎖
Ground subsidence	地盤沈下
Hydrocarbon	炭化水素（HC）
Nitrogen Oxides	窒素酸化物（NOx）
Pollutant	汚染因子
Polychlorinated biphenyl	ポリ塩化ビフェニール（PCB）
Stack gas desulfurization	排煙脱硫
Sulfur oxides	硫黄酸化物
Sulfuric acid mist	硫酸ミスト
Sulfurous acid gas	亜硫酸ガス
Surface active agent	界面活性剤
Suspended solids (SS)	浮遊物質
Synthetic detergent	合成洗剤

科学用語(訳語)集

〔宇宙科学〕

Apogee	遠地点
Artificial planet	人工惑星
Automatic interplanetary station	自動惑星間ステーション
Astrobiology	宇宙生物学
Astronaut	宇宙飛行士
Astronautics	宇宙航行学
Crater	クレーター(火口状地形)
Earth station	地球局(宇宙通信の)
ERTS	地球資源探査衛星(資源衛星)
First cosmic speed	第一宇宙速度
Inertial guidance	慣性誘導
INTELSAT	国際電気通信衛星機構(インテルサット)
Intergalactic space	銀河系宇宙空間
Interplanetary space	惑星間空間
Launch complex	発射台
Lunohod	ルノホート
Mariner	マリナー(火星・金星探査機)
Navigation satellite	航行衛星
Nuclear rocket	原子力ロケット
Orbital element	軌道要素
Outer space	大気圏外
Perigee	近地点
Pioneer	パイオニア(惑星間探査機)
Post-Apollo programme	ポストアポロ計画
Project Viking	バイキング計画(火星着陸探査機)
Saturn V	サターン5型(ロケット)
Second cosmic speed	第二宇宙速度
Skylab	スカイラブ(宇宙実験室)

Soft landing	軟着陸
Space medicine	宇宙医学
Spaceship	宇宙船
Space shuttle	スペースシャトル（宇宙連絡船）
Space vehicle	宇宙飛行体、宇宙船
Space sickness	宇宙病
Space suit	宇宙服
Space walk	宇宙遊泳
Weightlessness	無重力（または無重量）

〔原子力・一般科学関係〕

Accelerator	加速器
Advanced thermal reactor	新型転換炉
Aquanaut	潜水士
Atomic power plant	原子力発電所
BWR (Boiling Water Reactor)	沸騰水型原子炉
Contamination	汚　染
Control rod	制御棒
Critical mass	臨界量
Decontamination	汚染除去
Dosage	被ばく線量
Electron synchrotron	電子シンクロトン
Elementary particle	素粒子
Fast breeder reactor	高速増殖炉
Fuel cell	燃料電池
Fuel reprocessing	燃料再処理
Heterogeneous reactor	不均質炉
Homogeneous reactor	均質炉
Hot laboratory	強放射能実験室、ホットラボ
Induced radioactivity	誘導放射能
IC (Integrated Circuit)	集積回路
LASER (Light Amplification by Stimulated Emission of Radiation)	レーザー

Environment

SALT 戦略兵器制限交渉 Strategic Arms Limitation Talks

SAM(サム) 地対空ミサイル Surface to Air Missile

SDR 特別引き出し権 Special Drawing Right

SEATO(シアト) 東南アジア条約機構 South East Asia Treaty Organization

SECAM セカム方式 Séquentiel à Memoir

SED 社会主義統一党(東ドイツ) Sozialistische Einheitspartei Deutschlands

SHAPE(シェープ) 欧州連合軍最高司令部 Supreme Headquarters Allied Powers in Europe

SHORAN(ショラン) 自位置測定装置 Short Range Navigation

SST 超音速旅客機 Supersonic Transport

STOL 短距離離着陸機 Short Take-off and Landing Aircraft

TANJUG(タンユグ) ユーゴスラビア通信社 Telegrafska Agencija Nova Jugoslavija

TASS(タス) ソ連国営通信社 Telegrafnoje Agentstvo Sovietskogo Sojuza

TDB 貿易開発理事会 Trade and Development Board

TOB テークオーバービッド(株式公開買い付け) Take-Over Bid

TUC 英労働組合会議 Trade Union Congress

TVA テネシー河谷開発公社 Tennessee Valley Authority

UAW 全米自動車労働組合 United Auto Workers

UDR フランス共和国民主連合 L'Union des démocrates pour la République

UHF 極超短波 Ultra High Frequency

UNCTAD(アンクタド) 国連貿易開発会議 United Nations Conference on Trade and Development

UNCURK 国連朝鮮統一復興委員会 United Nations Commission for the Unification and Rehabilitation of Korea

UNDC 国連軍縮委員会 United Nations Disarmament Commission

UNDP 国連開発計画 United Nations Development Program

UNESCO(ユネスコ) 国連教育科学文化機構 United Nations Educational Scientific and Cultural Organization

UNICE(ユニセ) 欧州共同体産業連盟 Union des Industries de la

Commutauté Européenne

UNICEF(ユニセフ) 国際児童救済基金(国連) United Nations International Children's Emergency Fund

UNIDO(ユニド) 国連工業開発機関 United Nations Industrial Development Organization

UNSC 国連安全保障理事会 United Nations Security Council

UPI UPI通信社 United Press International

UPU 万国郵便連合(国連) Universal Postal Union

USIA 米海外広報庁 United States Information Agency

USIS 米大使館広報文化局 United States Information Service

USSR (CCCP) ソビエト社会主義共和国連邦 Union of Soviet Socialist Republics

USW 全米鉄鋼労働組合 United Steelworkers of America

VHF 超短波 Very High Frequency

VNA ベトナム通信(ベトナム) Vietnam News Agency

VOA アメリカの声(米政府世界各国向け海外放送) Voice of America

VTOL 垂直離着陸機 Vertical Take-Off and Landing Aircraft

VTR ビデオテープレコーダー Video Tape Recorder

WBA 世界ボクシング協会 World Boxing Association

WBC 世界ボクシング評議会 World Boxing Committee

WHO 世界保健機構(国連) World Health Organization

WMO 世界気象機構(国連) World Meteorological Organization

WPI 卸売物価指数 Wholesale Price Index

YMCA キリスト教青年会 Young Men's Christian Association

YWCA キリスト教女子青年会 Young Women's Christian Association

ZD 運動 無欠点運動 Zero Defects

LAFTA 中南米自由貿易連合 Latin American Free Trade Association
LME ロンドン金属取引所 London Metal Exchange
LNG 液化天然ガス Liquefied Natural Gas
LORAN(ロラン) 長距離航法のための自位置測定装置 Long Range Navigation
LPG 液化石油ガス Liquefied Petroleum Gas
LSI 高密度集積回路 Large Scale Integration
LTA 綿製品長期取り決め Long Term Agreement
MAC 米軍事空輸司令部 Military Airlift Command
MIRV 多目標弾道弾(暫定統一) Multiple Independently Targetable Re-entry Vehicle
MIS 経営情報システム Management Information System
MLF 多角的核戦力 Multilateral (Nuclear) Force
MRA 道徳再武装運動 Moral Re-Armament
MRBM 準中距離弾道弾 Medium Range Ballistic Missile
MTP 管理者訓練計画 Management Training Program
MVD(エム・ベー・デー) ソ連内務省 Ministerstvo Vnutrennykh Del
NAACP 全米黒人地位向上協会 National Association for the Advancement of Colored People
NANA(ナナ) 北米新聞連盟 North American Newspaper Alliance
NASA(ナサ) 米航空宇宙局 National Aeronautics and Space Administration
NATO(ナトー) 北大西洋条約機構 North Atlantic Treaty Orgnization
NBC 米ナショナル放送会社 National Broadcasting Company
NEATO(ニアト) 東北アジア条約機構 North East Asia Treaty Organization
NECOLIM(ネコリム) 新旧植民地主義・帝国主義 Neo-Colonialism Colonialism, Imperialism
NEDC 英国民経済発展審議会 National Economic Development Conncil
NICB 全米産業審議会 National Industrial Conference Board
NNW 純国民福祉 Net National Welfare
NOAA 米海洋大気局 National Ocean and Atmosphere Agency

NOC オリンピック国内委員会 National Olympic Committee
NPD 西ドイツ国家民主党 Nationaldemokratisch Partei Deutchlands
NTSC 全米カラーテレビ方式委員会 National Television System Committee
OAEC アジア経済協力機構 Organization for Asian Economic Co-operation
OAPEC アラブ石油輸出国機構 Organization of Arab Petroleum Exporting Countries
OAS 米州機構 Organization of American States
OAU アフリカ統一機構 Organization of African Unity
OECD 経済協力開発機構 Organization for Economic Co-operation and Development
OOC オリンピック組織委員会 Olympic Organization Committee
OPEC(オペック) 石油輸出国機構 Organization of Petroleum Exporting Countries
ORTF フランス放送協会 Office de Radiodiffusion-Télévision Française
OTC 貿易協力機構(国連) Organization for Trade Co-operation
PAL パル方式 Phase Alternation by Line
PANA パナ通信 Pan-Asia News Agency
PAP ポーランド通信社 Polska Agencja Prasowa
PENC 国際ペンクラブ Posts, Playwrights, Editors, Essayists and Novelists Club
PFLP パレスチナ解放人民戦線 Popular Front for the Liberation of Palestine
PKI インドネシア共産党 Partai Komunis Indonesia
PLO パレスチナ解放機構 Palestine Liberation Organization
PNA リボ核酸 Ribonuclei Acid
PNI インドネシア国民党 Partai Nasional Indonesia
PTI インド通信連合社 Press Trust of India
RAPCON(ラプコン) 航空交通管制 Radar Approach Control
RAI イタリア放送協会 Radiotelevisione Italiana
RP ラジオプレス通信社(在日) Radio Press News Agency
SAGE(セイジ) 半自動地上警戒指揮組織 Semi-Automatic Ground

GMT グリニッジ標準時 Greenwich Mean Time
GNP 国民総生産 Gross National Product
GNW 国民福祉指標 Gross National Welfare
IAAF 国際陸上競技連盟 International Amateur Athletic Federation
IAEA 国際原子力機関(国連) International Atomic Energy Agency
IATA(イアタ) 国際航空運送協会 International Air Transport Association
IBM 米アイ・ビー・エム社 International Business Machines
IBRD 国際復興開発銀行(世銀) International Bank for Reconstruction and Development
IC 集積回路 Integrated Circuit
ICAO(イカオ) 国際民間航空機構(国連) International Civil Aviation Organization
ICBM 大陸間弾道弾 Inter-Continental Ballistic Missile
ICC 国際監視委員会 International Control Commission
ICC 国際商業会議所 International Chamber of Commerce
ICCS 国際管理監視委員会 International Commission of Control and Supervision
ICFTU 国際自由労働組合連盟 International Confederation of Free Trade Union
ICPO 国際刑事警察機構 International Criminal Police Organization (インタポール Interpol)
IDA 国際開発協会(第2世銀) International Development Association
IDカード 身分証明カード Identification Card
IFC 国際金融公社 International Finance Corporation
IFJ 国際ジャーナリスト連盟 International Federation of Journalists
IGY 国際地球観測年 International Geophysical Year
ILO 国際労働機構(国連) International Labor Organization
ILS 計器着陸装置 Instrument Landing System
IMCO 政府間海事協議機構(国連) Inter-Governmental Maritime Consultative Organization

IMF 国際通貨基金(国連) International Monetary Fund

IMF・JC 全日本金属産業労働組合協議会 International Metal Workers Federation Japanese Committee

INTELSAT(インテルサット) 国際電気通信衛星機構 International Telecommunication Satellite Consortium

IOC 国際オリンピック委員会 International Olympic Committee

IOJ 国際ジャーナリスト機構 International Organization of Journalists

IPI 国際新聞編集者協会 Internatonal Press Institute

IPR 太平洋問題調査会 Institute of Pacific Relations

IPU 列国議会同盟 Inter-Parliamentary Union

IQ 知能指数 Intelligence Quotient

IRA アイルランド共和国軍 Irish Republican Army

IRBM 中距離弾道弾 Intermediate Range Ballistic Missile

IRC 国際赤十字 International Red Cross

ISU 国際スケート連盟 International Skating Union

ITA 英インデペンデント・テレビジョン協会 Independent Television Authority

ITO 国際貿易機構(国連) International Trade Organization

ITU 国際電気通信連合(国連) International Telecommunication Union

IWA 国際小麦協定 International Wheat Agreement

IWC 国際捕鯨協定(委員会) International Whaling Convention (Commission)

JAF 日本自動車連盟 Japan Automobile Federation

JAS(ジャス) 日本農林規格 Japanese Agricultural Standard

JATEC(ジャテック) 反戦脱走米兵援助日本技術委員会 Japan Technical Committee to Aid U. S. Anti-War Deserter

JETRO(ジェトロ) 日本貿易振興会 Japan External Trade Organization

JIS(ジス) 日本工業規格 Japanese Industrial Standard

JOC 日本オリンピック委員会 Japan Olympic Committee

JRC 日本赤十字社 Japan Red Cross

KGB ソ連国家保安委員会 Komitet Gosdarstvennoi Bezopasnosti

KKK クークラックスクラン(米右翼秘密結社) Ku Klux Klan

tual Economic Aid

COMISCO(コミスコ) 国際社会主義者会議委員会 Committee of International Socialist Conference

COMSAT(コムサット) 米通信衛星会社 Communication Satellite Corporation

COSPAR(コスパル) 国際宇宙科学会議 Committee on Space Resarch

CPI 消費者物価指数 Consumer Price Index

CSU 西ドイツ・キリスト教社会同盟 Christlich Soziale Union

CTC 列車集中制御装置 Centralized Traffic Control

CTK チェコ・チェテカ国営通信社 Československá Tisková Kancelář

DAC 開発援助委員会 Development Assistance Committee

DEW (Line) 遠距離早期警戒レーダー基地線 Distant Early Warning (Line)

DGB ドイツ労働総同盟(西ドイツ) Deutscher Gewerkschaftsbund

DMZ 非武装地帯 Demilitarized Zone

DNA デオキシリボ核酸 Dioxy-ribonucleic-acid

DPA ドイツ通信社(西ドイツ) Deutsche Presse Agentur

EACM 東アフリカ共同市場 East African Common Market

EAEC 東アフリカ経済共同体 East African Economic Community

EBU 欧州放送連合 European Broadcasting Union

EC 欧州共同体 European Communities

ECA 国連アフリカ経済委員会 Economic Commission for Africa

ECAT 米貿易緊急委員会 Emergency Committee for American Trade

ECE 国連欧州経済委員会 Economic Commission for Europe

ECLA(エクラ) 国連ラテンアメリカ経済委員会 Economic Commission for Latin America

ECOSOC(エコソク) 経済社会理事会(国連) Economic and Social Council

ECSC 欧州石炭鉄鋼共同体 European Coal and Steel Community

EDR 欧州預託証券 European Depositary Receipt

EFTA(エフタ) 欧州自由貿易連合 European Free Trade Association

ELDO 欧州宇宙ロケット開発機構 European Launcher Development Organization

EPA 米環境保護局 Environmental Protection Agency

ESCAP (エスキャップ) 国連アジア太平洋経済社会委員会 The Economic and Social Commission for Asia and The Pacific

ESRO 欧州宇宙研究機構 European Space Research Organization

ESV 実験安全車 Experimental Safety Vehicle

EURATOM (ユーラトム) 欧州原子力共同体 European Atomic Energy Community

FAA 米連邦航空局 Federal Aviation Administration

FAI 国際航空連盟 Fédération Aéronautique Internationale

FAO 食糧農業機構(国連) Food and Agriculture Organization

FBI 米連邦捜査局 Federal Bureau of Investigation

FDA 米食品医薬品局 Food and Drug Administration

FDP 自由民主党(西ドイツ) Freie Demokratische Partei

FEAF 米極東空軍 Far Eastern Air Force

FEN 米極東放送 Far East Network

FIA 国際自動車連盟 Fédération Internationale de L'Automobile

FIEJ 国際新聞発行者協会 Fédération Internationale des Éditeurs de Journaux et Publications

FINA 国際水泳連盟 Fédération Internationale de Natation Amateur

FIS 国際スキー連盟 Fédération Internationale de Ski

FISU 国際大学スポーツ連盟 Fédération Internationale du Sport Universitaire

FLBM 水上艦積載ミサイル Fleet Launching Ballistic Missile

FLN アルジェリア民族解放戦線 Front de Libération Nationale

FM放送 周波数変調放送 Frequency Modulation

CGT-FO 仏労働総同盟「労働者の力」 Confédération Générale du Travail-Force Ouvriere

FOB 本船渡し値段 Free on Board

FRB 米連邦準備制度理事会 Federal Reserve Board

GAB 一般借り入れ取り決め General Agreement to Borrow

GATT (ガット) 関税貿易一般協定 General Agreement on Tariff and Trade

GCA 地上誘導着陸装置 Ground Controlled Approach

GDP 国内総生産 Gross Domestic Product

AFP フランス通信社 Agence France-Presse
AID 米国際開発局 Agency for International Development
ALBM 空中発射弾道弾 Air-Launched Ballistic Missile
AMM ミサイル迎撃ミサイル Anti-Missile Missile
ANP オランダ通信社 Algemeen Nederlandsh Presbureau
ANSA(アンサ) イタリア通信社 Agenzia Nazionale Stampa Associata
ANTARA(アンタラ) インドネシア・アンタラ通信社 Kantorberita Antara
ANZUS(アンザス) オーストラリア・ニュージーランド・アメリカ三国(安全保障条約) Australia, New Zealand and the United States
AP 米AP通信社 Associated Press
AP・DJ APダウジョーンズ経済通信 AP-Dow Jones
APN ソ連ノーボスチ通信社 Agentstvo Pechati Novosti
ARAMCO(アラムコ) アラブ・アメリカ石油会社 Arabian American Oil Company
ASEAN 東南アジア諸国連合 Association of South-East Asian Nations
ASM (AGM) 空対地ミサイル Air to Surface (~Ground) Missile
ASP アメリカ販売価格 American Selling Price
ASPAC(アスパック) アジア太平洋協議会 Asian Pacific Council
ASPAC 閣僚会議 アジア太平洋協議会閣僚会議 The Ministerial Meeting of the Asian Pacific Council
ATC 自動列車制御装置 Automatic Train Control
ATO 自動列車操縦装置 Automatic Train Operation
ATS 自動列車停止装置 Automatic Train Stop
BA 銀行引受手形 Bankers Acceptance
BADGE(バッジ) 基地防空地上警戒管制組織 (半自動防空警戒管制組織) Basic Air Defense Ground Environment
BBC 英放送協会 British Broadcasting Corporation
BENELUX(ベネルックス) ベルギー・オランダ・ルクセンブルク三国(経済同盟) Belgique, Nederland, Luxembourg
BIAC 民間産業経済諮問委員会 (OECD) Business and Industry Advisory Committee

BIE 博覧会国際事務局 Bureau International de L'Exposition
BIS 国際決済銀行 Bank for International Settlement
BMEWS(ビーミューズ) 米ミサイル早期警戒網、弾道弾早期警戒網 Ballistic Missile Early Warning System
BOD 生物化学的酸素要求量 Biochemical Oxygen Demand
CAB 米民間航空委員会 Civil Aviation Board
CAFEA(カフェア) 国際商業会議所アジア極東委員会 Commission on Asian & Far Eastern Affairs
CARIFTA(カリフタ) カリブ自由貿易連合 Caribbean Free Trade Association
CATV 共同アンテナテレビ Commuity Antenna TV, 有線テレビ Cable TV
CBC カナダ放送協会 Canadian Broadcasting Corporation
CBI 英産業連盟 Confederation of British Industries
CBR兵器 ABC兵器と同義語 Chemical, Biological, Radioactive Weapons
CBS 米コロンビア放送会社 Columbia Broadcasting System
CCD 軍縮委員会会議(国連)通称ジュネーブ軍縮委員会 Conference of Committee on Disarmament
CDU キリスト教民主同盟(西ドイツ) Christlich-Democratische Union
CEA 米大統領経済諮問委員会 Council of Economic Advisers
CED 米経済開発委員会 Committee for Economic Development
CENTO(セントー) 中央条約機構 Central Treaty Organization
CERN(セルン) 欧州原子核研究会議 Conseil Européen pour la Recherche Nucléaire
CGT フランス労働総同盟 Confédération Générale du Travail
CIA 米中央情報局 Central Intelligence Agency
CIC 米陸軍情報部隊 Counter Intelligence Corps
CID 米陸軍犯罪捜査部 Criminal Investigation Department
CIF 保険運賃込み値段 Cost, Insurance and Freight
CNA 中央通訊社(台湾) Central News Agency of China
COCOM(ココム) 対共産圏輸出調整委員会 Co-ordinating Committee for Export to Communist Area
COD 化学的酸素要求量 Chemical Oxygen Demand
COMECON(コメコン) 経済相互援助会議(共産圏) Council for Mu-

農林中金　農林中央金庫
ハイジャック防止法　航空機の強取等の処罰に関する法律
破防法　破壊活動防止法
パラリンピック(身障者五輪)　国際身体障害者スポーツ大会
反安保実行委　反安保全国実行委員会
被団協　日本原水爆被害者団体協議会
秘密保護法　日米相互防衛援助協定等に伴う秘密保護法
被用者保険　政府管掌健康保険・組合管掌健康保険・日雇い労務者健康保険・船員保険・公務員共済組合の五保険
氷　連　全日本スケート連盟
婦団連　日本婦人団体連合会
米　審　米価審議会
べ平連　ベトナムに平和を!市民連合
防衛二法　自衛隊法・防衛庁設置法の二法
紡　協　日本紡績協会
放医研　放射線医学総合研究所
防災センター　国立防災科学技術センター
放送連合　日本放送連合会
保有組合　日本証券保有組合
本四連絡橋　本州四国連絡橋
民医連　民主医療機関連合会
民　音　民主音楽協会(創価学会系)
民学連　日本民主主義学生連盟
民青、民青同　日本民主青年同盟
民　団　在日本大韓民国居留民団
民鉄協会　日本民営鉄道協会
民放研　日本民間放送連盟放送研究所
民放連　日本民間放送連盟
民放労連　日本民間放送労働組合連合会
民労協　地方民間労組協議会全国連絡会議
綿工連　日本綿スフ織物工業組合連合会
文部職組　文部職員労働組合
予　研　国立予防衛生研究所
酔っ払い防止法　酒に酔って公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律

四次防　第四次防衛力整備計画
陸(海・空)幕　陸上(海上・航空)幕僚監部
陸　連　日本陸上競技連盟
理　研　理化学研究所
労　演　勤労者演劇協議会
労　音　勤労者音楽協議会
労　研　労働科学研究所
労災保険　労働者災害補償保険
労働三法　労働組合法(労組法)・労働基準法(労基法)・労働関係調整法(労調法)の労働基本三法

*　　　*　　　*

AA会議　アジア・アフリカ会議　Asia-Africa Conference
AAグループ　アジア・アフリカグループ　Asia-Africa Group
AAM　空対空ミサイル　Air to Air Missile
ABC　アメリカ放送会社　American Broadcasting Company
ABC　発行部数監査機関　Audit Bureau of Circulations
ABC戦争　原子力・生物学・化学戦争　Atomic, Biological, Chemical War
ABC兵器　原子力・生物学・化学兵器　Atomic, Biological, Chemical Weapon
ABCC　原爆傷害調査委員会　Atomic Bomb Casualty Commission
ABM　弾道弾迎撃ミサイル　Anti Ballistic-missile Missile
ABU　アジア放送連盟　Asian Broadcasting Union
ACH　ソビエト・ニュース社(在日)　Agentstvo Sovietskikh Njus
ADB　アジア開発銀行　Asian Development Bank
ADELA(アデラ)　大西洋共同体中南米開発グループ　Atlantic Community Development Group for Latin America
ADF　自動方向探知装置　Automatic Direction Finder
ADN　東独国営通信社　Allgemeiner Deutscher Nachrichtendienst
ADR　米国預託証券　American Depositary Receipt
AEA　英原子力公社　Atomic Energy Authority
AEC　米原子力委員会　Atomic Energy Commission
AFL・CIO　米労働総同盟産別会議　American Federation of Labor and Congress of Industrial Organization

地公法　地方公務員法
地公労法　地方公営企業労働関係法
地財再建法　地方財政再建促進特別措置法
地婦連　全国地域婦人団体連絡協議会
地方医療協　地方社会保険医療協議会
地方六団体　全国知事会・全国都道府県議会議長会・全国市長会・全国市議会議長会・全国町村長会・全国町村議会議長会
中医協　中央社会保険医療協議会
中央選管　中央選挙管理会
中教審　中央教育審議会
中公審　中央公害対策審議会
中小公庫　中小企業金融公庫
中政連　日本中小企業政治連盟
中体連　全国中等学校体育連盟
中立労連　中立労働組合連絡会議
中労委　中央労働委員会
朝鮮総連　在日朝鮮人総連合会
通　研　電電公社電気通信研究所
定員法　行政機関職員定員法
鉄鋼労連　日本鉄鋼産業労働組合連合会
鉄　連　日本鉄鋼連盟
鉄　労　鉄道労働組合
デモ規制法　国会の審議権確保のための秩序保持に関する法律
電　研　電力中央研究所
電機労連　全日本電機機器労働組合連合会
電　産　日本電気産業労働組合
電事連　電気事業連合会
電電公社　日本電信電話公社
電波研　郵政省電波研究所
電　発　電源開発株式会社
電労連　全国電力労働組合連合会
東　響　東京交響楽団
東京地評　東京地方労働組合評議会
道交法　道路交通法
投信協会　証券投資信託協会

統　幕　統合幕僚会議
動　燃　動力炉・核燃料開発事業団
東フィル　東京フィルハーモニー
同　盟　全日本労働総同盟
同友会　経済同友会
動　労　国鉄動力車労働組合
都市交通　日本都市交通労働組合連合会
独禁法　私的独占の禁止および公正取引の確保に関する法律
二十二単産連絡会議　二十二民間単産戦線統一連絡会議
日米科学委　日米間の科学上の協力を促進する方途を研究する委員会
日米経済委　(貿易および経済問題に関する)日米貿易経済合同委員会
日弁連　日本弁護士連合会
日患同盟　日本患者同盟
日教組　日本教職員組合
日教連　日本教職員連合会
日経連　日本経営者団体連盟
日高教　日本高等学校教職員組合
日港労連　日本港湾労働組合連合会
日　歯　日本歯科医師会
日　商　日本商工会議所
日証金　日本証券金融株式会社
日青協　日本青年団協議会
日政連　日本民主教育政治連盟
日専連　日本専門店会連盟
日中貿促　日中貿易促進会
日　展　日本美術展覧会
日フィル　日本フィルハーモニー交響楽団
日放労　日本放送労働組合
日本生協連　日本生活協同組合連合会
入　管　法務省入国管理局
入管令　出入国管理令
農基法　農業基本法
能　研　能力開発研究所
農災法　農業災害補償法
農政連　日本農林漁業政治連盟

全化同盟　全国化学一般労働組合同盟
全官公　全日本官公職労協議会
全機金　全国機械金属労働組合
全共連　全国共済農業協同組合連合会
全教連　全国教職員団体連合会
選挙制度審　選挙制度審議会
全漁連　全国漁業協同組合連合会
全銀協　全国銀行協会連合会
全金同盟　全国金属産業労働組合同盟
全軍労　全沖縄軍労働組合
全建設　全建設省労働組合
全建総連　全国建設労働組合総連合
全　鉱　全日本金属鉱山労働組合連合会
全交運　全日本交通運輸労働組合協議会
（全購連）　全国購買農業協同組合連合会（全販連と合併全農に）
全港湾　全日本港湾労働組合
全国一般　全国一般労働組合
全国ガス　全国瓦斯労働組合連合会
全国金属　全国金属労働組合
全国自動車　全国自動車産業労働組合連合会
全自運　全国自動車運輸労働組合
全自交(労連)　全国自動車交通労働組合連合会
全司法　全国司法部職員労働組合
全商工　全商工労働組合
全商連　全国商業協会連合会
全自連　全国学生自治会連絡協議会
全証労協　全国証券労働組合協議会
全信協　全国信用金庫協会
全信組連　全国信用協同組合連合会
全信保連　全国信用保証協会連合会
全信連　全国信用金庫連合会
ゼンセン同盟　ゼンセン同盟（フルネーム）
全専売　全専売労働組合
全造船機械　全日本造船機械労働組合
全炭鉱　全国石炭鉱業労働組合

船中労　船員中央労働委員会
全駐労　全駐留軍労働組合
全通運　全国通運労働組合協議会
全　逓　全逓信労働組合
全電通　全国電気通信労働組合
全特定　全国特定局労働組合
全日自労　全日本自由労働組合
全日農　全日本農民組合連合会
全日仏　全日本仏教会
全日赤　全日本赤十字労働組合連合会
全日通　全日通労働組合
全中または**全国農協中央会**　全国農業協同組合中央会
全農同　全国農民同盟
全農林　全農林労働組合
全　農　全国農業協同組合連合会
(全販連)　全国販売農業協同組合連合会（全購連と合併全農に）
全婦連　全日本婦人連盟
全民懇　全国民間労組委員長懇話会
全郵政　全日本郵政労働組合
全糧連　全国食糧事業協同組合連合会
全林野　全林野労働組合
全　労　全日本労働組合会議
全労働　全労働省労働組合
造船重機労連　全国造船重機械労働組合連合会
総　評　日本労働組合総評議会
訴追委　裁判官訴追委員会
対外経済閣僚懇　対外経済政策推進関係閣僚懇談会
体　協　日本体育協会
第二世銀　ＩＤＡ　（国際開発協会）
弾劾裁(判所)　裁判官弾劾裁判所
炭　労　日本炭鉱労働組合
地位協定　日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力および安全保障条約第六条に基づく施設および区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定
地銀協　全国地方銀行協会

公労委　公共企業体等労働委員会
公労協　公共企業体等労働組合協議会
公労法　公共企業体等労働関係法
国際電電　（KDD）国際電信電話株式会社
国　保　国民健康保険
国貿促　日本国際貿易促進協会
国立衛試　国立衛生試験所
国　労　日本国有鉄道労働組合
五現業　アルコール専売・印刷・造幣・郵政・林野の五現業
護憲連　憲法擁護国民連合
古都保存法　古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法
最賃法　最低賃金法
財特法　財政法第三条の特例に関する法律
産休法　女子教育職員の出産に際しての補助教育職員の確保に関する法律
産　研　産業問題研究会
三公社　国鉄・電電・専売の三公社
産構審　産業構造審議会
産投(会計)　産業投資特別会計
CO法　炭鉱災害による一酸化炭素中毒症に関する特別措置法
私学連　全国私学学生自治連盟
私大協　日本私立大学協会
私大連　日本私立大学連盟
自工会　日本自動車工業会
(平和)七人委　世界平和アピール七人委員会
自治労　全日本自治団体労働組合
失対法　緊急失業対策法
私鉄経協　私鉄経営者協会
私鉄総連　日本私鉄労働組合総連合
自動車総連　全日本自動車産業労働組合総連合会
自賠法　自動車損害賠償保障法
社会三法　健康保険法・失業保険法・厚生年金保険法の三法律
社青同　日本社会主義青年同盟
銃刀法　銃砲刀剣類所持等取締法
重　文　重要文化財

宗平協　日本宗教者平和協議会
自由労連　国際自由労働組合連盟
主婦連　主婦連合会
商工中金　商工組合中央金庫
消団連　全国消費者団体連絡会
情文(局)　情報文化局(外務省)
食管会計　食糧管理特別会計
食管法　食糧管理法
初中局　文部省初等中等教育局
新医協　新日本医師協会
震　研　東京大学地震研究所
新護憲　憲法擁護新国民会議
新産都市　新産業都市
新産別　全国産業別労働組合連合
新全総　新全国総合開発計画
新宗連　新日本宗教団体連合会
新婦人　新日本婦人の会
新聞労連　日本新聞労働組合連合
水　連　日本水泳連盟
政管健保　政府管掌健康保険
生産技研　東京大学生産技術研究所
税　調　税制調査会
政防法　政治的暴力行為防止法
政労協　政府関係特殊法人労働組合協議会
世界労連　世界労働組合連盟
石炭連盟　日本石炭鉱業連盟
世　銀　国際復興開発銀行(世界銀行)
全印刷　全印刷局労働組合
全印総連　全国印刷出版産業労働組合総連合会
全運輸　全運輸省労働組合総連合
全映演　全国映画演劇労働組合
全映連　全国映画演劇労働組合連合会
全大蔵　全大蔵労働組合協議会
全海運　全日本海運労働組合連合会
全学連　全日本学生自治会総連合

新　聞　略　語　集

安保(条約)　日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力および安全保障条約
安保破棄中央実行委　安保破棄・諸要求貫徹中央実行委員会
(東大)医科研　東京大学医科学研究所
医労協　日本医療労働組合協議会
医師会　日本医師会
インテルサット　国際電気通信衛星機構
院　展　日本美術院展覧会
(東大)宇宙研　東京大学宇宙航空研究所
映演総連　日本映画演劇労働組合総連合
映団連　映画産業団体連合会
映　倫　映倫管理委員会
映　連　日本映画製作者連盟
音　協　音楽文化協会
海員組合(または海員)　全日本海員組合
外為法　外国為替および外国貿易管理法
外為令　外国為替管理令
外配協　外国映画輸入配給協会
火炎びん法　火炎びんの使用等の処罰に関する法律
化学同盟　化学産業労働組合同盟
核禁会議　核兵器禁止平和建設国民会議
核禁条約　大気圏内・宇宙空間および水中における核兵器実験を禁止する条約
核　研　東京大学原子核研究所
核停会議　米英ソ三国核実験停止会議
核防条約　核拡散防止条約
(全)岳連　全日本山岳連盟
科警研　科学警察研究所
紙パ労連　全国紙パルプ産業労働組合連合会
環境衛生法　環境衛生関係営業の運営の適正化に関する法律
関経連　関西経済連合会

癌　研　癌研究会付属癌研究所
関西経協　関西経営者協会
関経協　関東経営者協会
がんセンター　国立がんセンター
議運委　議院運営委員会
技能五輪　国際職業訓練競技大会
給与法　一般職の職員の給与に関する法律
行監委　行政監理委員会
行管庁　行政管理庁
教研集会　日教組(第……次)日高教(第……次)教育研究全国集会
金属労協　全日本金属産業労働組合協議会
経企庁　経済企画庁
警職法　警察官職務執行法
経団連　経済団体連合会
刑特法　日米安保協定の実施に伴う刑事特別法
原　研　日本原子力研究所
原　産　日本原子力産業会議
原水協　原水爆禁止日本協議会
原水禁　原水爆禁止日本国民会議
原　潜　原子力潜水艦
原　電　日本原子力発電株式会社
原　発　原子力発電所
健保連　健康保険組合連合会
交運共闘　全国交通運輸産業労働組合共闘会議
交運同盟　全国交通運輸産業労働組合同盟
合化労連　合成化学産業労働組合連合
公住協　公団住宅自治会協議会
公制審　公務員制度審議会
公選法　公職選挙法
高体連　全国高等学校体育連盟
交通労連　全国交通運輸労働組合総連合
工　特　工業整備特別地域
公取委　公正取引委員会
公務員共闘　公務員労働組合共闘会議
高野連　全国高等学校野球連盟

(SABENA : Belgian World Airlines) SN ベルギー
ザンビア航空 (Zambia Airways) QZ ザンビア
*シーボード航空 (Seaboard World Airlines) SB 米国
JAT航空 (Jugoslovenski Aerotransport) JU ユーゴスラビア
シリア・アラブ航空 (Syrian Arab Airlines) RB シリア
*シンガポール航空 (Singapore Airlines) SQ シンガポール
スイス航空 (Swissair : Swiss Air Transport) SR スイス
スイドウェス航空 (Suidwes Lugdiens) SW ナミビア
スカンジナビア航空(SAS)
(Scandinavian Airlines) SK 北欧三国
スーダン航空 (Sudan Airways) SD スーダン
*タイ航空 (Thai Airways) TH タイ
*タイ国際航空 (Thai Airways International) TG タイ
*大韓航空 (Korean Airlines) KE 韓国
チェコスロバキア航空(CSA航空)
(Ceskoslovenske Aeroline) OK チェコスロバキア
*中国民航 (Civil Aviation Administration of China) (CAAC) 中国
TAP航空
(Intercontinental Airlines of Portugal) TP ポルトガル
THYトルコ航空 (Turkish Airlines) TK トルコ
TMA航空 (Trans Mediterranean Airways) TL レバノン
TWA航空(トランス・ワールド)
(Trans World Airlines) TW 米国
DETA航空 (Direcção de Exploração dos Transportes Aéreos) TM モザンビーク
DTA航空
(Linhas Aéreas de Angola : Angola Airlines) DT アンゴラ
デルタ航空 (Delta Air Lines) DL 米国
ナイジェリア航空 (Nigeria Airways) WT ナイジェリア
ナショナル航空 (National Airlines) NA 米国
ニュージーランド・ナショナル航空
(New Zealand National Airways) NZ ニュージーランド
ニューヨーク航空 (New York Airways) NY 米国
ノースウェスト(オリエント)航空

(Northwest Orient Airlines) NW 米国

パキスタン国際航空

(Pakistan International Airlines) PK パキスタン

バリグ・ブラジル航空

(Varig-Brazilian Airlines) RG ブラジル

パンアメリカン (Pan American World Airways) PA 米国

東アフリカ航空 (East African Airways) EC ケニア

BWIC(英国西インド航空)

(British West Indian Airways) BW 英国

***ピードモント航空** (Piedmont Airlines) PI 米国

フィリピン航空(PAL航空)

(Philippine Air Lines) PR フィリピン

フィン航空 (Finnair) AY フィンランド

VIASA航空

(Venezolana Internacional de Aviacion) VA ベネズエラ

VASP航空 (Viacão Aérea São Paulo) VP ブラジル

ブラニフ航空 (Braniff International Airways) BN 米国

フランス航空(エール・フランス) (Air France) AF フランス

マルタ航空 (Malta Airlines) MG マルタ

***マレーシア航空**

(Malaysian Airlines System Berhad) MH マレーシア

南アフリカ航空 (South African Airways) SA 南アフリカ

***メヒカナ航空**

(Mexicana : Compania Mexicana de Aviacion) MX メキシコ

ユナイテッド航空 (United Airlines) UA 米国

ラン・チリ航空

(LAN-Chile : Linea Aerea Nacional de Chile) LA チリ

リビア・アラブ航空 (Libyan Arab Airlines) LN リビア

ルフトハンザ・ドイツ航空 (Lufthansa German Airlines ; Deutsche Lufthansa) LH 西ドイツ

LOT航空 (LOT-Polish Airlines) LO ポーランド

各国主要航空会社

(IATA 加盟・準加盟社。*印は非加盟社。
名称、フルネーム、国際略称、国名の順)

日航(日本航空) (Japan Air Lines) JL
*全日空(全日本空輸) (All Nippon Airways) NH
*東亜国内航空 (Toa Domestic Airlines) JD
アイスランド航空
(Icelandair : Flufelag Islands) FI アイスランド
アエル・リングス・テオランタ(アイルランド国際航空)
(Aer Lingus Teoranta) EI アイルランド
*アエロフロート(ソ連航空) (Aeroflot Soviet Airlines) SU ソ連
メヒコ航空 (Aeromexico) AM メキシコ
アルヘンチナス航空
(Aerolineas Argentinas) AR アルゼンチン
アビアンカ航空 (AVIANCA : Aerovias Nacionales de Colombia)
AV コロンビア
アブナ航空 (Avna Airways) WU 南アフリカ
アメリカン航空 (American Airlines) AA 米国
アリア(ヨルダン航空)
(ALIA : The Royal Jordanian Airline) RJ ヨルダン
アリアナ・アフガン航空
(Ariana Afghan Airlines) FG アフガニスタン
アリタリア航空 (ALITALIA : Linee Airee Italiane)
AZ イタリア
アレゲニー航空 (Allegheny Airlines) AL 米国
イースタン航空 (Eastern Airlines) EA 米国
イベリア航空
(Iberia : Lineas Aereas de España) IB スペイン
イラク航空 (Iraqi Airways) IA イラク
イラン航空 (Iranair) IR イラン
インド航空(エア・インディア) (Air India) AI インド
*ウェスタン航空 (Western Airlines) WA 米国
エア・サイアム (Air Siam) VG タイ

エア・セイロン (Air Ceylon) AE スリランカ
エア・ニュージーランド
(Air New Zealand) TE ニュージーランド
エア・マラウイ (Air Malawi) QM マラウイ
エア・マリ (Air Mali) MY マリ
英国航空 (British Airways) BA 英国
エクアドル航空 (Equatoriana de Aviaccion) EU エクアドル
エジプト航空 (Egyptair) MS エジプト
エチオピア航空 (Ethiopian Airlines) ET エチオピア
MEA航空 (Middle East Airlines) ME レバノン 「ラエル
EL AL イスラエル航空 (El Al Israel Airlines) LY イス
エール・アフリク (Air Afrique) RK コートジボアール
エール・アルジェリ (Air Algerie) AH アルジェリア
エール・ギネー (Air Guinee) GI ギニア
エール・ザイール (Air Zaire) QC ザイール
オーストリア航空 (Austrian Airlines) OS オーストリア
オランダ航空(KLM)
(KLM-Royal Dutch Airlines) KL オランダ
オリンピック航空 (Olympic Airways) OA ギリシャ
カナダ太平洋航空(CPA航空)
(Canadian Pacific-Air) CP カナダ
ガーナ航空 (Ghana Airways) GH ガーナ
ガルーダ航空 (Garuda Indonesian Airways) GA インドネシア
カンタス航空 (Qantas Airways) QF オーストラリア
キプロス航空 (Cyprus Airways) CY キプロス
*キャセイ航空 (Cathey Pacific Airways) CX 香港
クウェート航空 (Kuwait Airways) KU クウェート
クバナ航空(CUBANA)
(Empresa Consolidada Cubana de Aviacion) CU キューバ
クルゼイロ航空
(CRUZEIRO: Servicos Aereos Cruzeiro do Sul) SC ブラジル
コンチネンタル航空 (Continental Air Lines) CO 米国
サウジア航空
(SAUDIA: Saudi Arabian Airlines) SV サウジアラビア
サベナ・ベルギー航空

リッチモンド	Richmond	アメリカ
◎リトアニア	Lithuania	ソ連
リバプール	Liverpool	イギリス
◎リビア	Libya	アフリカ
◎リヒテンシュタイン	Liechtenstein	ヨーロッパ
◎リベリア	Liberia	アフリカ
リボルノ	Livorno	イタリア
○リマ	Lima	ペルー
リモージュ	Limoges	フランス
○リヤド	Riyadh	サウジアラビア
リヨン	Lyon	フランス
○リロングェ	Lilongwe	マラウイ
リンカーン	Lincoln	アメリカ
リンガエン湾	Lingayen Gulf	フィリピン
リンツ	Linz	オーストリア

【ル】

◎ルーマニア	Romania	ヨーロッパ
ルアーブル	Le Havre	フランス
ルアン	Rouen	〃
○ルアンダ	Luanda	アンゴラ
○ルアンプラバン	Luangprabang	ラオス
◎ルクセンブルク	Luxembourg	ヨーロッパ
○ルクセンブルク	Luxembourg	ルクセンブルク
○ルサカ	Lusaka	ザンビア
ルソン島	Luzon I.	フィリピン
ルバング島	Lubang I.	〃
ルブンバシ	Lumbumbashi	ザイール
◎ルワンダ	Rwanda	アフリカ

【レ】

○レイキャビク	Reykjavik	アイスランド
レイテ島	Leyte I.	フィリピン
レジオエミリア	Reggio Emilia	イタリア
レジオカラブリア	Reggio Calabria	〃
レシフェ	Recife	ブラジル
レスター	Leicester	イギリス

◎レソト(旧バストランド)	Lesotho	アフリカ
◎レバノン	Lebanon	中東
◎レユニオン	Réunion	インド洋の西南、マダガスカル南方
【ロ】		
ローザンヌ	Lausanne	スイス
◎ローデシア	Rhodesia	アフリカ
○ローマ	Roma	イタリア
ロサリオ	Rosario	アルゼンチン
ロサンゼルス	Los Angeles	アメリカ
◎ロシア	Russia	ソ連
ロゼッタ	Rosetta	エジプト
ロッテルダム	Rotterdam	オランダ
ロプノル	Lop nor	中国(原爆実験場)
○ロメ	Lome	トーゴ
ロレーヌ	Lorraine	フランス
○ロンドン	London	イギリス
ロンドンデリー	Londonderry	〃
【ワ】		
ワイオミング州	Wyoming: State	アメリカ
○ワガドーグー	Ouaga Dougou	オートボルタ
ワジハルファ	Wadi Halfa	スーダン
○ワシントン	Washington	アメリカ
○ワルシャワ	Warszawa	ポーランド

【メ】

メーン州	Maine: State	アメリカ
◎メキシコ	Mexico	中米
○メキシコ市	Mexico City	メキシコ
メシェッド	Meshed	イラン
メッカ	Mecca	サウジアラビア
メルボルン	Melbourne	オーストラリア
メンドサ	Mendoza	アルゼンチン

【モ】

◎モーリシャス	Mauritius	マダガスカル東方
◎モーリタニア	Mauritania	アフリカ
モカ	Mocha	イエメン・アラブ共和国
○モガジシオ	Mogadiscio	ソマリア
◎モザンビーク	Mozambique	アフリカ
○モスクワ	Moskva	ソ連
モスル	Mosul	イラク
◎モナコ	Monaco	ヨーロッパ
◎モルジブ	Maldive	インド洋
◎モルダビア	Moldavia	ソ連
モルッカ	Moluccas	インドネシア
◎モロッコ	Morocco	アフリカ
○モロニ	Moroni	コモロ
○モンテカルロ	Monte Carlo	モナコ
○モンテビデオ	Montevideo	ウルグアイ
モントリオール	Montreal	カナダ
モンバサ	Mombasa	ケニア
モンペリエ	Montpellier	フランス
○モンロビア	Monrovia	リベリア

【ヤ】

○ヤウンデ	Yaoundé	カメルーン
ヤクーツク	Jakutsk	ソ連

【ユ】

◎ユーゴスラビア	Jugoslavia	ヨーロッパ
ユーコン川	Yukon R.	カナダ
ユーフラテス川	Euphrates R.	中東

ユエ	Hue	ベトナム
ユカタン半島	Yucatan Pen.	メキシコ
ユタ州	Utah : State	アメリカ
ユングフラウ	Jungfrau	スイス
【ヨ】		
ヨークシャー	Yorkshire	イギリス
ヨハネスブルグ	Johannesburg	南ア共和国
◎ヨルダン	Jordan	中東
【ラ】		
ライプチヒ	Leipzig	東ドイツ
ラインラントファルツ	Rheinland-Pfalz	西ドイツ
ラオカイ	Lao Kay	ベトナム
◎ラオス	Laos	東南アジア
○ラゴス	Lagos	ナイジェリア
○ラサ	Lhasa	チベット
ラスベガス	Las Vegas	アメリカ
◎ラトビア	Latvia	ソ連
ラノーエスタカード高原	Llano Estacado	アメリカ
○ラパス	La Paz	ボリビア
○ラバト	Rabat	モロッコ
ラプラタ	La Plata	アルゼンチン
ラホール	Lahore	パキスタン
○ラワルピンジ	Rawalpindi	〃
ランカシャー	Lancashire	イギリス
○ラングーン	Rangoon	ビルマ
ランソン	Lang Song	ベトナム
〔リ〕		
リーズ	Leeds	イギリス
○リーブルビル	Libreville	ガボン
リール	Lille	フランス
リエーカ(旧フューメ)	Rieka	ユーゴスラビア
リエージュ	Liege	ベルギー
リオデジャネイロ	Rio de Janeiro	ブラジル
○リガ	Riga	ラトビア
○リスボン	Lisboa	ポルトガル

ホイットニー	Whitney	アメリカ
○ボゴタ	Bogotá	コロンビア
ポズナニ	Poznań	ポーランド
ボスニア湾	Bothnia, Gulf of	スウェーデン東岸とフィンランド西岸の間
ポツダム	Potsdam	東ドイツ
◎ボツワナ	Botswana	アフリカ
ホデイダ	Hodeida	イエメン・アラブ共和国
ホノルル	Honolulu	ハワイ
ホバート	Hobart	オーストラリア
ボヘミア	Bohemia	チェコスロバキア
ホムス	Homs	シリア
◎ボリビア	Bolivia	南アメリカ
ボルゴグラード	Volgograd	ソ連（旧スターリングラード）
ボルチモア	Baltimore	アメリカ
ボルドー	Bordeaux	フランス
○ポルトープランス	Port-au-Prince	ハイチ
◎ポルトガル	Portugal	ヨーロッパ
○ポルトノボ	Porto Novo	ベニン
ボルンホルム	Bornholm	デンマーク
ボローニャ	Bologna	イタリア
ホロ島	Jolo I.	フィリピン
○ボン	Bonn	西ドイツ
ホンゲイ	Hongay	ベトナム
◎ホンジュラス	Honduras	中米
ボンベイ	Bombay	インド

【マ】

マウイ島	Maui I.	ハワイ
○マカオ	Macao	中国沿岸
マカッサル海峡	Makassar, Str. of	インドネシア
マサチューセッツ州	Massachusetts: State	アメリカ
○マスカット	Muscat	オーマン
マゼラン海峡	Magellan, Str. of	南米大陸の南端
○マセル	Maseru	レソト
◎マダガスカル	Madagascar	アフリカ
マッキンリー山	McKinley, Mt.	アメリカ

マッターホルン	Matterhorn	イタリア北西部とスイス南西部国境の山
○マドリード	Madrid	スペイン
○マナグア	Managua	ニカラグア
○マニラ	Manila	フィリピン
○マプト	Maputo	モザンビーク
◎マラウイ	Malawi	アフリカ
マラケシ	Marrakech	モロッコ
マラッカ海峡	Maracca, Str. of	アジア
○マラボ	Malabo	赤道ギニア
マランジェ	Malange	アンゴラ
◎マリ	Mali	アフリカ
マリアナ諸島	Marianas I.	太平洋中西部の諸島
マルセイユ	Marseille	フランス
◎マルタ	Malta	地中海
○マレ	Male	モルジブ
◎マレーシア	Malaysia	東南アジア
マンダレー	Mandalay	ビルマ
マンチェスター	Manchester	イギリス

【ミ】

ミクロネシア	Micronesia	南太平洋
ミシガン州	Michigan : State	アメリカ
ミシシッピ州	Mississippi : State	〃
ミズーリ州	Missouri : State	〃
ミッドウェー諸島	Midway I.	太平洋中部
ミト	My Tho	ベトナム
◎南アフリカ共和国	Republic of South Africa	アフリカ
ミュンヘン	München	西ドイツ
ミラノ	Milano	イタリア
ミルウォーキー	Milwaukee	アメリカ
○ミンスク	Minsk	白ロシア
ミンダナオ島	Mindanao I.	フィリピン
ミンドロ島	Mindoro I.	〃

【ム】

○ムババネ	Mbabane	スワジランド
ムバンダカ	Mbandaka	ザイール

○ブラザビル	Brazzaville	コンゴ
○ブラジリア	Brasilia	ブラジル
◎ブラジル	Brazil	南アメリカ
ブラチスラバ	Bratislava	チェコスロバキア
○ブラハ	Praha	〃
ブラワヨ	Bulawayo	ローデシア
◎フランス	France	ヨーロッパ
○フリータウン	Freetown	シエラレオネ
ブリスベーン	Brisbane	オーストラリア
○ブリッジタウン	Bridgetown	バルバドス
プリマス	Plymouth	イギリス
○ブリュッセル	Bruxelles	ベルギー
ブルームフォンテーン	Bloemfontein	南ア共和国
ブルガス	Burgas	ブルガリア
◎ブルガリア	Bulgaria	ヨーロッパ
ブルックリン	Brooklyn	アメリカ
◎ブルネイ	Brunei	アジア
◎ブルンジ	Burundi	アフリカ
○フルンゼ	Frunze	キルギス
プレーク	Pleiku	ベトナム
ブレーメン	Bremen	西ドイツ
ブレスト	Brest	フランス
○プレトリア	Pretoria	南ア共和国
プレベン	Pleven	ブルガリア
プロイセン	Preussen	旧王国名、東ドイツとポーランドの北部地域
プロエシュチ	Ploesti	ルーマニア
プロブジフ	Plovdiv	ブルガリア

【へ】

ベイラ	Beira	モザンビーク
○ベイルート	Beirut	レバノン
○ベオグラード	Beograd	ユーゴスラビア
ベズビオ山	Vesuvio, Mt.	イタリア
ベスレヘム	Bethlehem	ヨルダン
ベッサラビア	Bessarabia	モルダビア
ヘッセン	Hessen	東ドイツ

◎ベトナム	Viet-Nam	東南アジア
ペトロザボーツク	Petrozavodsk	ソ連
ペトロパブロフスク	Petropavlovsk	〃
◎ベニン(旧ダオメー)	Benin	アフリカ
◎ベネズエラ	Venezuela	南アメリカ
ベネチア	Venezia	イタリア
ヘラート	Herat	アフガニスタン
ベラクルス	Veracruz	メキシコ
ベリセ	Belize	中米
◎ペルー	Peru	南アメリカ
◎ベルギー	Belgique	ヨーロッパ
ベルゲン	Bergen	ノルウェー
ベルサイユ	Versailles	フランス
ペルシャ湾	Persian Gulf	イラン
○ヘルシンキ	Helsinki	フィンランド
ベルファスト	Belfast	イギリス
○ベルリン	Berlin	東ドイツ
○ベルン	Bern	スイス
ベレム	Belèm	ブラジル
ベロオリゾンテ	Belo Horizonte	〃
ペロポネソス	Peloponnesos	ギリシャ
○ベンガジ	Benghazi	リビア
ベンガル湾	Bengal, Bay of	インド
ベンゲラ	Benguela	アンゴラ
ペンシルベニア州	Pennsylvania:State	アメリカ
【ホ】		
ホーチミン(旧サイゴン)	Ho-Chi-Minh	ベトナム
ポーツマス	Portsmouth	イギリス
○ポートオブスペイン	Port of Spain	トリニダードトバゴ
ポートサイド	Port Said	エジプト
○ポートモレスビー	Port Moresby	パプア・ニューギニア
○ポートルイス	Port Louis	モーリシャス
ボーヌ	Bône	アルジェリア
◎ポーランド	Poland	ヨーロッパ
ポアントノアール	Pointe-Noire	コンゴ

○パラマリボ	Paramaribo	スリナム
パラワン島	Palawan I.	フィリピン
○パリ	Paris	フランス
ハリウッド	Hollywood	アメリカ
ハリコフ	Khar'kov	ウクライナ
バリ島	Bali I.	インドネシア
ハリファックス	Halifax	カナダ
ハルゲイサ	Hargeisa	ソマリア
バルセロナ	Barcelona	スペイン
○ハルツーム	Khartoum	スーダン
バルト海	Baltic Sea	ヨーロッパ大陸北西の大西洋の一部
◎バルバドス	Barbados	中米
バルパライソ	Valparaiso	チリ
パレスチナ	Palestine	中東
○バレッタ	Valletta	マルタ
バレンシア	Valencia	スペイン
ハワイ州	Hawaii: State	アメリカ
◎ハンガリー	Hungary	ヨーロッパ
○バンギ	Bangui	中央アフリカ
バンクーバー	Vancouver	カナダ
◎バングラデシュ	Bangladesh	アジア
○バンコク	Bangkok	タイ
○バンジュール	Banjul	ガンビア
バンドン	Bandung	インドネシア
ハンブルク	Hamburg	西ドイツ

【ヒ】

○ビエンチャン	Vientiane	ラオス
ビエンホア	Bien Hoa	ベトナム
◎東ドイツ	East Germany	ヨーロッパ
ビキニ環礁	Bikini Atoll	太平洋中西部マーシャル諸島
○ビサウ	Bissau	ギニア・ビサウ
ビシー	Vichy	フランス
ビスケー湾	Biscay, Bay of	〃
ビゼルト	Bizerte	チュニジア
◎ピトケーン諸島	Pitcairn I.	南太平洋

ヒューストン	Houston	アメリカ
ヒューロン湖	Huron, Lake	〃
○ビラシスネロス	Villa Cisneros	サハラ
○ビリニュス	Vil'njus	リトアニア
ピルゼン	Pilsen	チェコスロバキア
ビルバオ	Bilbao	スペイン
◎ビルマ	Burma	東南アジア
ヒロ	Hilo	ハワイ
ビン	Vinh	ベトナム
ヒンズークシ山脈	Hindu Kush Mts.	アフガニスタン

【フ】

ブーゲンビル島	Bougainville I.	ソロモン諸島北西方
◎ブータン	Bhutan	東南アジア
ブーローニュ	Boulogne	フランス
○ファドーツ	Vaduz	リヒテンシュタイン
○フアンボ(旧ノバリスボア)	Huambo	アンゴラ
◎フィジー	Fiji	ニュージーランド北方
フィラデルフィア	Philadelphia	アメリカ
◎フィリピン	Philippines	アジア
フィレンツェ	Firenze	イタリア
◎フィンランド	Finland	ヨーロッパ
フェス	Fès	モロッコ
○ブエノスアイレス	Buenos Aires	アルゼンチン
プエルトプリンセサ	Puerto Princesa	フィリピン
◎プエルトリコ	Puerto Rico	中米
フォークランド諸島	Falkland I.	南米の南東大西洋中
フォールラミー	Fort Lamy	チャド
フォルタレザ	Fortaleza	ブラジル
フォンテンブロー	Fontainebleau	フランス
○ブカレスト	Bucharest	ルーマニア
○ブジュンブラ	Bujumbra	ブルンジ
○ブダペスト	Budapest	ハンガリー
○プノンペン	Phnom Penh	カンボジア
○プライア	Cidade de Praia	カボベルデ
ブラゴベシチェンスク	Blagoveshchensk	ソ連

◎西サモア	Western Samoa	太平洋の南部
◎西ドイツ	West Germany	ヨーロッパ
ニャチャン	Nha Trang	ベトナム
ニューオーリンズ	New Orleans	アメリカ
ニューカッスル	Newcastle	イギリス
ニューカレドニア島	New Caledonia I.	太平洋南西部、オーストラリアの東方
ニューギニア島	New Guinea I.	太平洋の西部、オーストラリアの北方
◎ニュージーランド	New Zealand	太平洋の南部、オーストラリアの東方
ニュージャージー州	New Jersey : State	アメリカ
○ニューデリー	New Delhi	インド
ニューハンプシャー州	New Hampshire : State	アメリカ
ニューヨーク(州)	New York(: State)	〃
ニュルンベルク	Nürnberg	西ドイツ
【ヌ】		
◎ヌーベル・カレドニ	Nouvelle Calédonie	南太平洋
○ヌーメア	Nouméa	ヌーベル・カレドニ
○ヌアクショット	Nouakchot	モーリタニア
○ヌクアロファ	Nukualofa	トンガ
ヌビア砂ばく	Nübian Desert	スーダン
【ネ】		
ネグロス島	Negros I.	フィリピン
◎ネパール	Nepal	アジア
ネバダ州	Nevada : State	アメリカ
【ノ】		
ノーサンプトン	Northampton	イギリス
ノバスコシア	Nova Scotia	カナダ
ノバヤゼムリヤ	Novaya Zemlya	ソ連
ノボシビルスク	Novosibirsk	〃
◎ノルウェー	Norway	ヨーロッパ
ノルマンジー	Normandie	フランス
【ハ】		
○ハーグ	Haag	オランダ
パース	Perth	オーストラリア
バーゼル	Basel	スイス
バーミンガム	Birmingham	イギリス

バーミングハム	Birmingham	アメリカ
バーモント州	Vermont : State	〃
バール川	Vaal R.	南ア共和国
◎バーレーン	Bahrain	中東
バイエルン	Bayern	西ドイツ
◎ハイチ	Haiti	中米
ハイデラバード	Hyderabad	インド
ハイデルベルク	Heidelberg	西ドイツ
ハイファ	Haifa	イスラエル
ハイフォン	Haiphong	ベトナム
バギオ	Baguio	フィリピン
◎パキスタン	Pakistan	東南アジア
○バクー	Baku	アゼルバイジャン
○バグダッド	Bagdad	イラク
◎白ロシア	Belorussia	ソ連
バサースト	Bathurst	ガンビア
バターン半島	Bataan Pen.	フィリピン
◎バチカン	Vatican	イタリア
バツーミ	Batumi	ソ連
バッファロー	Buffalo	アメリカ
ハドソン川	Hudson R.	〃
パドバ	Padova	イタリア
◎パナマ	Panama	中米
○パナマ市	Panama City	パナマ
ハノーバー	Hannover	西ドイツ
○ハノイ	Hanoi	ベトナム
○ハバナ	Habana	キューバ
バハルエルガザル	Bahr el Ghazal	スーダン
ハバロフスク	Khabarovsk	ソ連
◎パプア・ニューギニア	Papua New Guinea	南太平洋
バフィン島	Baffin I.	カナダ
○バマコ	Bamako	マリ
ハマダン	Hamadan	イラン
バミューダ島	Bermuda I.	大西洋北西部
◎パラグアイ	Paraguay	南アメリカ

◎チャド	Chad	アフリカ
チューリヒ	Zürich	スイス
◎中央アフリカ	République Centrafricaine	アフリカ
◎チュニジア	Tunisia	〃
○チュニス	Tunis	チュニジア
チュライ	Chulai	ベトナム
○チラナ	Tirana	アルバニア
◎チリ	Chile	南アメリカ
チロル	Tyrol	西独東南とオーストリア北西の山岳地帯
【ツ】		
ツール	Tours	フランス
ツールーズ	Toulouse	〃
ツーレ	Thule	グリーンランド
ツーロン	Toulon	フランス
ツルク	Turku	フィンランド
【テ】		
デービス(海峡)	Davis (Str. of)	グリーンランドとバフィン島の間
ディエンビエンフー	Dien Bien Phu	ベトナム
テキサス州	Texas : State	アメリカ
○テグシガルパ	Tegucigalpa	ホンジュラス
デブレツェン	Debrecen	ハンガリー
○テヘラン	Teheran	イラン
テムズ川	Thames R.	イギリス
デモイン	Des Moines	アメリカ
デラウェア州	Delaware : State	〃
テルアビブ	Tel Aviv	イスラエル
◎デンマーク	Denmark	ヨーロッパ
【ト】		
◎トーゴ	Togo	アフリカ
○ドーハ	Doha	カタール
ドーバー海峡	Dover, Str. of	英南東岸と仏北岸との間
ドアラ	Douala	カメルーン
ドゥシャンベ	Dushambe	タジク
トスカーナ	Toscana	イタリア
ドナウ川	Donau R.	西独南部に発し黒海に注ぐ

ドニエプル川	Dnepr R.	ウクライナ
ドニエプロペトロフスク	Dnepropetrovsk	〃
○トビリシ	Tbilisi	グルジヤ
◎ドミニカ	Dominica	中米
トラバンコール	Travancore	インド
トランシルバニア	Transilvania	ルーマニア
トランスバール	Transvaal	南ア共和国
トリエステ	Trieste	イタリア・ユーゴ
◎トリニダードトバゴ	Trinidad Tobago	西インド諸島
トリノ	Torino	イタリア
○トリポリ	Tripoli	リビア
◎トルクメン	Turkmen	ソ連
◎トルコ	Turkey	中東
◎トンガ	Tonga	南太平洋
ドンホイ	Dong Hoi	ベトナム
【ナ】		
◎ナイジェリア	Nigeria	アフリカ
○ナイロビ	Nairobi	ケニア
◎ナウル	Nauru	南太平洋
○ナッソー	Nassau	バハマ
ナバホ山	Navajo, Mt.	アメリカ
ナホトカ	Nakhodka	ソ連沿海州
ナポリ	Napoli	イタリア
◎ナミビア(旧南西アフリカ)	Namibia	アフリカ
ナムディン	Nam Dinh	ベトナム
ナルビク	Narvik	ノルウェー
ナント	Nantes	フランス
ナンプラ	Nampula	モザンビーク
【ニ】		
ニース	Nice	フランス
○ニアメー	Niamey	ニジェール
◎ニカラグア	Nicaragua	中米
○ニコシア	Nicosia	キプロス
ニコライエフスク	Nikolaevsk	ソ連
◎ニジェール	Niger	アフリカ

【ス】

◎スーダン	Sudan	アフリ
◎スイス	Suisse, Schweiz	ヨーロッ
◎スウェーデン	Sweden	〃
スカンジナビア	Scandinavia	〃
スキャグウェー	Skagway	アメリ
ステンバルク(旧タンネンベルク)	Stębark	ポーラン
○ストックホルム	Stockholm	スウェーデ
ストラスブール	Strasbourg	フラン
◎スペイン	Spain	ヨーロッ
スヘベニンゲン	Scheveningen	オラン
スペリオル(湖)	Superior, (L.)	アメリカ、カナダの 境
スベルドロフスク	Sverdlovsk	ソ　連
スボチツァ	Subotica	ユーゴスラビ
スモレンスク	Smolensk	ソ　連
スリガオ	Surigao	フィリピ
スリナガル	Srinagar	カシミー
◎スリナム	Surinam	南　米
◎スリランカ(旧セイロン)	Sri Lanka	アジ
◎スワジランド	Swaziland	アフリ

【セ】

◎セーシェル	Seychelles	インド
◎赤道ギニア	Equatorial Guinea	アフリ
セゲド	Szeged	ハンガリ
◎セネガル	Senegal	アフリ
セバストポリ	Sevastopol'	ソ　連
セビリア	Sevilla	スペイ
セブ	Cebu	フィリピ
◎セントヘレナ	St. Helena	大西洋中南

【ソ】

○ソールズベリ	Salisbury	ローデシ
ソチ	Sochi	ソ　連
◎ソビエト	Soviet	ヨーロッ
○ソフィア	Sofia	ブルガリ
◎ソマリア	Somalia	アフリ

ソルトレークシチー	Salt Lake City	アメリカ
【タ】		
ダーウィン	Darwin	オーストラリア
ダージリン	Darjeeling	インド
◎タイ	Thai	東南アジア
タイグエン	Thai Nguyen	ベトナム
タイニン	Tay Ninh	〃
○ダカール	Dakar	セネガル
◎タジク	Tadzhik	ソ連
○タシケント	Tashkent	ウズベク
○ダッカ	Dacca	バングラデシュ
○タナナリブ	Tananarive	マダガスカル
ダナン	Da Nang	ベトナム
ダバオ	Davao	フィリピン
タブリーズ	Tabriz	イラン
○ダブリン	Dublin	アイルランド
○ダマスカス	Damascus	シリア
ダラト	Dalat	ベトナム
ダラム	Durham	イギリス
○タリン	Tallin	エストニア
ダルース	Duluth	アメリカ
○ダルエスサラーム	Dar es Salaam	タンザニア
ダルムシュタット	Darmstadt	西ドイツ
◎タンザニア	Tanzania	アフリカ
○タンジール	Tangier	モロッコ
タンペレ	Tampere	フィンランド
タンホア	Thanh Hoa	ベトナム
【チ】		
◎チェコスロバキア	Czechoslovakia	ヨーロッパ
チェリャビンスク	Cheljabinsk	ソ連
チグリス川	Tigris R.	トルコ、イラクを流れる
チベット	Tibet	中国南西部
チミショアラ	Timișoara	ルーマニア
◎チモール	Timor	インドネシア
チャタヌーガ	Chattanooga	アメリカ

○コロンボ	Colombo	スリランカ
◎コンゴ	Congo	アフリカ
コンツム	Kontum	ベトナム
【サ】		
ザール	Saarland	西ドイツ
◎ザイール	Zaire	アフリカ
サイゴン(現ホーチミン)	Saigon	ベトナム
サイダ(旧シドン)	Saïda	レバノン
サウサンプトン	Southampton	イギリス
◎サウジアラビア	Saudi Arabia	中東
ザクセン	Sachsen	東ドイツ
ザグレブ	Zagreb	ユーゴスラビア
サスカチワン	Saskatchewan	カナダ
○サヌア	San'a	イエメン・アラブ共和国
サバナ	Savannah	アメリカ
◎サハラ	Sahara	アフリカ
サラエボ	Sarajevo	ユーゴスラビア
サルジニア島	Sardinia I.	イタリア
ザルツブルク	Salzburg	オーストリア
○サンサルバドル	San Salvador	エルサルバドル
サンジエゴ	San Diego	アメリカ
ザンジバル	Zanzibar	タンザニア
サンタフェ	Santa Fe	アルゼンチン
○サンチアゴ	Santiago	チリ
サンテチエンヌ	Saint-Étienne	フランス
◎サントーメ・プリンシペ	Saõ Tomé and Principé	アフリカ
○サントドミンゴ	Santo Domingo	ドミニカ
○サンドニ	St. Denis	レユニオン
サンパウロ	São Paulo	ブラジル
◎ザンビア	Zambia	アフリカ
○サンフアン	San Juan	プエルトリコ
サンフランシスコ	San Francisco	アメリカ
○サンホセ	San José	コスタリカ
◎サンマリノ	San Marino	ヨーロッパ
○サンマリノ	San Marino	サンマリノ

サンルイ	St. Louis	セネガル
【シ】		
シアトル	Seattle	アメリカ
ジェノバ	Genova	イタリア
シェフィールド	Sheffield	イギリス
シエラネバダ	Sierra Nevada	アメリカ
◎シエラレオネ	Sierra Leone	アフリカ
シエンクアン	Xieng Khouang	ラオス
シカゴ	Chicago	アメリカ
シチェチン	Szczecin	ポーランド
シチリア	Sicilia	イタリア
◎シッキム	Sikkim	アジア
ジッダ	Jeddah	サウジアラビア
シドニー	Sydney	オーストラリア
◎ジブチ	Dibouti	アフリカ
ジブラルタル	Gibraltar	スペイン南部
シベリア	Siberia	ソ連
○ジャカルタ	Djakarta	インドネシア
ジャクソンビル	Jacksonville	アメリカ
◎ジャマイカ	Jamaica	中米
ジャワ	Java	インドネシア
シャンゼリゼ	Champs-Élysées	フランス
ジュッセルドルフ	Düsseldorf	西ドイツ
シュツットガルト	Stuttgart	〃
ジュネーブ	Genève	スイス
ジョージア州	Georgia: State	アメリカ
○ジョージタウン	Georgetown	ガイアナ
ジョクジャカルタ	Jogjakarta	インドネシア
ジョホール海峡	Johore, Str. of	マラヤ、シンガポール間の水道
ショロン	Cholon	ベトナム
◎シリア	Syria	中東
◎シンガポール	Singapore	東南アジア
シンシナチ	Cincinnati	アメリカ
○シンプー	Thimphu	ブータン

キール	Kiel	西ドイツ
○キエフ	Kiev	ウクライナ
○キガリ	Kigali	ルワンダ
キサンガニ(旧スタンレービル)	Kisangani	ザイール
○キシニョフ	Kishinev	モルダビア
キストナ(川)	Kistna (R.)	インド
○キト	Quito	エクアドル
◎ギニア	Guinea	アフリカ
◎ギニア・ビサウ	Guinea-Bissau	〃
◎キプロス	Cyprus	地中海東部
○キャンベラ	Canberra	オーストラリア
◎キューバ	Cuba	中米
キュラソー	Curaçao	西インド諸島
◎ギリシャ	Greece	ヨーロッパ
◎キルギス	Kirgiz	ソ連
○キングストン	Kingston	ジャマイカ
○キンシャサ(旧レオポルドビル)	Kinshasa	ザイール
キンバリー	Kimberley	南ア共和国
【ク】		
◎グアテマラ	Guatemala	中米
○グアテマラ市	Guatemala City	グアテマラ
◎グアドループ	Guadeloupe	中米
グアム島	Guam I.	マリアナ諸島
○クアラルンプール	Kuala Lumpur	マレーシア
クアンガイ	Quang Ngai	ベトナム
クアンチ	Quang Tri	〃
クイニョン	Qui Nhon	〃
クイブイシェフ	Kujbyshev	ソ連
クインズランド	Queensland	オーストラリア
◎クウェート	Kuwait	中東
グジニア	Gdynia	ポーランド
クスコ	Cuzco	ペルー
グダニスク(旧ダンチヒ)	Gdańsk	ポーランド
グラーツ	Graz	オーストリア
クライストチャーチ	Christchurch	ニュージーランド

クラクフ	Kraków	ポーランド
グラスゴー	Glasgow	イギリス
クラスノダール	Krasnodar	ソ連
クリーブランド	Cleveland	アメリカ
◎グリーンランド	Greenland	ヨーロッパ
クリチバ	Curitiba	ブラジル
グリニッジ	Greenwich	イギリス
クルージュ	Cluj	ルーマニア
◎グルジヤ	Gruzija	ソ連
◎グレナダ	Grenada	中米
【ケ】		
ケープカナベラル	Cape Canaberal	アメリカ
ケープタウン	Capetown	南ア共和国
ケソン	Quezon	フィリピン
ゲチズバーグ	Gettysburg	アメリカ
ゲッチンゲン	Göttingen	西ドイツ
◎ケニア	Kenya	アフリカ
ケベック	Quebec	カナダ
ケルン	Köln	西ドイツ
ケンタッキー州	Kentucky : State	アメリカ
ゲント	Ghent	ベルギー
ケンブリッジ	Cambridge	イギリス
【コ】		
◎コートジボアール（注＝象牙海岸）	Côte d'Ivoire	アフリカ
コーンワル	Cornwall	イギリス
◎コスタリカ	Costa Rica	中米
○ゴッドザーブ	Godthaab	グリーンランド
○コナクリ	Conakry	ギニア
コネチカット州	Connecticut : State	アメリカ
○コペンハーゲン	Copenhagen	デンマーク
◎コモロ	Comoro	アフリカ
コルドバ	Córdoba	アルゼンチン
コレヒドール島	Corregidor I.	フィリピン
◎コロンビア	Colombia	南アメリカ
コロンビア	Columbia	アメリカ

オークランド	Auckland	ニュージーランド
オークリッジ	Oak Ridge	アメリカ
オースチン	Austin	〃
◎オーストラリア	Australia	オセアニア
◎オーストリア	Austria	ヨーロッパ
◎オートボルタ	Haute Volta	アフリカ
◎オーマン	Oman	中東
オールバニ	Albany	アメリカ
オアフ	Oahu	ハワイ
オクラホマシチー	Oklahoma City	アメリカ
オストラバ	Ostrava	チェコスロバキア
○オスロ	Oslo	ノルウェー
オセアニア	Oceania	太平洋中南部（諸島の総称）
○オタワ	Ottawa	カナダ
オックスフォード	Oxford	イギリス
オデッサ	Odessa	ウクライナ
オハ	Okha	ソ連
オホーツク海	Okhotsk Sea	〃
◎オランダ	Holland (Nederland)	ヨーロッパ
オルシチン	Olsztyn	ポーランド
オルフス	Aarhus	デンマーク
オルレアン	Orléans	フランス
【カ】		
カージフ	Cardiff	イギリス
◎ガーナ	Ghana	アフリカ
カーペンタリア湾	Carpentaria, Gulf of	オーストラリア
カールスタード	Karlstad	スウェーデン
カールスルーエ	Karlsruhe	西ドイツ
カールマルクスシュタット	Karlmarxstadt	東ドイツ
◎ガイアナ	Guyana	南米大陸北部
○カイロ	Cairo	エジプト
カザニ	Kazan	ソ連
◎カザフ	Kazakh	〃
カシミール	Kashmir	インド
カズナ	Kaduna	ナイジェリア

カスピ海	Caspian Sea	ソ連西南部
◎カタール	Qatar	中東
カタンガ	Katanga	ザイール
○カトマンズ	Katmandu	ネパール
◎カナダ	Canada	北米大陸
カナリア諸島	Canarias I.	大西洋東部、アフリカの北西方
○カブール	Kabul	アフガニスタン
○ガベロネス	Gaberones	ボツワナ
◎カボベルデ	Cape Verde	アフリカ
◎ガボン	Gabon	〃
カムチャツカ	Kamchatka	ソ連
カムラン	Camranh	ベトナム
◎カメルーン	Cameroun	アフリカ
○カラカス	Caracas	ベネズエラ
カラチ	Karachi	パキスタン
カリーニングラード	Kaliningrad	ソ連
カリフォルニア州	California : State	アメリカ
カリブ海	Caribbean Sea	南米大陸北岸と西インド諸島間の海域
カルカッタ	Calcutta	インド
カルガリ	Calgary	カナダ
カレー	Calais	フランス
カンカイ	Khangkhay	ラオス
カンザスシチー	Kansas City	アメリカ
カンダハル	Kandahar	アフガニスタン
カンチェンジュンガ	Kanchenjunga	ヒマラヤ
カントー	Cantho	ベトナム
○ガントク	Gangtok	シッキム
カンヌ	Cannes	フランス
カンパーニャ	Campagna	イタリア
○カンパラ	Kampala	ウガンダ
◎ガンビア	Gambia	アフリカ
カンペーチェ湾	Campeche, Golfo de	メキシコ
◎カンボジア	Cambodia	東南アジア

【キ】

キーウェスト	Key West	アメリカ

【イ】

イエメン	Yemen	中東
イオニア海	Ionian Sea	イタリア、ギリシャ間の地中海
◎イギリス	England	ヨーロッパ
イスタンブール	Istanbul	トルコ
イスマイリア	Ismailia	エジプト
イズミル	Izmir	トルコ
◎イスラエル	Israel	中東
○イスラマバード	Islamabad	パキスタン
◎イタリア	Italia	ヨーロッパ
イバダン	Ibadan	ナイジェリア
◎イフニ	Ifni	アフリカ
◎イラク	Iraq	中東
イラワジ川	Irrawaddy R.	ビルマ
◎イラン	Iran	中東
イリノイ州	Illinois: State	アメリカ
イルクーツク	Irkutsk	ソ連
インジアナ州	Indiana: State	アメリカ
インスブルック	Innsbruck	オーストリア
◎インド	India	南アジア
◎インドネシア	Indonesia	東南アジア
インパール	Imphal	インド

【ウ】

ウースター	Worcester	イギリス
ウースタシャー	Worcestershire	〃
ウィースバーデン	Wiesbaden	西ドイツ
○ウィーン	Wien	オーストリア
ウィスコンシン州	Wisconsin: State	アメリカ
ウィチトー	Wichita	〃
ウィッテンベルク	Wittenberg	東ドイツ
○ウィントフク	Windhoek	ナミビア
ウェーク島	Wake I.	マーシャル諸島北方
ウェーゼル川	Weser R.	西ドイツ
○ウェリントン	Wellington	ニュージーランド
ウォール街	Wall Street	ニューヨーク

ウォリック	Warwick	イギリス
ウォロネシ	Voronezh	ソ連
◎ウガンダ	Uganda	アフリカ
◎ウクライナ	Ukraina	ソ連
◎ウズベク	Uzbek	〃
ウッジ	Łódź	ポーランド
ウラジオストク	Vladivostok	ソ連
ウランウデ	Ulan Ude	〃
○ウランバートル	Ulan Bator	モンゴル
◎ウルグアイ	Uruguay	南アメリカ
ウロツラフ	Wrocław	ポーランド
【エ】		
エーア湖	Eyre, Lake	オーストラリア
エーテボリ	Göteborg	スウェーデン
◎エクアドル	Ecuador	南アメリカ
◎エジプト	Egypt	アフリカ
エジンバラ	Edinburgh	イギリス
◎エストニア	Estonia	ソ連
◎エチオピア	Ethiopia	アフリカ
エッセン	Essen	西ドイツ
エニウェトク	Eniwetok	南太平洋の環礁
エニセイ川	Jenisej R.	ソ連
エベレスト山	Everest, Mt	ネパール、チベットの国境
エリー湖	Erie, Lake	アメリカ、カナダの国境
エリゼ宮	Élysée	フランス
◎エリトリア	Eritrea	アフリカ
◎エルサルバドル	El Salvador	中米
○エルサレム	Jerusalem	イスラエル
エルパソ	El Paso	アメリカ
○エレバン	Yerevan	アルメニア
エローストン	Yellowstone	アメリカ
○エンジャメナ	Ndjamena	チャド
○エンテベ	Entebbe	ウガンダ
【オ】		
オークランド	Oakland	アメリカ

外国地名一覧

◎は国名または特定行政区画
○は首都名またはその地域の代表都市

【ア】

アーカンザス川	Arkansas R.	アメリカ
アーカンザスシチー	Arkansas City	〃
アーカンソー州	Arkansas: State	〃
アーヘン	Aachen	西ドイツ
アイオワ州	Iowa: State	アメリカ
◎アイスランド	Iceland	大西洋北部
アイゼナハ	Eisenach	東ドイツ
◎アイルランド	Ireland	ヨーロッパ
アウグスブルク	Augsburg	西ドイツ
アカバ	Aqaba	ヨルダン
○アクラ	Accra	ガーナ
○アジスアベバ	Addis Ababa	エチオピア
○アシハバード	Ashkhabad	トルクメン
アシャンチ	Ashanti	ガーナ
アストラハニ	Astrakhan	ソ連
○アスマラ	Asmara	エリトリア
アスワン	Aswan	エジプト
○アスンシオン	Asunción	パラグアイ
アスンシオン島	Asunción I.	マリアナ諸島北方
◎アゼルバイジャン	Azerbaidzhan	ソ連
アセンション島	Ascension I.	大西洋中部
アゾレス諸島	Azores I.	北大西洋
アダナ	Adana	トルコ
アッサム	Assam	インド
アッツ島	Attu I.	北太平洋
○アテネ	Athenai	ギリシャ
アデレード	Adelaide	オーストラリア
○アデン	Aden	イエメン人民民主共和国（南イエメン）
アトバラ	Atbara	スーダン
アトランチックシチー	Atlantic City	アメリカ

アバジーン	Aberdeen	アメリカ
アパラチア山脈	Appalachian Mts.	〃
○アピア	Apia	西サモア
○アビジャン	Abidjan	コートジボアール
◎アフガニスタン	Afghanistan	アジア
○アブダビ	Abu Dhabi	アラブ首長国連邦
○アムステルダム	Amsterdam	オランダ
◎アメリカ	America	アメリカ
アラスカ州	Alaska: State	〃
アラバマ州	Alabama: State	〃
アラビア半島	Arabian Pen.	中東
アリューシャン列島	Aleutian I.	アメリカ
アルコバサ	Alcobasa	ポルトガル
アルザス	Alsace	フランス
○アルジェ	Algiers	アルジェリア
◎アルジェリア	Algeria	アフリカ
◎アルゼンチン	Argentina	南アメリカ
アルバカーキ	Albuquerque	アメリカ
◎アルバニア	Albania	ヨーロッパ
アルハンゲリスク	Arkhangel'sk	ソ連
アルプス	Alps	ヨーロッパ中南部
○アルマアタ	Alma Ata	カザフ
◎アルメニア	Armenia	ソ連
アレキサンドリア	Alexandria	エジプト
アレクサンドロフスク	Aleksandrovsk	ソ連
アレッポ	Aleppo	シリア
○アンカラ	Ankara	トルコ
アンカレジ	Anchorage	アラスカ
◎アンゴラ	Angola	アフリカ
◎アンドラ	Andorra	ヨーロッパ南西部
○アンドラ	Andorra	アンドラ
アンドルーズ(空軍基地)	Andrews	アメリカ
アントワープ	Antwerp	ベルギー
○アンマン	Amman	ヨルダン

PN
4728
D54
1973

新・記者ハンドブック　定価850円

昭和48年6月1日　改定新版第1刷発行
昭和53年4月20日　改定新版第8刷発行

編著者© 社団法人 共同通信社
東京都港区赤坂虎ノ門2-2-5

発行所 株式会社 共同通信社
東京都港区赤坂1—9—20
第16興和ビル（〒107）
電話東京(03)586-0151(大代表)
振替東京 6—671番

印刷所 大日本印刷株式会社

落丁、乱丁本はお取り換えいたします。

Montana State University Library, Bozeman

記号	意味
〈 〈 〈	二分、三分、四分などにあけよ
〈一字 〈二字 〈三字	字間を一字、二字、三字などにあけよ
∨	行間を適当にあけよ
∧	行間をつめよ
⊥	下げる
T	上げる
人風流の	かえよ
⋮ ⋮	行を入れかえよ
校正 明朝	明朝体になおせ
校正 ゴジ	ゴジック体になおせ
こうせい フト	この文字を太字体になおせ
	の…に×を入れ…かつ欄外に「×山」というように記入し、×が山の字であることを示す。
△ ◬	右のように同字多数のときは△◬などを適当に使う
責了	なお訂正の個所はあるが執筆者がこれを印刷所に一任して校了とする場合に用いる
校了	校正完了印刷してよい

記　号

記号	意味
字 ＼ 字	誤字を正せ
＼ トル	取り去れ
イ ／キ	消し誤り元のまま
(逆字・横字) ℓ の	逆字、横字を正しくせよ
（　）	字間または語間をつめよ
＜#	字間を適当に
{く	一個または数個の文字を入れよ
悪 ∂	悪活字、取りかえよ
ゆがみを正す	行のゆがみを正せ
┐または┐次行へ	ここから次行へ移せ
⌒	二行を続けよ
別行	ここから新しく
＜、 ＜。	字間をあけて句とう点を入れよ
＼、 ＼。	字間そのままで句とう点を入れよ
⊡	字間の中央に・を入れよ
V② 上ツキ　V⑨ 下ツキ	数学記号などの上つき、または下つきの小文字を示す